

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査の結果について

1 調査目的

区では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく「港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定し、計画的に教育・保育・地域の子育て支援事業の充実に取り組んでいます。

本調査は、「第三期港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を含む子ども・若者・子育て支援に関する計画の策定に当たり、区民のニーズや生活実態等を把握し、今後の子ども・若者・子育て支援施策を着実に推進するために実施しました。

2 調査設計

【調査対象】 区内在住の小学校入学前の子どもの保護者 2,000人
 区内在住の小学生の保護者 2,000人
 区内在住の中学生 2,000人
 区内在住の高校生世代から39歳まで 2,000人

【抽出方法】 令和5年9月29日現在の住民基本台帳から無作為抽出

【調査方法】 郵送配布、郵送又はインターネットによる回収
 区内在住の高校生世代から39歳までは郵送配布、インターネットによる回収

【調査期間】 令和5年10月13日（金）～11月9日（木）

3 回収結果

区 分	配布数	回収数			回収率
		郵送	インター ネット	合計	
小学校入学前の 子どもの保護者	2,000	311	444	755	37.8%
小学生の保護者	2,000	381	459	840	42.0%
中学生	2,000	353	243	596	29.8%
高校生世代から 39歳まで	2,000	—	495	495	24.8%

4 調査結果

資料2-2「港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査報告書 概要版」及び資料2-3「港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査報告書」のとおり

5 今後のスケジュール（予定）

令和6年4月 区ホームページ等で周知

第1章 調査概要

(1) 調査目的・調査設計・回収結果

■調査目的

区では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく「港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定し、計画的に教育・保育・地域の子育て支援事業の充実に取り組んでいます。

本調査は、「第三期港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を含む子ども・若者・子育て支援に関する計画の策定に当たり、区民のニーズや生活実態等を把握し、今後の子ども・若者・子育て支援施策を着実に推進するために実施しました。

■調査設計

【調査対象】

区内在住の小学校入学前の子どもの保護者	2,000人
区内在住の小学生の保護者	2,000人
区内在住の中学生	2,000人
区内在住の高校生世代から39歳まで	2,000人

【抽出方法】

令和5年9月29日現在の住民基本台帳から無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送又はインターネットによる回収
区内在住の高校生世代から39歳までは郵送配布、インターネットによる回収

【調査期間】

令和5年10月13日（金）～11月9日（木）

■回収結果

区分	配布数	回収数			回収率
		郵送	インターネット	合計	
小学校入学前の子どもの保護者	2,000	311	444	755	37.8%
小学生の保護者	2,000	381	459	840	42.0%
中学生	2,000	353	243	596	29.8%
高校生世代から39歳まで	2,000	-	495	495	24.8%

※前回調査結果として掲載しているデータの出典

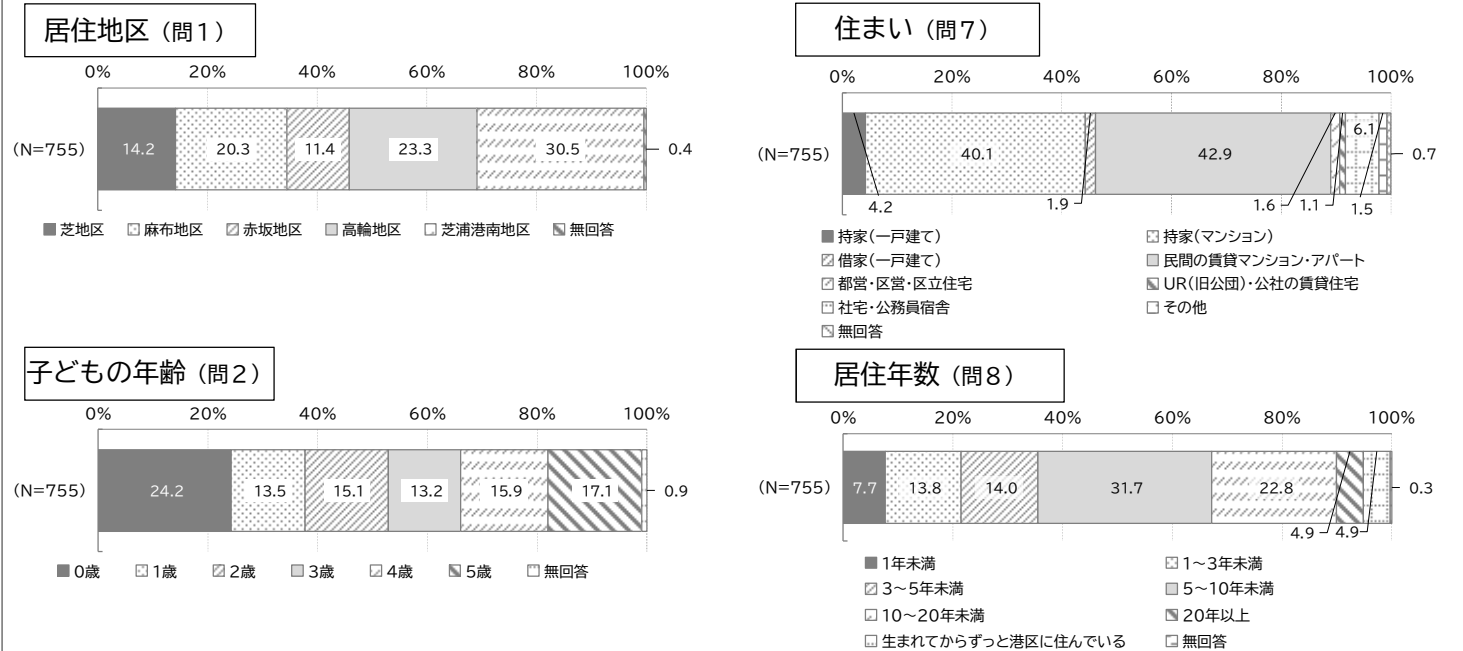
港区子ども・子育て支援ニーズ調査報告書 平成31年3月

なお、小学生の保護者について、前回調査は小学校1・2年生の保護者が対象のため参考値とする。

第2・3章 調査結果・調査結果の分析 1. 小学校入学前の子どもの保護者

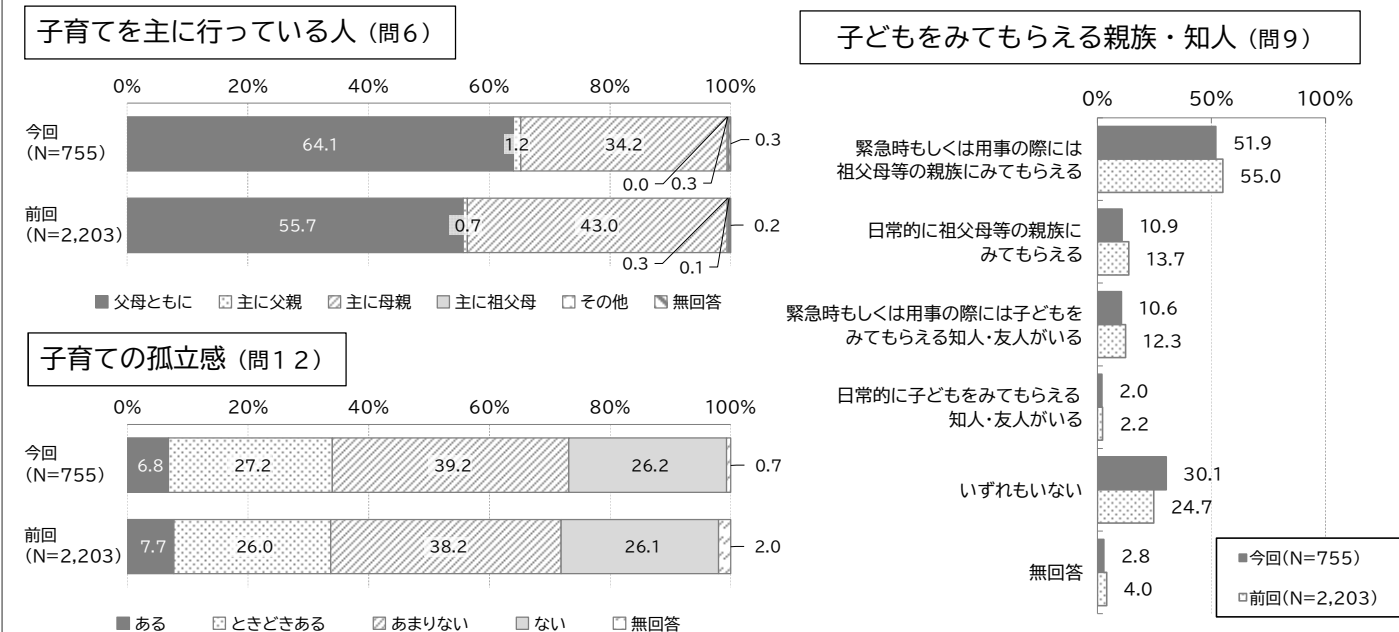
(1) 基本属性（問1：報告書P3、問2：報告書P3、問7：報告書P5、問8：報告書P5）

- 子どもの年齢は、0歳が最も多く、次いで5歳、4歳となっている。
- 居住地区は、芝浦港南地区が最も多く、次いで高輪地区、麻布地区となっている。
- 住まいは、「民間の賃貸マンション・アパート」が42.9%と最も多く、次いで「持家（マンション）」が40.1%となっている。
- 居住年数は、5～10年未満が31.7%と最も多く、次いで10～20年未満が22.8%となっている。



(2) 子育て状況（問6：報告書P4、173、問9：報告書P7、173、問12：報告書P11、175）

- 子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が64.1%であり、前回調査の55.7%を上回っている。
- 子どもをみてもらえる親族・知人は、「いずれもない」が30.1%であり、前回調査の24.7%を上回っている。
- 子育ての孤立感は、「あまりない」が39.2%と最も多いが、約3割が孤立感を感じている。

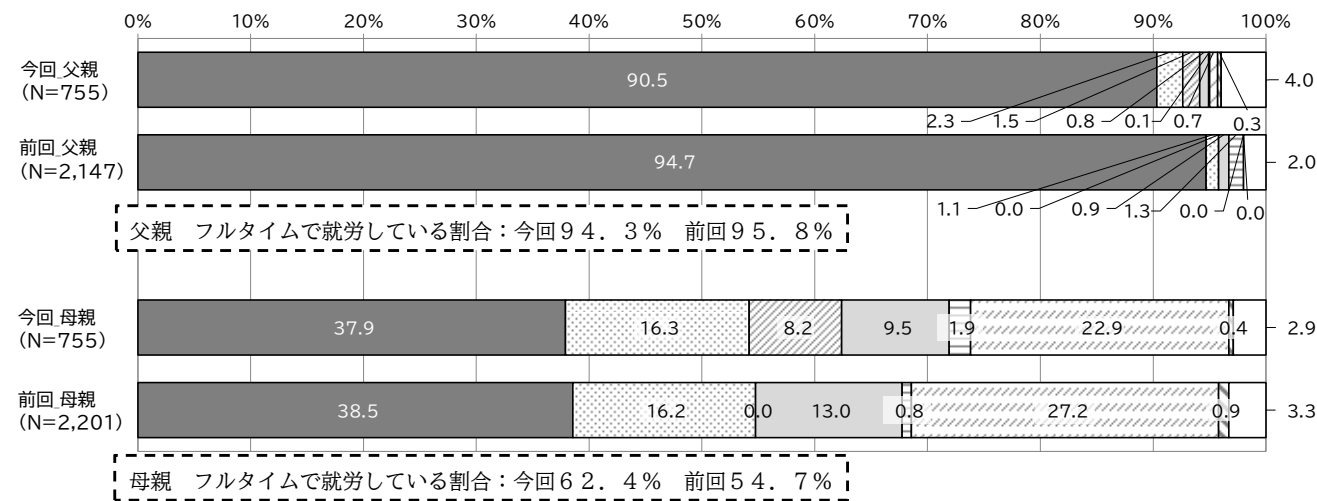


第2・3章 調査結果・調査結果の分析 1. 小学校入学前の子どもの保護者

(3) 就労・家計状況 (問15: 報告書P13、176、問18: 報告書P19、問20: 報告書P19、177)

- 父親は、フルタイムで就労している割合が94.3%であり、前回調査の95.8%から大きな変化はみられない。
- 母親は、フルタイムで就労している割合が62.4%であり、前回調査の54.7%を上回っている。
- 世帯年収は、「1,000～1,500万円未満」が23.6%、「1,500～2,000万円未満」が19.1%となっている。
- 新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向きは、ひとり親は「今の方が大変苦しい」が37.5%、ふたり親は「変わらない」が47.1%と最も多くなっている。

就労状況 (問15)



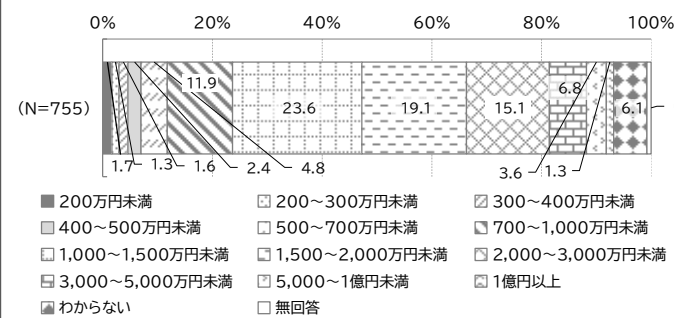
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
- ▩ パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

※母親の選択肢は「産休・育休・介護休業中」

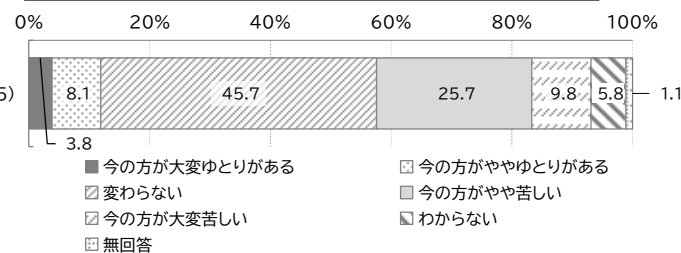
※前回調査では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である」の選択肢なし

※前回調査では、父母について「死亡、離婚、未婚などでいない」と回答した数を集計から除外している

世帯年収 (問18)



新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き (問20)



	回答者数(人)	今の方が大変ゆとりがある	今の方がややゆとりがある	変わらない	今の方がやや苦しい	今の方が大変苦しい	わからない	無回答
全体	755	3.8	8.1	45.7	25.7	9.8	5.8	1.1
ひとり親	24	0.0	4.2	25.0	33.3	37.5	0.0	0.0
ふたり親	709	3.9	8.2	47.1	25.1	8.9	5.9	0.8

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(問21: 報告書P20、178、問21-1: 報告書P20、180、問22: 報告書P30、182)

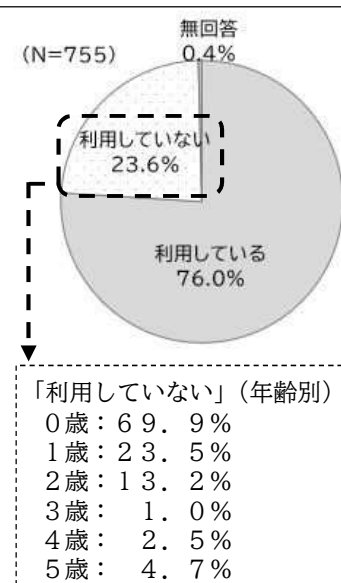
定期的な教育・保育事業の利用有無・利用状況

- 76.0%が平日の定期的な教育・保育事業を利用している。0歳は利用していない割合が69.9%となっている。
- 区立認可保育園、私立認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室の合計が57.0%であり、前回調査の55.3%を上回っている。
- 私立幼稚園と区立幼稚園の合計が23.9%であり、前回調査の26.6%を下回っている。

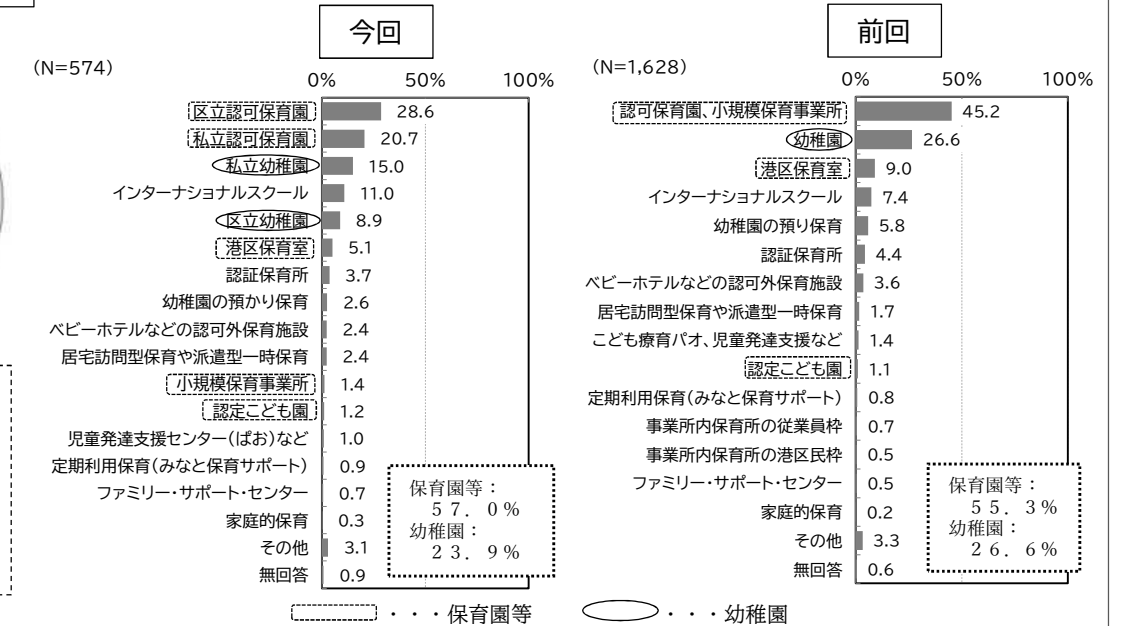
定期的にご利用したいと考える事業

- 区立認可保育園、私立認可保育園、認定こども園、小規模保育事業所、港区保育室の合計が47.6%であり、前回調査の59.4%を下回っている。
- 私立幼稚園と区立幼稚園の合計が34.9%であり、前回調査の41.8%を下回っている。
- 居宅訪問型保育や派遣型一時保育は10.7%であり、前回調査の6.4%を上回っている。

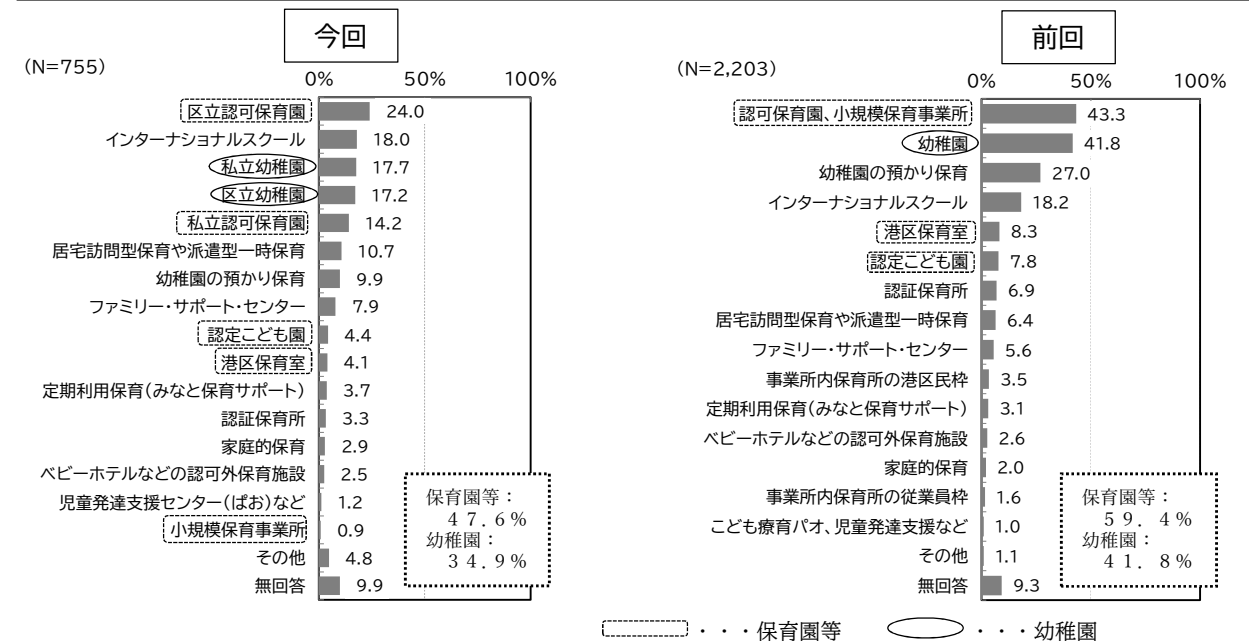
定期的な教育・保育事業の利用有無 (問21)



定期的な教育・保育事業の利用状況 (問21-1)



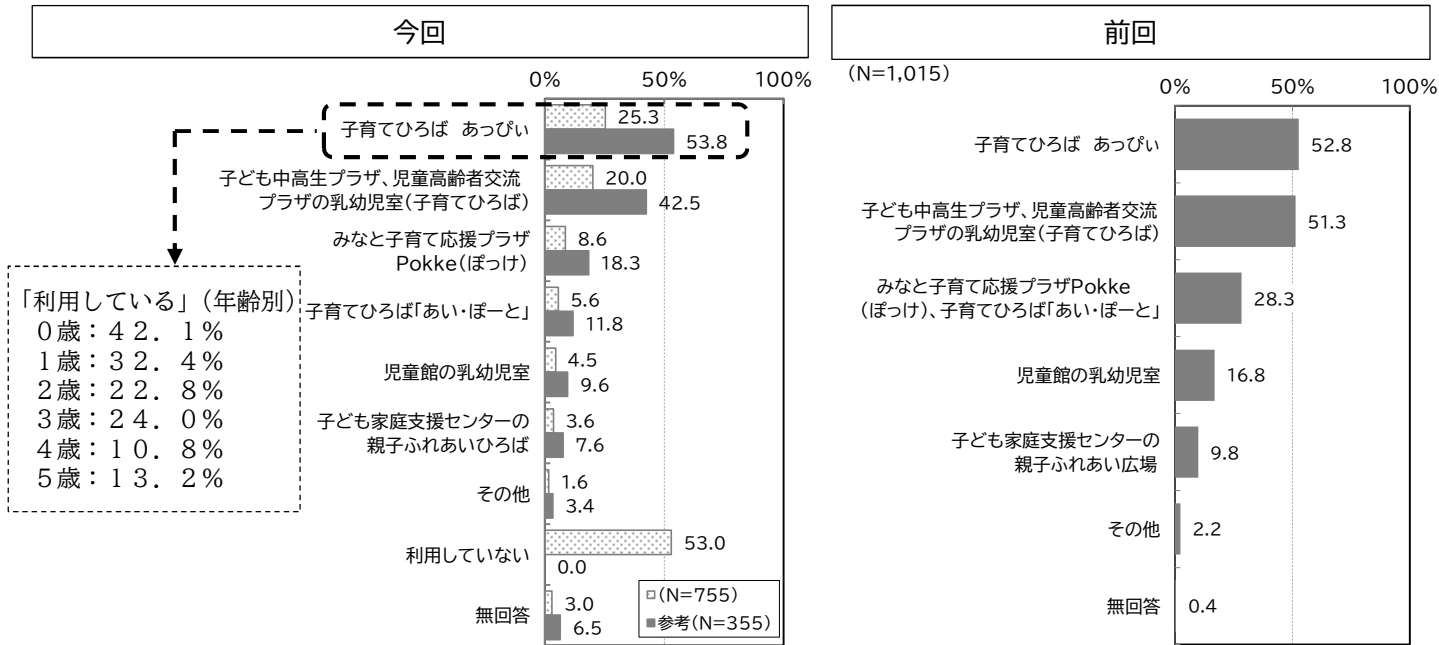
定期的にご利用したいと考える事業 (問22)



第2・3章 調査結果・調査結果の分析 1. 小学校入学前の子どもの保護者

(5) 地域の子育て支援事業の利用状況 (問23: 報告書P35、183)

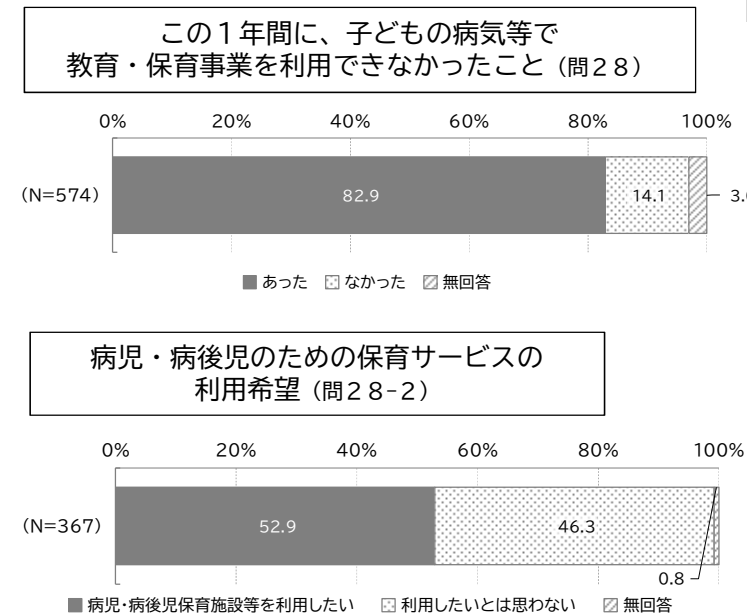
- 「利用していない」が53.0%を占めている。
- 0歳児の保護者は「子育てひろば あっぴい」を利用していると回答した割合が42.1%となっており、他の年齢と比べて多くなっている。



※前回調査では、「利用している」と回答した人の中から、利用している事業について尋ねる設問構成となっている。
 なお、「利用していない」の回答割合は、今回53.0%、前回50.0%であり、前回調査と比べてやや多くなっている。
 ※今回調査の「参考」は、前回調査と比較するための指標として、「利用していない」を除いた回答を母数として算出している。

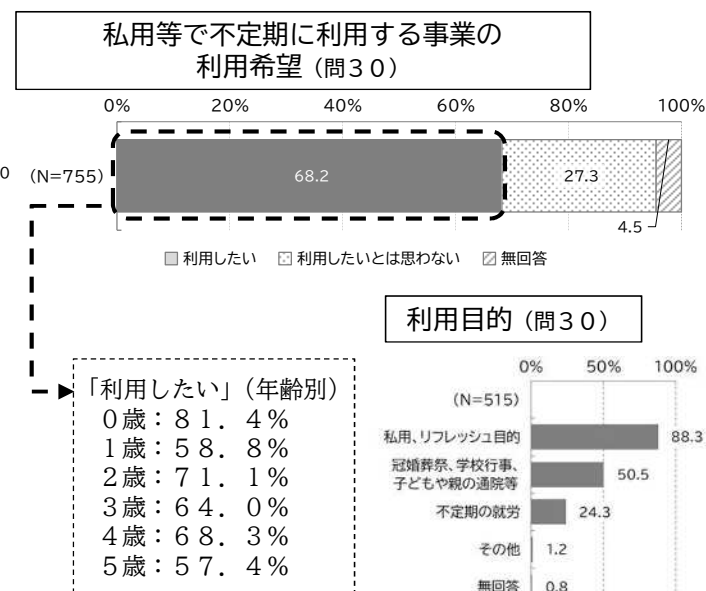
(6) 病気の際の対応 (問28: 報告書P45、問28-2: 報告書P47)

- この1年間に、子どもの病気等を理由に教育・保育事業を利用できなかった割合は82.9%となっている。
- 父親または母親が仕事を休むことで対応した人のうち、52.9%が病児・病後児保育施設等を利用したいと回答している。



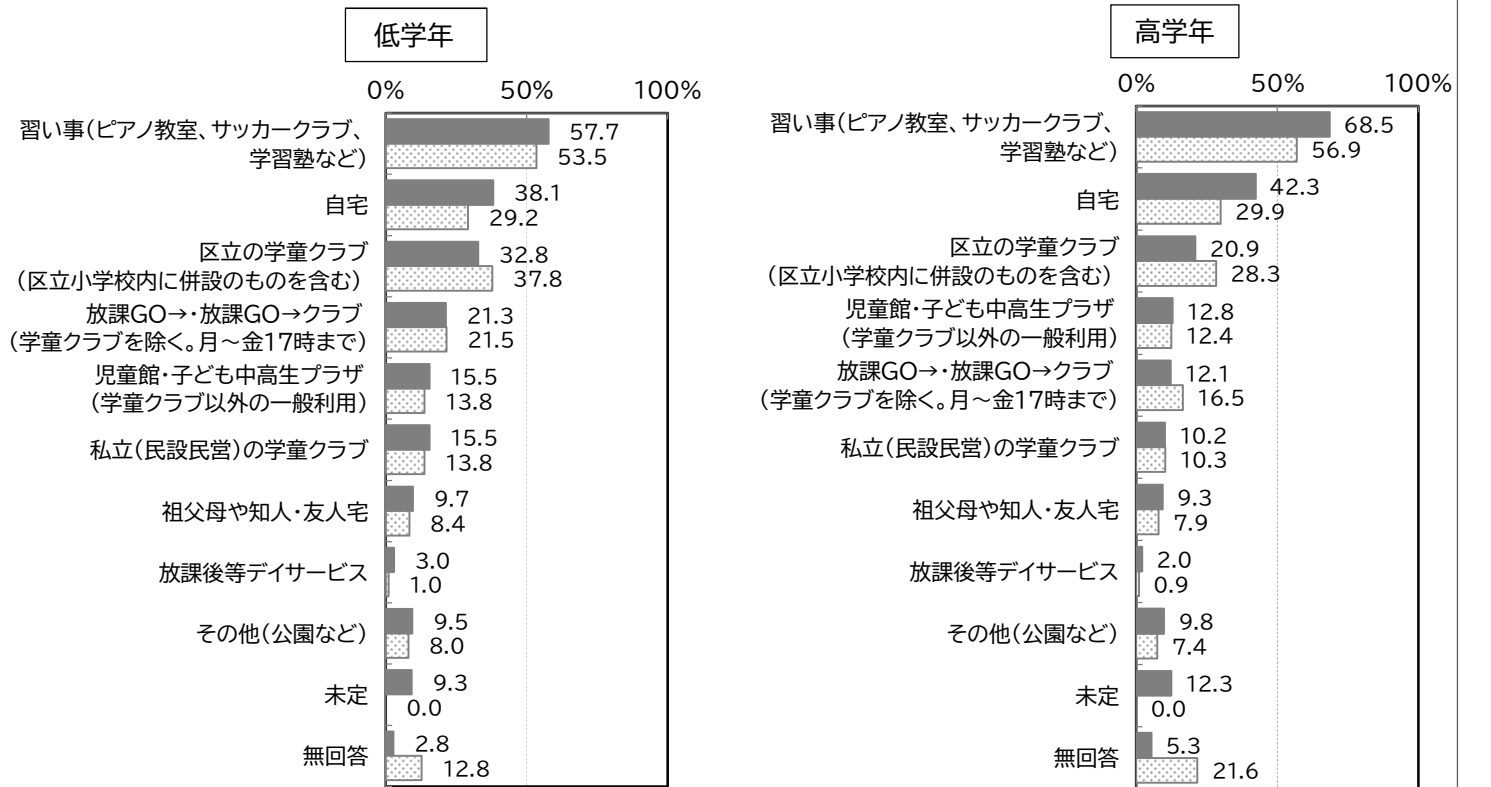
(7) 不定期の教育・保育事業(一時預かり等)の利用 (問30: 報告書P51、52、187)

- 不定期の教育・保育事業等の利用を希望する割合は68.2%となっている。0歳児の保護者は利用したいと回答した割合が81.4%となっており、他の年齢と比べて多くなっている。
- 不定期の教育・保育事業等の利用を希望する目的は、「私用、リフレッシュ目的」が88.3%と最も多くなっている。



(8) 小学校入学後の放課後の過ごし方 (問33: 報告書P56、57、189)

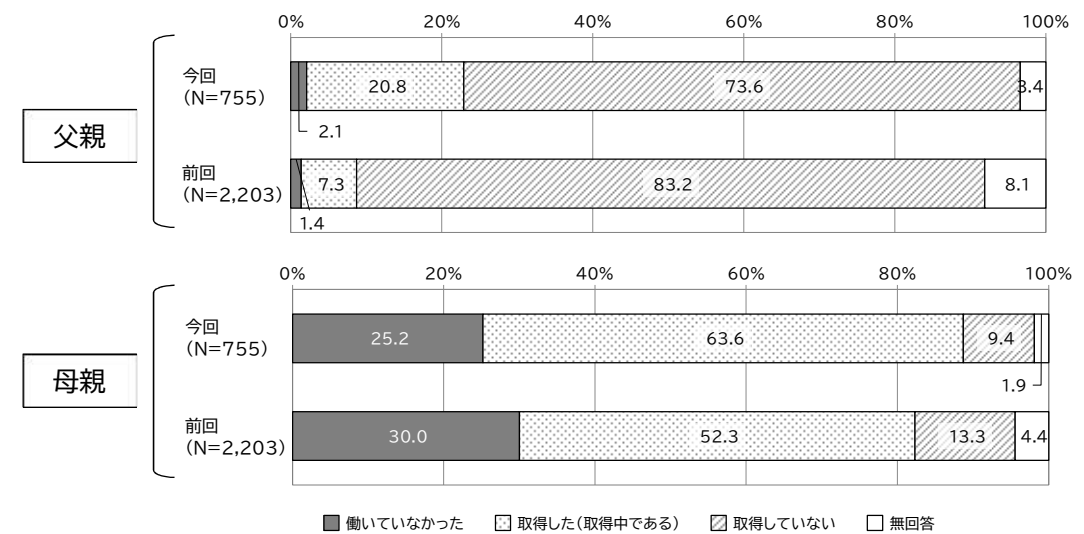
- 低学年・高学年ともに「習い事」が最も多く、次いで「自宅」「区立の学童クラブ」となっている。
- 「習い事」「自宅」は高学年の方が多く、「区立の学童クラブ」「放課GO→・放課GO→クラブ」は低学年の方が多くなっている。
- 前回調査と比べて、低学年・高学年ともに「習い事」「自宅」が多く、「区立の学童クラブ」が少なくなっている。



■今回(N=755) □前回(N=2,203)
 ※前回調査では「未定」の選択肢なし

(9) 職場の両立支援制度 (問36: 報告書P64、190)

- 父親は、育児休業を「取得した(取得中である)」が20.8%であり、前回調査の7.3%を大きく上回っている。
- 母親は、育児休業を「取得した(取得中である)」が63.6%であり、前回調査の52.3%を上回っている。

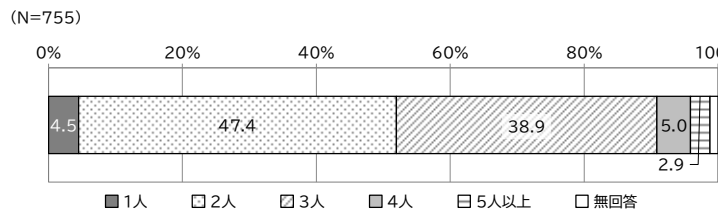


第2・3章 調査結果・調査結果の分析 1. 小学校入学前の子どもの保護者

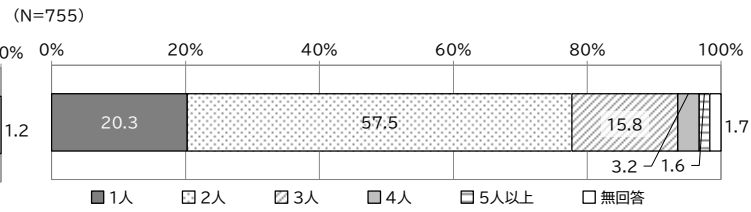
(10) 理想と持つつもりの子どもの数 (問38、問38-1、問38-2: 報告書P72、73、192)

- 理想的な子どもの数は2人(47.4%)又は3人(38.9%)が多いが、実際に持つつもりの子どもの数は2人(57.5%)又は1人(20.3%)が多くなっている。
- 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は45.0%であり、「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」(62.9%)、「家が狭いから」(52.4%)、「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」(36.8%)などの理由が多くなっている。

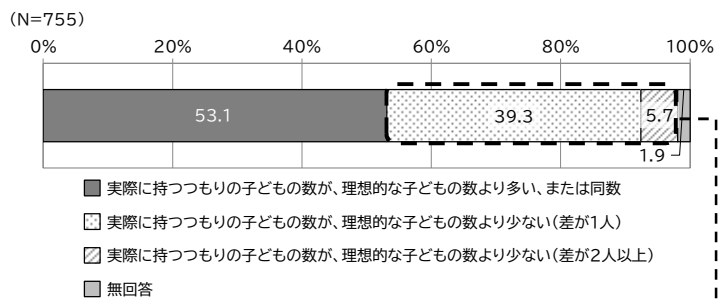
理想的な子どもの数(問38)



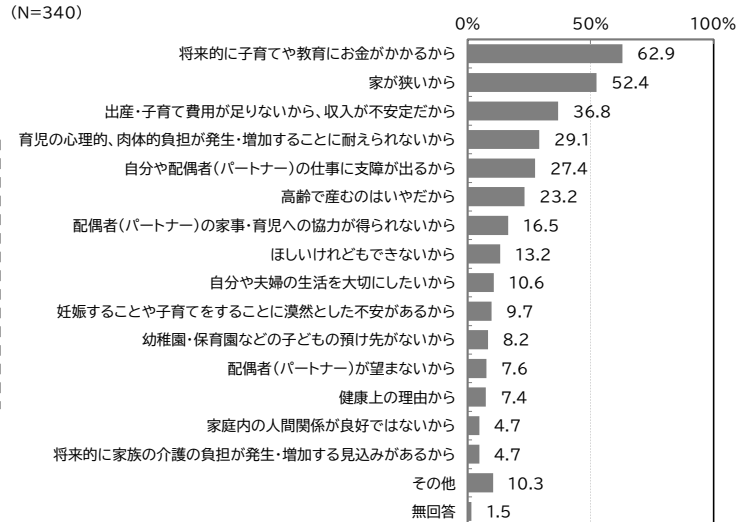
実際に持つつもりの子どもの数(問38-1)



理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の差



実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由(問38-2)

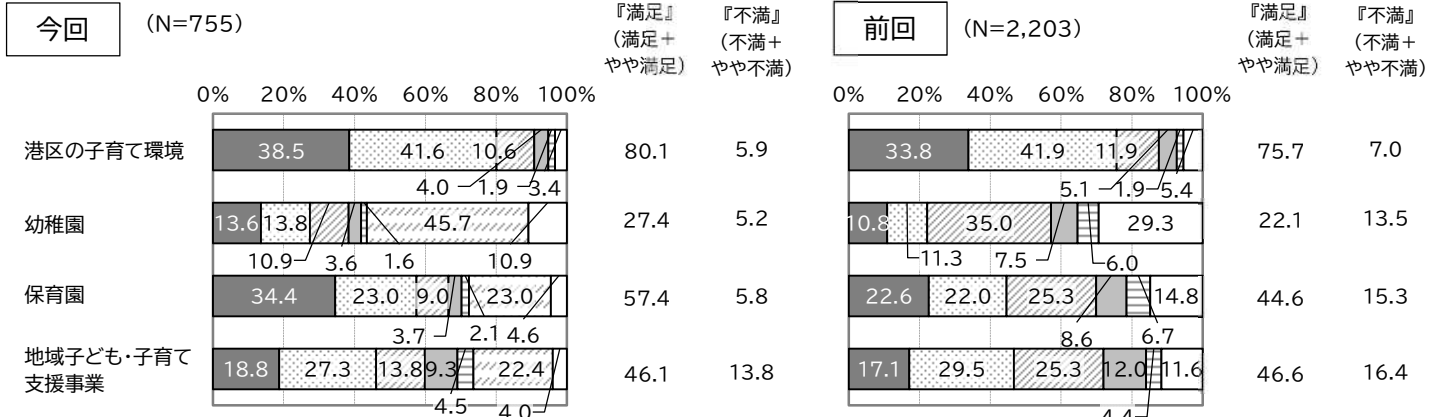


実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人: 45.0%

(11) 子育て環境 (問39: 報告書P74、194、195)

- “港区の子育て環境”“幼稚園”“保育園”“地域子ども・子育て支援事業”において、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を上回っている。
- 保育園は『満足』が57.4%であり、前回調査の44.6%を大きく上回っている。

今回 (N=755)



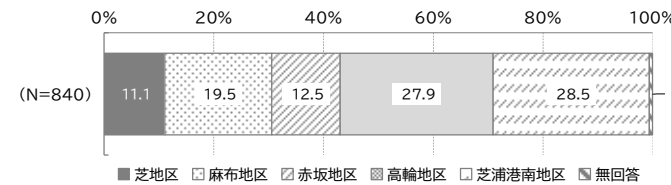
※前回調査と、今回調査の“港区の子育て環境”は「利用していない」の選択肢なし

第2・3章 調査結果・調査結果の分析 2. 小学生の保護者

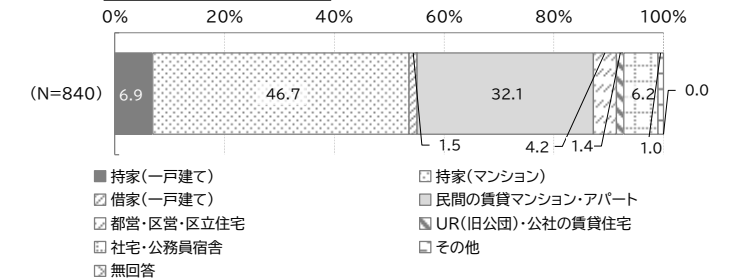
(1) 基本属性 (問1: 報告書P80、問2: 報告書P80、問7: 報告書P82、問8: 報告書P82)

- 子どもの学年は、1年生が最も多く、次いで4年生、2年生となっている。
- 居住地区は、芝浦港南地区が最も多く、次いで高輪地区、麻布地区となっている。
- 住まいは、「持家(マンション)」が46.7%と最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」が32.1%となっている。
- 居住年数は、10~20年未満が41.0%と最も多く、次いで5~10年未満が23.7%となっている。

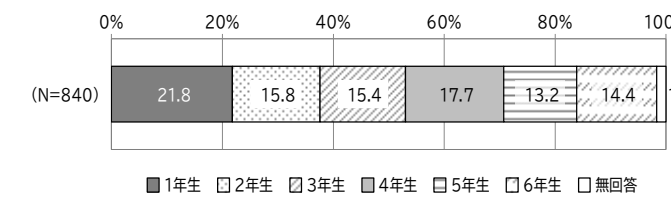
居住地区(問1)



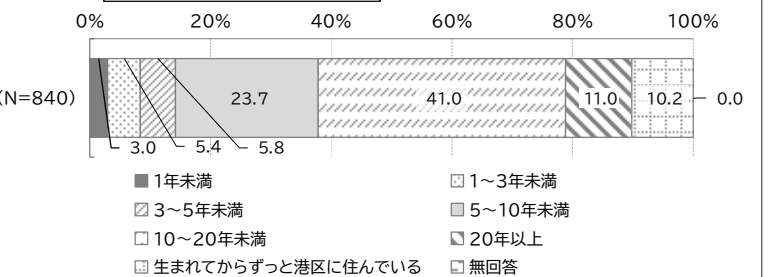
住まい(問7)



学年(問2)



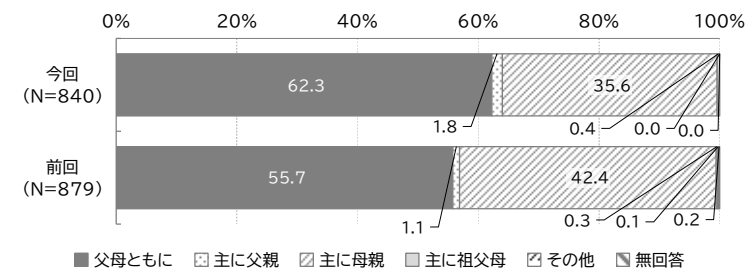
居住年数(問8)



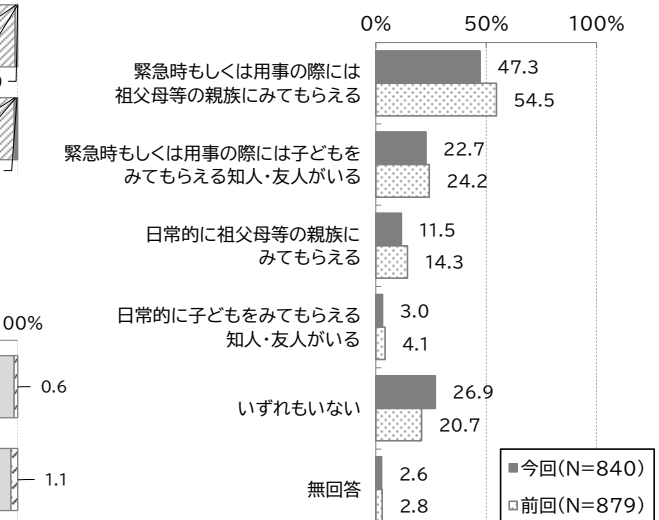
(2) 子育て状況 (問6: 報告書P81、200、問9: 報告書P84、200、問12: 報告書P88、202)

- 子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が62.3%であり、前回調査の55.7%を上回っている。
- 子どもをみてもらえる親族・知人は、「いずれもない」が26.9%であり、前回調査の20.7%を上回っている。
- 子育ての孤立感は、「あまりない」が39.9%と最も多いが、約3割が孤立感を感じている。

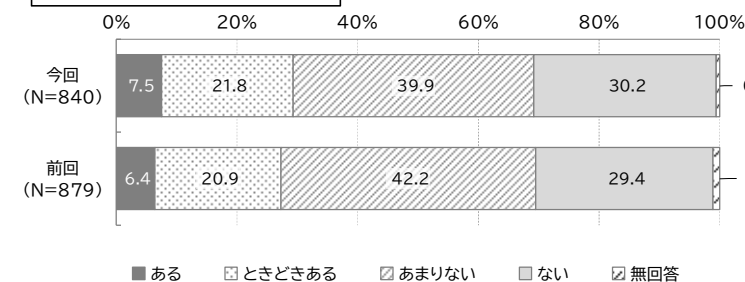
子育てを主に行っている人(問6)



子どもをみてもらえる親族・知人(問9)



子育ての孤立感(問12)

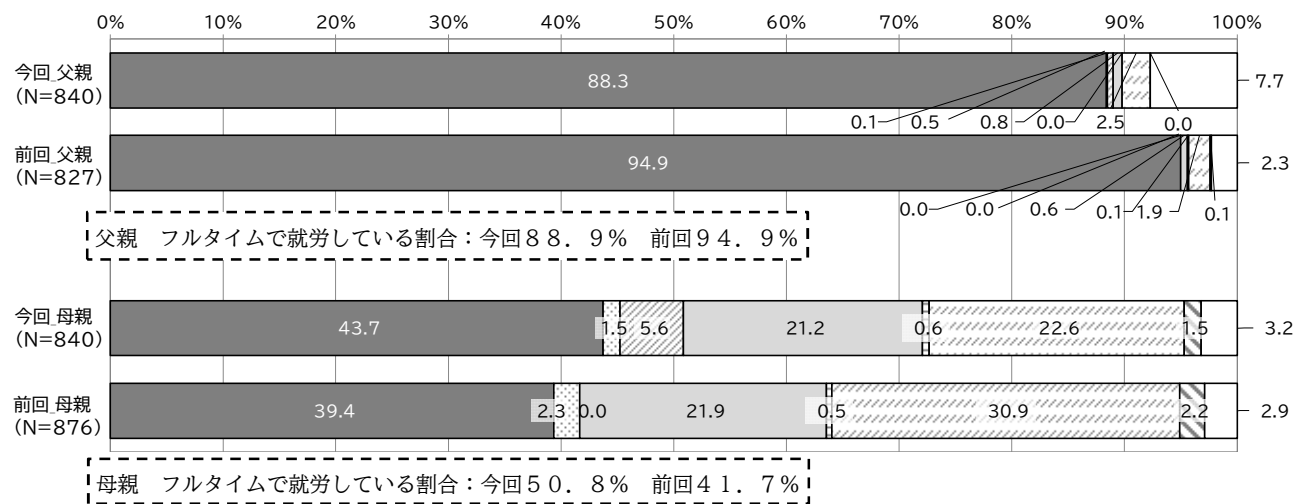


第2・3章 調査結果・調査結果の分析 2.小学生の保護者

(3) 就労・家計状況 (問15:報告書P90、203、問18:報告書P96、問20:報告書P97、204)

- 父親は、フルタイムで就労している割合が88.9%であり、前回調査の94.9%を下回っている。
- 母親は、フルタイムで就労している割合が50.8%であり、前回調査の41.7%を上回っている。
- 世帯年収は「1,000～1,500万円未満」が19.4%、「1,500～2,000万円未満」が15.8%となっている。
- 新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向きは、ひとり親は「今の方がやや苦しい」が37.0%、ふたり親は「変わらない」が47.6%と最も多くなっている。

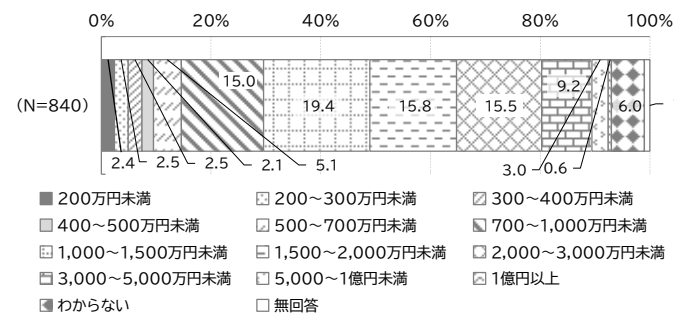
就労状況 (問15)



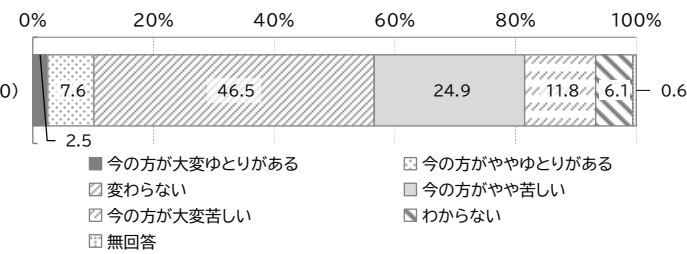
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
- ▩ パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- ▧ パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- 無回答

※母親の選択肢は「産休・育休・介護休業中」
 ※前回調査では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である」の選択肢なし
 ※前回調査では、父母について「死亡、離婚、未婚などでいない」と回答した数を集計から除外している

世帯年収 (問18)



新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き (問20)



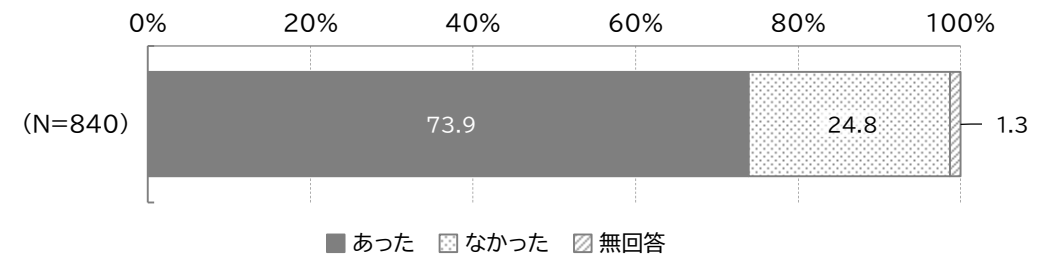
(単位：%)

	回答者数(人)	今の方が大変ゆとりがある	今の方がややゆとりがある	変わらない	今の方がやや苦しい	今の方が大変苦しい	わからない	無回答
全体	840	2.5	7.6	46.5	24.9	11.8	6.1	0.6
ひとり親	54	3.7	0.0	33.3	37.0	24.1	1.9	0.0
ふたり親	760	2.5	8.3	47.6	23.7	10.8	6.4	0.7

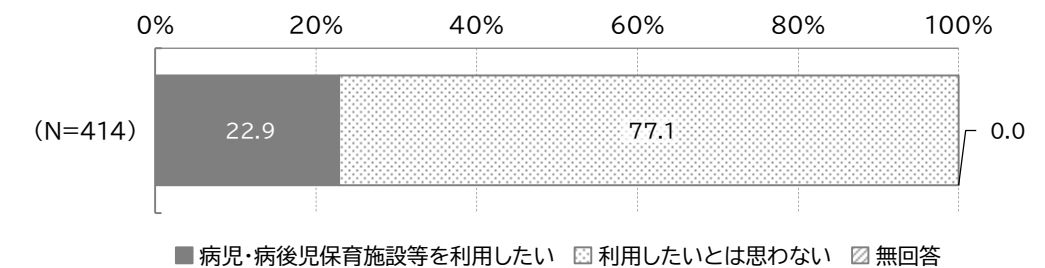
(4) 病気の際の対応 (問21:報告書P98、問21-2:報告書P100)

- この1年間に、子どもの病気等を理由に学校を休んだ割合は73.9%となっている。
- 父親または母親が仕事を休むことで対応した人のうち、病児・病後児保育施設等を利用したいと回答した割合は22.9%となっている。

この1年間に、子どもの病気等で学校を休んだこと (問21)



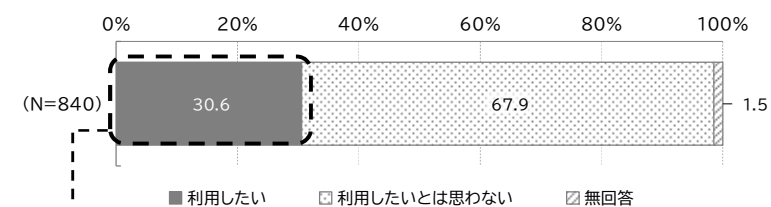
病児・病後児のための保育サービスの利用希望 (問21-2)



(5) 不定期に利用する事業(一時預かり等)の利用 (問23:報告書P104、105、209)

- 不定期の教育・保育事業等の利用を希望する割合は30.6%となっており、低学年の子どもの保護者は高学年の子どもの保護者と比べて、利用を希望する割合が多くなっている。
- 不定期の教育・保育事業等の利用を希望する目的は、「私用、リフレッシュ目的」が74.7%と最も多くなっている。

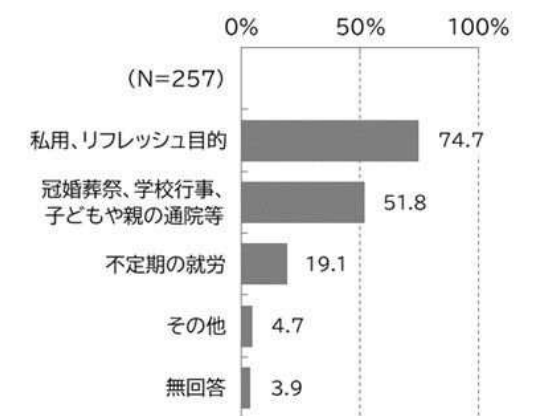
私用等で不定期に利用する事業の利用希望 (問23)



「利用したい」(学年別)

- 1年生：43.7%
- 2年生：36.1%
- 3年生：32.6%
- 4年生：26.2%
- 5年生：18.9%
- 6年生：20.7%

利用目的 (問23)

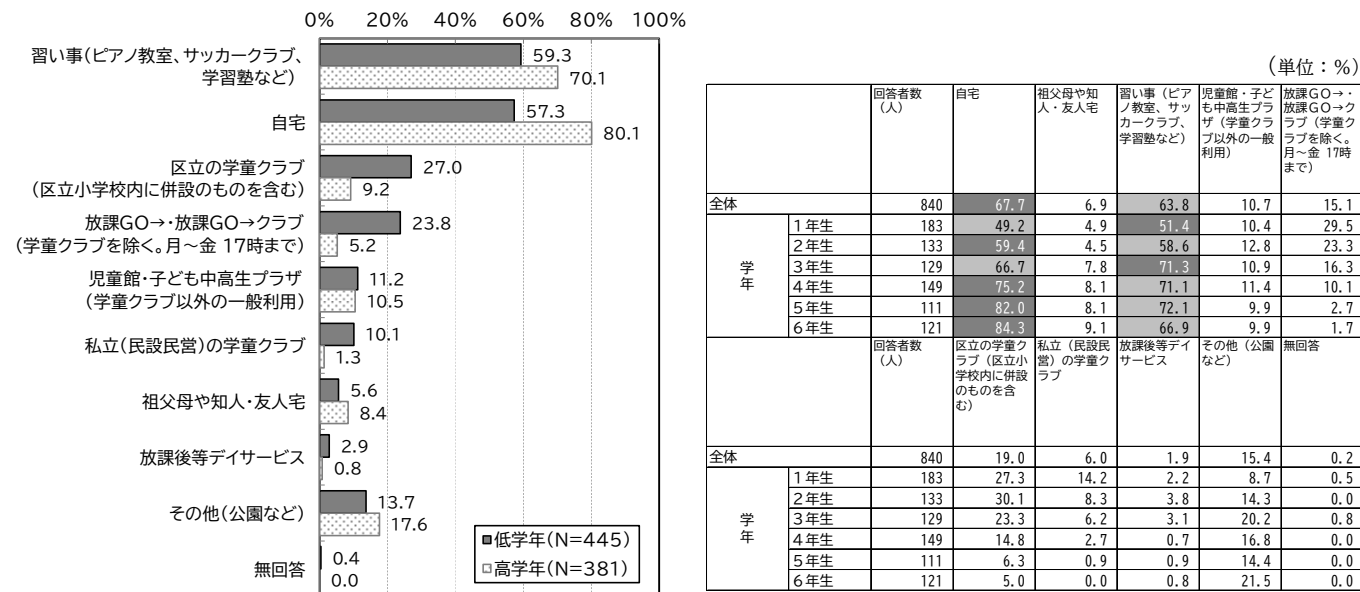


第2・3章 調査結果・調査結果の分析 2.小学生の保護者

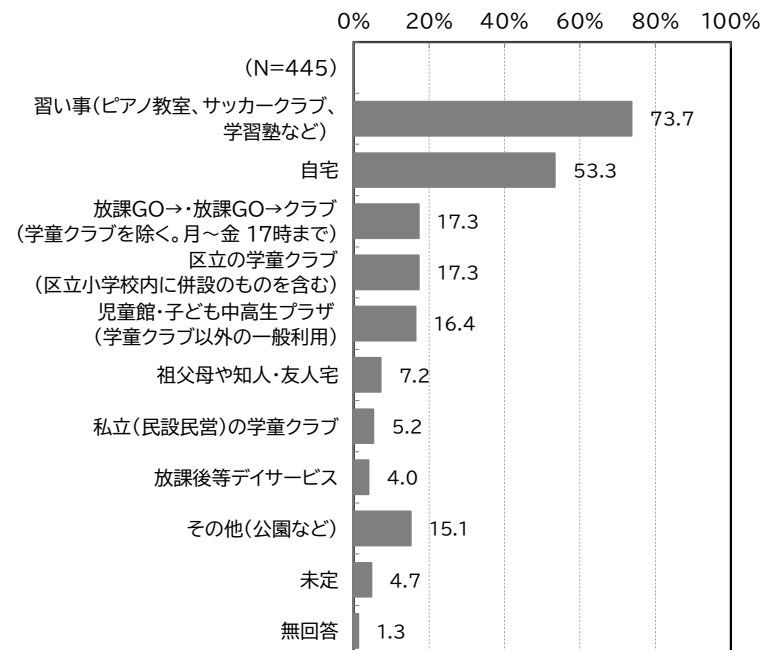
(6) 小学校での放課後の過ごし方 (問26: 報告書P108、210、211、問27: 報告書P110)

- 放課後に過ごしている場所について、低学年は「習い事」が59.3%と最も多く、次いで「自宅」が57.3%、「区立の学童クラブ」が27.0%となっている。高学年は「自宅」が80.1%と最も多く、次いで「習い事」が70.1%、「その他(公園など)」が17.6%となっている。低学年は高学年と比べて「区立の学童クラブ」「放課GO→・放課GO→クラブ」が多くなっている。
- 高学年のときに放課後に過ごさせたい場所(低学年の保護者のみ回答)は、「習い事」が73.7%と最も多く、次いで「自宅」が53.3%、「放課GO→・放課GO→クラブ」「区立の学童クラブ」がともに17.3%となっている。

放課後に過ごしている場所 (問26)



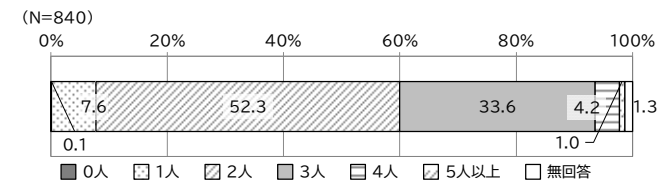
高学年のときに放課後に過ごさせたい場所 (問27) ※低学年の保護者のみ回答



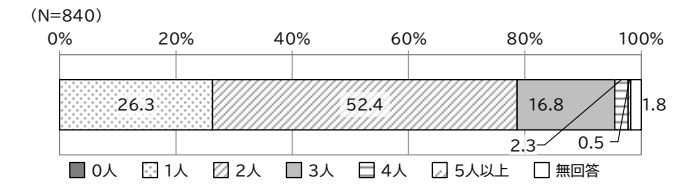
(7) 理想と持っつもりの子どもの数 (問31、問31-1、問31-2: 報告書P117、118、213)

- 理想的な子どもの数は2人(52.3%)又は3人(33.6%)が多いが、実際に持っつもりの子どもの数は2人(52.4%)又は1人(26.3%)が多くなっている。
- 実際に持っつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は40.3%であり、「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」(51.3%)、「家が狭いから」(38.6%)、「高齢で産むのはいやだから」(30.1%)などの理由が多くなっている。

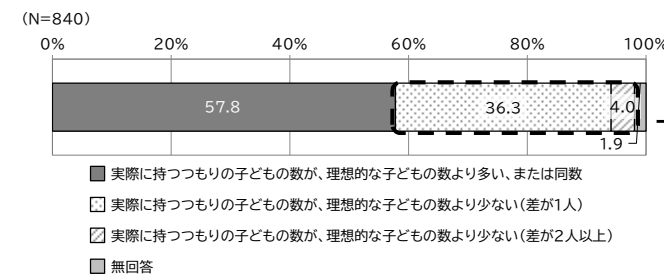
理想的な子どもの数 (問31)



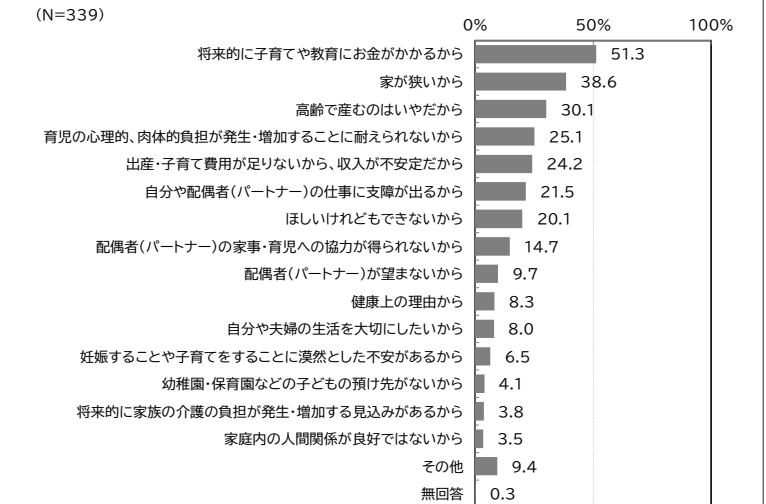
実際に持っつもりの子どもの数 (問31-1)



理想的な子どもの数と実際に持っつもりの子どもの数の差



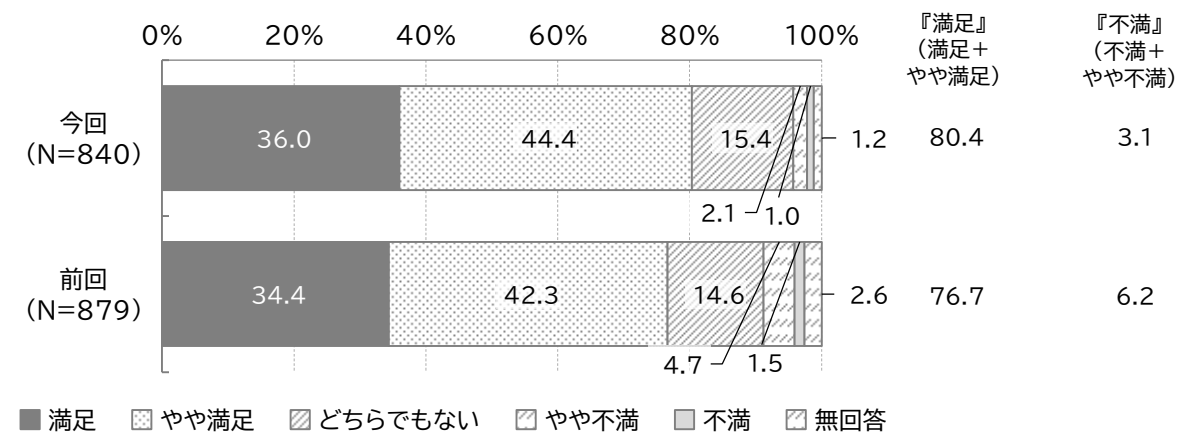
実際に持っつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由 (問31-2)



実際に持っつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人: 40.3%

(8) 子育て環境 (問32: 報告書P119、215)

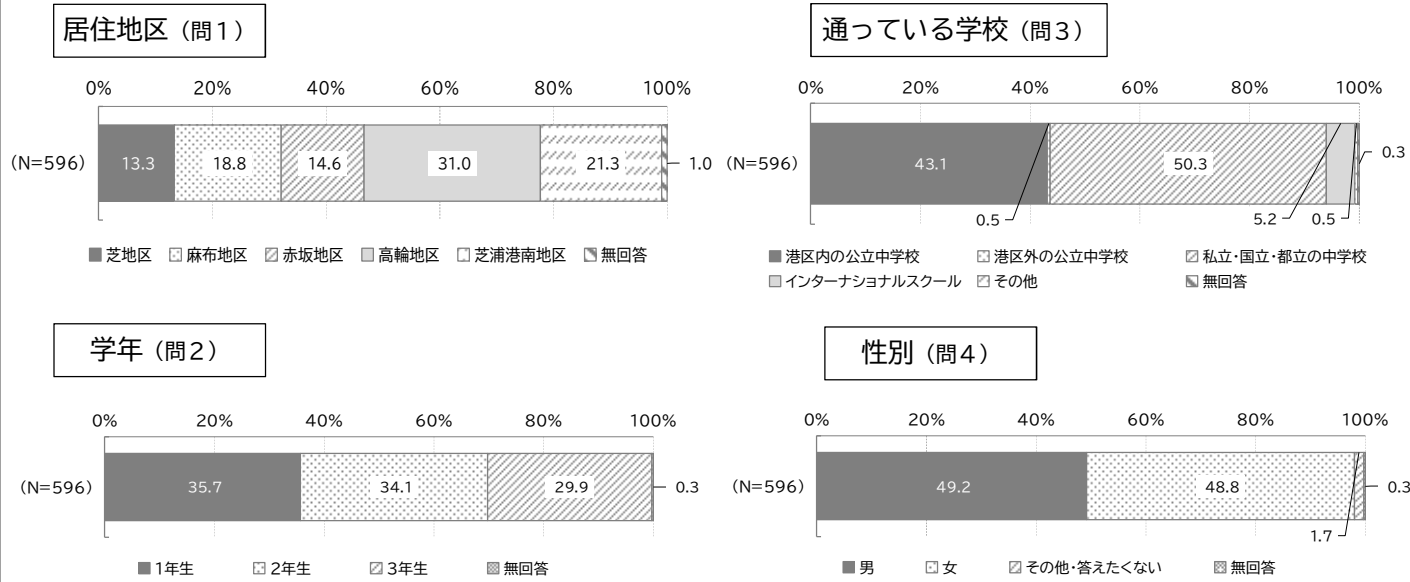
- 「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』(80.4%)が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』(3.1%)を大きく上回っている。
- 『満足』は80.4%であり、前回調査の76.7%を上回っている。



第2・3章 調査結果・調査結果の分析 3. 中学生

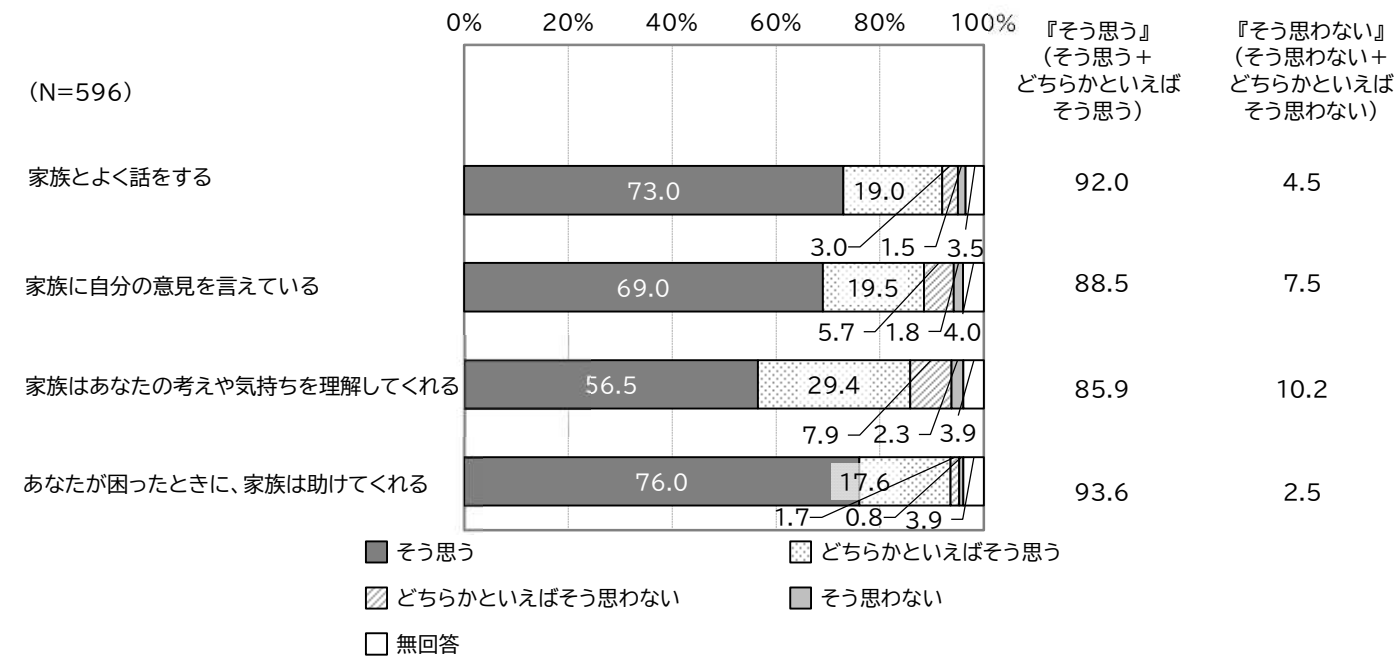
(1) 基本属性 (問1: 報告書P124、問2: 報告書P124、問3: 報告書P124、問4: 報告書P125)

- 居住地区は高輪地区が最も多く、次いで芝浦港南地区、麻布地区となっている。
- 通っている学校は、「私立・国立・都立の中学校」が50.3%と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」が43.1%となっている。



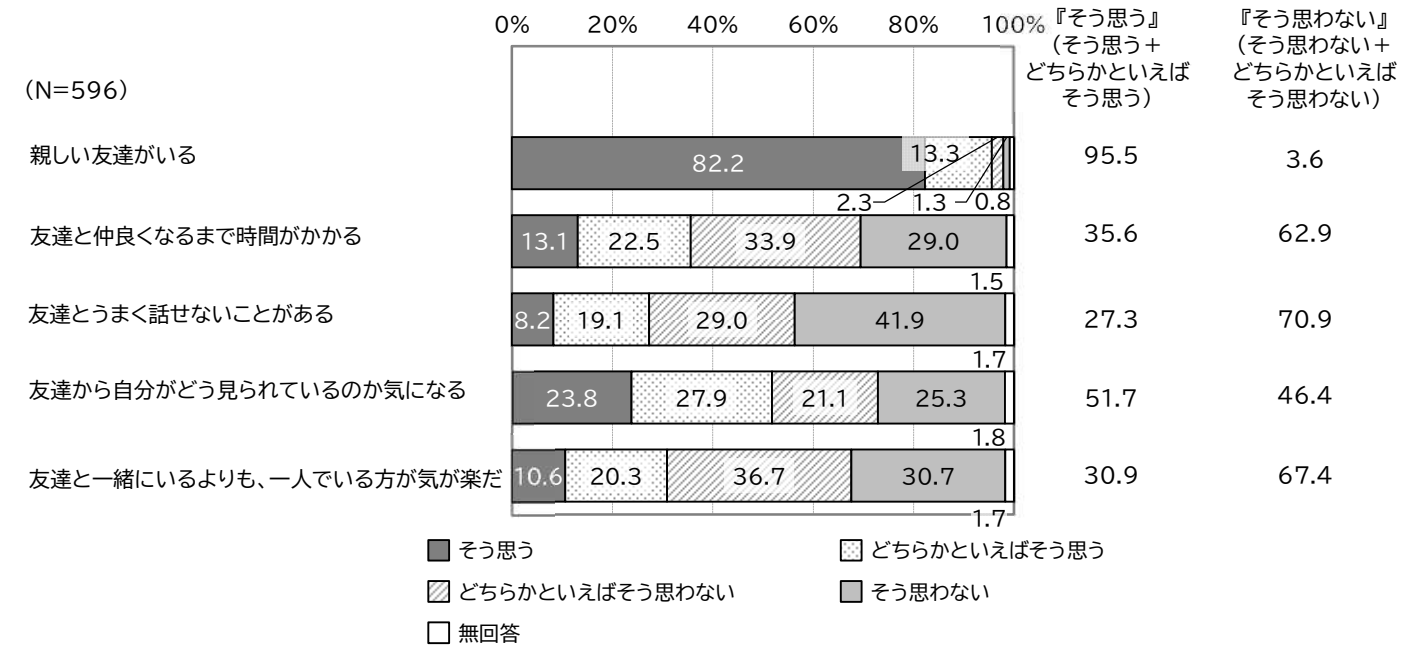
(2) 家族との関わり (問7: 報告書P126)

- “家族とよく話をする” “あなたが困ったときに、家族は助けてくれる” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が9割を超えている。
- “家族に自分の意見を言えている” “家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる” において、『そう思う』が8割を超えている。



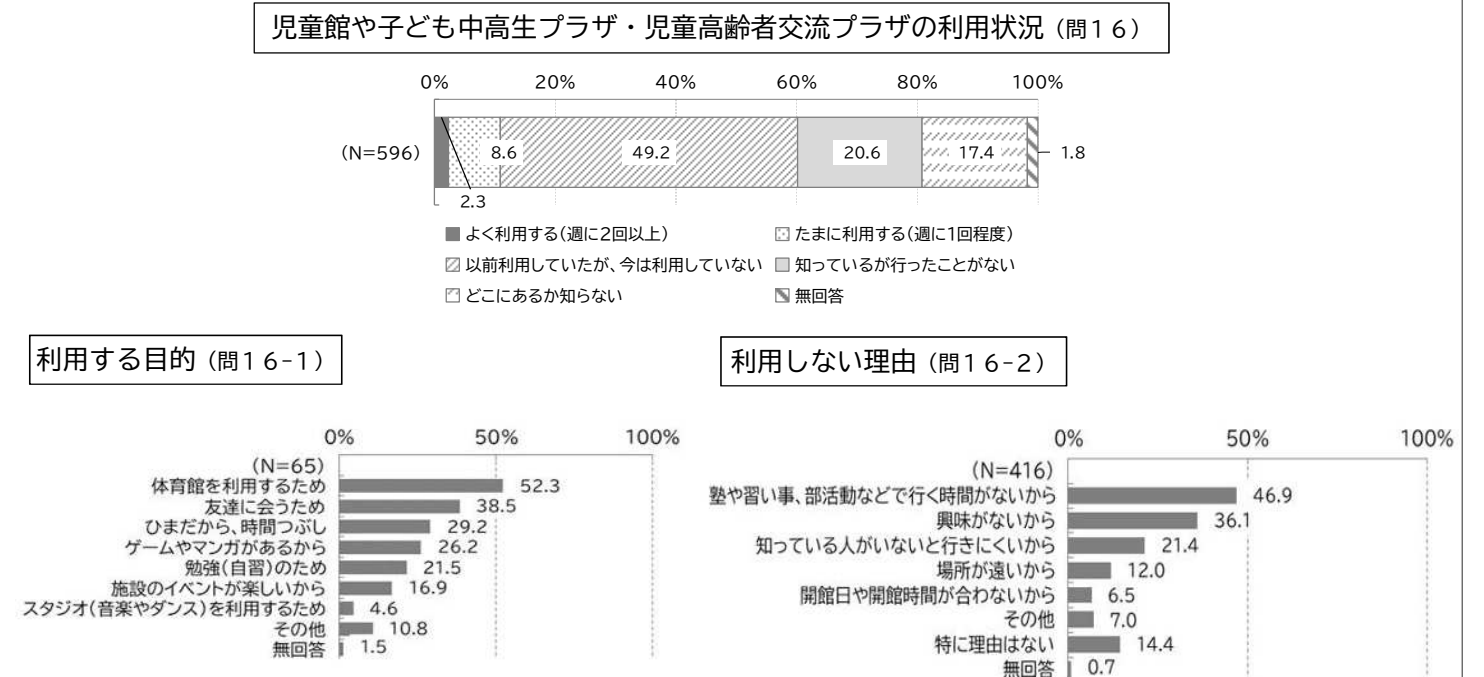
(3) 友達との関わり (問11: 報告書P131)

- “親しい友達がいる” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が9割を超えている。
- “友達から自分がどう見られているのか気になる” において、『そう思う』が5割を超えている。



(4) 施設 (児童館や子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザ) の利用状況 (問16: 報告書P134、問16-1: 報告書P135、問16-2: 報告書P135)

- 児童館や子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザを利用している割合は、「よく利用する (週に2回以上)」が2.3%、「たまに利用する (週に1回程度)」が8.6%であり、利用する目的は「体育館を利用するため」が52.3%と最も多く、次いで「友達に会うため」が38.5%となっている。
- 児童館等を利用しない理由は、「塾や習い事、部活動などに行く時間がないから」が46.9%と最も多く、次いで「興味がないから」が36.1%となっている。



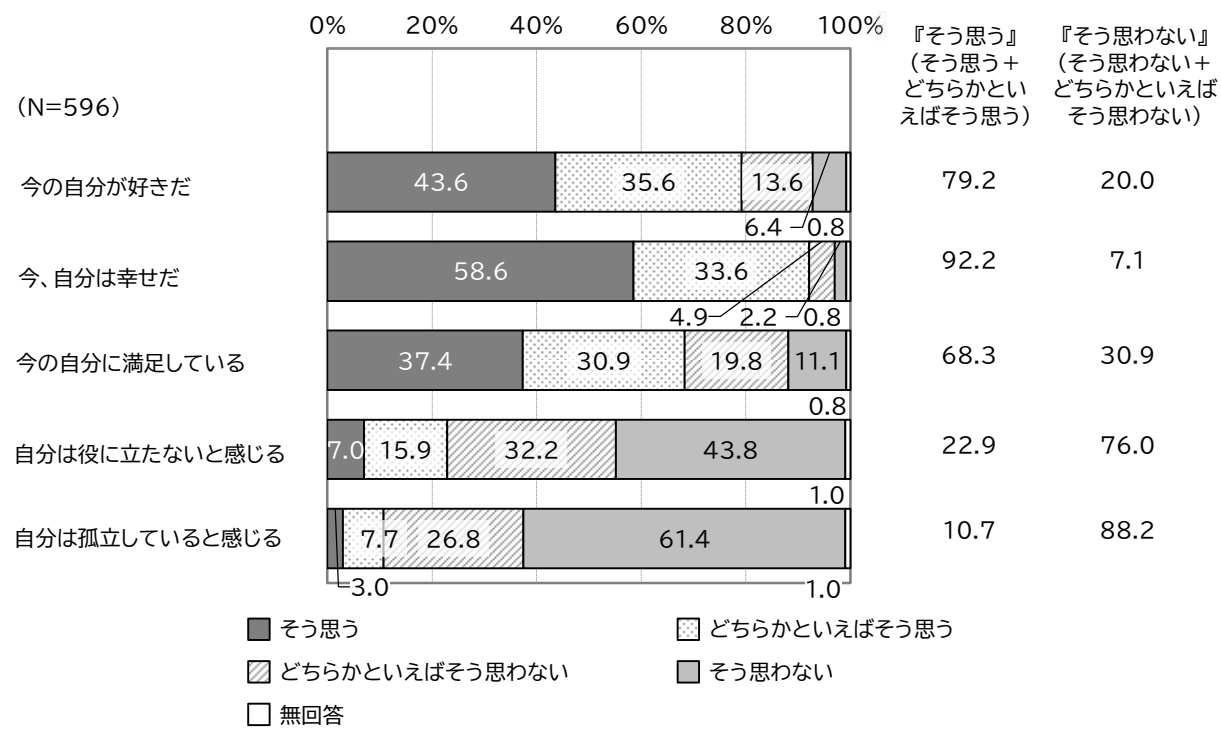
第2・3章 調査結果・調査結果の分析 3. 中学生

(5) 自分について感じていることや悩みごと

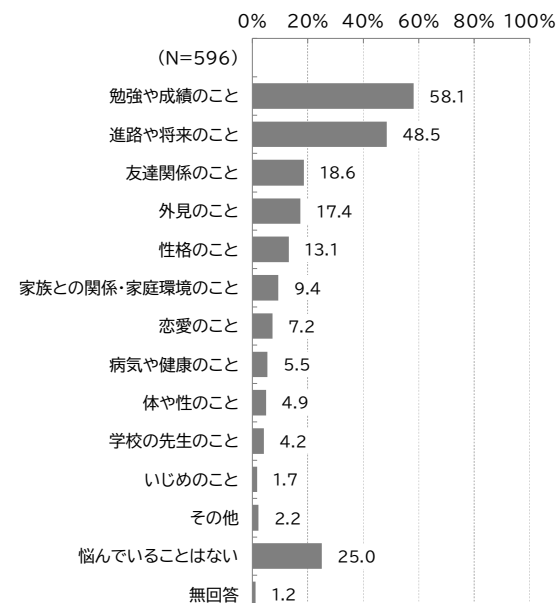
(問18：報告書P136、問19：報告書P137、問20：報告書P137)

- “今の自分が好きだ” “今、自分は幸せだ” “今の自分に満足している” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ79.2%、92.2%、68.3%となっている。
- “自分は役に立たないと感じる” “自分は孤立していると感じる” において、『そう思う』がそれぞれ22.9%、10.7%となっている。
- 現在の不安や悩みごとについては、「勉強や成績のこと」が58.1%と最も多く、次いで「進路や将来のこと」が48.5%となっている。
- 悩みごとの相談先は「母親」が63.4%と最も多く、次いで「友達」が59.6%、「父親」が29.5%となっている。

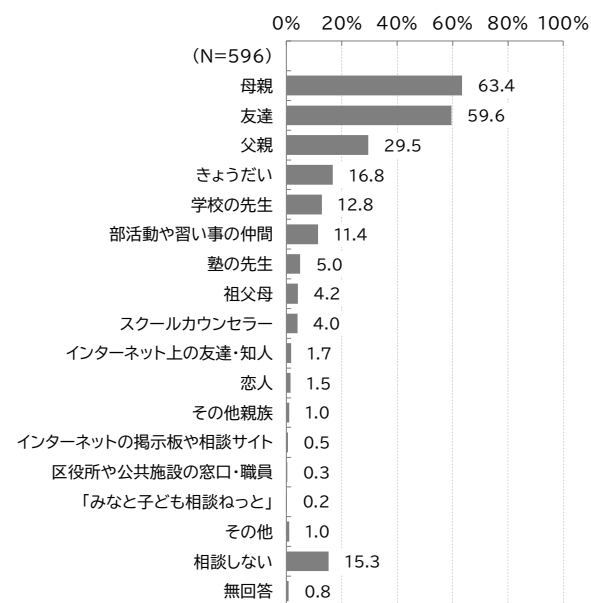
自分について感じていること (問18)



現在の不安や悩みごと (問19)



悩みごとの相談先 (問20)

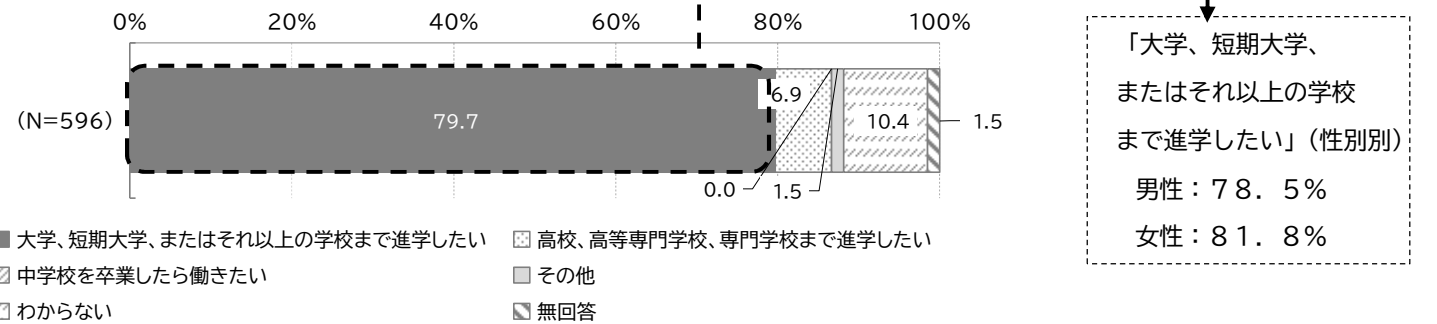


(6) 将来のイメージ

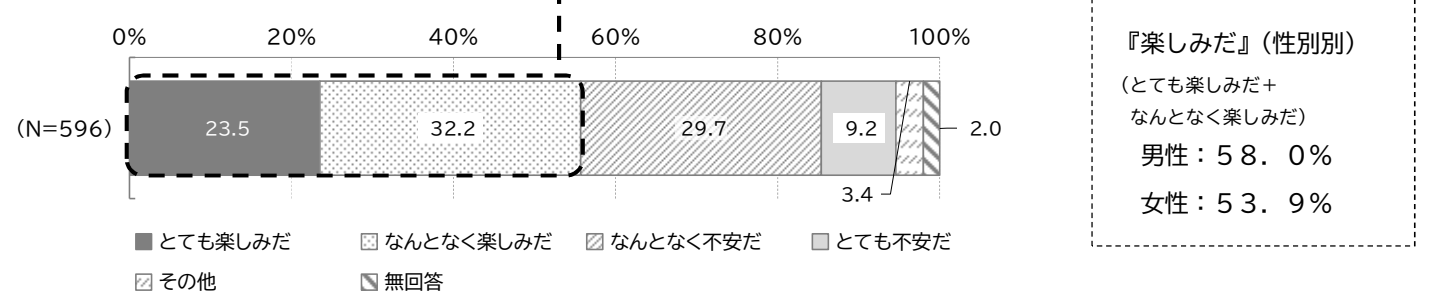
(問22：報告書P139、232、問24：報告書P140、232、問25：報告書P140、233、問26：報告書P141、234)

- 大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学することを希望している割合は79.7%となっている。
- 進学や就職については、5割以上が楽しみだと感じている一方、約4割が不安だと感じている。
- 結婚については、約6割が結婚したいと考え、約1割が結婚したくないと考えている。
- 子どもを持つことについては、約5割が子どもがほしいと考え、約1割が子どもはほしくないと考えている。

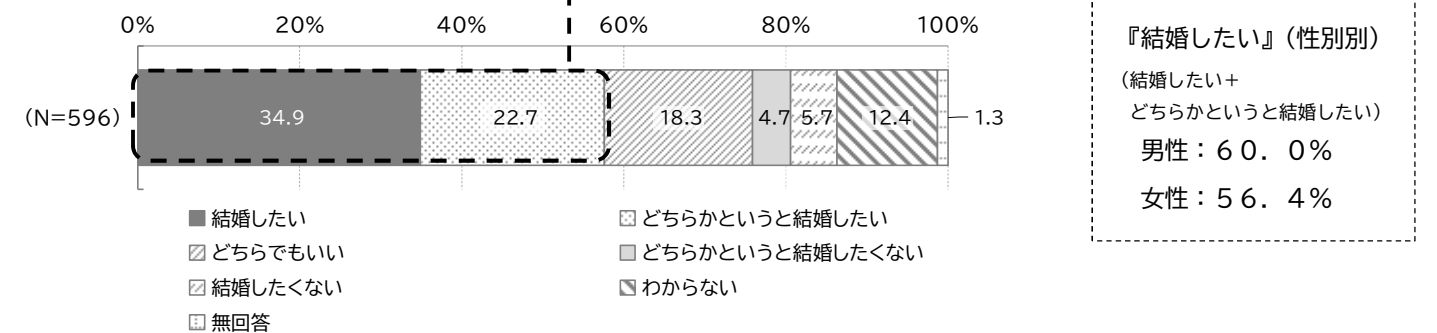
将来の進路 (問22)



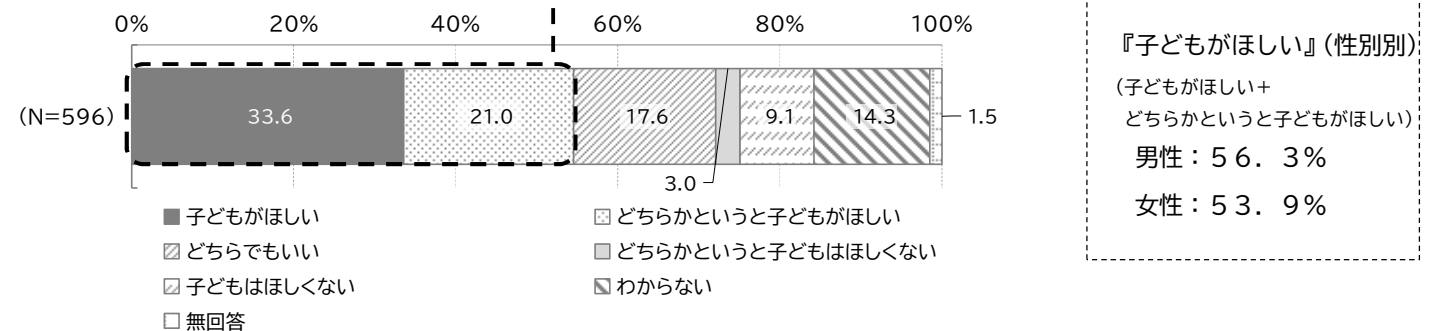
進学や就職 (問24)



結婚 (問25)



子どもを持つこと (問26)



第2・3章 調査結果・調査結果の分析 4. 高校生世代から39歳まで

(1) 基本属性

(問2、問5、問6、問38、問42：報告書P142～144、160、162、236)

- 回答者の年齢割合は、高校生世代（15-17歳）が4.6%、大学生世代（18-21歳）が7.3%、青・壮年期（22-29歳）が26.3%、青・壮年期（30-39歳）が61.8%となっている。
- 住まいについては、高校生世代、大学生世代は「自分以外の持家(マンション)」、青・壮年期は「民間の賃貸マンション・アパート」が最も多くなっている。
- 居住年数については、高校生世代、大学生世代は「10年以上」が7割以上なのに対し、青・壮年期は「10年未満」が7割以上となり、「10年以上」は約2割にとどまる。
- 結婚している人（結婚したことがある人を含む）の割合は、大学生世代が2.8%、青・壮年期（22-29歳）が24.6%、青・壮年期（30-39歳）が75.2%となっている。
- 子どもがいる人の割合は、大学生世代が2.8%、青・壮年期（22-29歳）が7.7%、青・壮年期（30-39歳）が50.3%となっている。

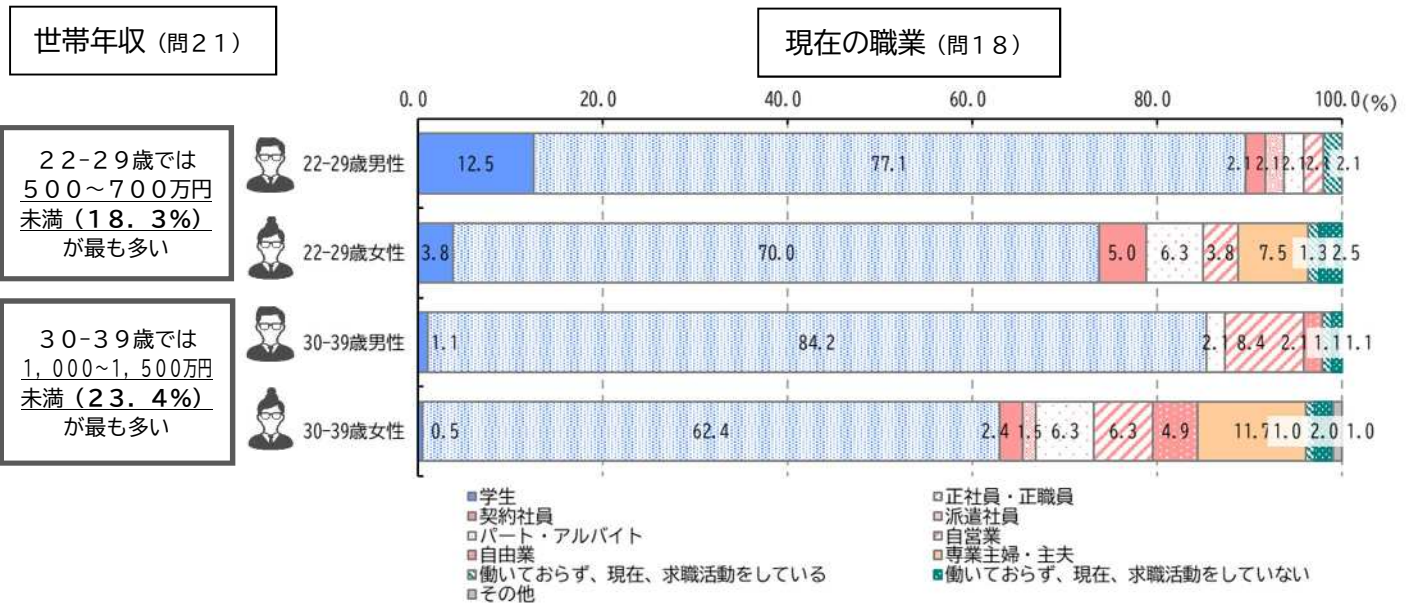
ライフステージ想定	⇒⇒⇒両親と同居⇒⇒⇒		⇒⇒就職⇒⇒結婚⇒⇒子育て⇒⇒	
	高校生世代 (N=23) 【4.6%】	大学生世代 (N=36) 【7.3%】	22-29歳 (N=130) 【26.3%】	30-39歳 (N=306) 【61.8%】
住まい【問5】	1 自分以外の持家(マンション) 39.1%	1 自分以外の持家(マンション) 33.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 52.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 56.5%
	2 自分以外の持家(一戸建て) 17.4%	2 民間の賃貸マンション・アパート 22.2%	2 自分以外の持家(マンション) 18.5%	2 持家(マンション) 17.6%
	3 民間の賃貸マンション・アパート 13.0%	3 自分以外の持家(一戸建て)、持家(マンション) いずれも 13.9%	3 社宅・公務員宿舎 11.5%	3 自分以外の持家(マンション) 10.1%
居住年数【問6】	10年未満 17.4% 10年以上 82.6%	10年未満 27.8% 10年以上 72.2%	10年未満 75.4% 10年以上 24.6%	10年未満 76.1% 10年以上 23.9%
結婚している人(結婚したことがある人を含む)の割合【問38】	-	2.8%	24.6%	75.2%
子どもがいる人の割合【問42】	-	2.8%	7.7%	50.3%

結婚している人(結婚したことがある人を含む)の平均年齢 **34.2歳**

子どもがいる人の平均年齢 **35.0歳**

(2) 就労状況 (問18、問21：報告書P149、151、238)

- 現在の職業については、青・壮年期（22-29歳）は、男性の77.1%、女性の70.0%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。青・壮年期（30-39歳）も同様に、男性の84.2%、女性の62.4%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。
- 世帯年収については、青・壮年期（22-29歳）は「500～700万円未満」（18.3%）、青・壮年期（30-39歳）は「1,000～1,500万円未満」（23.4%）が最も多くなっている。



(3) 家族、友人、職場、地域との関わり

(問27(1)、問28(1)、問29(1)、問30(1)：報告書P154、155、240)

“家族・親族”“学校で出会った友人”“職場の人”“地域の人”と会話やメール等をよくしているか

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合は、年齢が高くなるにつれて“家族・親族”“学校で出会った友人”“地域の人”が少なく、“職場の人”が多くなっている。
- どの世代においても、“地域の人”は、“家族・親族”“学校で出会った友人”“職場の人”と比べて『そう思う』の割合が少なくなっている。

	高校生世代	大学生世代	青・壮年期	
			22-29歳	30-39歳
家族・親族【問27(1)】	そう思う 95.7% そう思わない 4.3%	そう思う 97.2% そう思わない 2.8%	そう思う 88.5% そう思わない 11.5%	そう思う 89.9% そう思わない 10.1%
学校で出会った友人【問28(1)】	そう思う 100.0% そう思わない 0.0%	そう思う 75.0% そう思わない 25.0%	そう思う 76.2% そう思わない 23.8%	そう思う 55.9% そう思わない 44.1%
職場の人【問29(1)】	そう思う 66.7% そう思わない 33.3%	そう思う 48.1% そう思わない 51.9%	そう思う 70.9% そう思わない 29.1%	そう思う 80.1% そう思わない 19.9%
地域の人【問30(1)】	そう思う 41.2% そう思わない 58.8%	そう思う 21.2% そう思わない 78.8%	そう思う 7.3% そう思わない 92.7%	そう思う 28.9% そう思わない 71.1%

※表中の「そう思う」の割合は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答割合の合計
 ※表中の「そう思わない」の割合は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の回答割合の合計

第2・3章 調査結果・調査結果の分析 4. 高校生世代から39歳まで

(4) 悩みごとや相談先 (問34、問35：報告書P157、158、242)

- 現在の不安や悩みごとについては、高校生世代、大学生世代、青・壮年期（22-29歳）は「自分の将来」、青・壮年期（30-39歳）は「お金のこと」が最も多くなっている。
- 悩みごとの相談先については、高校生世代は「父母」、大学生世代、青・壮年期（22-29歳）は「友人・知人」、青・壮年期（30-39歳）は「配偶者（パートナー）」が最も多くなっている。

	高校生世代	大学生世代	青・壮年期	
			22-29歳	30-39歳
現在の不安や悩みごと【問34】	1 自分の将来 56.5%	1 自分の将来 58.3%	1 自分の将来 60.8%	1 お金のこと 56.9%
	1 受験・進路 56.5%	2 仕事・就職 36.1%	2 お金のこと 54.6%	2 自分の将来 50.7%
	3 親、親戚との関係、友人関係 いずれも17.4%	3 お金のこと 30.6%	3 仕事・就職 27.7%	3 仕事・就職、子育て いずれも33.7%
悩みごとの相談先【問35】	父母 65.2%	知人・友人 61.1%	知人・友人 67.7%	配偶者（パートナー） 63.4%

(5) 結婚 (問39、問41：報告書P161、162、244)

- 結婚していない理由は、高校生世代、大学生世代は「結婚するにはまだ若いから」、青・壮年期は「適当な相手にめぐりあわないから」が最も多くなっている。
- 今後の結婚意向については、高校生世代、大学生世代は、約7割が結婚したいと回答している。青・壮年期（22-29歳）では男女ともに7割以上が結婚したいと回答しているが、青・壮年期（30-39歳）はその割合がやや少なくなっている。

	高校生世代 【未婚率100.0%】	大学生世代 【未婚率97.2%】	青・壮年期	
			22-29歳 【未婚率76.2%】	30-39歳 【未婚率28.4%】
結婚していない理由【問39】	1 結婚するにはまだ若いから 78.3%	1 結婚するにはまだ若いから 77.1%	1 男 適当な相手にめぐりあわない 56.4% 女 適当な相手にめぐりあわない 55.2%	1 男 適当な相手にめぐりあわない 57.1% 女 適当な相手にめぐりあわない 57.1%
	2 学業や仕事に打ち込みたいから 13.0%	2 学業や仕事に打ち込みたいから 22.9%	2 男 結婚するにはまだ若い 41.0% 女 結婚する必要性を感じない 24.1%	2 男 結婚資金が足りない、収入不安定 31.4% 女 結婚する必要性を感じない 38.8%
	3 適当な相手にめぐりあわないからほか5件 いずれも4.3%	2 適当な相手にめぐりあわないから 22.9%	3 男 結婚資金が足りない、収入不安定 35.9% 女 家族を持つ責任がなく、気楽 22.4%	3 男 結婚する必要性を感じない 28.6% 女 独身で生活できる経済力がある 30.6%
今後の結婚意向【問41】	結婚したい 69.6%	結婚したい 74.3%	男 結婚したい 74.4% 女 結婚したい 79.3%	男 結婚したい 51.4% 女 結婚したい 57.1%

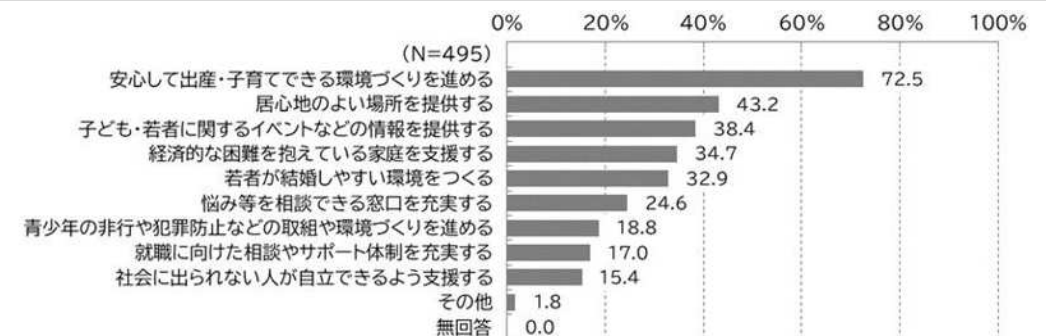
(6) 子どもを持つこと (問42、問43、問45、問47、問48、問49：報告書P163~166、246)

- どの世代においても、6~7割程度が、今後、子どもを持ちたいと考えている。
- 子どもがいない理由は、どの世代においても「結婚していない、交際相手がないから」が最も多くなっている。
- 理想の子どもの数より実際に持つつもりの子どもの数が少ないと回答した割合は、青・壮年期（22-29歳）が40.8%、青・壮年期（30-39歳）が41.5%となっている。

	高校生世代 【子どもがいる割合0.0%】	大学生世代 【子どもがいる割合2.8%】	青・壮年期	
			22-29歳 【子どもがいる割合7.7%】	30-39歳 【子どもがいる割合50.3%】
現在の子どもの人数【平均】【問43】	-	1.00人	1.20人	1.55人
今後子どもを持つことの意向【問47】	子どもを持ちたい 60.9%	子どもを持ちたい 68.6%	男 子どもを持ちたい 71.1% 女 子どもを持ちたい 72.6%	男 子どもを持ちたい 64.8% 女 子どもを持ちたい 63.2%
現在子どもがいない理由【問45】	1 結婚していない、交際相手がないから 82.6%	1 結婚していない、交際相手がないから 94.3%	1 男 結婚していない、交際相手がない 77.8% 女 結婚していない、交際相手がない 67.1%	1 男 結婚していない、交際相手がない 57.4% 女 結婚していない、交際相手がない 38.9%
	2 子どもを持つにはまだ若いから 43.5%	2 子どもを持つにはまだ若いから 22.9%	2 男 子どもを持つにはまだ若い 24.4% 女 出産・子育て費用が足りない、将来的に子育てや教育にお金がかかる いずれも26.0%	2 男 将来的に子育てや教育にお金がかかる 27.8% 女 妊娠や子育てに漠然とした不安がある、ほしければ子どもできない いずれも18.9%
	3 妊娠や子育てに漠然とした不安があるからほか3件 いずれも4.3%	3 出産・子育て費用が足りない、収入が不安定だからほか2件 いずれも2.9%	3 男 出産・子育て費用が足りない、将来的に子育てや教育にお金がかかる いずれも11.1% 女 妊娠や子育てに漠然とした不安がある 23.3%	3 男 出産・子育て費用が足りない、家が狭い いずれも22.2% 女 将来的に子育てや教育にお金がかかる 16.8%
理想の子どもの数【平均】【問48】	2.21人	1.77人	2.06人	1.99人
持つつもりの子どもの数【平均】【問49】	1.78人	1.47人	1.47人	1.50人
理想より持つつもりの子どもの数が少ない人の割合	21.7%	25.0%	40.8%	41.5%

(7) 子ども・若者支援施策 (問51：報告書P168)

- 港区に望む子ども・若者施策は、「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」が72.5%と最も多く、次いで「居心地のよい場所を提供する」が43.2%、「子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する」が38.4%となっている。



第4章 自由意見

ご記入いただいた自由意見のうち、一部の意見を抜粋して記載する。なお、記載にあたって文言等を修正している場合がある。

1. 小学校入学前の子どもの保護者

- ・未就学児の子供が3人いる共働き世帯で両親の援助は遠方のため見込めません。保育園をせめて3人一緒に入れてもらえるよう、優遇してほしいです。3人一緒にいられないと送迎の負担が増大します。【0歳・30代母親】
- ・幼稚園の預かり保育の最終時間をもっと遅くしてほしい。(19～20時まで緊急時に預かってもらえれば、共働きでも教育の選択肢が広がります)【0歳・30代母親】
- ・小・中学校のインクルーシブ教育を進め、障害児を地域から切り離さないでほしい。【1歳・30代母親】
- ・保育士の給料を上げる、配置数を増やすなどし、安全第一を確保してほしい。【1歳・40代母親】
- ・一時預りの予約が取れない(特に0才、1才)。親が病気になった時など、翌日に預けたい時でも取れたことはない。1か月前から予約しておかないといけないのが使いづらい。【2歳・30代母親】
- ・乳児はあっぱいやPokkeなどを利用できるが、幼児が安全に体を動かして遊べる場所が少ない。遊具のある公園など。加えて、雨の日でも遊べる施設もあると良い。【3歳・30代父親】

2. 小学生の保護者

- ・区立小学校、中学校の体力向上、学力向上が、共に期待できると良いと思います。質の良い教育環境、指導が行われるように、教員の給料アップや、民間や外部からの人員の増加をしていただき、子ども達が学びを楽しめるような教育環境を作っていただきたいです。【3年生・40代母親】
- ・幼保から小学生のギャップをより丁寧に埋める施策を希望します。病児保育の有無や、子どもの預け入れ期間に差がありすぎて、両親フルタイム勤務世帯と施策やシステムが一切マッチしません。【3年生・40代母親】
- ・小学校高学年の子どもが放課後に過ごせる場所を用意してほしい。学校を利用したスポーツ、学習、何もしなくてもよい場所、等で、クラスの友達とは違う人間関係がもてるとよい。【6年生・40代母親】
- ・自分で調べないと申請できないのではなく、対象者には全て案内してほしい。【1年生・40代母親】

3. 中学生

- ・勉強をサポートする会みたいなものをもっと増やしてほしいです。【2年生・女性】
- ・いろいろな友達や人と会って楽しめる施設、学校でも他の学校の人と集まる機会があって楽しいので良いと思います。【2年生・女性】
- ・学校に行けない子どもの居場所がないのが困る。気軽にいつでも受け入れてくれる場所があるといい。【1年生・男性】
- ・もっと遊べる所を増やしてほしい(野球、バレーボールなど球技が出来る所が少ないから)友達と過ごすのにお金のかからない場所。【2年生・女性】
- ・私の家族は兄弟が多いので子供に対する補償や支援があると良い。塾で学ぶ為のお金を出してほしい。【3年生・女性】
- ・他人に知られたくないような悩みごとを“匿名”で相談できるサービスをつかって、分かりやすいように宣伝してほしいです。【2年生・女性】

4. 高校生世代から39歳まで

- ・共働きの家事支援を充実させて欲しい。【39歳・女性】
- ・若い世代の子達が、結婚や育児しやすいように一時的な助成金および継続可能な助成金があると良いのではないかと思います。【31歳・男性】
- ・港区に住んでいて子育て世代への助成金など支援は豊富であるように思う。ありがたく思う反面、やはり都内に住んで子どもを1人以上もつことは厳しい。低所得者への支援ではなく、全体的な底上げをお願いいたします。【30歳・女性】
- ・どんな制度があるのか、若い世代の人にも分かりやすいような説明やお知らせがあると良いのではないかと思います。【17歳・女性】

第5章 調査結果から示唆される課題と対応の方向性

調査結果から示唆される課題と対応の方向性においては、関連する調査対象を下記のとおり記載している。

入学前・・・小学校入学前の子どもの保護者
小・・・小学生の保護者
中・・・中学生
高/若者・・・高校生世代から39歳まで

1. 教育・保育事業における適正な量の確保と質の向上

【調査結果】

- ・平日の定期的な教育・保育事業の利用は、0歳児が29.5%、1歳児が75.5%、2歳児が86.8%、3歳児が99.0%、4歳児が97.5%、5歳児が94.6%であり、0～5歳児全体で76.0%となっている(入学前問21)。前回調査の0～5歳の利用率は73.9%となっており、教育・保育の利用はこの5年間で2.1ポイント増加している。
- ・幼稚園利用者の約6割、保育園利用者の約8割が、そのサービス内容について満足していると回答するなど(入学前問39)、教育・保育事業に対する満足度は高い一方で、自由意見では、教育・保育内容の質の向上や、教育・保育従事職員の確保・定着の支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・今後も適正な教育・保育の量を確保し、保育園待機児童ゼロを継続するとともに、質の向上を図ることを通じて、子どもの健やかな成長を支えていく必要がある。

2. 地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実

【調査結果】

- ・地域子ども・子育て支援事業のうち、一時預かり事業については、68.2%が不規則の教育・保育事業等を今後利用したいと回答するなど、ニーズの高さがうかがえる(入学前問30)。その一方で、自由意見では、「予約が取れない」など、量的な拡充を求める意見があった。
- ・0歳児の保護者のうち約7割が在宅で子育てをしており(入学前問21)、0歳児の保護者は不規則の教育・保育事業等の利用を希望する割合が81.4%と、他の年齢の子どもを持つ保護者と比べて高くなっている(入学前問30)。
- ・病気の際の対応については、直近1年の間に子どもの病気等を理由に教育・保育サービスを利用できなかった割合は82.9%となっており(入学前問28)、うち母親が仕事を休むことで対応した割合は72.1%と最も高くなっている(入学前問28-1)。
- ・病児・病後児保育施設等の利用希望については、父親または母親が仕事を休むことで対応した人のうち、半数以上の52.9%が「利用したい」と回答しているが(入学前問28-2)、自由意見では「病児保育の予約をもっと取りやすくしてほしい」など、一時預かりと同様に量の拡大に関する意見が寄せられている。

【課題と対応の方向性】

- ・子育て家庭の孤立感や子育ての負担軽減を図るため、ニーズが高い一時預かり事業や、病児・病後児保育事業を中心に、地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実に取り組んでいく必要がある。

第5章 調査結果から示唆される課題と対応の方向性

3. 多様なニーズに応じた子育て支援の推進

【調査結果】

- ・0歳児の保護者のうち約7割が在宅で子育てをしており（**入学前**問21）、他の年齢の保護者と比べて孤立感がやや高くなっている（**入学前**問12）。
- ・子育て家庭の約3割（小学校入学前の子どもの保護者30.1%、小学生の保護者26.9%）は、親族や知人・友人からの助けを得にくく（**入学前**問9、**小**問9）、子育てにより孤立したり、子育てへの不安や負担を感じやすい状況に置かれたりしている。
- ・2人以上のきょうだいがいる世帯は、小学校入学前の子どもの保護者が55.1%、小学生の保護者が64.7%と半数を超えており（**入学前**問3、**小**問3）、自由意見では、多子世帯に対する助成や、子どもの送り迎え、通院時などの移動に関する支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・妊産婦や在宅子育て家庭など、孤立した育児に陥りやすい子育て家庭を支援するためには、地域子ども・子育て支援事業の充実のみならず、人とのつながりを含め、地域ぐるみで子どもと子育てを支援する体制を構築する必要がある。
- ・多子世帯や多胎児を育てる家庭の経済的負担の軽減や、子どもの数に応じた移動の支援を進めていく必要がある。

4. 支援が必要な家庭や子どもに対する施策の充実

【調査結果】

- ・小学校入学前の子どもの保護者、小学生の保護者のいずれも約1割（それぞれ14.6%、14.5%）が子どもの「発育・発達、病気、障害に関すること」に不安を持っている（**入学前**問10、**小**問10）。
- ・中学生、高校生世代では、ともに約1割（それぞれ8.7%、9.7%）が日常的に家族のお世話をしており（**中**問8、**高/若者**問9）、相談できる環境や支援を求める声が一定数存在する（**中**問8-3）。
- ・ひとり親家庭は暮らし向きが苦しいと感じる割合が6割以上（小学校入学前の子どもの保護者70.8%、小学生の保護者61.1%）（**入学前**問20、**小**問20）、孤立感を感じる割合が5割以上（小学校入学前の子どもの保護者62.5%、小学生の保護者55.5%）（**入学前**問12、**小**問12）であり、子育ての悩みとして「子どもとの接し方に自信が持てない」「話し相手や相談相手がいない」「子どもとの時間を十分にとれない」などが多くなっている（**入学前**問10、**小**問10）。

【課題と対応の方向性】

- ・障害のある子どもや医療的ケア児、ヤングケアラーをはじめ、配慮を必要とする家庭や子どもへの支援体制を強化し、一人ひとりの健やかな成長、発達及び自立が保障され、子どもの最善の利益を第一に考えた環境を構築する必要がある。
- ・ひとり親家庭を含め、生活が困難な状況にある子育て家庭が抱える様々な課題やニーズに対応し、子育ての不安解消や経済的自立を支援する必要がある。

5. 子育てと仕事の両立支援

【調査結果】

- ・小学校入学前の子どもの母親の就労については、フルタイムの割合は62.4%となっており、前回調査の54.7%を上回っている（**入学前**問15）。
- ・育児休業の取得については、小学校入学前の子どもの母親の取得率は63.6%となっており、前回調査の52.3%と比べて高くなっている。一方で、父親の取得率は20.8%で、前回調査の7.3%から大きく増加しているものの、依然として母親の割合より低く、約2割にとどまっている（**入学前**問36）。
- ・育児休業取得率は前回調査と比べて多くなっているが、取得していない理由として、父親、母親ともに「仕事が忙しかった」「育児休業の制度がなかった」が多くなっている（**入学前**問36）。
- ・小学生の母親の就労については、フルタイムの割合は50.8%となっており、前回調査の41.7%を上回っている（**小**問15）。

【課題と対応の方向性】

- ・共働き世帯が増加している中で、共働き・共育てを実現するために、さらなる男性の家事・子育てへの参画を促進し、男性、女性ともに、希望どおり育児休業制度等を利用できるよう、仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進する必要がある。

6. 子どもの権利が守られ、健やかに成長できる環境整備の推進

【調査結果】

- ・小学校での放課後の過ごし方について、小学校低学年は「習い事」（59.3%）、「自宅」（57.3%）、「区立の学童クラブ」（27.0%）、小学校高学年は「自宅」（80.1%）、「習い事」（70.1%）、「その他（公園など）」（17.6%）で過ごしている割合が多くなっている（**小**問26）。自由意見では、学童クラブの定員拡大や放課後児童支援員の確保を求める意見があった。
- ・「保育園であそぼう」「保育所や幼稚園の園庭などの開放」をこれまでに利用したことがある人は約1割（それぞれ9.7%、13.8%）なのに対し、今後利用したいと回答した割合はそれぞれ28.9%、41.3%にのぼっている（**入学前**問25）。自由意見では、夏場や雨の日でも子どもが体を動かして遊べる場所を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・子どもの権利が守られる安全・安心な居場所を確保し、子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、学童クラブの定員拡大や質の向上のほか、様々な手法を活用した遊び場を確保し、環境整備に取り組んでいく必要がある。

7. 結婚・妊娠前から出産後の切れ目ない支援

【調査結果】

- ・未婚の高校生世代から39歳までの約7割がいずれ結婚することを希望しているが（**高/若者**問41）、現在結婚していない理由として、「適当な相手にめぐりあわないから」（46.7%）、「結婚資金が足りないから、収入が不安定だから」（18.9%）など、出会いの機会の減少や経済的事実が挙げられている（**高/若者**問39）。
- ・子育ての将来展望を描けず、理想の子ども数が叶わない状況にある人は、小学校入学前の子どもの保護者、小学生の子ども保護者、青・壮年期（22-29歳）、青・壮年期（30-39歳）のいずれも約4割（それぞれ45.0%、40.3%、40.8%、41.5%）となっている（**入学前**問38、問38-1、**小**問31、問31-1、**高/若者**問48、49）。
- ・理想の子ども数を持っていない理由として、「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」などの経済的理由や「育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから」など子育ての負担に関する理由が多くなっている（**入学前**問38-2、**小**問31-2、**高/若者**問50）。

【課題と対応の方向性】

- ・結婚の希望の実現を阻む要因の解消に向けて、経済的支援のほか、出会いの機会の創出支援の充実や、結婚に伴う新生活の支援を推進する必要がある。
- ・妊娠・出産後の支援に加え、これから妊娠を希望する人への希望に応じた支援をさらに進めていく必要がある。

8. 子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化

【調査結果】

- ・中学生では、児童館・子ども中高生プラザ等を「よく利用する（週に2回以上）」（2.3%）、「たまに利用する（週に1回程度）」（8.6%）と回答した人の合計は1割程度であり、「知っているが行ったことがない」（20.6%）、「どこにあるか知らない」（17.4%）と回答した人の合計は約4割に上っている（**中**問16）。
- ・港区に望む子ども・若者施策について、高校生世代から39歳まででは「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」に次いで「居心地のよい場所を提供する」（43.2%）が多くなっている（**高/若者**問51）。
- ・悩みごとを誰にも相談しないと回答した人は、中学生、高校生世代から39歳までのいずれも約1割（それぞれ15.3%、10.9%）となっている（**中**問20、**高/若者**問35）。
- ・悩みごとや不安を相談しない理由として、「相談しても解決しないと思う」「相談するのが面倒」「相談する相手がいない」が多くなっている（**中**問20-1、**高/若者**問36）。

【課題と対応の方向性】

- ・子ども・若者が悩みや不安などを相談でき、自己肯定感や自己有用感を高めて自分らしく社会生活を送ることができるよう、子ども・若者の意見を聴取し、子ども中高生プラザの認知度の向上や、子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化に取り組む必要がある。

港区子ども・若者・子育て支援に関する 実態調査報告書

令和6年（2024年）3月

港 区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目次

第1章 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	2
5. 報告書を利用するにあたって	2

第2章 調査結果

1. 小学校入学前の子どもの保護者	3
(1) 居住地区について	3
(2) 子どもと家族の状況について	3
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	7
(4) 就労・家計状況について	13
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	20
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について	35
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	41
(8) 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用している方のみ）	45
(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	49
(10) 小学校入学後の放課後の過ごし方について	56
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	64
(12) 子育ての環境や支援全般について	72
(13) 保護者の状況について	75
2. 小学生の保護者	80
(1) 居住地区について	80
(2) 子どもと家族の状況について	80
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	84
(4) 就労・家計状況について	90
(5) 病気の際の対応について	98
(6) 不定期に、または宿泊を伴って利用する事業について	102
(7) 小学校での放課後の過ごし方について	108
(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	116
(9) 子育ての環境や支援全般について	117
(10) 保護者の状況について	119

3. 中学生	124
(1) 居住地区について	124
(2) 自身と家族の状況について	124
(3) 学校生活について	129
(4) 放課後や休日の過ごし方について	132
(5) 施設の利用状況について	134
(6) 悩みごとや相談先について	136
(7) 将来のイメージについて	139
4. 高校生世代から 39 歳まで	142
(1) 居住地区について	142
(2) 自身と家族の状況について	142
(3) 就労・家計状況について	148
(4) 生活状況について	152
(5) 人間関係・地域との関わりについて	154
(6) 悩みごとや相談先について	157
(7) 婚姻状況、子どもの有無について	160
(8) 子ども・若者に対する取組や支援等について	168

第3章 調査結果の分析

1. 小学校入学前の子どもの保護者	169
(1) 基本属性	170
(2) 子育て状況	173
(3) 就労・家計状況	176
(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	178
(5) 地域の子育て支援事業の利用状況	183
(6) 病気の際の対応	184
(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	186
(8) 小学校入学後の放課後の過ごし方	188
(9) 職場の両立支援制度	190
(10) 理想と持つつもりの子どもの数	192
(11) 子育て環境	194
2. 小学生の保護者	196
(1) 基本属性	197
(2) 子育て状況	200
(3) 就労・家計状況	203
(4) 病気の際の対応	206
(5) 不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況	208

(6) 小学校での放課後の過ごし方	210
(7) 理想と持つつもりの子どもの数	213
(8) 子育て環境	215
3. 中学生	216
(1) 基本属性	217
(2) 家族との関わり	219
(3) 学校生活、友達との関わり	221
(4) 放課後や休日の過ごし方	225
(5) 施設の利用状況	226
(6) 自分について感じていることや悩みごと	229
(7) 将来のイメージ	232
4. 高校生世代から 39 歳まで	235
(1) 基本属性	236
(2) 就労状況	238
(3) 家族、友人、職場、地域との関わり	240
(4) 悩みごとや相談先	242
(5) 結婚	244
(6) 子どもを持つこと	246
(7) 子ども・若者支援施策	248

第4章 自由意見

1. 小学校入学前の子どもの保護者	250
2. 小学生の保護者	255
3. 中学生	259
4. 高校生世代から 39 歳まで	262

第5章 調査結果から示唆される課題と対応の方向性

1. 調査結果から示唆される課題と対応の方向性	266
-------------------------	-----

使用した調査票

1. 小学校入学前の子どもの保護者	270
2. 小学生の保護者	284
3. 中学生	293
4. 高校生世代から 39 歳まで	299

第1章 調査概要

1. 調査目的

区では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく「港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）を策定し、計画的に教育・保育・地域の子育て支援事業の充実に取り組んでいます。

本調査は、「第三期港区子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年度～令和11年度）を含む子ども・若者・子育て支援に関する計画の策定に当たり、区民のニーズや生活実態等を把握し、今後の子ども・若者・子育て支援施策を着実に推進するために実施しました。

2. 調査設計

【調査対象】 区内在住の小学校入学前の子どもの保護者	2,000人
区内在住の小学生の保護者	2,000人
区内在住の中学生	2,000人
区内在住の高校生世代から39歳まで	2,000人

【抽出方法】 令和5年9月29日現在の住民基本台帳から無作為抽出

【調査方法】 郵送配布、郵送又はインターネットによる回収

区内在住の高校生世代から39歳までは郵送配布、インターネットによる回答

【調査期間】 令和5年10月13日（金）～11月9日（木）

3. 調査項目

区 分	小学校入学 前の子ども の保護者	小学生の 保護者	中学生	高校生世代 から39歳 まで
①基本属性（居住地区・家族の状況）	○	○	○	○
②子どもの育ちをめぐる環境	○	○	—	—
③就労・家計状況	○	○	—	○
④平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	○	—	—	—
⑤地域の子育て支援事業の利用状況（地域の子育て支援策）	○	—	—	—
⑥土曜・休日、長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	○	—	—	—
⑦病気の際の対応	○	○	—	—
⑧不定期の教育・保育事業／宿泊を伴う一時預かり等	○	○	—	—
⑨小学校入学後の放課後の過ごし方（放課後の過ごし方）	○	○	—	—
⑩職場の両立支援制度	○	○	—	—
⑪子育て環境全般	○	○	—	—
⑫保護者の状況	○	○	—	—
⑬学校生活	—	—	○	—
⑭放課後や休日の過ごし方	—	—	○	—
⑮生活状況	—	—	—	○
⑯施設の利用状況	—	—	○	—
⑰人間関係・地域との関わり	—	—	—	○
⑱悩みごとや相談先	—	—	○	○
⑲将来のイメージ	—	—	○	—
⑳婚姻状況、子どもの有無	—	—	—	○
㉑子ども・若者に対する取組や支援等	—	—	—	○

4. 回収結果

区 分	配布数	回収数			回収率
		郵送	インター ネット	合計	
小学校入学前の子どもの保護者	2,000	311	444	755	37.8%
小学生の保護者	2,000	381	459	840	42.0%
中学生	2,000	353	243	596	29.8%
高校生世代から 39 歳まで	2,000	—	495	495	24.8%

5. 報告書を利用するにあたって

- 図・表中の N、回答者数とは、基数となる実数のことである。
- 回答は N、回答者数を 100%として百分率で算出している。小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の 0.0 は回答者が皆無のものである。なお、図表の見易さを優先するため、0.0 の回答を表示しない場合がある。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 回答者数が少ないものについては、コメントを控えている場合がある。
- 回答者数が 50 未満の場合は、回答者些少のため参考値とする。
- クロス集計は、1 位（背景…濃い灰色、文字…白）、2 位（背景…薄い灰色、文字…黒）に着色しているが、全体の回答者数が 10 人未満の場合は着色していない。

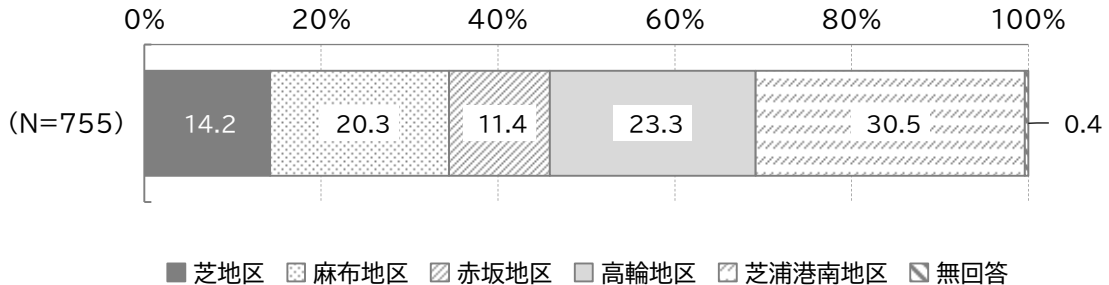
第2章 調査結果

1. 小学校入学前の子どもの保護者

(1) 居住地区について

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

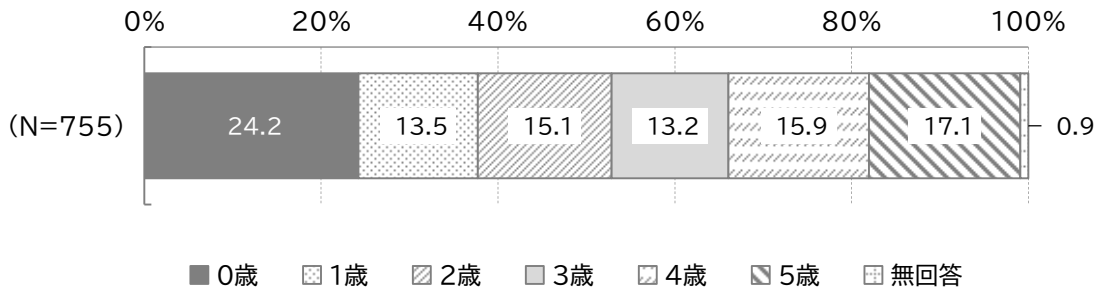
「芝浦港南地区」が30.5%と最も多く、次いで「高輪地区」が23.3%、「麻布地区」が20.3%となっている。



(2) 子どもと家族の状況について

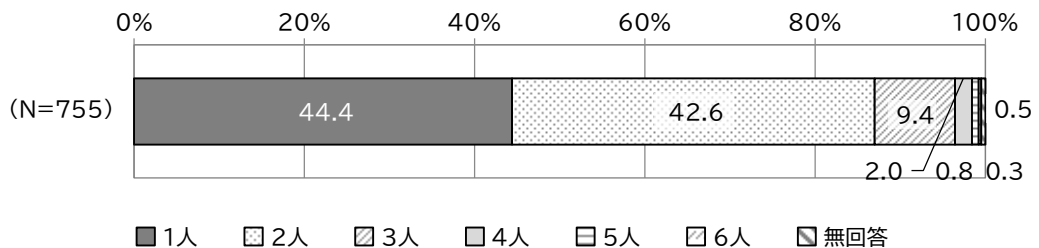
問2 宛名のお子さんの生まれた年と月を () 内に数字でご記入ください。

「0歳」が24.2%と最も多く、次いで「5歳」が17.1%、「4歳」が15.9%となっている。



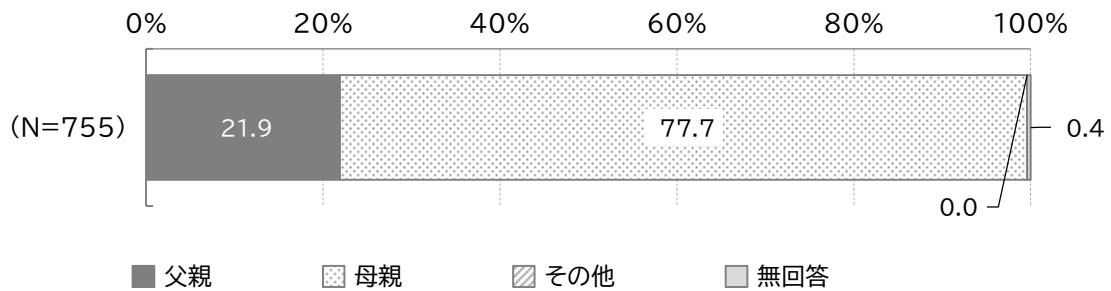
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を () 内に数字でご記入ください。

「1人」が44.4%と最も多く、次いで「2人」が42.6%、「3人」が9.4%となっている。



問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

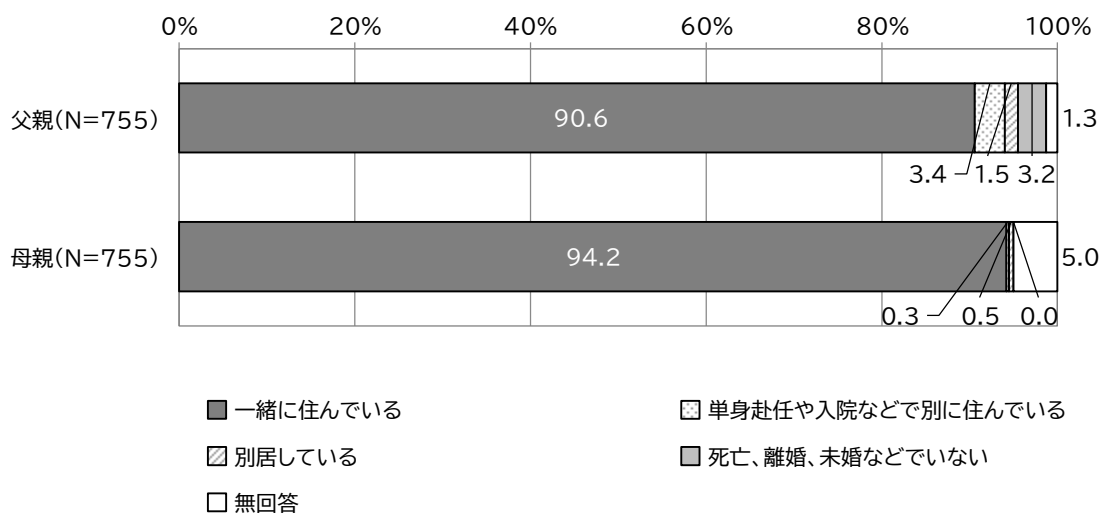
「母親」が77.7%、「父親」が21.9%となっている。



問5 宛名のお子さんご両親の同別居状況についてうかがいます。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

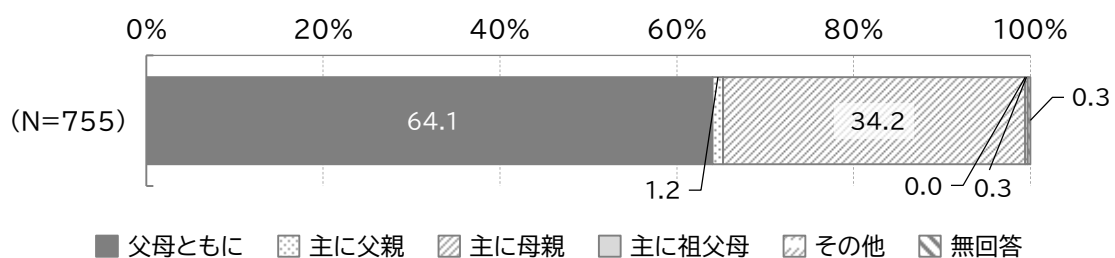
父親は「一緒に住んでいる」が90.6%と最も多く、次いで「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が3.4%、「死亡、離婚、未婚などでいない」が3.2%となっている。

母親は「一緒に住んでいる」が94.2%と最も多く、次いで「別居している」が0.5%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が0.3%となっている。



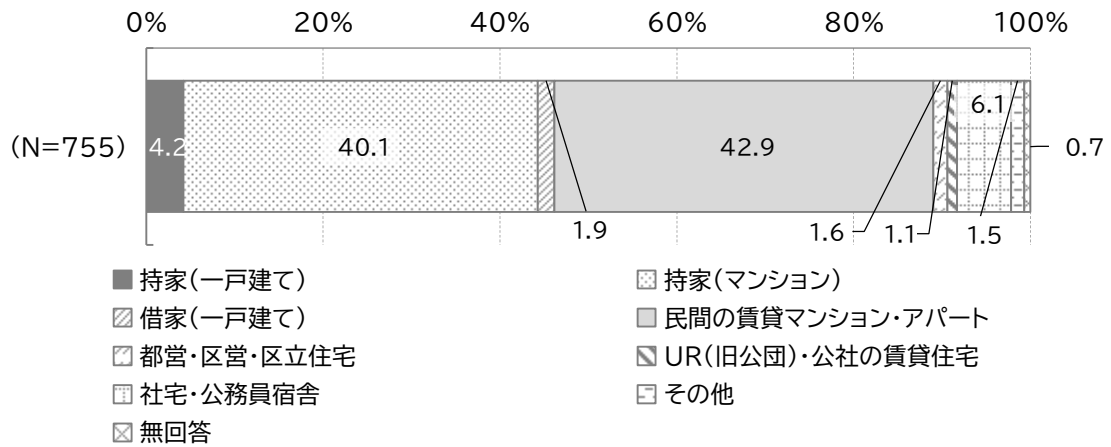
問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（あてはまる番号ひとつに○）

「父母ともに」が64.1%と最も多く、次いで「主に母親」が34.2%、「主に父親」が1.2%となっている。



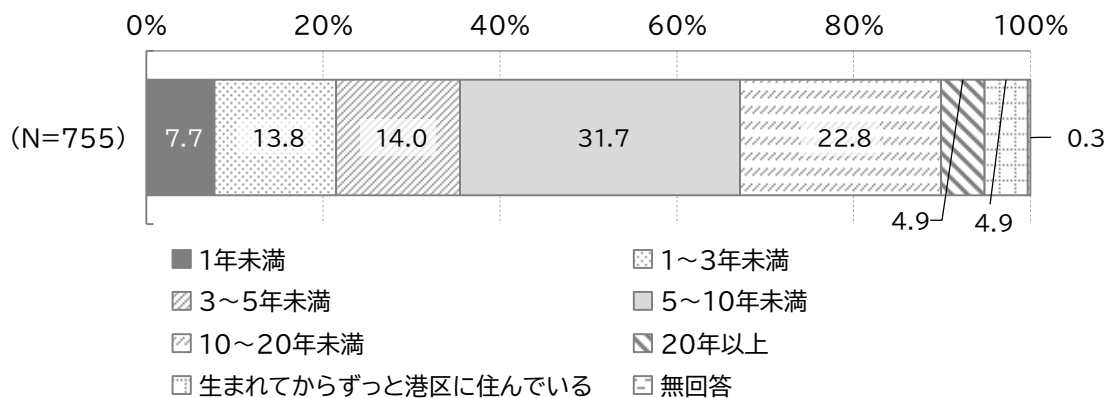
問7 あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「民間の賃貸マンション・アパート」が42.9%と最も多く、次いで「持家（マンション）」が40.1%、「社宅・公務員宿舎」が6.1%となっている。



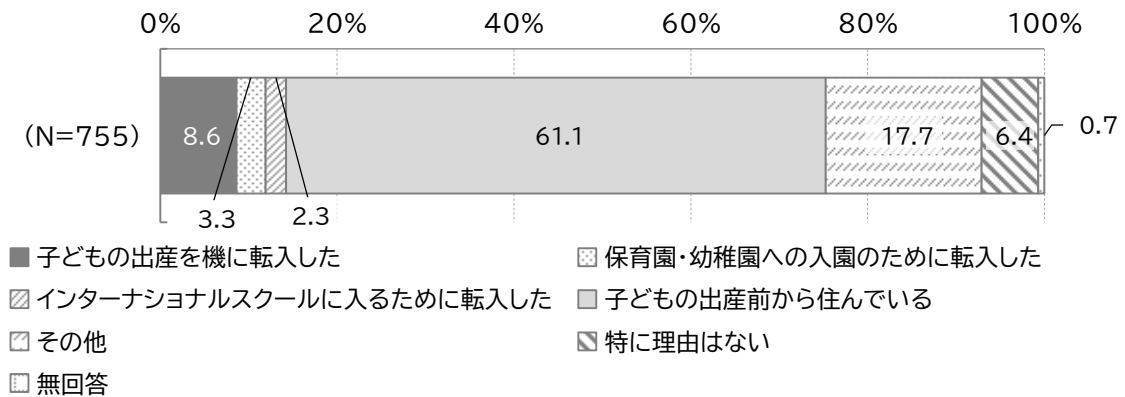
問8 あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「5～10年未満」が31.7%と最も多く、次いで「10～20年未満」が22.8%、「3～5年未満」が14.0%となっている。



問8-1 あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

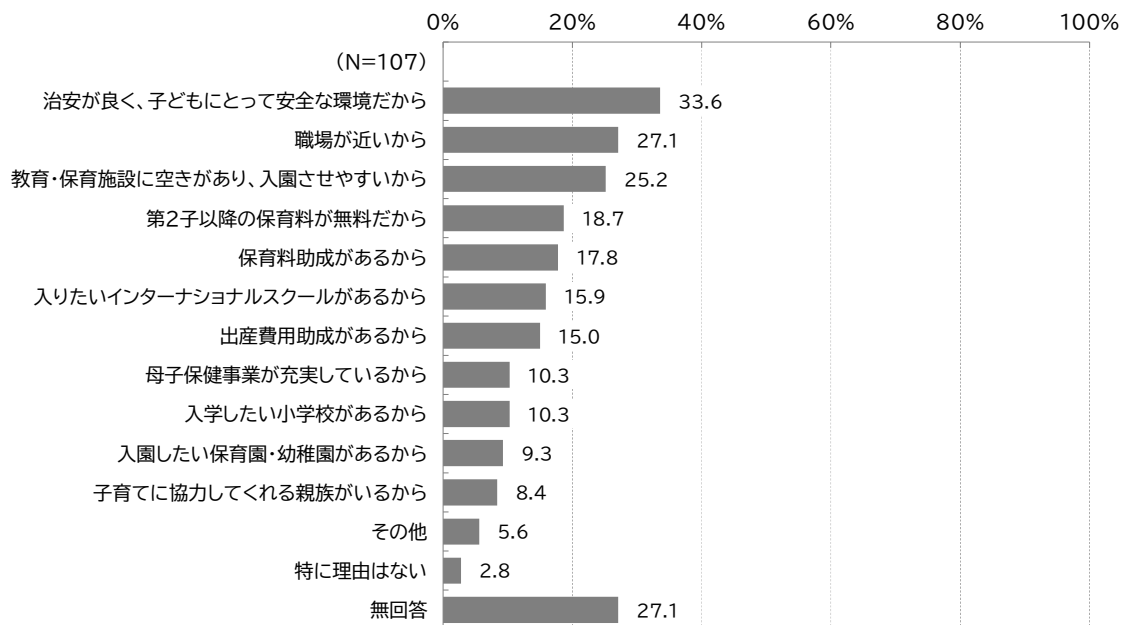
「子どもの出産前から住んでいる」が61.1%と最も多く、次いで「その他」が17.7%、「子どもの出産を機に転入した」が8.6%となっている。



問8-2 問8-1で「1.子どもの出産を機に転入した」～「3.国際学校に入るために転入した」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

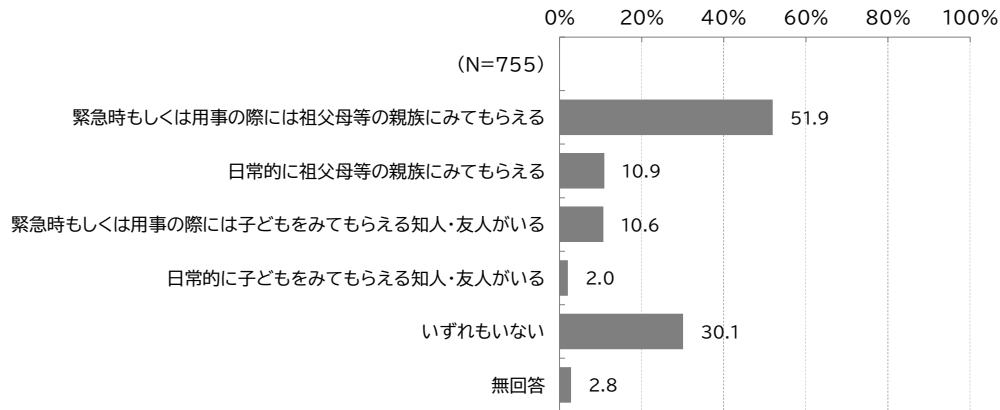
「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が33.6%と最も多く、次いで「職場が近いから」が27.1%、「教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから」が25.2%となっている。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

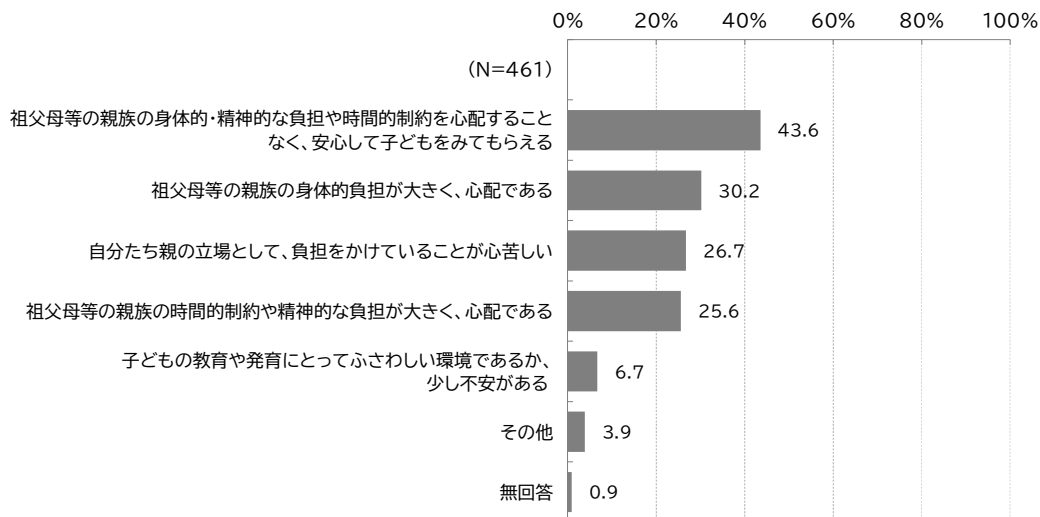
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.9%と最も多く、次いで「いずれもない」が30.1%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が10.9%となっている。



問9-1 問9で「1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にかがいます。

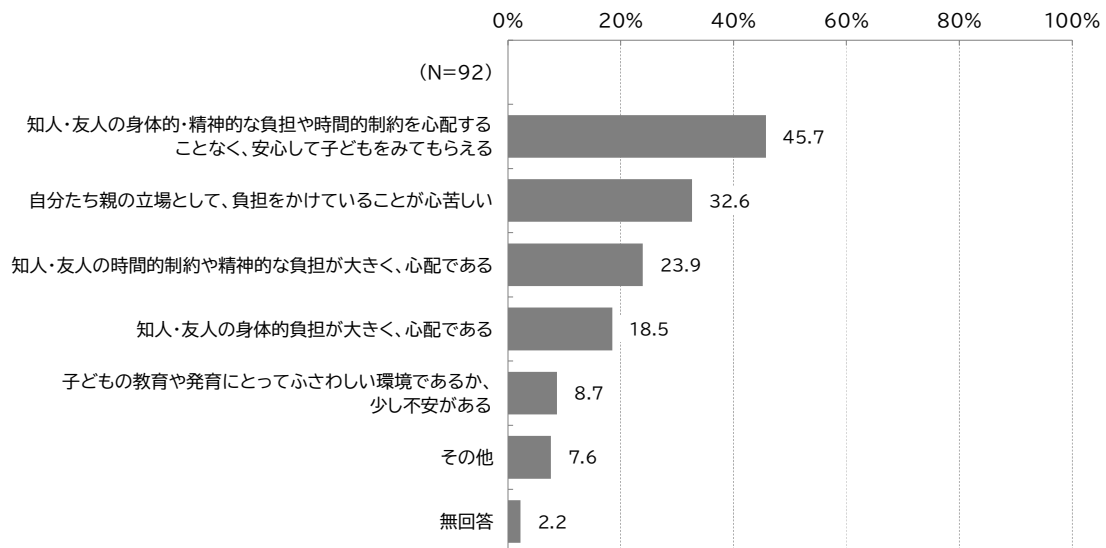
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が43.6%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が30.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.7%となっている。



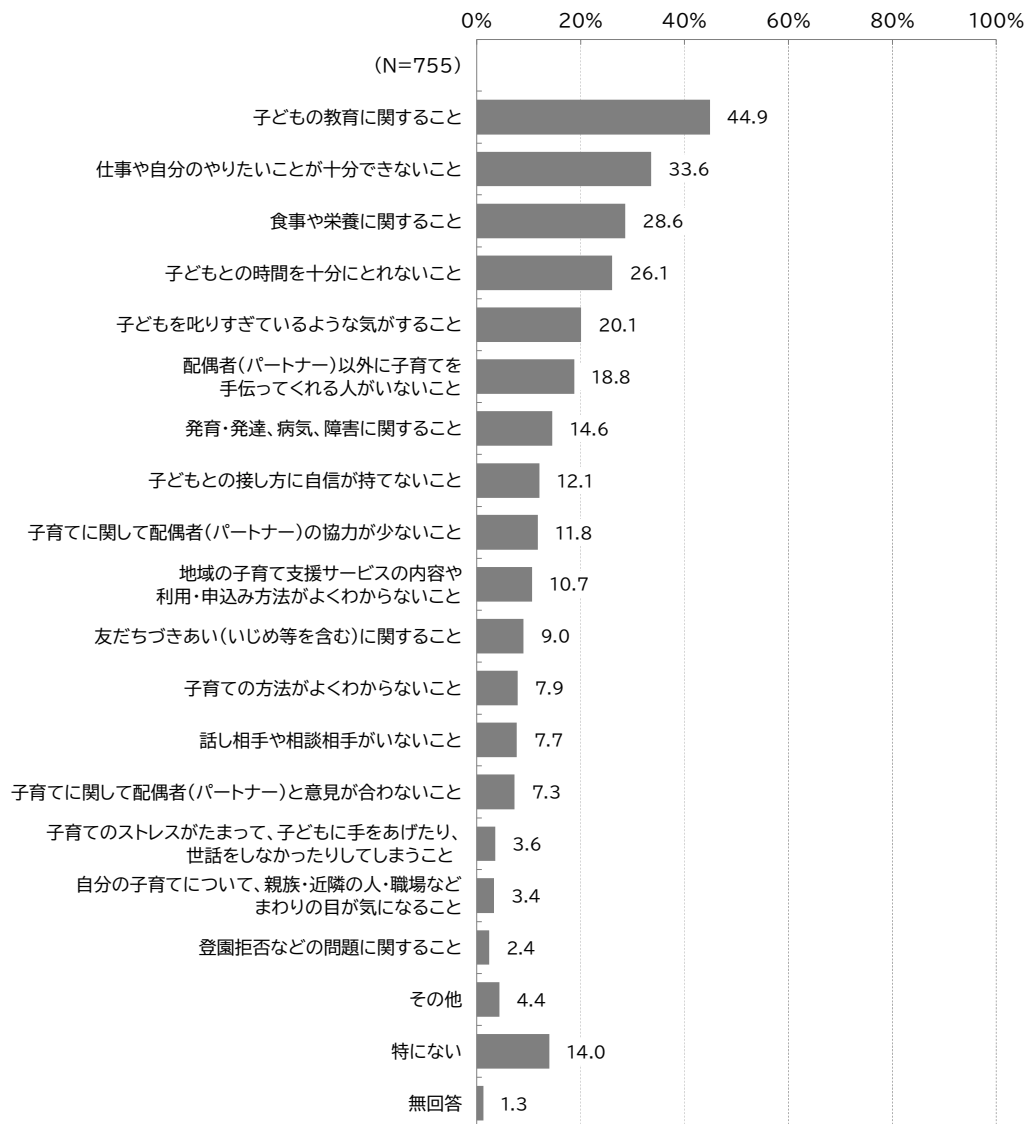
問9-2 問9で「3.日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる」または「4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
 知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が45.7%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.6%、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が23.9%となっている。



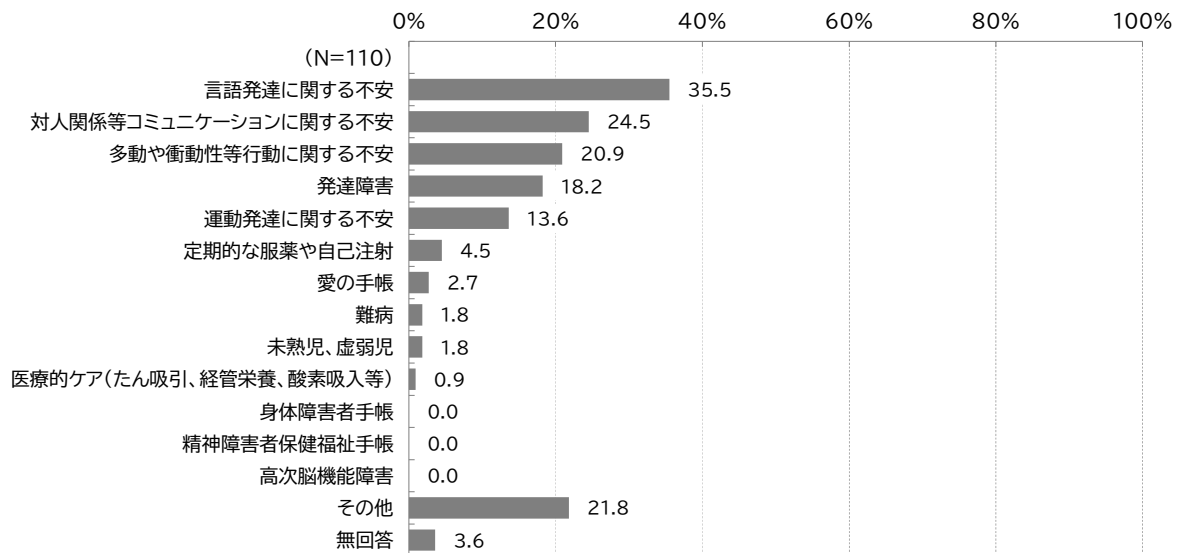
問10 子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「子どもの教育に関すること」が44.9%と最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことが十分でないこと」が33.6%、「食事や栄養に関すること」が28.6%となっている。



問 10-1 問 10 で「1. 発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。あてはまるものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○) また、「1. 身体障害者手帳」～「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方は、() 内に数字でご記入ください。

「言語発達に関する不安」が 35.5% と最も多く、次いで「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が 24.5%、「その他」が 21.8% となっている。

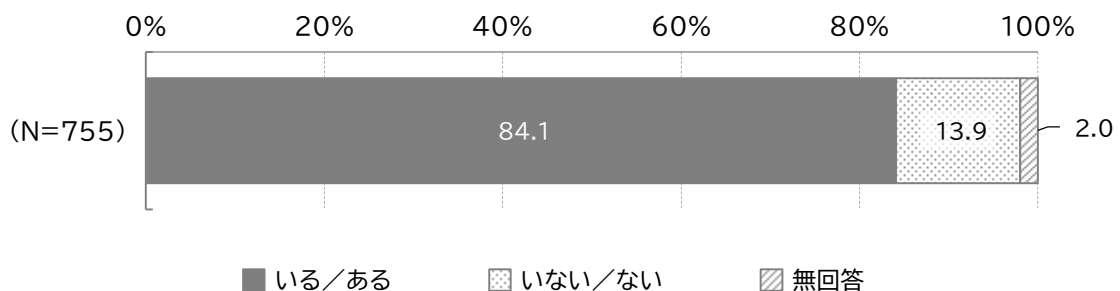


【等級】

	1級(度)	2級(度)	3級(度)	4級(度)	無回答
身体障害者手帳	-	-	-	-	-
愛の手帳	-	-	-	3件 (100.0%)	-
精神障害者保健福祉手帳	-	-	-	-	-

問 11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)はいますか(ありますか)。(あてはまる番号ひとつに○)

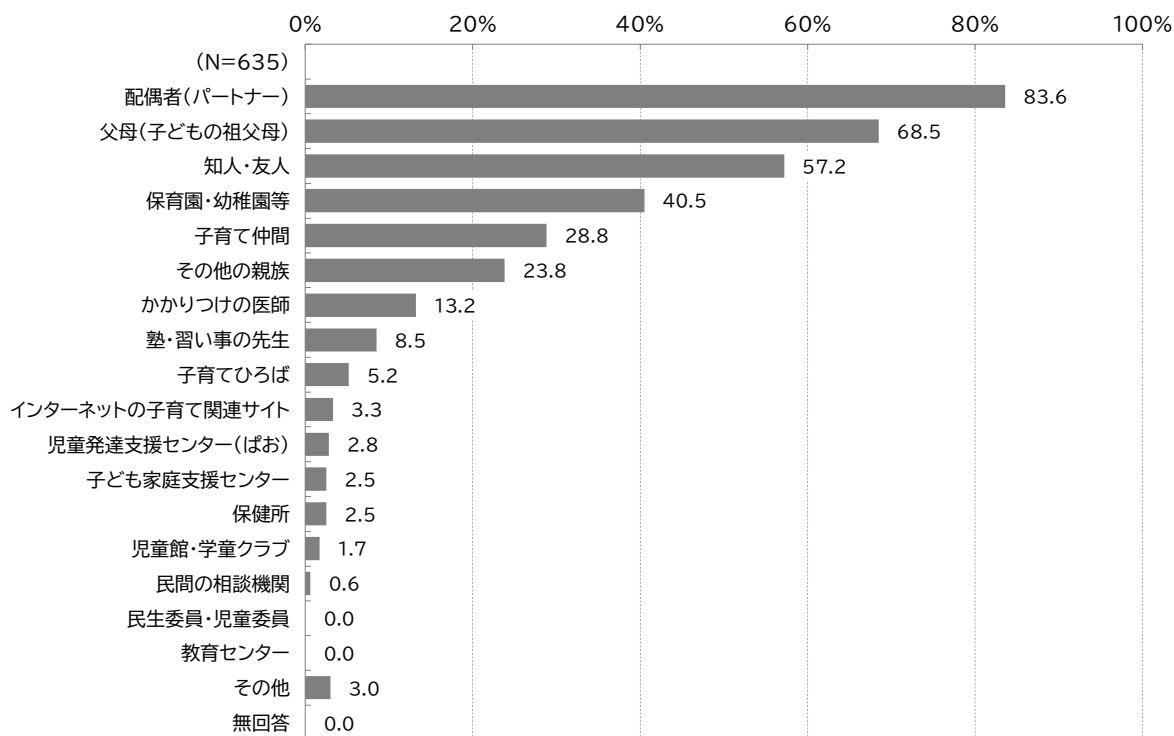
「いる/ある」が 84.1%、「いない/ない」が 13.9% となっている。



問 11-1 問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。

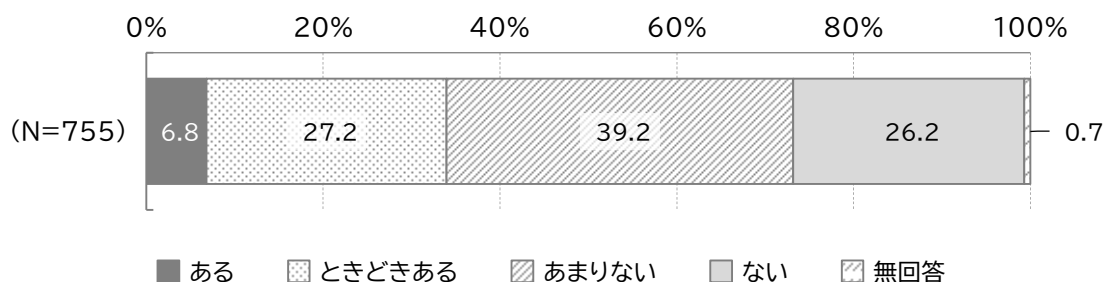
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「配偶者（パートナー）」が 83.6%と最も多く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が 68.5%、「知人・友人」が 57.2%となっている。



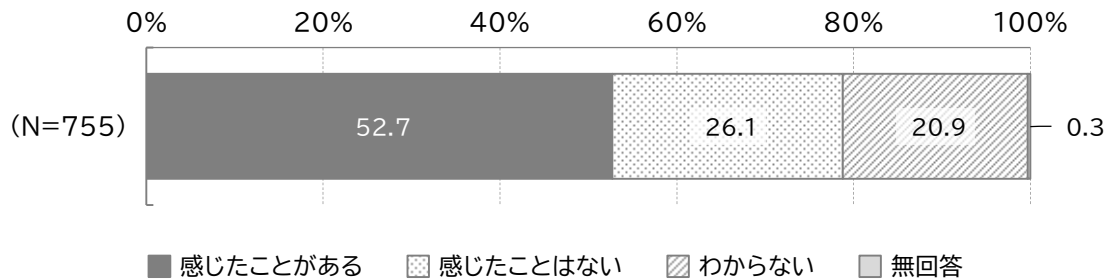
問 12 日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あまりない」が 39.2%と最も多く、次いで「ときどきある」が 27.2%、「ない」が 26.2%となっている。



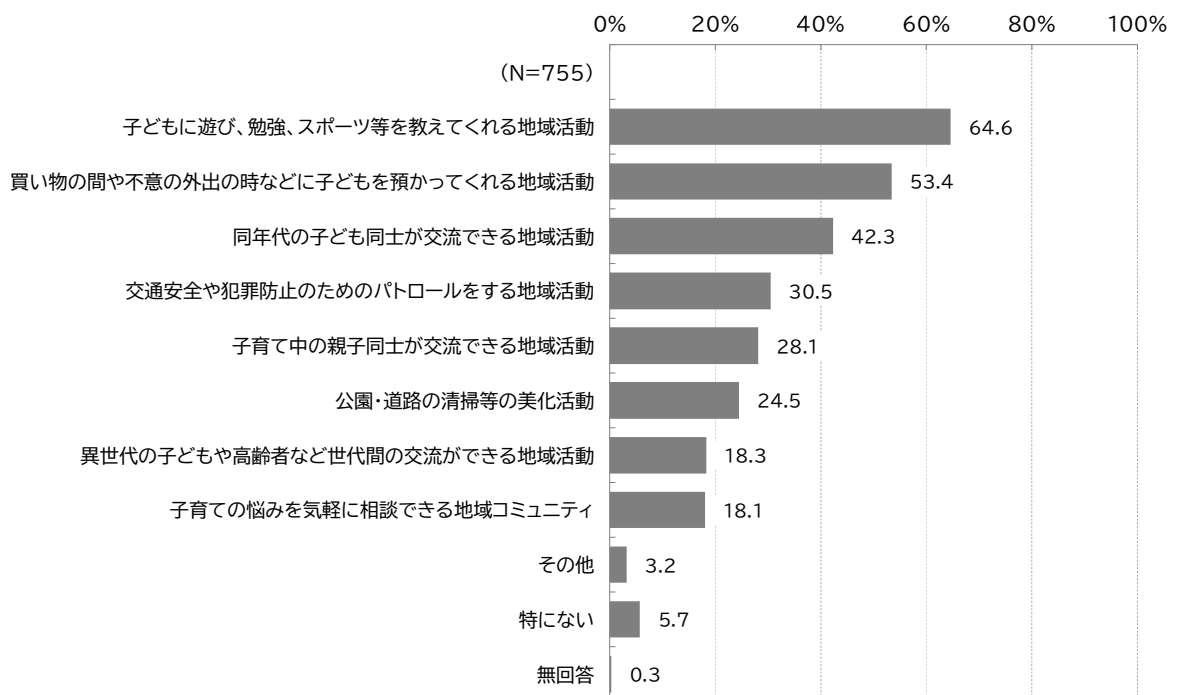
問 13 子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「感じたことがある」が52.7%と最も多く、次いで「感じたことはない」が26.1%、「わからない」が20.9%となっている。



問 14 あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動」が64.6%と最も多く、次いで「買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動」が53.4%、「同年代の子ども同士が交流できる地域活動」が42.3%となっている。



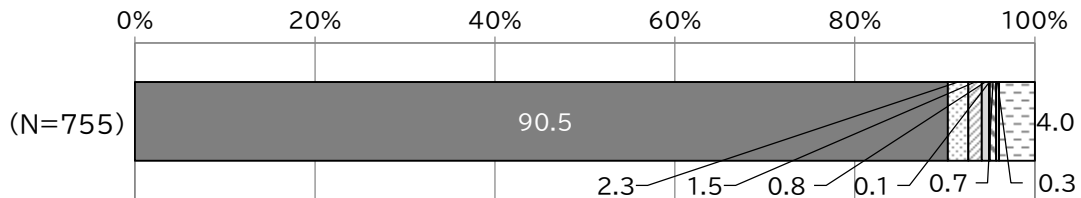
(4) 就労・家計状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。
 （あてはまる番号ひとつに○）

父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.5%と最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」が2.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育児短時間勤務中である」が1.5%となっている。

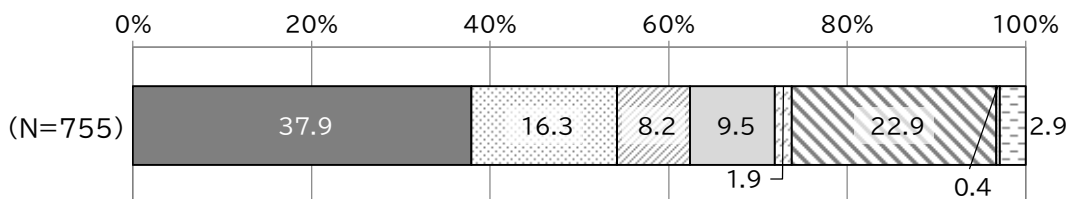
母親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.9%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.9%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が16.3%となっている。

【父親】



- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
- ▩ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

【母親】

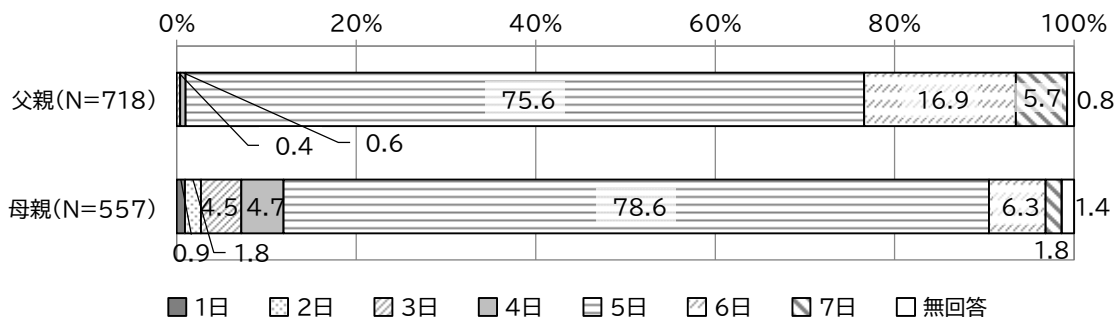


- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
- パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

① 1週あたりの就労日数

父親は「5日」が75.6%と最も多く、次いで「6日」が16.9%、「7日」が5.7%となっている。1週あたりの平均就労日数は5.3日となっている。

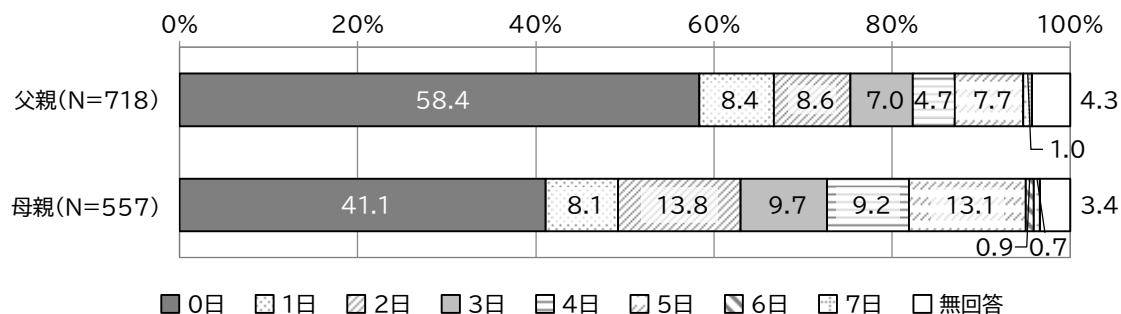
母親は「5日」が78.6%と最も多く、次いで「6日」が6.3%、「4日」が4.7%となっている。1週あたりの平均就労日数は2.9日となっている。



② 1週あたりの在宅勤務日数

父親は「0日」が58.4%と最も多く、次いで「2日」が8.6%、「1日」が8.4%となっている。1週あたりの平均在宅勤務日数は1.1日となっている。

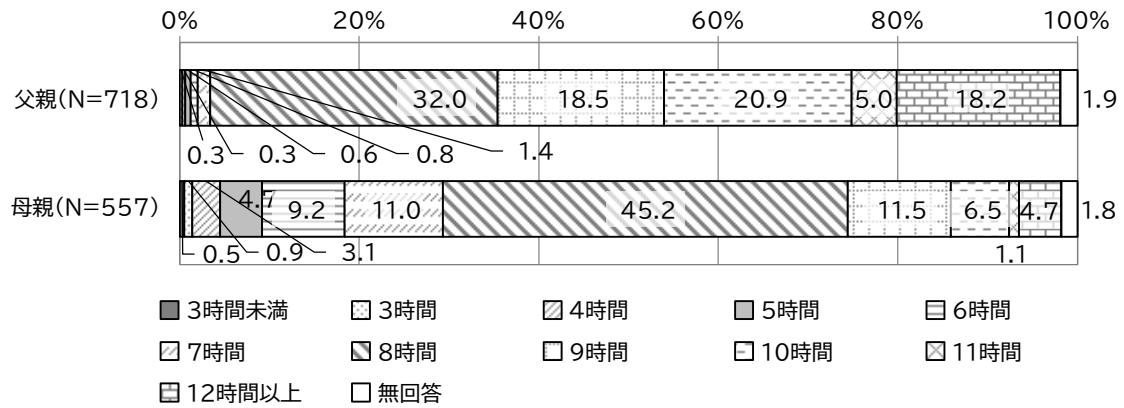
母親は「0日」が41.1%と最も多く、次いで「2日」が13.8%、「5日」が13.1%となっている。1週あたりの平均在宅勤務日数は1.8日となっている。



③ 1日あたりの就労時間

父親は「8時間」が32.0%と最も多く、次いで「10時間」が20.9%、「9時間」が18.5%となっている。1日あたりの平均就労時間は9.7時間となっている。

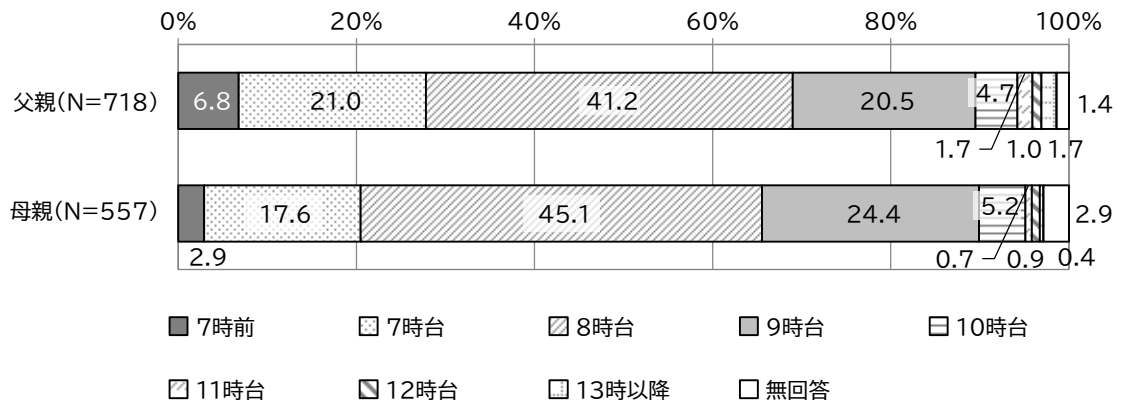
母親は「8時間」が45.2%と最も多く、次いで「9時間」が11.5%、「7時間」が11.0%となっている。1日あたりの平均就労時間は8.0時間となっている。



④ 家を出る時刻

父親は「8時台」が41.2%と最も多く、次いで「7時台」が21.0%、「9時台」が20.5%となっている。平均時刻は8時21分となっている。

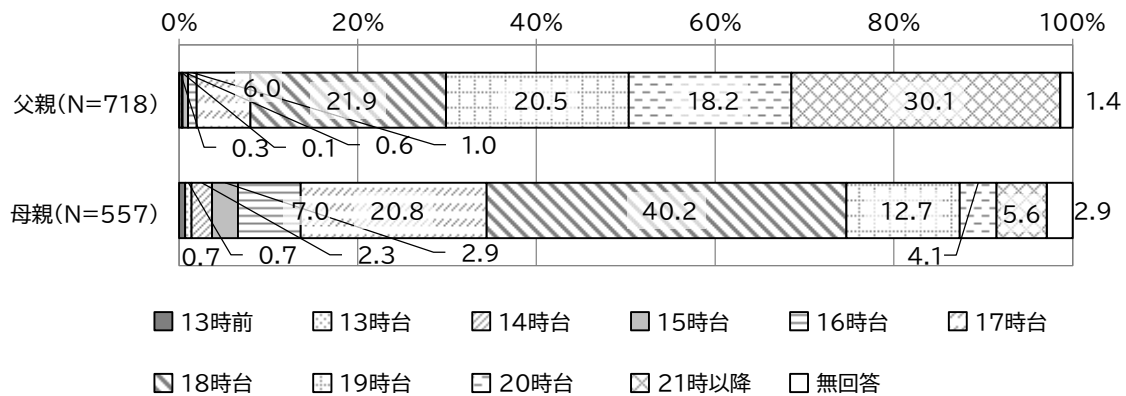
母親は「8時台」が45.1%と最も多く、次いで「9時台」が24.4%、「7時台」が17.6%となっている。平均時刻は8時24分となっている。



⑤帰宅時刻

父親は「21時以降」が30.1%と最も多く、次いで「18時台」が21.9%、「19時台」が20.5%となっている。平均時刻は19時56分となっている。

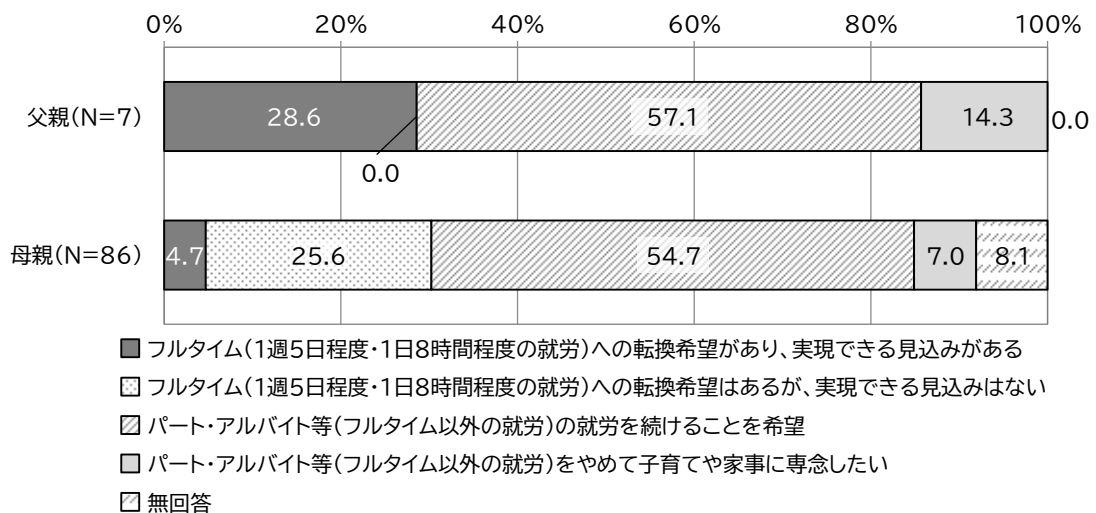
母親は「18時台」が40.2%と最も多く、次いで「17時台」が20.8%、「19時台」が12.7%となっている。平均時刻は17時59分となっている。



問16 問15の(1)または(2)で、「4」または「5」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

父親は「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望」が57.1%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が28.6%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい」が14.3%となっている。

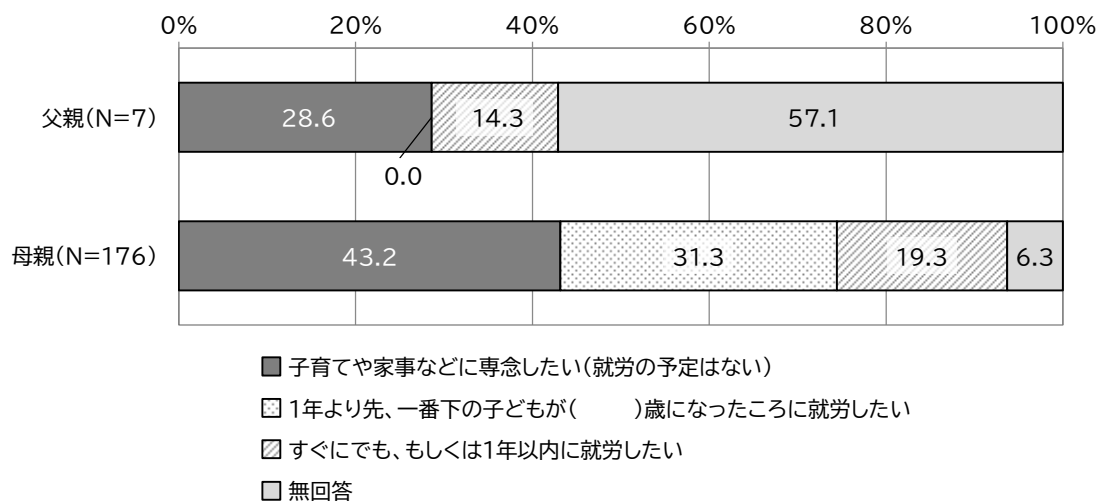
母親は「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望」が54.7%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.6%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい」が7.0%となっている。



問17 問15の(1)または(2)で、「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) また、「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

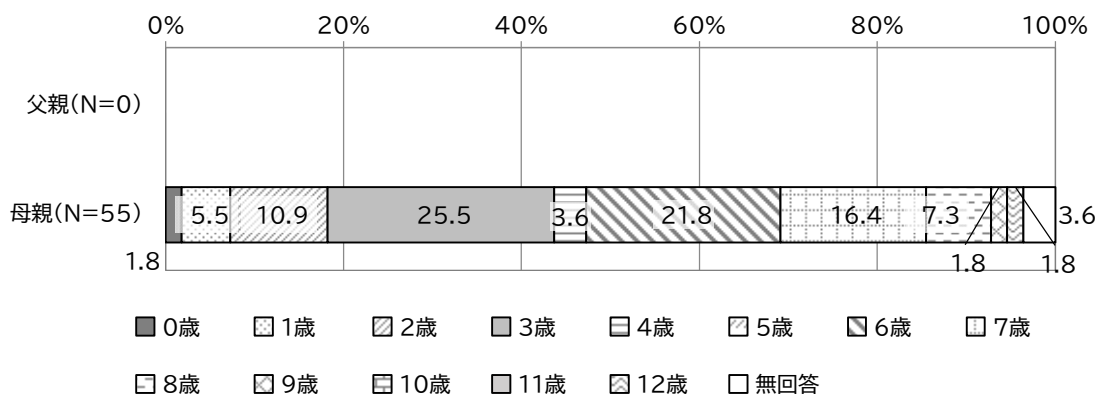
父親は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.6%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が14.3%となっている。

母親は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が43.2%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が31.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が19.3%となっている。



①子どもの年齢(1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい)

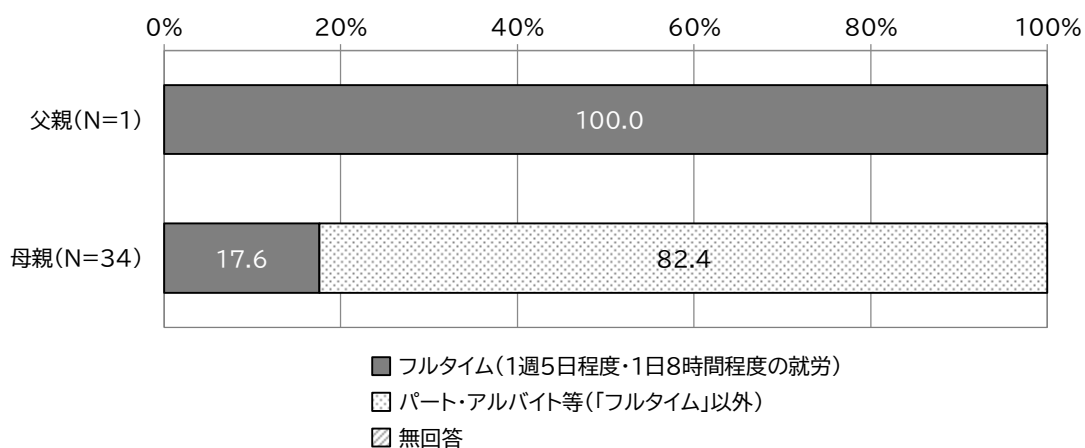
母親は「3歳」が25.5%と最も多く、次いで「6歳」が21.8%、「7歳」が16.4%となっている。



②希望する就労形態（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

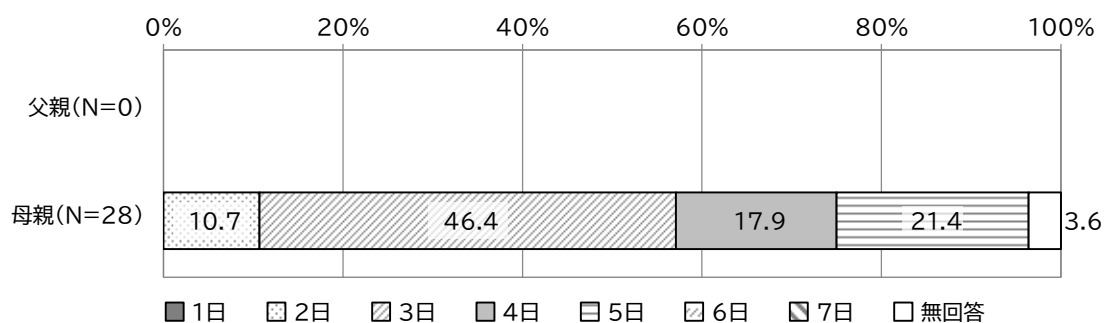
父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件となっている。

母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」が82.4%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が17.6%となっている。



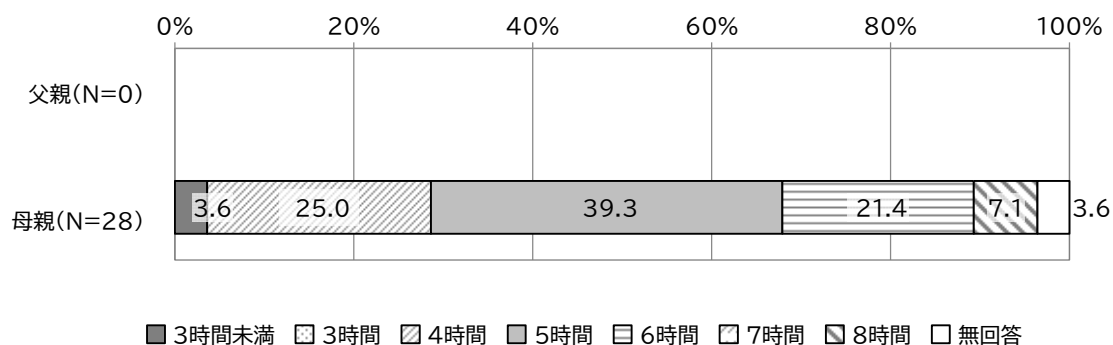
ア 1週あたりの就労日数

母親は「3日」が46.4%と最も多く、次いで「5日」が21.4%、「4日」が17.9%となっている。



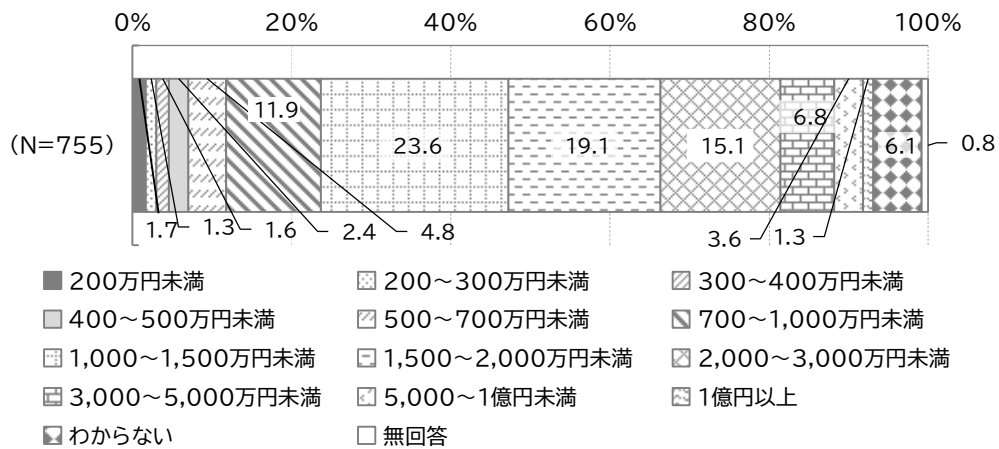
イ 1日あたりの就労時間

母親は「5時間」が39.3%と最も多く、次いで「6時間」が21.4%、「4時間」が25.0%となっている。



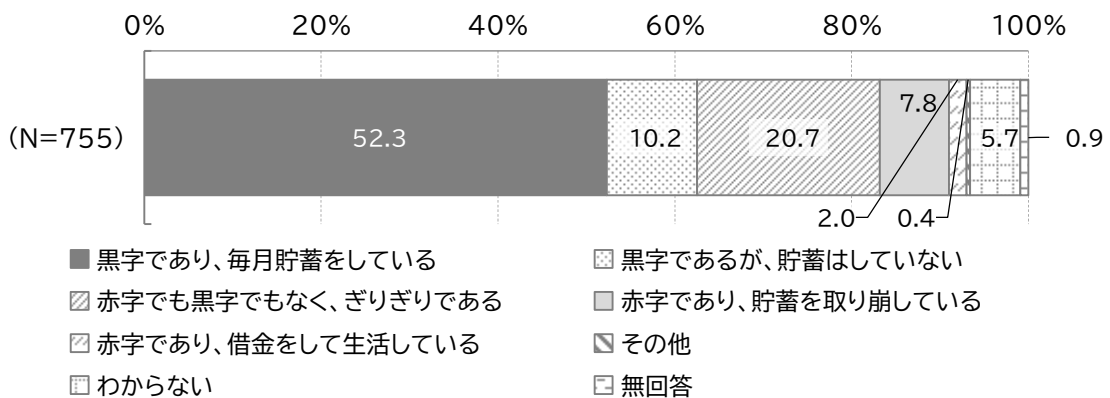
問 18 宛名のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「1,000～1,500万円未満」が23.6%と最も多く、次いで「1,500～2,000万円未満」が19.1%、「2,000～3,000万円未満」が15.1%となっている。



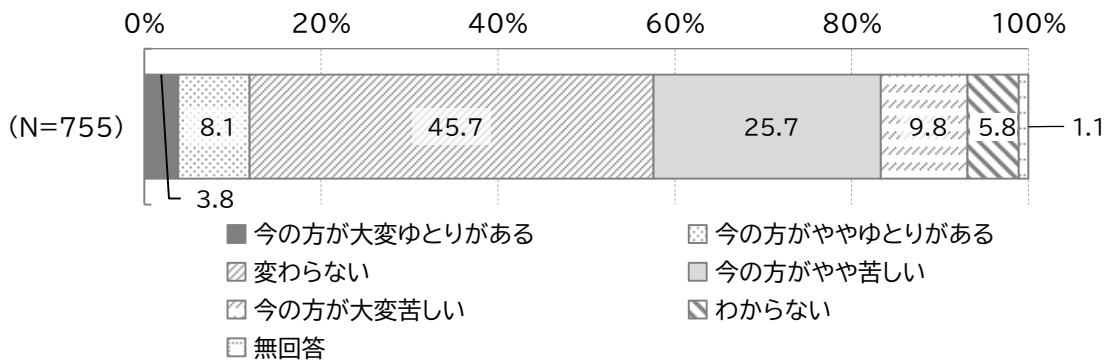
問 19 現在の家計について、最も近いものをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が52.3%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が20.7%、「黒字であるが、貯蓄はしていない」が10.2%となっている。



問 20 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。（あてはまる番号ひとつに○）

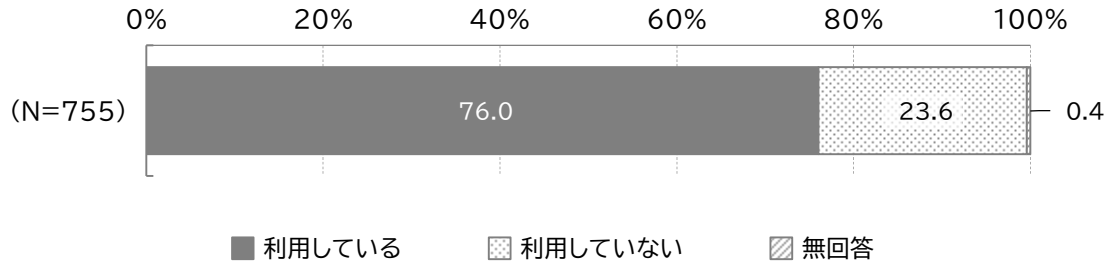
「変わらない」が45.7%と最も多く、次いで「今の方がやや苦しい」が25.7%、「今の方が大変苦しい」が9.8%となっている。



(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 21 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

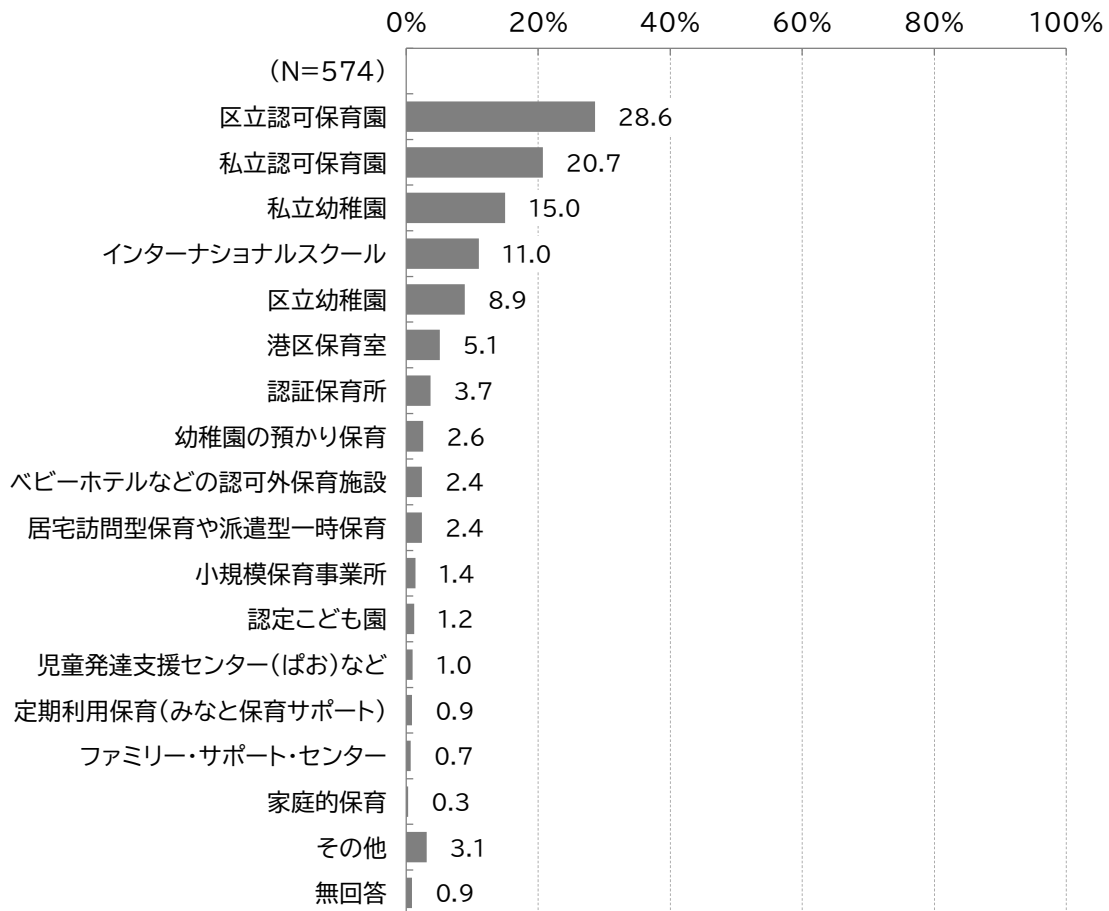
「利用している」が76.0%、「利用していない」が23.6%となっている。



問 21-1 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような定期的な教育・保育を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1. 区立幼稚園」～「11. インターナショナルスクール」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、現在の利用状況と本来利用したい希望時間等を（ ）内に数字でご記入ください。(時間は24時間制でお答えください)

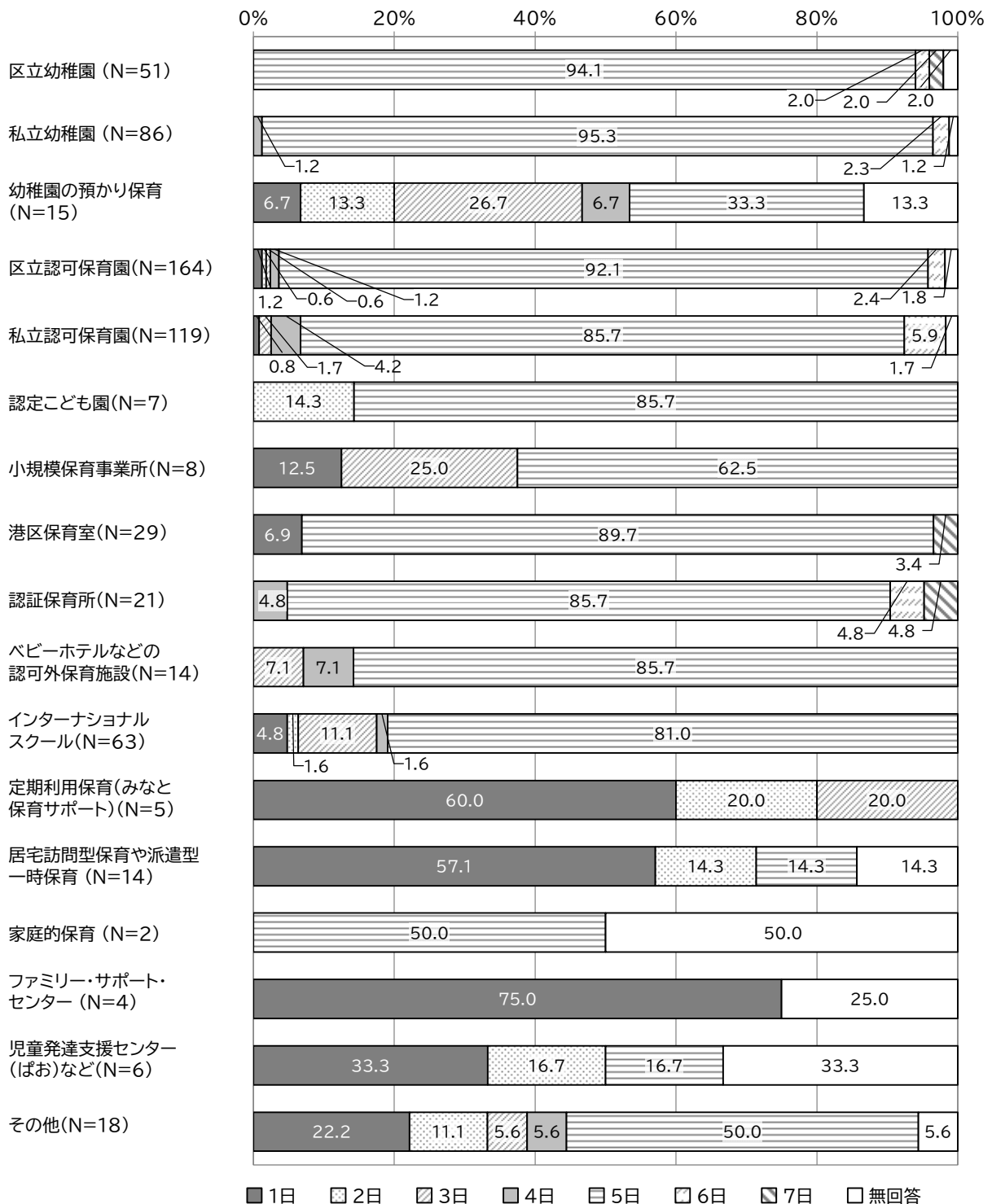
「区立認可保育園」が28.6%と最も多く、次いで「私立認可保育園」が20.7%、「私立幼稚園」が15.0%となっている。



①現在

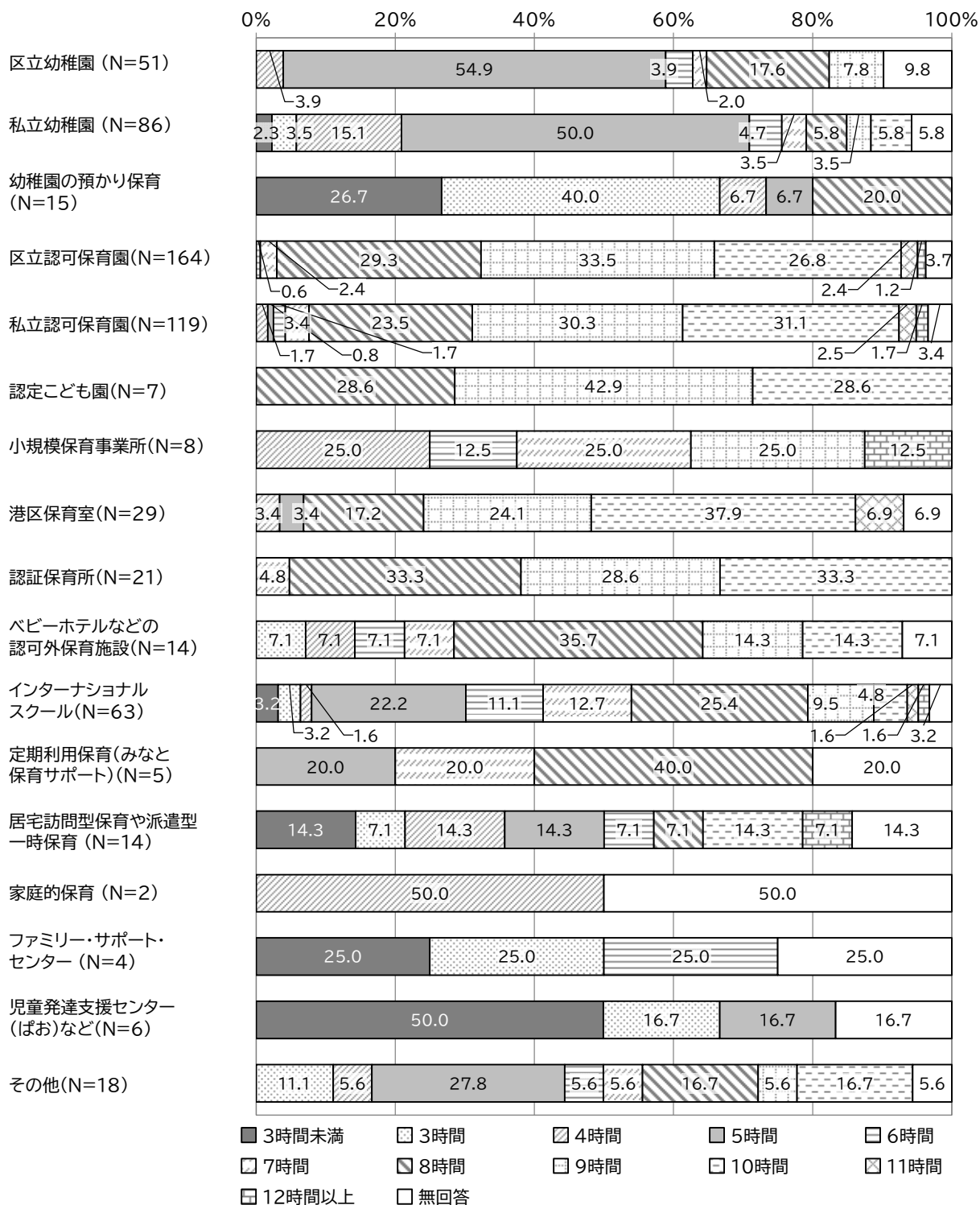
ア 1週あたりの利用日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「5日」、「定期利用保育（みなと保育サポート）」“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”“児童発達支援センター（ばお）など”は「1日」が最も多くなっている。



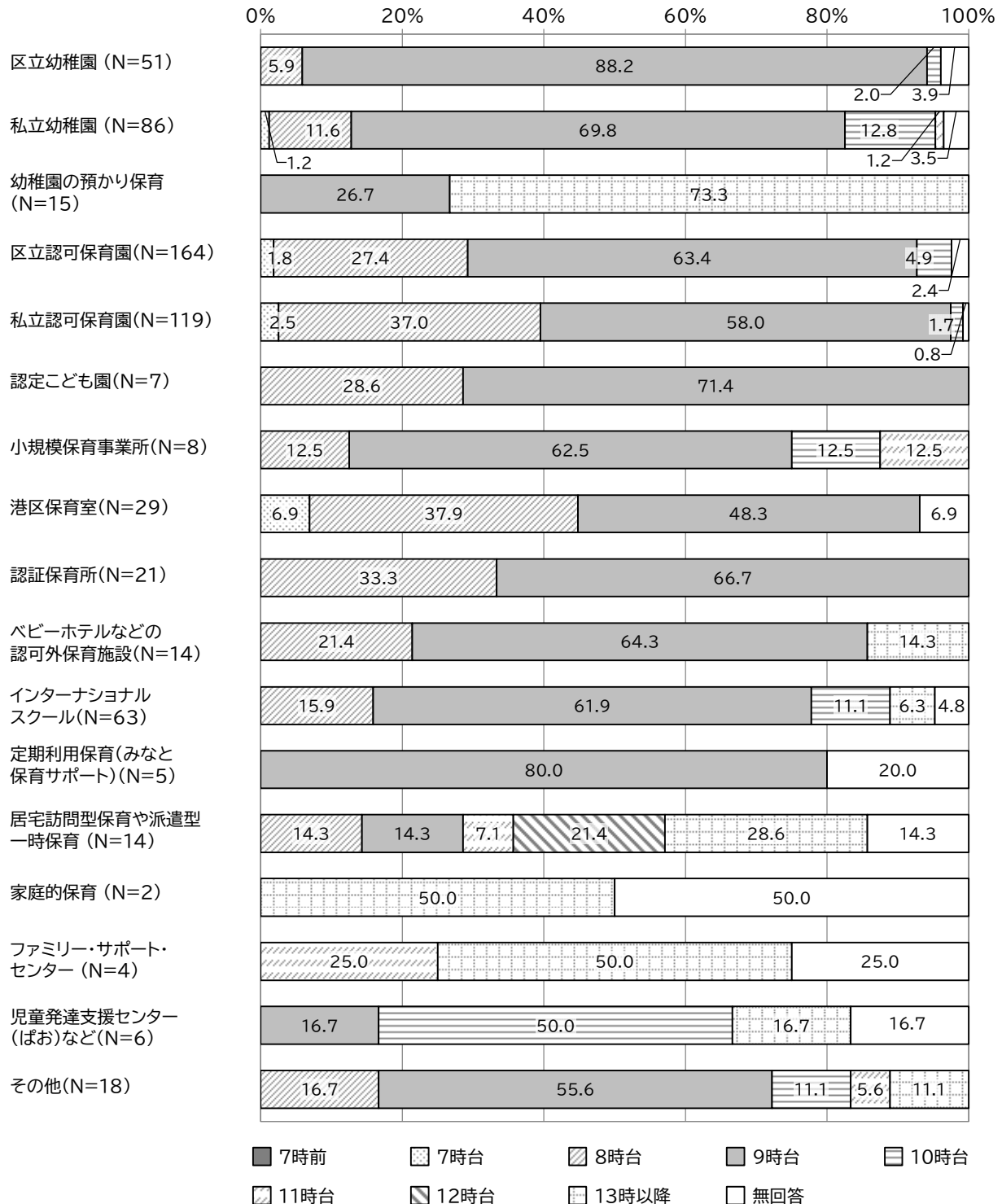
イ 1日あたりの利用時間

“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「5時間」、「幼稚園の預かり保育」は「3時間」、「区立認可保育園」“認定こども園”は「9時間」、「私立認可保育園」“港区保育室”は「10時間」、「ベビーホテルなどの認可外保育施設」“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「8時間」、「児童発達支援センター（ぱお）など」は「3時間未満」が最も多くなっている。



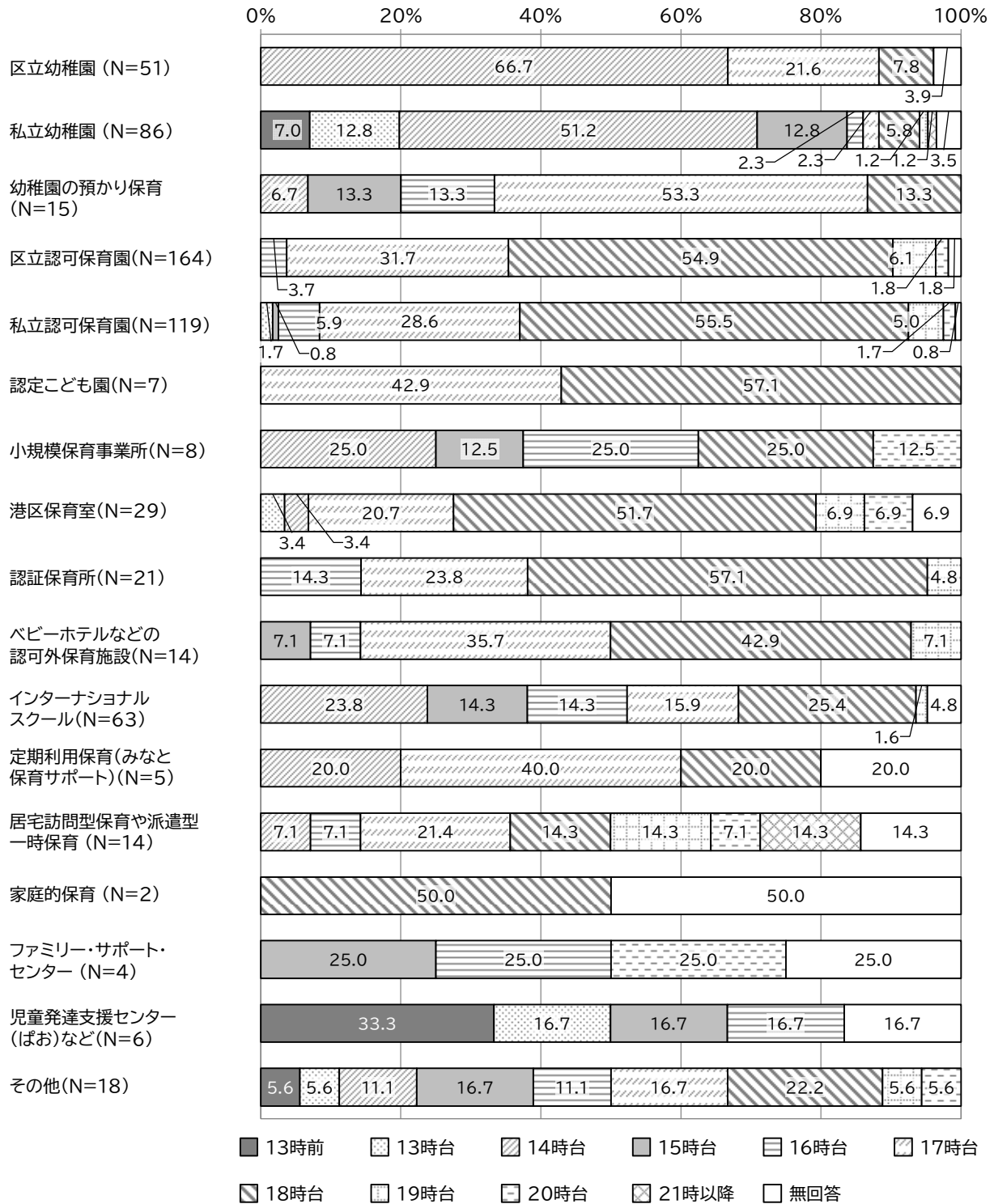
ウ 開始時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「9時台」、 “幼稚園の預かり保育” “居宅訪問型保育や派遣型一時保育” “ファミリー・サポート・センター”は「13時以降」、 “児童発達支援センター（ばお）など”は「10時台」が最も多くなっている。



工 終了時刻

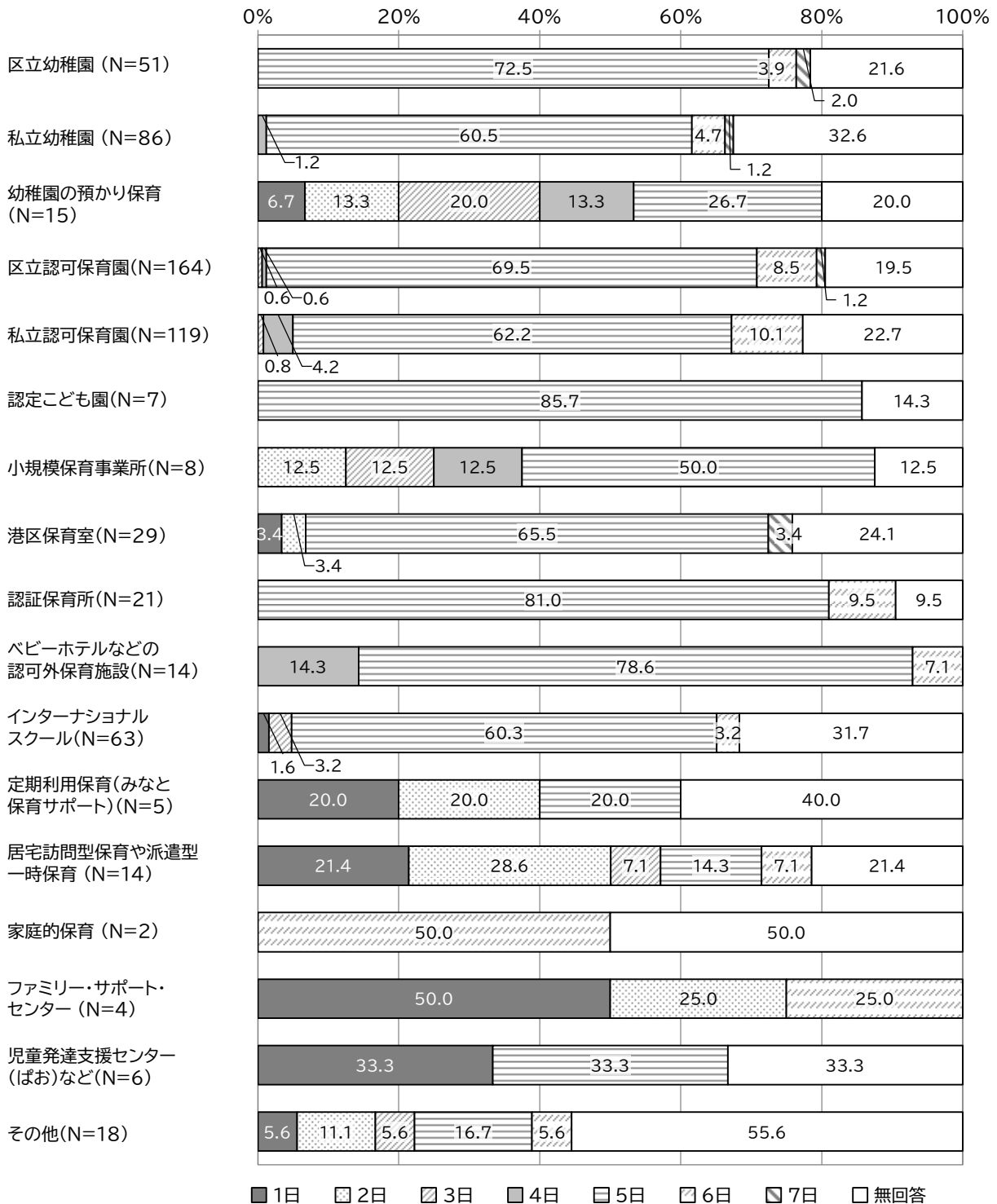
“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「14時台」、 “幼稚園の預かり保育” “定期利用保育（みなと保育サポート）” “居宅訪問型保育や派遣型一時保育” は「17時台」、 “区立認可保育園” “私立認可保育園” “認定こども園” “港区保育室” “認証保育所” “ベビーホテルなどの認可外保育施設” “インターナショナルスクール” は「18時台」、 “児童発達支援センター（ぱお）など” は「13時前」が最も多くなっている。



②希望

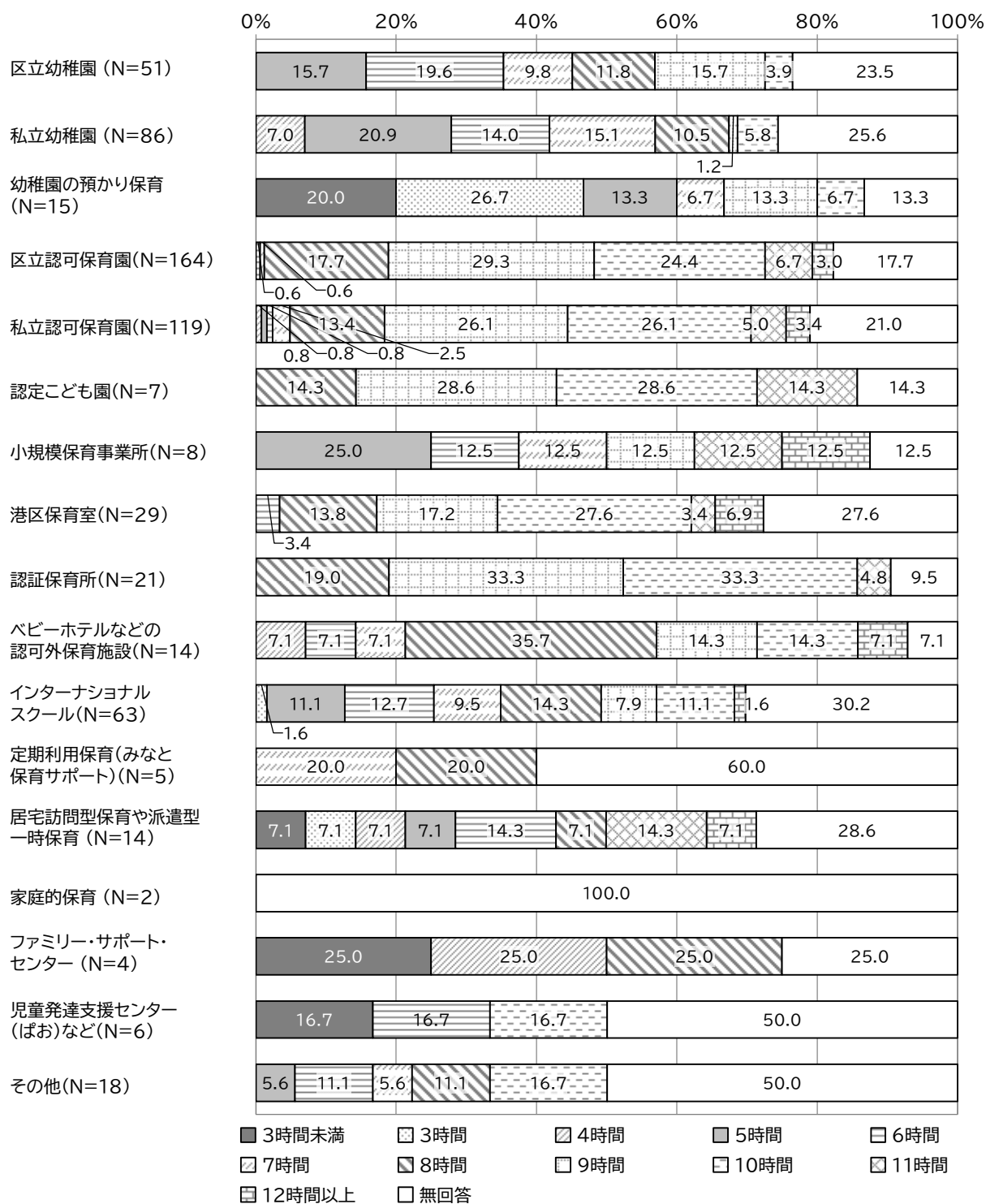
ア 1週あたりの利用日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「5日」、「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」は「2日」、「ファミリー・サポート・センター」は「1日」が最も多くなっている。



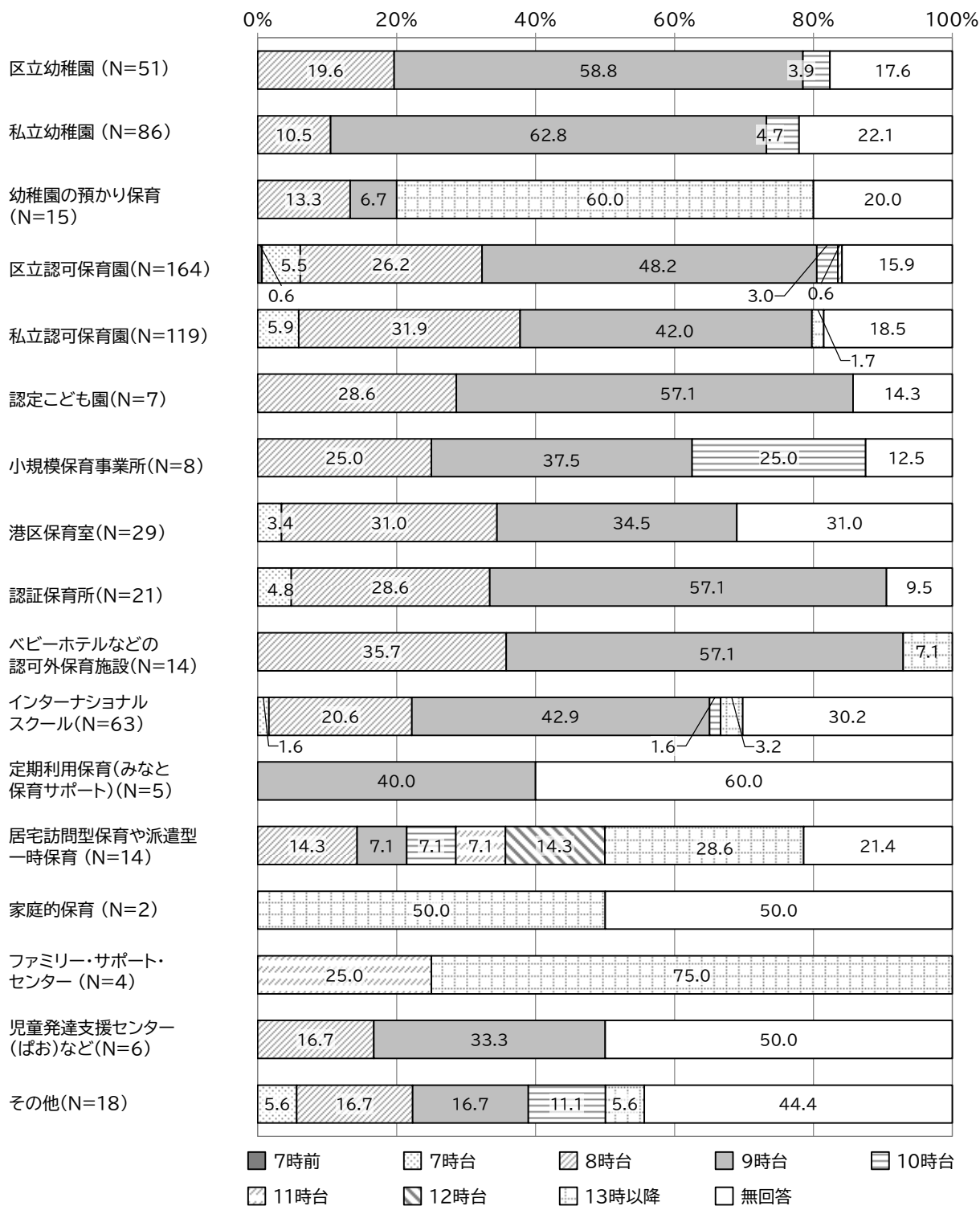
イ 1日あたりの利用時間

“区立幼稚園”は「6時間」、「私立幼稚園」「小規模保育事業所」は「5時間」、「幼稚園の預かり保育」は「3時間」、「区立認可保育園」は「9時間」、「私立認可保育園」「認定こども園」「認証保育所」は「9時間」「10時間」、「港区保育室」は「10時間」、「ベビーホテルなどの認可外保育施設」「インターナショナルスクール」は「8時間」が最も多くなっている。



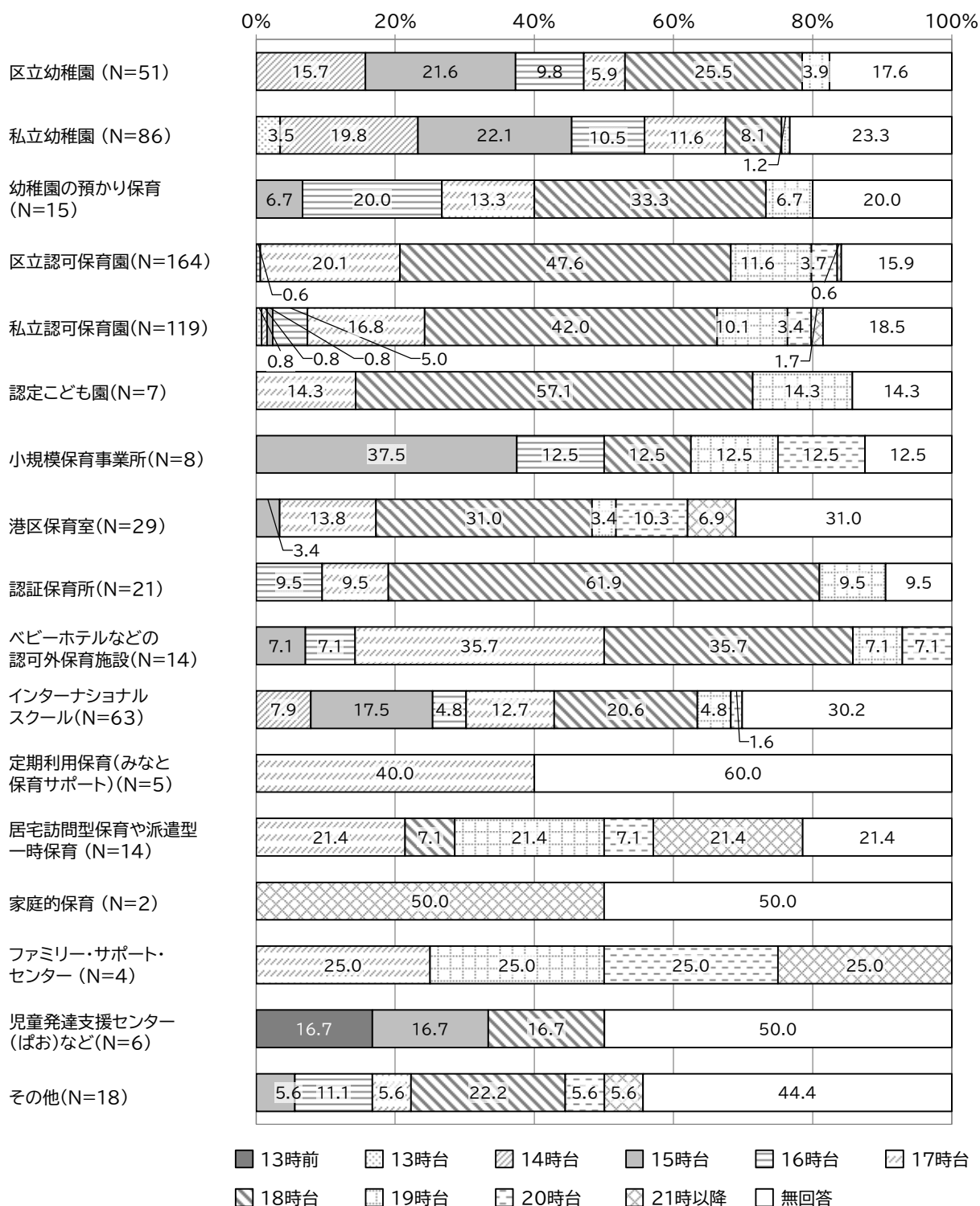
ウ 開始時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“児童発達支援センター（ぱお）など”は「9時前」、 “幼稚園の預かり保育” “居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「13時以降」が最も多くなっている。



工 終了時刻

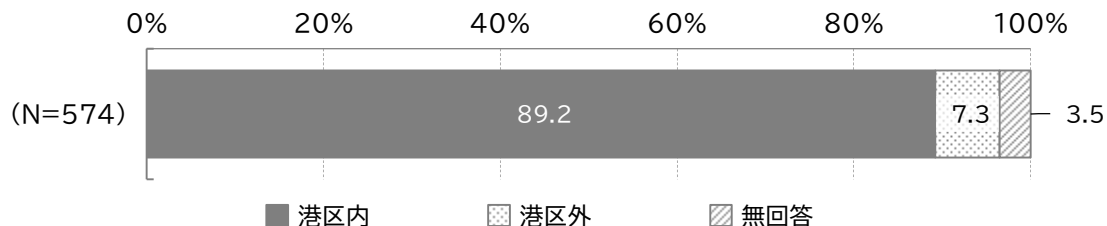
“区立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“港区保育室”“認証保育所”“インターナショナルスクール”は「18時台」、 “私立幼稚園” “小規模保育事業所”は「15時台」、 “ベビーホテルなどの認可外保育施設”は「17時台」「18時台」、 “定期利用保育（みなと保育サポート）”は「17時台」が最も多くなっている。



問 21-2 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

現在利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

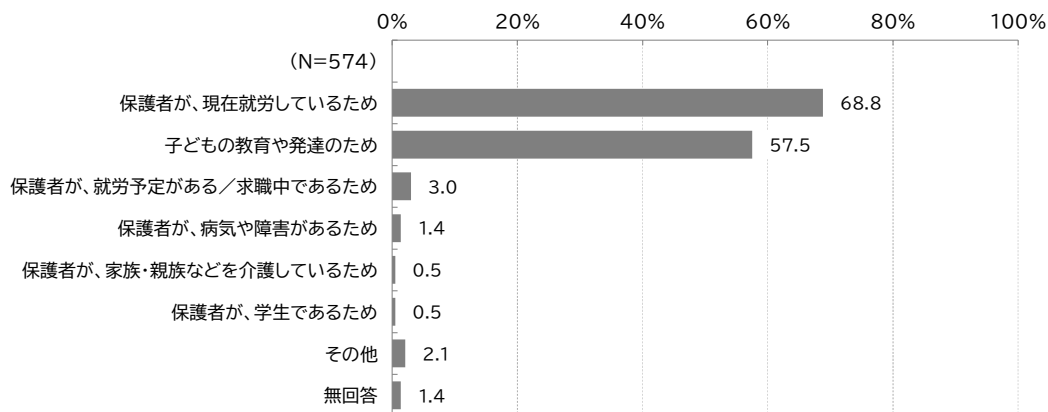
「港区内」が 89.2%、「港区外」が 7.3%となっている。



問 21-3 問 21 で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

定期的な教育・保育事業を利用されている主な理由はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

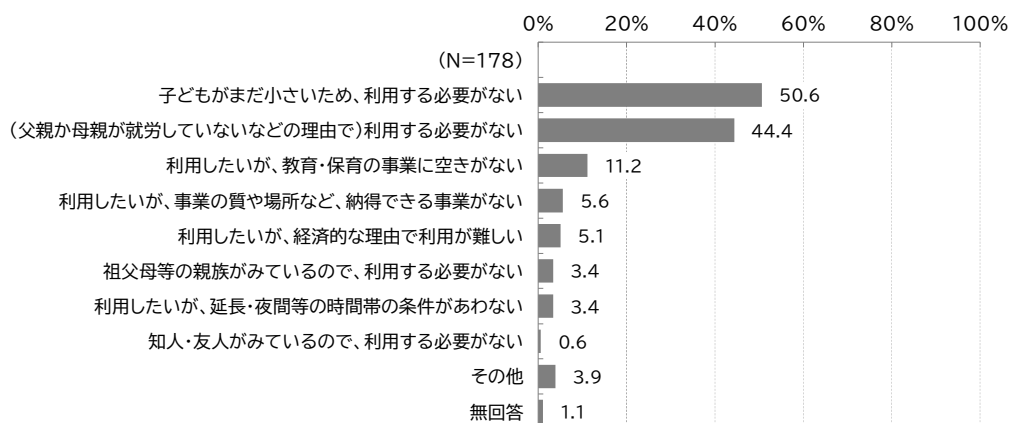
「保護者が、現在就労しているため」が 68.8%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 57.5%、「保護者が、就労予定がある／求職中であるため」が 3.0%となっている。



問 21-4 問 21 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

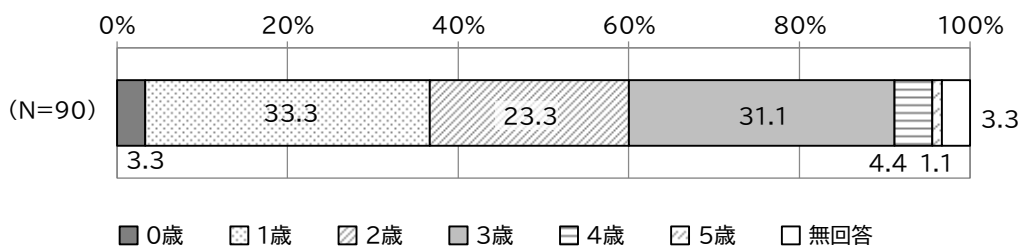
利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」が 50.6%と最も多く、次いで「(父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 44.4%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 11.2%となっている。



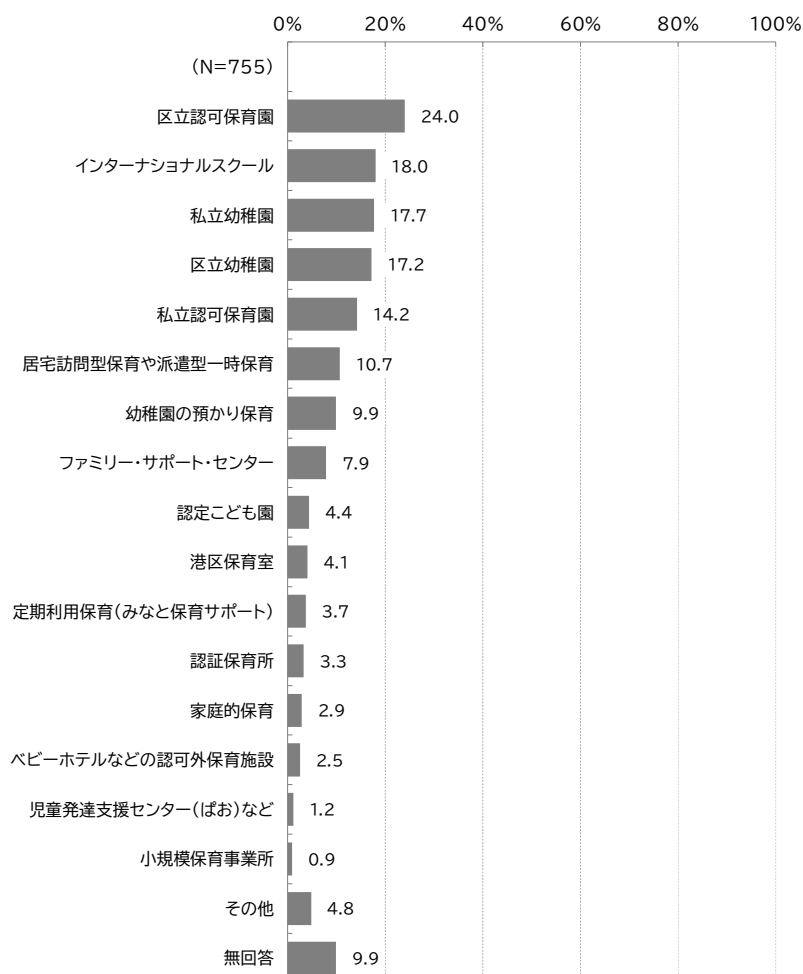
①子どもの年齢（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている

問 21-4で「子どもがまだ小さいため、利用する必要がない」と回答した人の利用希望年齢は「1歳」が33.3%と最も多く、次いで「3歳」が31.1%、「2歳」が23.3%となっている。



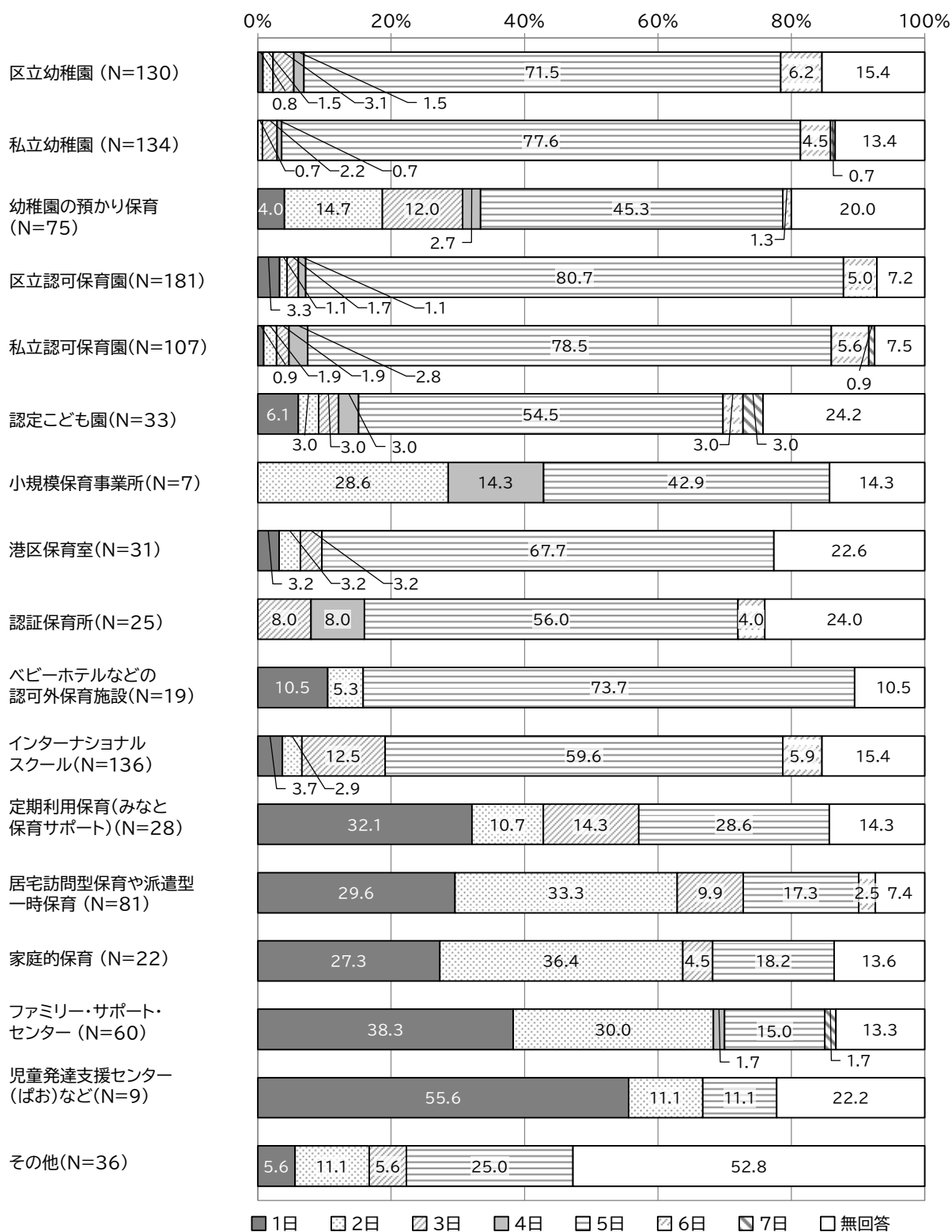
問 22 現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1.区立幼稚園」～「11.インターナショナルスクール」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、希望時間等を（ ）内に数字でご記入ください。（時間は24時間制でお答えください）

「区立認可保育園」が24.0%と最も多く、次いで「インターナショナルスクール」が18.0%、「私立幼稚園」が17.7%となっている。



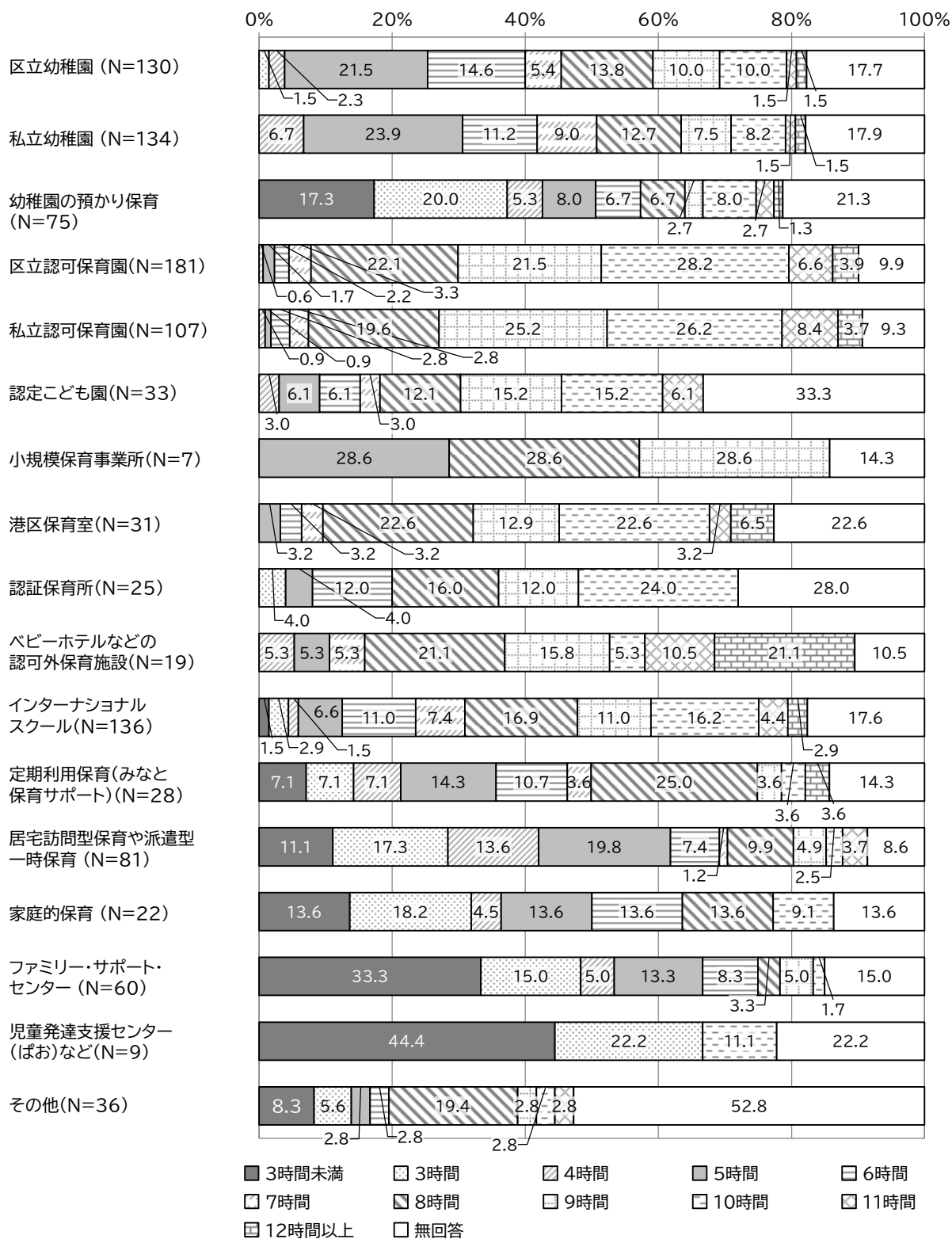
ア 1週あたりの利用希望日数

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“幼稚園の預かり保育”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”は「5日」、 “定期利用保育（みなと保育サポート）” “ファミリー・サポート・センター” “児童発達支援センター（ばお）など” は「1日」、 “居宅訪問型保育や派遣型一時保育” “家庭的保育” は「2日」が最も多くなっている。



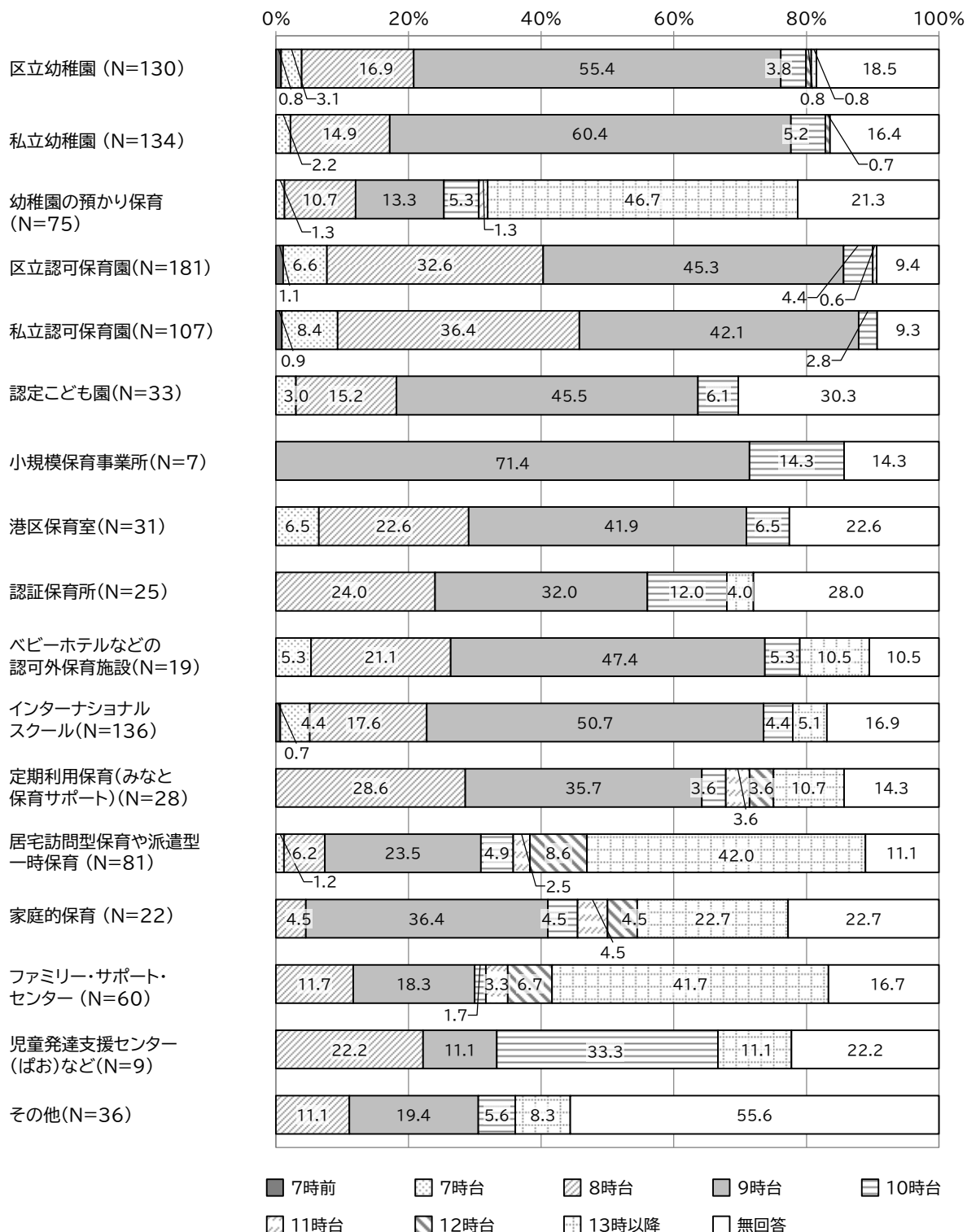
イ 1日あたりの利用希望時間

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”は「5時間」、 “幼稚園の預かり保育”“家庭的保育”は「3時間」、 “区立認可保育園”“私立認可保育園”“認証保育所”は「10時間」、 “インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”は「8時間」、 “ファミリー・サポート・センター”“児童発達支援センター（ばお）など”は「3時間未満」が最も多くなっている。



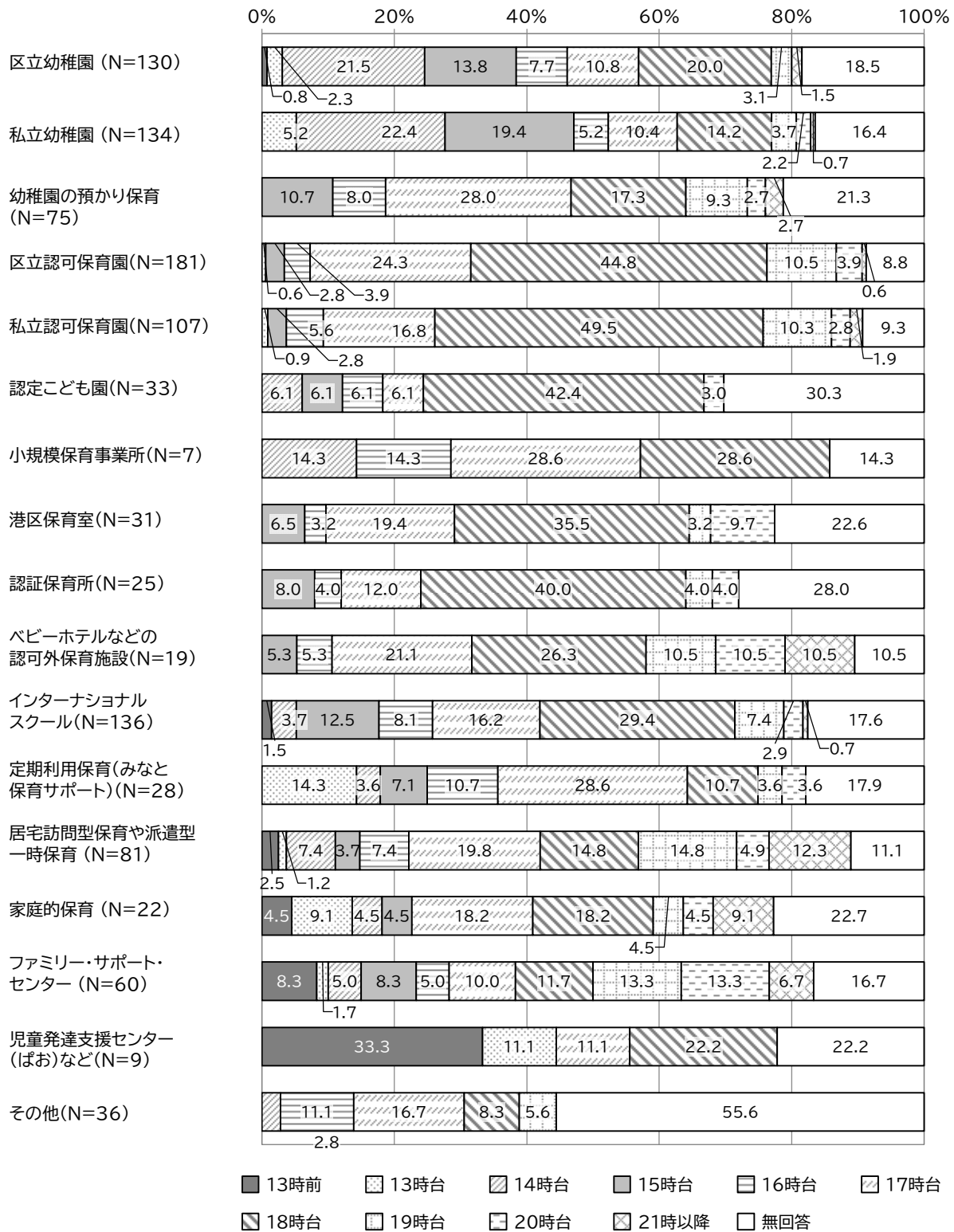
ウ 開始希望時刻

“区立幼稚園”“私立幼稚園”“区立認可保育園”“私立認可保育園”“認定こども園”“小規模保育事業所”“港区保育室”“認証保育所”“ベビーホテルなどの認可外保育施設”“インターナショナルスクール”“定期利用保育（みなと保育サポート）”“家庭的保育”は「9時台」、 “幼稚園の預かり保育” “居宅訪問型保育や派遣型一時保育” “ファミリー・サポート・センター” は「13時以降」、 “児童発達支援センター（ばお）など” は「10時台」が最も多くなっている。



工 終了希望時刻

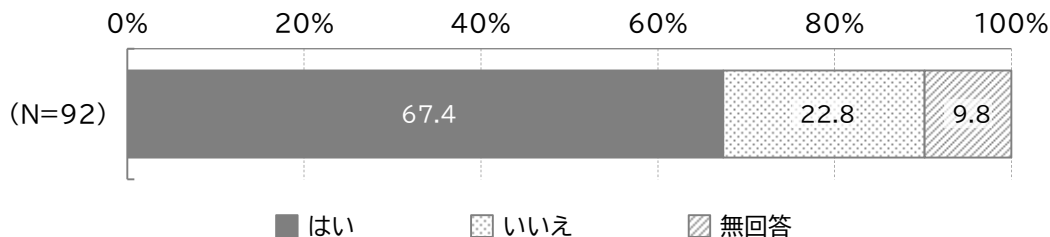
“区立幼稚園”“私立幼稚園”は「14時台」、 “幼稚園の預かり保育” “定期利用保育（みなと保育サポート）” “居宅訪問型保育や派遣型一時保育” は「17時台」、 “区立認可保育園” “私立認可保育園” “認定こども園” “港区保育室” “認証保育所” “ベビーホテルなどの認可外保育施設” “インターナショナルスクール” は「18時台」、 “児童発達支援センター（ぱお）など” は「13時前」が最も多くなっている。



問 22-1 問 22 で「1. 区立幼稚園」～「3. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「4. 区立認可保育園」～「17. その他」にも○をつけた方にうかがいます。

○をつけた事業のうち、もっとも利用を希望するのは幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

「はい」が67.4%、「いいえ」が22.8%となっている。

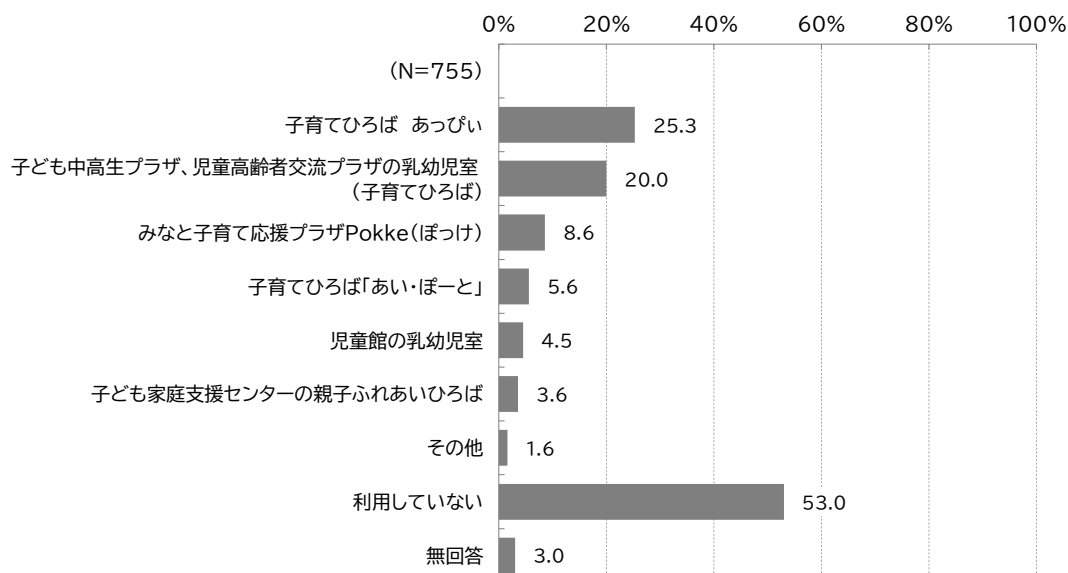


(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育てひろば：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする以下のような事業）などを利用していますか。

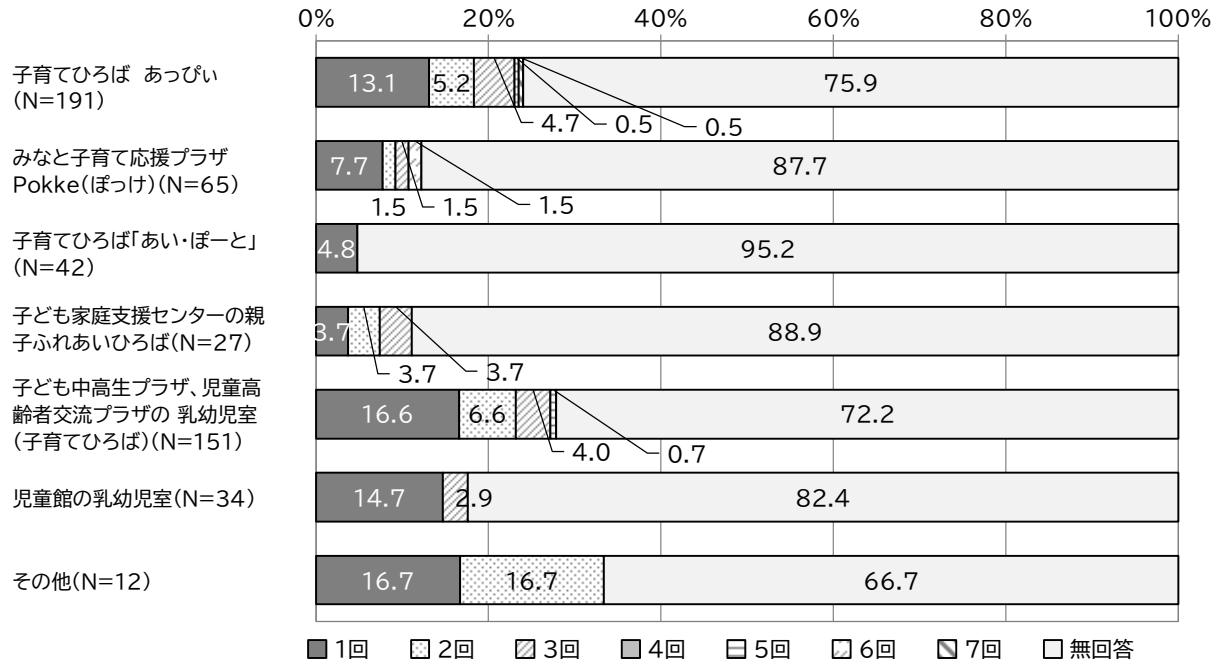
利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1. 子育てひろば あっぴい」または「5. 子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの乳幼児室（子育てひろば）」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。また、○をつけた事業について、おおよその利用回数を（ ）内に数字でご記入ください。

「利用していない」が53.0%と最も多く、次いで「子育てひろば あっぴい」が25.3%、「子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの乳幼児室（子育てひろば）」が20.0%となっている。



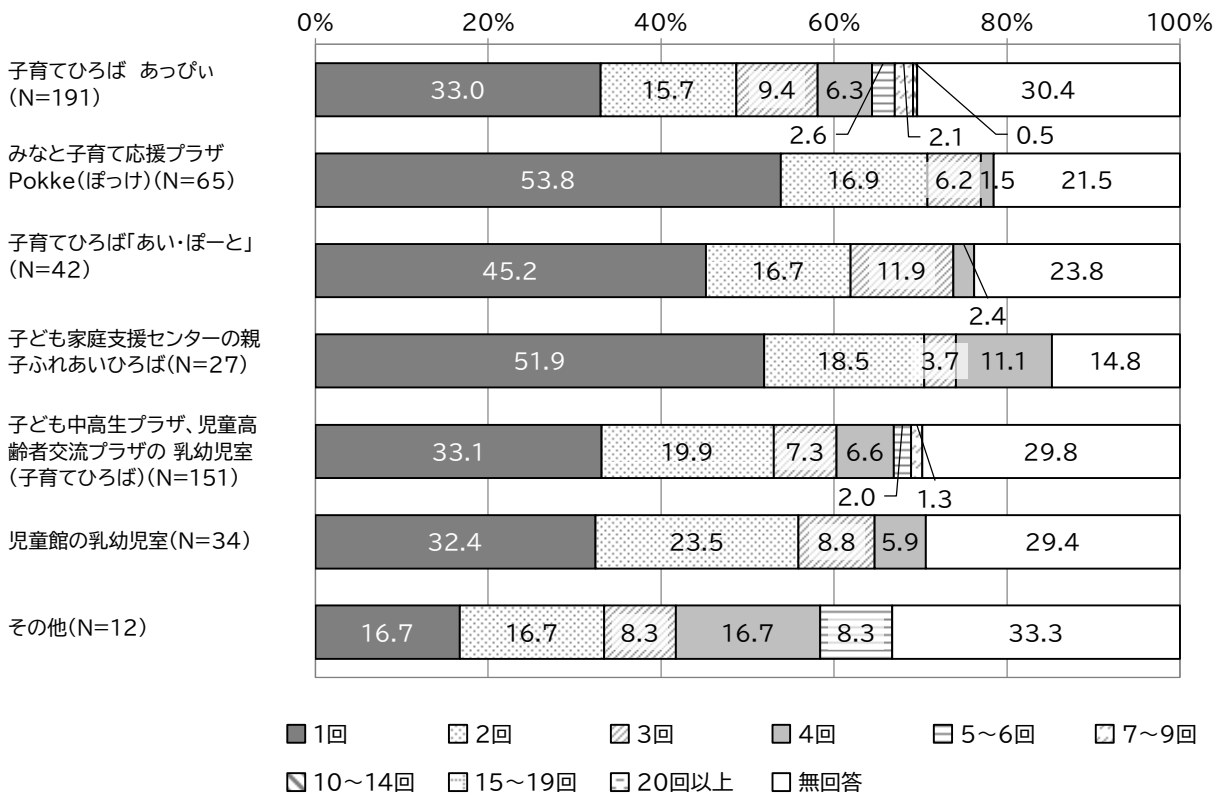
① 1週あたりの利用回数

すべての事業で「1回」が最も多くなっている。「子ども家庭支援センターの親子ふれあいひろば」は「1回」「2回」「3回」がともに1件となっている。



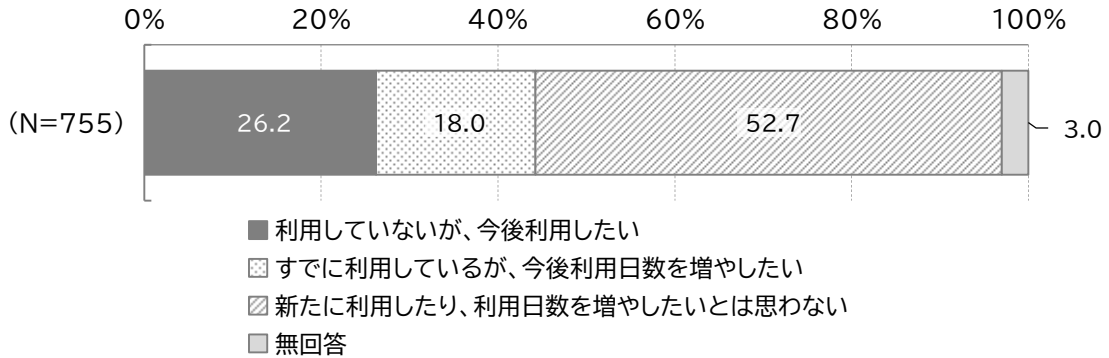
② 1か月あたりの利用回数

すべての事業で「1回」が最も多くなっている。



問 24 問 23 のような地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用希望回数を（ ）内に数字でご記入ください。

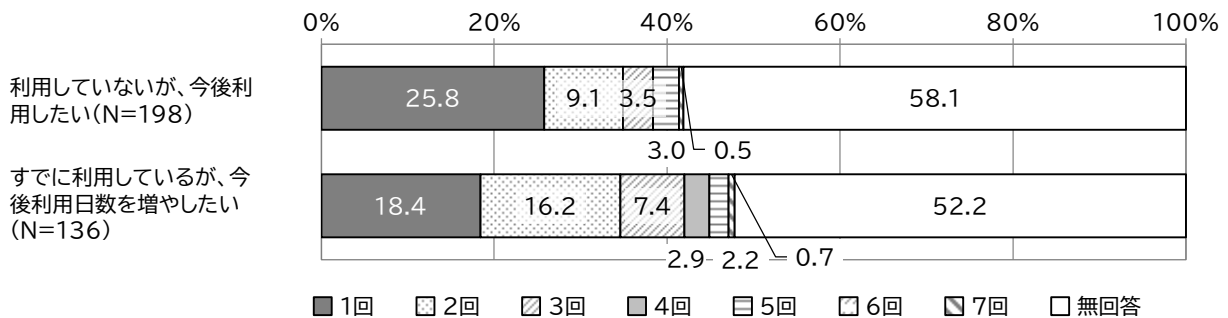
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が52.7%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が26.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が18.0%となっている。



① 1 週あたりの利用希望回数

“利用していないが、今後利用したい”は「1回」が25.8%と最も多く、次いで「2回」が9.1%、「3回」が3.5%となっている。

“すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい”は「1回」が18.4%と最も多く、次いで「2回」が16.2%、「3回」が7.4%となっている。



② 1 か月あたりの利用希望回数

“利用していないが、今後利用したい”は「2回」が20.2%と最も多く、次いで「1回」が18.2%、「4回」が12.1%となっている。

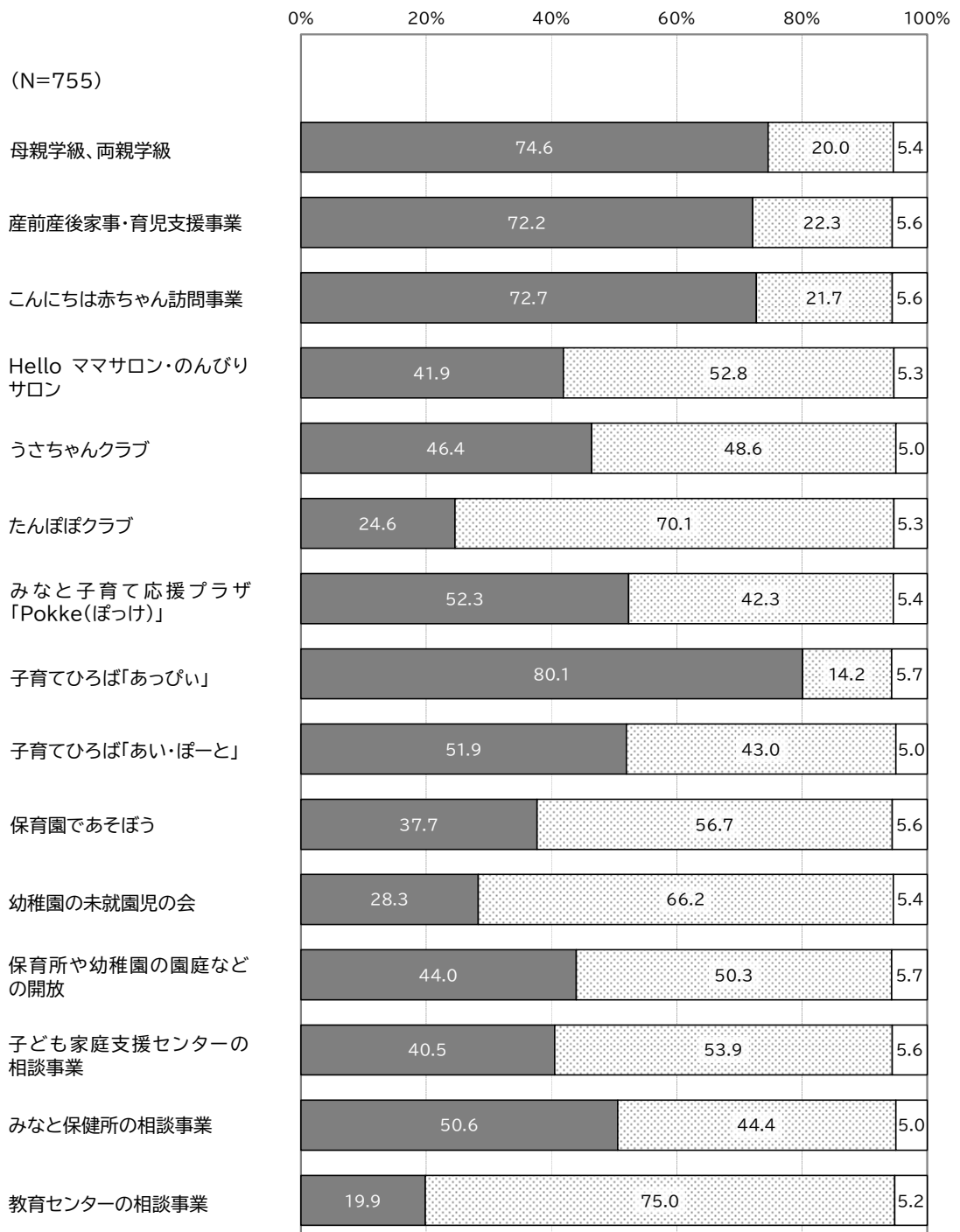
“すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい”は「2回」「4回」がともに14.0%と最も多く、次いで「1回」が8.1%となっている。



問 25 下の事業等で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、「知っている」「これまでに利用したことがある」「今後利用したい」のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

①知っている事業

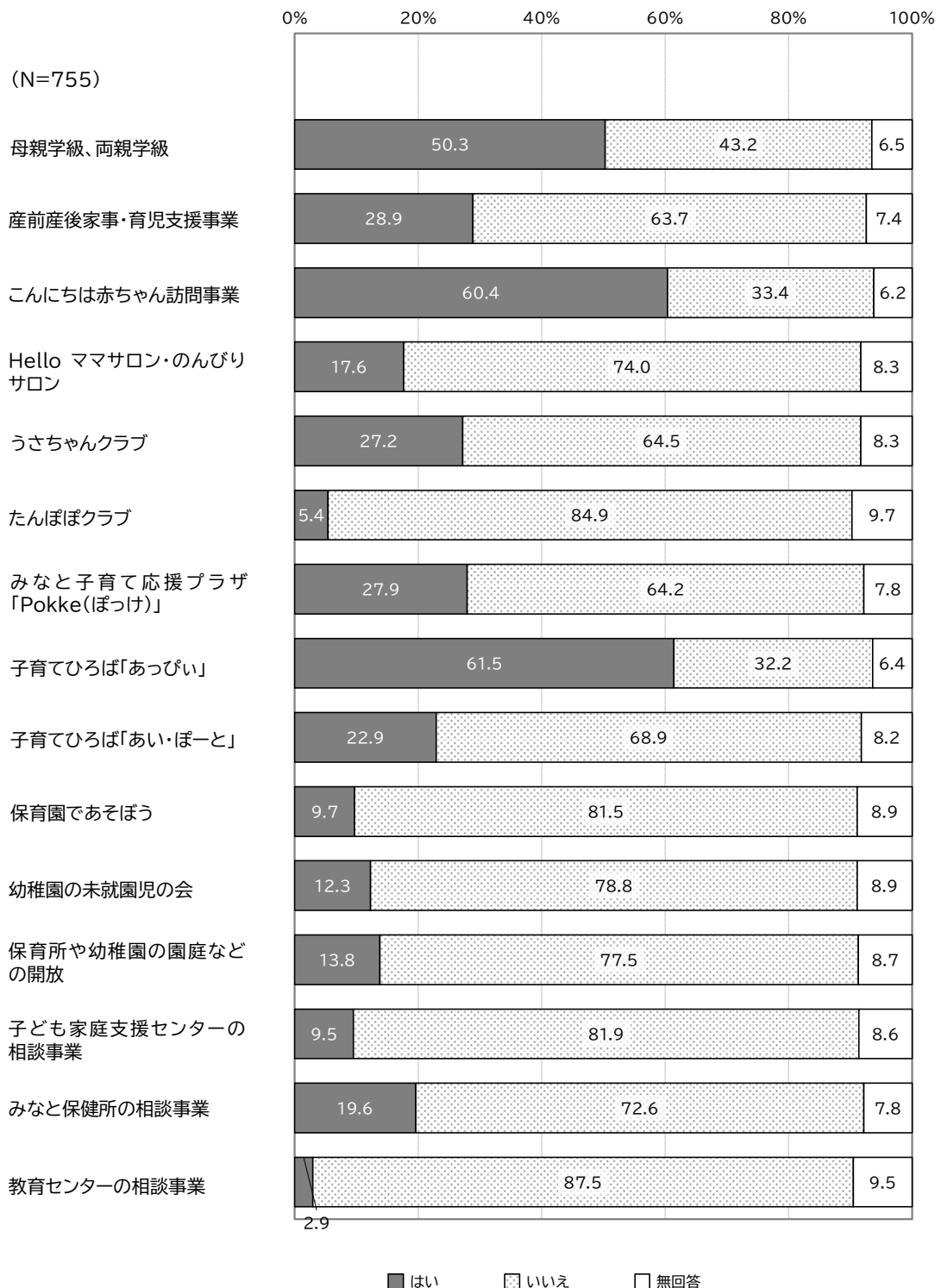
「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴい」”が80.1%と最も多く、次いで“母親学級、両親学級”が74.6%、“こんにちは赤ちゃん訪問事業”が72.7%となっている。一方、“たんぽぽクラブ”“教育センターの相談事業”は認知度が約2割となっている。



■ はい ▨ いいえ □ 無回答

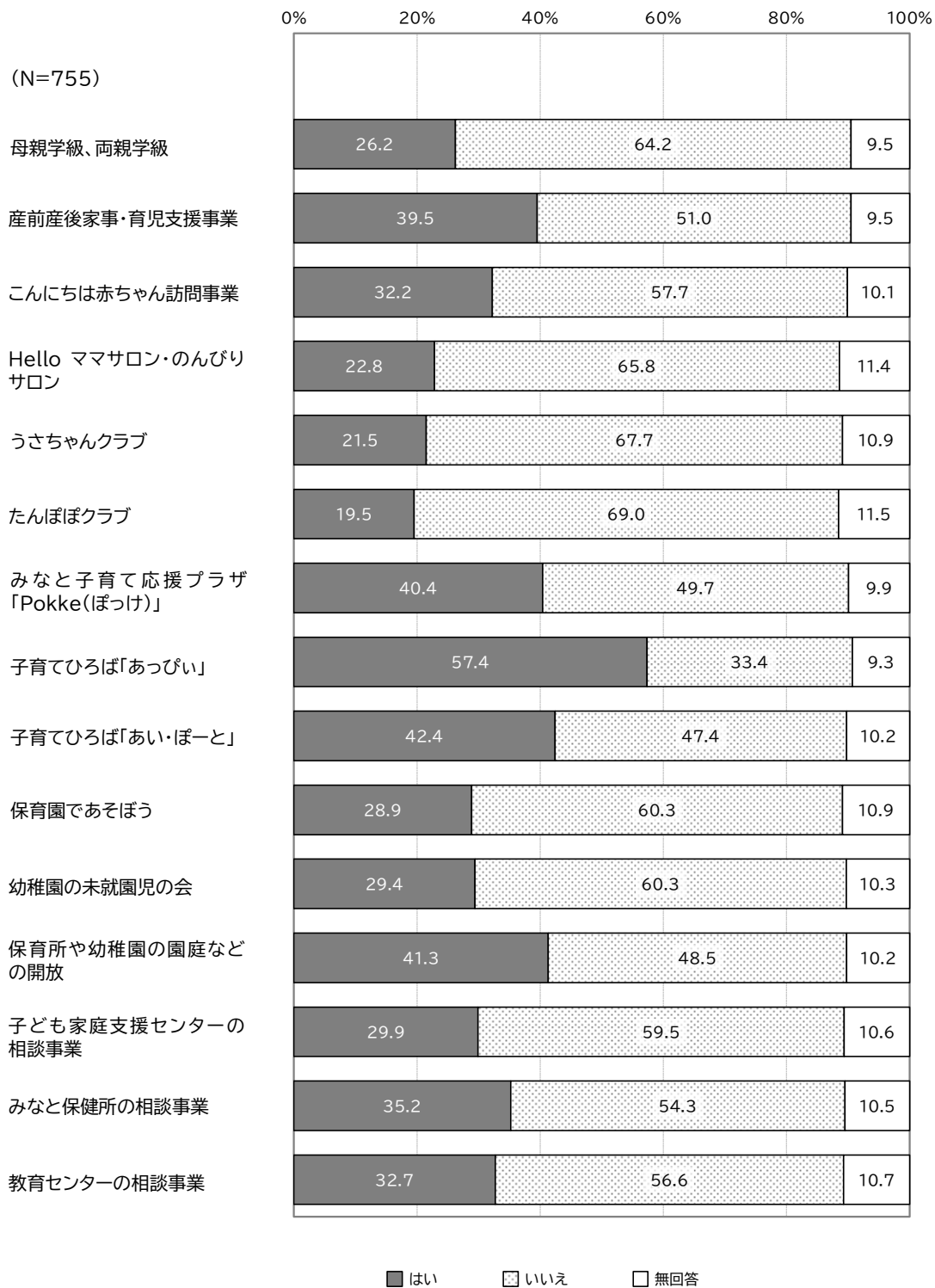
②これまでに利用したことがある事業

「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴい」”が61.5%と最も多く、次いで“こんにちは赤ちゃん訪問事業”が60.4%、“母親学級、両親学級”が50.3%となっている。一方、多くの事業で「いいえ」が多く、おおむね3割未満の利用となっている。



③今後利用したい事業

「はい」と回答した割合は、“子育てひろば「あっぴい」”が57.4%と最も多く、次いで“子育てひろば「あい・ぽーと」”が42.4%、“保育所や幼稚園の園庭などの開放”が41.3%となっている。一方、“Hello ママサロン・のんびりサロン”“うさちゃんクラブ”“たんぽぽクラブ”は利用意向が約2割となっている。

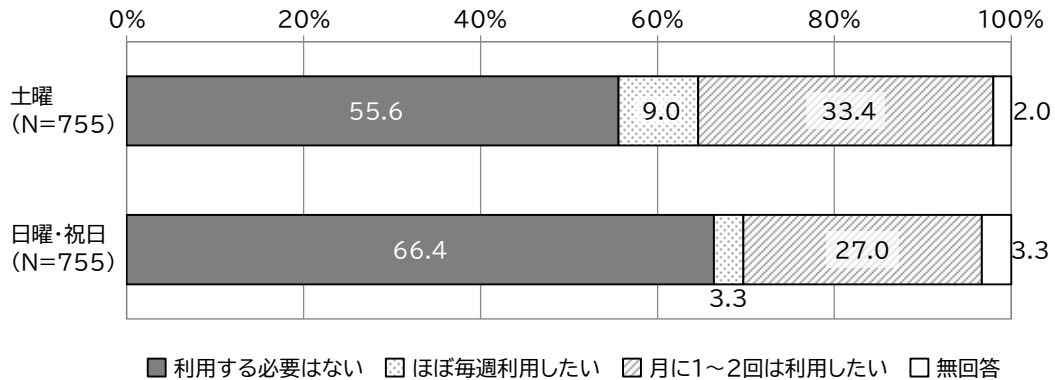


(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問 26 宛名のお子さんについて、土曜と日曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）
希望がある場合は、利用したい時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。

土曜は「利用する必要はない」が55.6%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が33.4%、「ほぼ毎週利用したい」が9.0%となっている。

日曜・祝日は「利用する必要はない」が66.4%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.0%、「ほぼ毎週利用したい」が3.3%となっている。

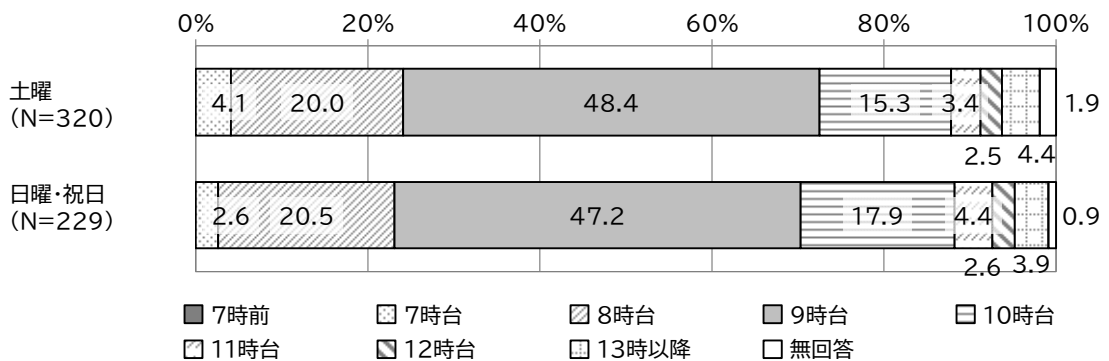


①利用したい時間帯

ア 開始時刻

土曜は「9時台」が48.4%と最も多く、次いで「8時台」が20.0%、「10時台」が15.3%となっている。

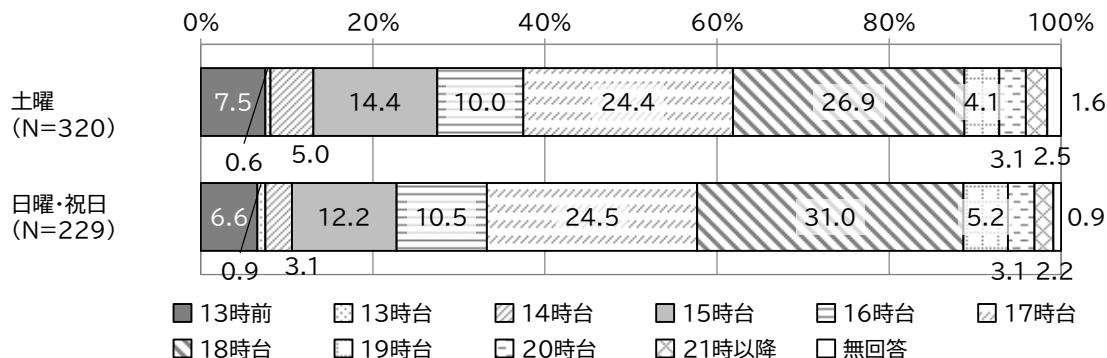
日曜・祝日は「9時台」が47.2%と最も多く、次いで「8時台」が20.5%、「10時台」が17.9%となっている。



イ 終了時刻

土曜は「18時台」が26.9%と最も多く、次いで「17時台」が24.4%、「15時台」が14.4%となっている。

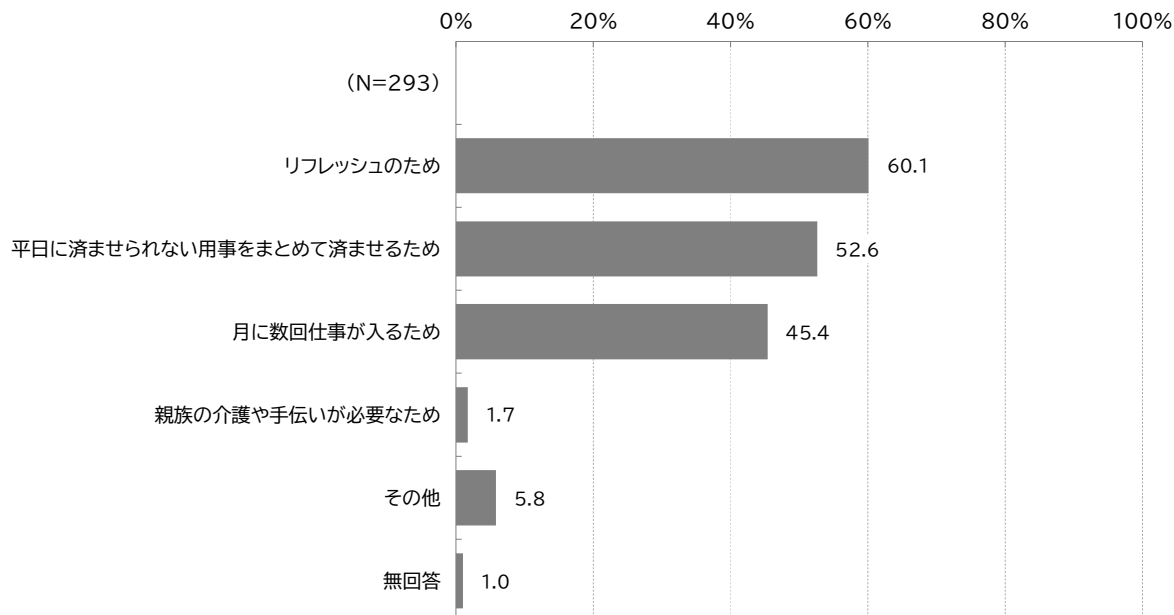
日曜・祝日は「18時台」が31.0%と最も多く、次いで「17時台」が24.5%、「15時台」が12.2%となっている。



問 26-1 問 26 の (1) または (2) で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「リフレッシュのため」が60.1%と最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が52.6%、「月に数回仕事が入るため」が45.4%となっている。

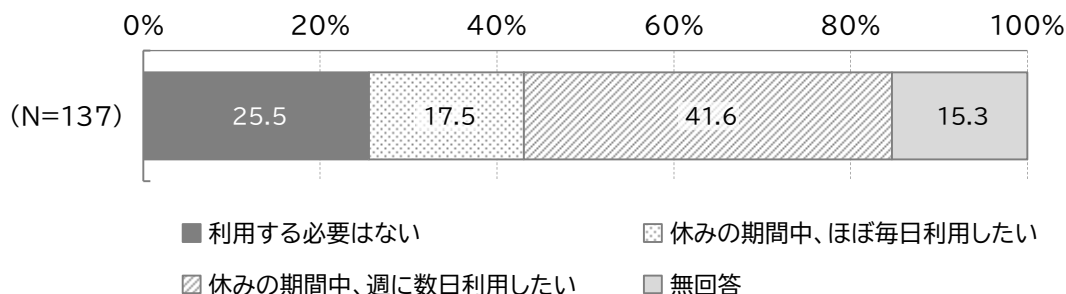


問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

希望がある場合は、利用したい時間帯を()内に数字でご記入ください。

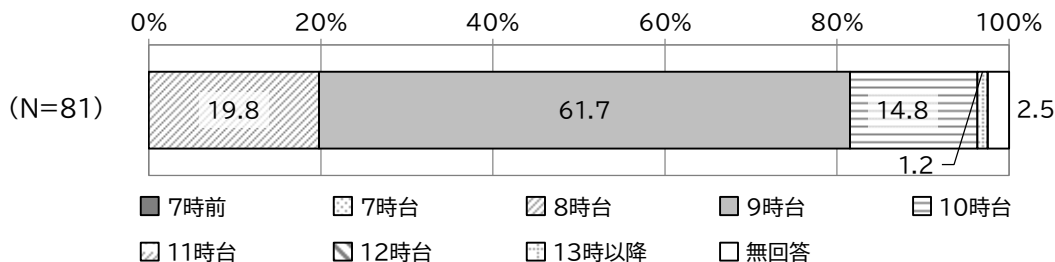
「休みの期間中、週に数日利用したい」が41.6%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が25.5%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が17.5%となっている。



①利用したい時間帯

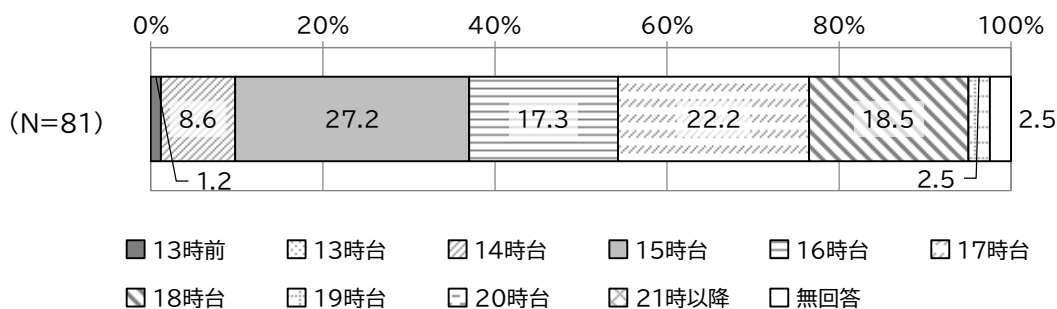
ア 開始時刻

「9時台」が61.7%と最も多く、次いで「8時台」が19.8%、「10時台」が14.8%となっている。



イ 終了時刻

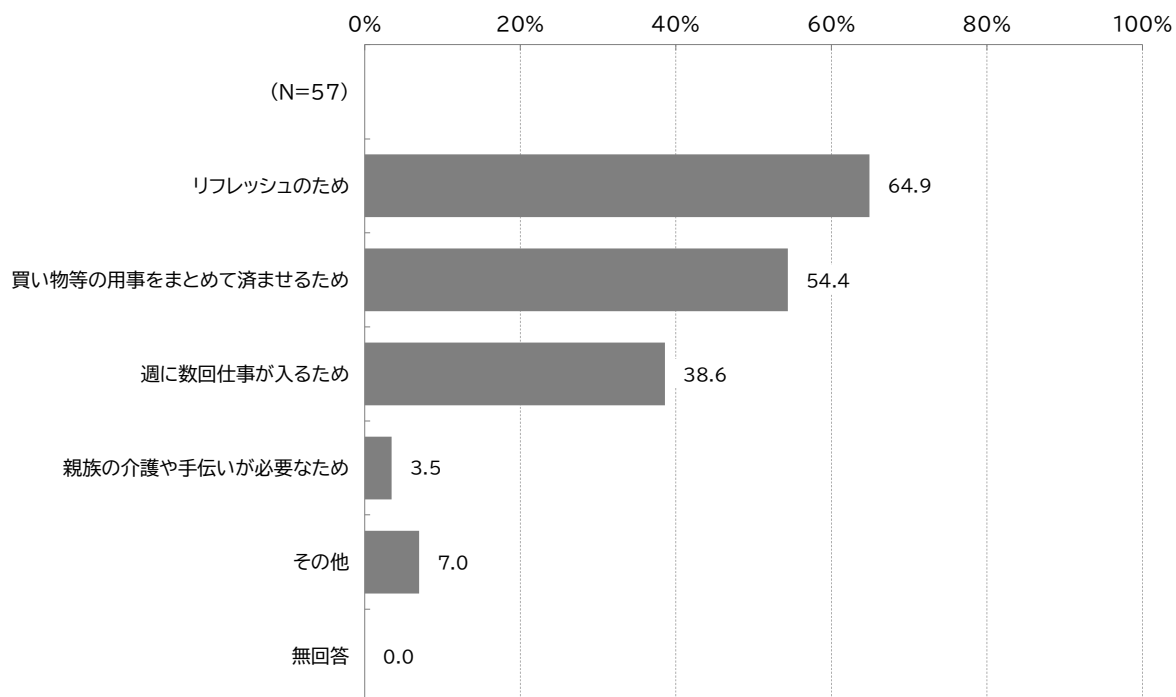
「15時台」が27.2%と最も多く、次いで「17時台」が22.2%、「18時台」が18.5%となっている。



問 27-1 問 27 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「リフレッシュのため」が 64.9% と最も多く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 54.4%、「週に数回仕事が入るため」が 38.6% となっている。

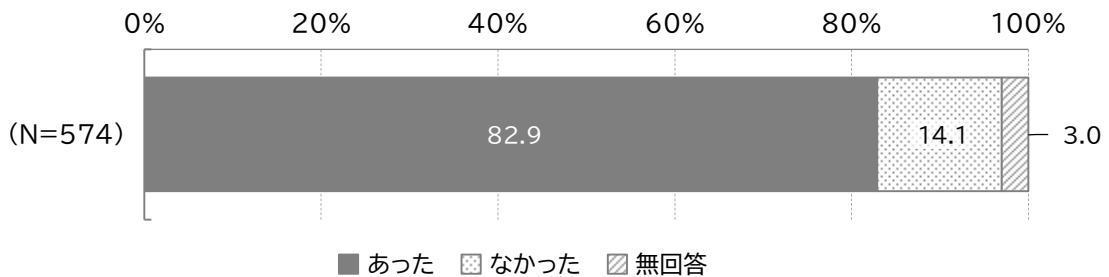


(8) 病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用している方のみ）

問 28 問 21 で、平日の定期的な教育・保育事業について「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

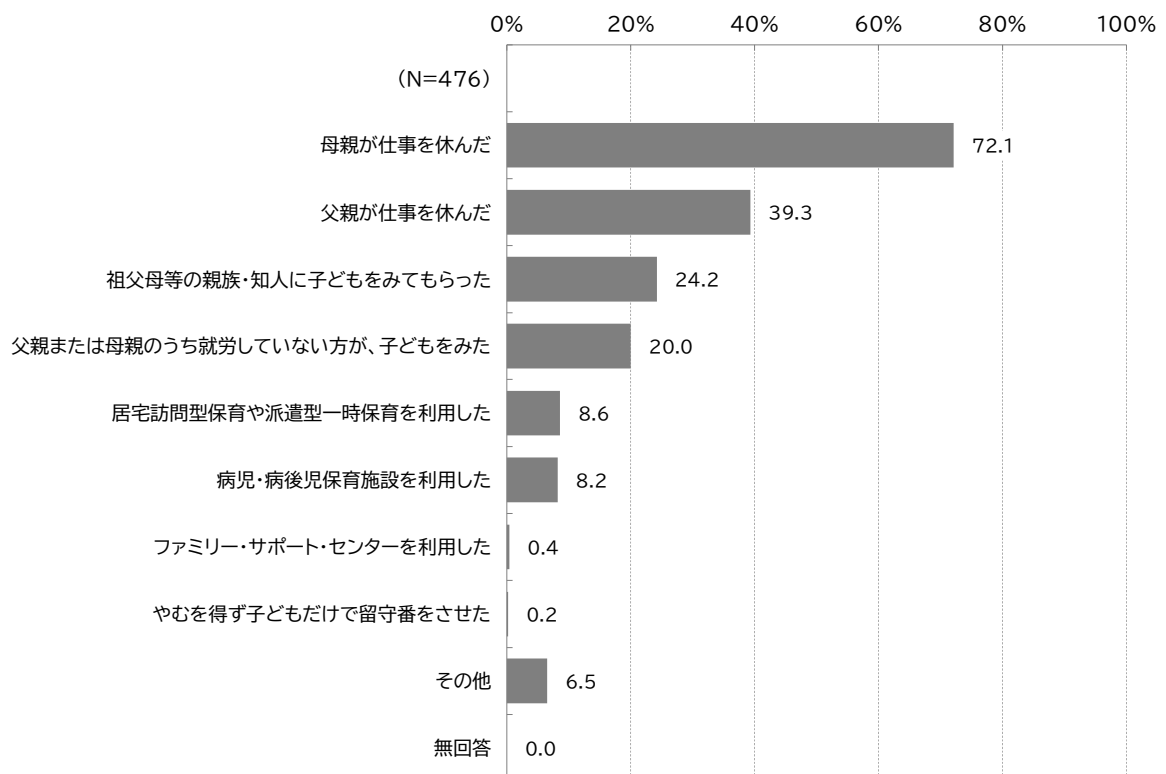
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで幼稚園や保育園等を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あった」が82.9%、「なかった」が14.1%となっている。



問 28-1 宛名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、「5. 病児・病後児保育施設を利用した」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。また、○をつけたものについて、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

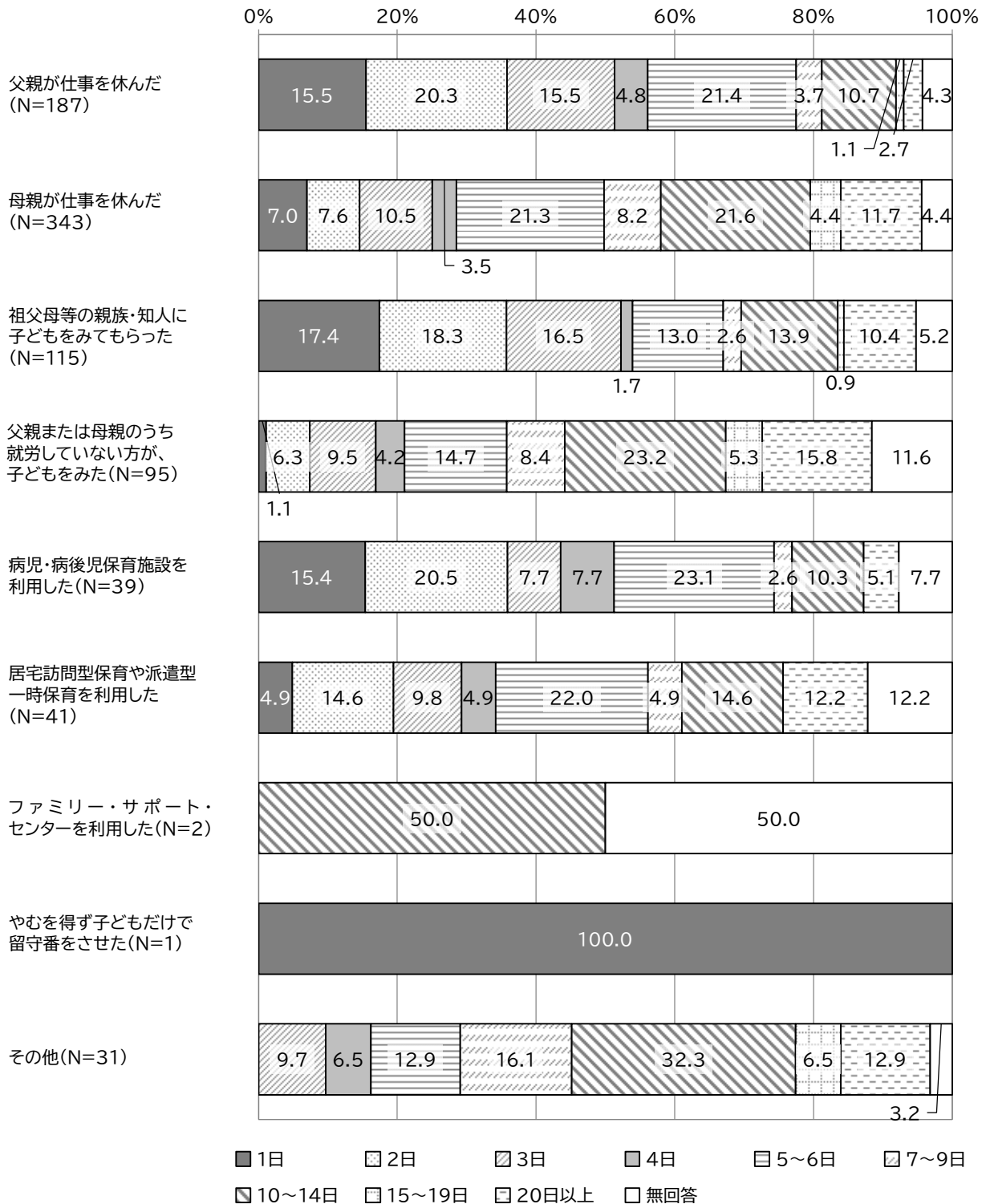
「母親が仕事を休んだ」が72.1%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が39.3%、「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」が24.2%となっている。



① 1年あたりの日数

“父親が仕事を休んだ”は「5～6日」が21.4%と最も多く、次いで「2日」が20.3%、「1日」「3日」がともに15.5%であり、平均4.6日となっている。

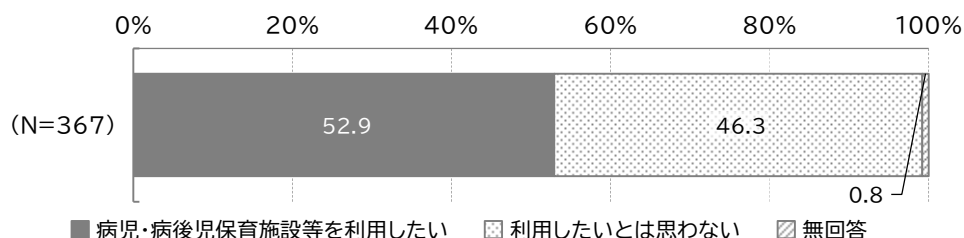
“母親が仕事を休んだ”は「10～14日」が21.6%と最も多く、次いで「5～6日」が21.3%、「20日以上」が11.7%であり、平均8.8日となっている。



問 28-2 問 28-1 で「1. 父親が仕事を休んだ」または「2. 母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にかがいます。

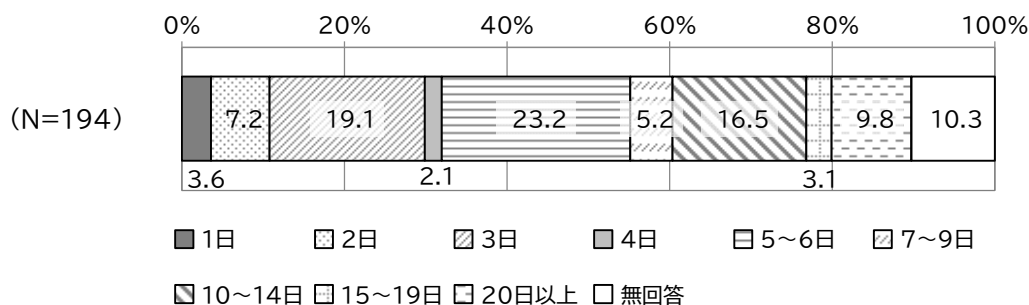
その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について（ ）内に数字でご記入ください。

「病児・病後児保育施設等を利用したい」が 52.9%、「利用したいとは思わない」が 46.3%となっている。



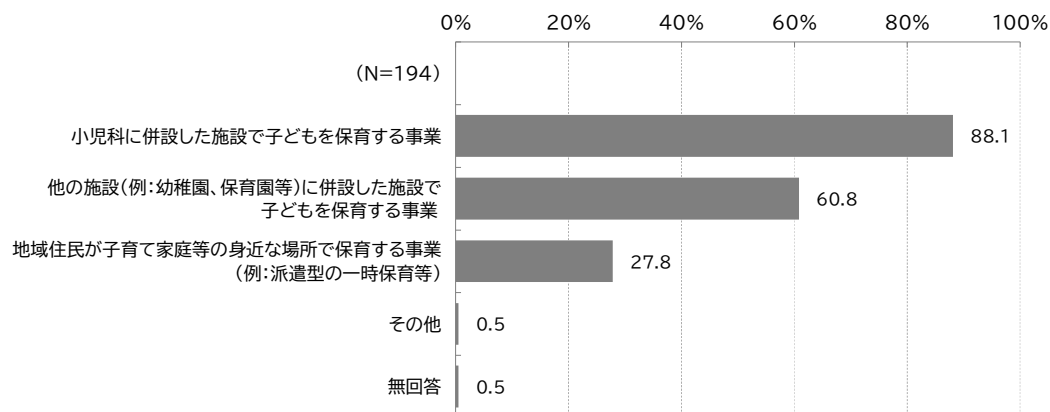
① 1年あたりの利用希望日数

「5～6日」が 23.2%と最も多く、次いで「3日」が 19.1%、「10～14日」が 16.5%となっている。



問 28-3 問 28-2 で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

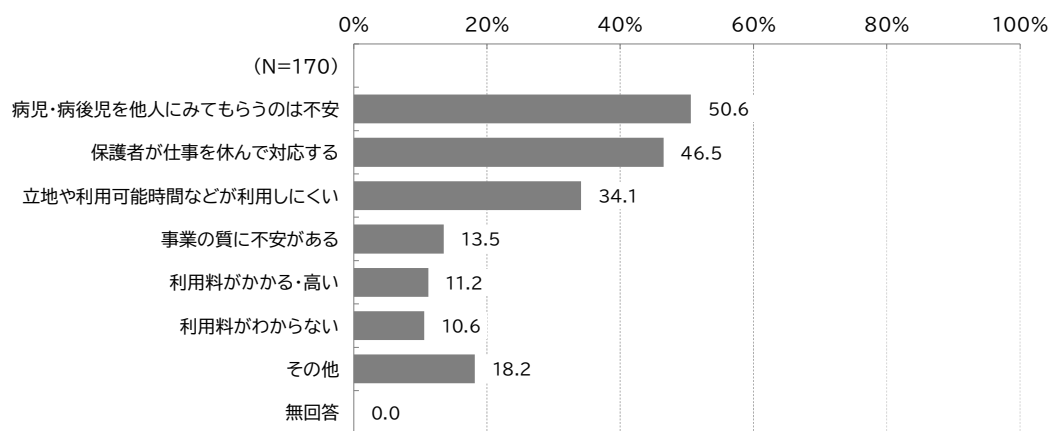
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 88.1%と最も多く、次いで「他の施設(例：幼稚園、保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が 60.8%、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：派遣型の一時保育等)」が 27.8%となっている。



問 28-4 問 28-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

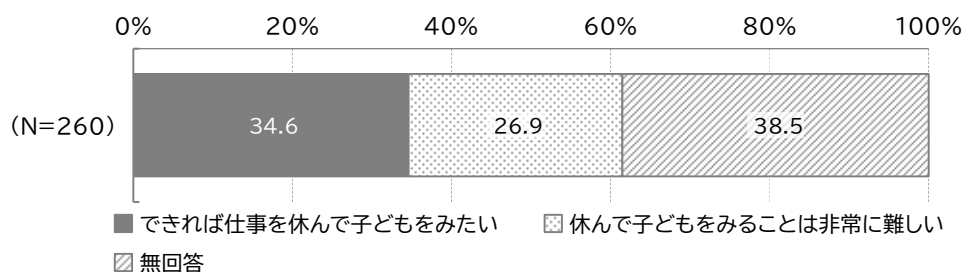
「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が50.6%と最も多く、次いで「保護者が仕事を休んで対応する」が46.5%、「立地や利用可能時間などが利用しにくい」が34.1%となっている。



問 28-5 問 28-1で「3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」～「9. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

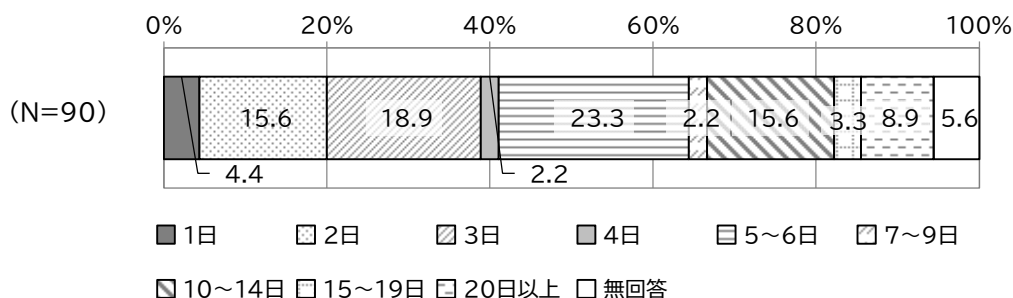
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について()内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が34.6%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が26.9%となっている。



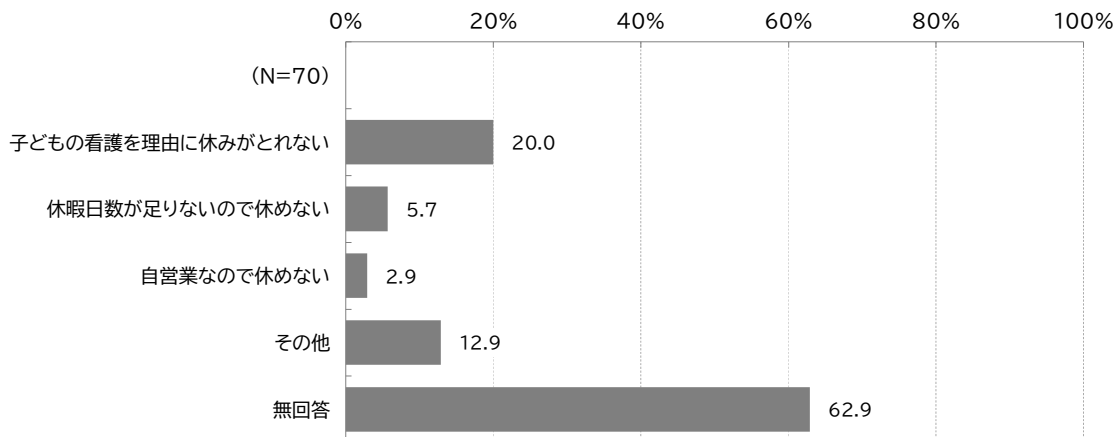
① 1年あたりの希望日数

「5～6日」が23.3%と最も多く、次いで「3日」が18.9%、「2日」「10～14日」がともに15.6%となっている。



問 28-6 問 28-5で「2.休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

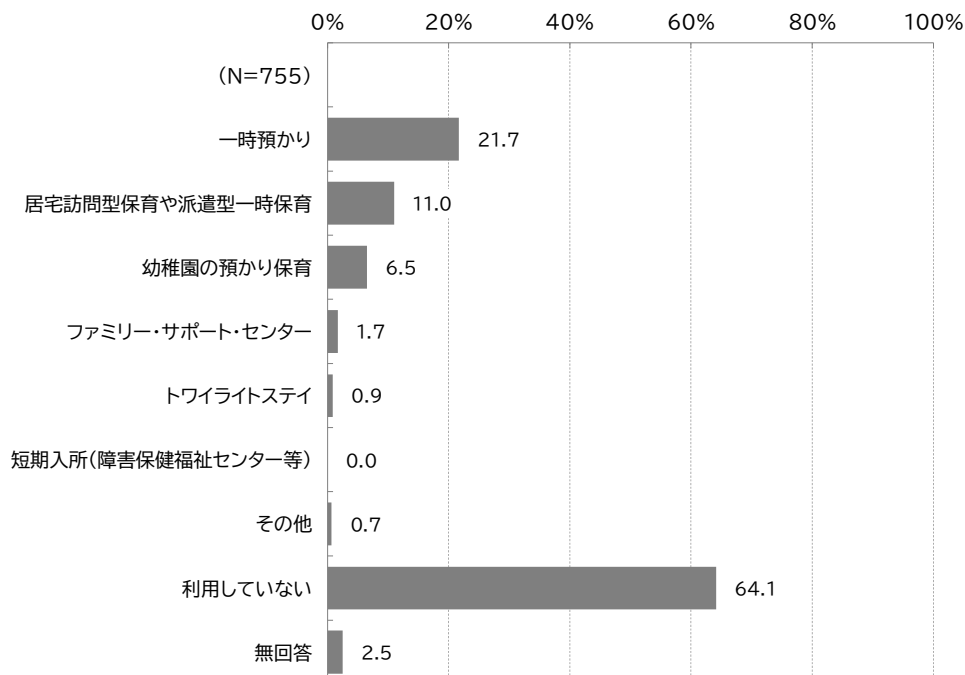
「子どもの看護を理由に休みがとれない」が20.0%と最も多く、次いで「その他」が12.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が5.7%となっている。



(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

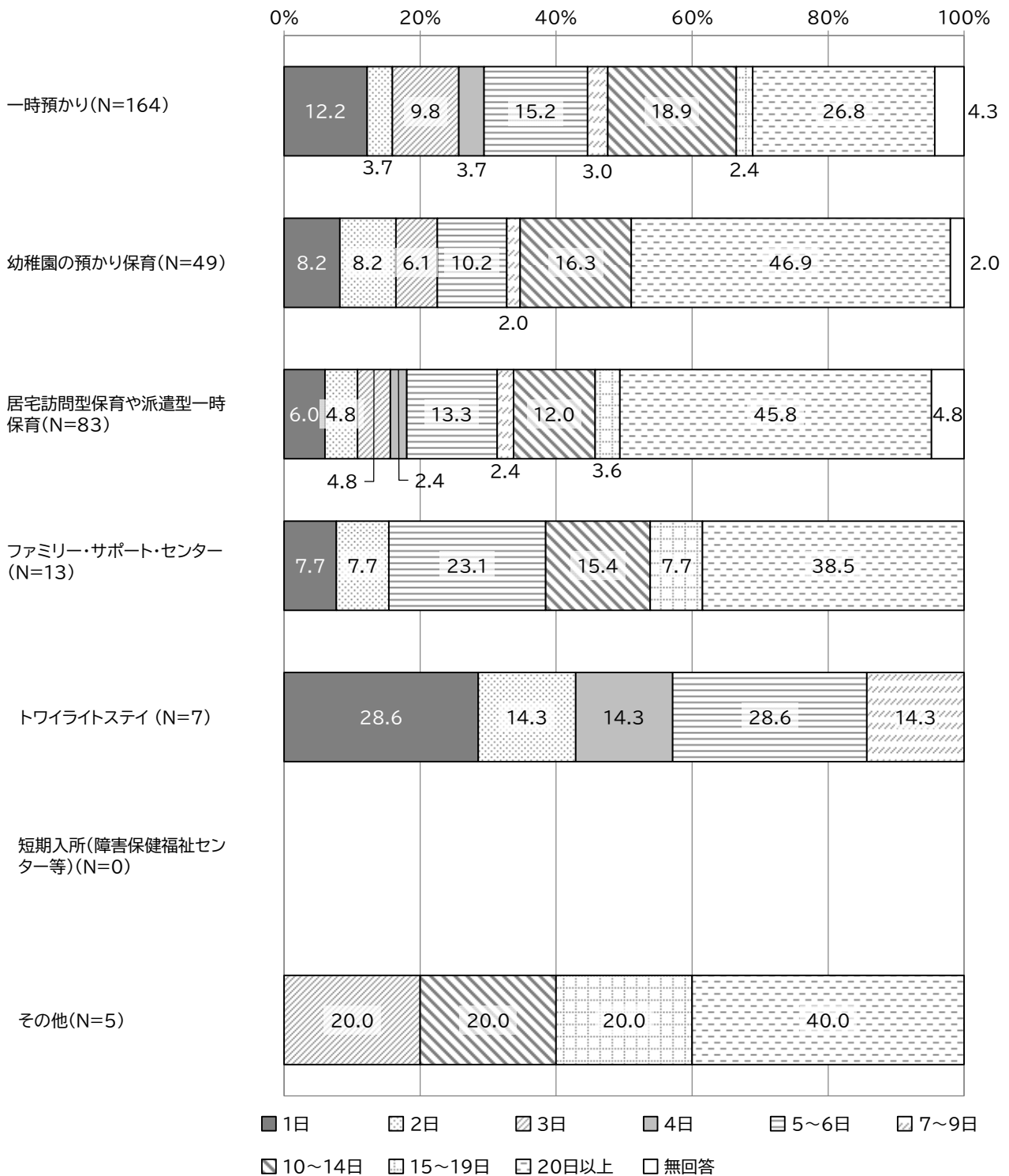
問 29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を()内に数字でご記入ください。

「利用していない」が64.1%と最も多く、次いで「一時預かり」が21.7%、「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」が11.0%となっている。



① 1年あたりの利用日数

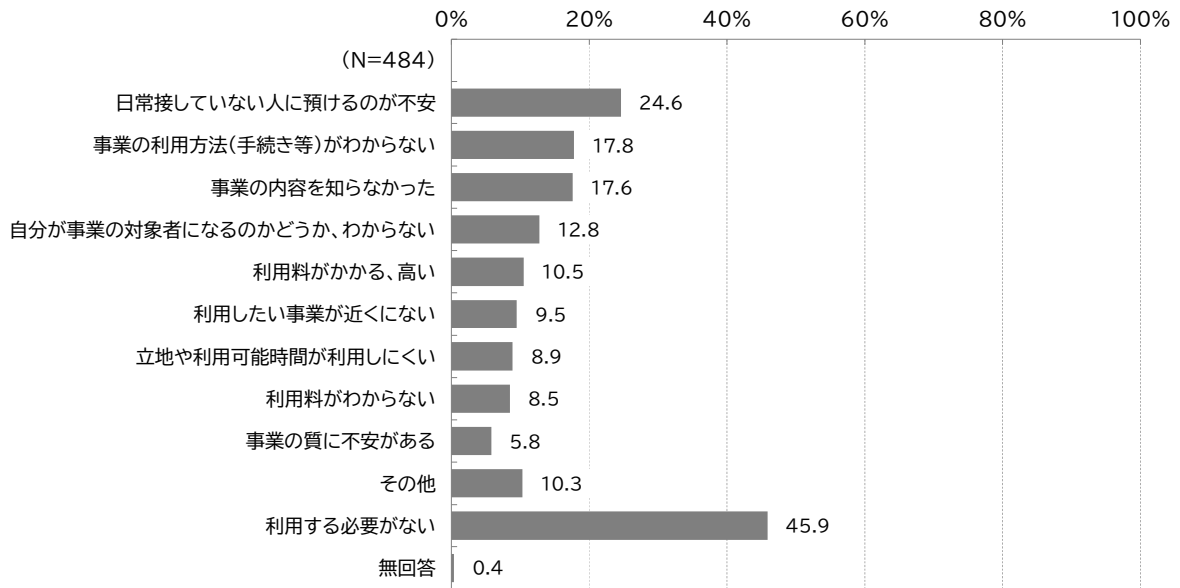
“一時預かり”“幼稚園の預かり保育”“居宅訪問型保育や派遣型一時保育”“ファミリー・サポート・センター”は「20日以上」、「トワイライトステイ」は「1日」「5～6日」が最も多くなっている。



問 29-1 問 29 で「8. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

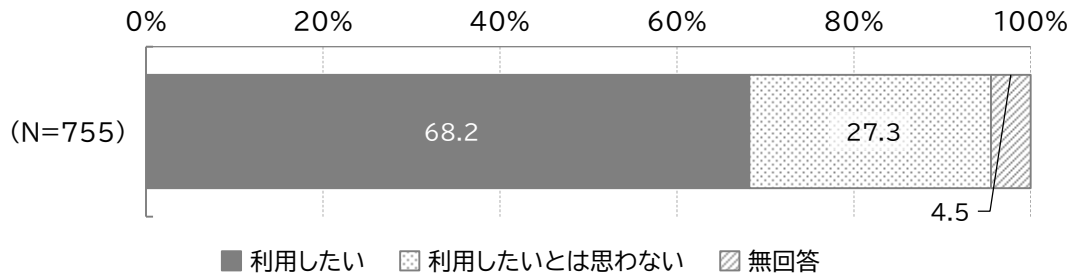
利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「利用する必要がない」が 45.9%と最も多く、次いで「日常接していない人に預けるのが不安」が 24.6%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 17.8%となっている。



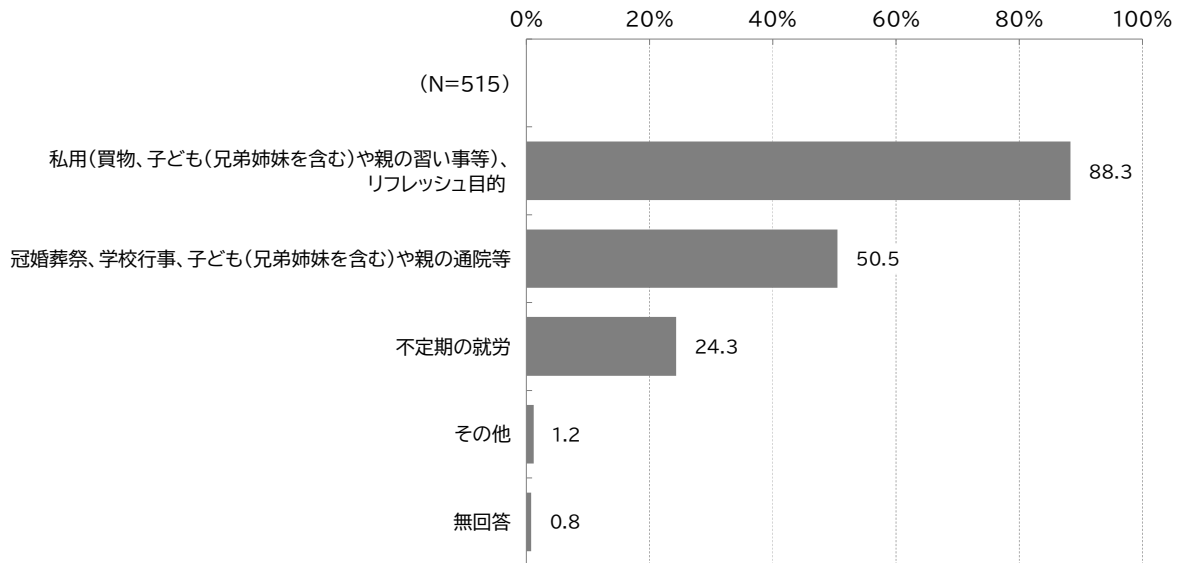
問 30 宛名のお子さんに関して、私用(買物、リフレッシュ等)、親の通院、不特定の就労等の目的で、事業を利用したいですか。(あてはまる番号ひとつに○) また利用したい場合は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を()内に数字でご記入ください。

「利用したい」が 68.2%、「利用したいとは思わない」が 27.3%となっている。



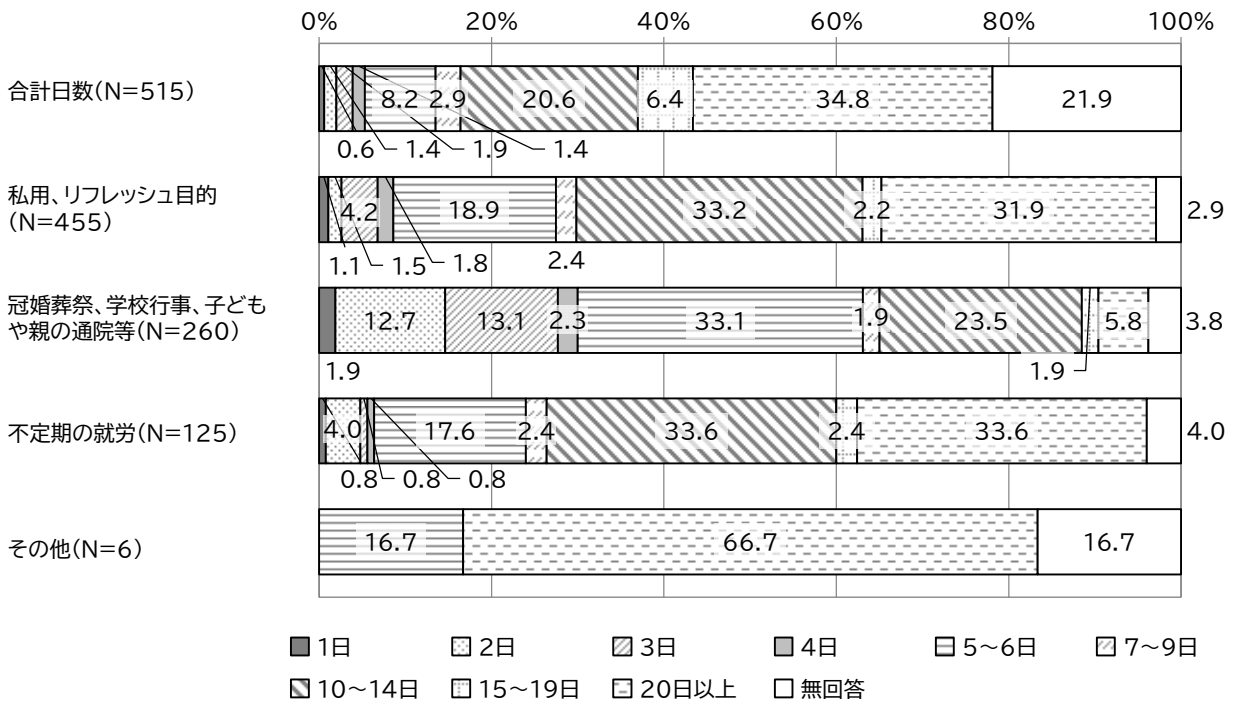
①利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が88.3%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が50.5%、「不定期の就労」が24.3%となっている。



②1年あたりの利用希望日数

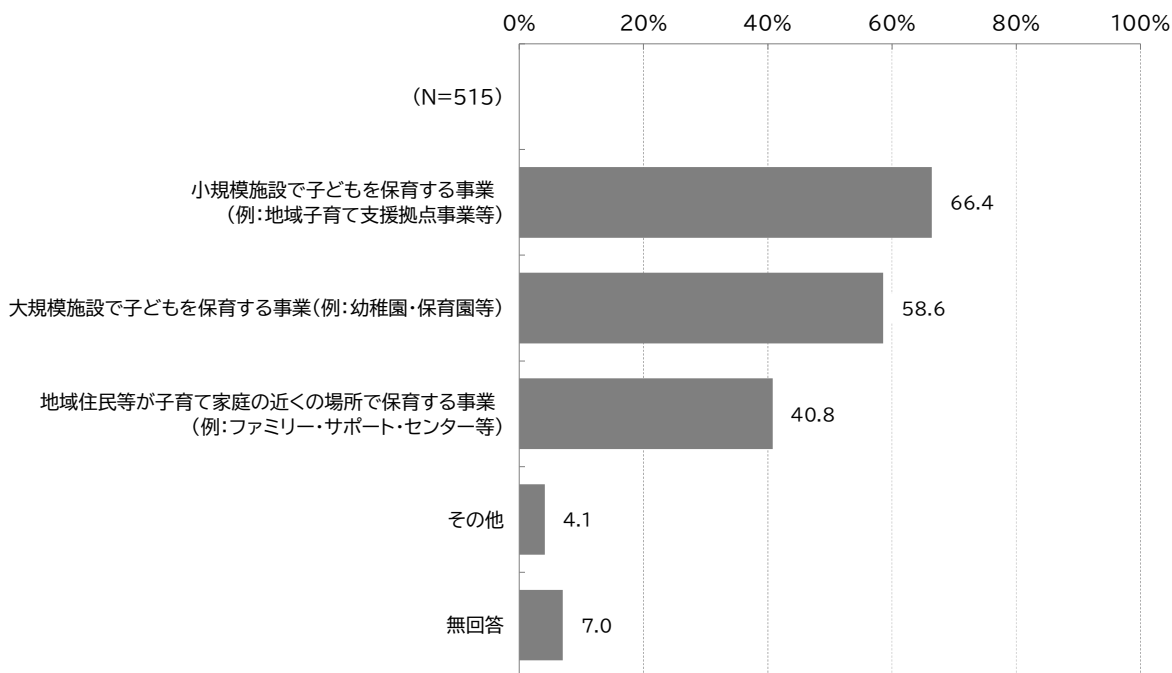
“私用、リフレッシュ目的”は「10～14日」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は「5～6日」、「不定期の就労」は「10～14日」「20日以上」が最も多くなっている。



問 30-1 問 30 で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問 30 の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

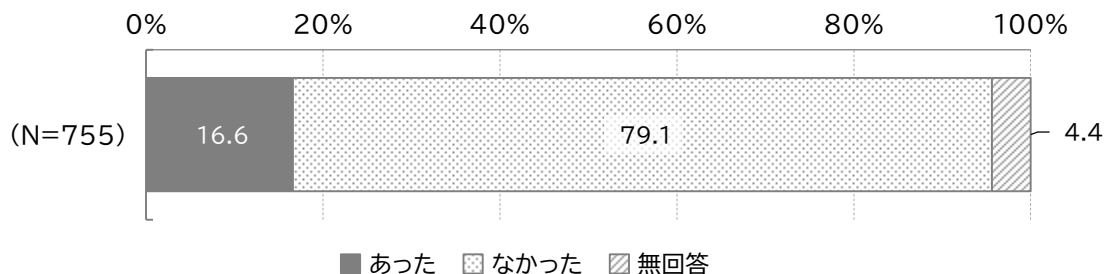
「小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点事業等)」が66.4%と最も多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園等)」が58.6%、「地域住民等が子育て家庭の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が40.8%となっている。



問 31 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。(預け先がみつからなかった場合を含みます。)(あてはまる番号ひとつに○)

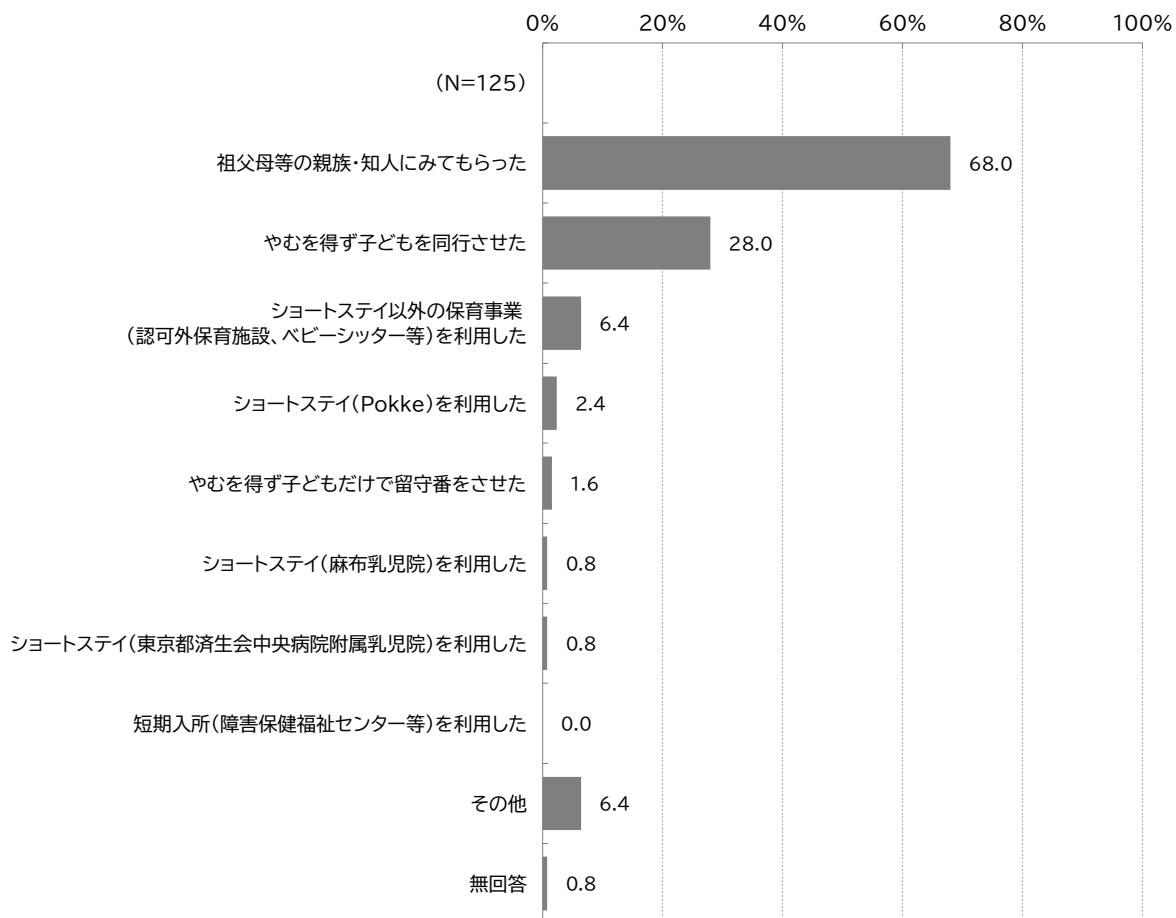
あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を()内に数字でご記入ください。

「なかった」が79.1%、「あった」が16.6%となっている。



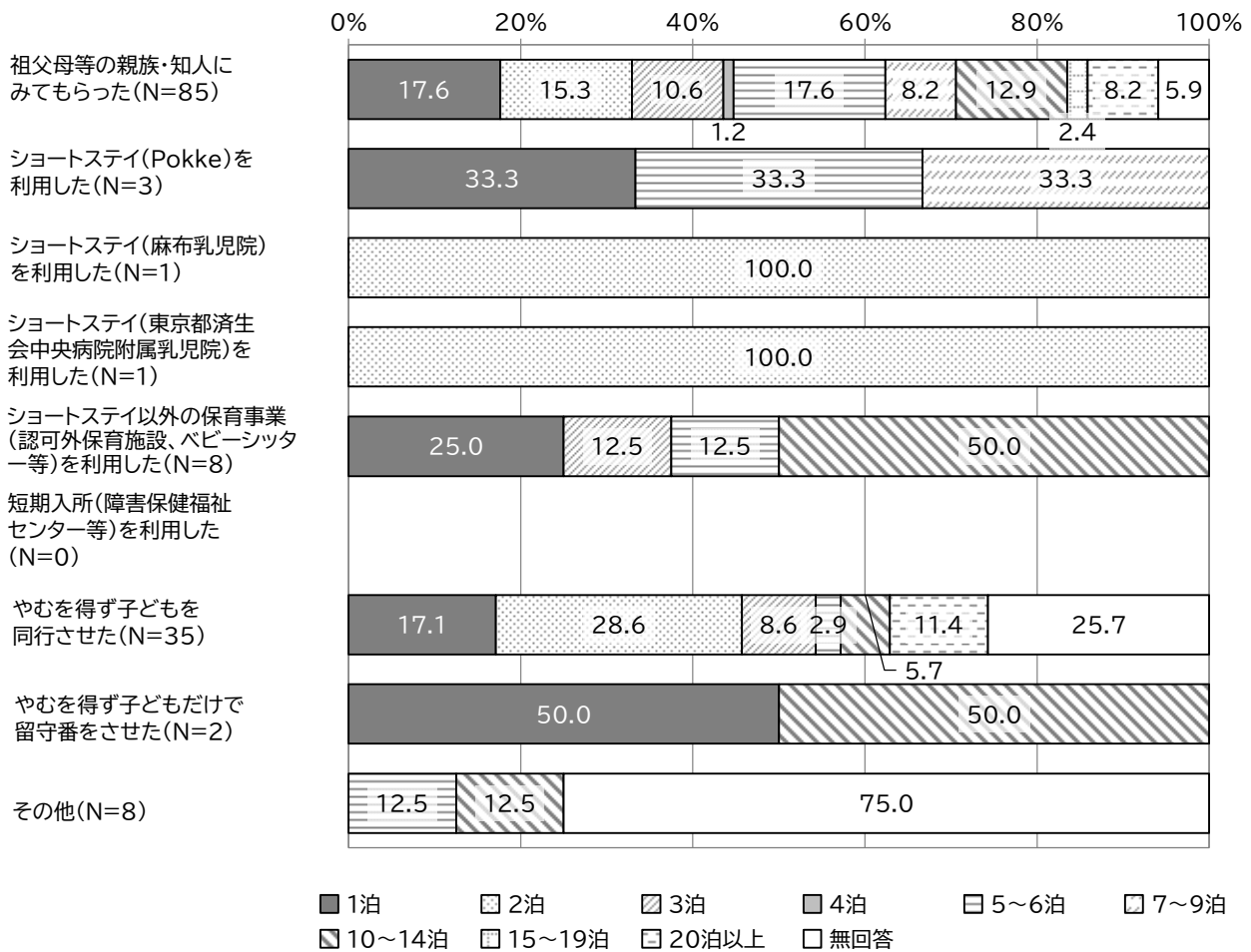
①1年間の対処方法

「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が68.0%と最も多く、次いで「やむを得ず子どもを同行させた」が28.0%、「ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」「その他」がともに6.4%となっている。



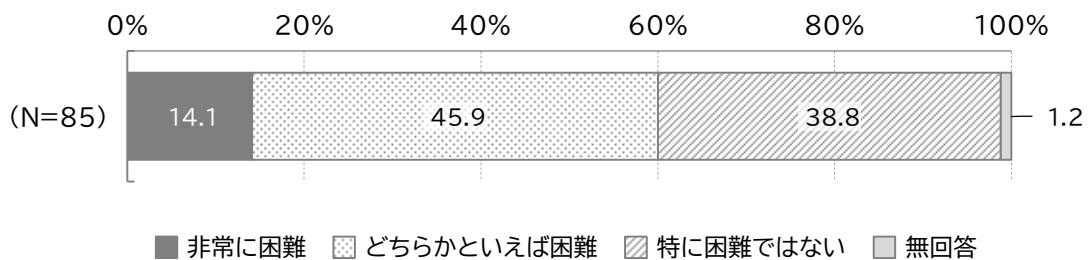
②1年あたりの日数（泊）

“祖父母等の親族・知人にみてもらった”は「1泊」「5～6泊」、「ショートステイ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した」は「10～14泊」、「やむを得ず子どもを同行させた」は「2泊」が最も多くなっている。



問31-1 問31で「1. あった ア. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。
 祖父母等の親族・知人にお願いすることは、どのくらいの困難度でしたか。(あてはまる番号ひとつに○)

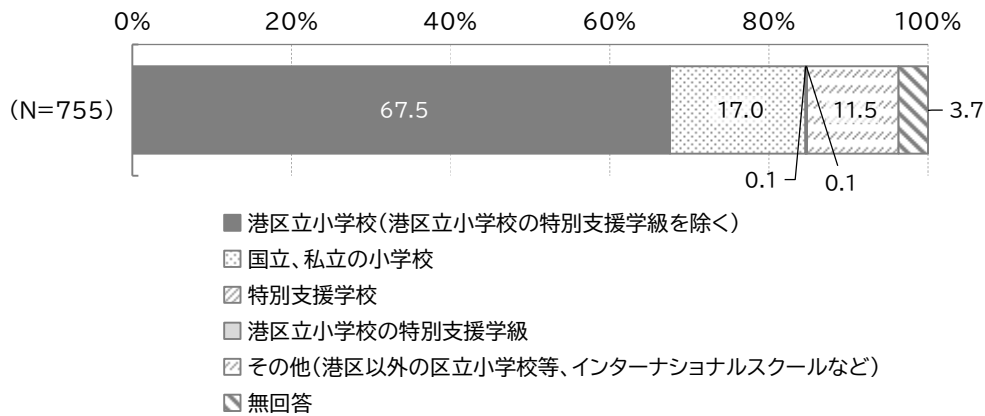
「どちらかといえば困難」が45.9%と最も多く、次いで「特に困難ではない」が38.8%、「非常に困難」が14.1%となっている。



(10) 小学校入学後の放課後の過ごし方について

問 32 宛名のお子さんについて、希望する小学校入学先はどれですか。(あてはまる番号ひとつに○)
また、学校名を()内にご記入ください。

「港区立小学校(港区立小学校の特別支援学級を除く)」が67.5%と最も多く、次いで「国立、私立の小学校」が17.0%、「その他(港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど)」が11.5%となっている。



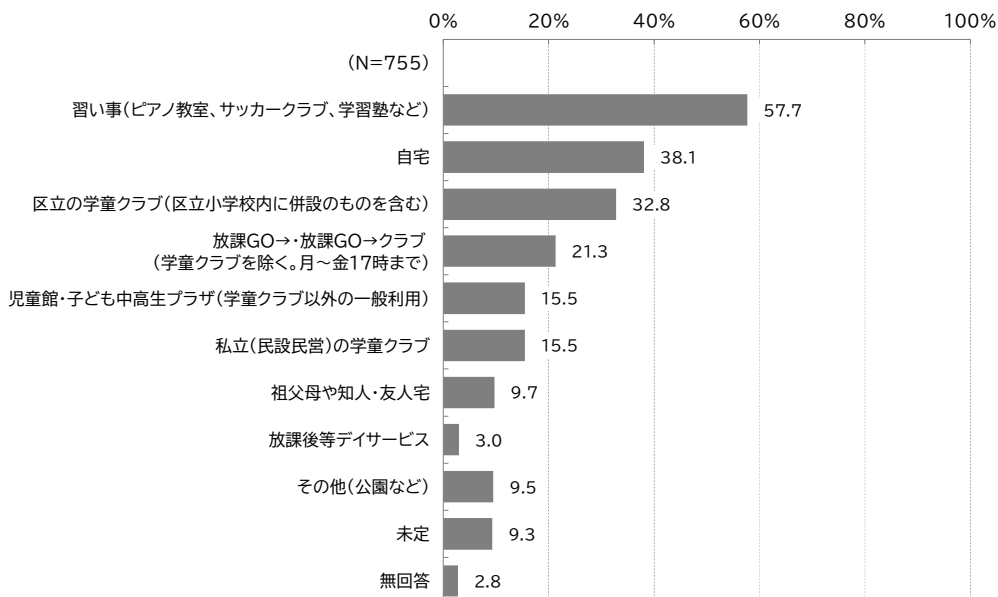
問 33 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年(1~3年生)と高学年(4~6年生)について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「4. 児童館・子ども中高生プラザ(学童クラブ以外の一般利用)」~「7. 私立(民設民営)の学童クラブ」に○をつけた方は、施設名を()内にご記入ください。

また、○をつけたものについて、希望する週あたりの日数を()内に数字でご記入ください。

① 過ごさせたい場所

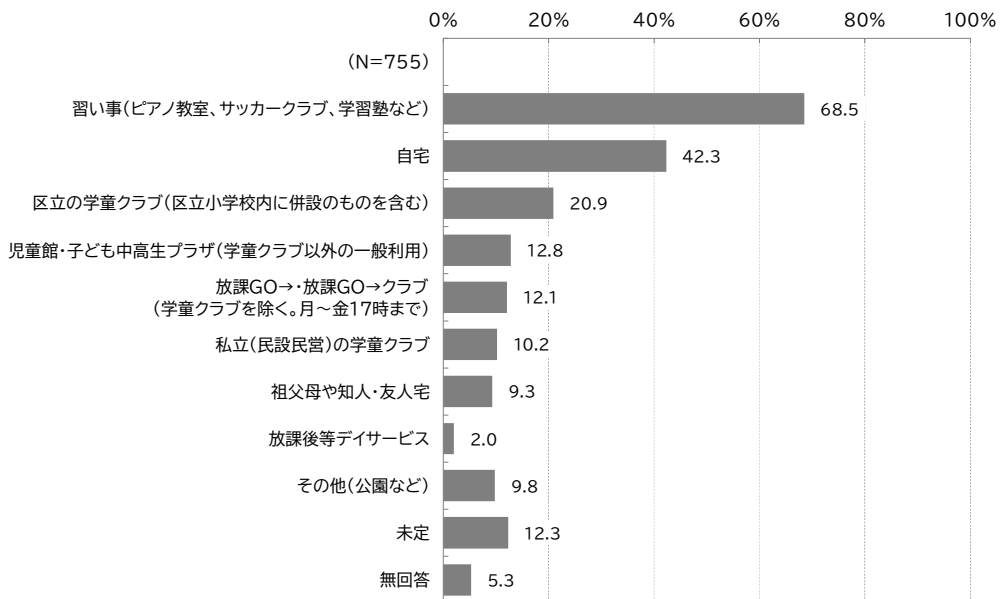
ア 低学年

「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が57.7%と最も多く、次いで「自宅」が38.1%、「区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む)」が32.8%となっている。



イ 高学年

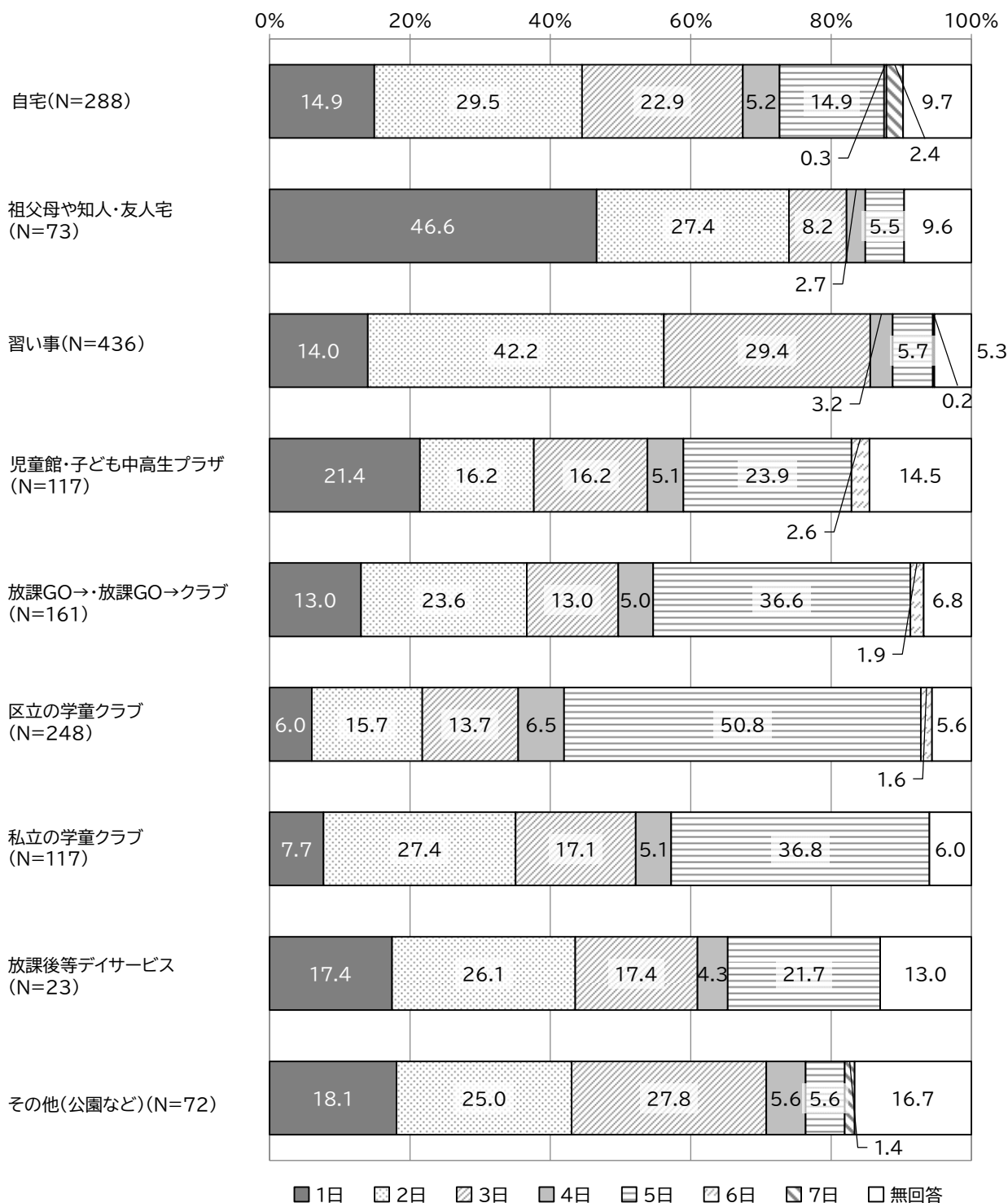
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が68.5%と最も多く、次いで「自宅」が42.3%、「区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」が20.9%となっている。



② 1週あたりの日数

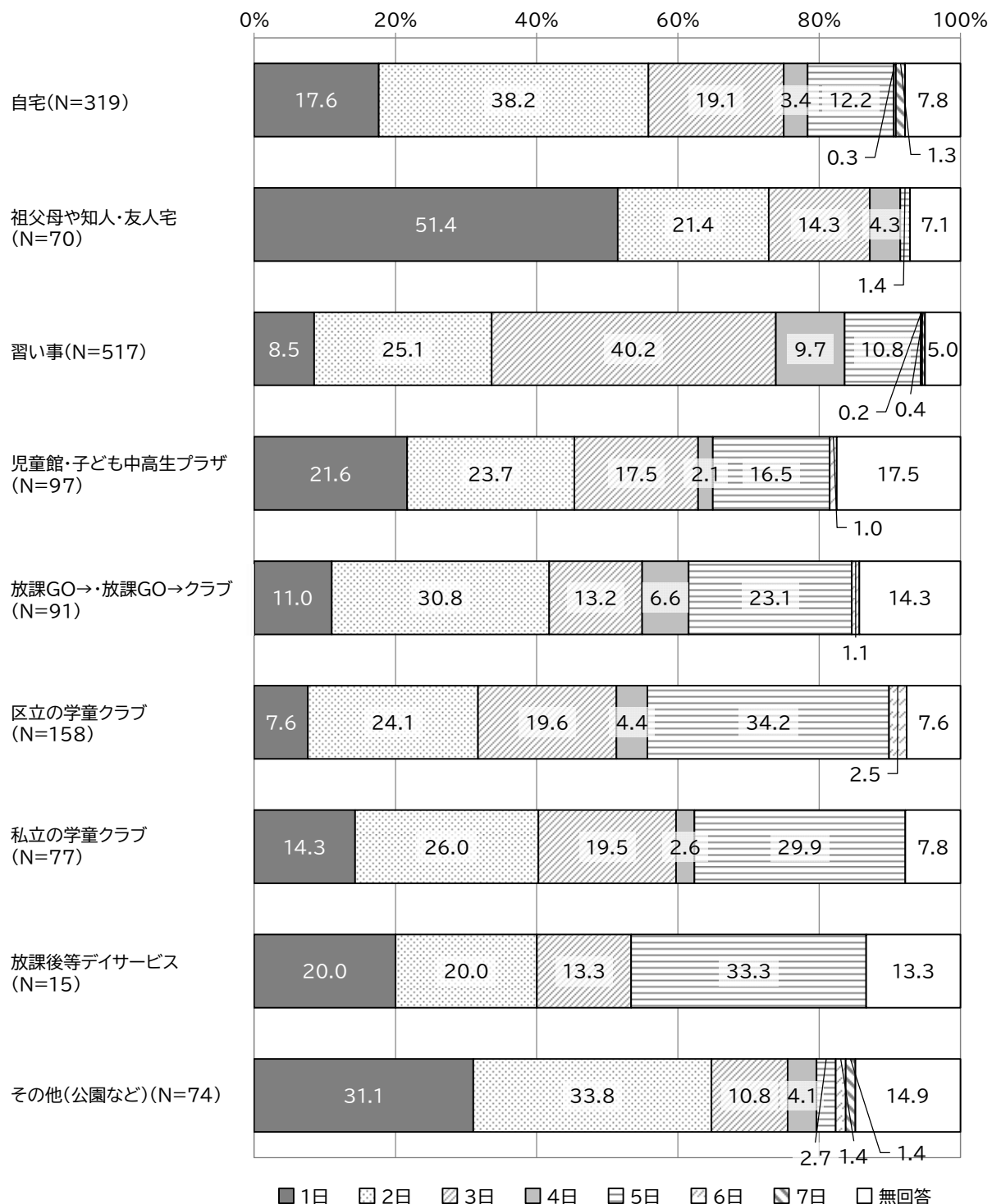
ア 低学年

“自宅” “習い事” “放課後等デイサービス” は「2日」、 “祖父母や知人・友人宅” は「1日」、 “児童館・子ども中高生プラザ” “放課GO→・放課GO→クラブ” “区立の学童クラブ” “私立の学童クラブ” は「5日」が最も多くなっている。



イ 高学年

“自宅”“児童館・子ども中高生プラザ”“放課GO→・放課GO→クラブ”は「2日」、
 “祖父母や知人・友人宅”は「1日」、
 “習い事”は「3日」、
 “区立の学童クラブ”“私立の学童クラブ”“放課後等デイサービス”は「5日」が最も多くなっている。

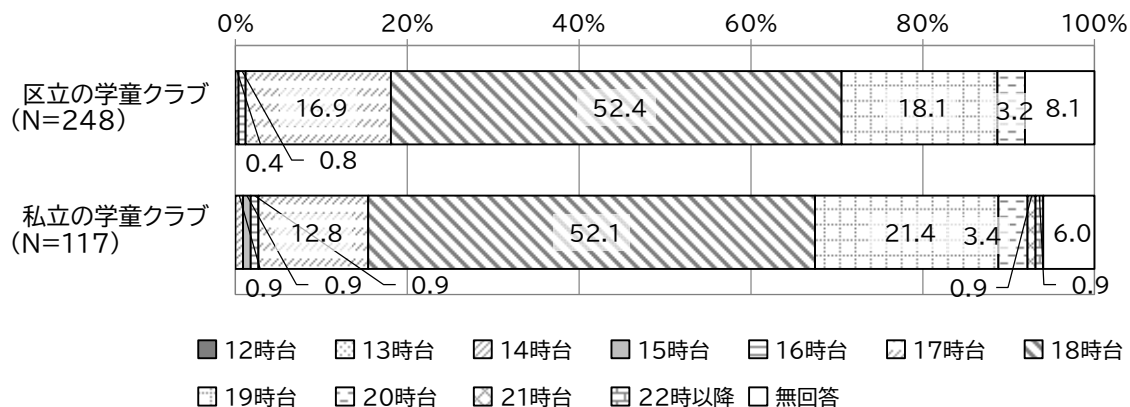


③学童クラブ（区立小学校に併設のものを含む）の終了希望時間

ア 低学年

“区立の学童クラブ”は「18時台」が52.4%と最も多く、次いで「19時台」が18.1%、「17時台」が16.9%となっている。

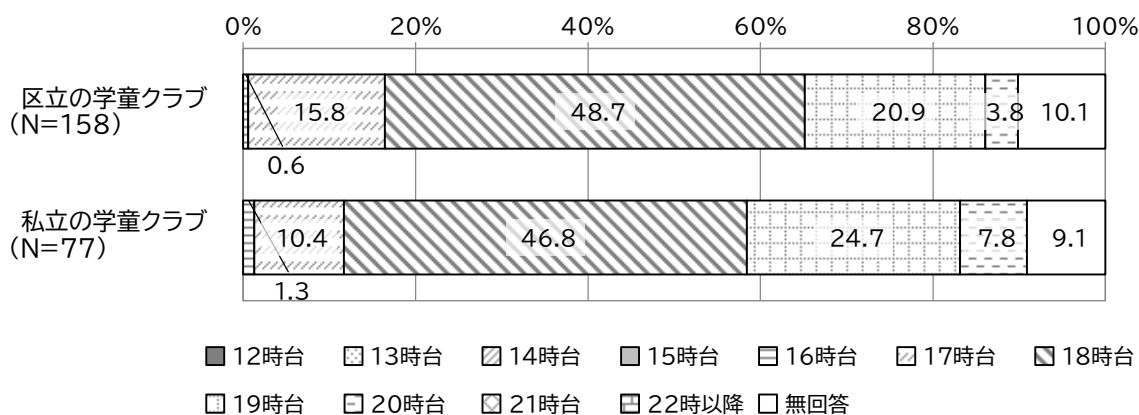
“私立の学童クラブ”は「18時台」が52.1%と最も多く、次いで「19時台」が21.4%、「17時台」が12.8%となっている。



イ 高学年

“区立の学童クラブ”は「18時台」が48.7%と最も多く、次いで「19時台」が20.9%、「17時台」が15.8%となっている。

“私立の学童クラブ”は「18時台」が46.8%と最も多く、次いで「19時台」が24.7%、「17時台」が10.4%となっている。



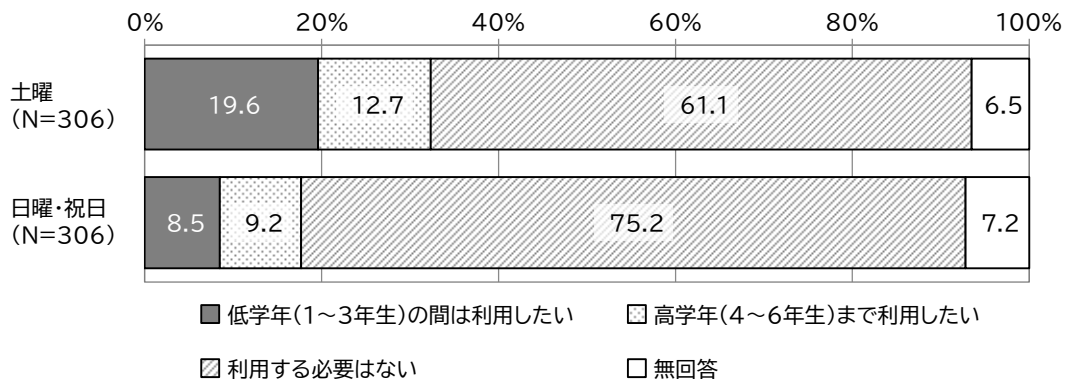
問 34 問 33 で「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」または「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。（時間は 24 時間制でお答えください）

土曜は「利用する必要はない」が 61.1% と最も多く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 19.6%、「高学年（4～6 年生）まで利用したい」が 12.7% となっている。

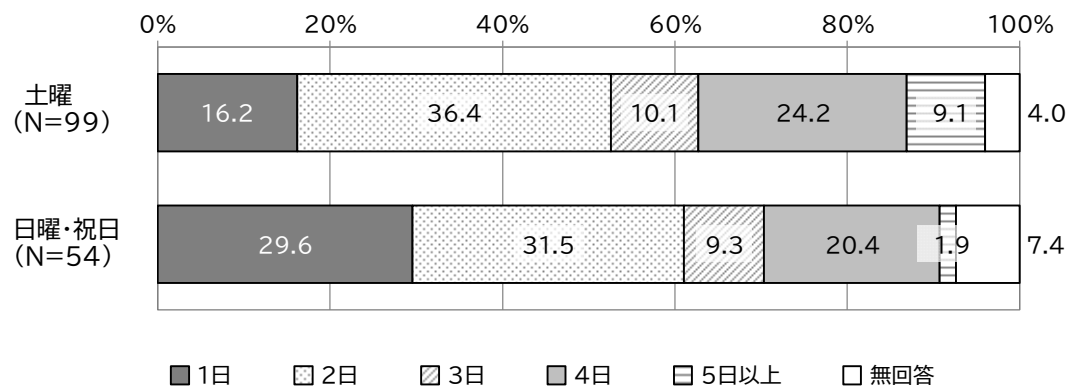
日曜・祝日は「利用する必要はない」が 75.2% と最も多く、次いで「高学年（4～6 年生）まで利用したい」が 9.2%、「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」が 8.5% となっている。



① 1 か月あたりの利用希望日数

土曜は「2 日」が 36.4% と最も多く、次いで「4 日」が 24.2%、「1 日」が 16.2% となっている。

日曜・祝日は「2 日」が 31.5% と最も多く、次いで「1 日」が 29.6%、「4 日」が 20.4% となっている。

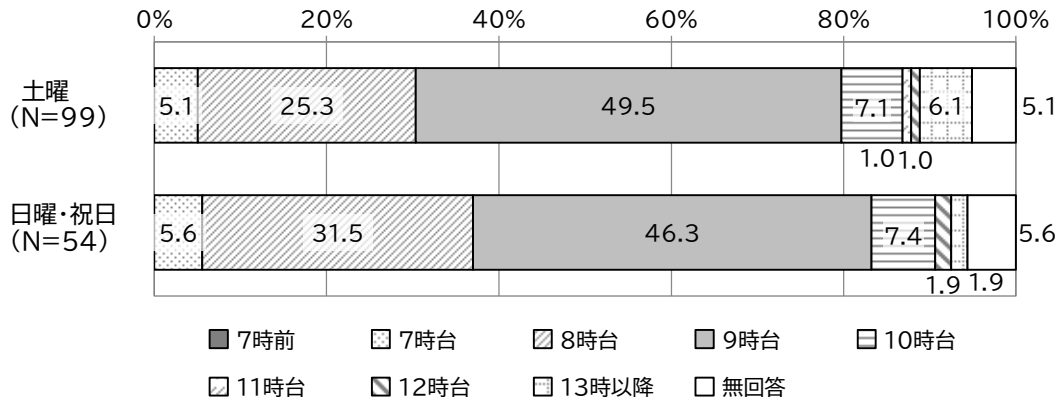


②利用したい時間帯

ア 開始時刻

土曜は「9時台」が49.5%と最も多く、次いで「8時台」が25.3%、「10時台」が7.1%となっている。

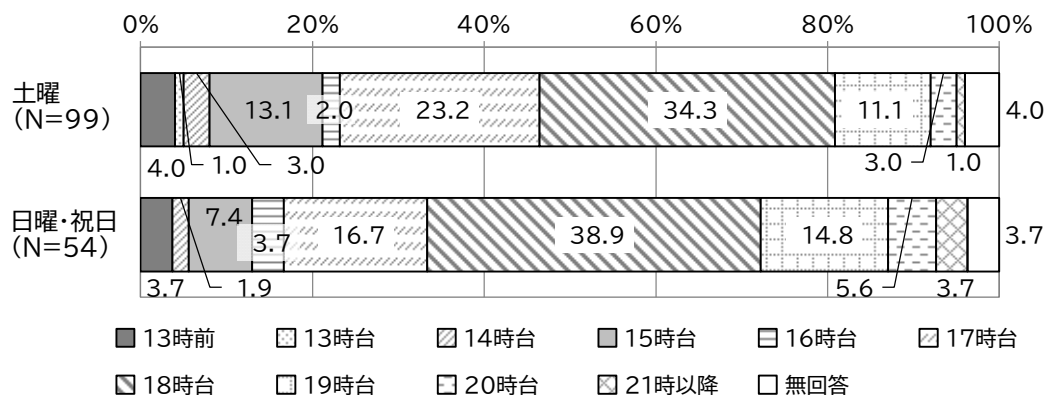
日曜・祝日は「9時台」が46.3%と最も多く、次いで「8時台」が31.5%、「10時台」が7.4%となっている。



イ 終了時刻

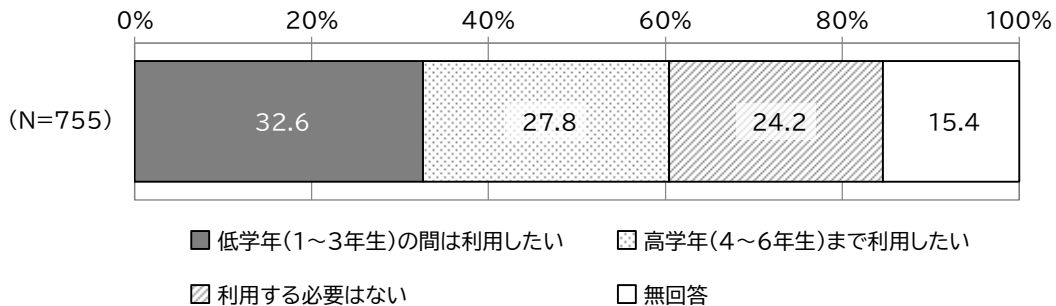
土曜は「18時台」が34.3%と最も多く、次いで「17時台」が23.2%、「15時台」が13.1%となっている。

日曜・祝日は「18時台」が38.9%と最も多く、次いで「17時台」が16.7%、「19時台」が14.8%となっている。



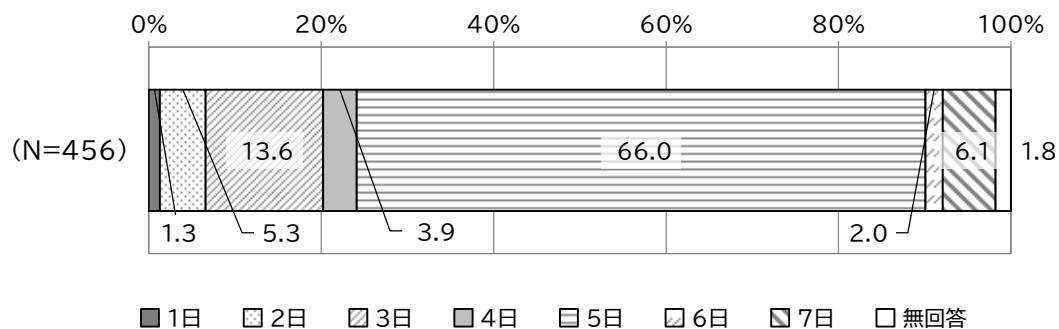
問 35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。（時間は24時間制でお答えください）

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が32.6%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）まで利用したい」が27.8%、「利用する必要はない」が24.2%となっている。



① 1週あたりの利用希望日数

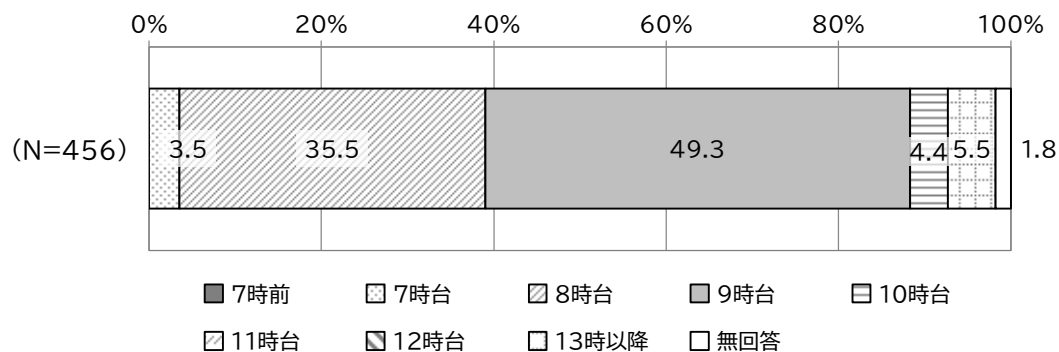
「5日」が66.0%と最も多く、次いで「3日」が13.6%、「7日」が6.1%となっている。



② 利用したい時間帯

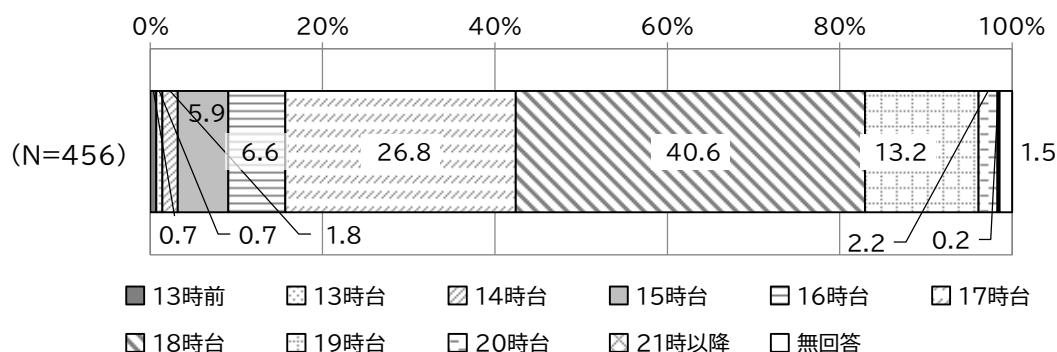
ア 開始時刻

「9時台」が49.3%と最も多く、次いで「8時台」が35.5%、「13時以降」が5.5%となっている。



イ 終了時刻

「18時台」が40.6%と最も多く、次いで「17時台」が26.8%、「19時台」が13.2%となっている。

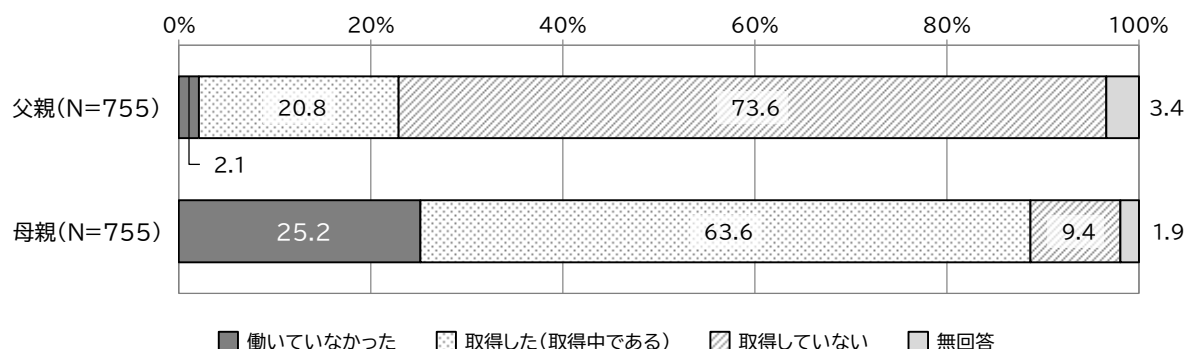


(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 36 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を選んでください。

父親は「取得していない」が73.6%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が20.8%、「働いていなかった」が2.1%となっている。

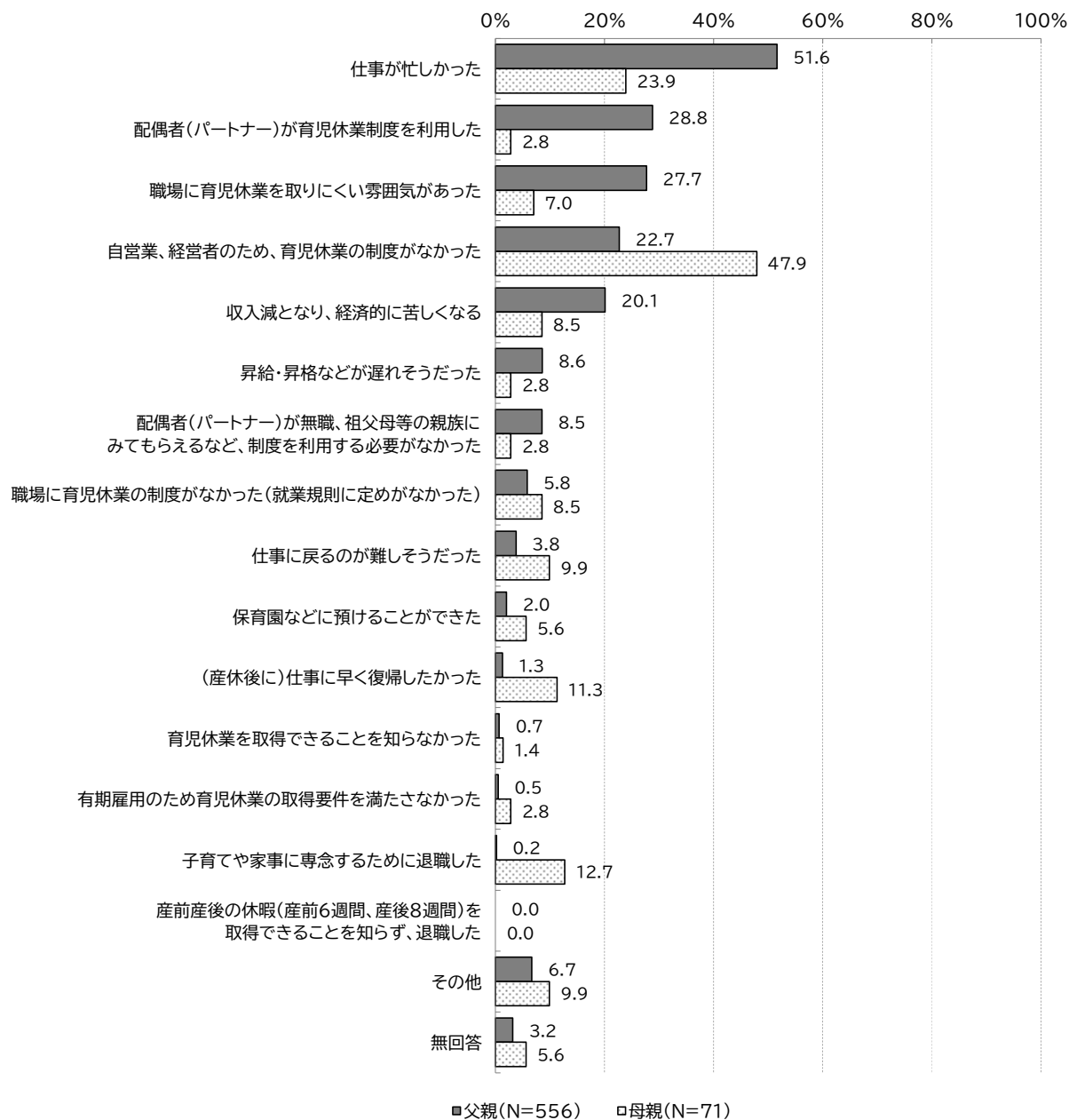
母親は「取得した（取得中である）」が63.6%と最も多く、次いで「働いていなかった」が25.2%、「取得していない」が9.4%となっている。



①取得していない理由

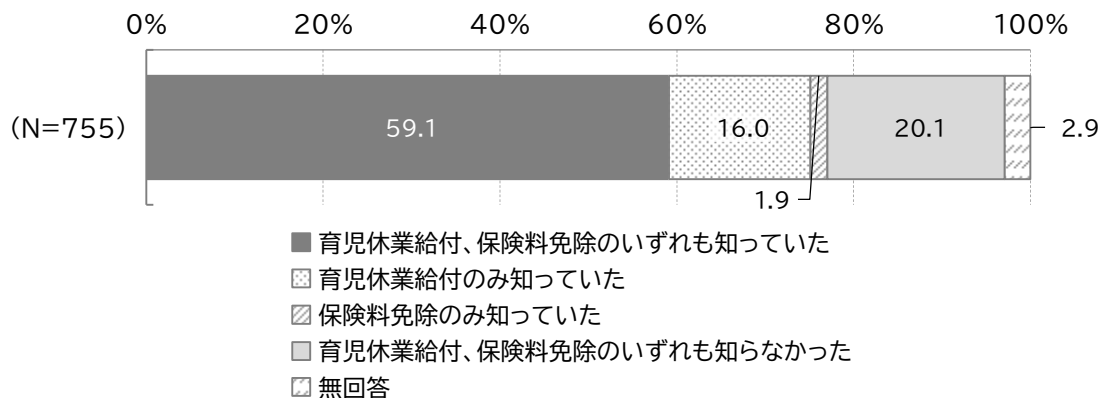
父親は「仕事が忙しかった」が51.6%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」が28.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が27.7%となっている。

母親は「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」が47.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が23.9%、「子育てや家事に専念するために退職した」が12.7%となっている。



問 36-1 「子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み」や「子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」がありますが、そのことを知っていましたか。(あてはまる番号ひとつに○)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が59.1%と最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が20.1%、「育児休業給付のみ知っていた」が16.0%となっている。

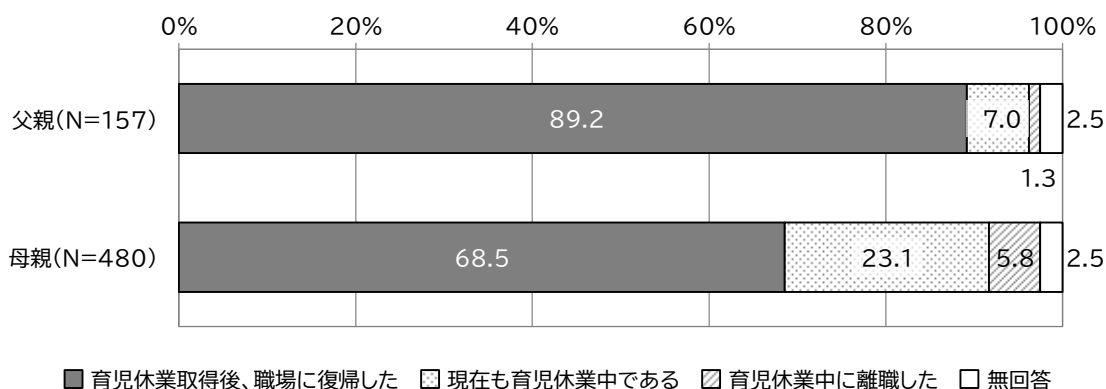


問 36-2 問 36 で「2. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が89.2%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が7.0%、「育児休業中に離職した」が1.3%となっている。

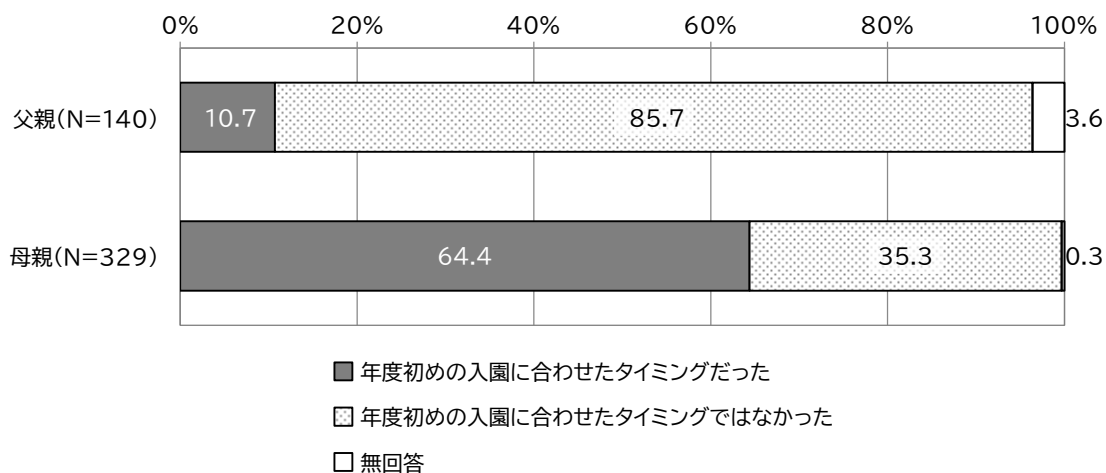
母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が68.5%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が23.1%、「育児休業中に離職した」が5.8%となっている。



問 36-3 問 36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

父親は「年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった」が85.7%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が10.7%となっている。

母親は「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が64.4%、「年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった」が35.3%となっている。

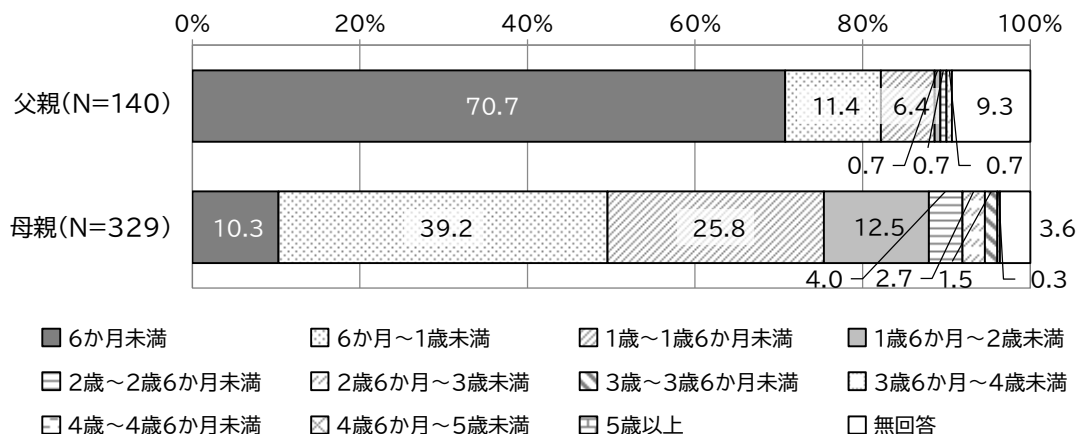


問 36-4 問 36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。実際に職場復帰したのは、お子さんが何歳何か月のときでしたか。また、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。お勤め先の育児休業の制度の期間内で（ ）内に数字でご記入ください。

①実際の取得期間

父親は「6か月未満」が70.7%と最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が11.4%、「1歳～1歳6か月未満」が6.4%となっている。

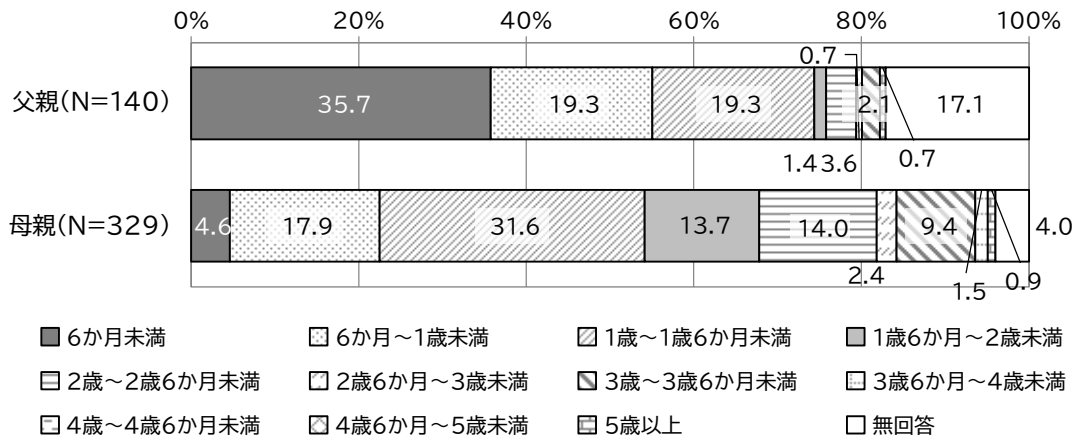
母親は「6か月～1歳未満」が39.2%と最も多く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が25.8%、「1歳6か月～2歳未満」が12.5%となっている。



②希望の取得期間

父親は「6か月未満」が35.7%と最も多く、次いで「6か月～1歳未満」「1歳～1歳6か月未満」がともに19.3%となっている。

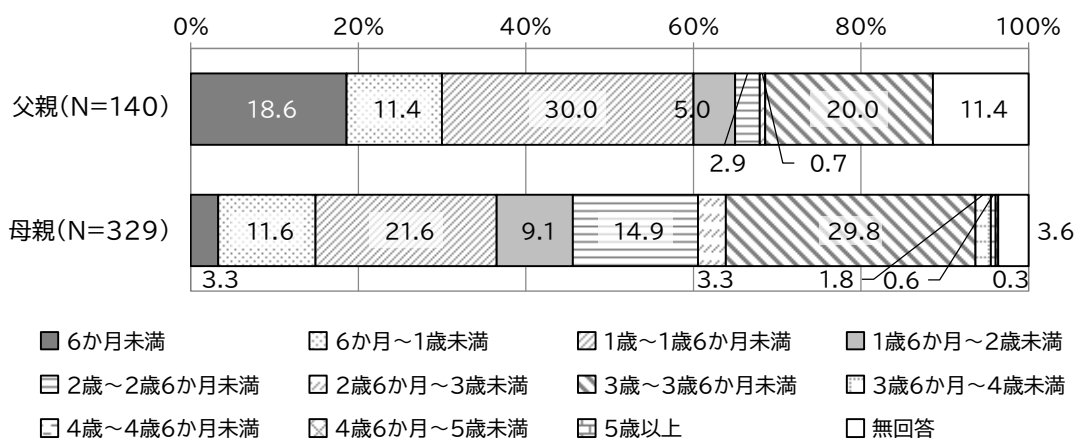
母親は「1歳～1歳6か月未満」が31.6%と最も多く、次いで「6か月～1歳未満」が17.9%、「2歳～2歳6か月未満」が14.0%となっている。



問 36-5 問 36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。

父親は「1歳～1歳6か月未満」が30.0%と最も多く、次いで「3歳～3歳6か月未満」が20.0%、「6か月未満」が18.6%となっている。

母親は「3歳～3歳6か月未満」が29.8%と最も多く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が21.6%、「2歳～2歳6か月未満」が14.9%となっている。



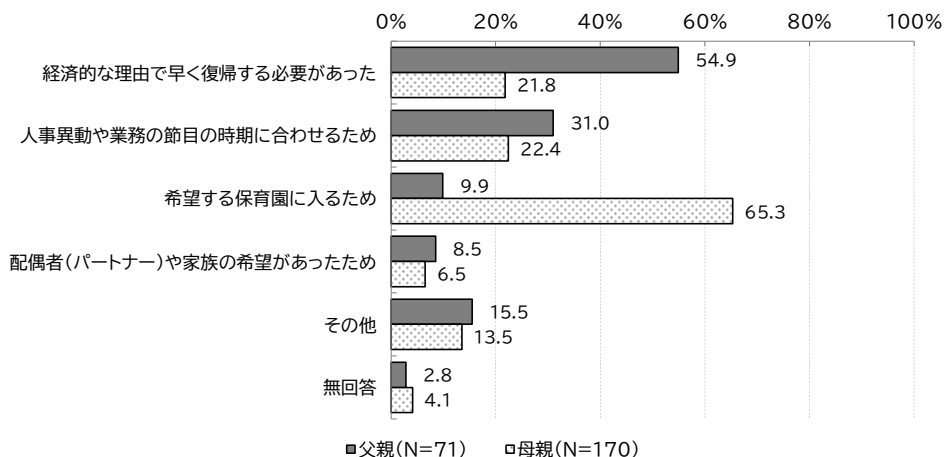
問 36-6 問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

①「希望」より早く復帰した方

父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が54.9%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が31.0%、「その他」が15.5%となっている。

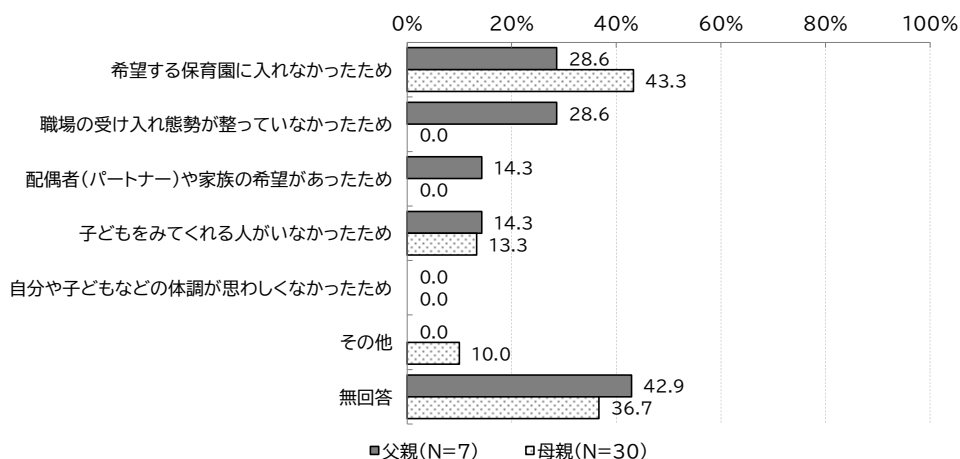
母親は「希望する保育園に入るため」が65.3%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が21.8%となっている。



②「希望」より遅く復帰した方

父親は「希望する保育園に入れなかったため」「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」がともに28.6%、「配偶者(パートナー)や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」がともに14.3%となっている。

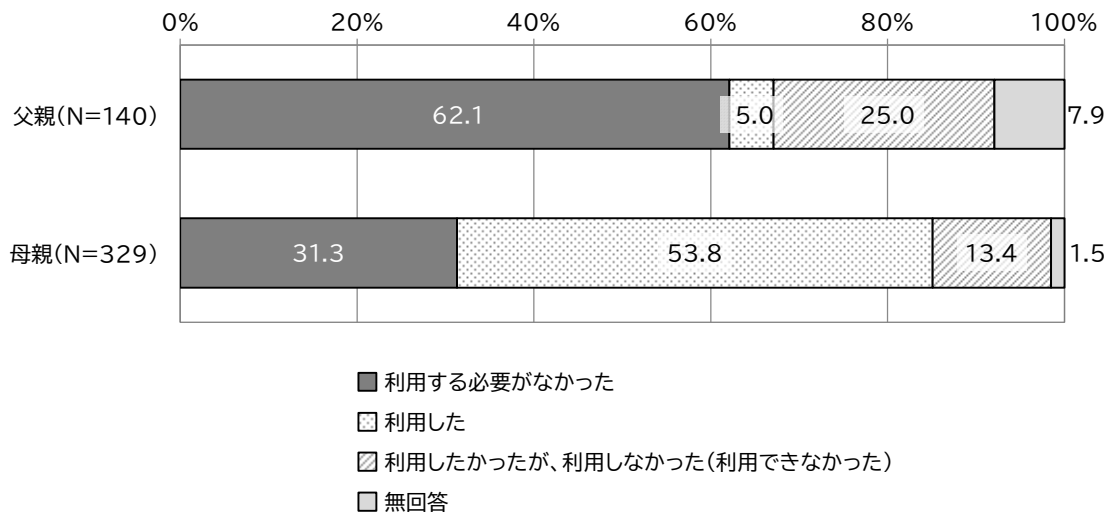
母親は「希望する保育園に入れなかったため」が43.3%と最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が13.3%となっている。



問 36-7 問 36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

父親は「利用する必要がなかった」が62.1%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が25.0%、「利用した」が5.0%となっている。

母親は「利用した」が53.8%と最も多く、次いで「利用する必要がなかった」が31.3%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が13.4%となっている。

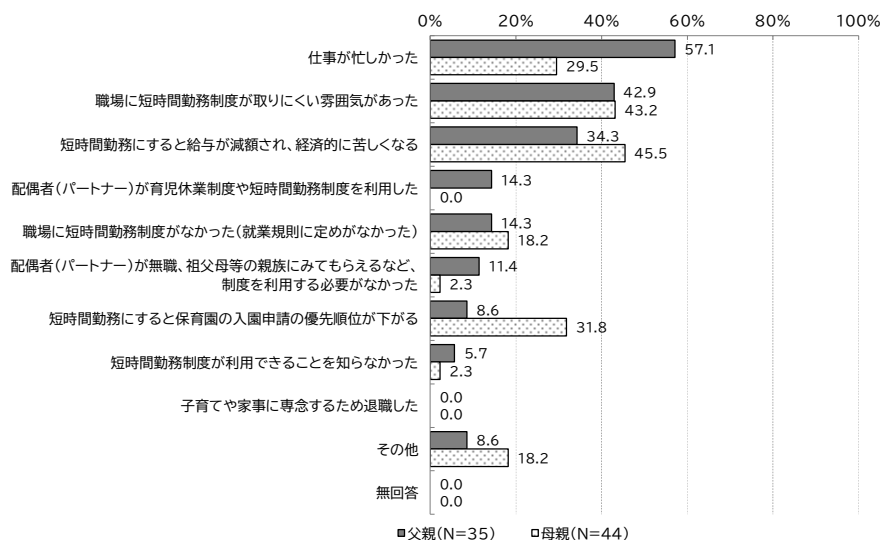


問 36-8 問 36-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

父親は「仕事が忙しかった」が57.1%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった」が42.9%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が34.3%となっている。

母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が45.5%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった」が43.2%、「短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる」が31.8%となっている。

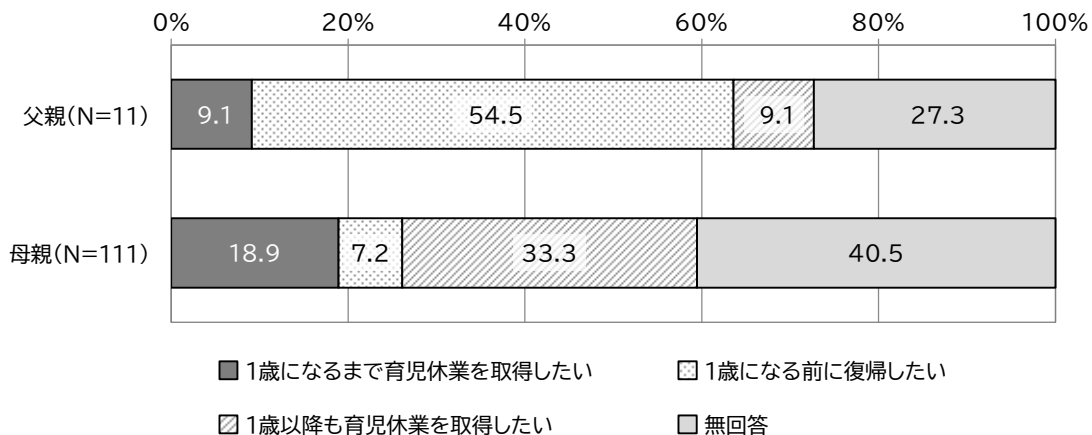


問 36-9 問 36-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

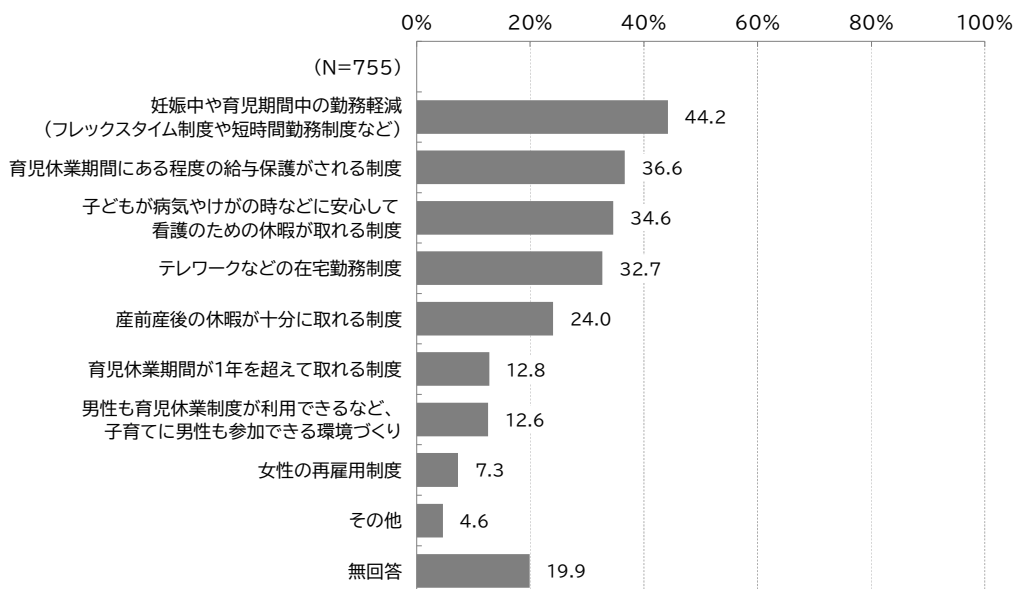
父親は「1歳になる前に復帰したい」が54.5%と最も多く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳以降も育児休業を取得したい」がともに9.1%となっている。

母親は「1歳以降も育児休業を取得したい」が33.3%と最も多く、次いで「1歳になるまで育児休業を取得したい」が18.9%、「1歳になる前に復帰したい」が7.2%となっている。



問 37 子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。(あてはまる番号3つまで○)

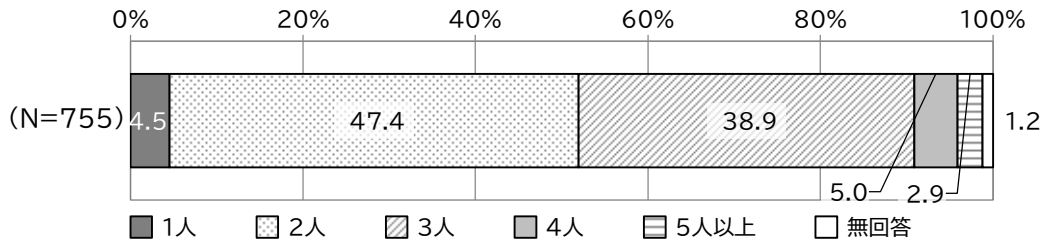
「妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が44.2%と最も多く、次いで「育児休業期間にある程度の給与保護がされる制度」が36.6%、「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」が34.6%となっている。



(12) 子育ての環境や支援全般について

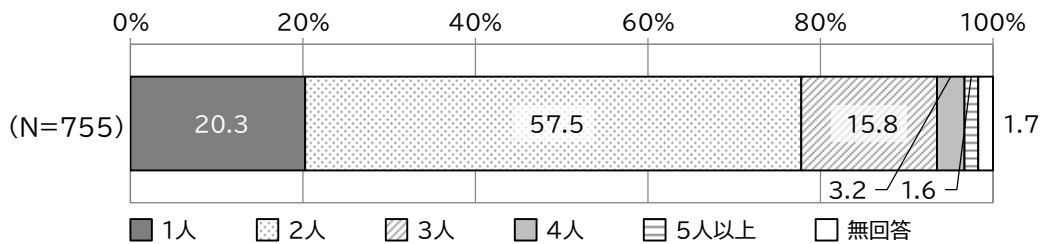
問 38 あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

「2人」が47.4%と最も多く、次いで「3人」が38.9%、「4人」が5.0%となっている。平均の理想的な子どもの数は2.5人となっている。



問 38-1 現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

「2人」が57.5%と最も多く、次いで「1人」が20.3%、「3人」が15.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は2.0人となっている。

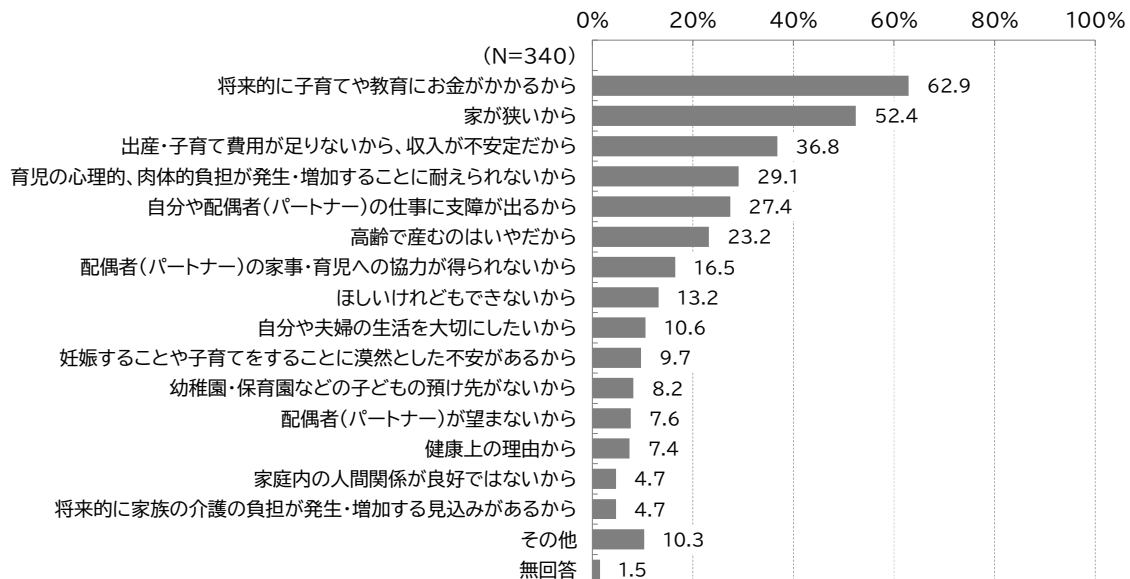


問 38-2 問 38-1 の実際に持つつもりの子どもの数が、問 38 の理想的な子どもの数より少ない方に
うかがいます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。(あてはまる
番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎)

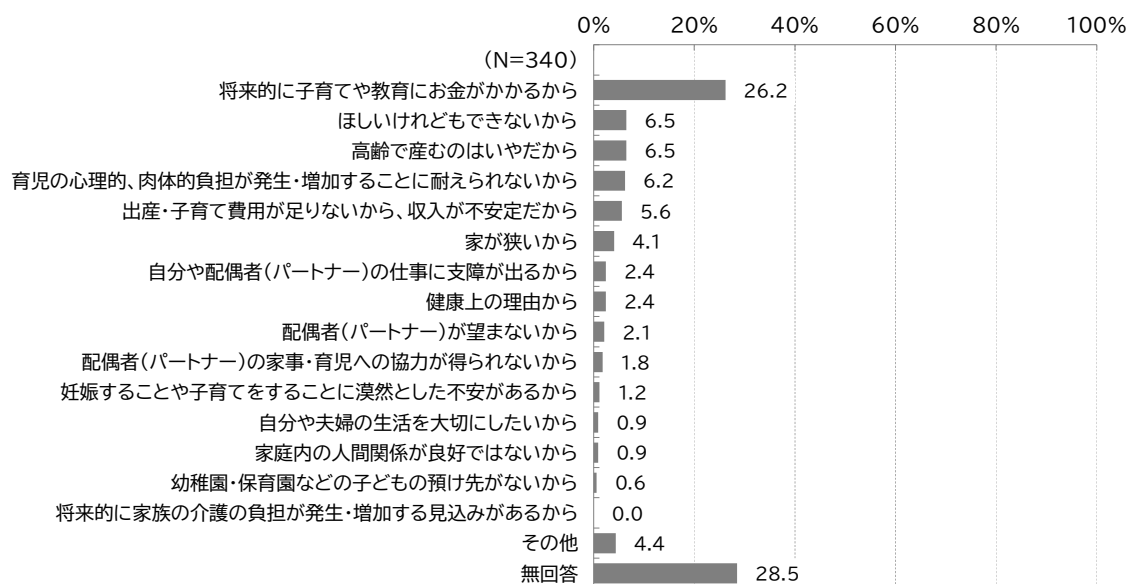
①理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 62.9%と最も多く、次いで「家が狭いから」が
52.4%、「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」が 36.8%となっている。



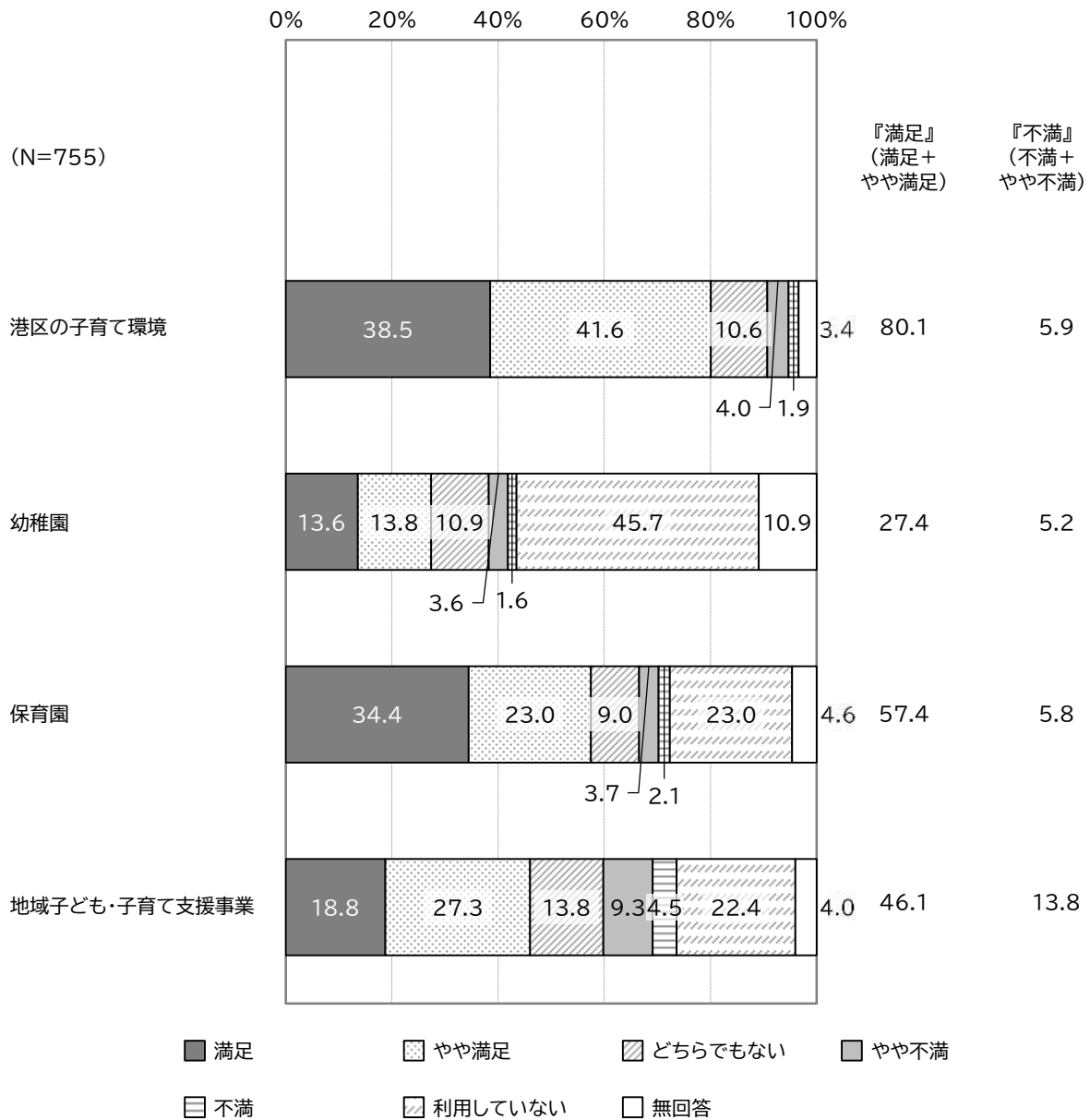
②最も重要な理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 26.2%と最も多く、次いで「ほしいけれどもでき
ないから」「高齢で産むのはいやだから」がともに 6.5%となっている。



問 39 港区の子育て環境全般と教育・保育事業（サービス内容について）への満足度について、お答えください。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

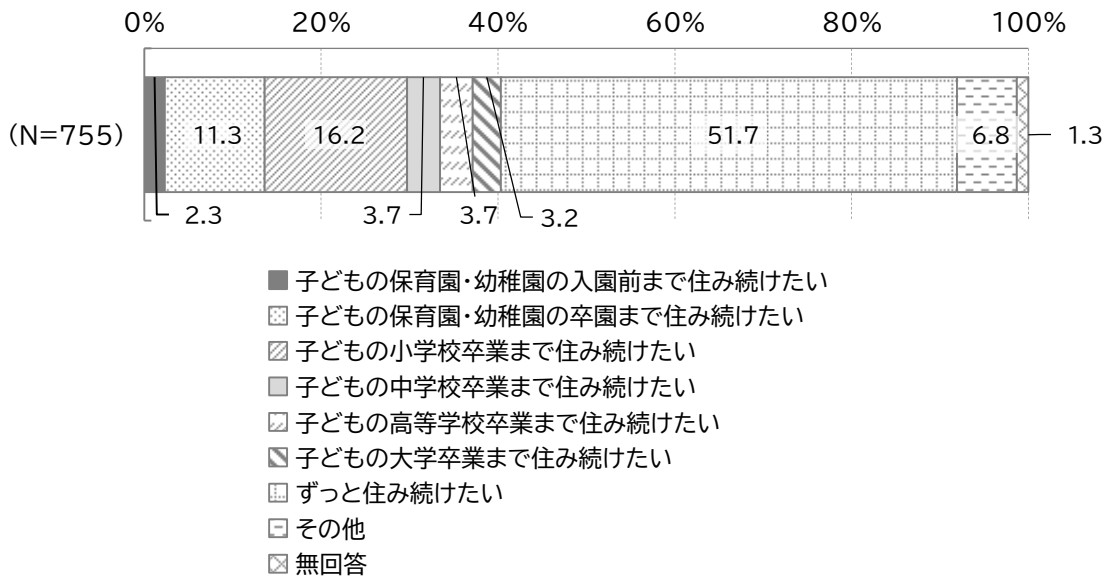
“港区の子育て環境”は「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が80.1%、“幼稚園”は27.4%（「利用していない」「無回答」を除くと63.1%），“保育園”は57.4%（「利用していない」「無回答」を除くと79.5%），“地域子ども・子育て支援事業”は46.1%（「利用していない」「無回答」を除くと62.6%）となっており、いずれも「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を上回っている。



※ “港区の子育て環境”は「利用していない」の選択肢なし

問 40 これからも港区に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

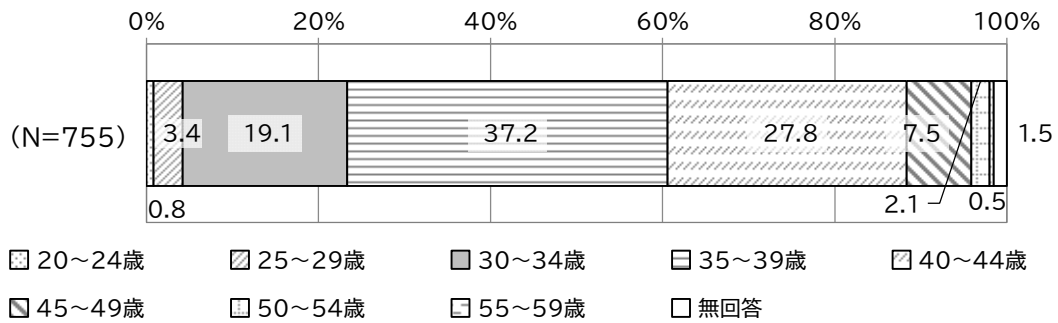
「ずっと住み続けたい」が51.7%と最も多く、次いで「子どもの小学校卒業まで住み続けたい」が16.2%、「子どもの保育園・幼稚園の卒園まで住み続けたい」が11.3%となっている。



(13) 保護者の状況について

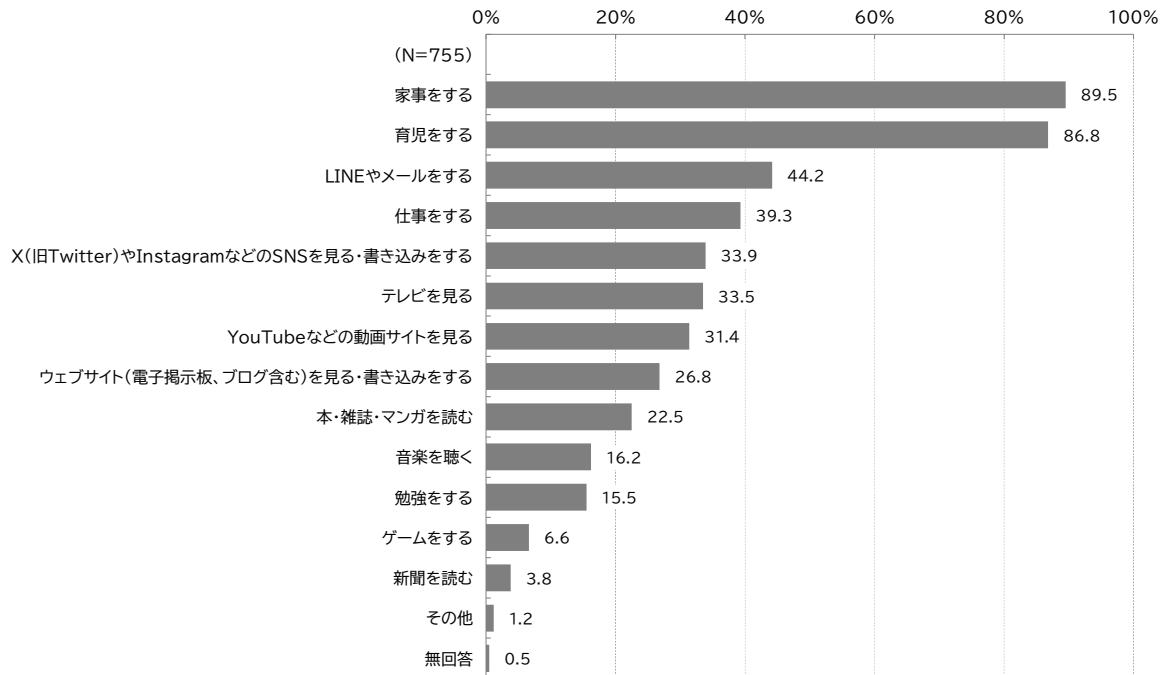
問 41 あなたの年齢を () 内に数字でご記入ください。(令和5年4月1日現在)

「35～39歳」が37.2%と最も多く、次いで「40～44歳」が27.8%、「30～34歳」が19.1%となっている。



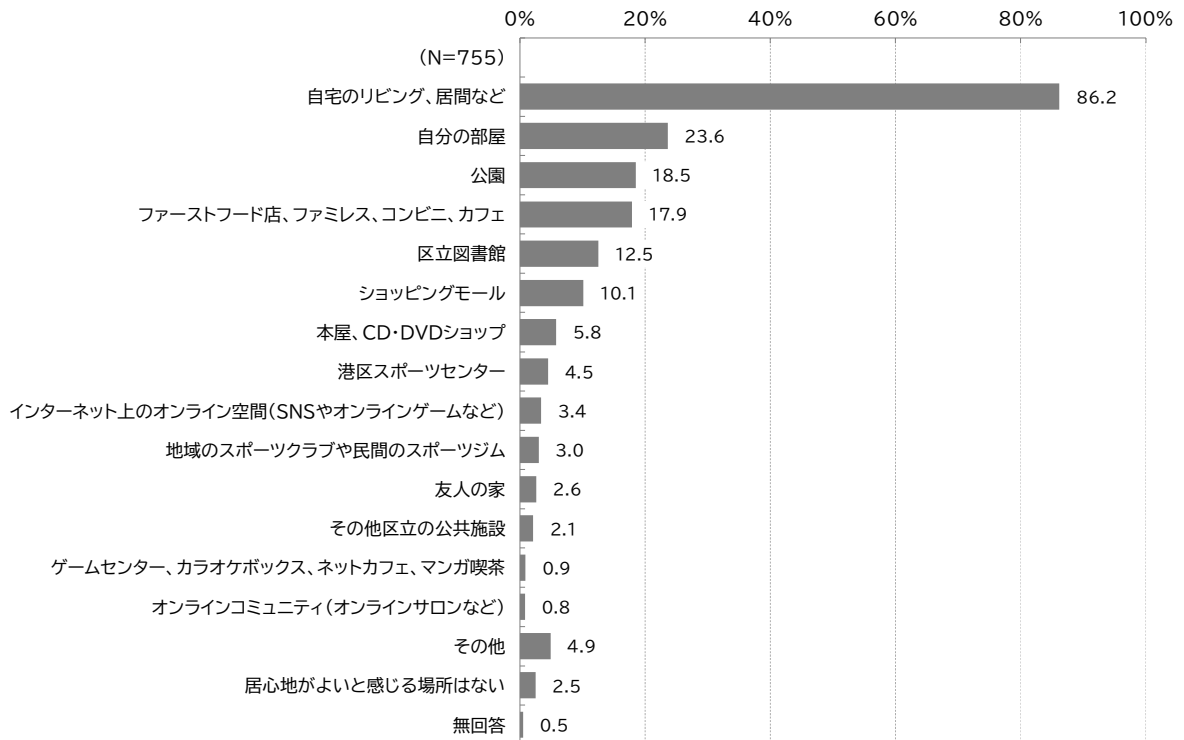
問 42 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「家事をする」が89.5%と最も多く、次いで「育児をする」が86.8%、「LINE やメールをする」が44.2%となっている。



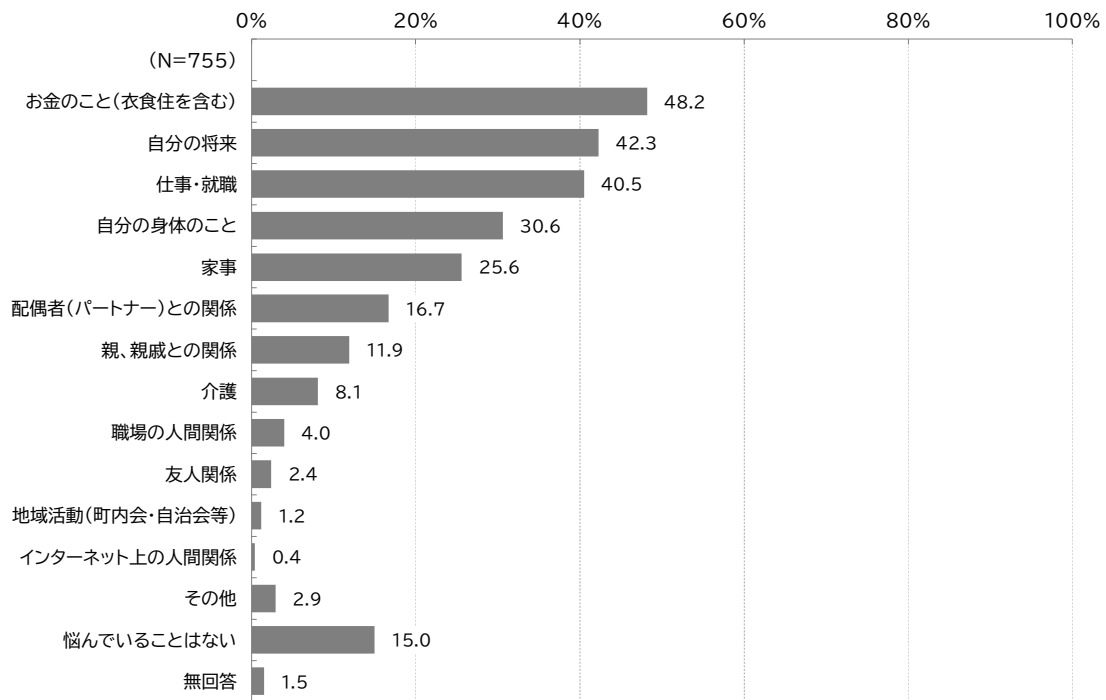
問 43 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

「自宅のリビング、居間など」が86.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が23.6%、「公園」が18.5%となっている。



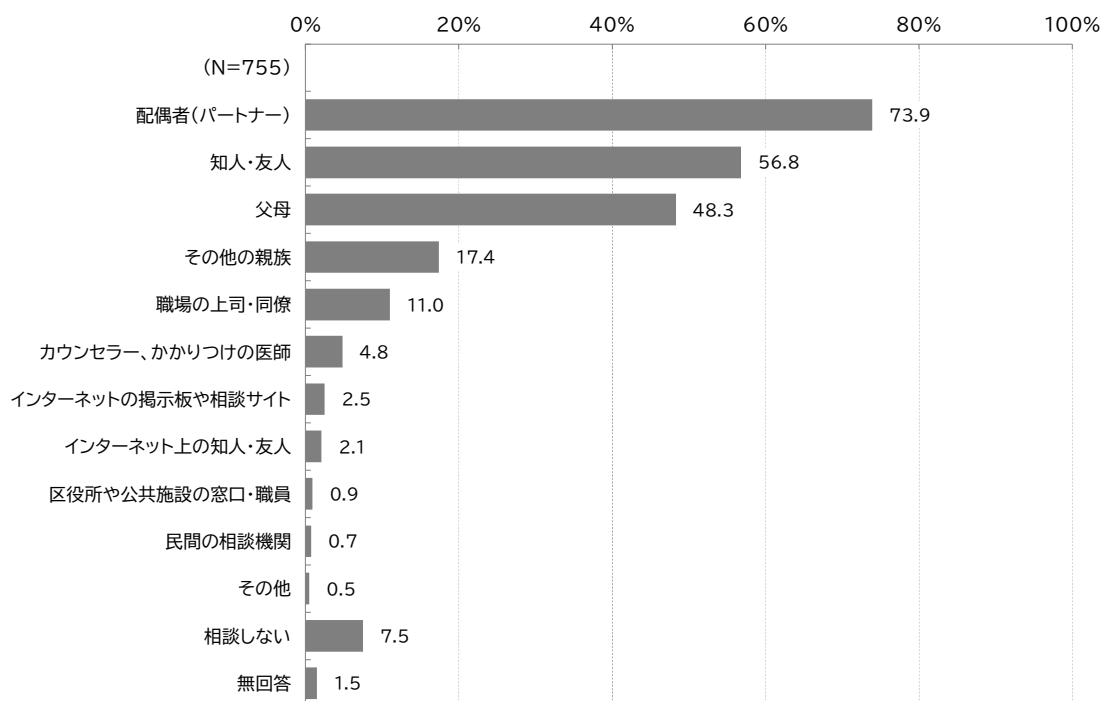
問 45 あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「お金のこと(衣食住を含む)」が48.2%と最も多く、次いで「自分の将来」が42.3%、「仕事・就職」が40.5%となっている。



問 46 あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰(どこ)に相談しますか。(あてはまる番号すべてに○)

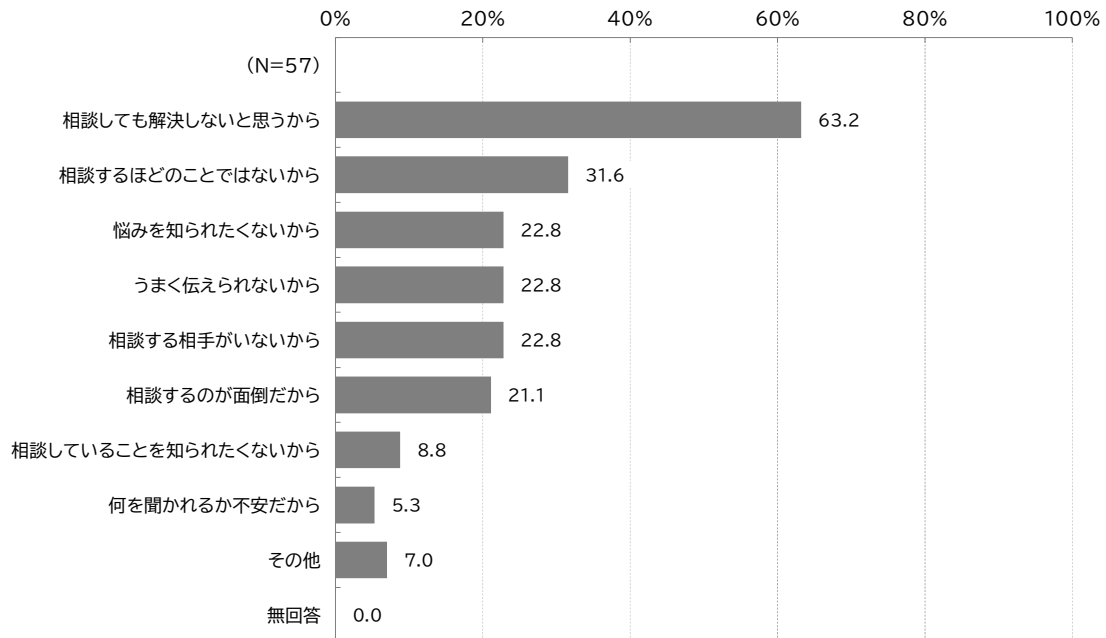
「配偶者(パートナー)」が73.9%と最も多く、次いで「知人・友人」が56.8%、「父母」が48.3%となっている。



問 46-1 問 46 で「12. 相談しない」に○をつけた方にうかがいます

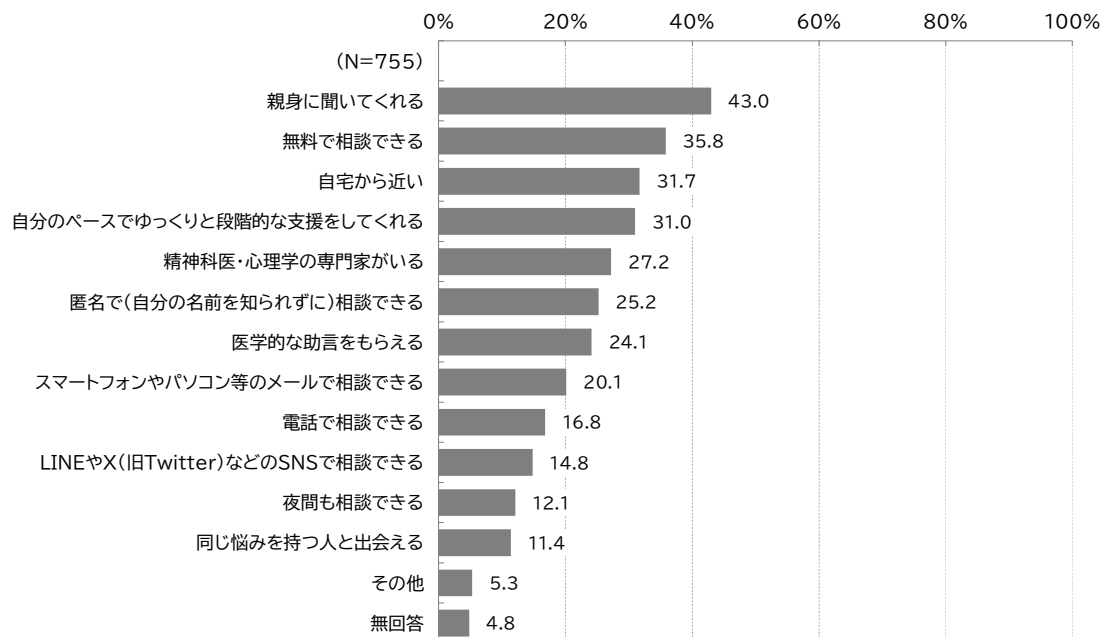
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「相談しても解決しないと思うから」が 63.2%と最も多く、次いで「相談するほどのことではないから」が 31.6%、「悩みを知られたくないから」「うまく伝えられないから」「相談する相手がいないから」がともに 22.8%となっている。



問 47 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。(あてはまる番号すべてに○)

「親身に聞いてくれる」が 43.0%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が 35.8%、「自宅から近い」が 31.7%となっている。

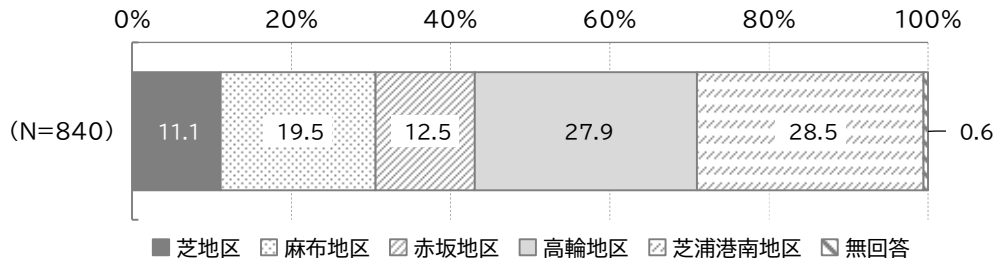


2. 小学生の保護者

(1) 居住地区について

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

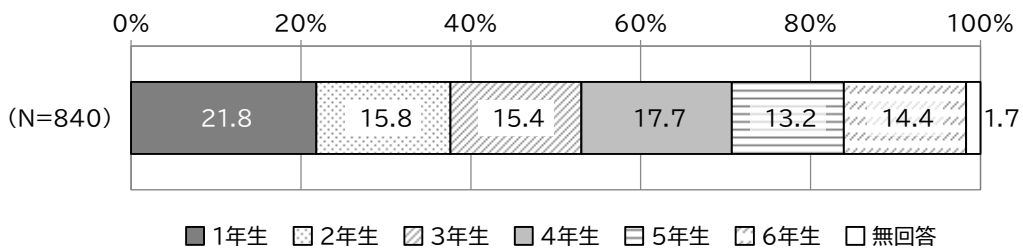
「芝浦港南地区」が28.5%と最も多く、次いで「高輪地区」が27.9%、「麻布地区」が19.5%となっている。



(2) 子どもと家族の状況について

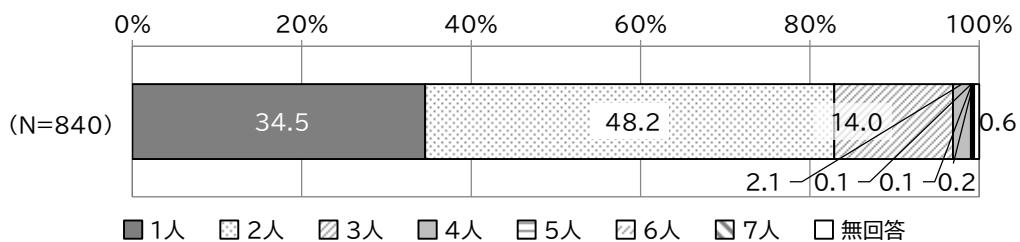
問2 宛名のお子さんの学年を () 内に数字でご記入ください。

「1年生」が21.8%と最も多く、次いで「4年生」が17.7%、「2年生」が15.8%となっている。



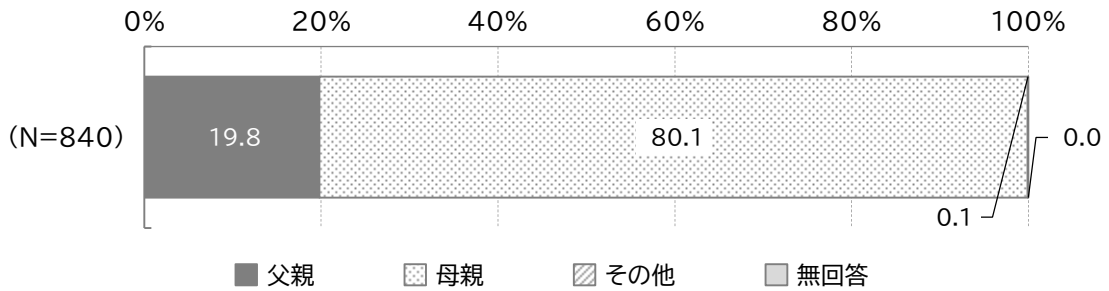
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数とそれぞれの生まれた年と月を () 内に数字でご記入ください。

「2人」が48.2%と最も多く、次いで「1人」が34.5%、「3人」が14.0%となっている。



問4 この調査票に回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

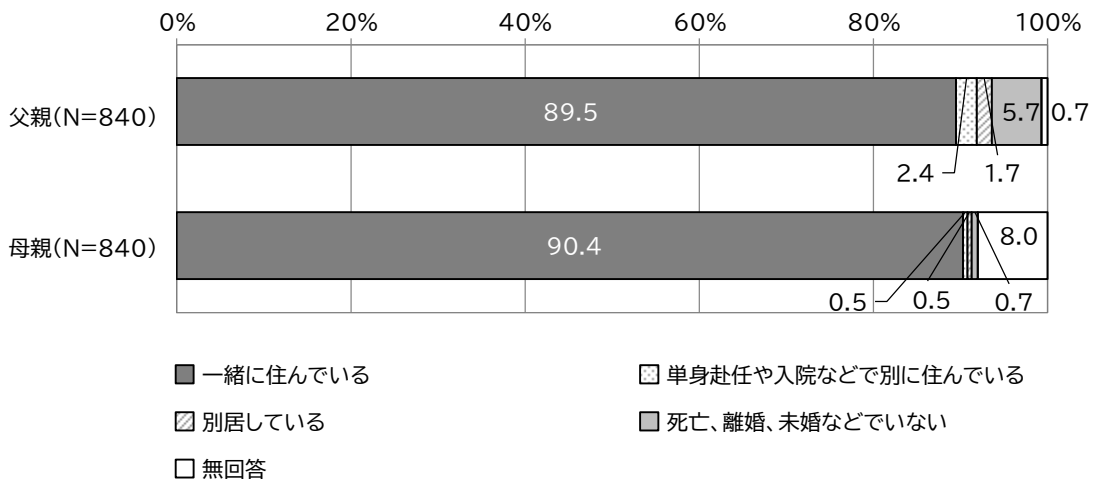
「母親」が80.1%、「父親」が19.8%となっている。



問5 宛名のお子さんご両親の同別居状況についてうかがいます。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

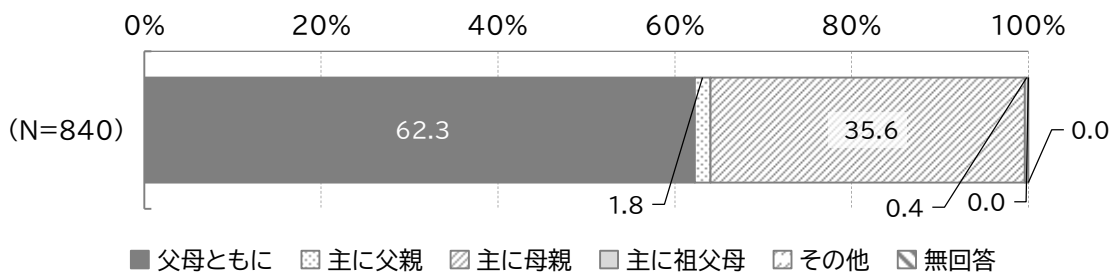
父親は「一緒に住んでいる」が89.5%と最も多く、次いで「死亡、離婚、未婚などでいない」が5.7%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」が2.4%となっている。

母親は「一緒に住んでいる」が90.4%と最も多く、次いで「死亡、離婚、未婚などでいない」が0.7%、「単身赴任や入院などで別に住んでいる」「別居している」がともに0.5%となっている。



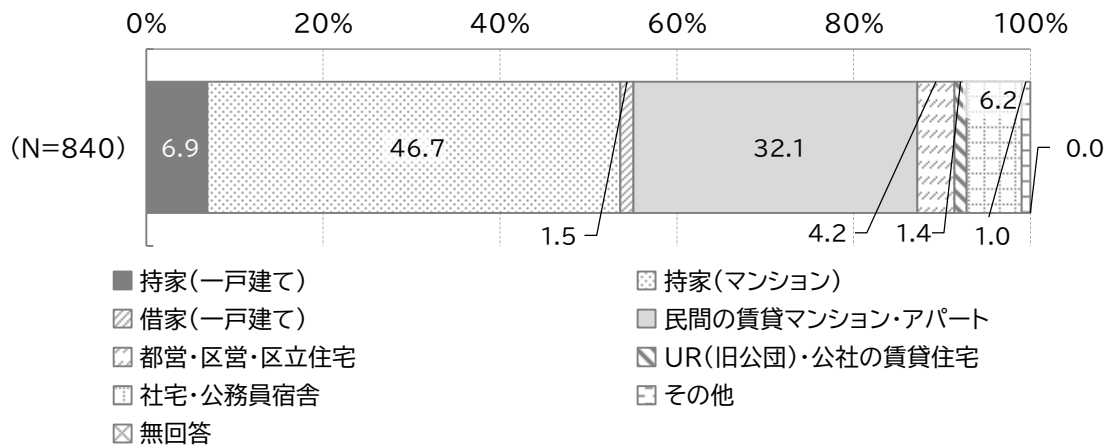
問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。(あてはまる番号ひとつに○)

「父母ともに」が62.3%と最も多く、次いで「主に母親」が35.6%、「主に父親」が1.8%となっている。



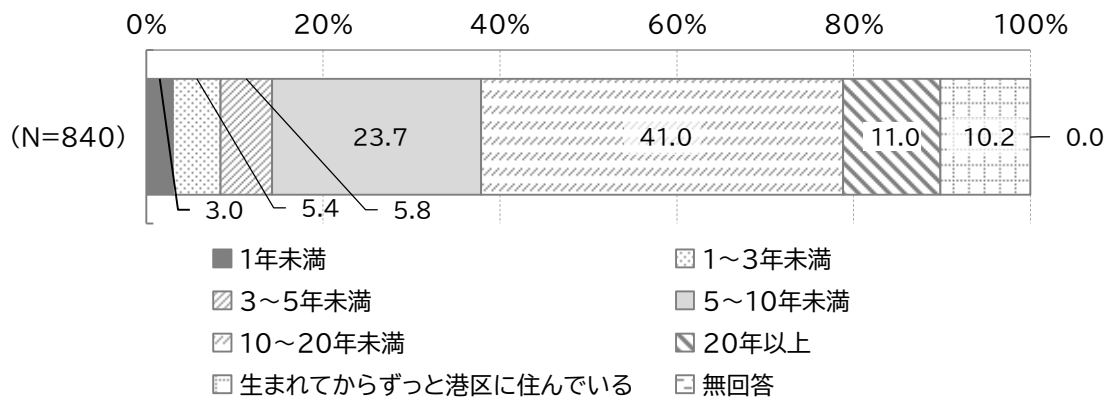
問7 あなた（宛名のお子さんの保護者）のお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「持家（マンション）」が46.7%と最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」が32.1%、「持家（一戸建て）」が6.9%となっている。



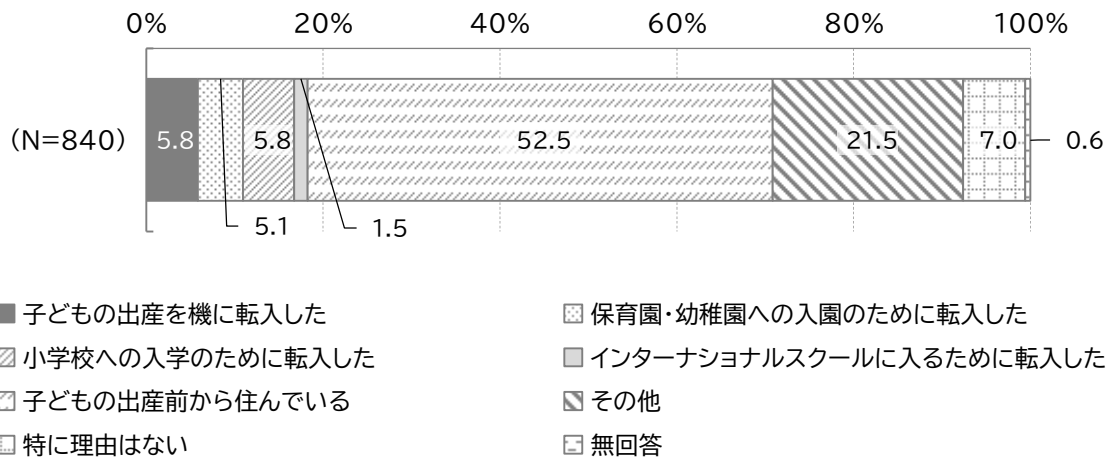
問8 あなた（宛名のお子さんの保護者）は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「10～20年未満」が41.0%と最も多く、次いで「5～10年未満」が23.7%、「20年以上」が11.0%となっている。



問8-1 あなた（宛名のお子さんの保護者）が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。（あてはまる番号ひとつに○）

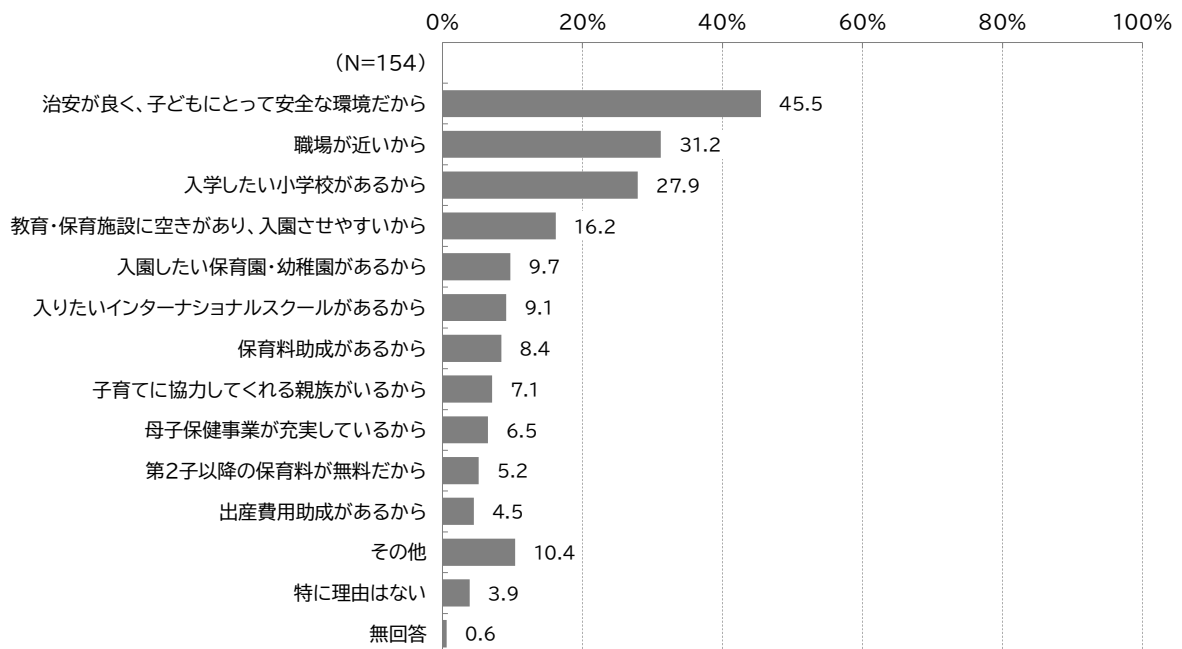
「子どもの出産前から住んでいる」が52.5%と最も多く、次いで「その他」が21.5%、「特に理由はない」が7.0%となっている。



問8-2 問8-1で「1. 子どもの出産を機に転入した」～「4. インターナショナルスクールに入るために転入した」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

次のうち、あてはまる理由があればお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

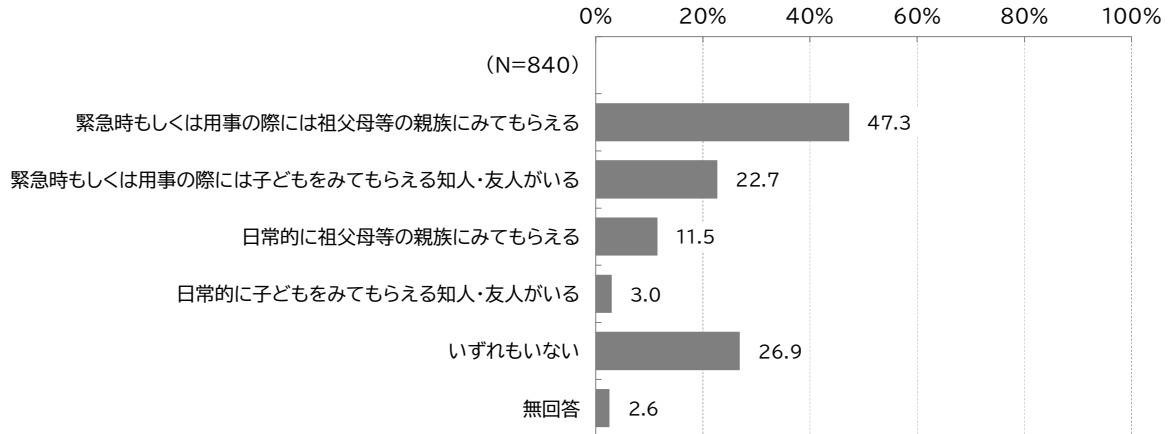
「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が45.5%と最も多く、次いで「職場が近いから」が31.2%、「入学したい小学校があるから」が27.9%となっている。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問9 日頃、保護者以外に宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

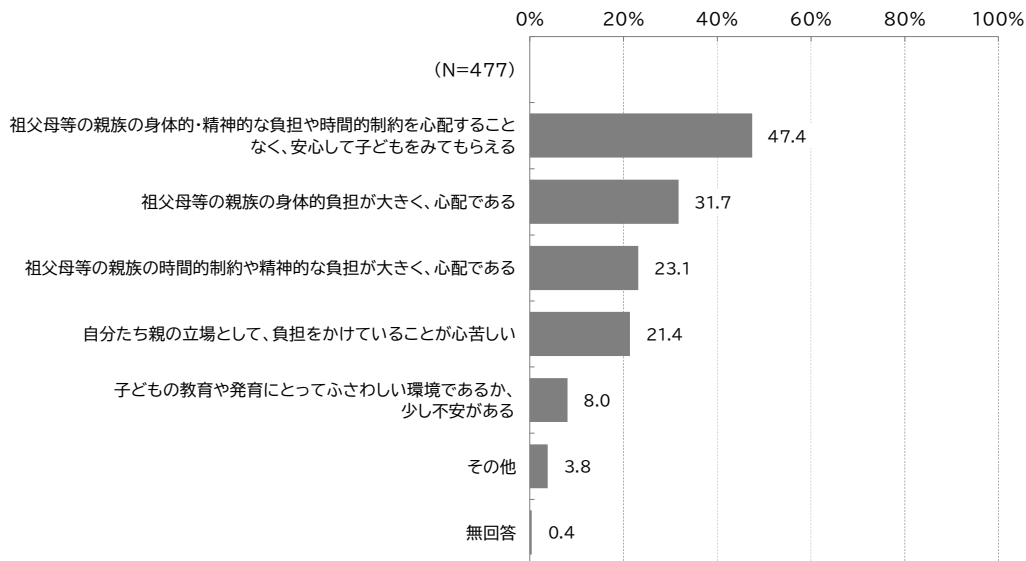
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が47.3%と最も多く、次いで「いずれもない」が26.9%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」が22.7%となっている。



問9-1 問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。

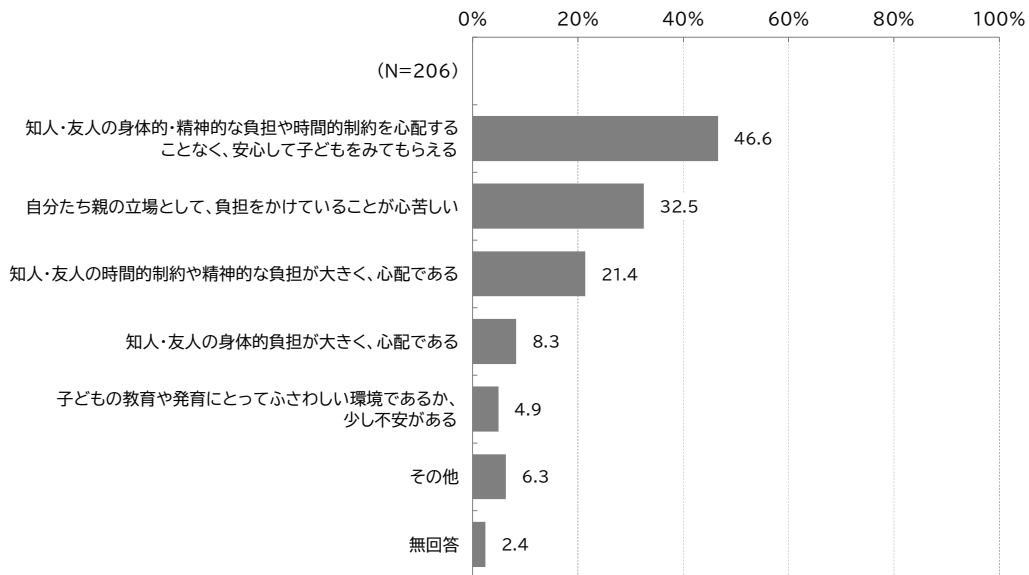
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.4%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が31.7%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が23.1%となっている。



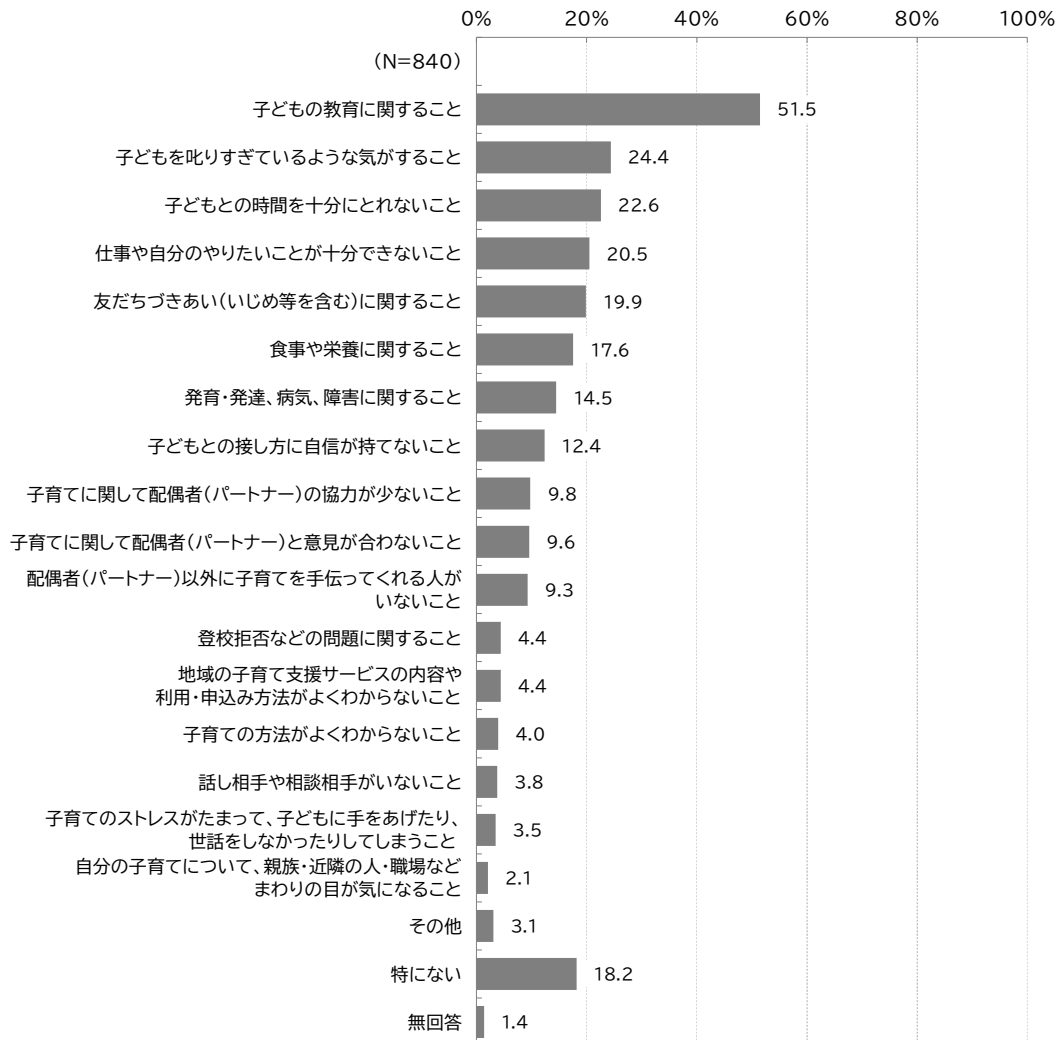
問9-2 問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる知人・友人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」に○をつけた方にうかがいます。
 知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.6%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.5%、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が21.4%となっている。



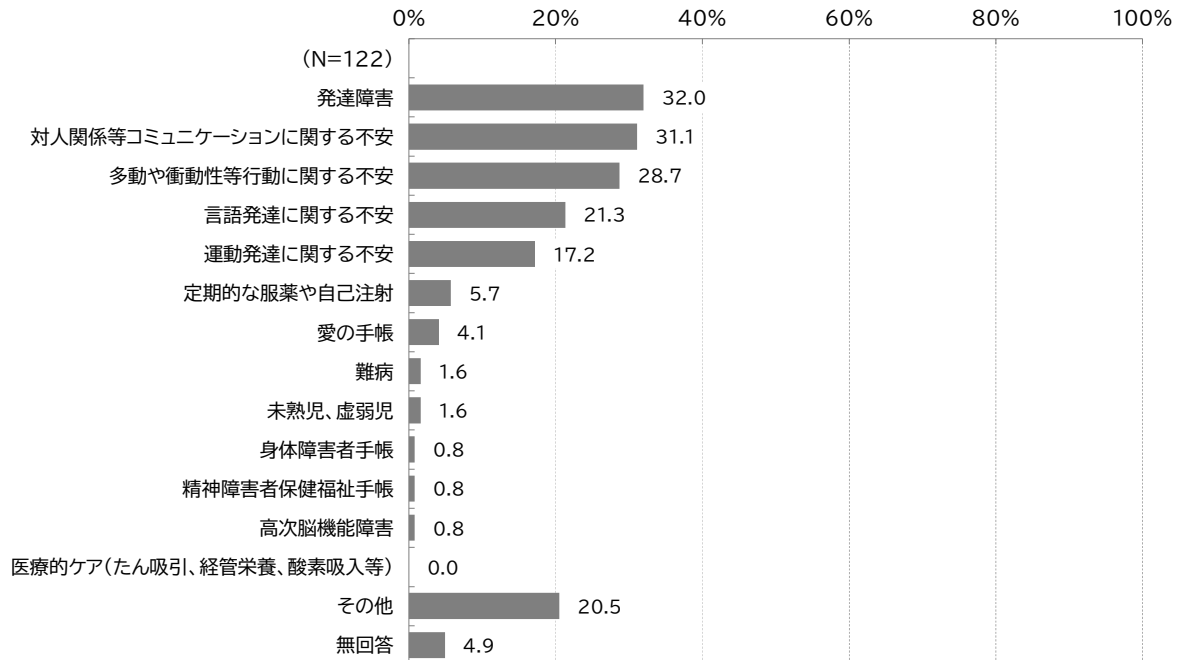
問10 子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「子どもの教育に関すること」が51.5%と最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」と24.4%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が22.6%となっている。



問 10-1 問 10 で「1. 発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。あてはまるものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○) また、「1. 身体障害者手帳」～「3. 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方は、() 内に数字でご記入ください。

「発達障害」が 32.0% と最も多く、次いで「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が 31.1%、「多動や衝動性等行動に関する不安」が 28.7% となっている。

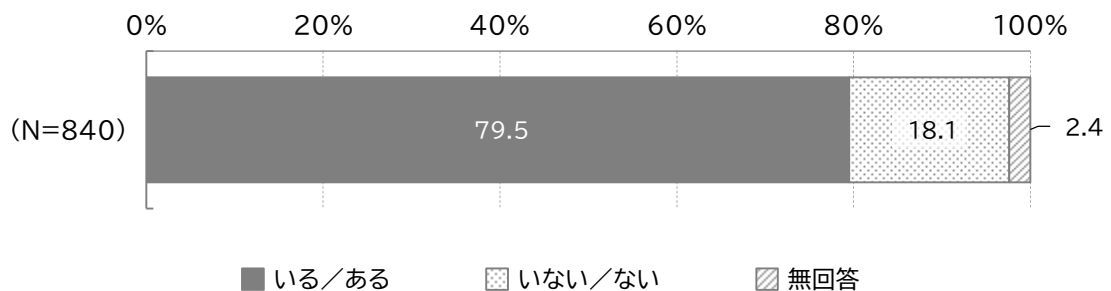


【等級】

	1級(度)	2級(度)	3級(度)	無回答
身体障害者手帳	-	-	1件 (100.0%)	-
愛の手帳	-	1件 (20.0%)	2件 (40.0%)	2件 (40.0%)
精神障害者保健福祉手帳	-	-	1件 (100.0%)	-

問 11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)はいますか(ありますか)。(あてはまる番号ひとつに○)

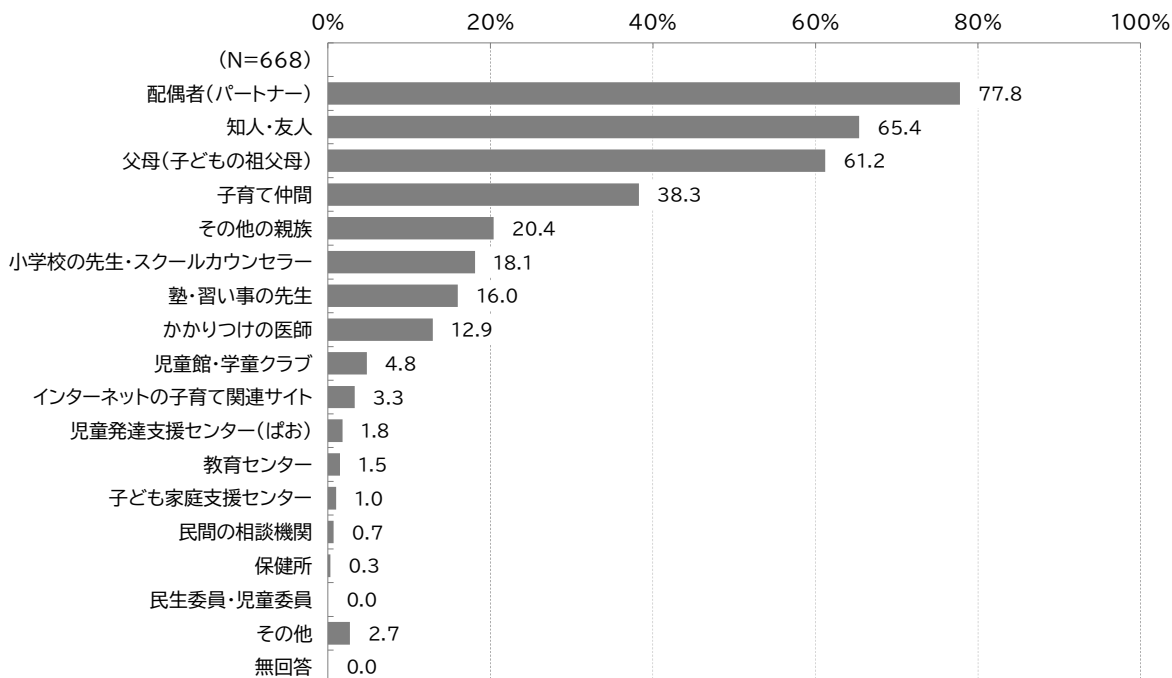
「いる/ある」が 79.5%、「いない/ない」が 18.1% となっている。



問 11-1 問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

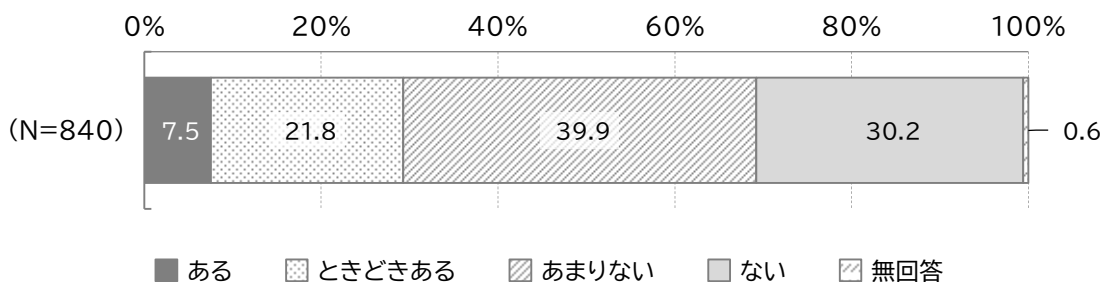
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「配偶者（パートナー）」が 77.8%と最も多く、次いで「知人・友人」が 65.4%、「父母（子どもの祖父母）」が 61.2%となっている。



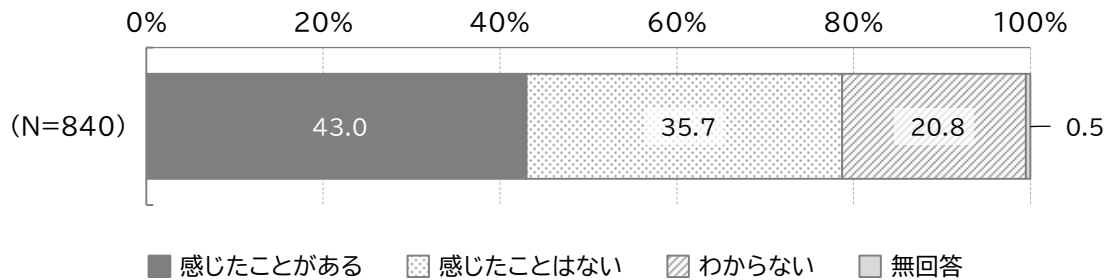
問 12 日頃、子育てを行うにあたり、孤立感を感じることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「あまりない」が 39.9%と最も多く、次いで「ない」が 30.2%、「ときどきある」が 21.8%となっている。



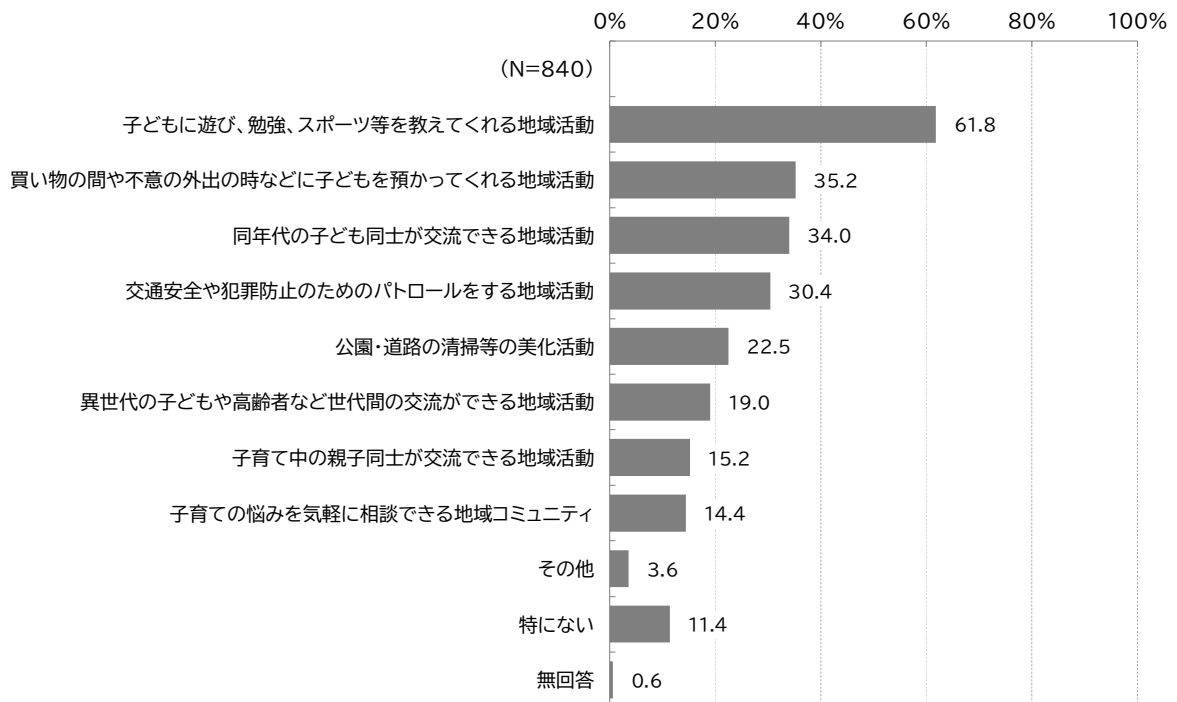
問13 子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「感じたことがある」が43.0%と最も多く、次いで「感じたことはない」が35.7%、「わからない」が20.8%となっている。



問14 あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

「子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動」が61.8%と最も多く、次いで「買い物の間や不意の外出の時などに子どもを預かってくれる地域活動」が35.2%、「同年代の子ども同士が交流できる地域活動」が34.0%となっている。



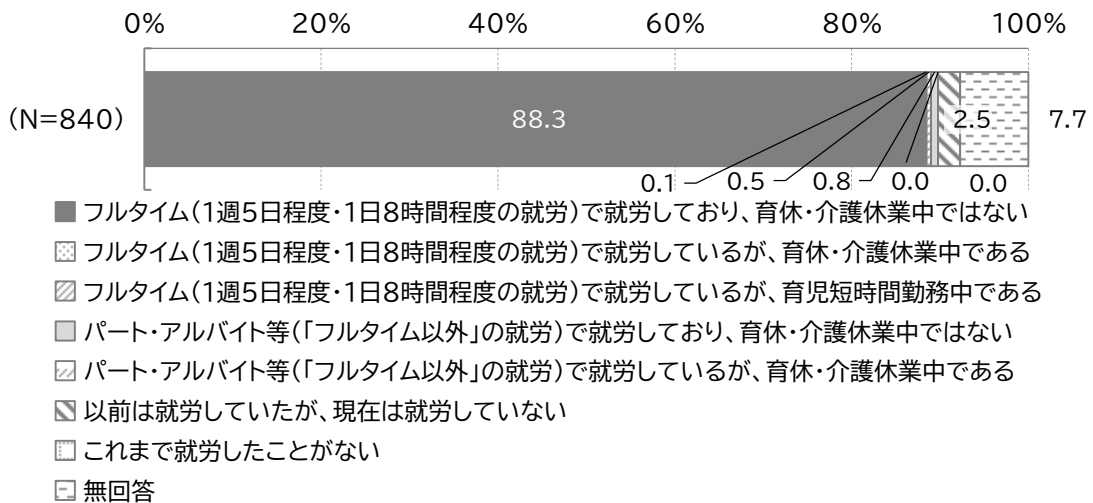
(4) 就労・家計状況について

問 15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。（あてはまる番号ひとつに○）

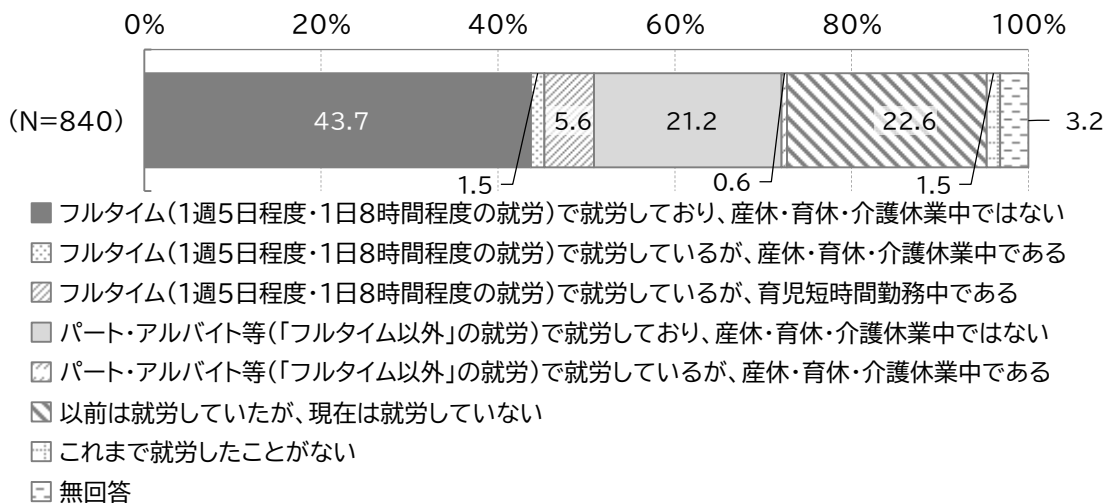
父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が88.3%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が2.5%、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.8%となっている。

母親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.7%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が21.2%となっている。

【父親】



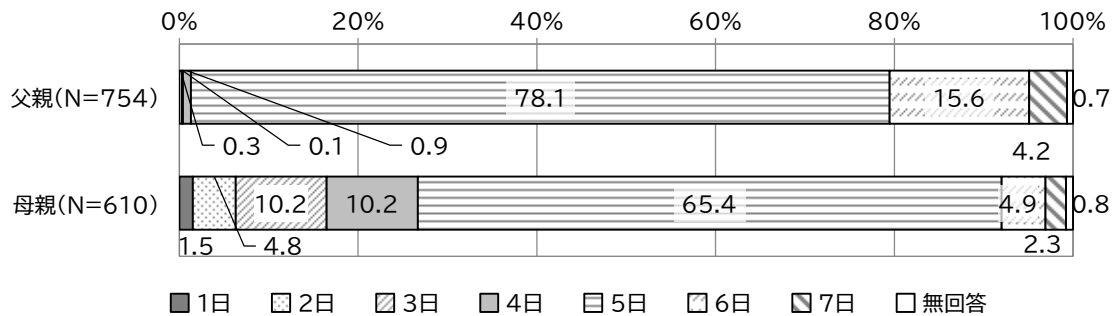
【母親】



① 1週あたりの就労日数

父親は「5日」が78.1%と最も多く、次いで「6日」が15.6%、「7日」が4.2%となっている。1週あたりの平均就労日数は5.2日となっている。

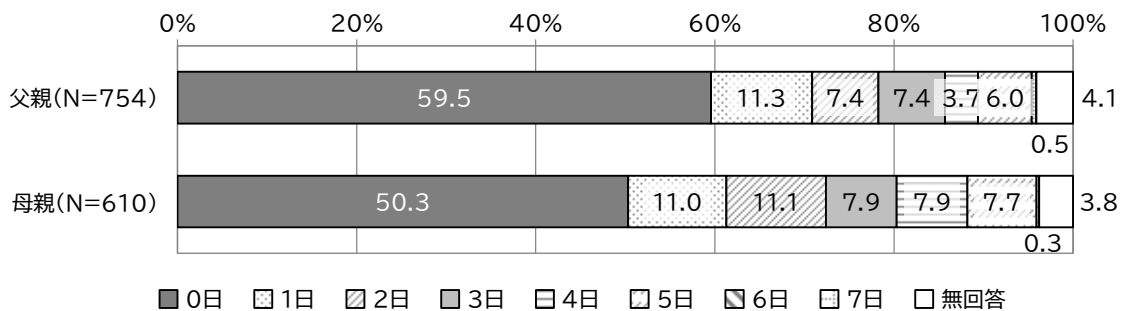
母親は「5日」が65.4%と最も多く、次いで「3日」「4日」がともに10.2%となっている。1週あたりの平均就労日数は4.6日となっている。



② 1週あたりの在宅勤務日数

父親は「0日」が59.5%と最も多く、次いで「1日」が11.3%、「2日」「3日」がともに7.4%となっている。1週あたりの平均在宅勤務日数は1.0日となっている。

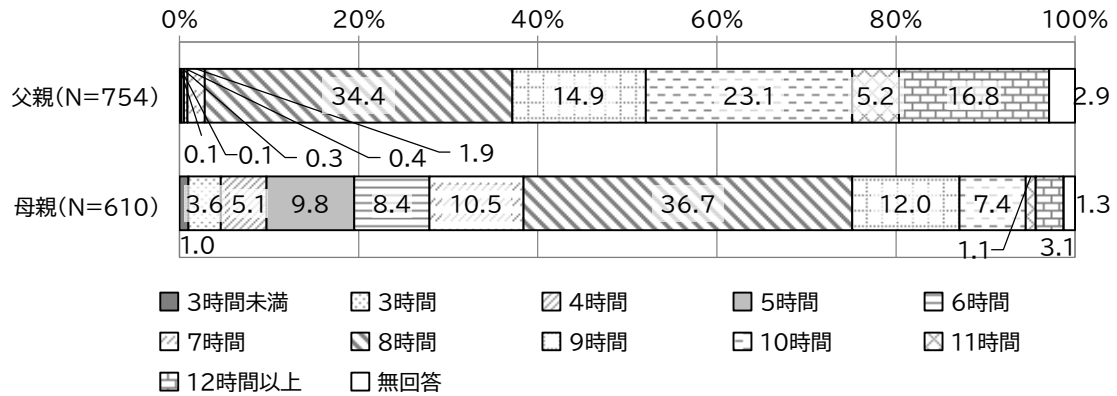
母親は「0日」が50.3%と最も多く、次いで「2日」が11.1%、「1日」が11.0%となっている。1週あたりの平均在宅勤務日数は1.3日となっている。



③ 1日あたりの就労時間

父親は「8時間」が34.4%と最も多く、次いで「10時間」が23.1%、「12時間以上」が16.8%となっている。1日あたりの平均就労時間は9.8時間となっている。

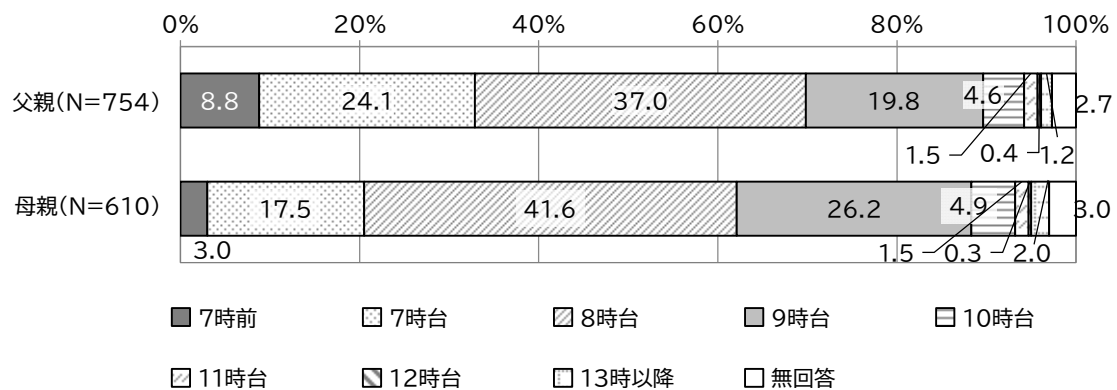
母親は「8時間」が36.7%と最も多く、次いで「9時間」が12.0%、「7時間」が10.5%となっている。1日あたりの平均就労時間は7.5時間となっている。



④ 家を出る時刻

父親は「8時台」が37.0%と最も多く、次いで「7時台」が24.1%、「9時台」が19.8%となっている。平均時刻は8時10分となっている。

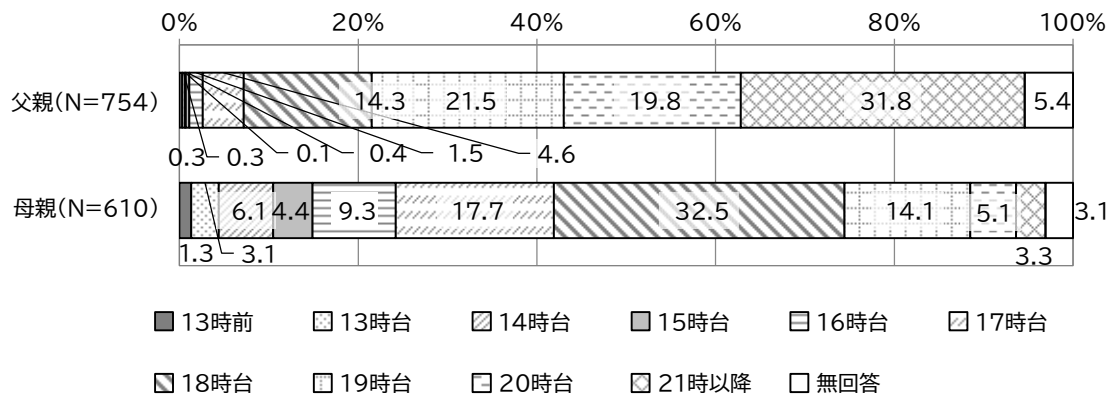
母親は「8時台」が41.6%と最も多く、次いで「9時台」が26.2%、「7時台」が17.5%となっている。平均時刻は8時34分となっている。



⑤帰宅時刻

父親は「21時以降」が31.8%と最も多く、次いで「19時台」が21.5%、「20時台」が19.8%となっている。平均時刻は20時00分となっている。

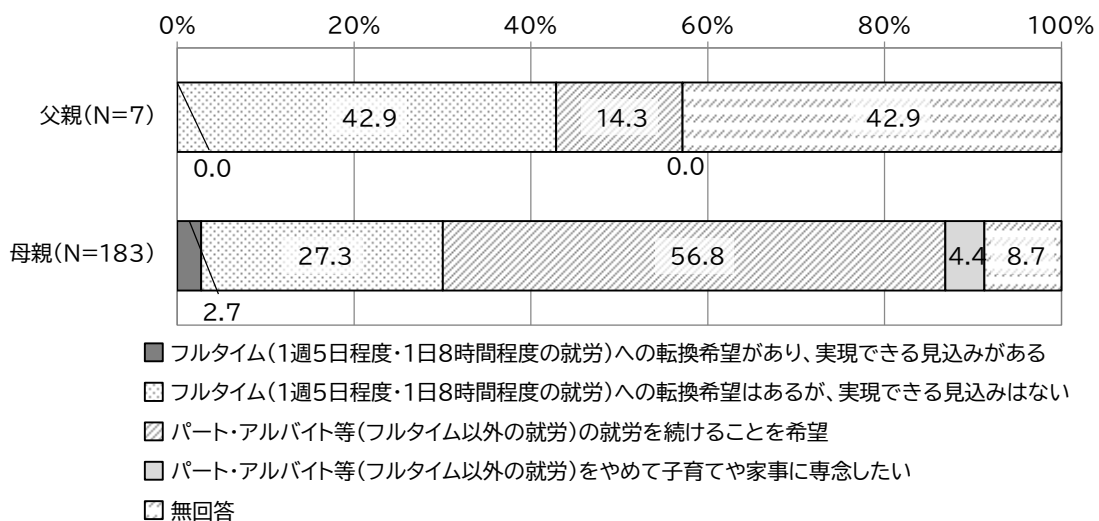
母親は「18時台」が32.5%と最も多く、次いで「17時台」が17.7%、「19時台」が14.1%となっている。平均時刻は17時33分となっている。



問16 問15の(1)または(2)で、「4」または「5」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

父親は「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が42.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望」が14.3%となっている。

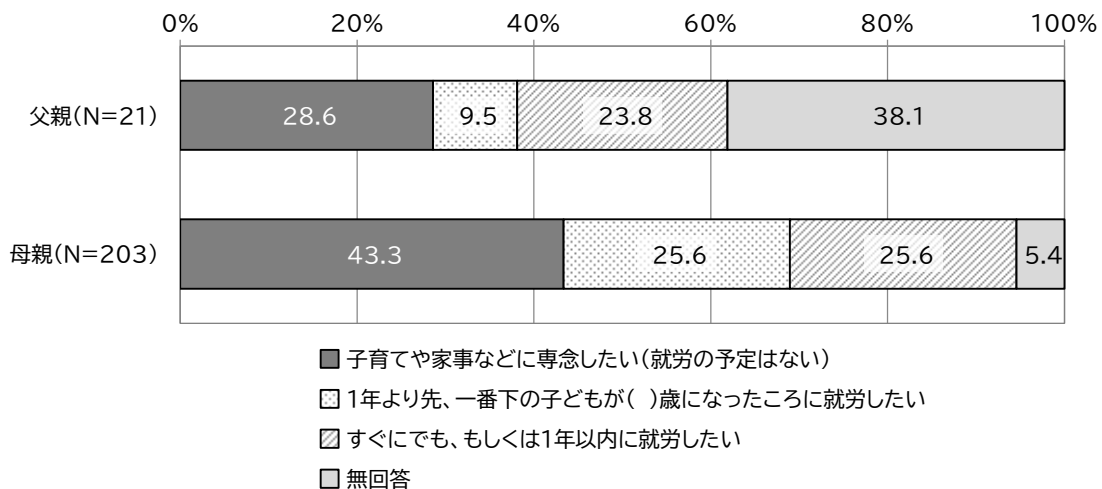
母親は「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望」が56.8%と最も多く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.3%、「パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい」が4.4%となっている。



問17 問15の(1)または(2)で、「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
 就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○) また、「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

父親は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が28.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.8%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が9.5%となっている。

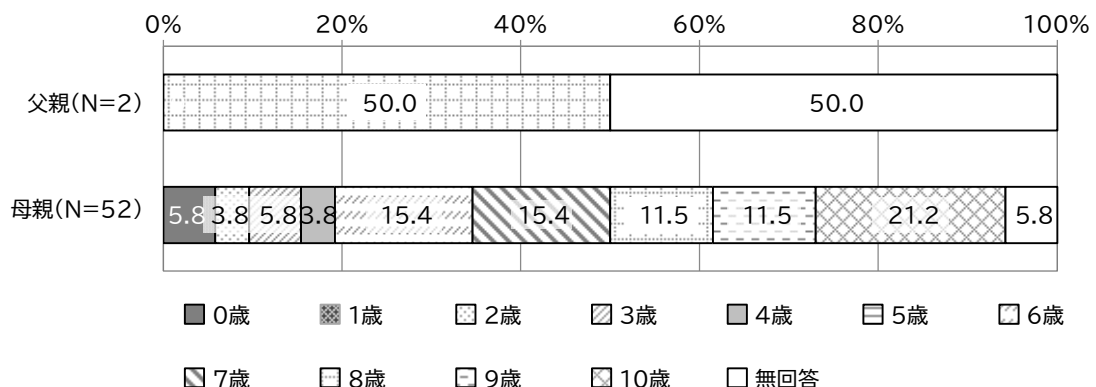
母親は「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が43.3%と最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに25.6%となっている。



①子どもの年齢(1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい)

父親は「8歳」が1件となっている。

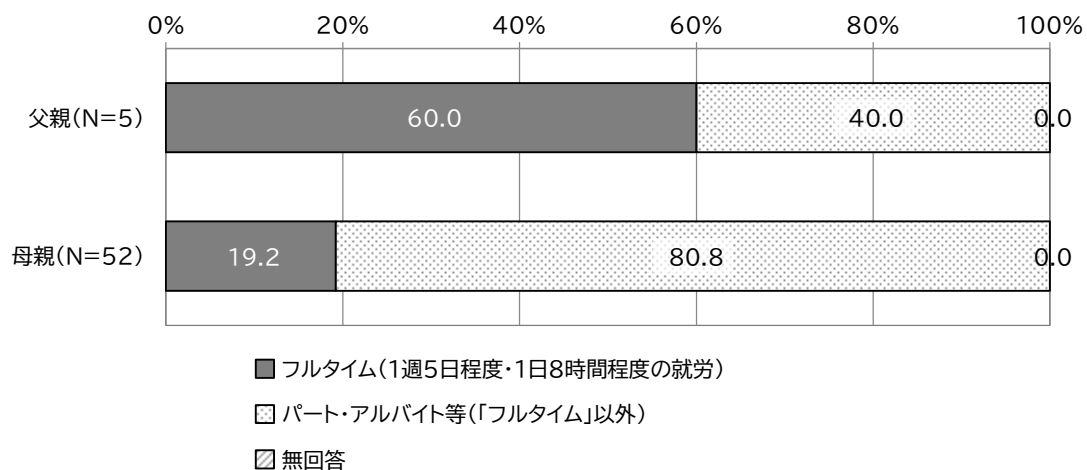
母親は「10歳」が21.2%と最も多く、次いで「6歳」「7歳」がともに15.4%となっている。



②希望する就労形態（すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）

父親は「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が60.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」が40.0%となっている。

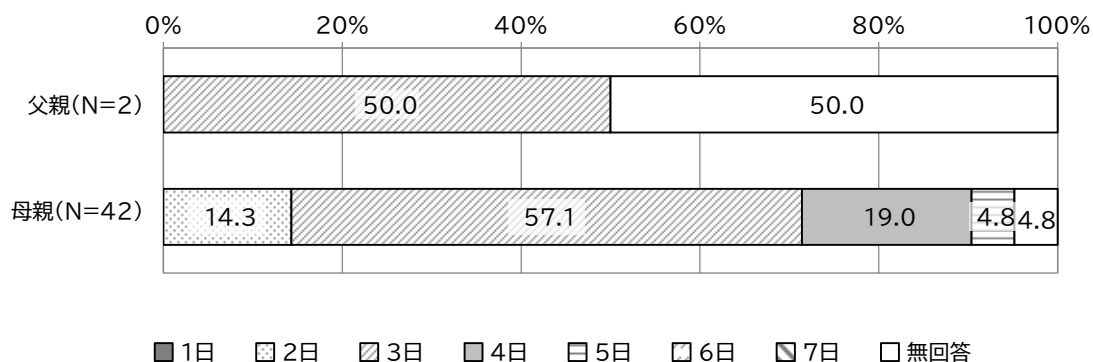
母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）」が80.8%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が19.2%となっている。



ア 1週あたりの就労日数

父親は「3日」が1件となっている。

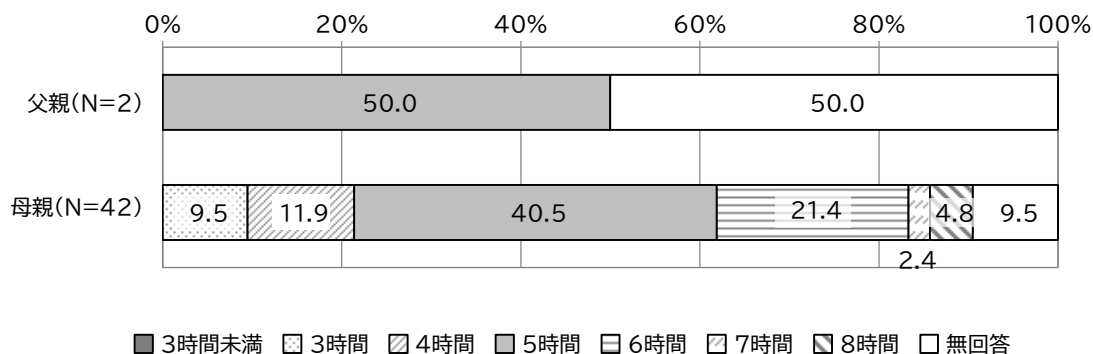
母親は「3日」が57.1%、「4日」が19.0%、「2日」が14.3%となっている。



イ 1日あたり就労時間

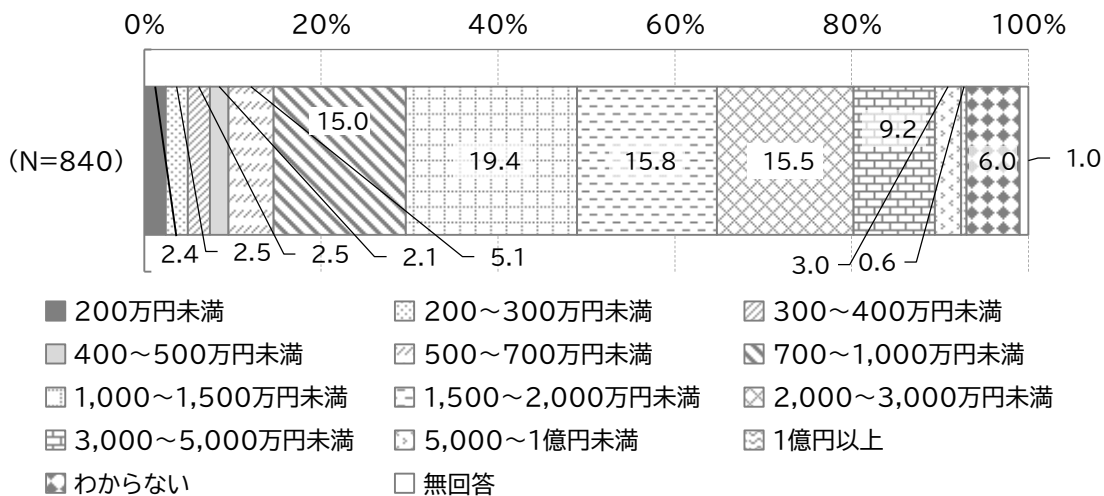
父親は「5時間」が1件となっている。

母親は「5時間」が40.5%、「6時間」が21.4%、「4時間」が11.9%となっている。



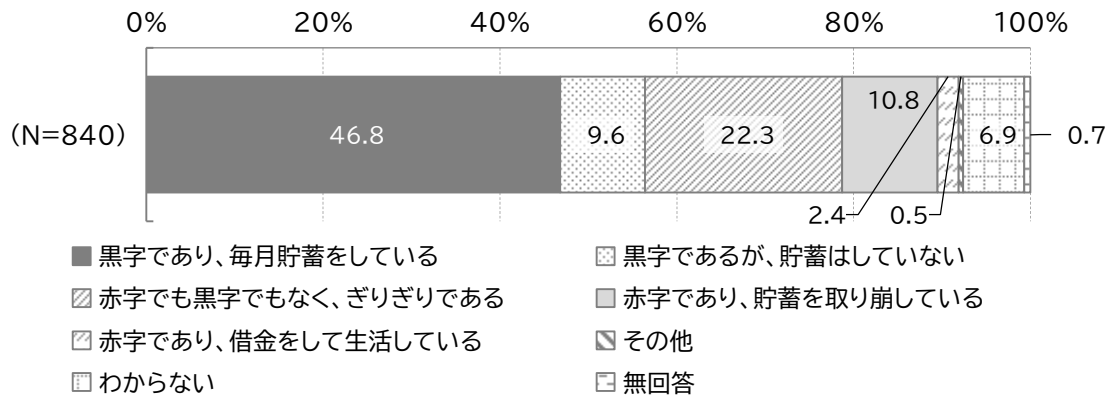
問 18 宛名のお子さんの世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「1,000～1,500万円未満」が19.4%と最も多く、次いで「1,500～2,000万円未満」が15.8%、「2,000～3,000万円未満」が15.5%となっている。



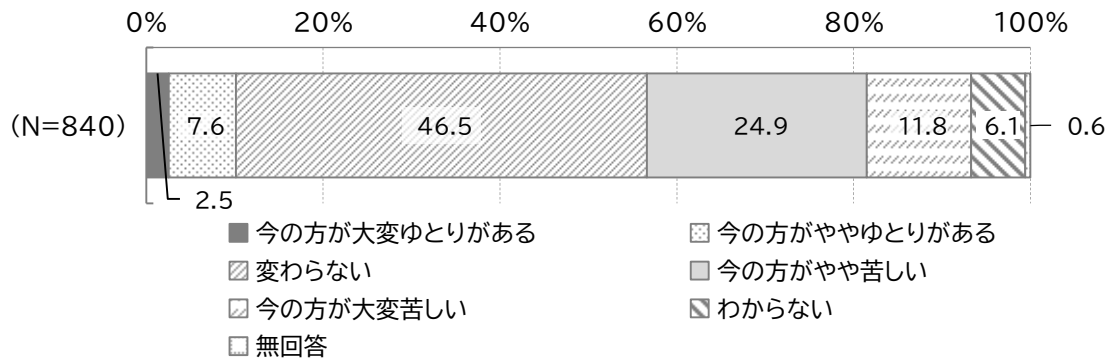
問 19 現在の家計について、最も近いものをお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が46.8%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が22.3%、「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が10.8%となっている。



問 20 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

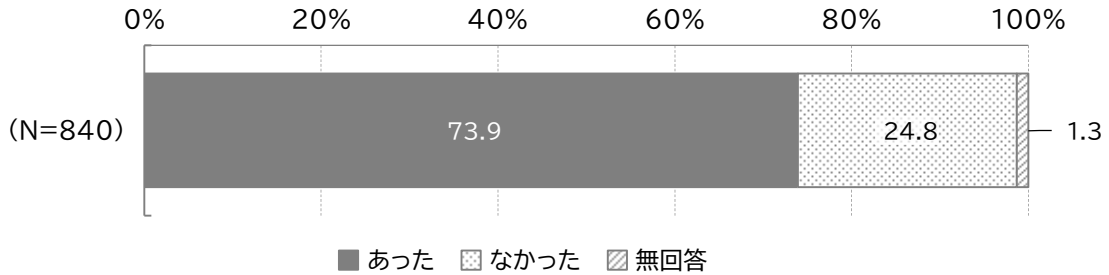
「変わらない」が46.5%と最も多く、次いで「今の方がやや苦しい」が24.9%、「今の方が大変苦しい」が11.8%となっている。



(5) 病気の際の対応について

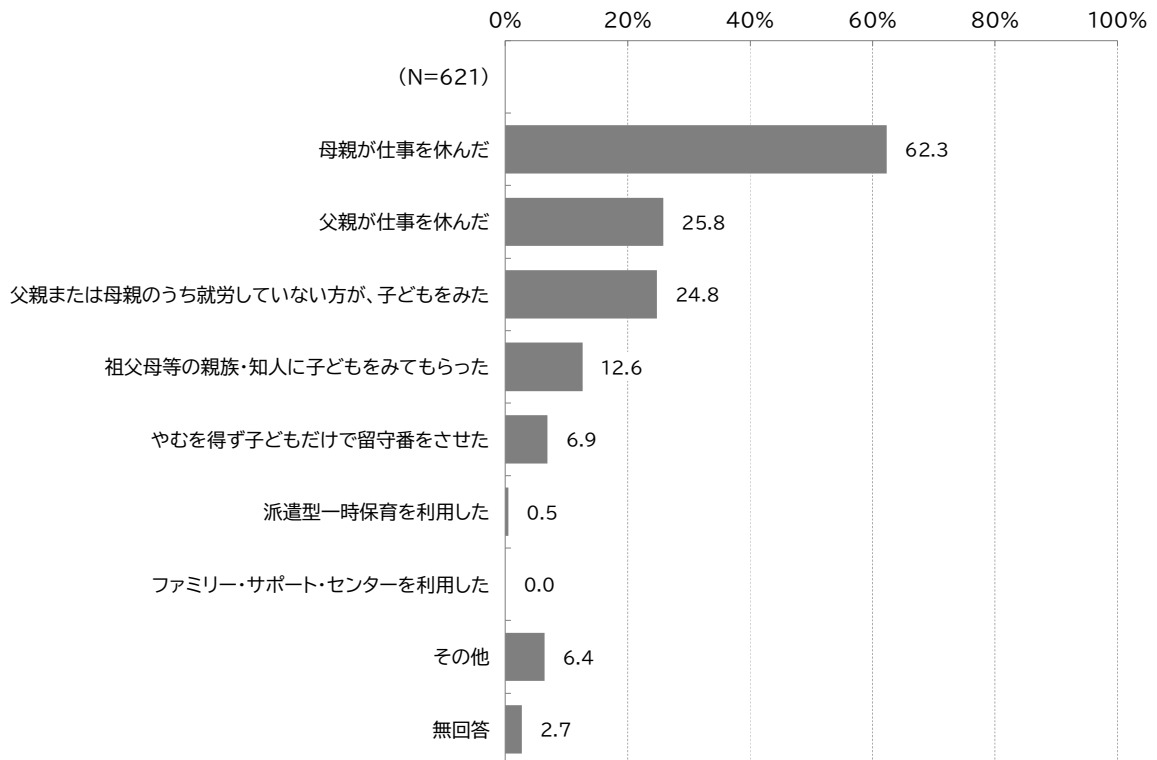
問 21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「あった」が73.9%、「なかった」が24.8%となっている。



問 21-1 この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

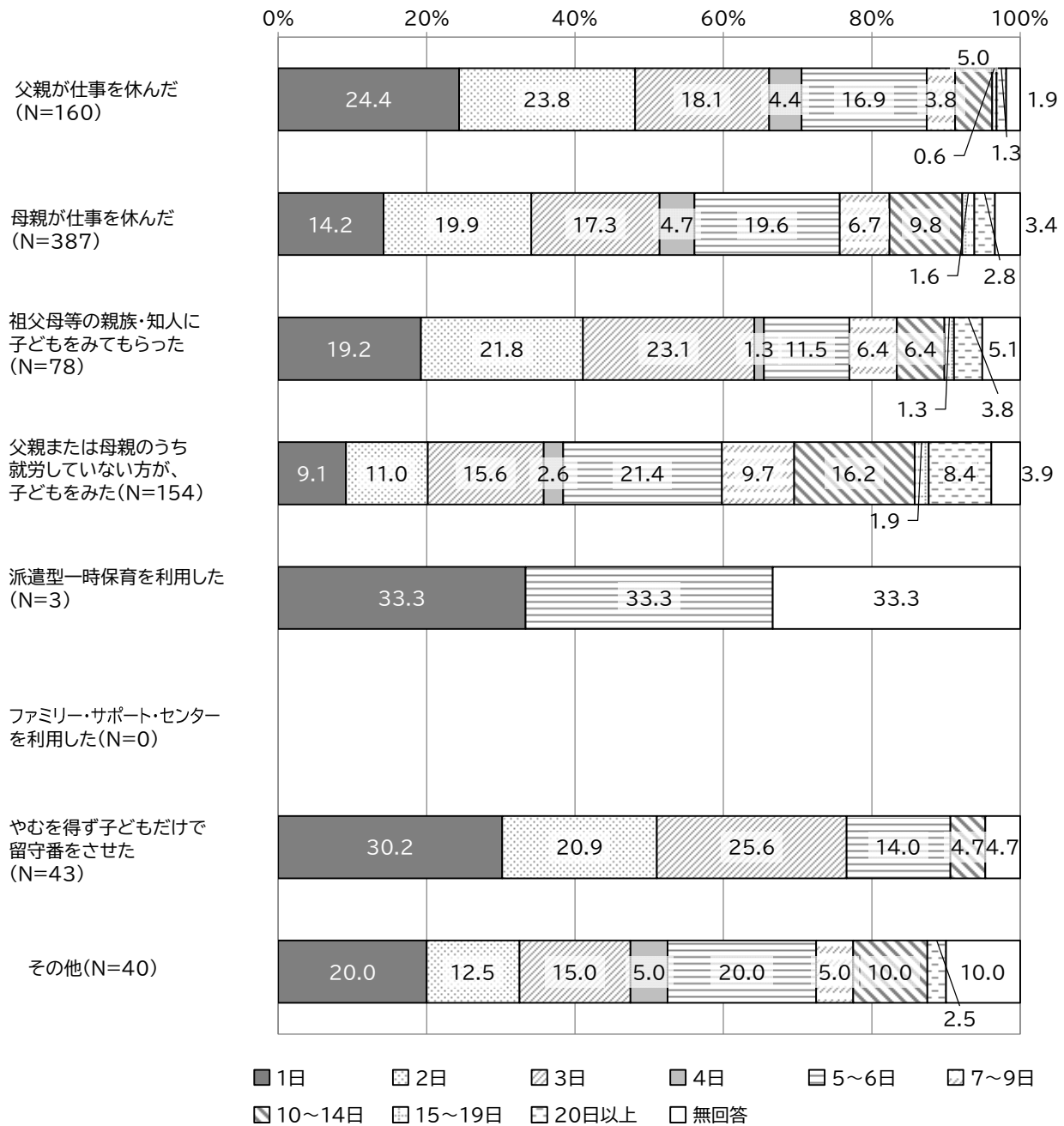
「母親が仕事を休んだ」が62.3%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が25.8%、「父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた」が24.8%となっている。



① 1年あたりの日数

“父親が仕事を休んだ”は「1日」が24.4%と最も多く、次いで「2日」が23.8%、「3日」が18.1%であり、平均3.6日となっている。

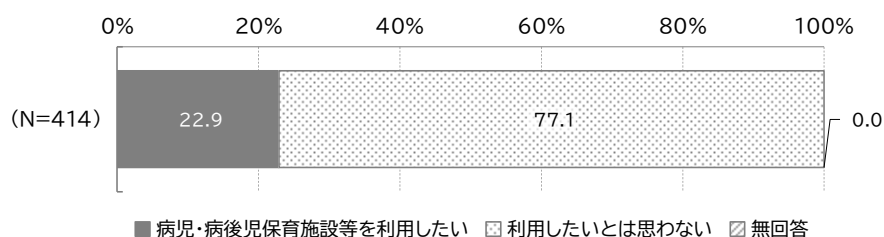
“母親が仕事を休んだ”は「2日」が19.9%と最も多く、次いで「5～6日」が19.6%、「3日」が17.3%であり、平均5.2日となっている。



問 21-2 問 21-1 で「1. 父親が仕事を休んだ」または「2. 母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にかがいます。

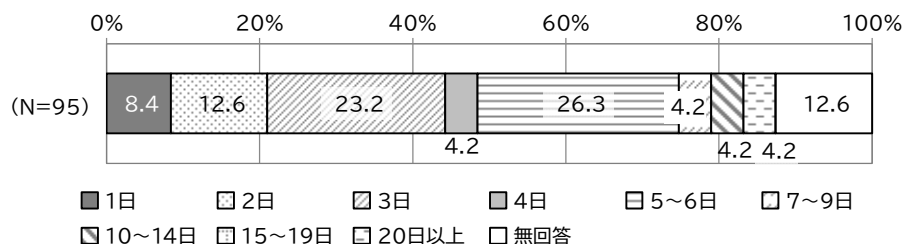
その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について（ ）内に数字でご記入ください。

「利用したいとは思わない」が 77.1%、「病児・病後児保育施設等を利用したい」が 22.9%となっている。



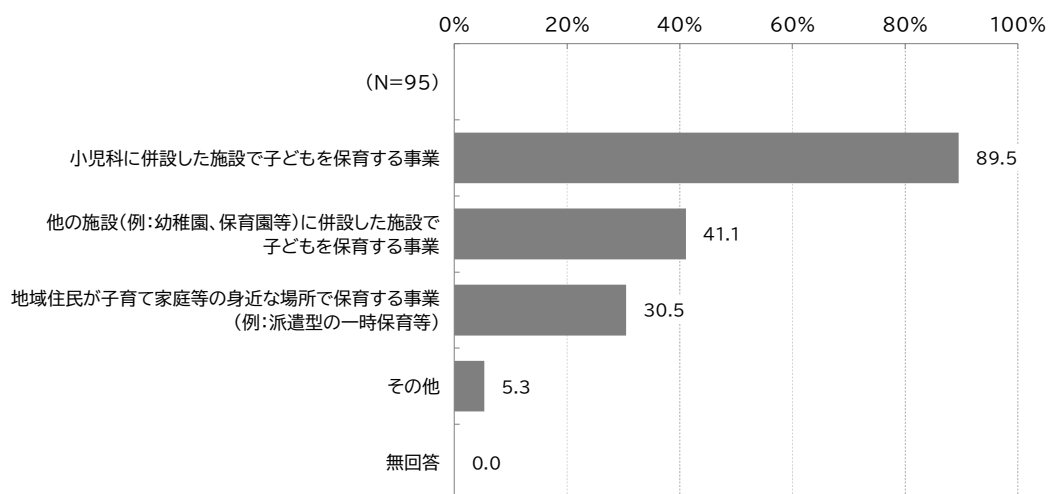
① 1年あたりの利用希望日数

「5～6日」が 26.3%と最も多く、次いで「3日」が 23.2%、「2日」が 12.6%となっている。



問 21-3 問 21-2 で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

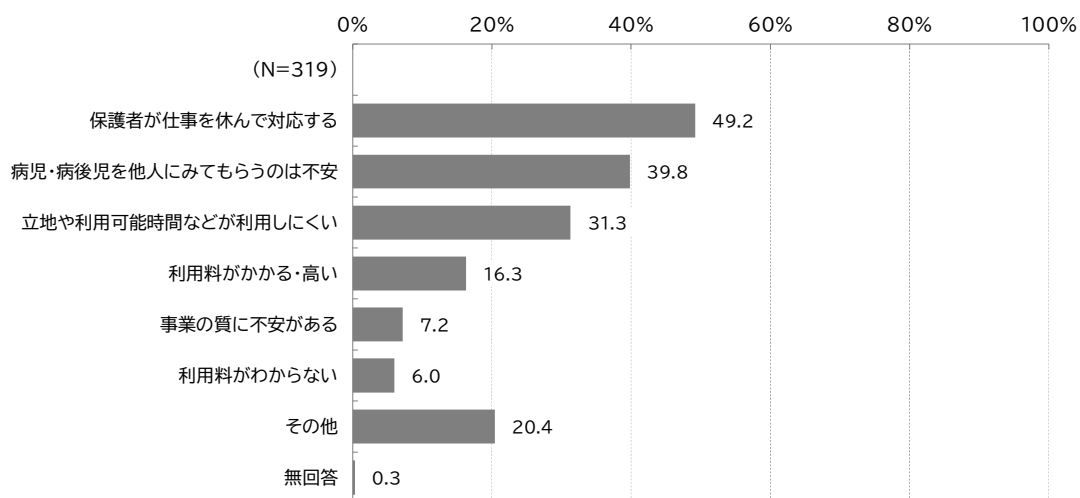
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 89.5%と最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 41.1%、「地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：派遣型の一時保育等）」が 30.5%となっている。



問 21-4 問 21-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

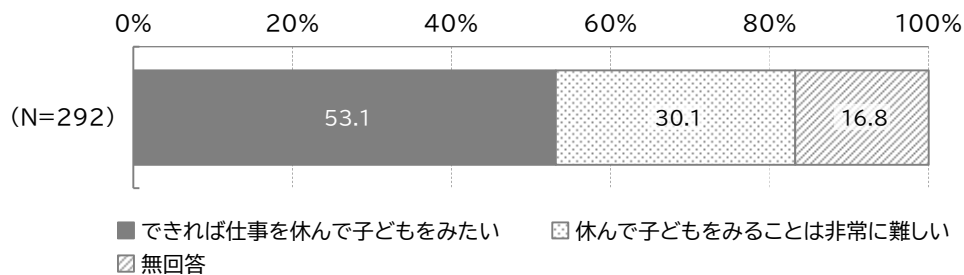
「保護者が仕事を休んで対応する」が49.2%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が39.8%、「立地や利用可能時間などが利用しにくい」が31.3%となっている。



問 21-5 問 21-1で「3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」～「8. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

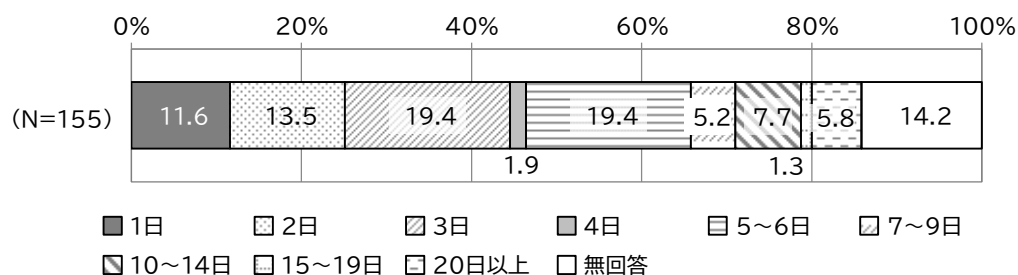
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について () 内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が53.1%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が30.1%となっている。



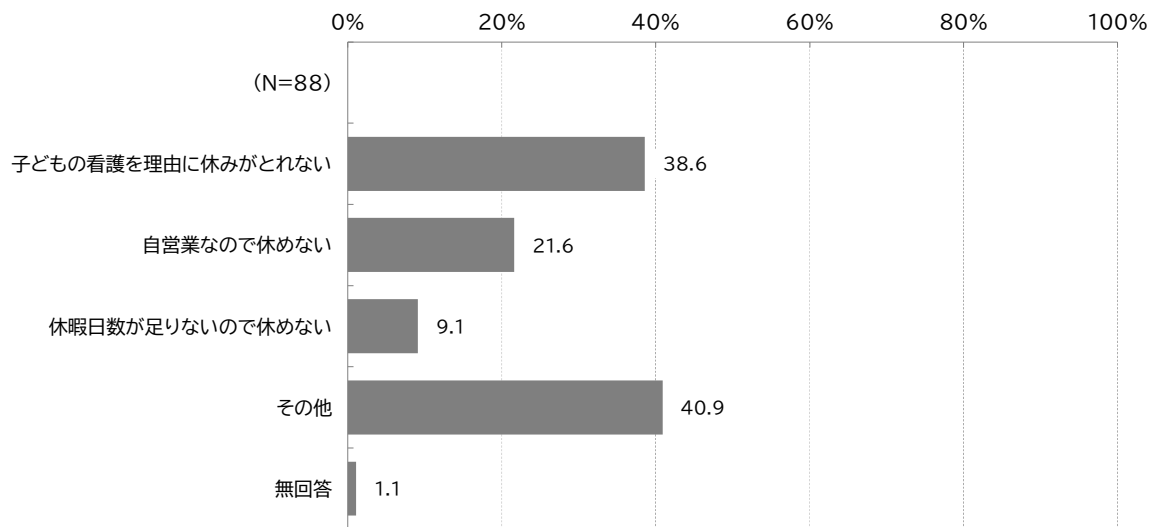
① 1年あたりの希望日数

「3日」「5～6日」がともに19.4%と最も多く、次いで「2日」が13.5%となっている。



問 21-6 問 21-5で「2.休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

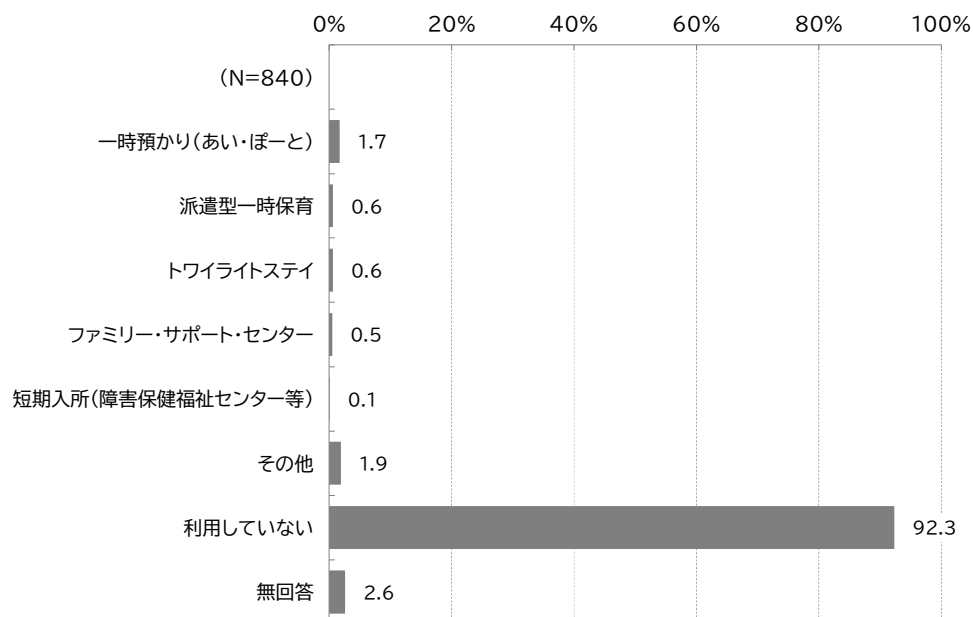
「その他」が40.9%と最も多く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」が38.6%、「自営業なので休めない」が21.6%となっている。



(6) 不定期に、または宿泊を伴って利用する事業について

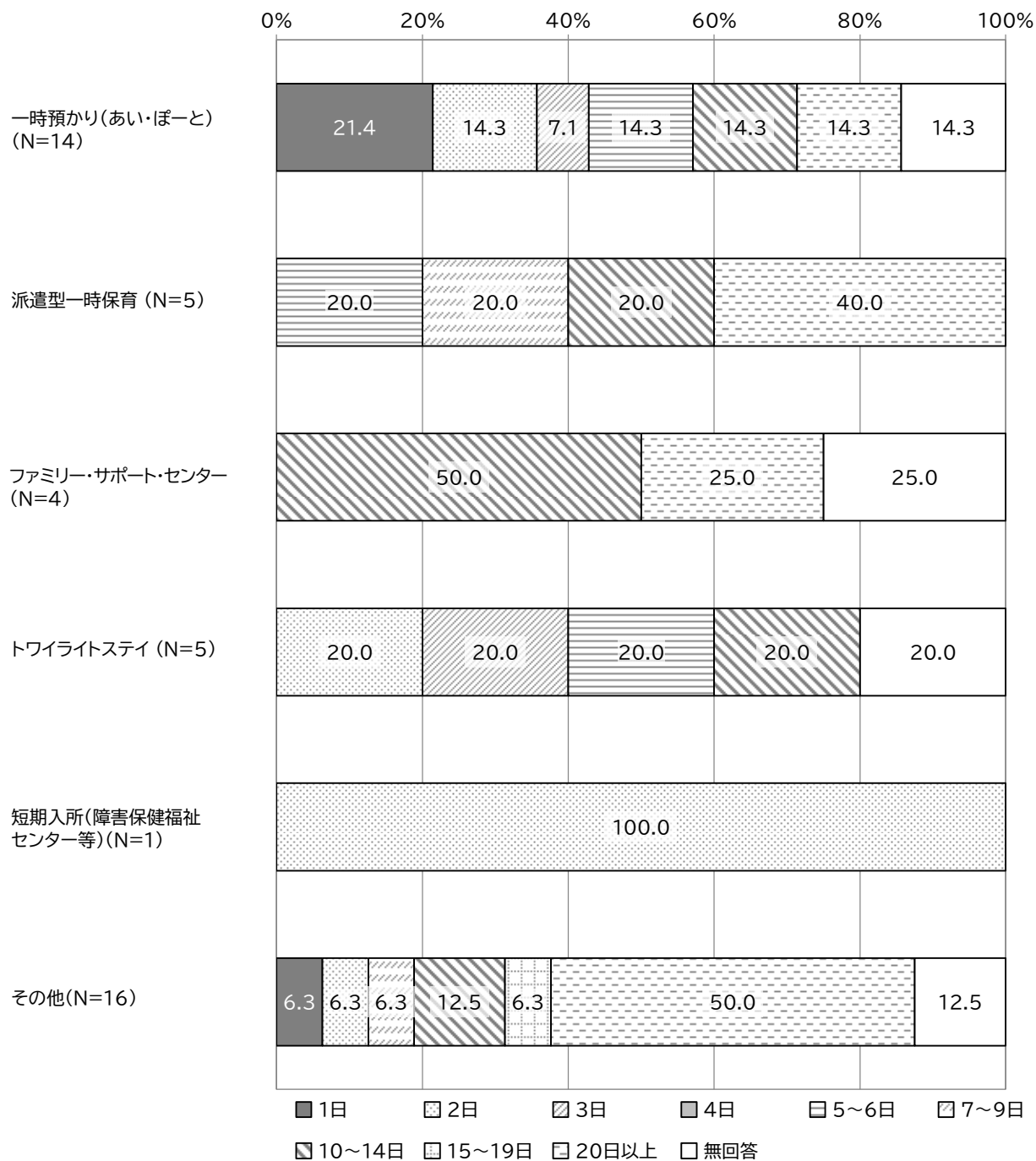
問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を()内に数字でご記入ください。

「利用していない」が92.3%と最も多く、次いで「その他」が1.9%、「一時預かり(あい・ぼーと)」が1.7%となっている。



① 1年あたりの利用日数

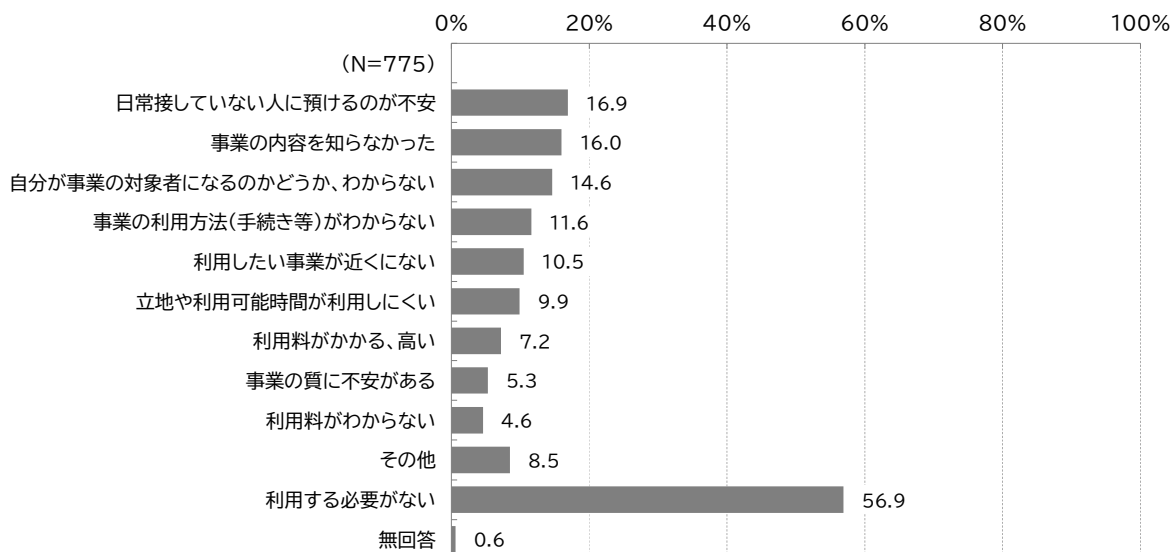
“一時預かり（あい・ぽーと）”は「1日」、「派遣型一時保育」は「20日以上」、「ファミリー・サポート・センター」は「10～14日」が最も多くなっている。“トワイライトステイ”は「2日」「3日」「5～6日」「10～14日」がともに1件、“短期入所（障害保健福祉センター等）”は「2日」が1件となっている。



問 22-1 問 22 で「7. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

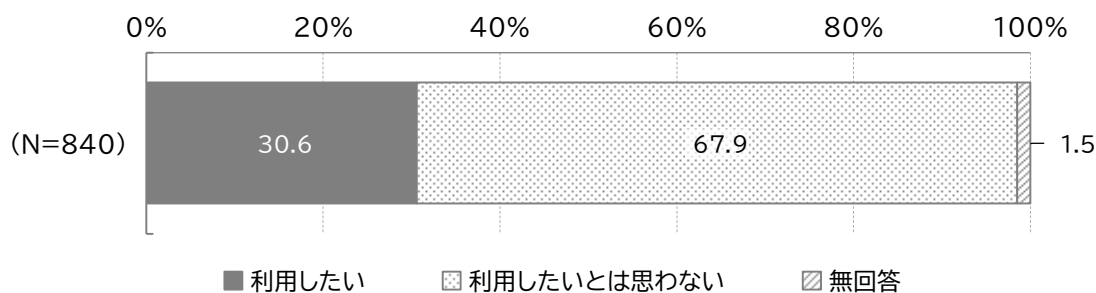
「利用する必要がない」が 56.9%と最も多く、次いで「日常接していない人に預けるのが不安」が 16.9%、「事業の内容を知らなかった」が 16.0%となっている。



問 23 宛名のお子さんに関して、私用（買物、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいですか。(あてはまる番号ひとつに○) また利用したい場合は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を () 内に数字でご記入ください。

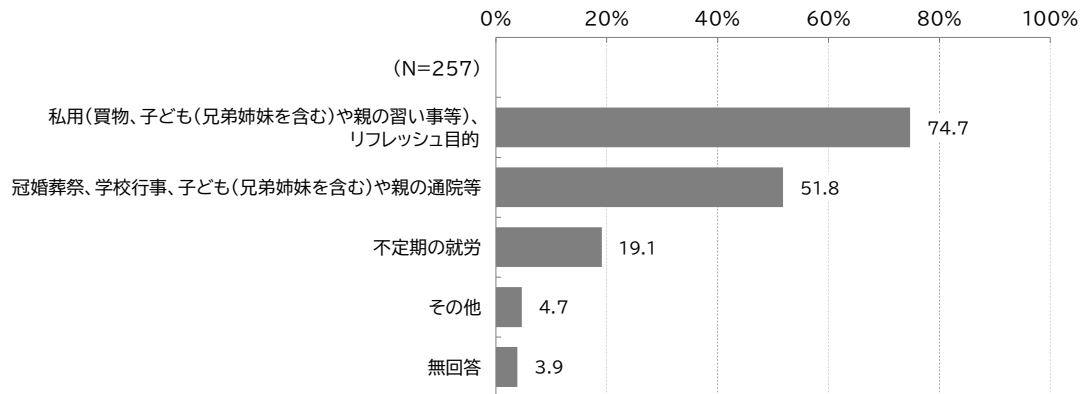
①利用希望

「利用したいとは思わない」が 67.9%、「利用したい」が 30.6%となっている。



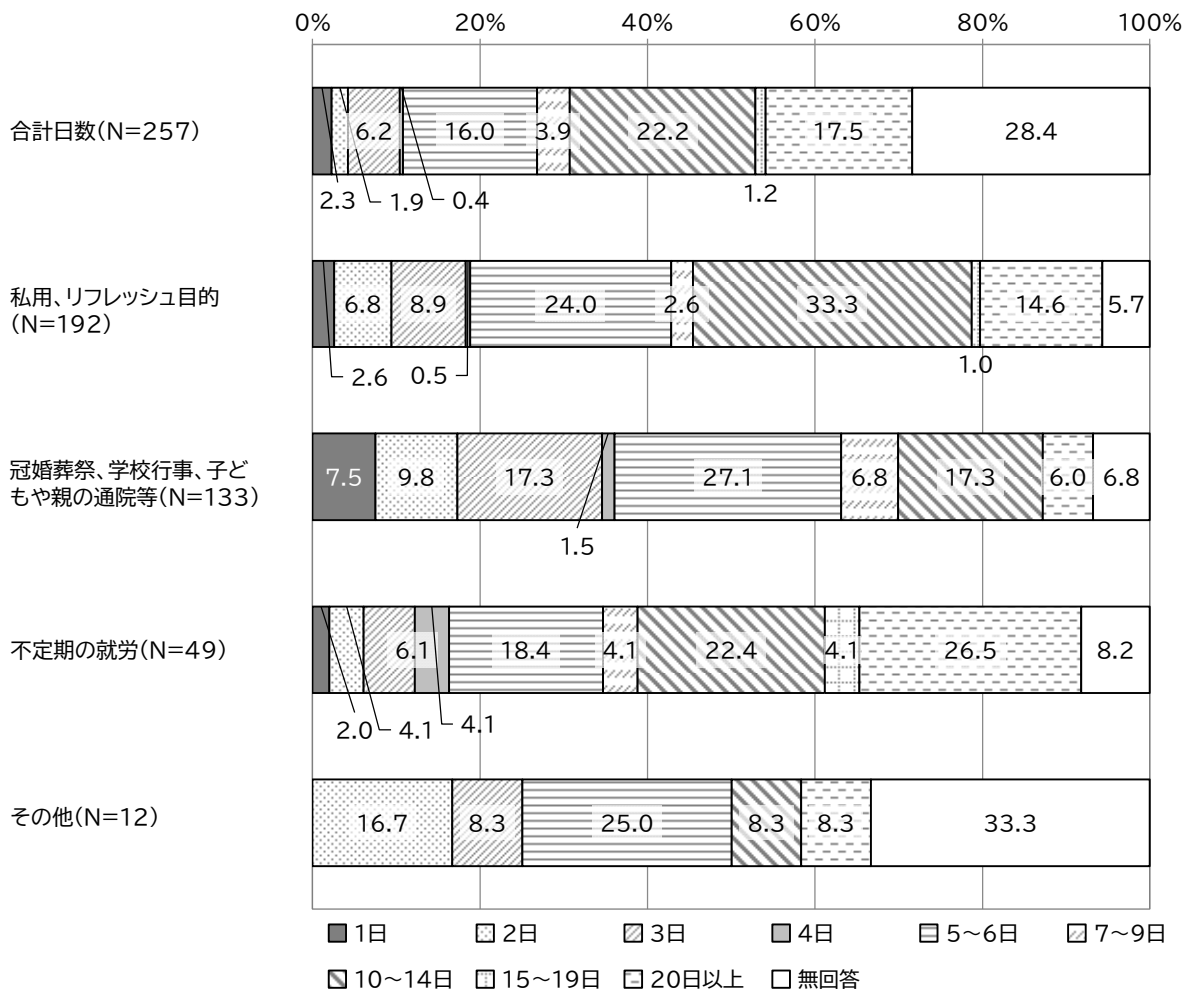
②利用目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が74.7%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が51.8%、「不定期の就労」が19.1%となっている。



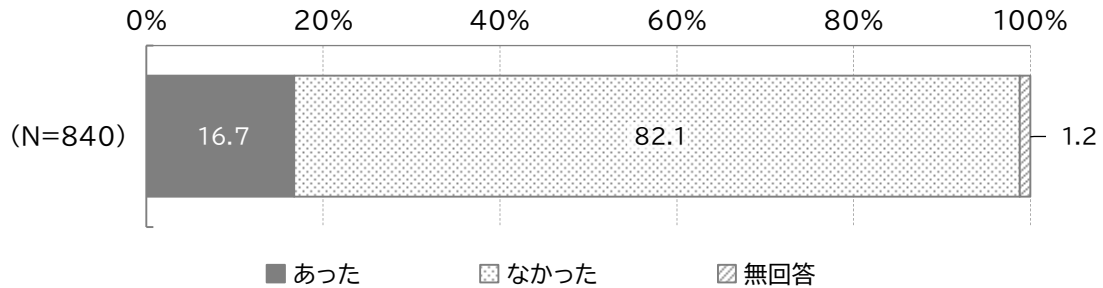
③1年あたりの利用希望日数

“私用、リフレッシュ目的”は「10～14日」、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は「5～6日」、「不定期の就労」は「20日以上」が最も多くなっている。



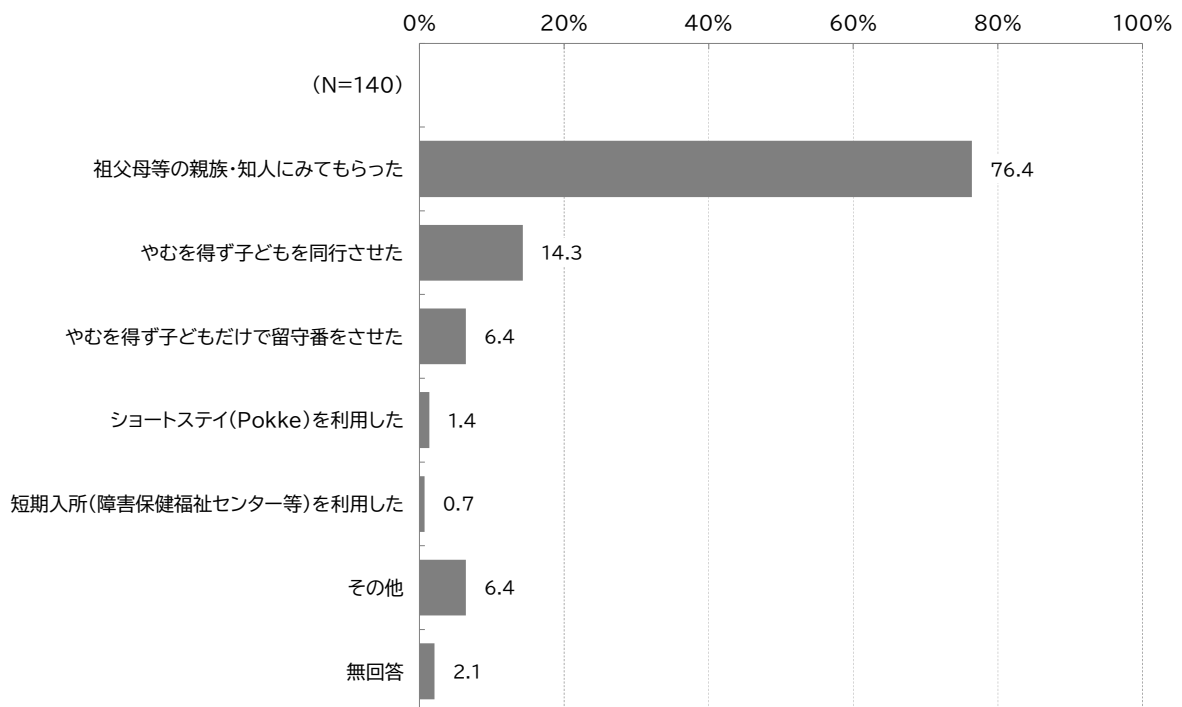
問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合を含みます。）（あてはまる番号ひとつに○）あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

「なかった」が82.1%、「あった」が16.7%となっている。



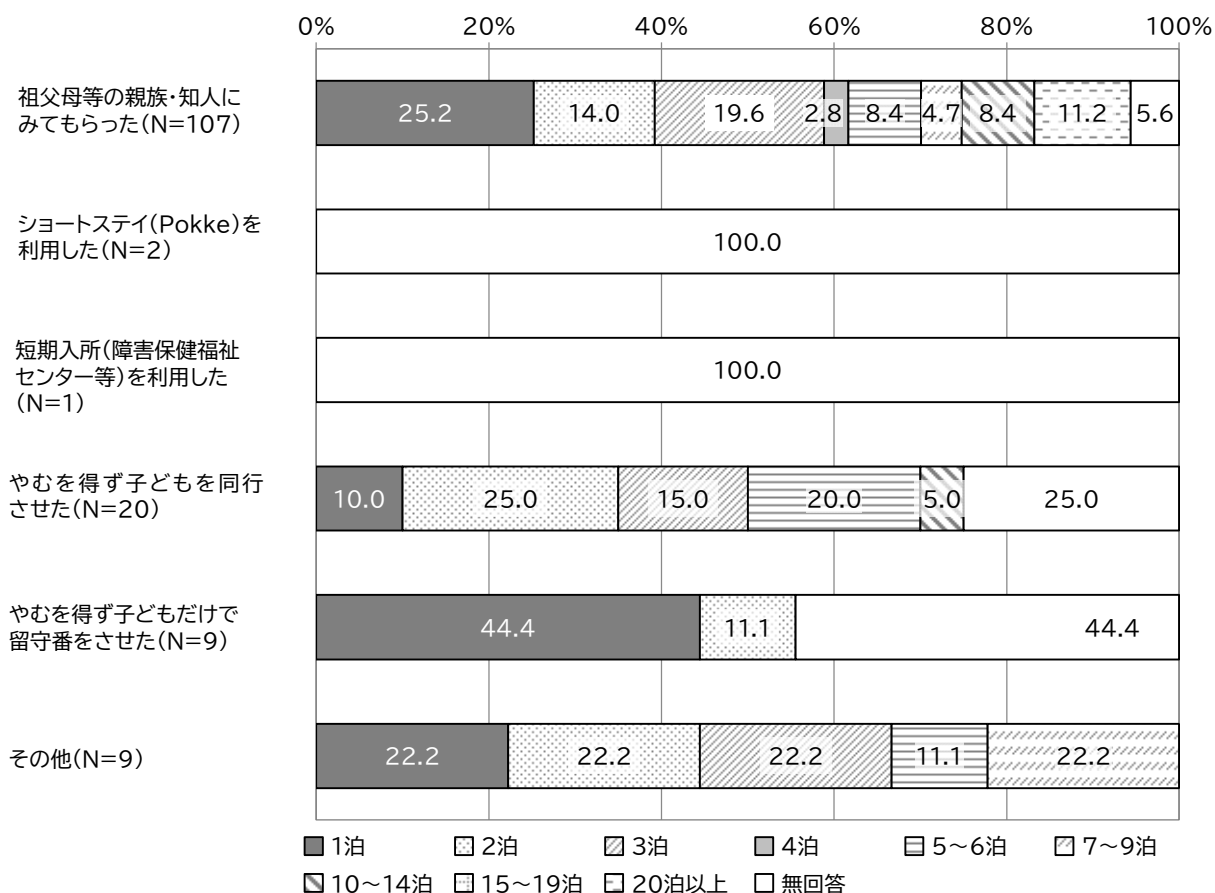
① 1年間の対処方法

「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が76.4%と最も多く、次いで「やむを得ず子どもを同行させた」が14.3%、「やむを得ず子どもだけで留守番をさせた」「その他」がともに6.4%となっている。



② 1年あたりの日数（泊）

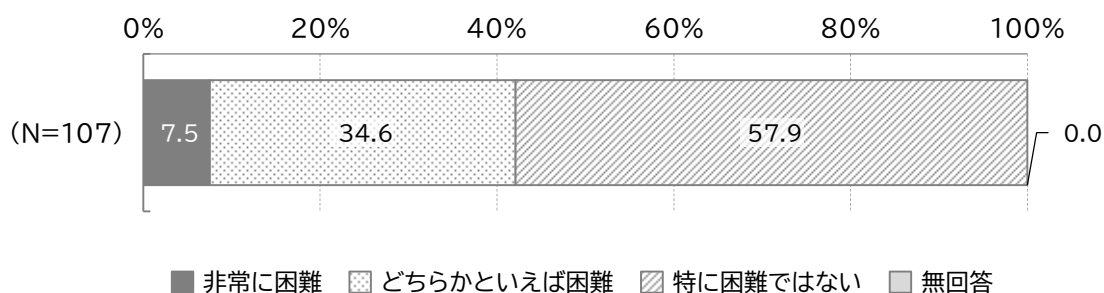
“祖父母等の親族・知人にみてもらった” “やむを得ず子どもだけで留守番をさせた” は「1泊」、
 “やむを得ず子どもを同行させた” は「2泊」が最も多くなっている。



問 24-1 問 24 で「1. あった ア. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族・知人にお願いすることは、どのくらいの困難度でしたか。(あてはまる番号ひとつに○)

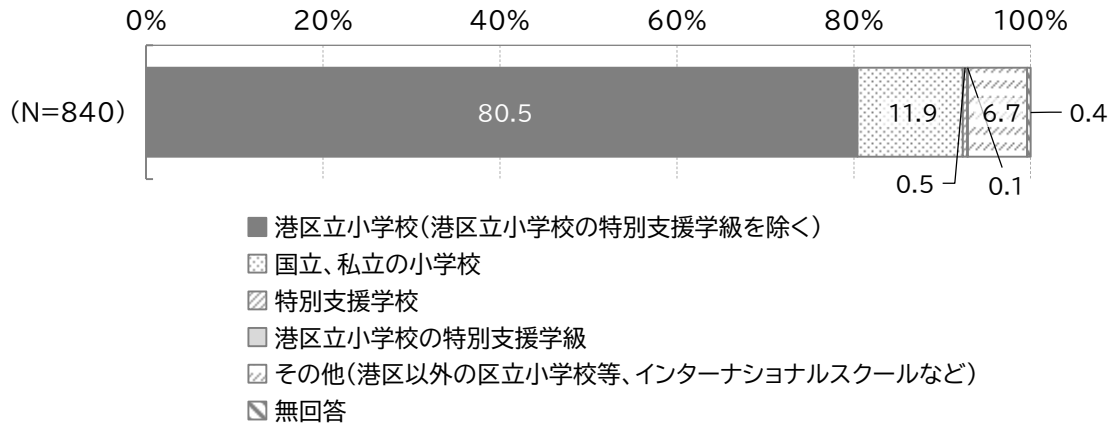
「特に困難ではない」が 57.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば困難」が 34.6%、「非常に困難」が 7.5%となっている。



(7) 小学校での放課後の過ごし方について

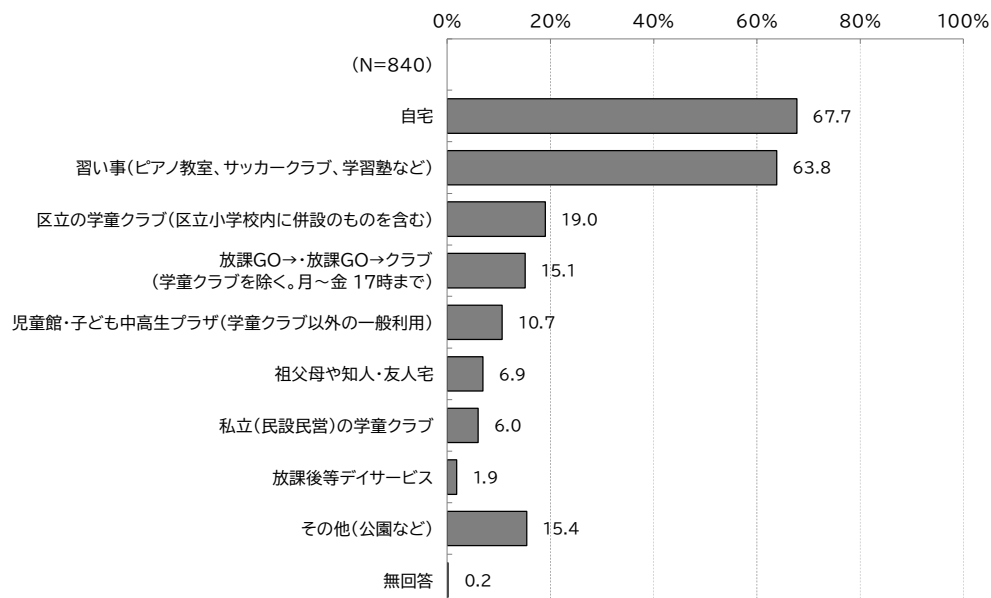
問 25 宛名のお子さんが通学している小学校はどれですか。(あてはまる番号ひとつに○) また、学校名を () 内にご記入ください。

「港区立小学校（港区立小学校の特別支援学級を除く）」が80.5%と最も多く、次いで「国立、私立の小学校」が11.9%、「その他（港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど）」が6.7%となっている。



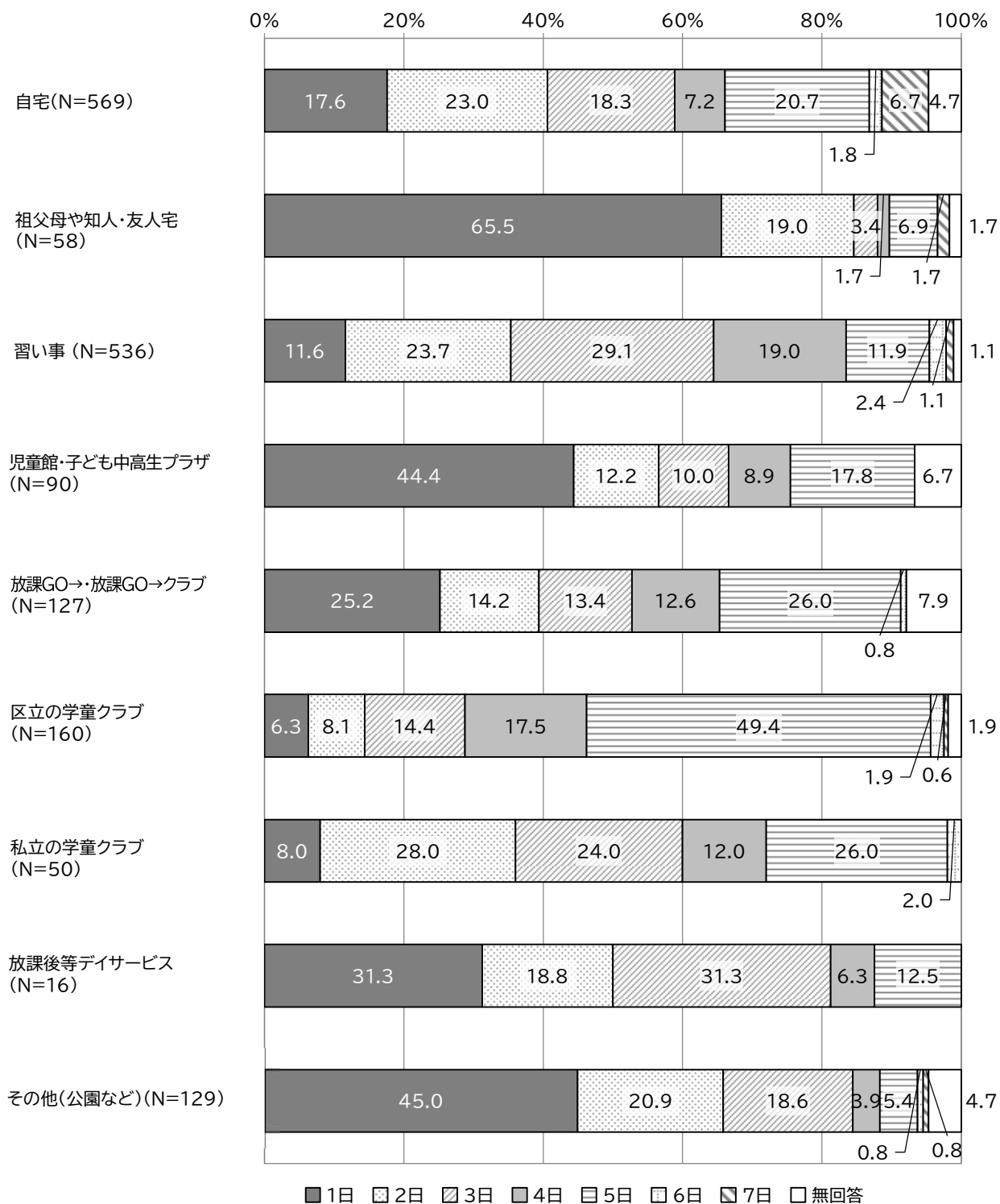
問 26 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「4.児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）」～「7.私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方は、施設名を () 内にご記入ください。また、○をつけたものについて、週あたりの日数を () 内に数字でご記入ください。

「自宅」が67.7%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が63.8%、「区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」が19.0%となっている。



① 1週あたりの日数

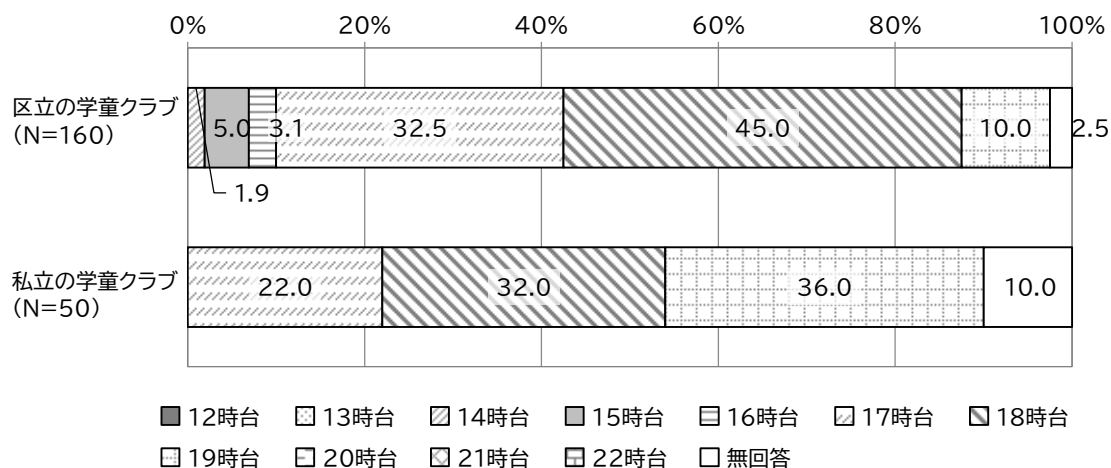
“自宅”“私立の学童クラブ”は「2日」、「祖父母や知人・友人宅」「児童館・子ども中高生プラザ」は「1日」、「習い事」は「3日」、「放課GO→・放課GO→クラブ」「区立の学童クラブ」は「5日」、「放課後等デイサービス」は「1日」「3日」が最も多くなっている。



②学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）の終了希望時刻

“区立の学童クラブ”は「18時台」が45.0%と最も多く、次いで「17時台」が32.5%、「19時台」が10.0%となっている。

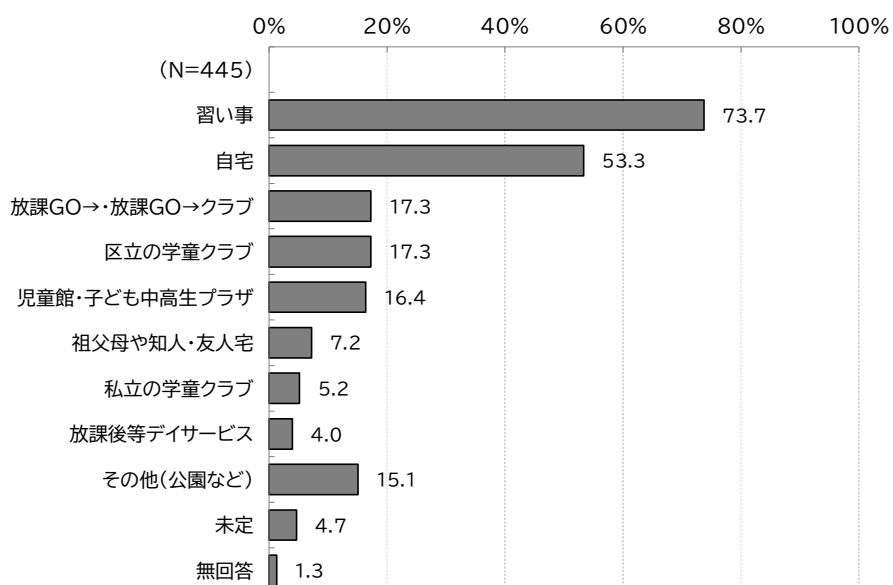
“私立の学童クラブ”は「19時台」が36.0%と最も多く、次いで「18時台」が32.0%、「17時台」が22.0%となっている。



問 27 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にうかがいます。

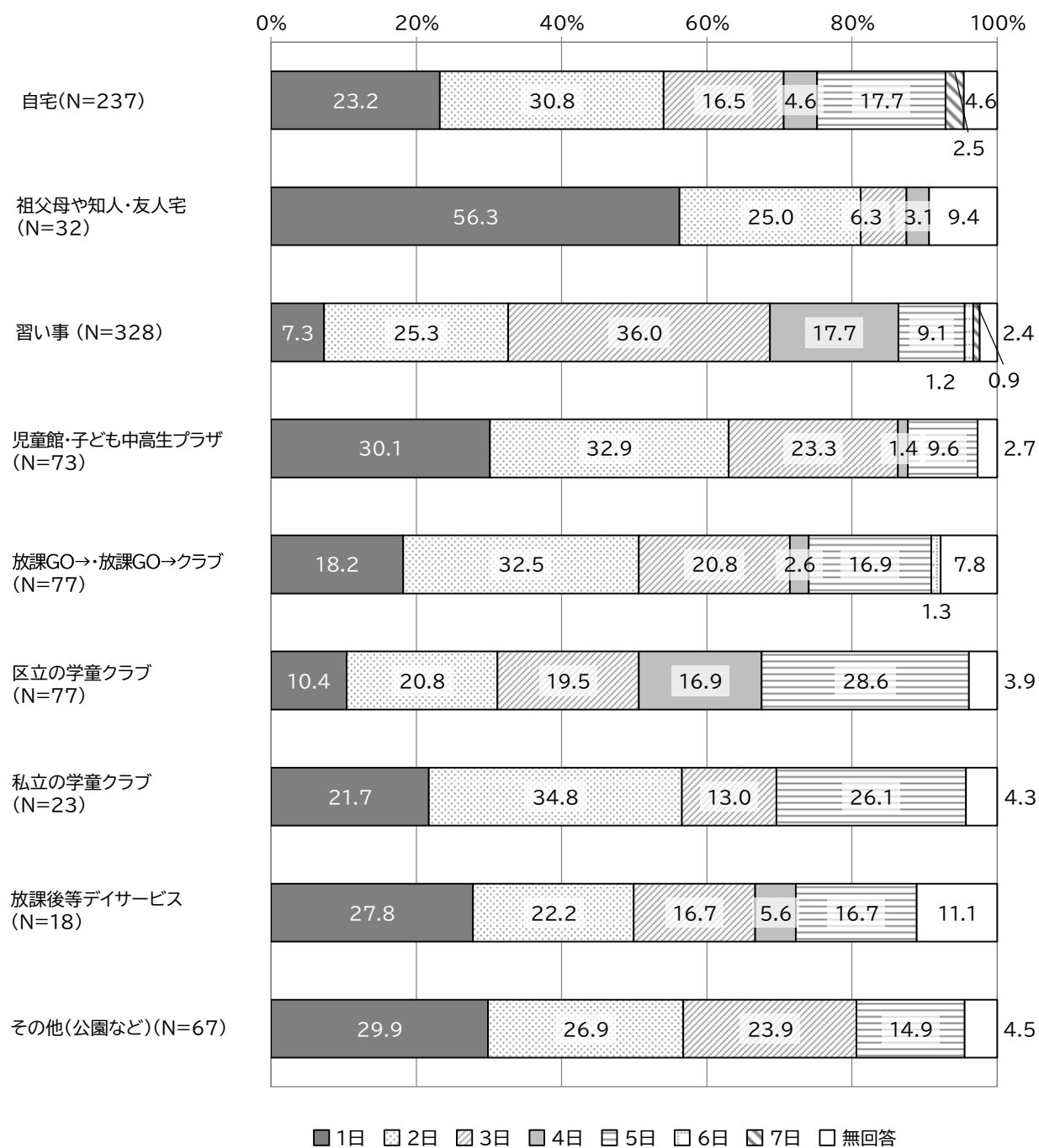
宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「4. 児童館・子ども中高生プラザ（学童クラブ以外の一般利用）」～「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。

「習い事」が73.7%と最も多く、次いで「自宅」が53.3%、「放課GO→・放課GO→クラブ」「区立の学童クラブ」がともに17.3%となっている。



① 1週あたりの日数

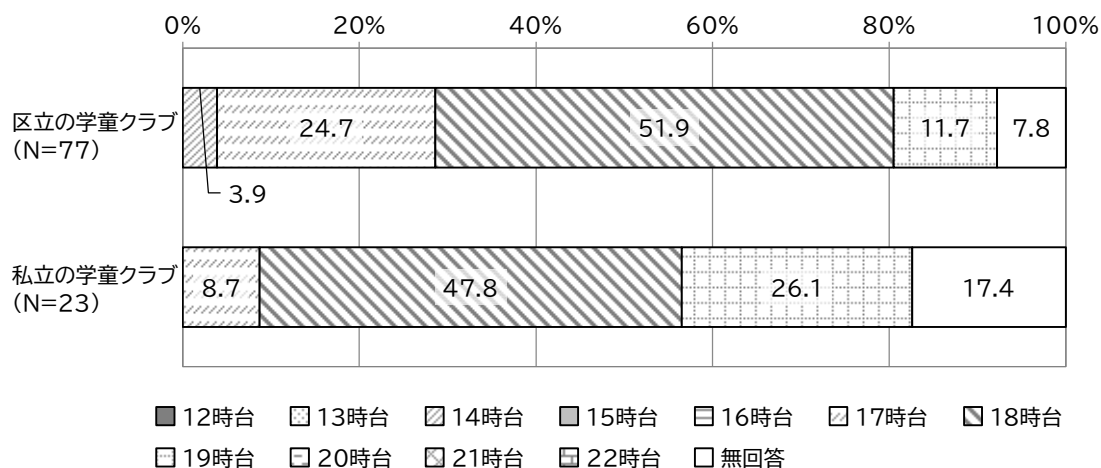
“自宅”“児童館・子ども中高生プラザ”“放課GO→・放課GO→クラブ”“私立の学童クラブ”は「2日」、 “祖父母や知人・友人宅” “放課後等デイサービス” は「1日」、 “習い事” は「3日」、 “区立の学童クラブ” は「5日」が最も多くなっている。



②学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）の終了希望時刻

“区立の学童クラブ”は「18時台」が51.9%と最も多く、次いで「17時台」が24.7%、「19時台」が11.7%となっている。

“私立の学童クラブ”は「18時台」が47.8%と最も多く、次いで「19時台」が26.1%、「17時台」が8.7%となっている。



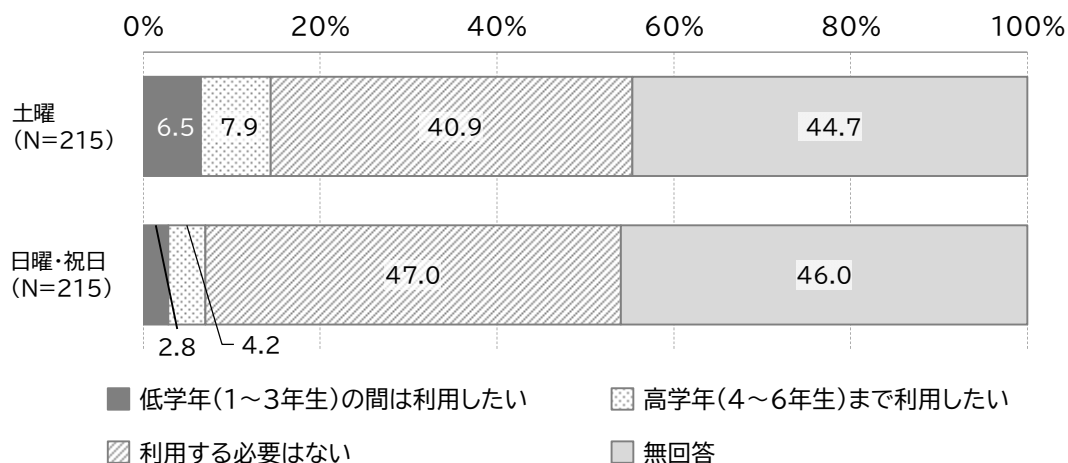
問28 問26、問27で、「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜、日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。（時間は24時間制でお答えください）

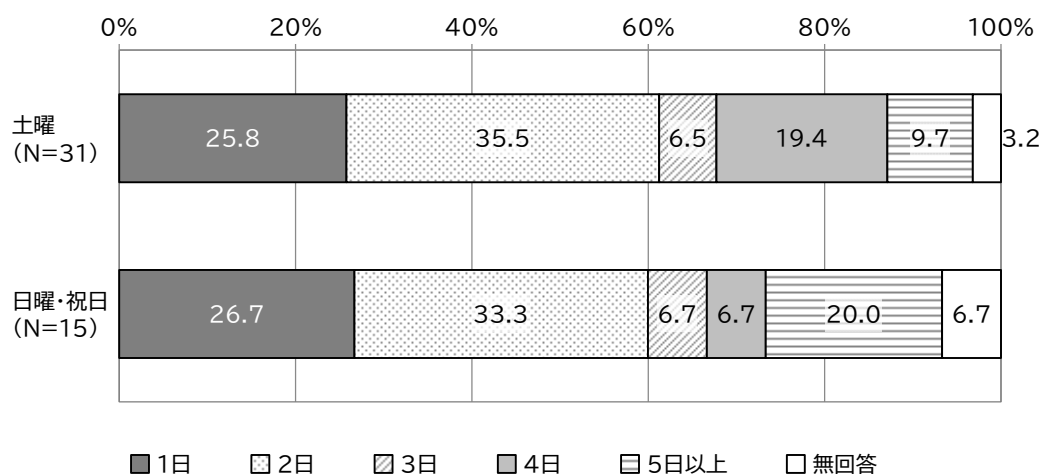
土曜は「利用する必要はない」が40.9%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）まで利用したい」が7.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.5%となっている。

日曜・祝日は「利用する必要はない」が47.0%と最も多く、次いで「高学年（4～6年生）まで利用したい」が4.2%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が2.8%となっている。



① 1か月あたりの利用希望日数

土曜は「2日」が35.5%と最も多く、次いで「1日」が25.8%、「4日」が19.4%となっている。
 日曜・祝日は「2日」が33.3%と最も多く、次いで「1日」が26.7%、「5日以上」が20.0%となっている。

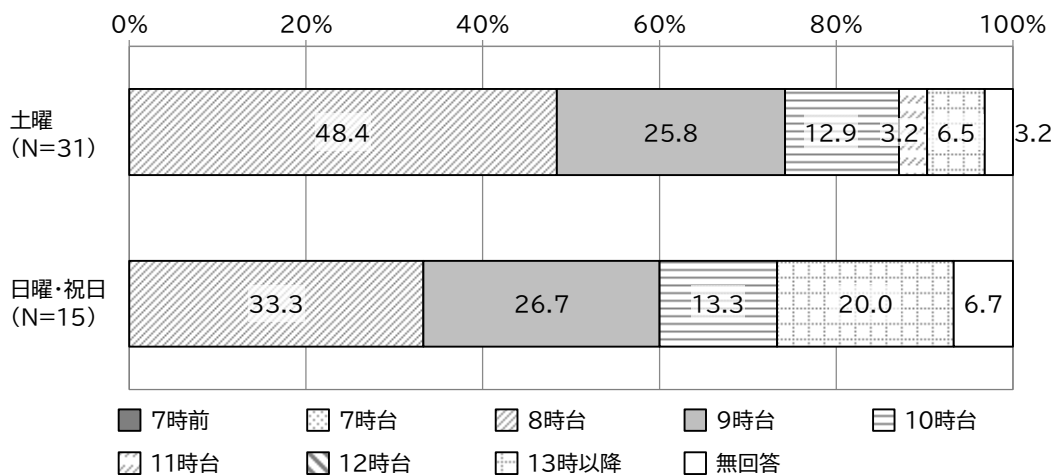


② 利用したい時間帯

ア 開始時刻

土曜は「8時台」が48.4%と最も多く、次いで「9時台」が25.8%、「10時台」が12.9%となっている。

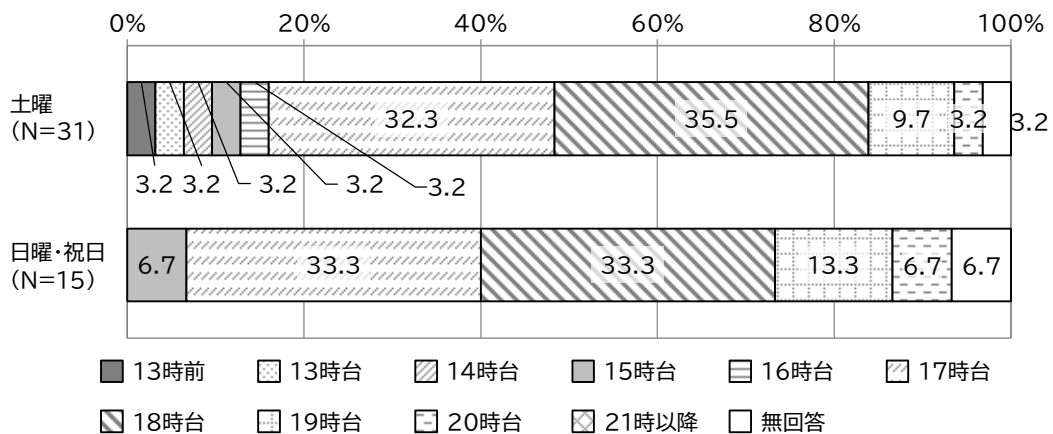
日曜・祝日は「8時台」が33.3%と最も多く、次いで「9時台」が26.7%、「13時以降」が20.0%となっている。



イ 終了時刻

土曜は「18時台」が35.5%と最も多く、次いで「17時台」が32.3%、「19時台」が9.7%となっている。

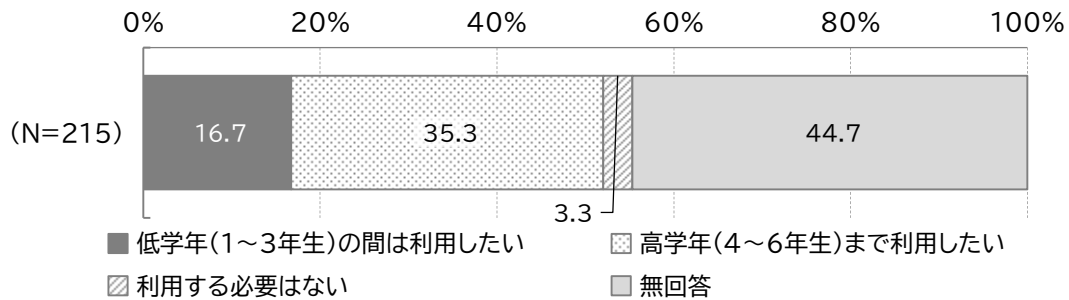
日曜・祝日は「17時台」「18時台」がともに33.3%と最も多く、次いで「19時台」が13.3%となっている。



問29 問26、問27で、「6. 区立の学童クラブ（区立小学校内に併設のものを含む）」「7. 私立（民設民営）の学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

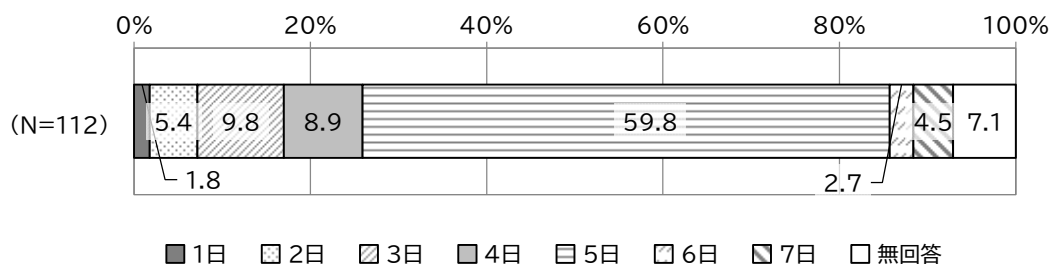
宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を（ ）内に数字でご記入ください。（時間は24時間制でお答えください）

「高学年（4～6年生）まで利用したい」が35.3%と最も多く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が16.7%、「利用する必要はない」が3.3%となっている。



① 1週あたりの利用希望日数

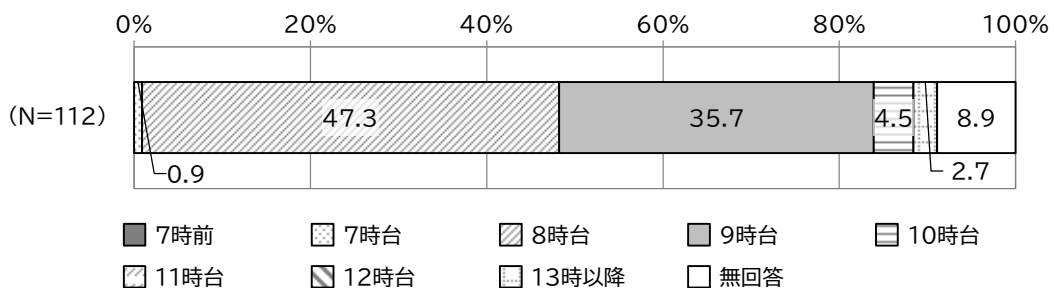
「5日」が59.8%と最も多く、次いで「3日」が9.8%、「4日」が8.9%となっている。



② 利用したい時間帯

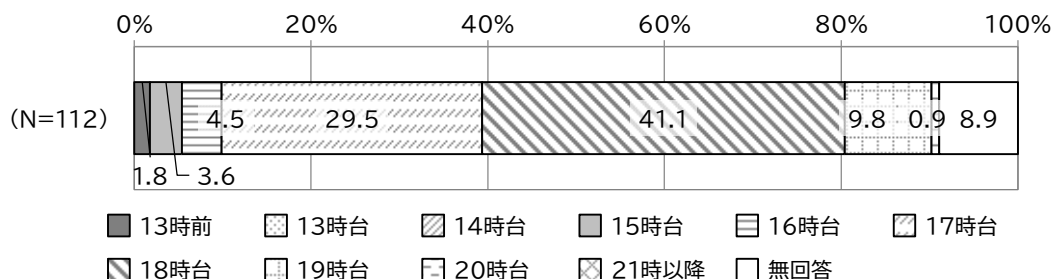
ア 開始時刻

「8時台」が47.3%と最も多く、次いで「9時台」が35.7%、「10時台」が4.5%となっている。



イ 終了時刻

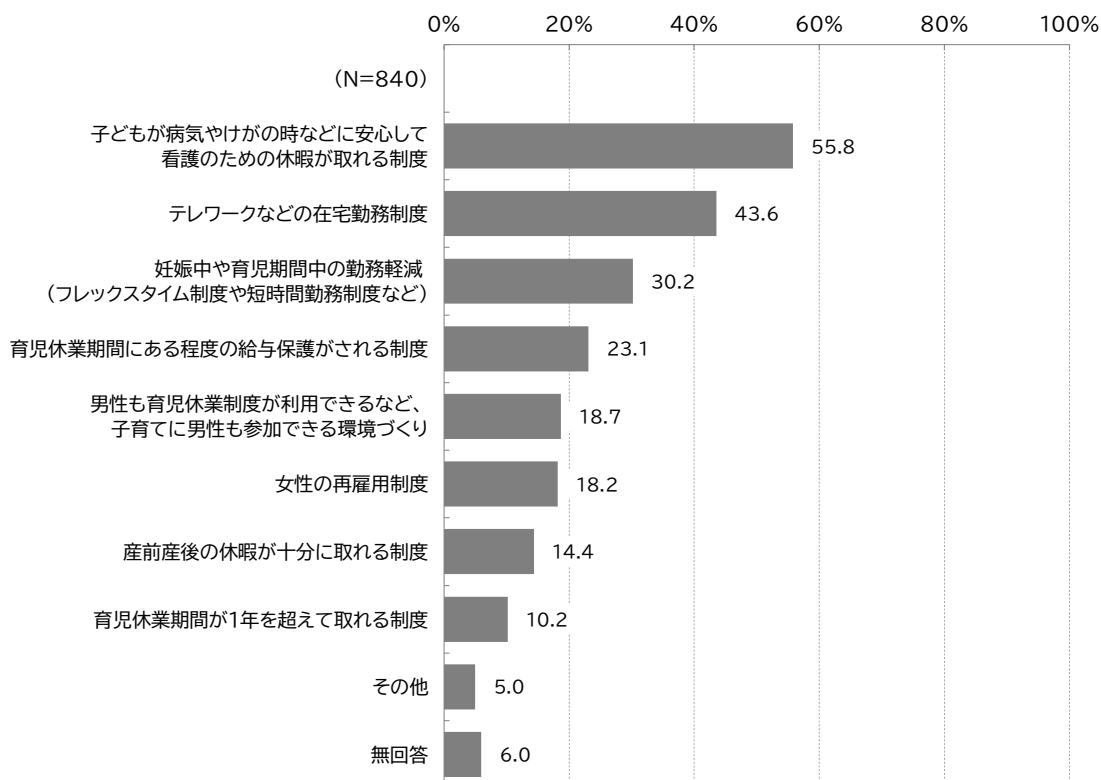
「18時台」が41.1%と最も多く、次いで「17時台」が29.5%、「19時台」が9.8%となっている。



(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30 子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。(あてはまる番号3つまで○)

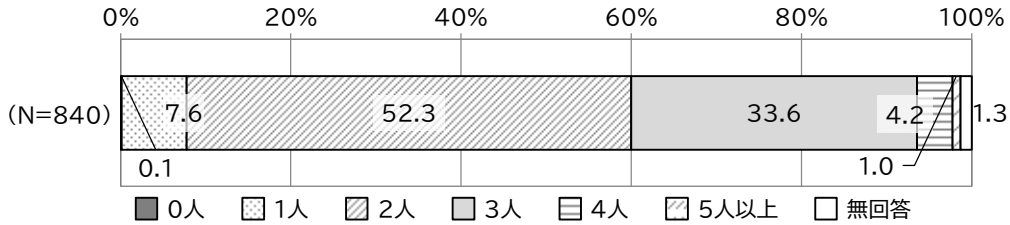
「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇が取れる制度」が55.8%と最も多く、次いで「テレワークなどの在宅勤務制度」が43.6%、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減（フレックスタイム制度や短時間勤務制度など）」が30.2%となっている。



(9) 子育ての環境や支援全般について

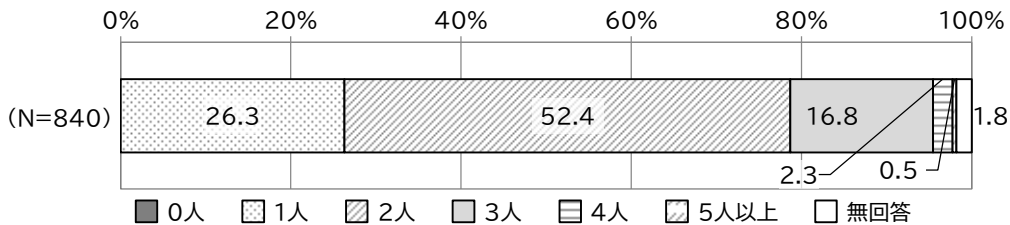
問 31 あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

「2人」が52.3%と最も多く、次いで「3人」が33.6%、「1人」が7.6%となっている。平均の理想的な子どもの数は2.4人となっている。



問 31-1 現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

「2人」が52.4%と最も多く、次いで「1人」が26.3%、「3人」が16.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は2.0人となっている。

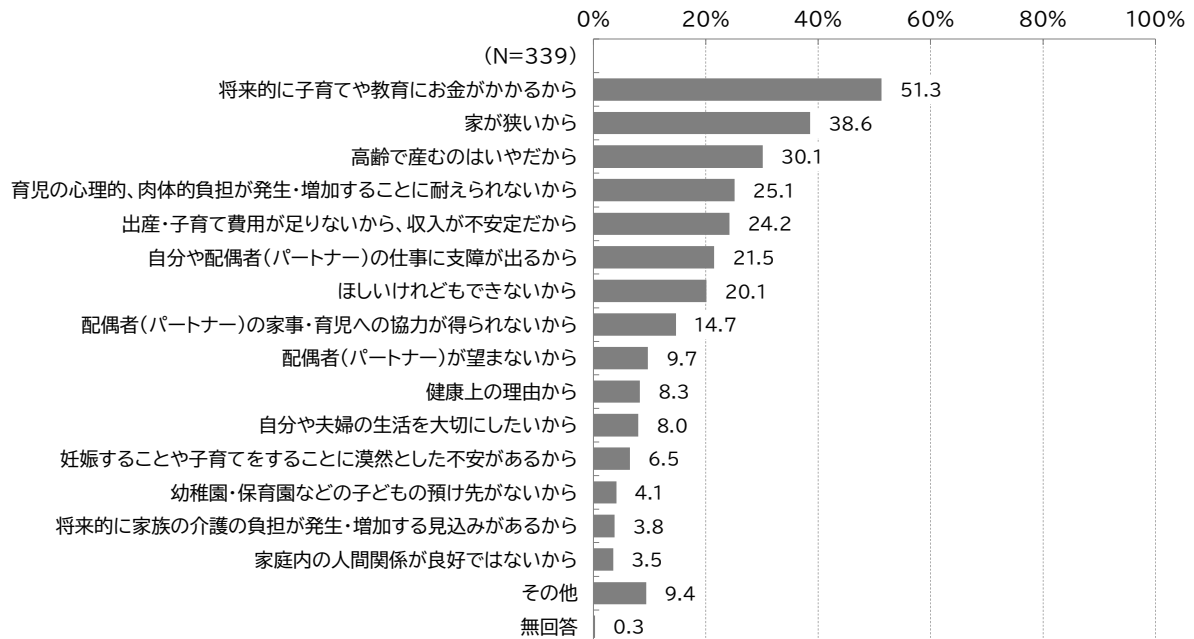


問 31-2 問 31-1 の実際に持つつもりの子どもの数が、問 31 の理想的な子どもの数より少ない方に
うかがいます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。(あてはまる
番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎)

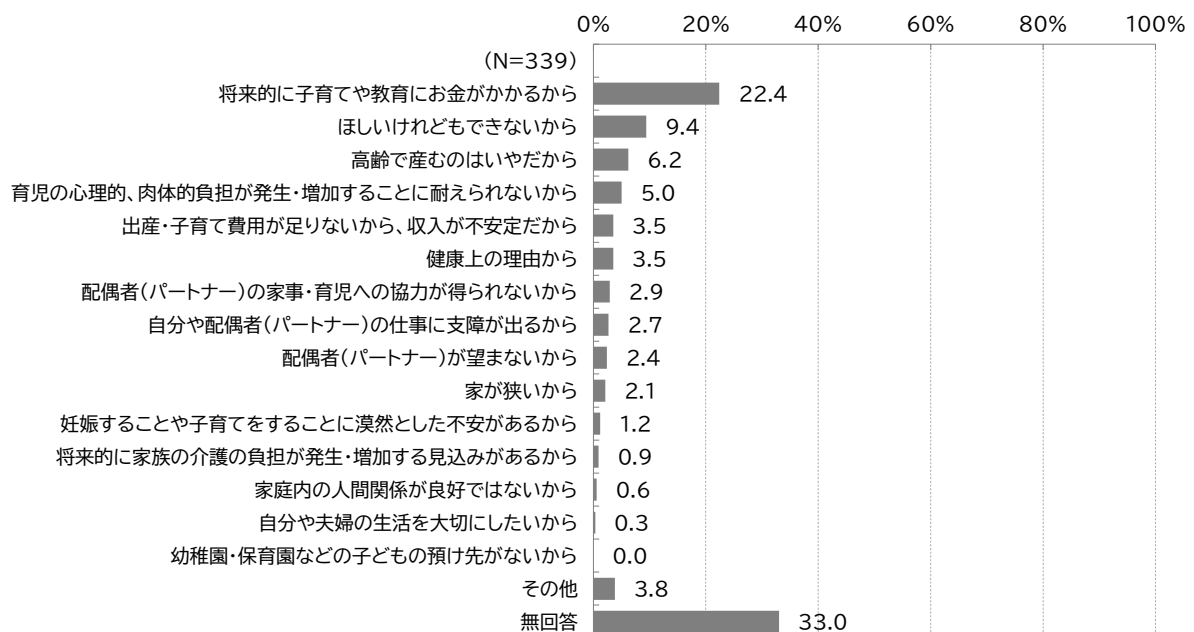
①理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 51.3%と最も多く、次いで「家が狭いから」が
38.6%、「高齢で産むのはいやだから」が 30.1%となっている。



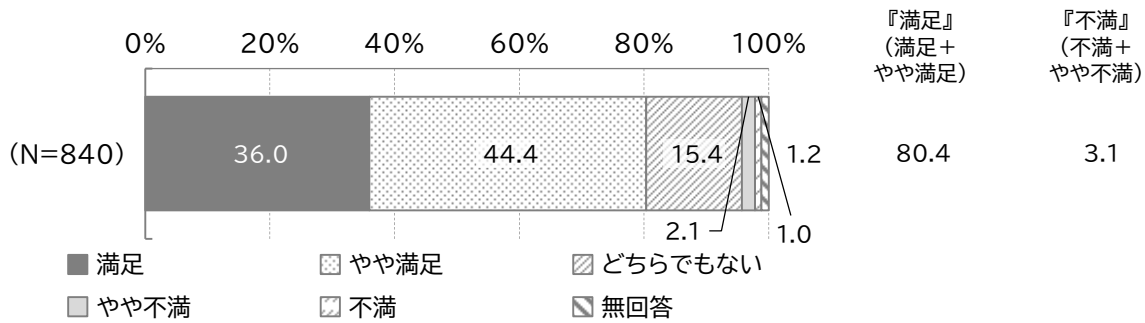
②最も重要な理由

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 22.4%と最も多く、次いで「ほしいけれどもでき
ないから」が 9.4%、「高齢で産むのはいやだから」が 6.2%となっている。



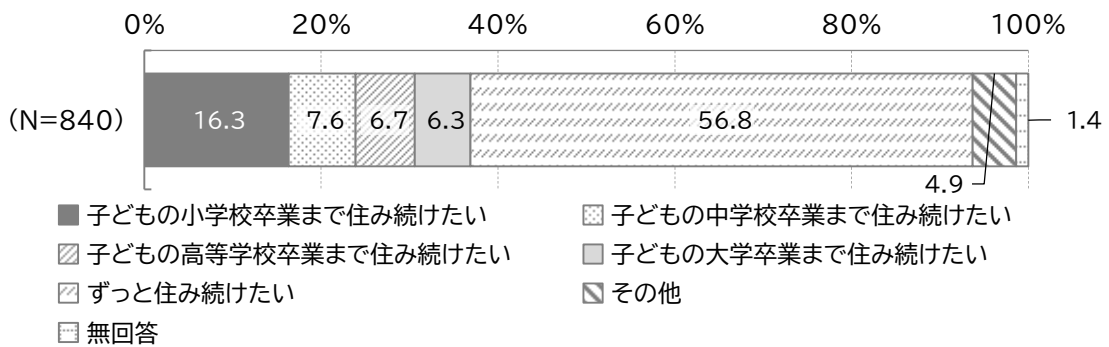
問 32 港区の子育て環境への満足度についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が80.4%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が3.1%となっている。



問 33 これからも港区に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

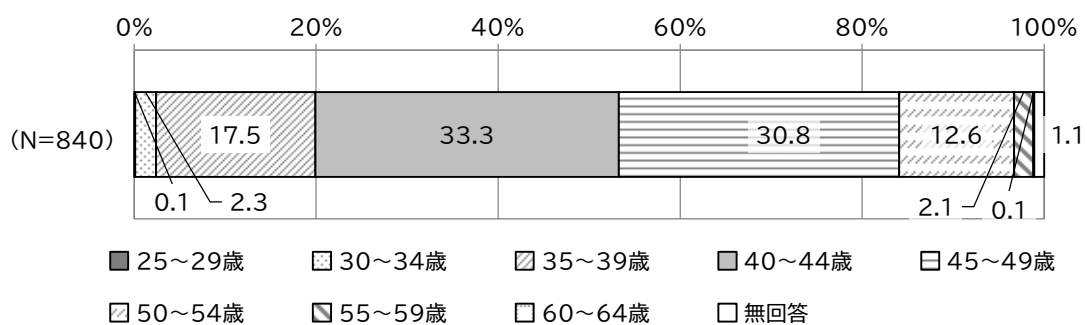
「ずっと住み続けたい」が56.8%と最も多く、次いで「子どもの小学校卒業まで住み続けたい」が16.3%、「子どもの中学校卒業まで住み続けたい」が7.6%となっている。



(10) 保護者の状況について

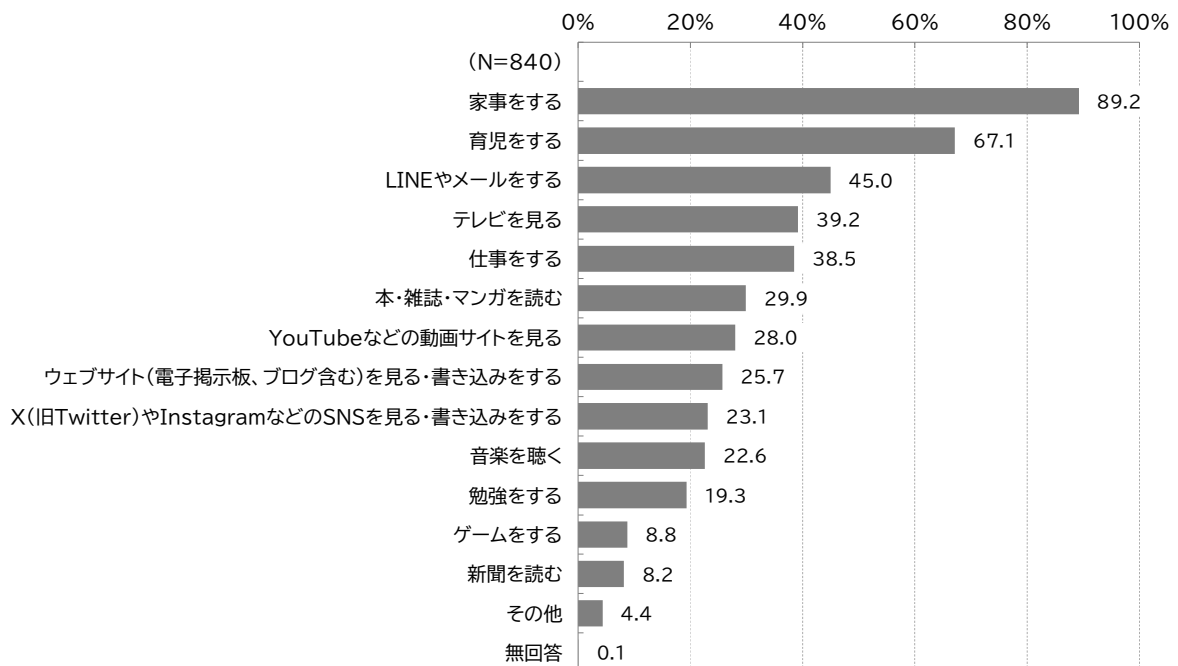
問 34 あなたの年齢を () 内に数字でご記入ください。(令和5年4月1日現在)

「40～44歳」が33.3%と最も多く、次いで「45～49歳」が30.8%、「35～39歳」が17.5%となっている。



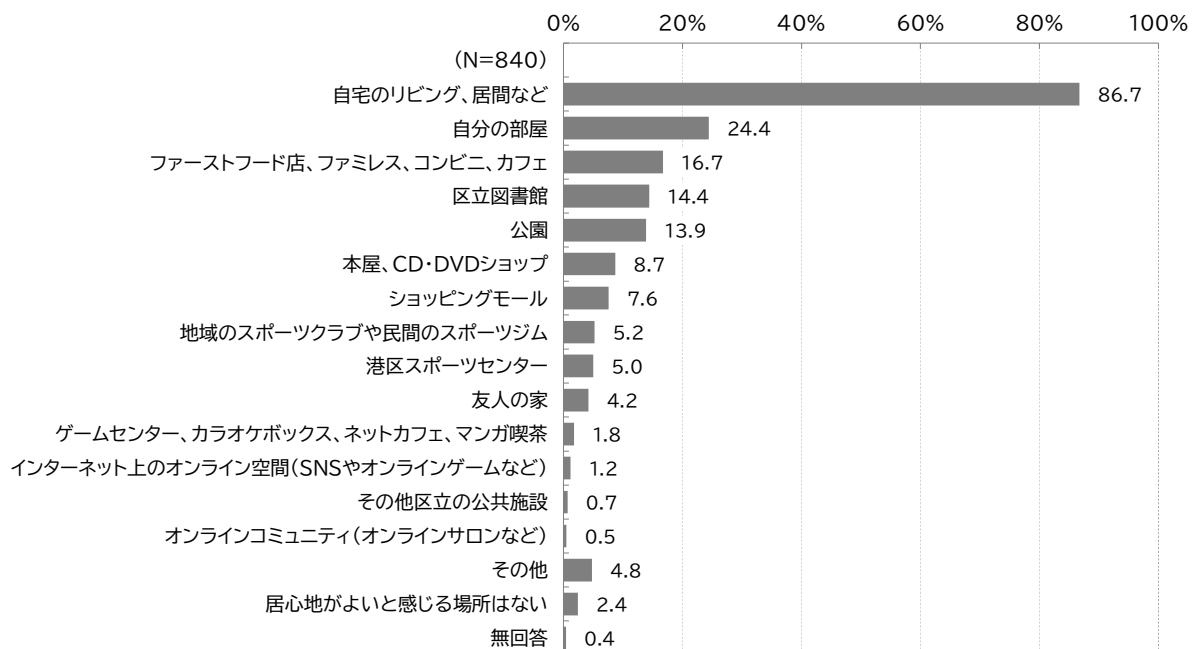
問35 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「家事をする」が89.2%と最も多く、次いで「育児をする」が67.1%、「LINEやメールをする」が45.0%となっている。



問36 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

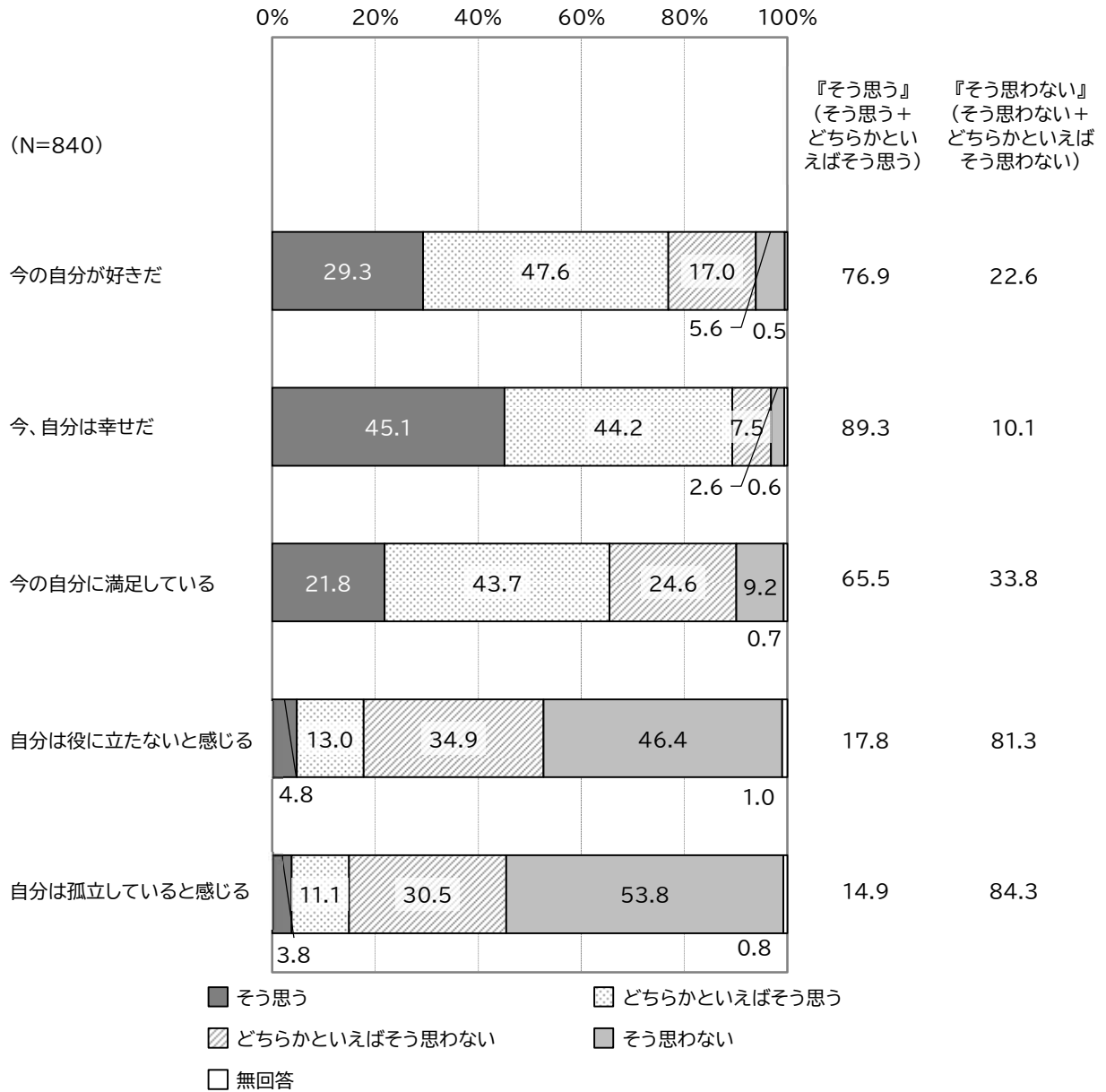
「自宅のリビング、居間など」が86.7%と最も多く、次いで「自分の部屋」が24.4%、「ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ」が16.7%となっている。



問37 次の項目について、あなたはどのように感じますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

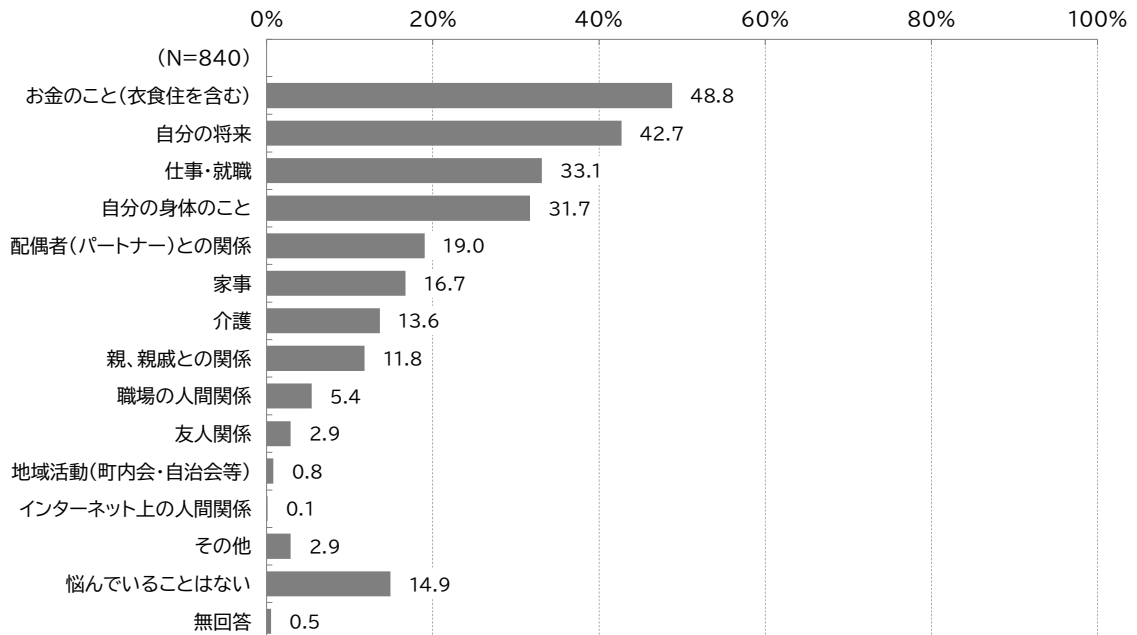
“今の自分が好きだ” “今、自分は幸せだ” “今の自分に満足している” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ76.9%、89.3%、65.5%となっている。

“自分は役に立たないと感じる” “自分は孤立していると感じる” において、『そう思う』がそれぞれ17.8%、14.9%となっている。



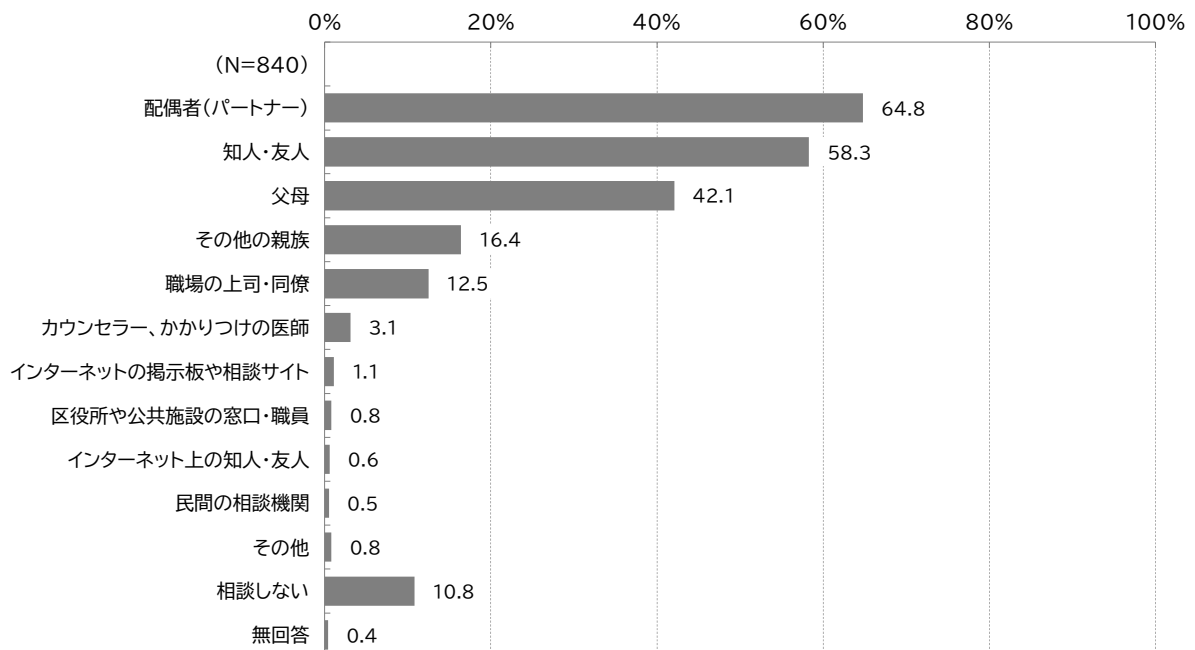
問 38 あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「お金のこと(衣食住を含む)」が48.8%と最も多く、次いで「自分の将来」が42.7%、「仕事・就職」が33.1%となっている。



問 39 あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰(どこ)に相談しますか。(あてはまる番号すべてに○)

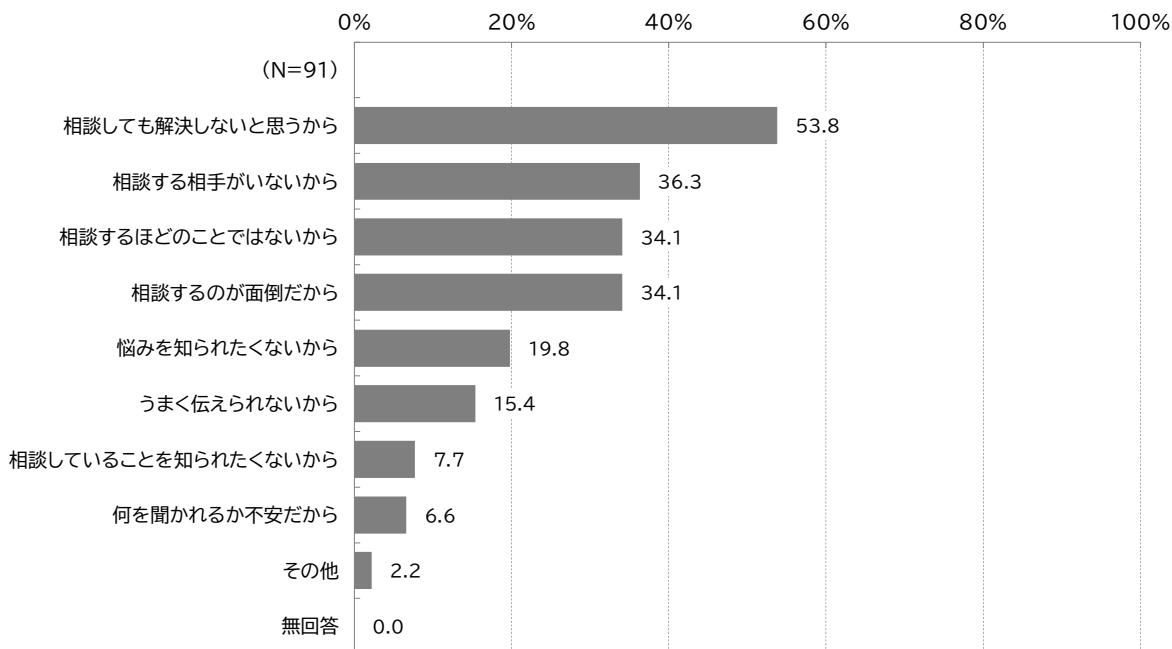
「配偶者(パートナー)」が64.8%と最も多く、次いで「知人・友人」が58.3%、「父母」が42.1%となっている。



問 39-1 問 39 で「12. 相談しない」に○をつけた方にうかがいます。

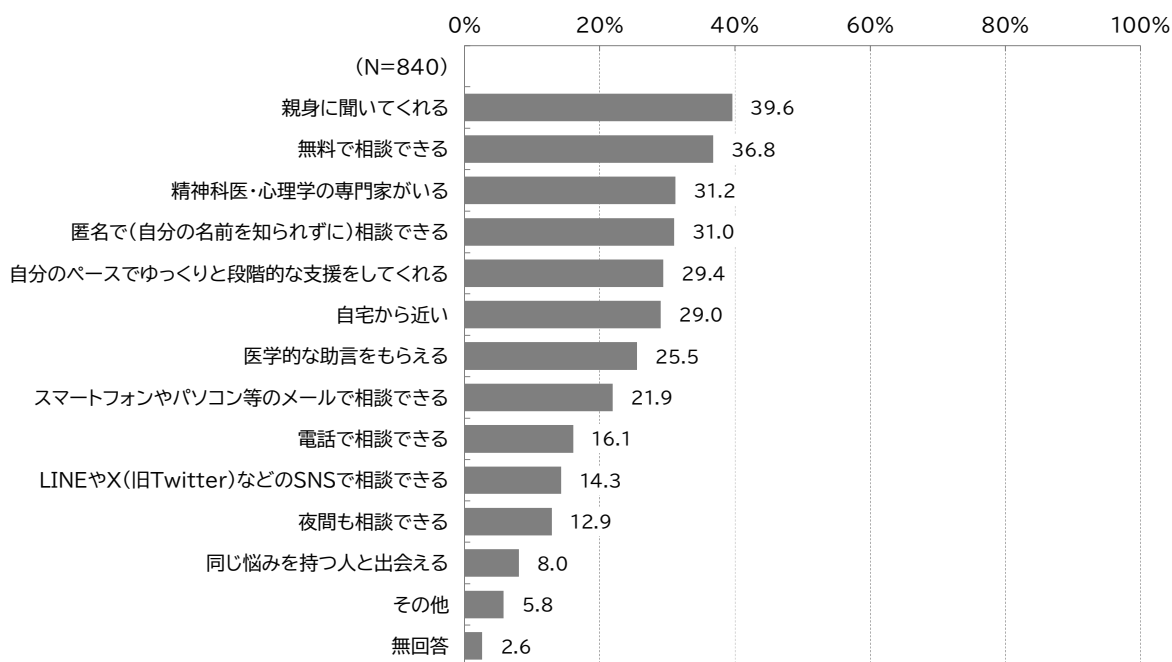
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「相談しても解決しないと思うから」が 53.8%と最も多く、次いで「相談する相手がないから」が 36.3%、「相談するほどのことではないから」「相談するのが面倒だから」がともに 34.1%となっている。



問 40 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。(あてはまる番号すべてに○)

「親身に聞いてくれる」が 39.6%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が 36.8%、「精神科医・心理学の専門家がいる」が 31.2%となっている。

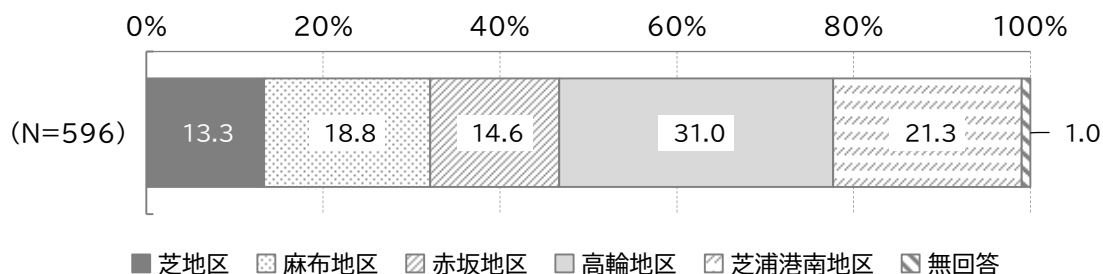


3. 中学生

(1) 居住地区について

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

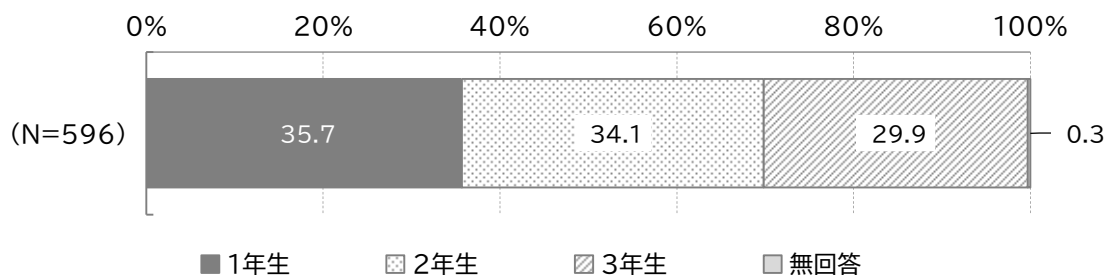
「高輪地区」が31.0%と最も多く、次いで「芝浦港南地区」が21.3%、「麻布地区」が18.8%となっている。



(2) 自身と家族の状況について

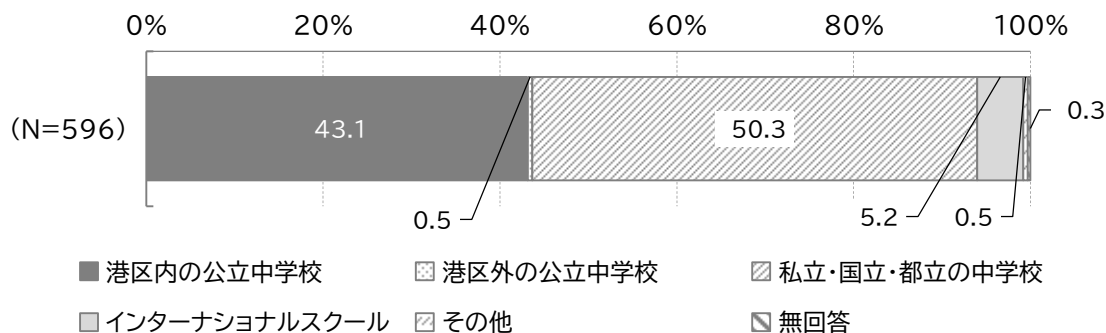
問2 あなたは中学校何年生ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

「1年生」が35.7%、「2年生」が34.1%、「3年生」が29.9%となっている。



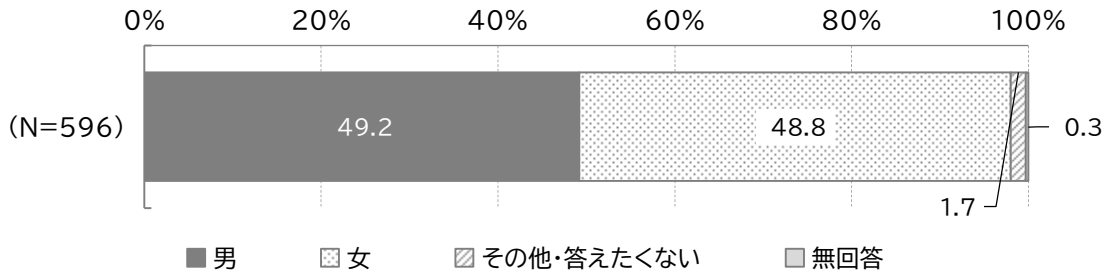
問3 あなたはどの学校に通っていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「私立・国立・都立の中学校」が50.3%と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」が43.1%、「インターナショナルスクール」が5.2%となっている。



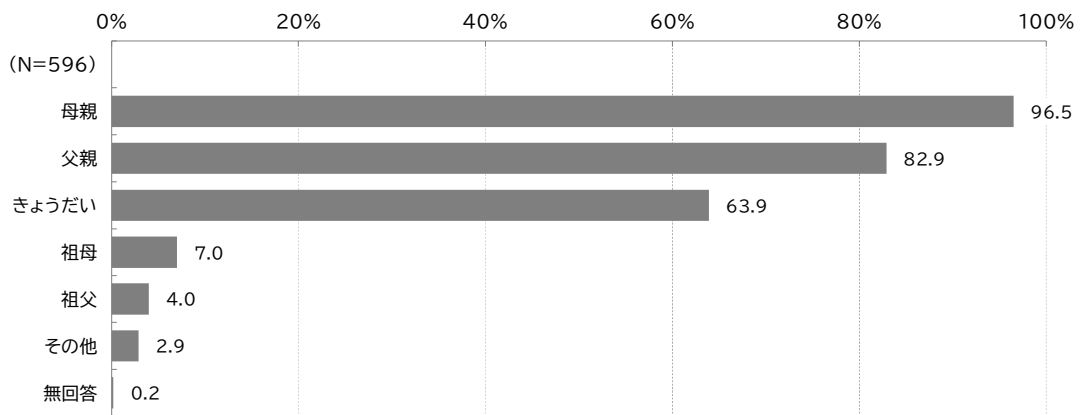
問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号ひとつに○)

「男」が49.2%、「女」が48.8%、「その他・答えたくない」が1.7%となっている。



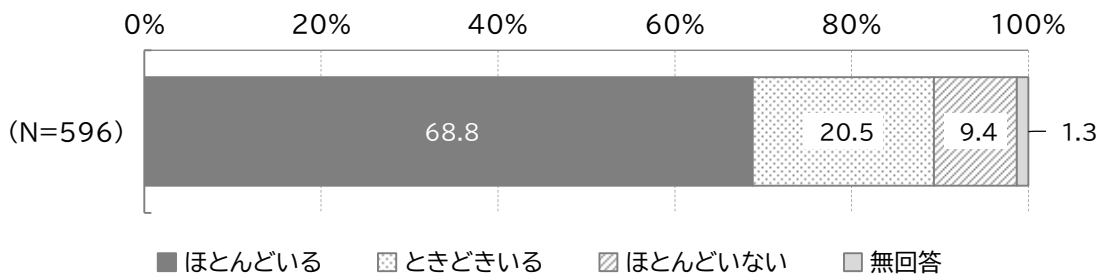
問5 あなたと一緒に住んでいる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「母親」が96.5%と最も多く、次いで「父親」が82.9%、「きょうだい」が63.9%となっている。



問6 あなたが学校から帰ったとき、家族が家にいますか。(あてはまる番号ひとつに○)

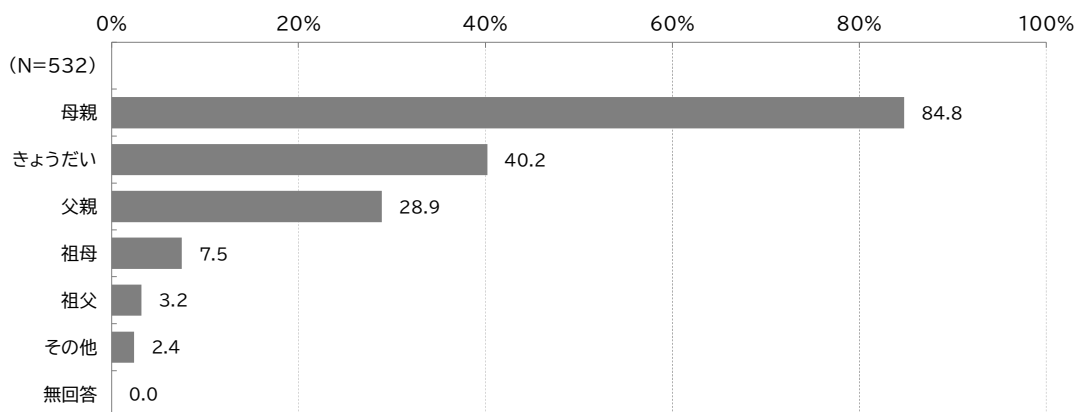
「ほとんどいる」が68.8%と最も多く、次いで「ときどきいる」が20.5%、「ほとんどいない」が9.4%となっている。



問6-1 問6で「1. ほとんどいる」「2. ときどきいる」に○をつけた人に質問します。

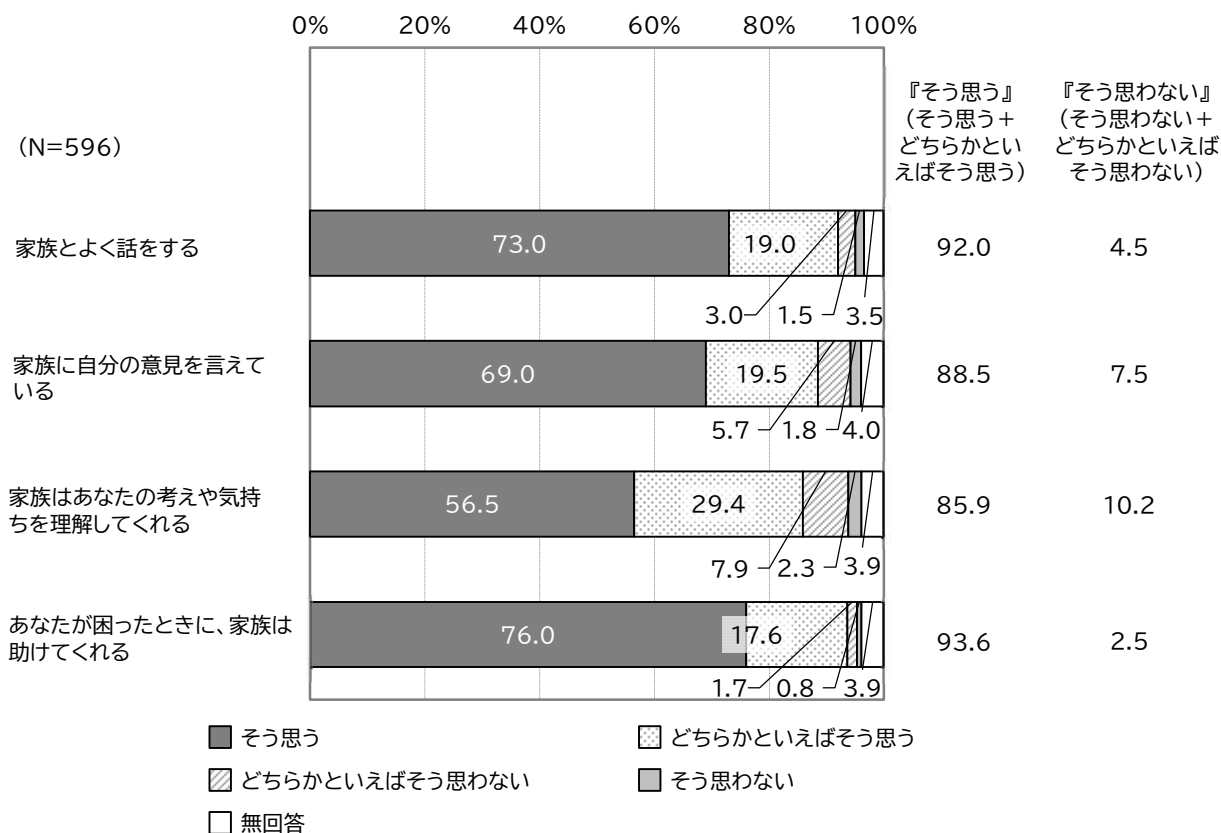
あなたが学校から帰ったとき、誰が家にいますか。(あてはまる番号すべてに○)

「母親」が84.8%と最も多く、次いで「きょうだい」が40.2%、「父親」が28.9%となっている。



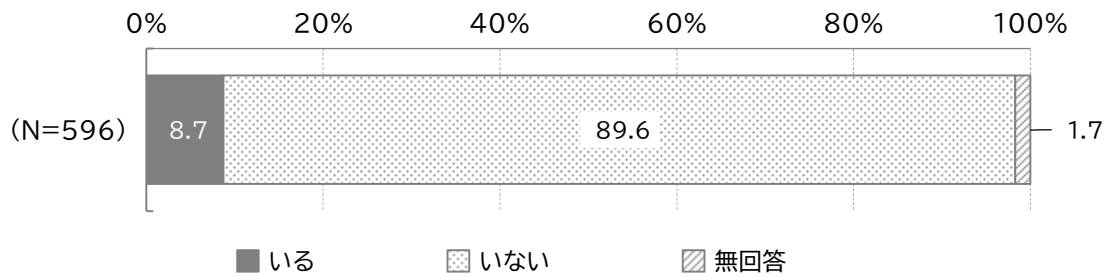
問7 あなたと家族の関係について教えてください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

“家族とよく話をする”“家族に自分の意見を言えている”“家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる”“あなたが困ったときに、家族は助けてくれる”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ92.0%、88.5%、85.9%、93.6%となっている。



問8 家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、大人に代わって家事や家族のお世話をすることです) (あてはまる番号ひとつに○)

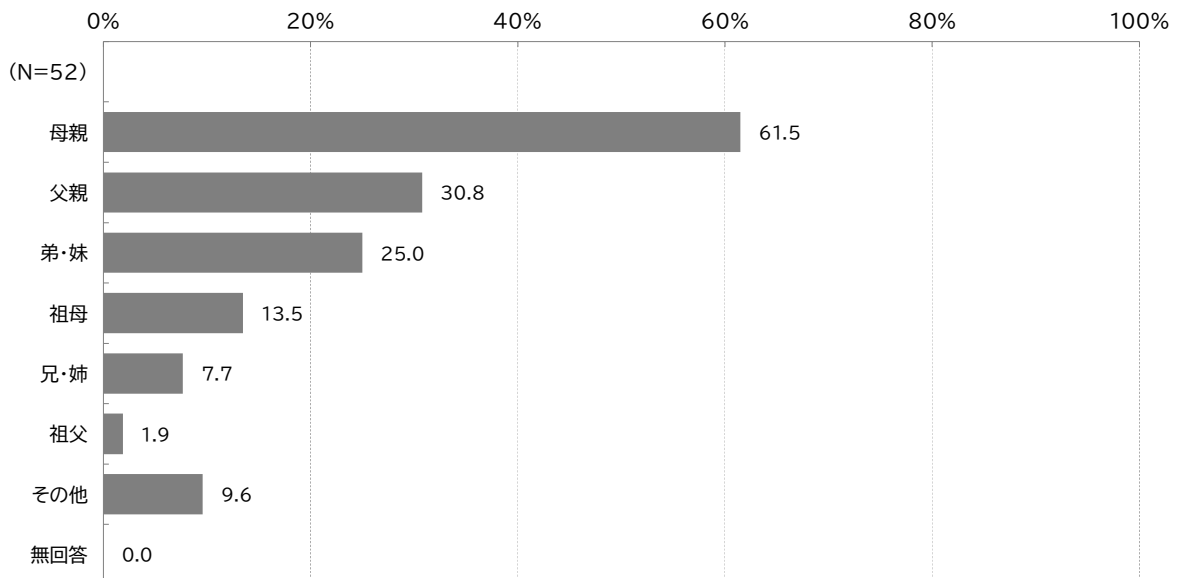
「いない」が89.6%、「いる」が8.7%となっている。



問8-1 問8で「1. いる」に○をつけた人に質問します。

あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

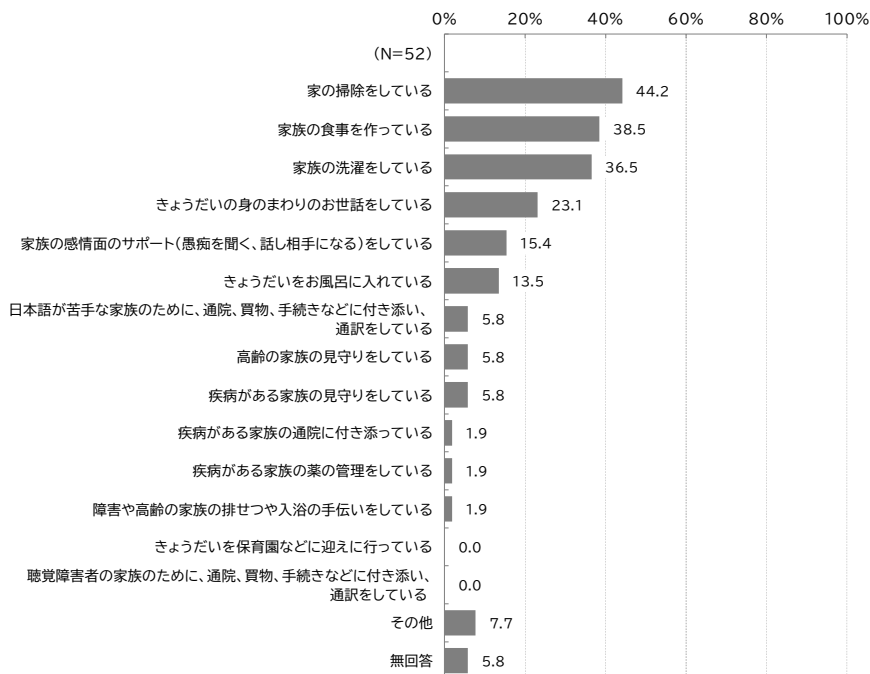
「母親」が61.5%と最も多く、次いで「父親」が30.8%、「弟・妹」が25.0%となっている。



問8-2 問8で「1. いる」に○をつけた人に質問します。

あなたは日常的にどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

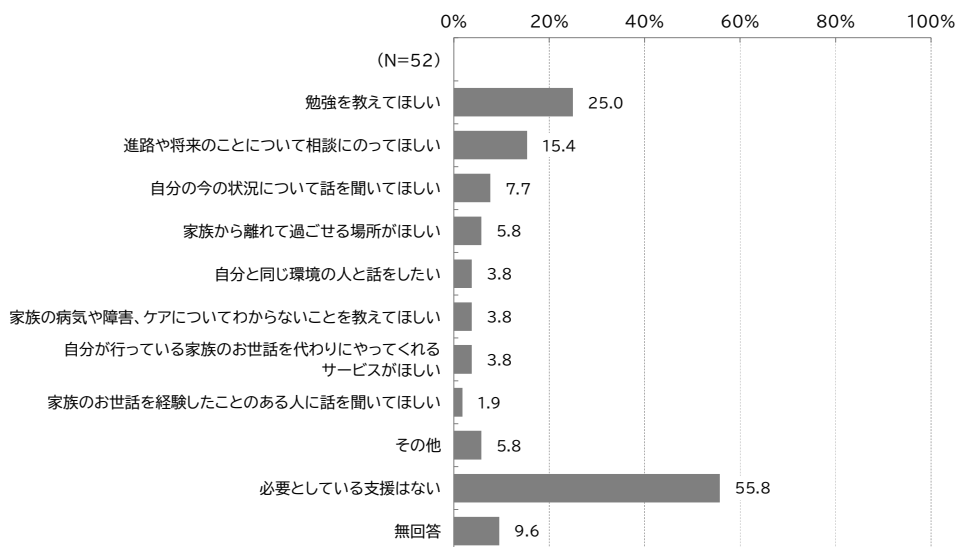
「家の掃除をしている」が44.2%と最も多く、次いで「家族の食事を作っている」が38.5%、「家族の洗濯をしている」が36.5%となっている。



問8-3 問8で「1. いる」に○をつけた人に質問します。

あなたが港区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

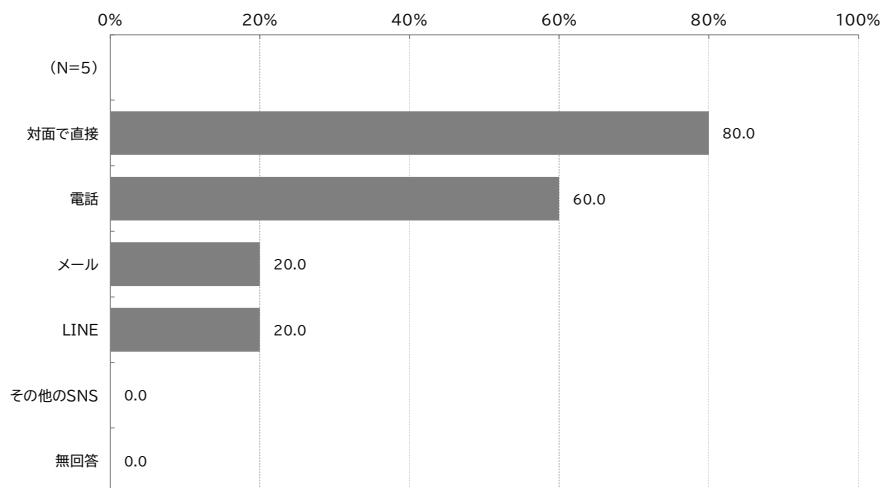
「必要としている支援はない」が55.8%と最も多く、次いで「勉強を教えてほしい」が25.0%、「進路や将来のことについて相談にのってほしい」が15.4%となっている。



問8-4 問8-3で「1.自分の今の状況について話を聞いてほしい」～「3.家族のお世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい」に○をつけた人に質問します。

どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

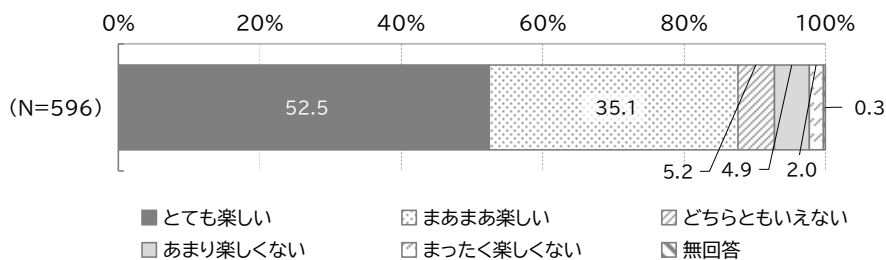
「対面で直接」が80.0%と最も多く、次いで「電話」が60.0%、「メール」「LINE」がともに20.0%となっている。



(3) 学校生活について

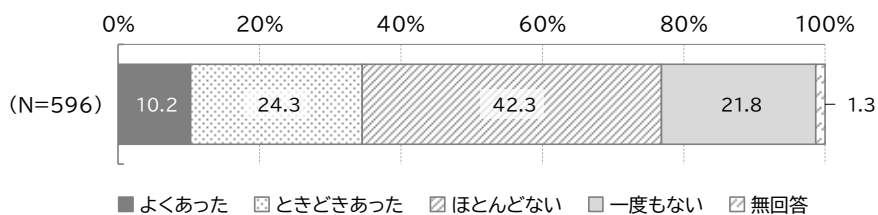
問9 学校は楽しいですか (あてはまる番号ひとつに○)

「とても楽しい」が52.5%と最も多く、次いで「まあまあ楽しい」が35.1%、「どちらともいえない」が5.2%となっている。



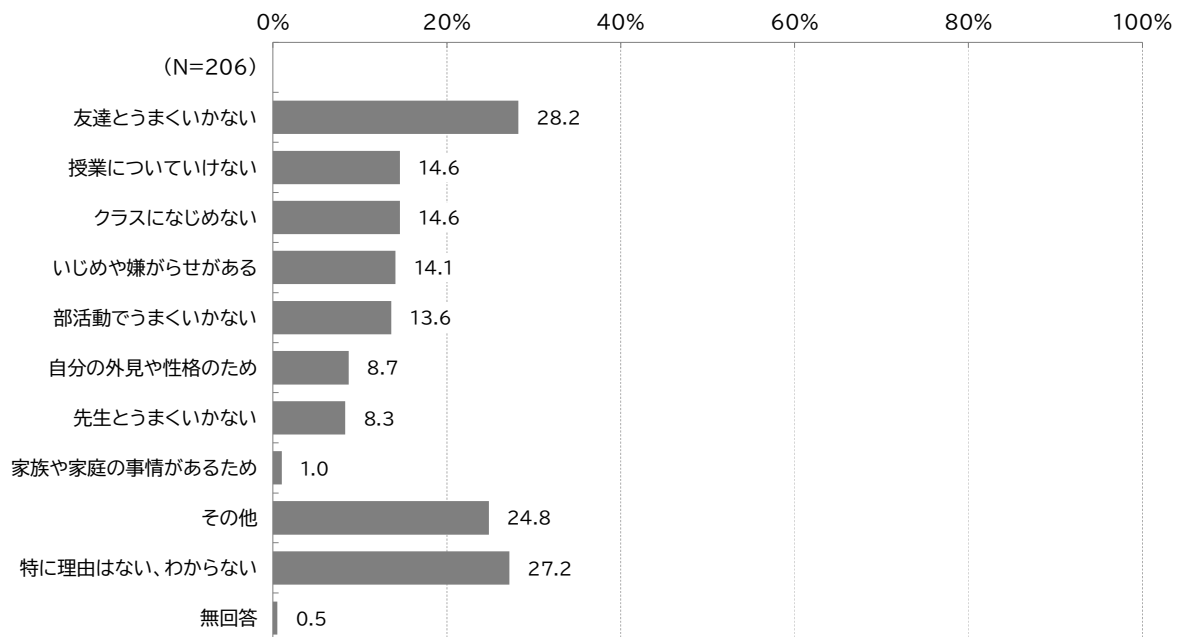
問10 あなたは、これまで学校に行きたくないと思ったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「ほとんどない」が42.3%と最も多く、次いで「ときどきあった」が24.3%、「一度もない」が21.8%となっている。



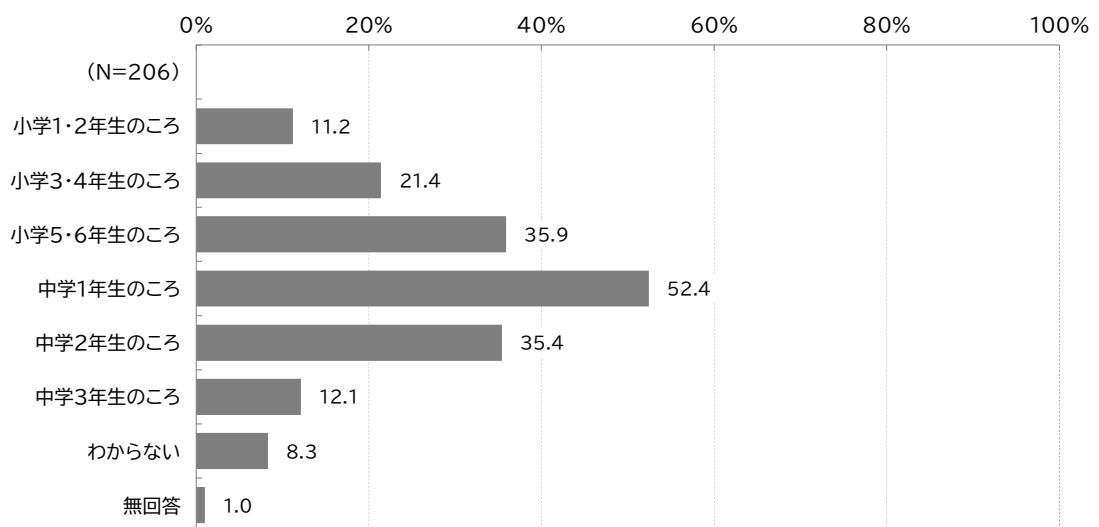
問 10-1 問 10 で「1.よくあった」または「2.ときどきあった」に○をつけた人に質問します。
 学校に行きたくないと考えた理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「友達とうまくいかない」が 28.2%と最も多く、次いで「特に理由はない、わからない」が 27.2%、「その他」が 24.8%となっている。



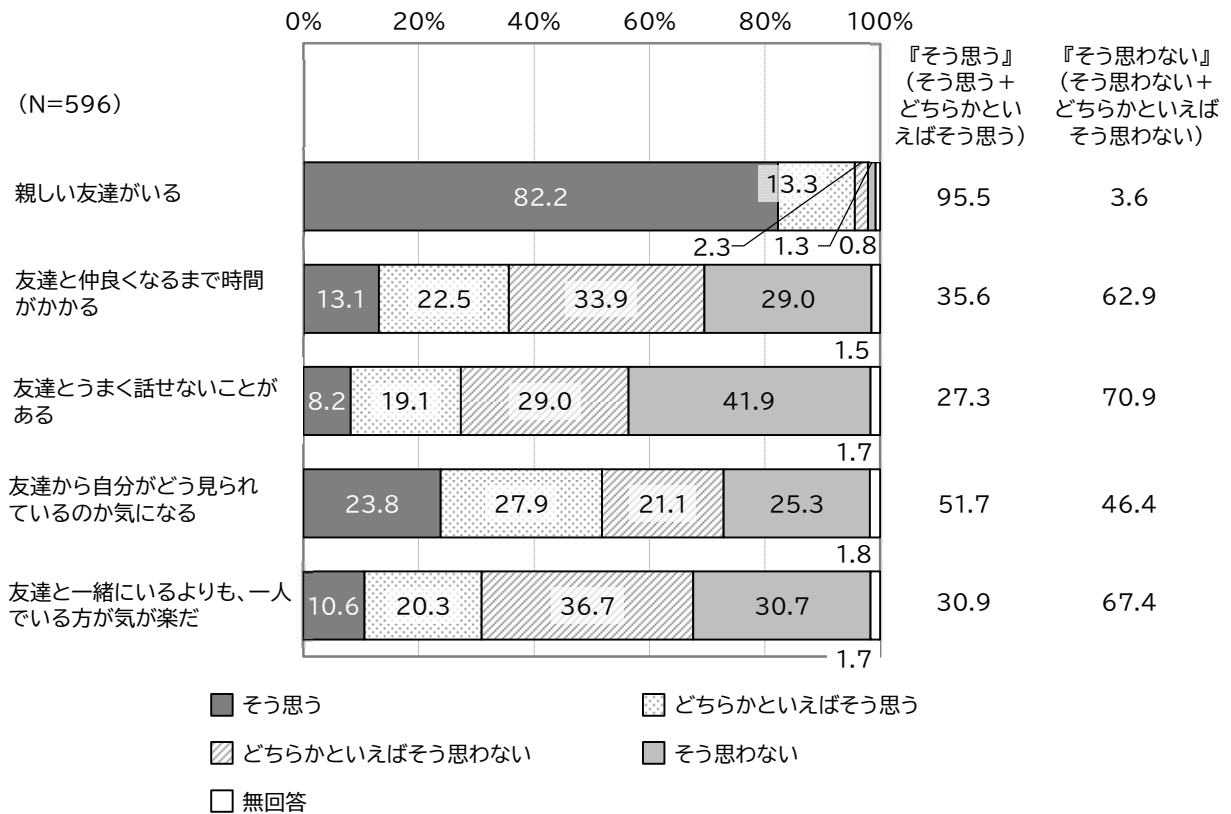
問 10-2 問 10 で「1.よくあった」または「2.ときどきあった」に○をつけた人に質問します。
 学校に行きたくないと考えたのは、いつ頃ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「中学1年生のころ」が 52.4%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」が 35.9%、「中学2年生のころ」が 35.4%となっている。



問11 あなたは、友達との関わりの中で、どのように感じていますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

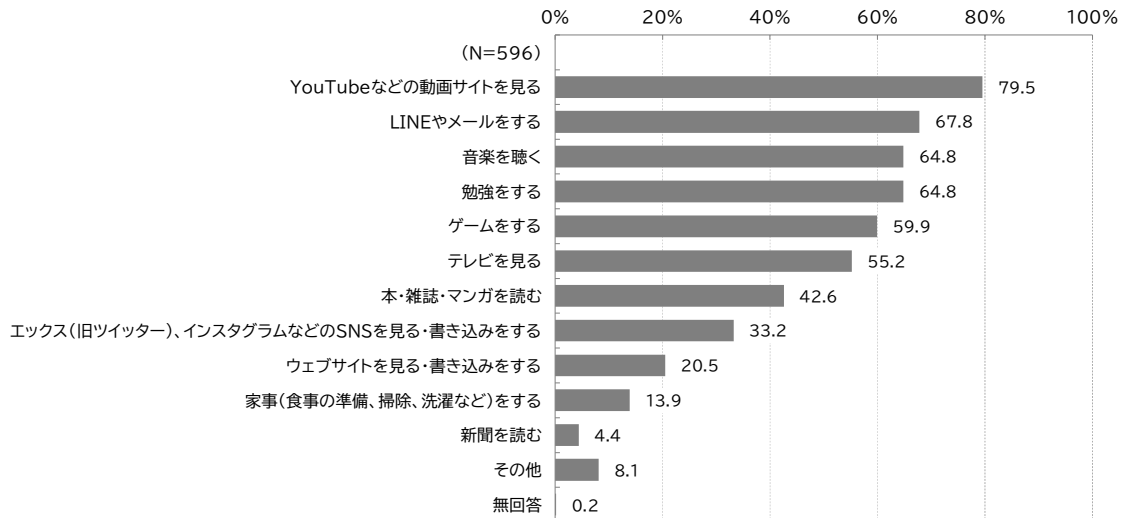
“親しい友達がいる” “友達と仲良くなるまで時間がかかる” “友達とうまく話せないことがある” “友達から自分がどう見られているのか気になる” “友達と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ95.5%、35.6%、27.3%、51.7%、30.9%となっている。



(4) 放課後や休日の過ごし方について

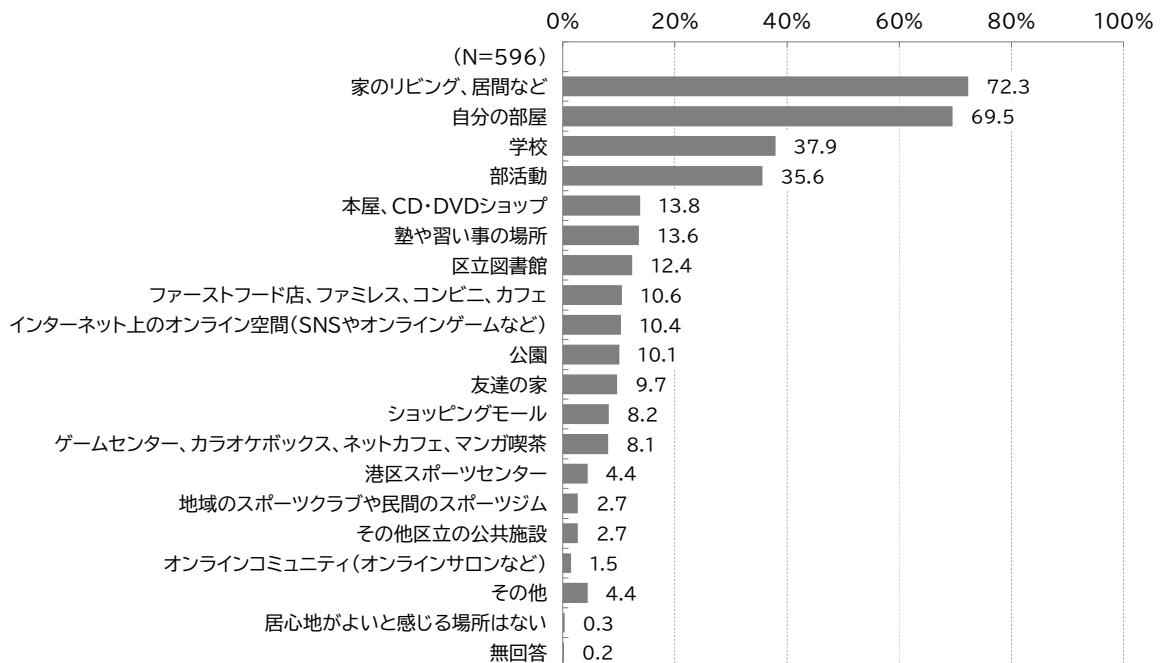
問 12 あなたが、普段家にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「YouTubeなどの動画サイトを見る」が79.5%と最も多く、次いで「LINEやメールをする」が67.8%、「音楽を聴く」「勉強をする」がともに64.8%となっている。



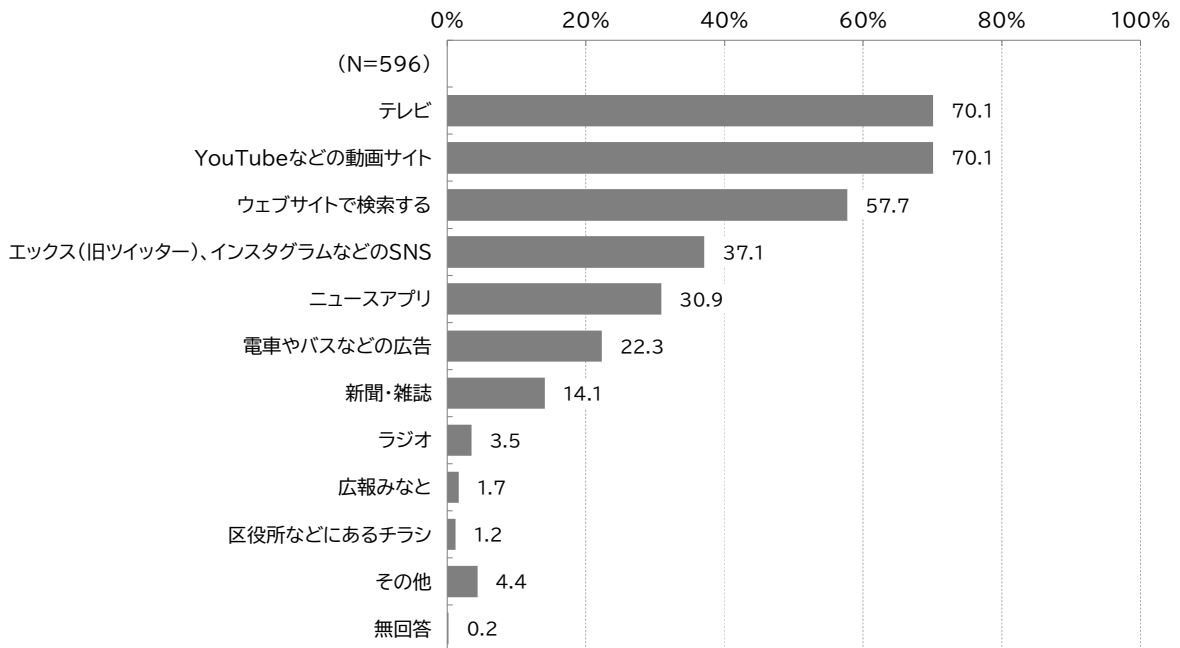
問 13 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

「家のリビング、居間など」が72.3%と最も多く、次いで「自分の部屋」が69.5%、「学校」が37.9%となっている。



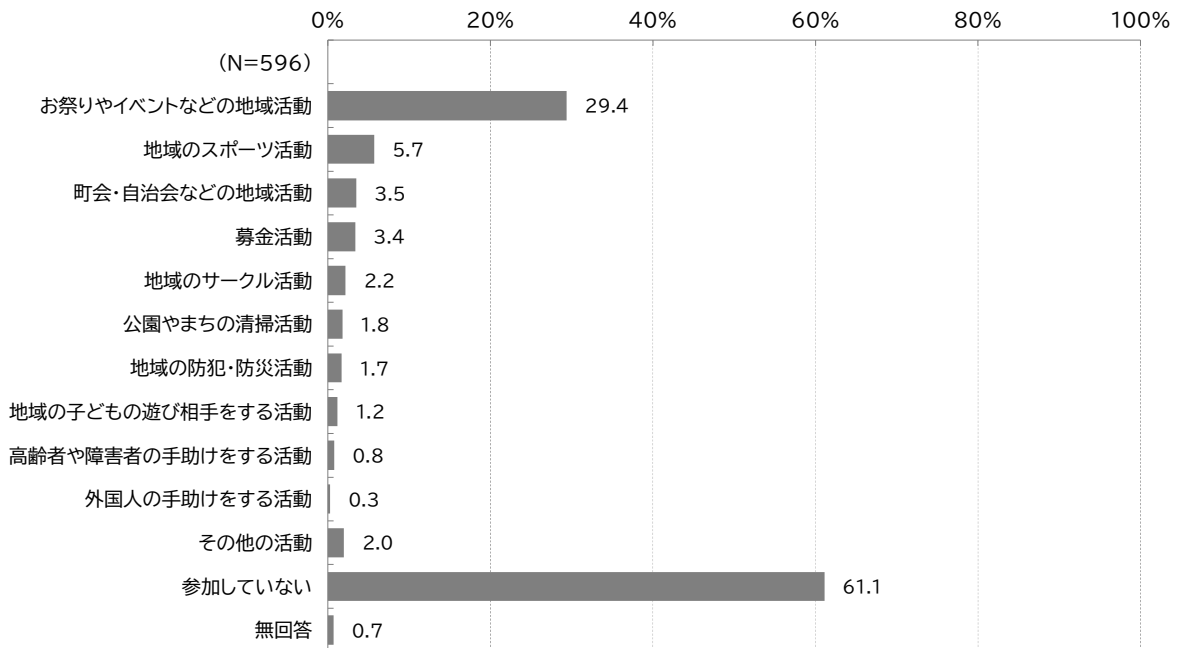
問 14 あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「テレビ」「YouTube などの動画サイト」がともに 70.1%と最も多く、次いで「ウェブサイトで検索する」が 57.7%となっている。



問 15 あなたは現在、次のような地域の活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

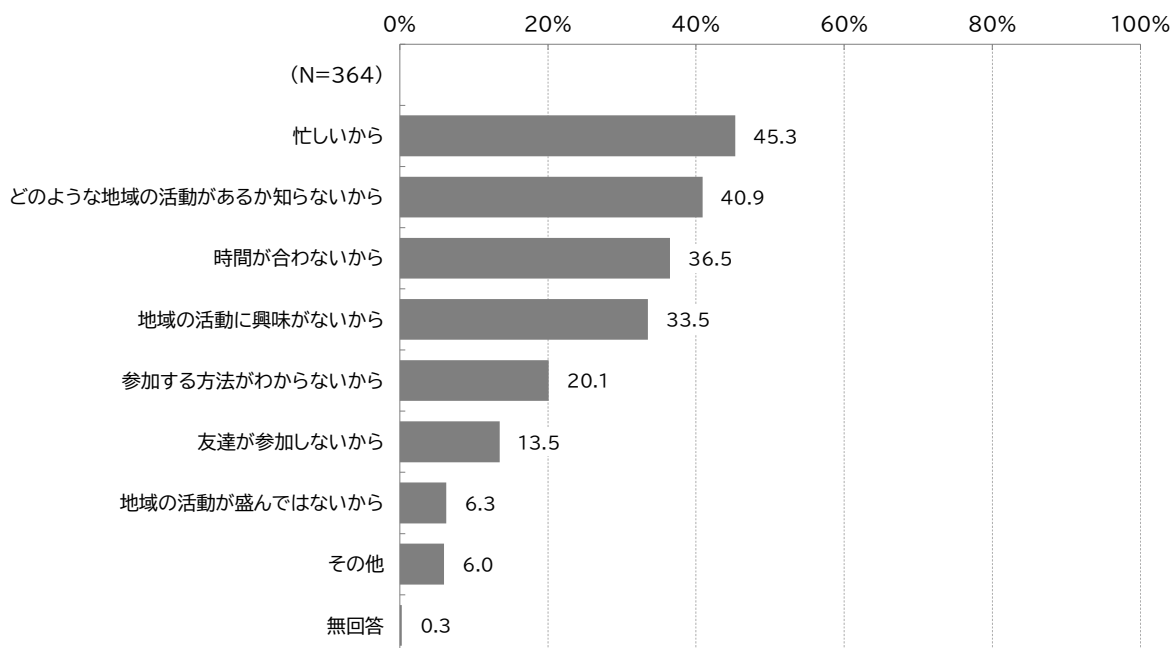
「参加していない」が 61.1%と最も多く、次いで「お祭りやイベントなどの地域活動」が 29.4%、「地域のスポーツ活動」が 5.7%となっている。



問 15-1 問 15 で「12. 参加していない」に○をつけた人に質問します。

参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「忙しいから」が 45.3%と最も多く、次いで「どのような地域の活動があるか知らないから」が 40.9%、「時間が合わないから」が 36.5%となっている。

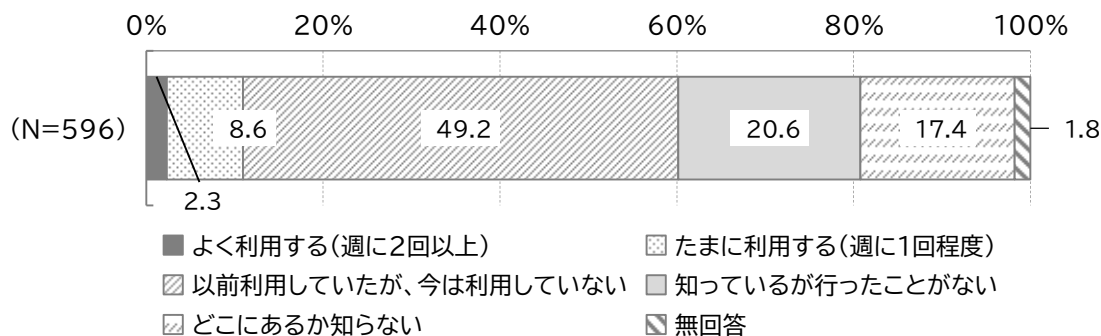


(5) 施設の利用状況について

問 16 あなたは、児童館や子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザによく行きますか。

(あてはまる番号ひとつに○)

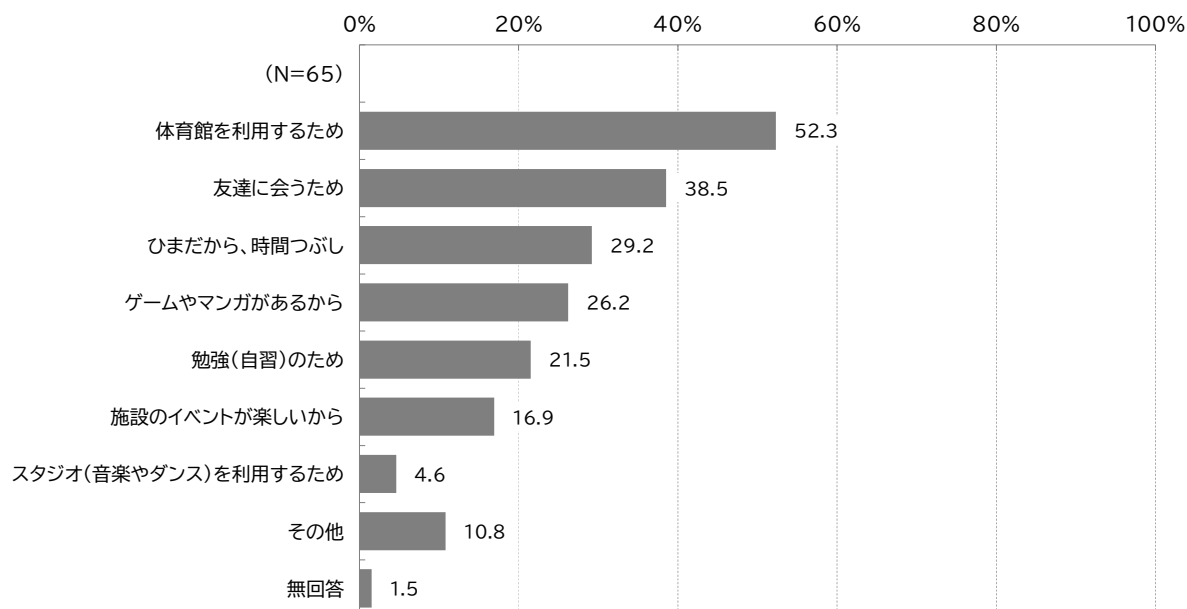
「以前利用していたが、今は利用していない」が 49.2%と最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」が 20.6%、「どこにあるか知らない」が 17.4%となっている。



問 16-1 問 16 で「1. よく利用する（週に2回以上）」「2. たまに利用する（週に1回程度）」に○をつけた人に質問します。

児童館や子ども中高生プラザなどに行く目的は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

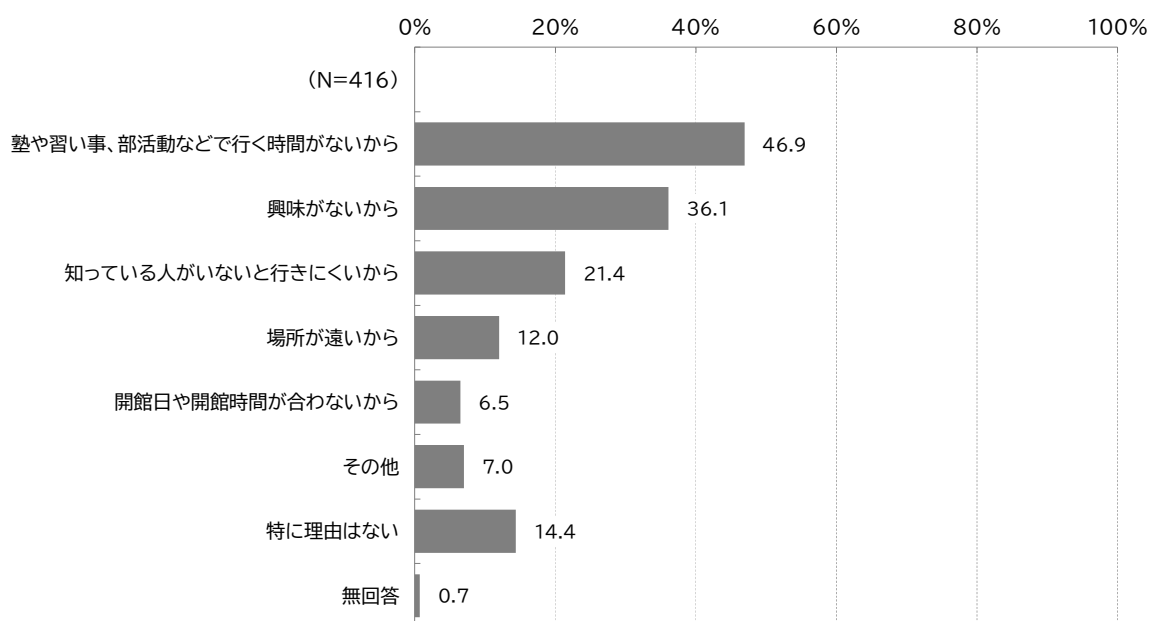
「体育館を利用するため」が52.3%と最も多く、次いで「友達に会うため」が38.5%、「ひまだから、時間つぶし」が29.2%となっている。



問 16-2 問 16 で「3. 以前利用していたが、今は利用していない」「4. 知っているが行ったことがない」に○をつけた人に質問します。

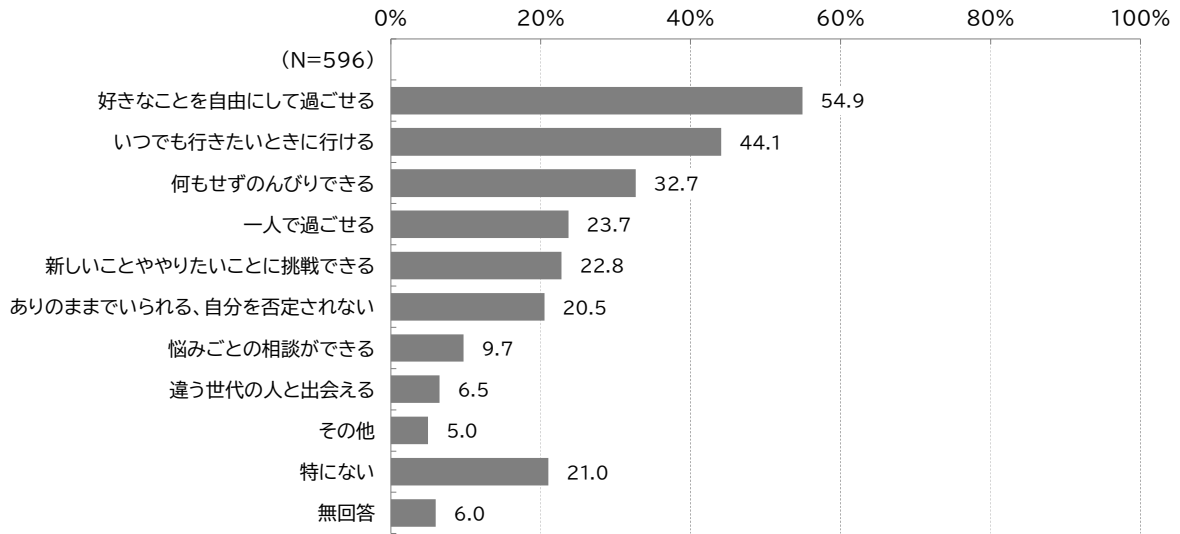
児童館や子ども中高生プラザなどを利用しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

「塾や習い事、部活動などで行く時間がないから」が46.9%と最も多く、次いで「興味がないから」が36.1%、「知っている人がいないと行きにくいから」が21.4%となっている。



問17 あなたは、どのような場所であれば行ってみたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「好きなことを自由にして過ごせる」が54.9%と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」が44.1%、「何もせずのんびりできる」が32.7%となっている。

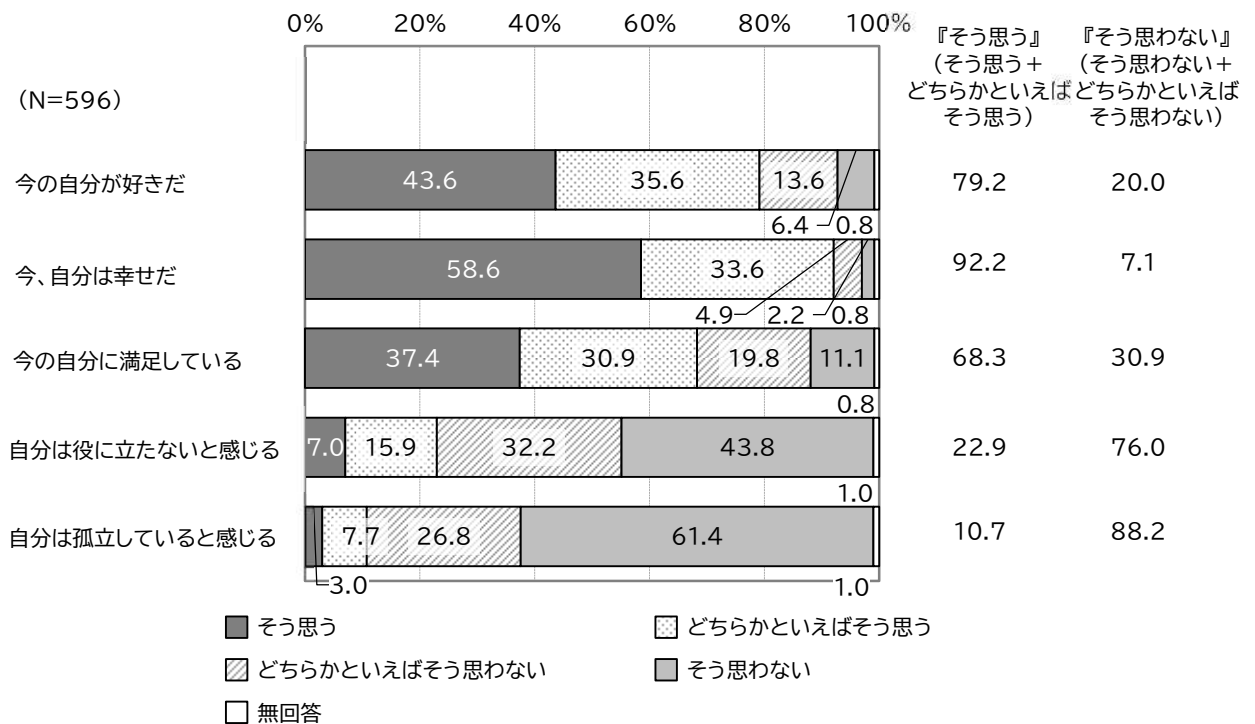


(6) 悩みごとや相談先について

問18 次の項目について、あなたはどのように感じますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

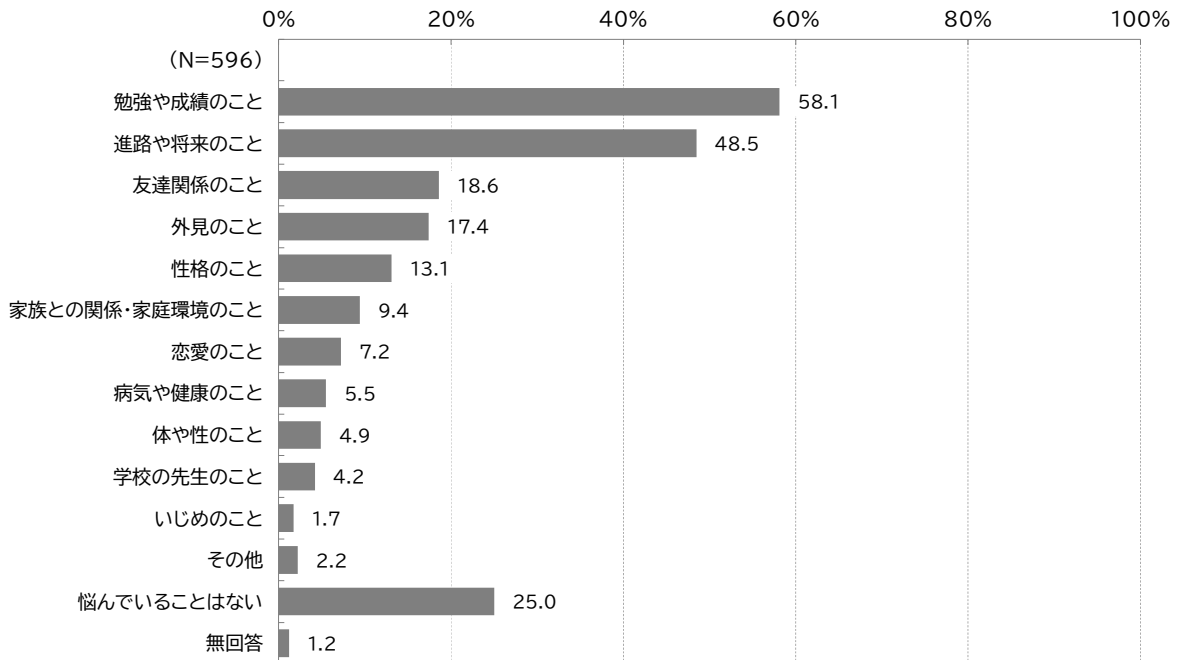
“今の自分が好きだ” “今、自分は幸せだ” “今の自分に満足している” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ79.2%、92.2%、68.3%となっている。

“自分は役に立たないと感じる” “自分は孤立していると感じる” において、『そう思う』がそれぞれ22.9%、10.7%となっている。



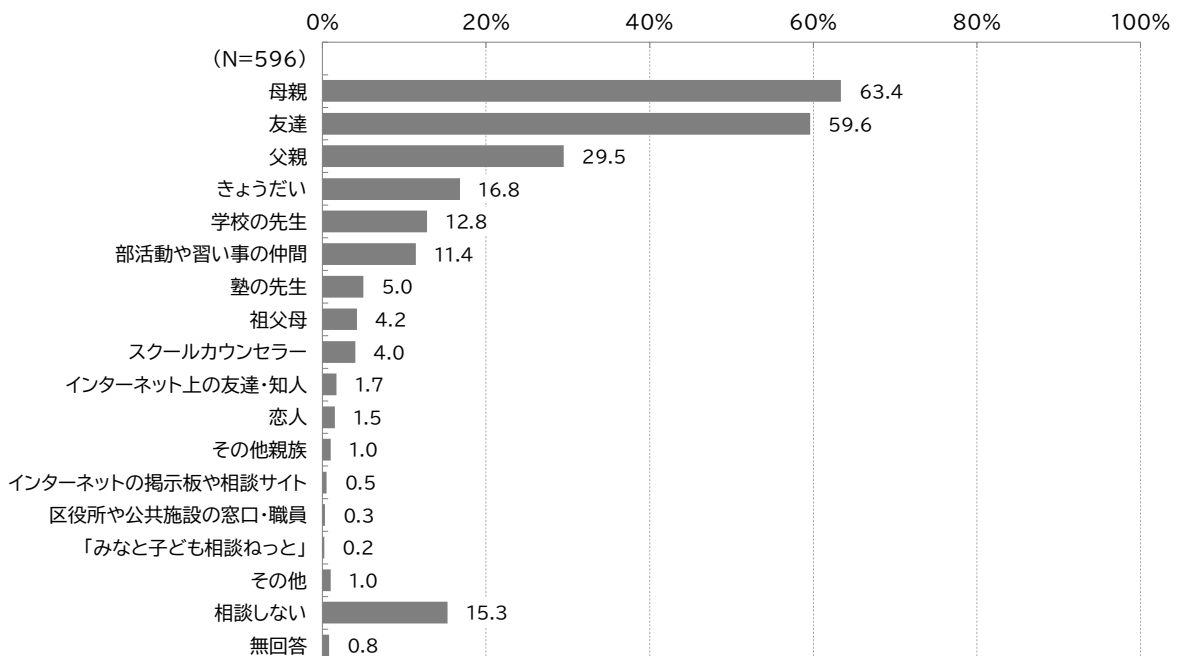
問19 あなたは、今、不安や悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「勉強や成績のこと」が58.1%と最も多く、次いで「進路や将来のこと」が48.5%、「悩んでいることはない」が25.0%となっている。



問20 あなたは、普段悩みごとがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまる番号すべてに○)

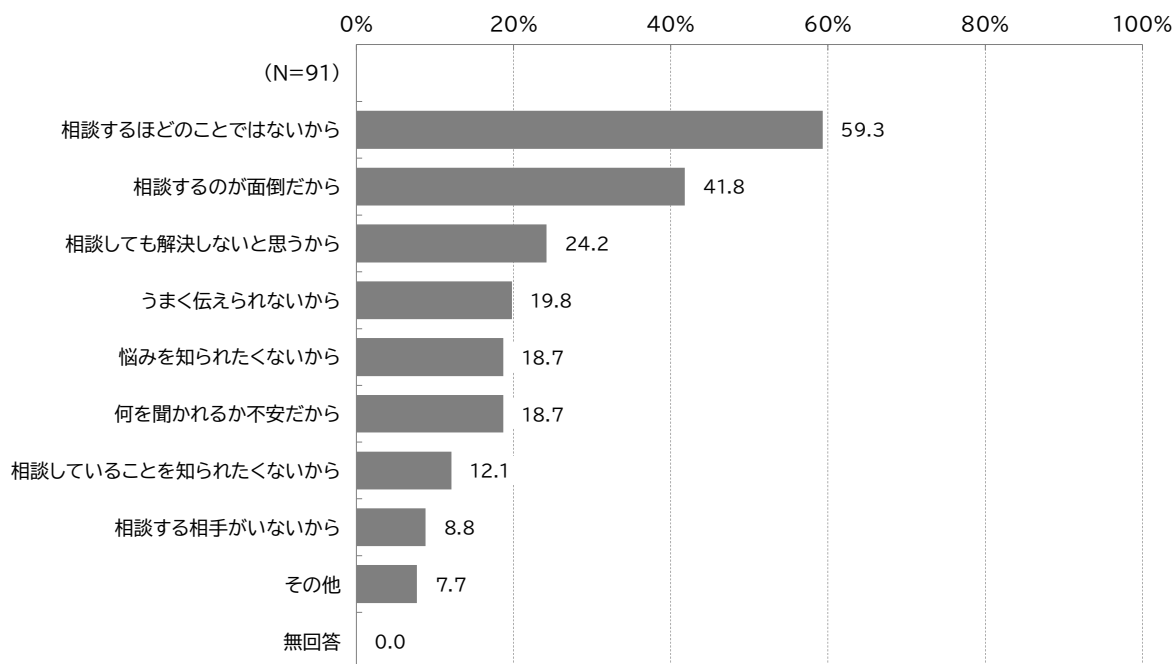
「母親」が63.4%と最も多く、次いで「友達」が59.6%、「父親」が29.5%となっている。



問 20-1 問 20 で「17. 相談しない」に○をつけた人に質問します。

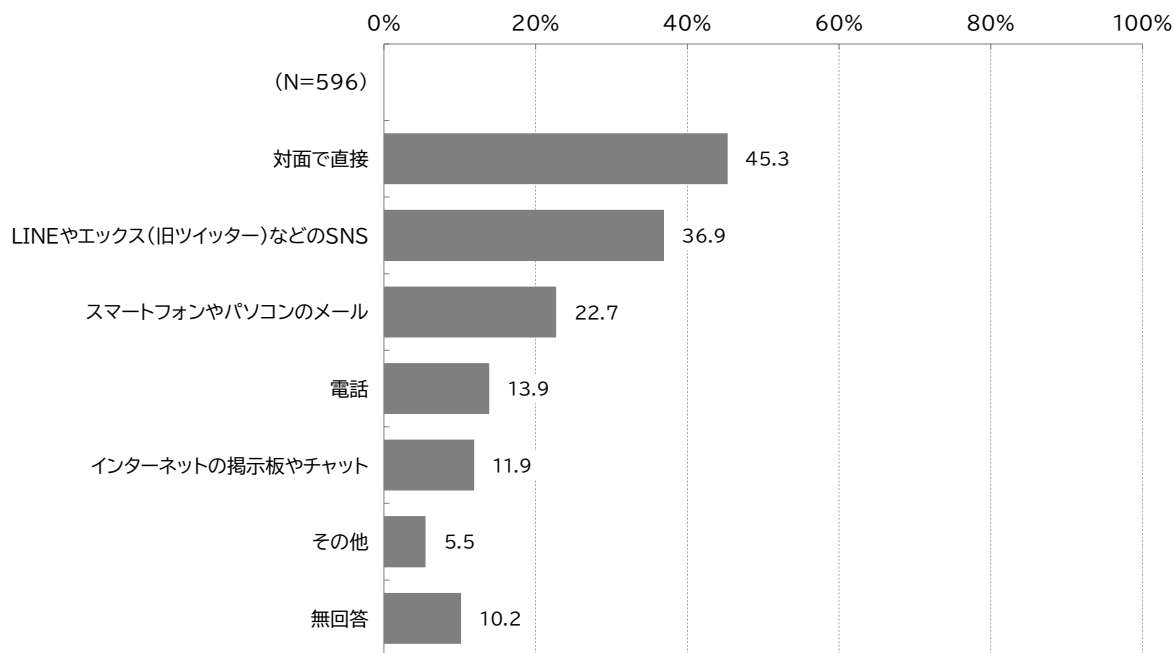
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「相談するほどのことではないから」が 59.3%と最も多く、次いで「相談するのが面倒だから」が 41.8%、「相談しても解決しないと思うから」が 24.2%となっている。



問 21 どのような方法であれば、もっと相談しやすいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

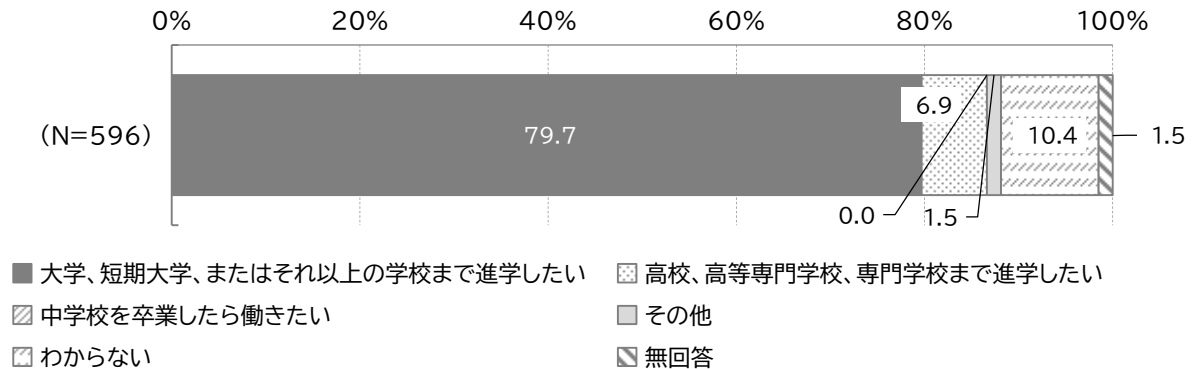
「対面で直接」が 45.3%と最も多く、次いで「LINE やエックス (旧ツイッター) などの SNS」が 36.9%、「スマートフォンやパソコンのメール」が 22.7%となっている。



(7) 将来のイメージについて

問 22 あなたは、将来の進路について、どのように考えていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

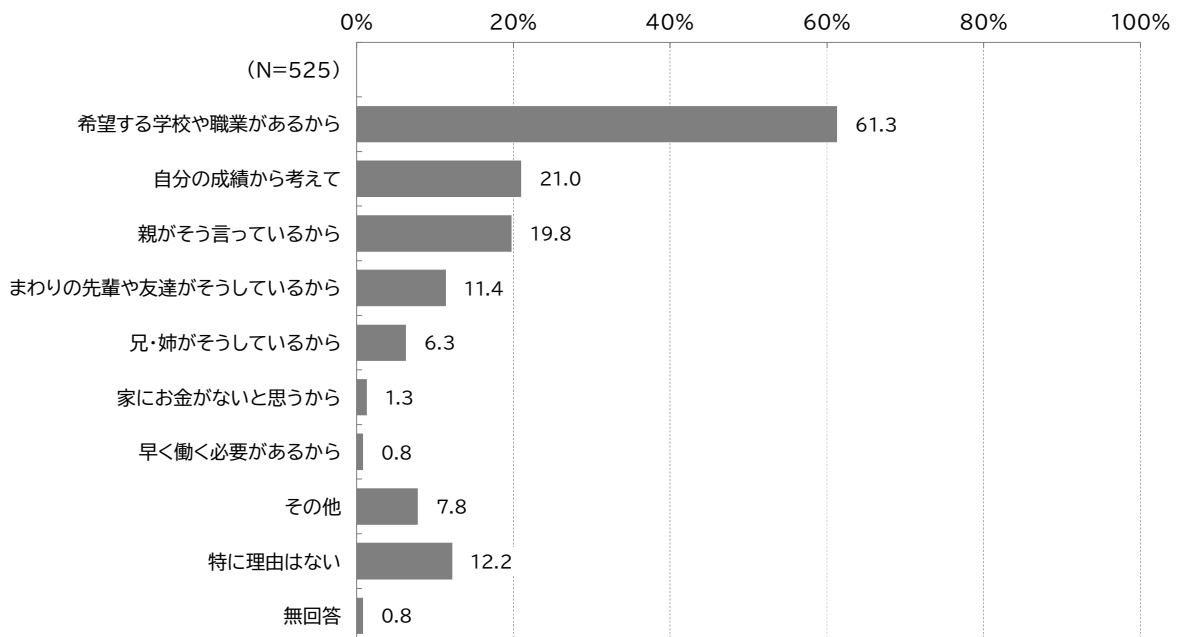
「大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」が79.7%と最も多く、次いで「わからない」が10.4%、「高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい」が6.9%となっている。



問 22-1 問 22 で「1. 大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」～「4. その他」に○をつけた人に質問します。

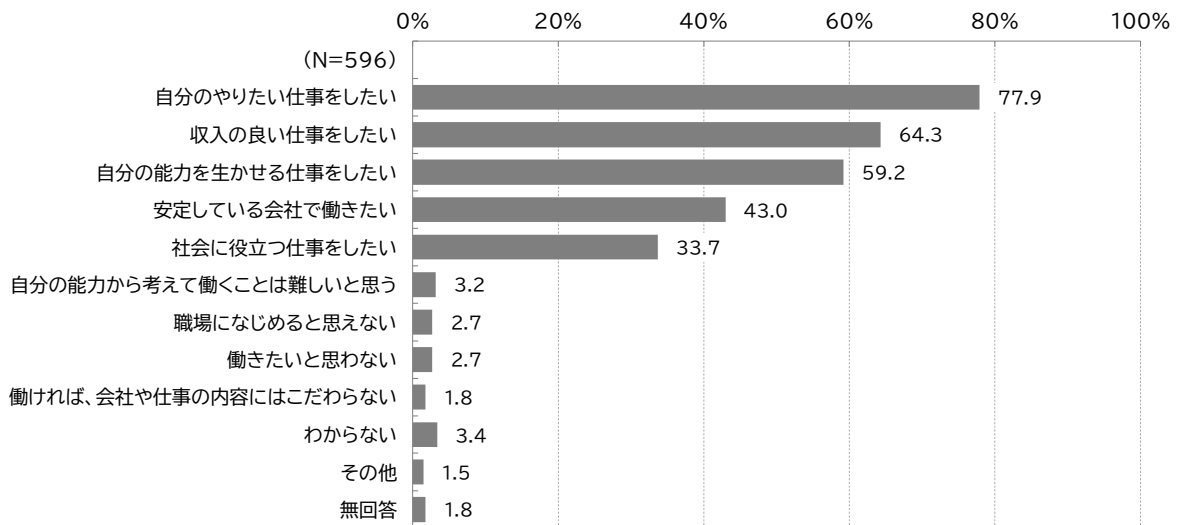
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「希望する学校や職業があるから」が61.3%と最も多く、次いで「自分の成績から考えて」が21.0%、「親がそう言っているから」が19.8%となっている。



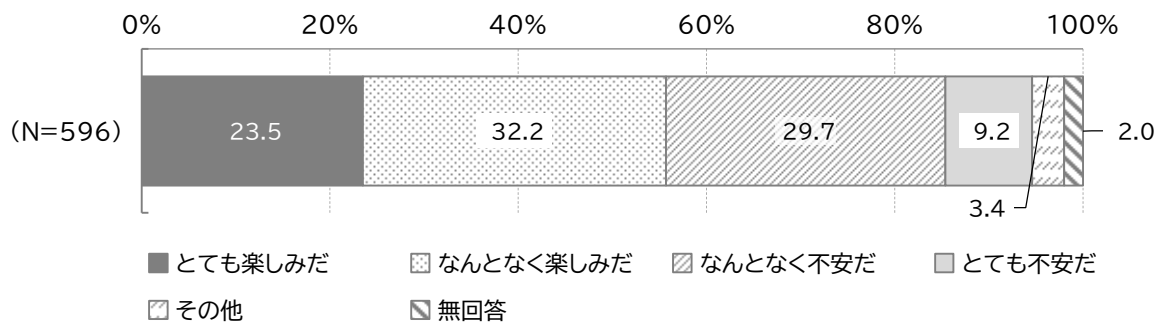
問23 あなたは、将来の仕事について、どう思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「自分のやりたい仕事をしたい」が77.9%と最も多く、次いで「収入の良い仕事をしたい」が64.3%、「自分の能力を生かせる仕事をしたい」が59.2%となっている。



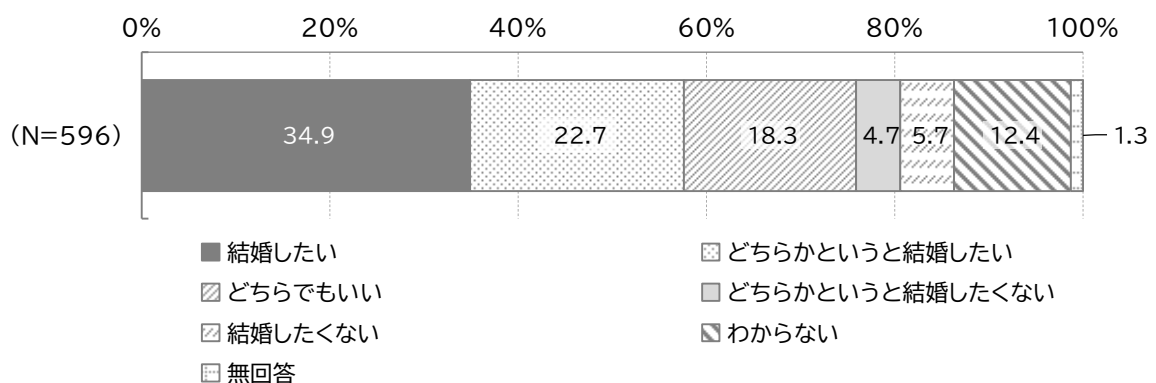
問24 あなたは、今後、進学や就職をすることについて、どう思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「なんとなく楽しみだ」が32.2%と最も多く、次いで「なんとなく不安だ」が29.7%、「とても楽しみだ」が23.5%となっている。



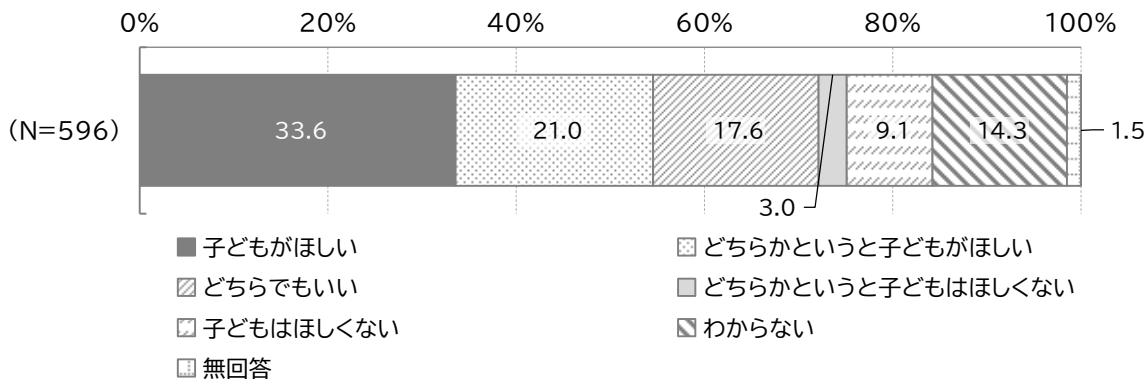
問25 あなたは、将来、結婚したいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「結婚したい」が34.9%と最も多く、次いで「どちらかという結婚したい」が22.7%、「どちらでもいい」が18.3%となっている。



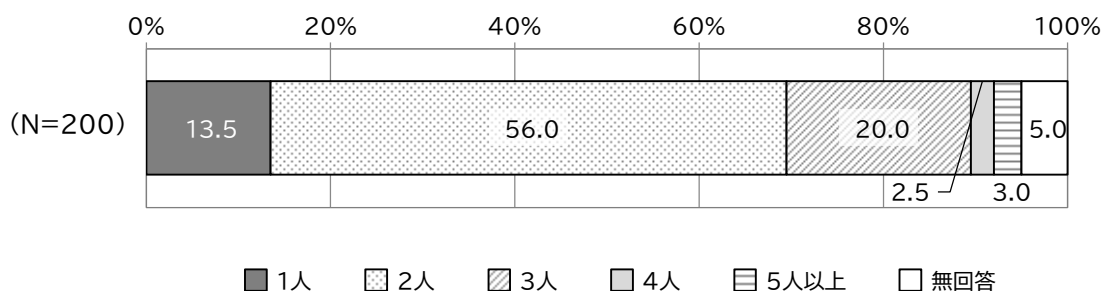
問26 あなたは、将来、子どもがほしいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）「1. 子どもがほしい」に○をつけた人は、子どもの人数を（ ）の中に数字でご記入ください。

「子どもがほしい」が33.6%と最も多く、次いで「どちらかという子どもがほしい」が21.0%、「どちらでもいい」が17.6%となっている。



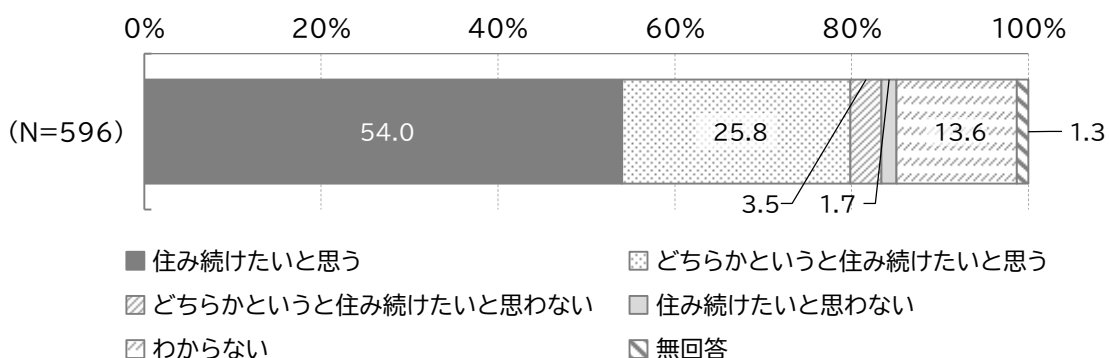
①ほしい子どもの人数

「2人」が56.0%と最も多く、次いで「3人」が20.0%、「1人」が13.5%となっている。



問27 これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

「住み続けたいと思う」が54.0%と最も多く、次いで「どちらかという住み続けたいと思う」が25.8%、「わからない」が13.6%となっている。



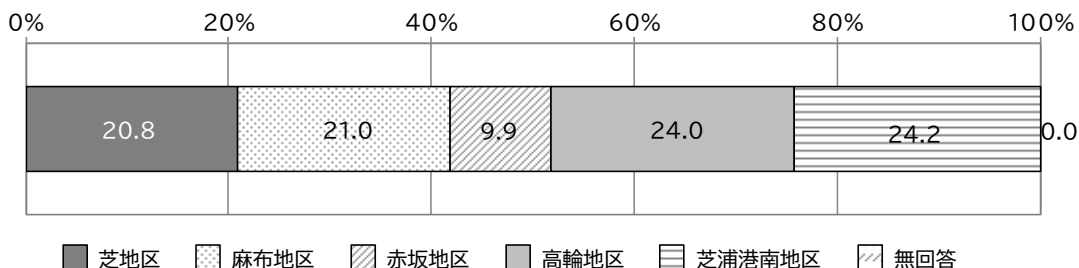
4. 高校生世代から 39 歳まで

(1) 居住地区について

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

「芝浦港南地区」が 24.2%と最も多く、次いで「高輪地区」が 24.0%、「麻布地区」が 21.0%となっている。

(N=495)

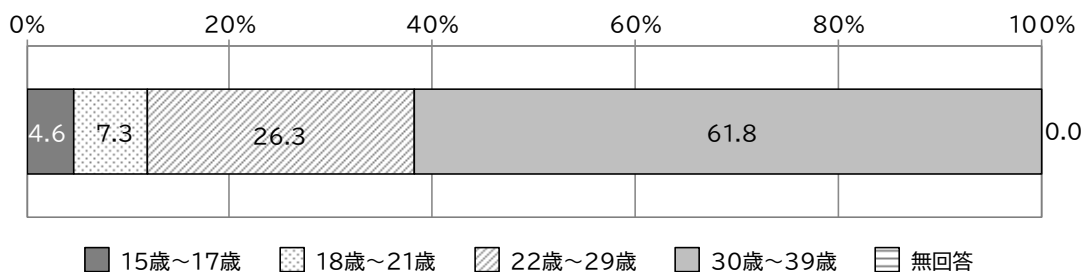


(2) 自身と家族の状況について

問2 あなたは何歳ですか。(令和5年4月1日現在)

「30歳～39歳」が 61.8%と最も多く、次いで「22歳～29歳」が 26.3%、「18歳～21歳」が 7.3%、「15歳～17歳」が 4.6%となっている。

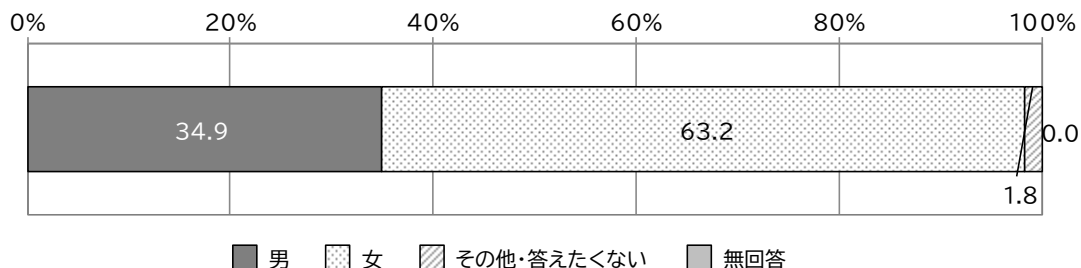
(N=495)



問3 あなたの性別をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「男」が 34.9%、「女」が 63.2%、「その他・答えたくない」が 1.8%となっている。

(N=495)



問4 あなたが最後に卒業（中途退学を含む）した、または現在在学している学校はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）

「4年生大学・大学院」が71.3%と最も多く、次いで「高等学校（全日制）」が9.7%、「専門学校」が9.1%となっている。

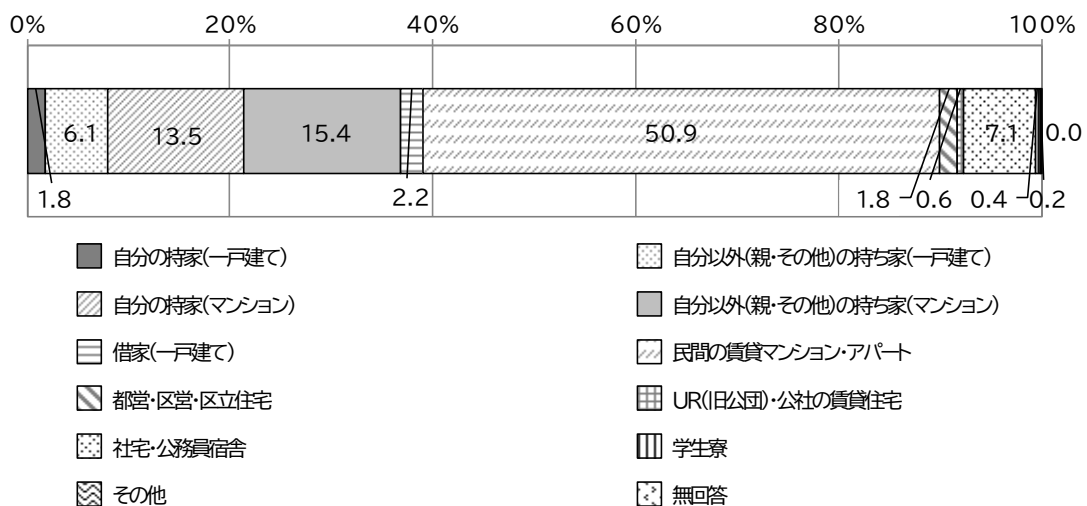
（単位：％）

		回答者数 (人)	中学校	高等学校 (全日 制)	高等学校 (定時 制・通信 制・サ ポート 校)	専門学校	4年生大 学・大学 院	高等専門 学校・短 期大学	その他	無回答
全体		495	0.6	9.7	2.2	9.1	71.3	4.0	3.0	0.0
状 況	在学中	65	0.0	33.8	4.6	3.1	50.8	3.1	4.6	0.0
	中途退学	7	0.0	14.3	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0
	卒業	423	0.7	5.9	1.9	10.2	74.2	4.3	2.8	0.0

問5 あなたのお住まいをお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

「民間の賃貸マンション・アパート」が50.9%と最も多く、次いで「自分以外（親・その他）の持ち家（マンション）」が15.4%、「自分の持家（マンション）」が13.5%となっている。

(N=495)



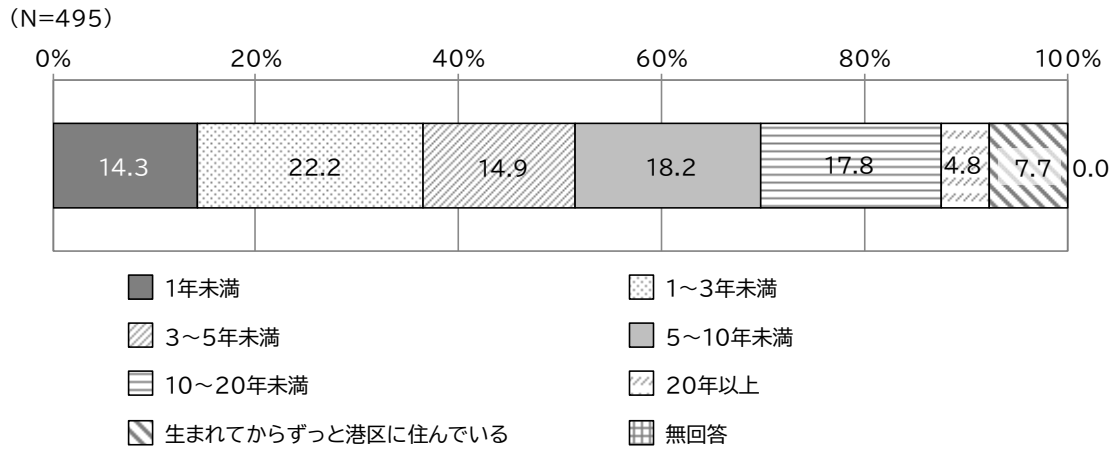
【参考：クロス表（年齢）】

（単位：％）

		回答者数 (人)	自分の持 家(一戸 建て)	自分以外 (親・そ 他の) 持ち家 (一戸建 て)	自分の持 家(マン ション)	自分以外 (親・そ 他の) 持ち家 (マン ション)	借家(一 戸建て)	民間の賃 貸マン ション・ アパート	都営・区 営・区立 住宅	UR(旧公 団)・公 社の賃 貸住宅	社宅・公 務員宿 舎	学生寮	その他	無回答
全体		495	1.8	6.1	13.5	15.4	2.2	50.9	1.8	0.6	7.1	0.4	0.2	0.0
年 齢	15～17歳	23	8.7	17.4	4.3	39.1	8.7	13.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～21歳	36	0.0	13.9	13.9	33.3	0.0	22.2	2.8	2.8	8.3	2.8	0.0	0.0
	22～29歳	130	1.5	6.9	5.4	18.5	1.5	52.3	1.5	0.0	11.5	0.8	0.0	0.0
	30～39歳	306	1.6	3.9	17.6	10.1	2.3	56.5	1.6	0.3	5.6	0.0	0.3	0.0

問6 あなたは、港区に住んで何年になりますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「1～3年未満」が22.2%と最も多く、次いで「5～10年未満」が18.2%、「10～20年未満」が17.8%となっている。



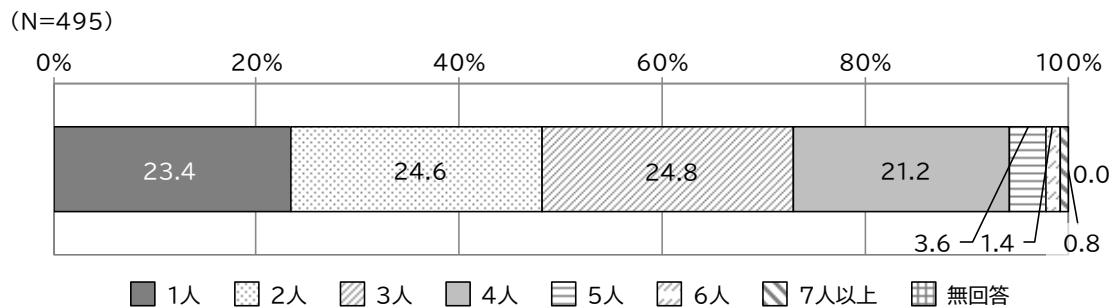
【参考：クロス表 (年齢)】

(単位：%)

		回答者数 (人)	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～20年 未満	20年以上	生まれて からずっと 港区に 住んでい る	無回答
全体		495	14.3	22.2	14.9	18.2	17.8	4.8	7.7	0.0
年 齢	15～17歳	23	8.7	8.7	0.0	0.0	65.2	0.0	17.4	0.0
	18～21歳	36	8.3	11.1	0.0	8.3	33.3	2.8	36.1	0.0
	22～29歳	130	25.4	33.8	8.5	7.7	10.8	4.6	9.2	0.0
	30～39歳	306	10.8	19.6	20.6	25.2	15.4	5.6	2.9	0.0

問7 現在、あなたが一緒に住んでいる人数は、あなたを含めて何人ですか。

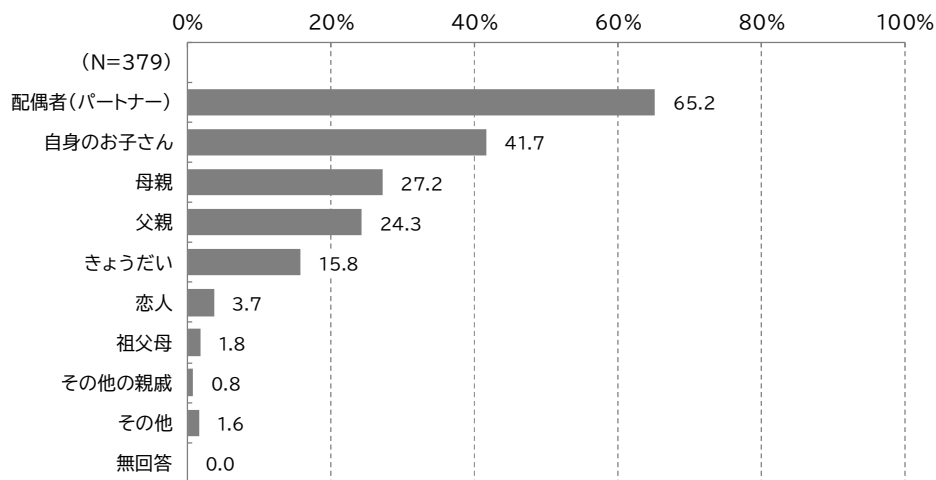
「3人」が24.8%と最も多く、次いで「2人」が24.6%、「1人」が23.4%となっている。



問8 問7で「2人」以上と回答した方にうかがいます。

現在、あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「配偶者(パートナー)」が65.2%と最も多く、次いで「自身のお子さん」が41.7%、「母親」が27.2%となっている。



【参考：クロス表(年齢)】

(単位：%)

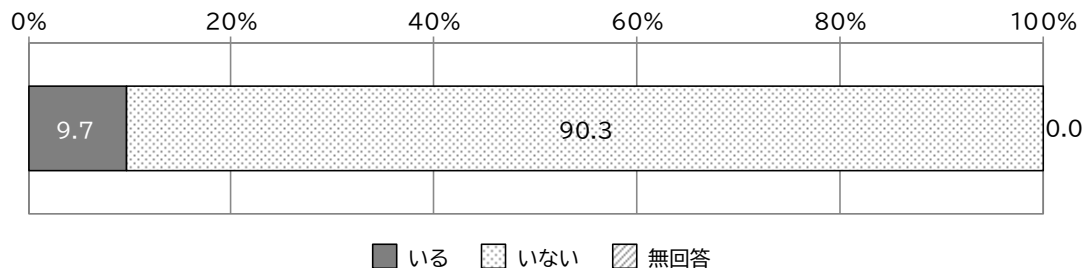
		回答者数 (人)	父親	母親	配偶者 (パート ナー)	きょうだ い	祖父母	その他の 親戚	恋人	自身のお 子さん	その他	無回答
全体		379	24.3	27.2	65.2	15.8	1.8	0.8	3.7	41.7	1.6	0.0
年 齢	15～17歳	23	91.3	100.0	0.0	60.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～21歳	35	82.9	82.9	0.0	65.7	8.6	0.0	0.0	0.0	8.6	0.0
	22～29歳	76	42.1	44.7	42.1	21.1	2.6	2.6	10.5	13.2	1.3	0.0
	30～39歳	245	4.1	6.9	87.8	2.9	0.8	0.4	2.4	60.4	0.8	0.0

問9 18歳以下の方にうかがいます。

家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、大人に代わって家事や家族のお世話などをすることです)(あてはまる番号ひとつに○)

「いない」が90.3%、「いる」が9.7%となっている。

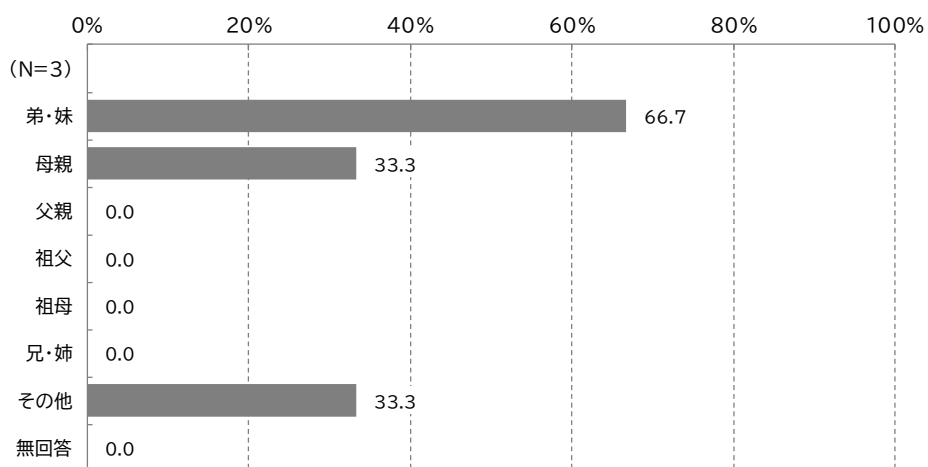
(N=31)



問10 問9で「(お世話をしている人が) いる」と回答した方にうかがいます。

あなたがお世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

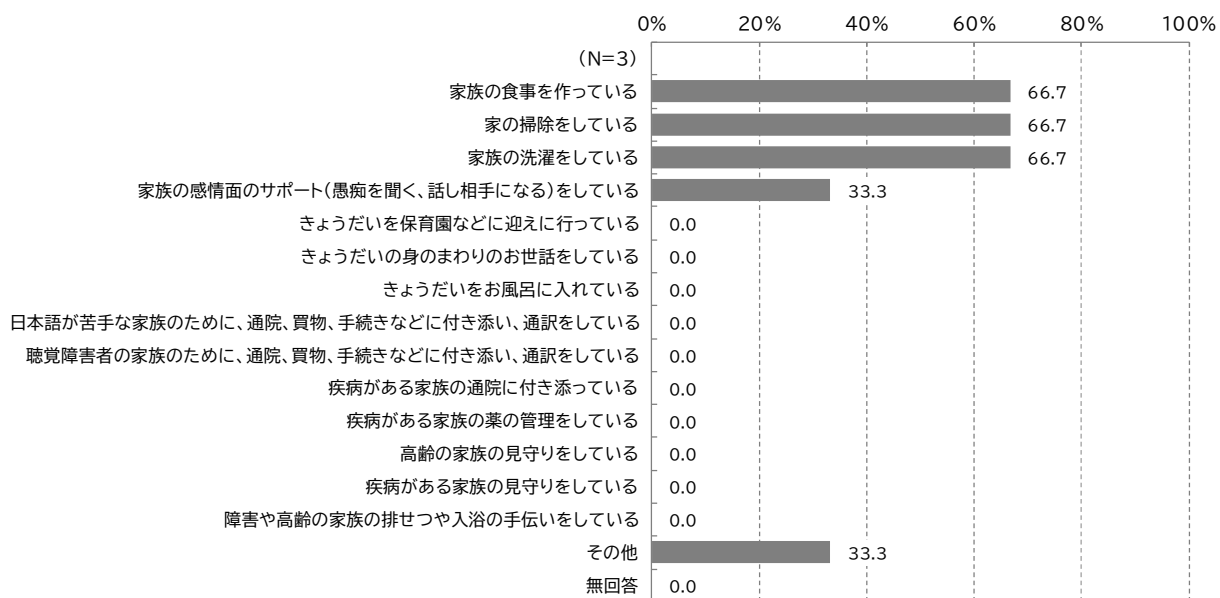
「弟・妹」が66.7%と最も多く、次いで「母親」「その他」がともに33.3%となっている。



問11 問9で「(お世話をしている人が) いる」と回答した方にうかがいます。

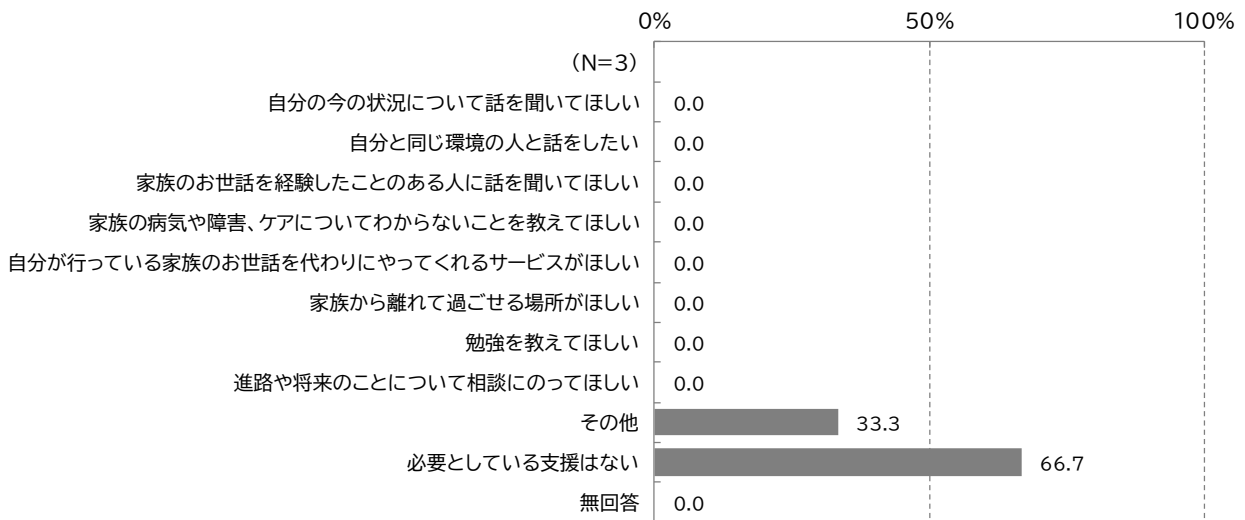
あなたは日常的にどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「家族の食事を作っている」「家の掃除をしている」「家族の洗濯をしている」がともに66.7%と最も多く、次いで「家族の感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になる)をしている」「その他」がともに33.3%となっている。



問12 問9で「(お世話をしている人が) いる」と回答した方にうかがいます。
 あなたが港区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

「必要としている支援はない」が66.7%と最も多く、次いで「その他」が33.3%となっている。



問13 問12で「話したい」「話を聞いてほしい」と回答した方にうかがいます。
 どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

該当者なし

問14 問12で「お世話を代わりにやってくれるサービスがほしい」と回答した方にうかがいます。
 具体的にどのようなサービスがほしいですか。

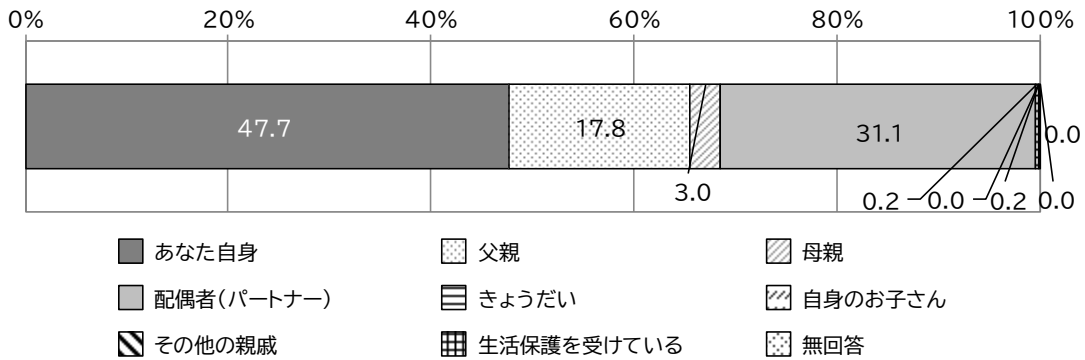
該当者なし

(3) 就労・家計状況について

問 15 あなたの家の生計を立てている方は主にどなたですか。※主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「あなた自身」が47.7%と最も多く、次いで「配偶者(パートナー)」が31.1%、「父親」が17.8%となっている。

(N=495)



【参考：クロス表(年齢)】

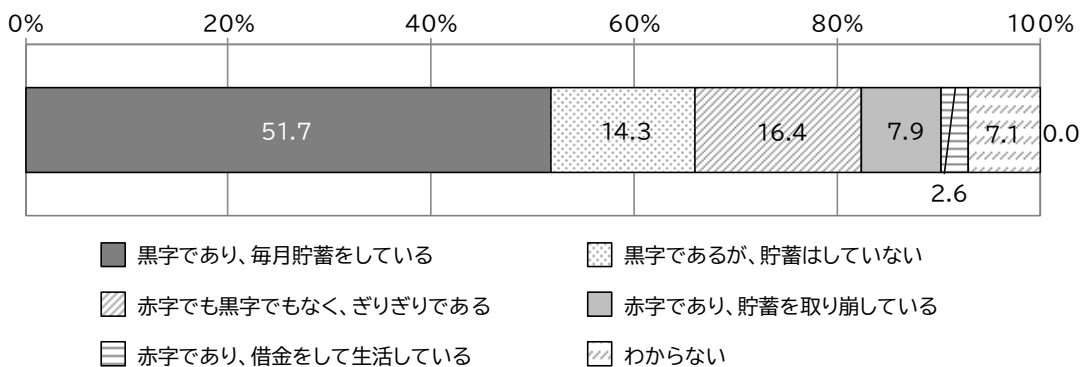
(単位：%)

	回答者数(人)	あなた自身	父親	母親	配偶者(パートナー)	きょうだい	自身のお子さん	その他の親戚	生活保護を受けている	無回答
全体	495	47.7	17.8	3.0	31.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0
年齢	15~17歳	23	0.0	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18~21歳	36	2.8	83.3	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	22~29歳	130	56.9	22.3	2.3	17.7	0.0	0.0	0.8	0.0
	30~39歳	306	52.6	2.9	1.3	42.8	0.3	0.0	0.0	0.0

問 16 現在の家計について、最も近いものをお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

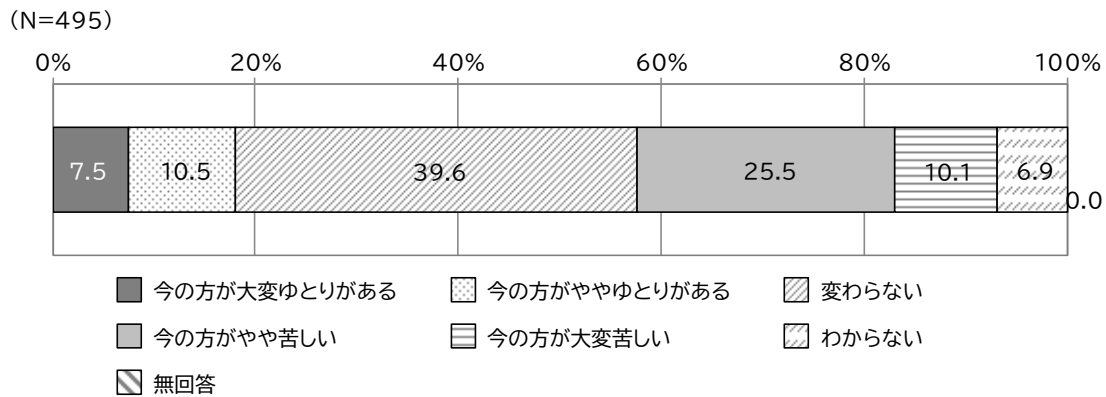
「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が51.7%と最も多く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ギリギリである」が16.4%、「黒字であるが、貯蓄はしていない」が14.3%となっている。

(N=495)



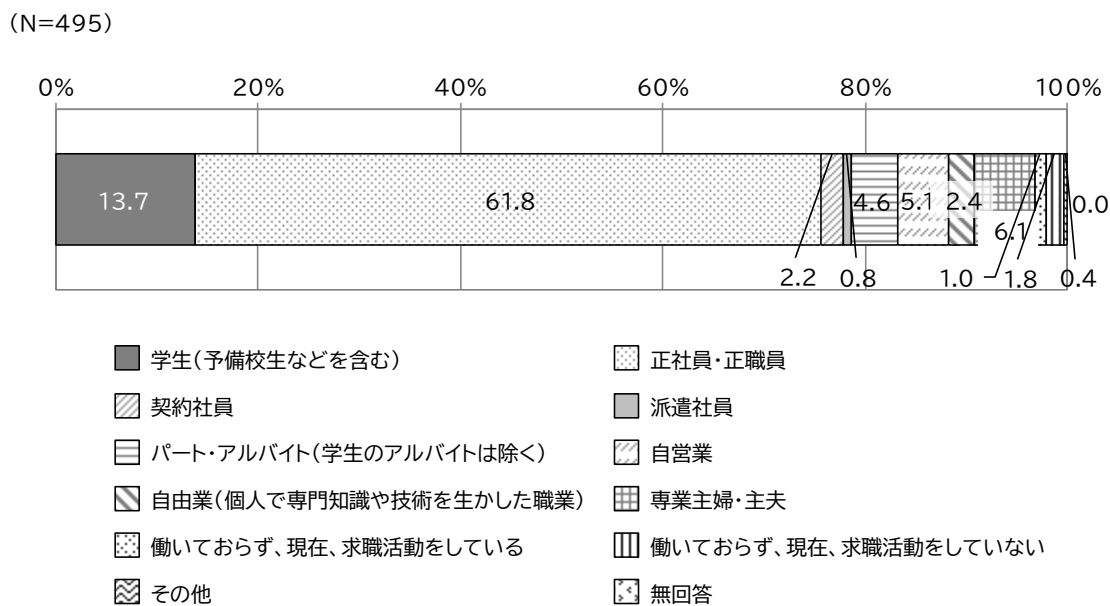
問17 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「変わらない」が39.6%と最も多く、次いで「今の方がやや苦しい」が25.5%、「今の方がややゆとりがある」が10.5%となっている。



問18 あなたの現在の職業をお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「正社員・正職員」が61.8%と最も多く、次いで「学生(予備校生などを含む)」が13.7%、「専業主婦・主夫」が6.1%となっている。



【参考：クロス表(年齢)】

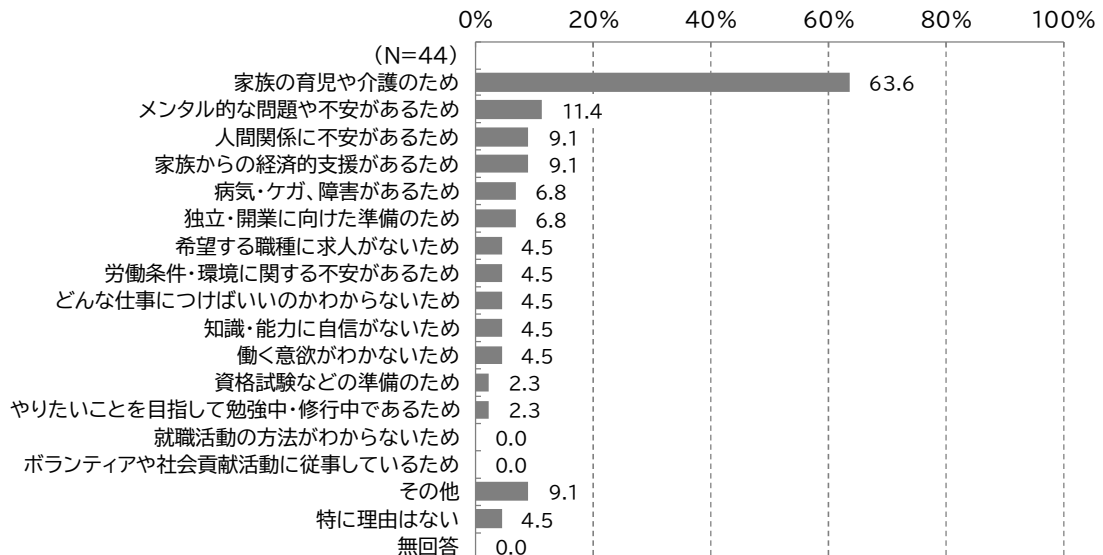
(単位：%)

	回答者数(人)	学生(予備校生などを含む)	正社員・正職員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)	自営業	自由業(個人で専門知識や技術を生かした職業)	専業主婦・主夫	働いておらず、現在、求職活動をしている	働いておらず、現在、求職活動をしていない	その他	無回答
全体	495	13.7	61.8	2.2	0.8	4.6	5.1	2.4	6.1	1.0	1.8	0.4	0.0
年齢	15~17歳	23	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18~21歳	36	91.7	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0
	22~29歳	130	7.7	72.3	3.8	0.8	4.6	3.1	4.6	1.5	1.5	0.0	0.0
	30~39歳	306	0.7	69.0	2.0	1.0	5.2	6.9	3.9	7.8	1.0	2.0	0.7

問19 問18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方にうかがいます。

現在、働いていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

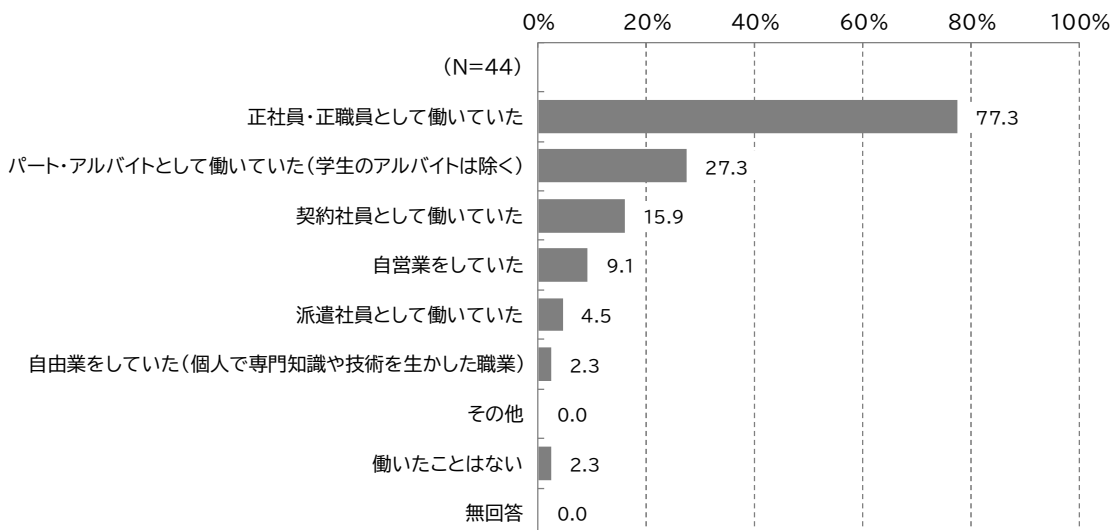
「家族の育児や介護のため」が63.6%と最も多く、次いで「メンタル的な問題や不安があるため」が11.4%、「人間関係に不安があるため」「家族からの経済的支援があるため」「その他」がともに9.1%となっている。



問20 問18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方にうかがいます。

あなたは、これまで働いたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

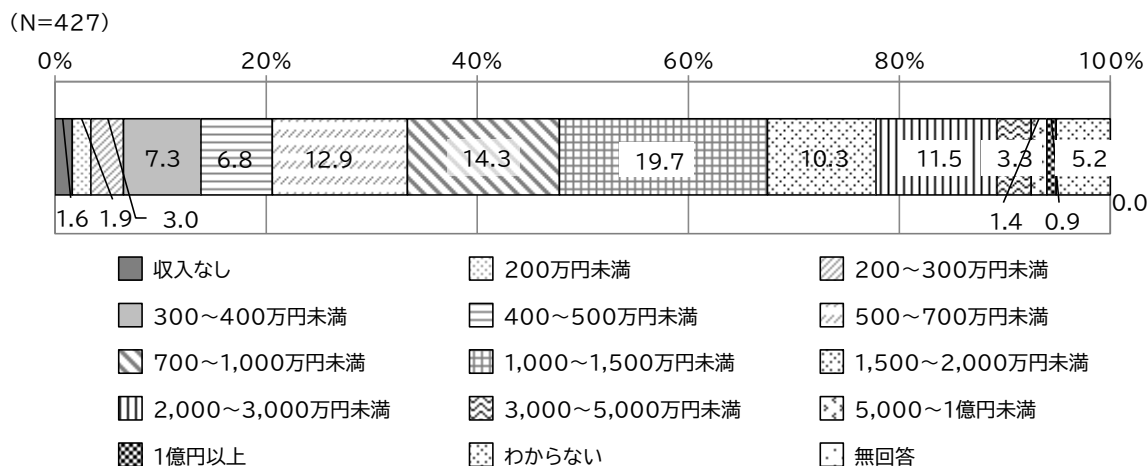
「正社員・正職員として働いていた」が77.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイトとして働いていた(学生のアルバイトは除く)」が27.3%、「契約社員として働いていた」が15.9%となっている。



問21 学生以外の方にかがいます。

あなたと生計をともにする世帯全体の年収（税込）は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

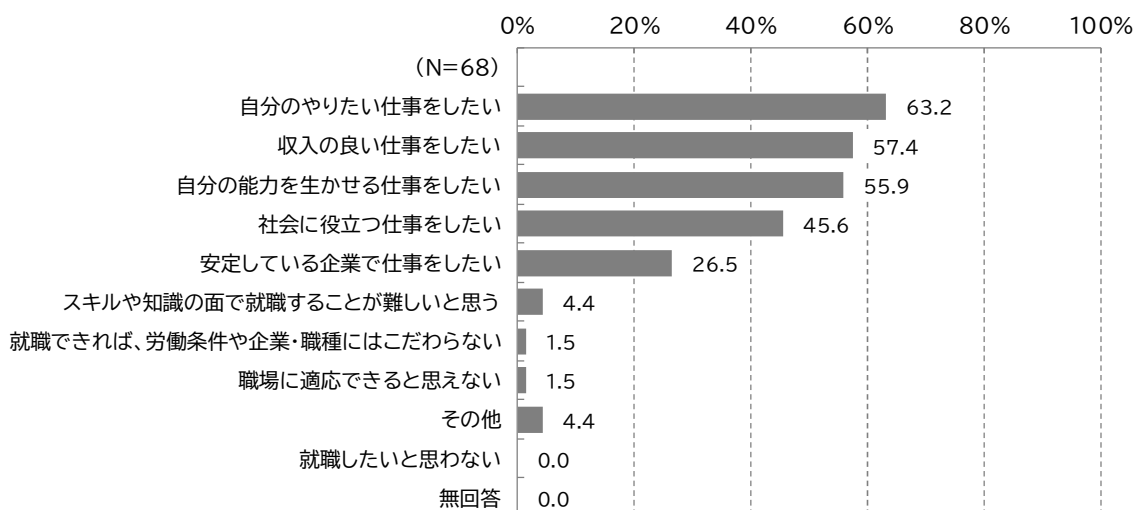
「1,000～1,500万円未満」が19.7%と最も多く、次いで「700～1,000万円未満」が14.3%、「500～700万円未満」が12.9%となっている。



問22 学生の方にかがいます。

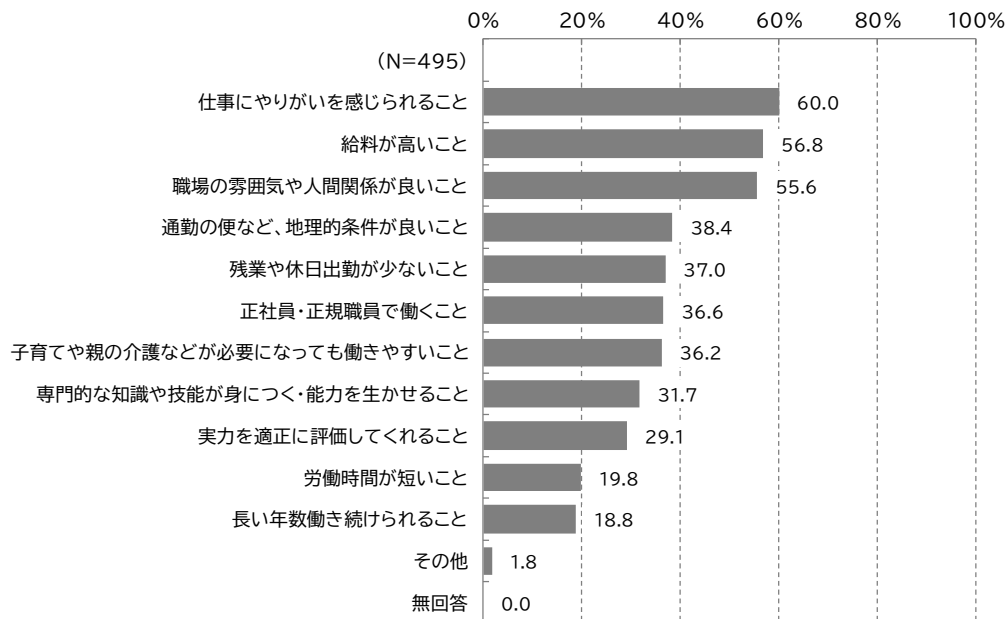
あなたは、将来の就職について、どのようにお考えですか。（あてはまる番号すべてに○）

「自分のやりたい仕事をしたい」が63.2%と最も多く、次いで「収入の良い仕事をしたい」が57.4%、「自分の能力を生かせる仕事をしたい」が55.9%となっている。



問 23 あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

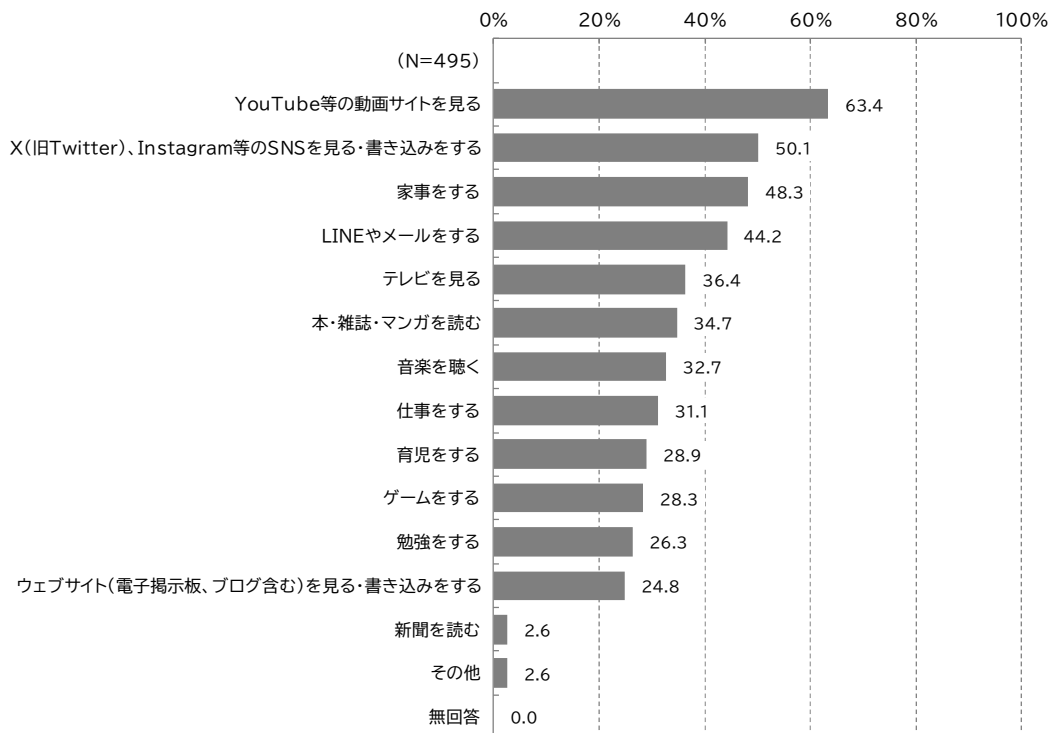
「仕事にやりがいを感じられること」が 60.0%と最も多く、次いで「給料が高いこと」が 56.8%、「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が 55.6%となっている。



(4) 生活状況について

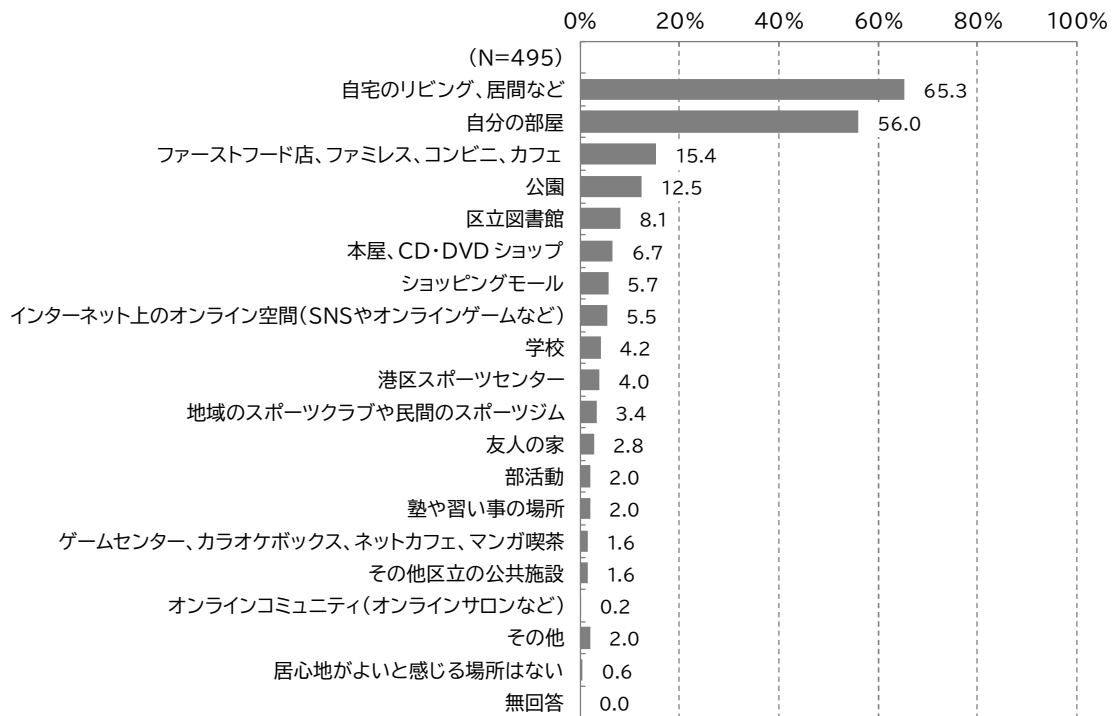
問 24 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「YouTube 等の動画サイトを見る」が 63.4%と最も多く、次いで「X (旧 Twitter)、Instagram 等の SNS を見る・書き込みをする」が 50.1%、「家事をする」が 48.3%となっている。



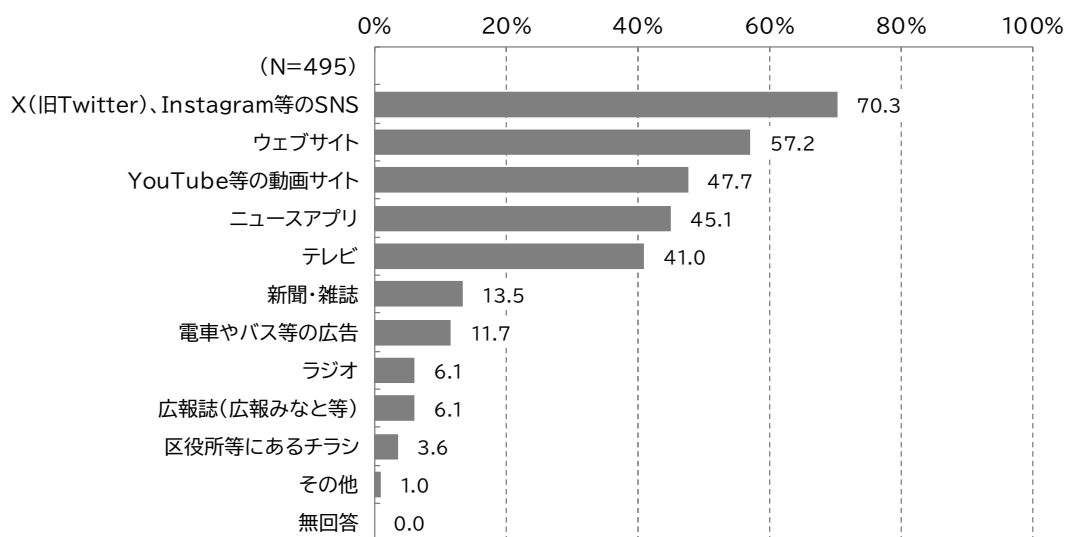
問 25 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

「自宅のリビング、居間など」が65.3%と最も多く、次いで「自分の部屋」が56.0%、「ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ」が15.4%となっている。



問 26 あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

「X(旧Twitter)、Instagram等のSNS」が70.3%と最も多く、次いで「ウェブサイト」が57.2%、「YouTube等の動画サイト」が47.7%となっている。

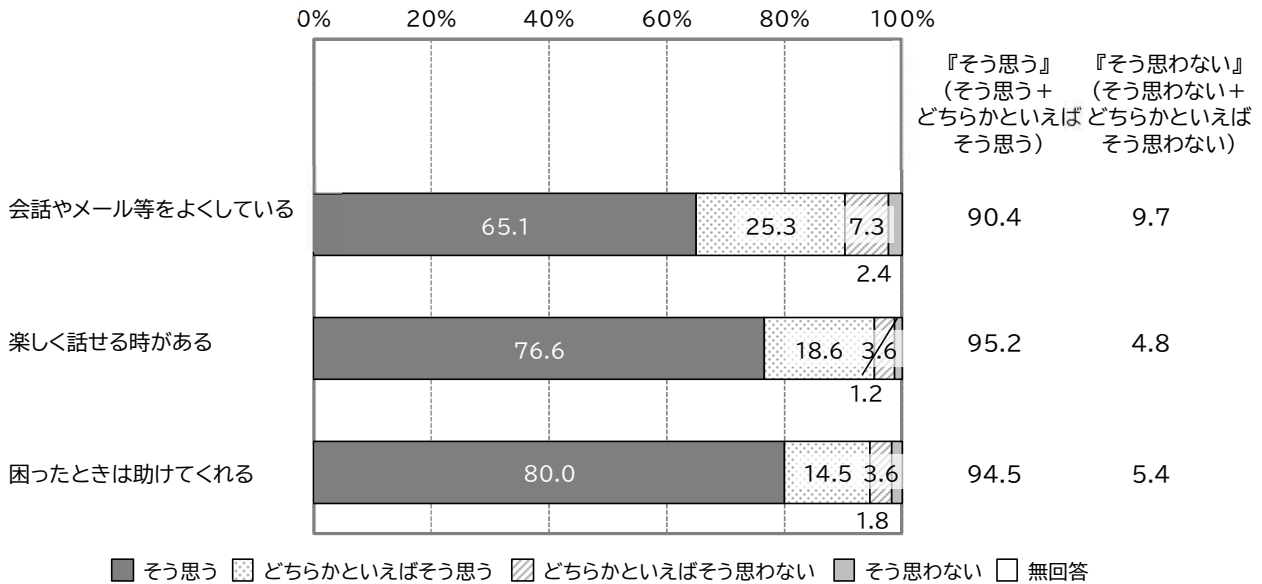


(5) 人間関係・地域との関わりについて

問 27 家族・親族と、あなたの関わりは、どのようなものですか。(あてはまる番号ひとつに○)

“会話やメール等をよくしている”“楽しく話せる時がある”“困ったときは助けてくれる”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 90.4%、95.2%、94.5%となっている。

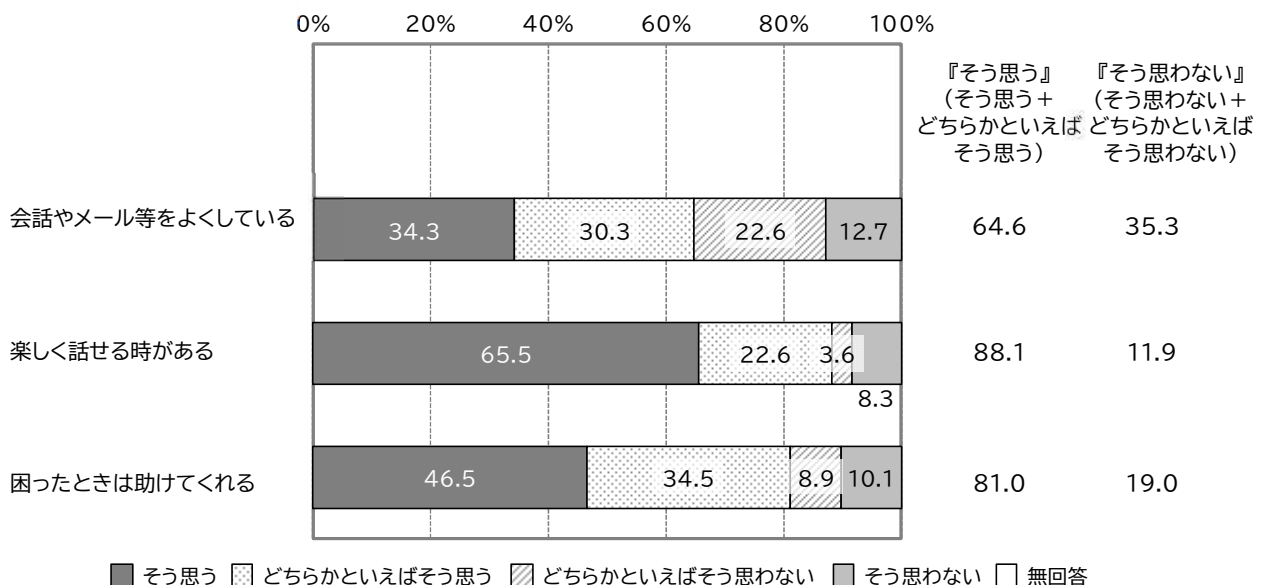
(N=495)



問 28 学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同級生など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。(あてはまる番号ひとつに○)

“会話やメール等をよくしている”“楽しく話せる時がある”“困ったときは助けてくれる”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 64.6%、88.1%、81.0%となっている。

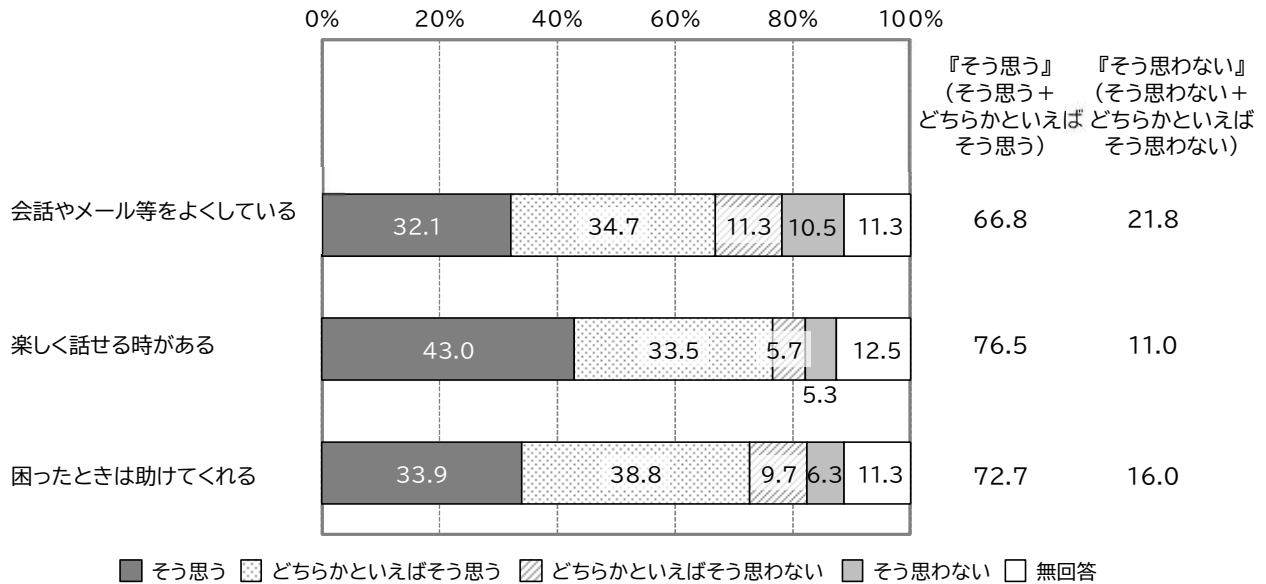
(N=495)



問 29 職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。（あてはまる番号ひとつに○）

“会話やメール等をよくしている” “楽しく話せる時がある” “困ったときは助けてくれる” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 66.8%、76.5%、72.7%となっている。

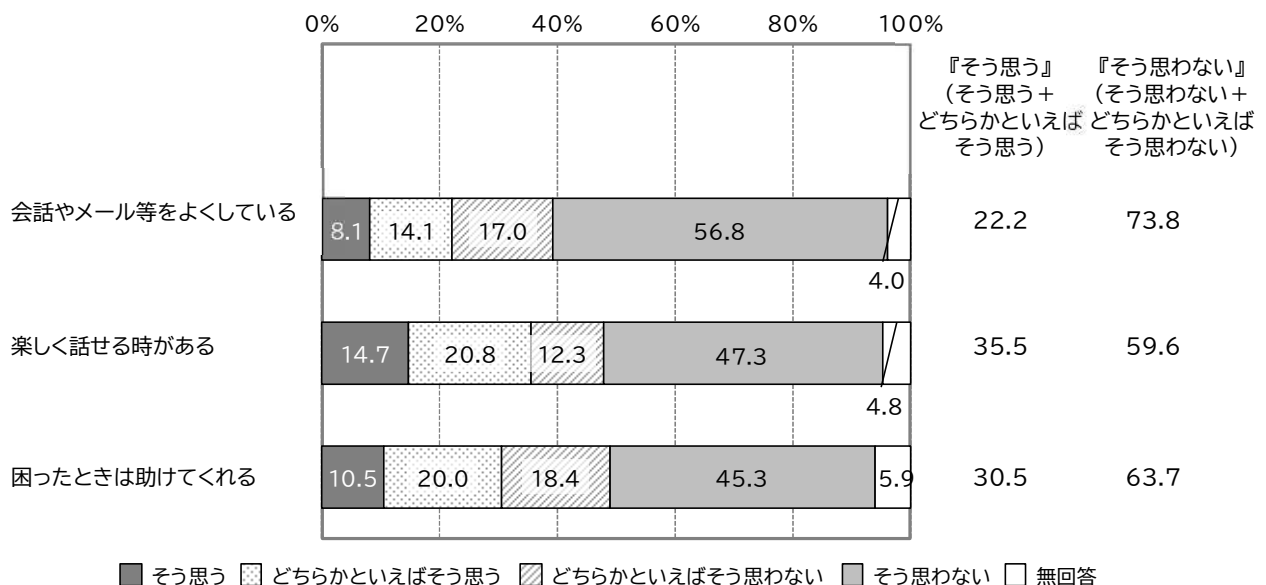
(N=495)



問 30 地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。（あてはまる番号ひとつに○）

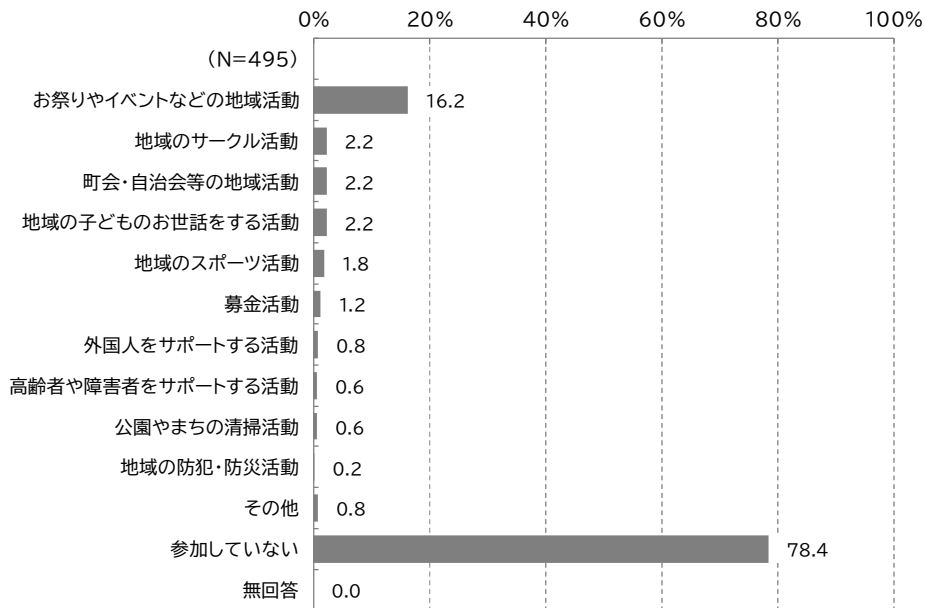
“会話やメール等をよくしている” “楽しく話せる時がある” “困ったときは助けてくれる” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 22.2%、35.5%、30.5%となっている。

(N=495)



問 31 あなたは現在、次のような地域活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

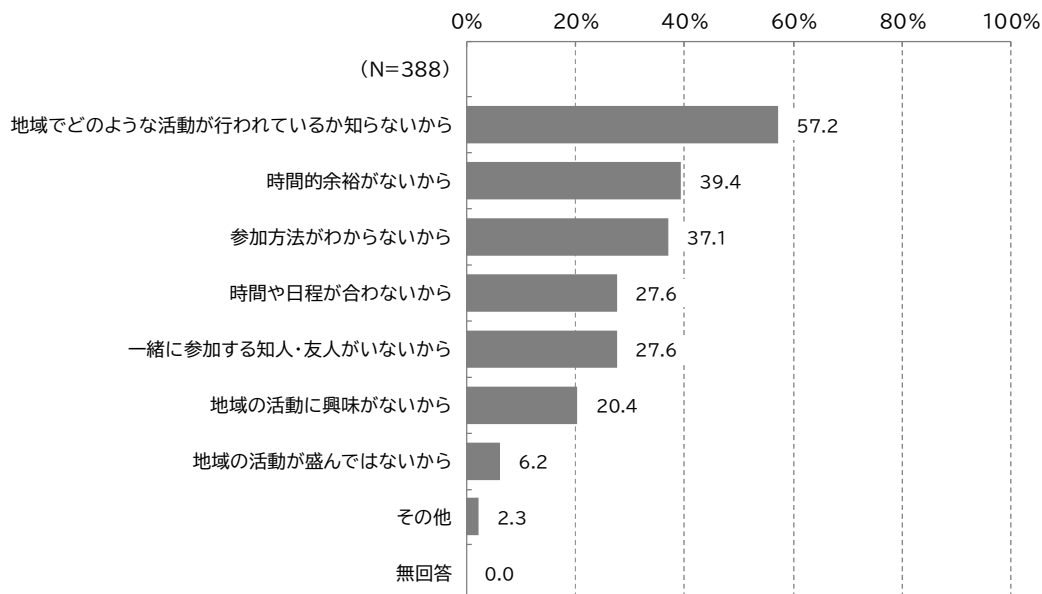
「参加していない」が78.4%と最も多く、次いで「お祭りやイベントなどの地域活動」が16.2%、「地域のサークル活動」「町会・自治会等の地域活動」「地域の子どものお世話をする活動」がともに2.2%となっている。



問 32 問 31 で「参加していない」と回答した方にうかがいます。

参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「地域でどのような活動が行われているか知らないから」が57.2%と最も多く、次いで「時間的余裕がないから」が39.4%、「参加方法がわからないから」が37.1%となっている。

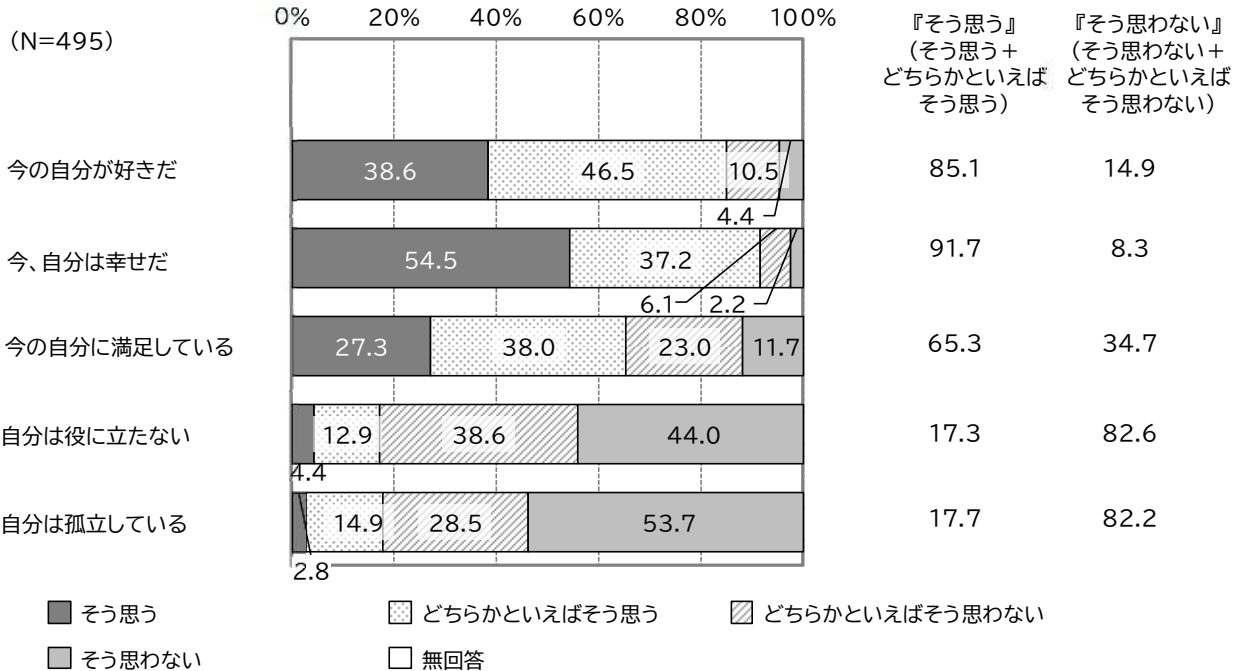


(6) 悩みごとや相談先について

問 33 次の項目について、あなたはどのように感じますか。(あてはまる番号ひとつに○)

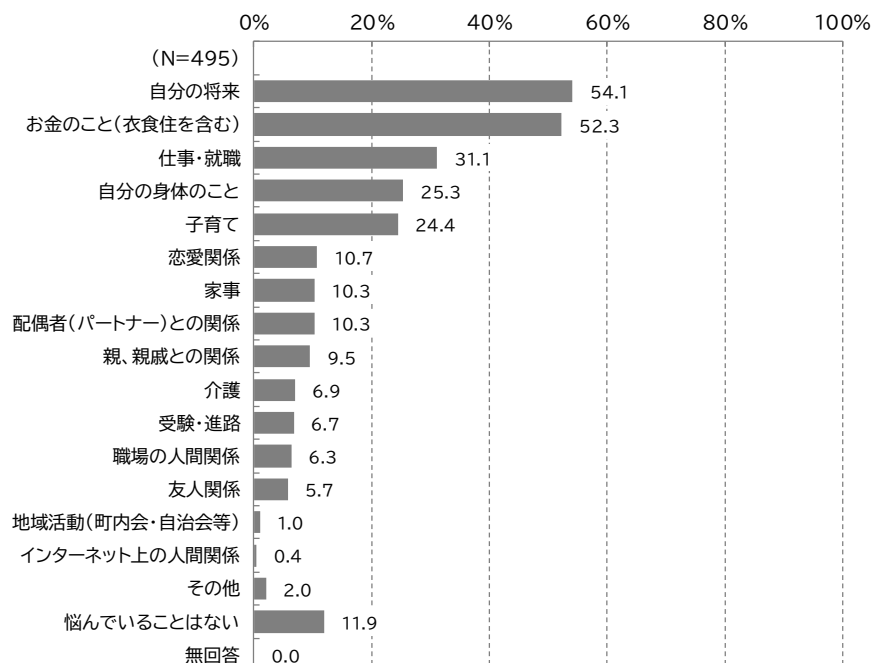
“今の自分が好きだ” “今、自分は幸せだ” “今の自分に満足している” において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』がそれぞれ 85.1%、91.7%、65.3%となっている。

“自分は役に立たない” “自分は孤立している” において、『そう思う』がそれぞれ 17.3%、17.7%となっている。



問 34 あなたは現在、不安や悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○) 不安や悩みの内容を可能な範囲でご記入ください(任意)

「自分の将来」が 54.1%と最も多く、次いで「お金のこと(衣食住を含む)」が 52.3%、「仕事・就職」が 31.1%となっている。



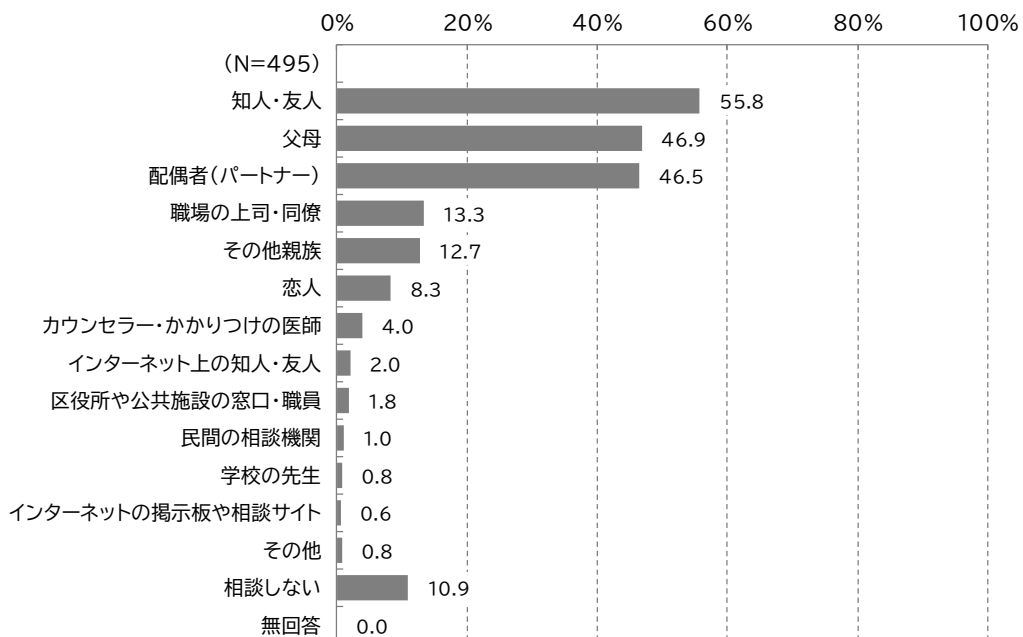
【参考：クロス表（年齢）】

(単位：%)

		回答者数 (人)	家事	お金のこと (衣食住を含む)	自分の身 体のこと	自分の将 来	受験・進 路	仕事・就 職	地域活動 (町内 会・自治 会等)	配偶者 (パート ナー)と の関係	親、親戚 との関係
全体		495	10.3	52.3	25.3	54.1	6.7	31.1	1.0	10.3	9.5
年 齢	15～17歳	23	0.0	13.0	8.7	56.5	56.5	8.7	0.0	0.0	17.4
	18～21歳	36	2.8	30.6	19.4	58.3	25.0	36.1	2.8	2.8	2.8
	22～29歳	130	5.4	54.6	17.7	60.8	3.8	27.7	0.0	11.5	8.5
	30～39歳	306	14.1	56.9	30.4	50.7	2.0	33.7	1.3	11.4	10.1
		回答者数 (人)	介護	子育て	友人関係	恋愛関係	職場の人 間関係	インター ネット上 の人間関 係	悩んでい ることは ない	その他	無回答
全体		495	6.9	24.4	5.7	10.7	6.3	0.4	11.9	2.0	0.0
年 齢	15～17歳	23	0.0	0.0	17.4	13.0	0.0	0.0	17.4	4.3	0.0
	18～21歳	36	0.0	2.8	13.9	19.4	5.6	2.8	16.7	2.8	0.0
	22～29歳	130	4.6	13.1	6.9	17.7	6.9	0.8	13.1	1.5	0.0
	30～39歳	306	9.2	33.7	3.3	6.5	6.5	0.0	10.5	2.0	0.0

問35 あなたは普段、悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「知人・友人」が55.8%と最も多く、次いで「父母」が46.9%、「配偶者（パートナー）」が46.5%となっている。



【参考：クロス表（年齢）】

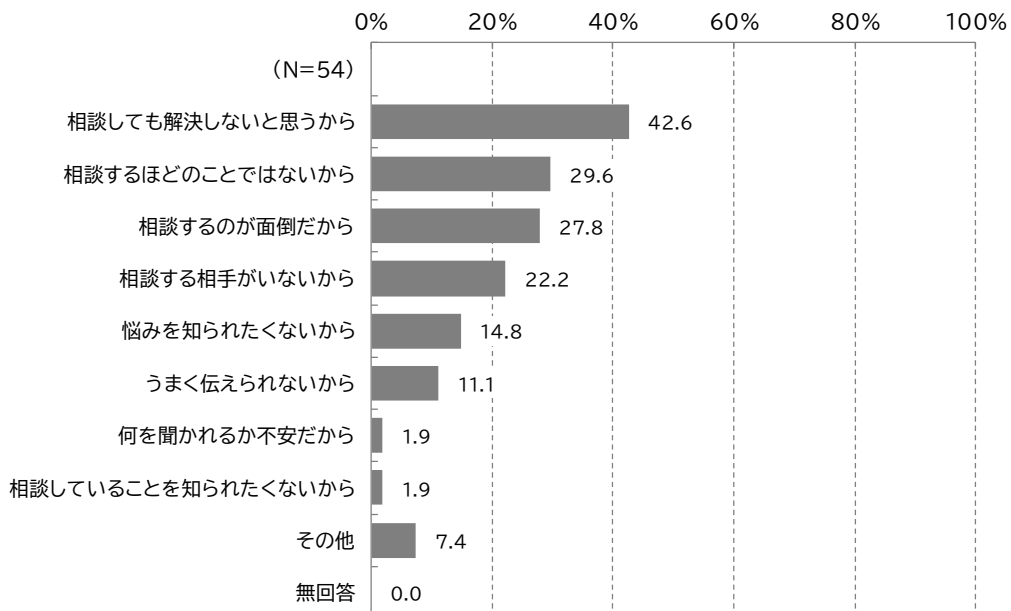
(単位：%)

		回答者数 (人)	配偶者 (パート ナー)	父母	その他親 族	知人・友 人	恋人	学校の先 生	職場の上 司・同僚	カウンセ ラー・か かりつけ の医師
全体		495	46.5	46.9	12.7	55.8	8.3	0.8	13.3	4.0
年 齢	15～17歳	23	0.0	65.2	4.3	56.5	0.0	8.7	0.0	4.3
	18～21歳	36	8.3	58.3	11.1	61.1	5.6	0.0	2.8	2.8
	22～29歳	130	25.4	52.3	13.1	67.7	17.7	0.8	16.2	3.1
	30～39歳	306	63.4	41.8	13.4	50.0	5.2	0.3	14.4	4.6
		回答者数 (人)	区役所や 公共施設 の窓口・ 職員	民間の相 談機関	インター ネットの 掲示板や 相談サイ ト	インター ネット上 の知人・ 友人	相談しな い	その他	無回答	
全体		495	1.8	1.0	0.6	2.0	10.9	0.8	0.0	
年 齢	15～17歳	23	4.3	0.0	0.0	8.7	17.4	4.3	0.0	
	18～21歳	36	0.0	0.0	0.0	2.8	13.9	0.0	0.0	
	22～29歳	130	0.0	0.8	0.0	1.5	7.7	0.8	0.0	
	30～39歳	306	2.6	1.3	1.0	1.6	11.4	0.7	0.0	

問 36 問 35 で「相談しない」と回答した方にかがいます。

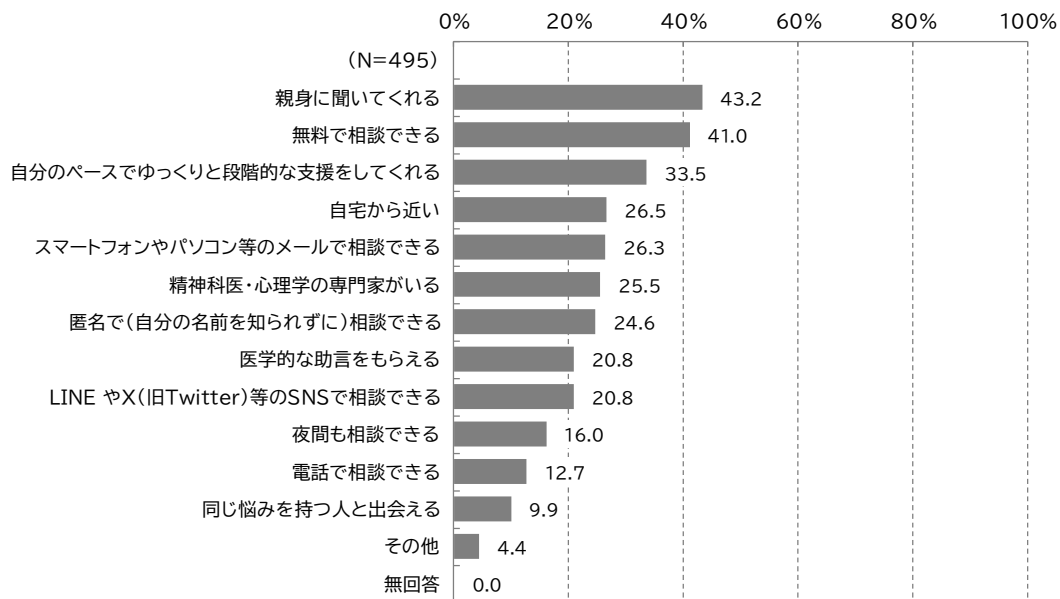
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「相談しても解決しないと思うから」が 42.6%と最も多く、次いで「相談するほどのことではないから」が 29.6%、「相談するのが面倒だから」が 27.8%となっている。



問 37 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。(あてはまる番号すべてに○)

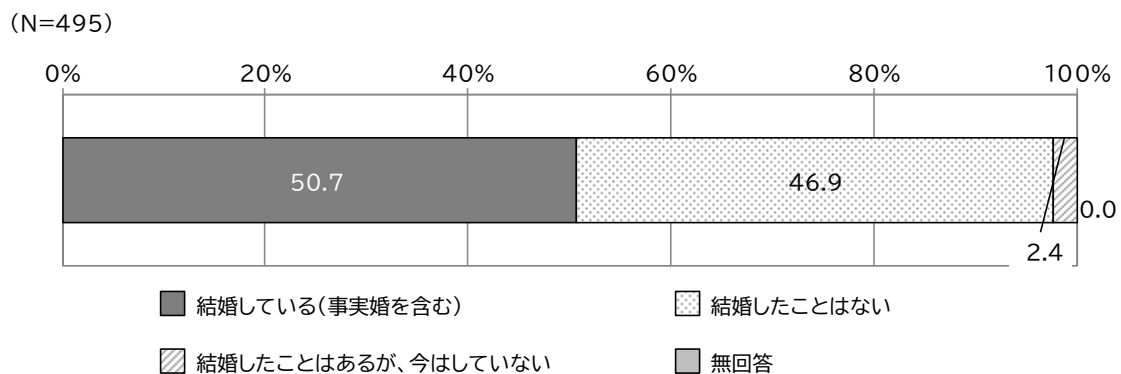
「親身に聞いてくれる」が43.2%と最も多く、次いで「無料で相談できる」が41.0%、「自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる」が33.5%となっている。



(7) 婚姻状況、子どもの有無について

問 38 現在、あなたは結婚していますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「結婚している(事実婚を含む)」が50.7%と最も多く、次いで「結婚したことはない」が46.9%、「結婚したことはあるが、今はしていない」が2.4%となっている。



【参考：クロス表(年齢)】

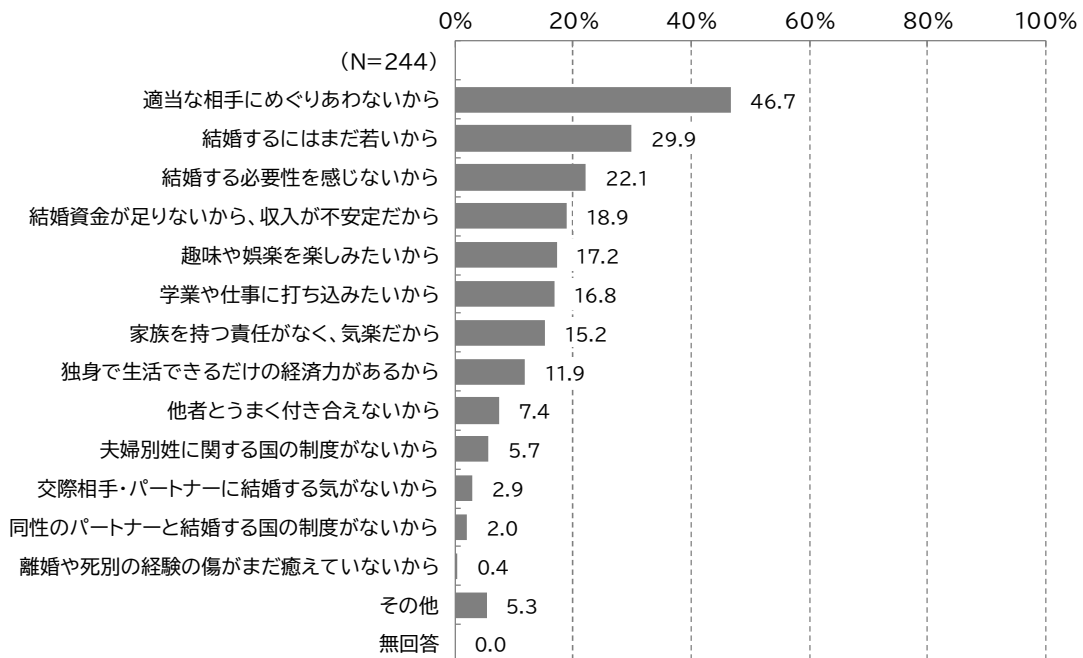
(単位：%)

		回答者数(人)	結婚している(事実婚を含む)	結婚したことはない	結婚したことはあるが、今はしていない	無回答
全体		495	50.7	46.9	2.4	0.0
年齢	15~17歳	23	0.0	100.0	0.0	0.0
	18~21歳	36	2.8	97.2	0.0	0.0
	22~29歳	130	23.8	75.4	0.8	0.0
	30~39歳	306	71.6	25.8	3.6	0.0

問39 問38で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方にうかがいます。

現在、結婚していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「適当な相手にめぐりあわないから」が46.7%と最も多く、次いで「結婚するにはまだ若いから」が29.9%、「結婚する必要性を感じないから」が22.1%となっている。



【参考：クロス表（年齢）】

(単位：%)

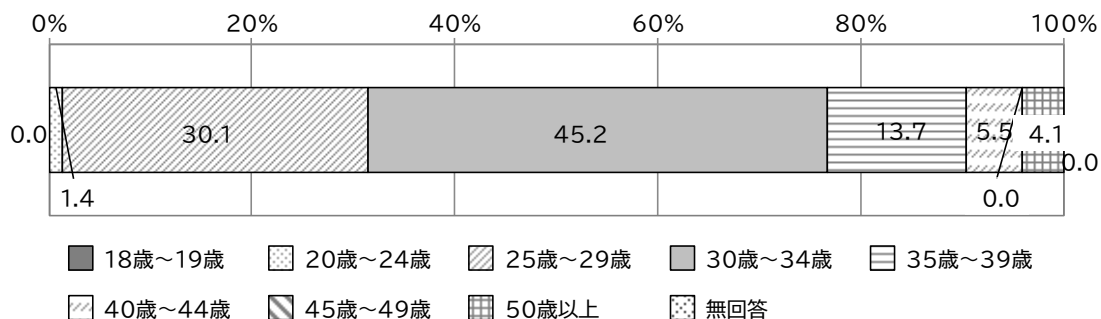
		回答者数 (人)	結婚する にはまだ 若いから	適当な相 手にめぐ りあわな いから	結婚資金 が足りない から、 収入が不安定だから	学業や仕 事に打ち 込みたい から	趣味や娯 楽を楽し みたいか ら	家族を持 つ責任が なく、気 楽だから	結婚する 必要性を 感じない から	独身で生 活できる だけの経 済力があ るから
全体		244	29.9	46.7	18.9	16.8	17.2	15.2	22.1	11.9
年齢	15～17歳	23	78.3	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	4.3	0.0
	18～21歳	35	77.1	22.9	8.6	22.9	14.3	8.6	14.3	0.0
	22～29歳	99	25.3	55.6	25.3	17.2	22.2	17.2	18.2	10.1
	30～39歳	87	3.4	57.5	20.7	14.9	17.2	19.5	34.5	21.8
		回答者数 (人)	他者とう まく付き 合えない から	同性の パート ナーと結 婚する国 の制度が ないから	夫婦別姓 に関する 国の制度 がないか ら	交際相 手・パート ナーに結 婚する 気がない から	離婚や死 別の経験 の傷がま だ癒えて いないか ら	その他	無回答	
全体		244	7.4	2.0	5.7	2.9	0.4	5.3	0.0	
年齢	15～17歳	23	0.0	4.3	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	
	18～21歳	35	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	
	22～29歳	99	7.1	2.0	4.0	2.0	0.0	7.1	0.0	
	30～39歳	87	12.6	2.3	9.2	4.6	1.1	4.6	0.0	

問 40 問 39 で「結婚するにはまだ若いから」と回答した方にうかがいます。

何歳頃までに結婚したいですか。

「30歳～34歳」が45.2%と最も多く、次いで「25歳～29歳」が30.1%、「35歳～39歳」が13.7%となっている。

(N=73)

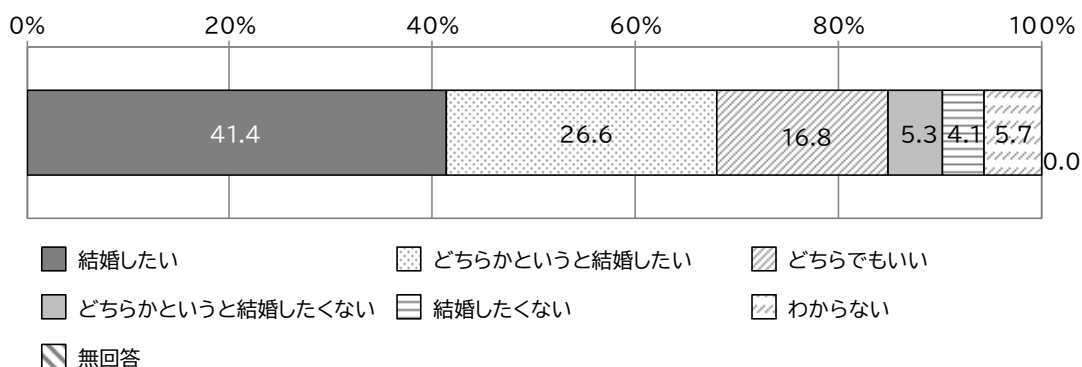


問 41 問 38 で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方にうかがいます。

今後、結婚することに対してどのようにお考えですか。(あてはまる番号ひとつに○)

「結婚したい」が41.4%と最も多く、次いで「どちらかという結婚したい」が26.6%、「どちらでもいい」が16.8%となっている。

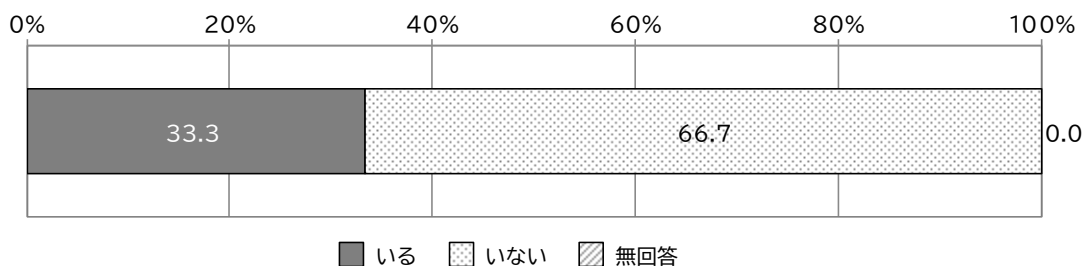
(N=244)



問 42 現在、あなたには子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

「いない」が66.7%、「いる」が33.3%となっている。

(N=495)



【参考：クロス表（年齢）】

(単位：%)

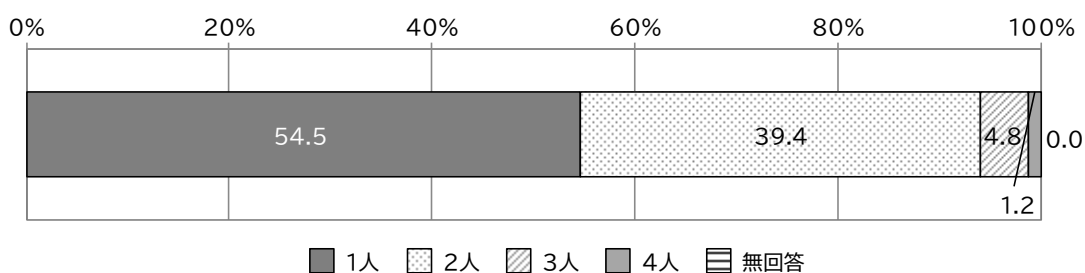
		回答者数 (人)	いる	いない	無回答
全体		495	33.3	66.7	0.0
年齢	15～17歳	23	0.0	100.0	0.0
	18～21歳	36	2.8	97.2	0.0
	22～29歳	130	7.7	92.3	0.0
	30～39歳	306	50.3	49.7	0.0

問43 問42で「(子どもが) いる」と回答した方にうかがいます。

お子さんは何人いますか。

「1人」が54.5%と最も多く、次いで「2人」が39.4%、「3人」が4.8%となっている。

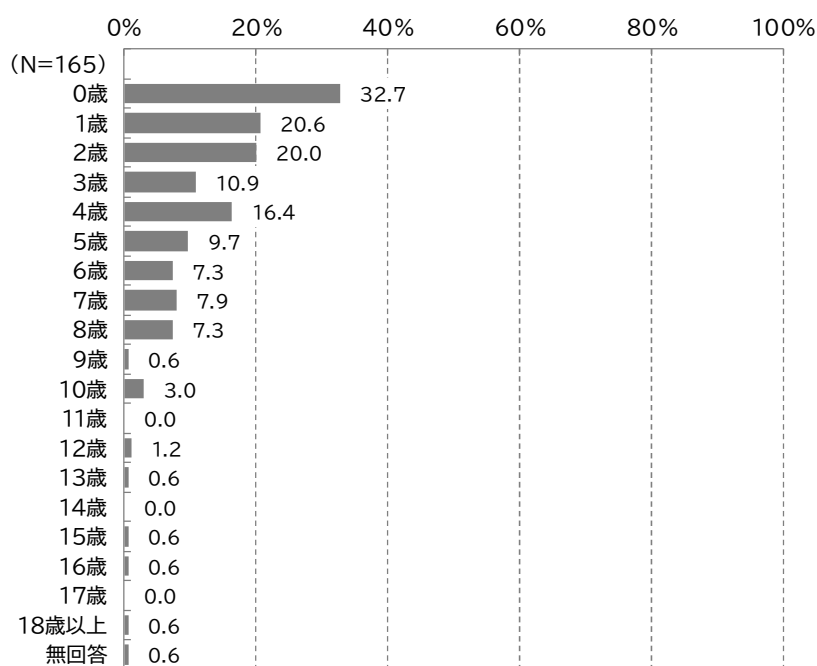
(N=165)



問44 問42で「(子どもが) いる」と回答した方にうかがいます。

お子さんの生まれた年と月をお答えください。

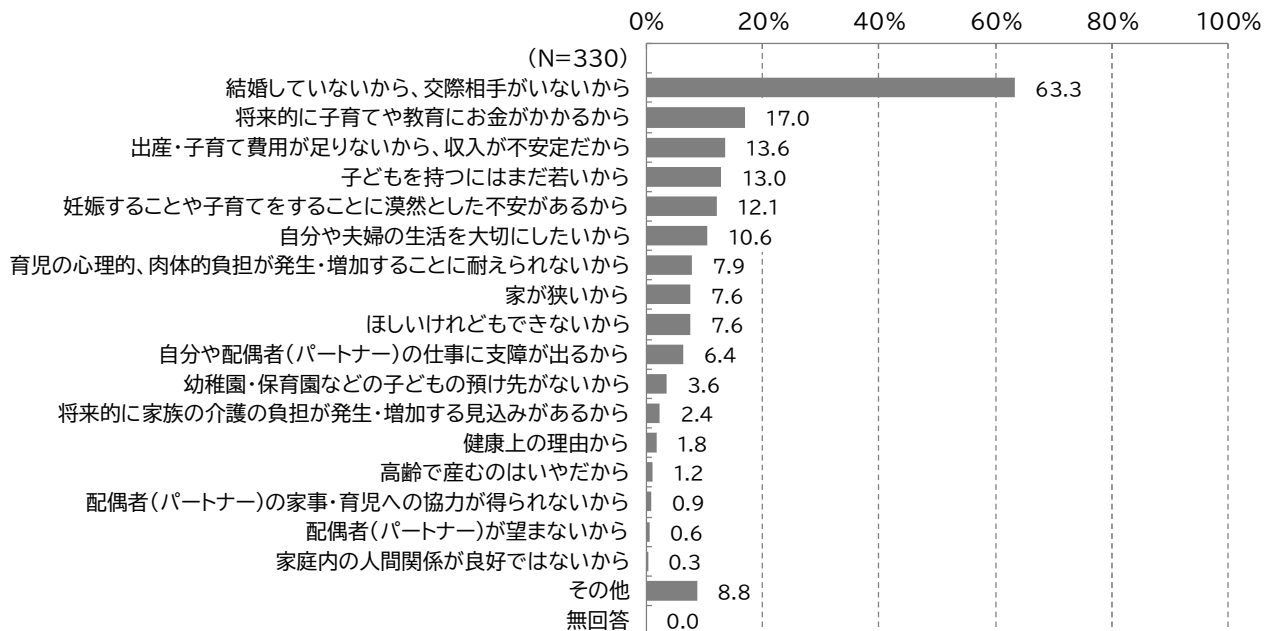
「0歳」が32.7%と最も多く、次いで「1歳」が20.6%、「2歳」が20.0%となっている。



問45 問42で「(子どもは) いない」と回答した方にうかがいます。

現在、子どもをお持ちでない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「結婚していないから、交際相手がないから」が63.3%と最も多く、次いで「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が17.0%、「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」が13.6%となっている。



【参考：クロス表 (年齢)】

(単位：%)

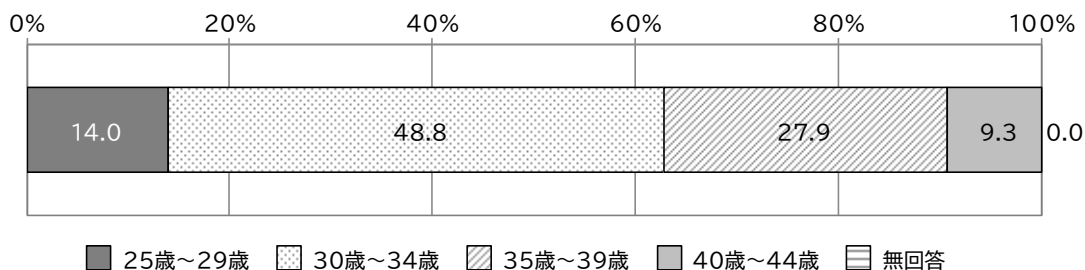
		回答者数 (人)	結婚していないから、交際相手がないから	子どもを持つにはまだ若いから	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	家庭内の人間関係が良好ではないから	自分や配偶者(パートナー)の仕事に支障が出るから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
全体		330	63.3	13.0	13.6	17.0	7.6	3.6	0.3	6.4	10.6	0.9
年齢	15~17歳	23	82.6	43.5	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18~21歳	35	94.3	22.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	22~29歳	120	71.7	17.5	20.8	20.8	5.0	4.2	0.0	5.0	11.7	2.5
	30~39歳	152	46.7	2.6	12.5	20.4	11.2	3.9	0.7	9.9	13.8	0.0
全体		330	7.9	2.4	12.1	1.8	7.6	1.2	0.6	8.8	0.0	
年齢	15~17歳	23	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	
	18~21歳	35	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	22~29歳	120	9.2	2.5	15.0	0.8	0.0	0.0	0.8	9.2	0.0	
	30~39歳	152	9.9	3.3	13.8	2.6	16.4	2.6	0.7	11.2	0.0	

問 46 問 45 で「子どもを持つにはまだ若いから」と回答した方にうかがいます。

何歳頃までに子どもを持ちたいですか。

「30 歳～34 歳」が 48.8%と最も多く、次いで「35 歳～39 歳」が 27.9%、「25 歳～29 歳」が 14.0%となっている。

(N=43)

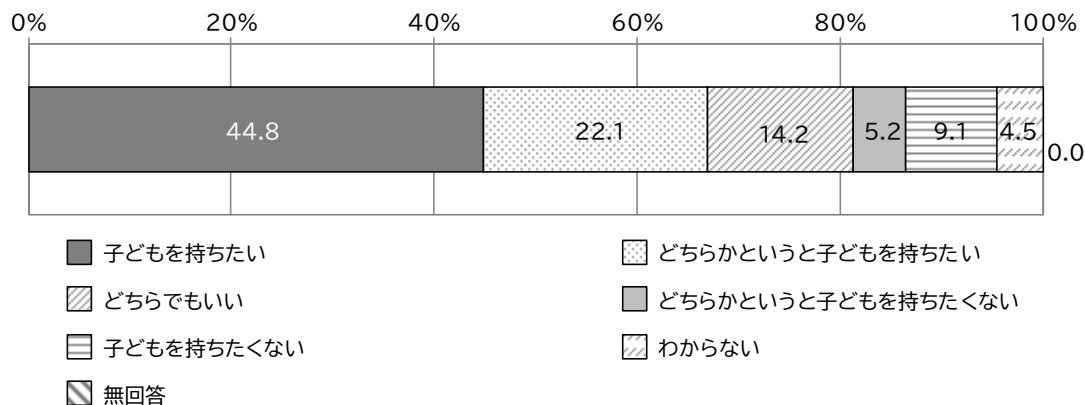


問 47 問 42 で「(子どもは) いない」と回答した方にうかがいます。

今後、子どもを持つことに対してどのようにお考えですか。(あてはまる番号ひとつに○)

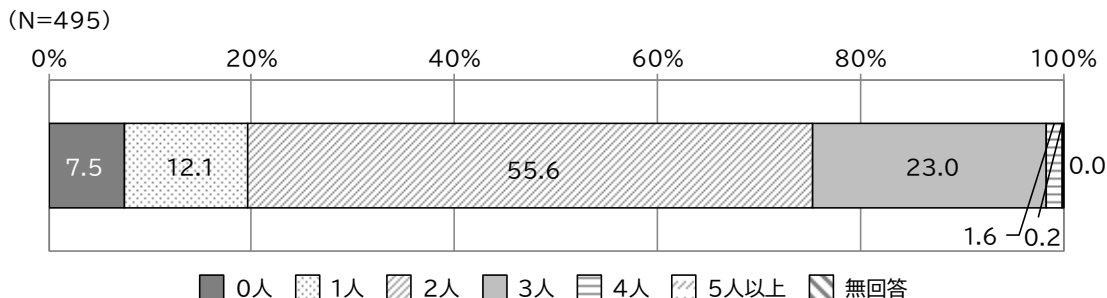
「子どもを持ちたい」が 44.8%と最も多く、次いで「どちらかという子どもを持ちたい」が 22.1%、「どちらでもいい」が 14.2%となっている。

(N=330)



問 48 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。

「2人」が 55.6%と最も多く、次いで「3人」が 23.0%、「1人」が 12.1%となっている。平均の理想的な子どもの数は 2.0 人となっている。



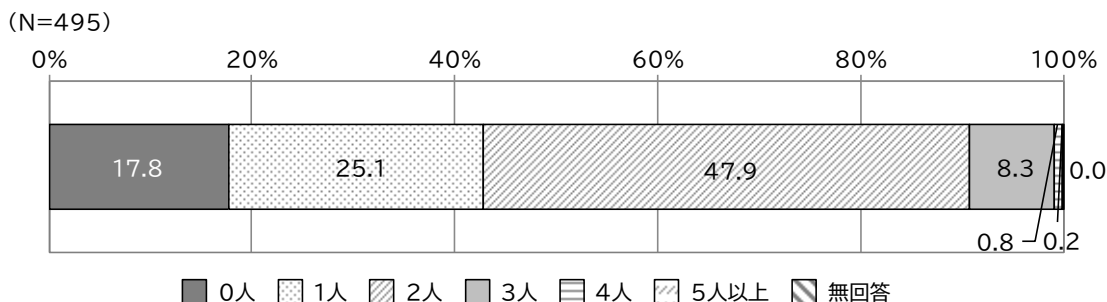
【参考：クロス表（性別）】

(単位：%)

		回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		495	7.5	12.1	55.6	23.0	1.6	0.2	0.0
性別	男	173	8.1	9.8	59.5	21.4	1.2	0.0	0.0
	女	313	7.0	13.1	54.0	23.6	1.9	0.3	0.0
	その他・答えたくない	9	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

問 49 実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。現在いらっしゃるお子さんを含めてお答えください。

「2人」が 47.9%と最も多く、次いで「1人」が 25.1%、「0人」が 17.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は 1.5 人となっている。



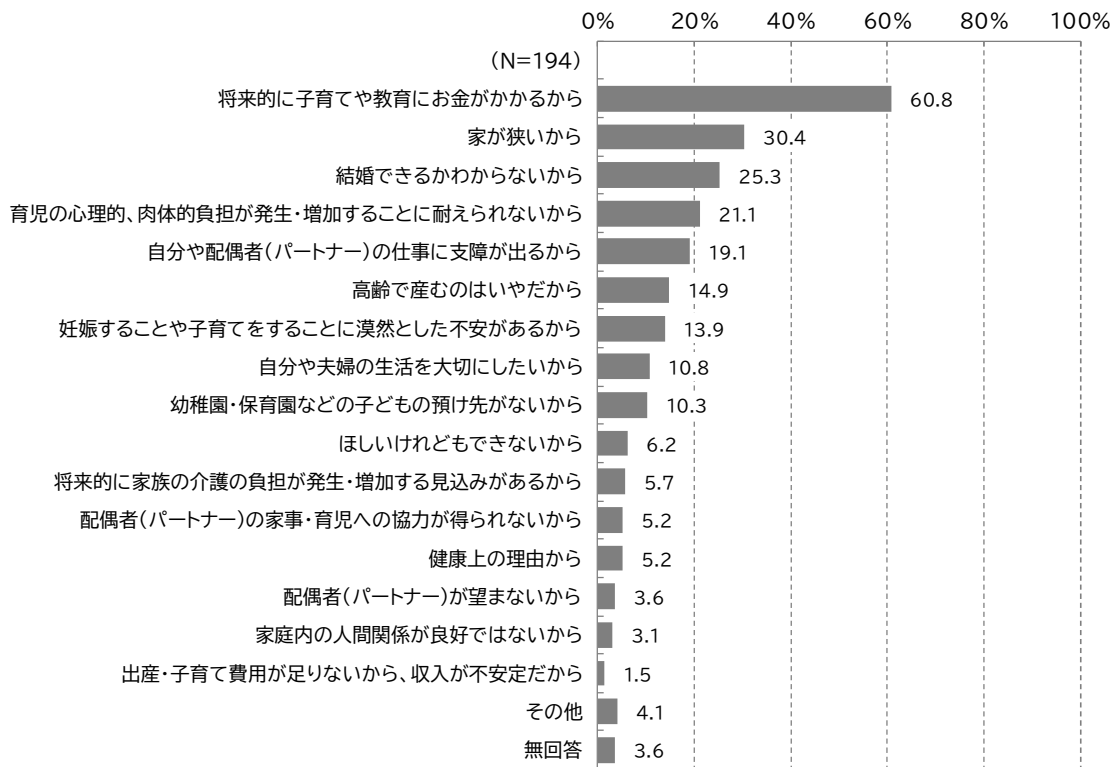
【参考：クロス表（性別）】

(単位：%)

		回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		495	17.8	25.1	47.9	8.3	0.8	0.2	0.0
性別	男	173	19.1	20.8	50.9	8.7	0.6	0.0	0.0
	女	313	16.3	26.8	47.3	8.3	1.0	0.3	0.0
	その他・答えたくない	9	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

問 50 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方にうかがいます。
 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか。(あてはまる番号
 すべてに○)

「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が 60.8%と最も多く、次いで「家が狭いから」が 30.4%、「結婚できるかわからないから」が 25.3%となっている。



【参考：クロス表 (性別)】

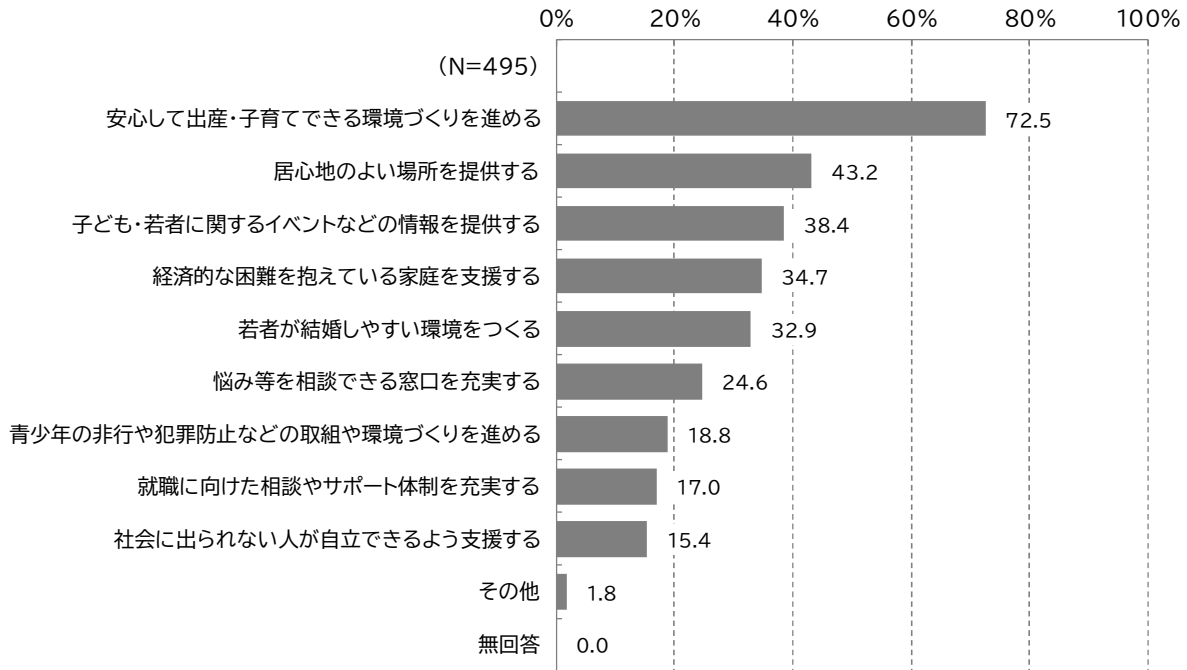
(単位：%)

		回答者数 (人)	結婚できる かわからないから	出産・子育て 費用が足りないから、 収入が不安定だから	将来的に 子育てや教育にお金 がかかるから	家が狭い から	幼稚園・ 保育園などの子ども の預け先がないから	家庭内の 人間関係が良好では ないから	自分や配 偶者(パート ナー)の 仕事に支 障が出る から	自分や夫 婦の生活 を大切に したいから	配偶者 (パート ナー)の家 事・育児 への協力 が得られ ないから
全体		194	25.3	1.5	60.8	30.4	10.3	3.1	19.1	10.8	5.2
性別	男	173	33.9	1.7	69.5	39.0	16.9	1.7	25.4	15.3	3.4
	女	313	20.2	1.6	57.4	27.9	7.8	3.9	15.5	9.3	6.2
	その他・答えたくない	9	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
		回答者数 (人)	育児の心理的、肉 体的負担 が発生・ 増加す ることに 耐えら れない から	将来的に 家族の 介護の 負担が 発生・ 増加す る見込 みがある から	妊娠す ること や育 てをす ることに 漠然と した不 安があ るから	健康上 の理由 から	ほしい けれど できな いから	高齢で 産むの はいや だから	配偶者 (パート ナー)が 望まな いから	その他	無回答
全体		194	21.1	5.7	13.9	5.2	6.2	14.9	3.6	4.1	3.6
性別	男	173	11.9	8.5	10.2	1.7	3.4	6.8	3.4	3.4	3.4
	女	313	25.6	4.7	15.5	6.2	7.8	18.6	3.9	4.7	3.1
	その他・答えたくない	9	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7

(8) 子ども・若者に対する取組や支援等について

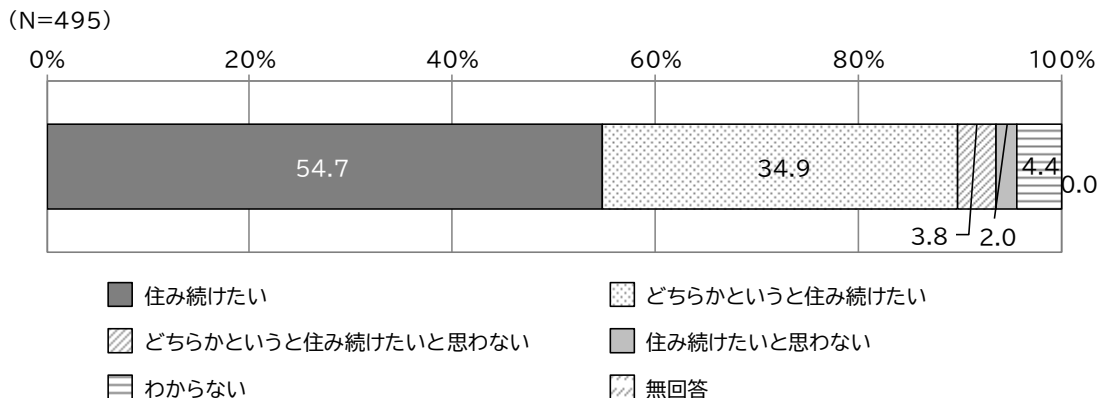
問 51 あなたは、港区が取り組む子ども・若者の施策に、どのようなことを望みますか。(あてはまる番号すべてに○)

「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」が72.5%と最も多く、次いで「居心地のよい場所を提供する」が43.2%、「子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する」が38.4%となっている。



問 52 これからも港区に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

「住み続けたい」が54.7%と最も多く、次いで「どちらかというに住み続けたい」が34.9%、「わからない」が4.4%となっている。



第3章 調査結果の分析

1. 小学校入学前の子どもの保護者

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点					
		居住地区	子の年齢	世帯構造	世帯年収	子育ての孤立感	前回比較※
(1) 基本属性							
問1	居住地区		●				
問7	住まい	●	●				
問8	居住年数	●	●				
問8-1	居住のきっかけ	●	●				
問8-2	転入理由	●	●				
(2) 子育て状況							
問6	子育てを主に行っている人		●				●
問9	子どもをみてもらえる親族・知人		●				●
問10	子育ての悩み		●	●			
問12	子育ての孤立感		●	●			●
(3) 就労・家計状況							
問15	現在の就労状況		●				●
問19	家計の収支状況			●	●		
問20	新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き			●	●		
(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況							
問21	定期的な教育・保育事業の利用状況	●	●				●
問21-1	定期的に利用している教育・保育事業	●	●				●
問22	定期的な教育・保育事業の利用希望	●	●				●
(5) 地域の子育て支援事業の利用状況							
問23	地域子育て支援拠点事業の利用状況	●	●				●
(6) 病気の際の対応							
問28-1	病気等で教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法	●	●				●
問28-2	病児・病後児のための保育サービスの利用希望	●	●				●
(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況							
問29	私用等で不定期に利用する事業の利用状況	●	●				●
問30	私用等で不定期に利用する事業の利用希望	●	●				●
(8) 小学校入学後の放課後の過ごし方							
問33	放課後に過ごさせたい場所	●					●
(9) 職場の両立支援制度							
問36	育児休業の取得状況、育児休業を取得していない理由						●
(10) 理想と持っつもりの子どもの数							
問38-2	実際に持っつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由				●	●	
(11) 子育て環境							
問39	子育て環境の満足度	●	●				●

※前回調査結果として掲載しているデータの出典

港区子ども・子育て支援ニーズ調査報告書 平成31年3月

(1) 基本属性

①居住地区（問1）

- ・ 年齢別にみると、“0歳”“2歳”“3歳”“5歳”は「芝浦港南地区」（それぞれ 35.0%、31.6%、29.0%、34.1%）、“1歳”は「麻布地区」（25.5%）、“4歳”は「高輪地区」（32.5%）が最も多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南 地区	無回答
全体		755	14.2	20.3	11.4	23.3	30.5	0.4
年齢	0歳	183	13.7	18.6	12.6	19.7	35.0	0.5
	1歳	102	16.7	25.5	10.8	23.5	23.5	0.0
	2歳	114	14.9	25.4	10.5	16.7	31.6	0.9
	3歳	100	19.0	16.0	10.0	26.0	29.0	0.0
	4歳	120	10.8	21.7	10.8	32.5	24.2	0.0
	5歳	129	11.6	16.3	13.2	24.0	34.1	0.8

②住まい（問7）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“麻布地区”“高輪地区”は「民間の賃貸マンション・アパート」（それぞれ 47.7%、54.9%、49.4%）、“赤坂地区”“芝浦港南地区”は「持家（マンション）」（それぞれ 37.2%、51.3%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“3歳”は「民間の賃貸マンション・アパート」（それぞれ 51.4%、54.9%、46.0%）、“2歳”“4歳”“5歳”は「持家（マンション）」（それぞれ 42.1%、44.2%、53.5%）が最も多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	持家（一 戸建て）	持家（マ ンシヨ ン）	借家（一 戸建て）	民間の賃 貸マン シヨ ン・ アパ ート	都営・区 営・区立 住宅	UR（旧 公団）・ 公社の賃 貸住宅	社宅・公 務員宿舎	その他	無回答
全体		755	4.2	40.1	1.9	42.9	1.6	1.1	6.1	1.5	0.7
居住 地区	芝地区	107	4.7	34.6	0.9	47.7	1.9	0.0	8.4	1.9	0.0
	麻布地区	153	7.2	27.5	3.9	54.9	0.0	0.0	4.6	1.3	0.7
	赤坂地区	86	9.3	37.2	1.2	33.7	3.5	2.3	8.1	3.5	1.2
	高輪地区	176	4.5	40.3	2.3	49.4	0.0	0.0	1.7	0.6	1.1
	芝浦港南地区	230	0.0	51.3	0.9	31.7	3.0	2.6	8.7	1.3	0.4
	年齢	0歳	183	3.8	35.0	0.0	51.4	1.1	0.5	7.7	0.0
1歳		102	2.9	31.4	2.0	54.9	1.0	0.0	5.9	1.0	1.0
2歳		114	3.5	42.1	1.8	36.0	1.8	3.5	6.1	4.4	0.9
3歳		100	7.0	33.0	2.0	46.0	3.0	0.0	6.0	2.0	1.0
4歳		120	5.0	44.2	4.2	39.2	0.8	1.7	5.0	0.0	0.0
5歳		129	3.9	53.5	2.3	29.5	1.6	0.8	5.4	2.3	0.8

③居住年数（問8）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「5～10年未満」が約3割と最も多く、次いで「10～20年未満」となっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”は「5～10年未満」（それぞれ31.1%、28.4%、29.8%、34.0%、34.2%），“5歳”は「10～20年未満」（37.2%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～20年 未満	20年以上	生まれてからずっと港区に住んでいる	無回答
全体		755	7.7	13.8	14.0	31.7	22.8	4.9	4.9	0.3
居住地区	芝地区	107	0.9	11.2	17.8	33.6	25.2	4.7	6.5	0.0
	麻布地区	153	9.2	13.7	12.4	29.4	20.9	5.9	7.8	0.7
	赤坂地区	86	9.3	10.5	14.0	27.9	25.6	5.8	5.8	1.2
	高輪地区	176	9.1	14.8	9.7	29.0	25.6	6.8	5.1	0.0
	芝浦港南地区	230	8.3	15.7	17.0	36.1	19.1	2.6	1.3	0.0
年齢	0歳	183	11.5	21.9	18.6	31.1	9.8	3.3	3.8	0.0
	1歳	102	10.8	14.7	12.7	28.4	22.5	4.9	5.9	0.0
	2歳	114	4.4	17.5	14.0	29.8	26.3	3.5	3.5	0.9
	3歳	100	5.0	8.0	18.0	34.0	20.0	9.0	5.0	1.0
	4歳	120	8.3	9.2	9.2	34.2	26.7	5.8	6.7	0.0
	5歳	129	4.7	7.8	8.5	31.8	37.2	4.7	5.4	0.0

④居住のきっかけ（問8-1）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「子どもの出生前から住んでいる」が5割以上と最も多く、“芝地区”（72.9%）はその他の地区と比べて多くなっている。次いで「その他」となっている。
- ・ 年齢別にみると、いずれも「子どもの出生前から住んでいる」が5割以上と最も多く、次いで「その他」となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	子どもの出生を機に転入した	保育園・幼稚園への入園のために転入した	インターナショナルスクールに入るために転入した	子どもの出生前から住んでいる	その他	特に理由はない	無回答
全体		755	8.6	3.3	2.3	61.1	17.7	6.4	0.7
居住地区	芝地区	107	3.7	3.7	1.9	72.9	11.2	5.6	0.9
	麻布地区	153	11.8	3.9	5.9	58.8	13.1	5.9	0.7
	赤坂地区	86	7.0	2.3	1.2	61.6	18.6	8.1	1.2
	高輪地区	176	6.8	2.8	1.7	61.9	18.8	8.0	0.0
	芝浦港南地区	230	10.9	3.5	0.4	56.5	22.6	5.2	0.9
年齢	0歳	183	9.3	1.6	1.6	67.2	14.2	5.5	0.5
	1歳	102	9.8	3.9	1.0	61.8	17.6	4.9	1.0
	2歳	114	8.8	0.0	3.5	59.6	19.3	7.9	0.9
	3歳	100	12.0	3.0	0.0	60.0	18.0	6.0	1.0
	4歳	120	6.7	5.0	3.3	54.2	22.5	7.5	0.8
	5歳	129	5.4	6.2	3.9	61.2	16.3	7.0	0.0

⑤転入理由（問8-2）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”は「教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから」（40.0%），“麻布地区”は「入りたいインターナショナルスクールがあるから」（30.3%），“高輪地区”“芝浦港南地区”は「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」（それぞれ55.0%、38.2%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”は「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」（それぞれ43.5%、33.3%、35.7%、40.0%、33.3%），“5歳”は「入りたいインターナショナルスクールがあるから」（30.0%）が最も多くなっている。“3歳”は「職場が近いから」（40.0%）も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	出産費用 助成がある から	母子保健 事業が充 実してい るから	保育料助 成がある から	第2子以 降の保育 料が無料 だから	教育・保 育施設に 空きがあ り、入園 させやす いから	入園した い保育 園・幼稚 園がある から	入学した い小学校 があるか ら
全体		107	15.0	10.3	17.8	18.7	25.2	9.3	10.3
居住地区	芝地区	10	10.0	20.0	20.0	0.0	40.0	10.0	0.0
	麻布地区	33	9.1	6.1	15.2	12.1	18.2	9.1	12.1
	赤坂地区	9	44.4	22.2	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
	高輪地区	20	15.0	10.0	15.0	20.0	25.0	20.0	20.0
	芝浦港南地区	34	14.7	8.8	17.6	26.5	26.5	5.9	0.0
年齢	0歳	23	26.1	21.7	26.1	21.7	26.1	8.7	4.3
	1歳	15	13.3	0.0	26.7	26.7	26.7	6.7	6.7
	2歳	14	7.1	7.1	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0
	3歳	15	26.7	6.7	6.7	20.0	26.7	0.0	6.7
	4歳	18	5.6	11.1	11.1	11.1	27.8	16.7	16.7
	5歳	20	5.0	5.0	15.0	20.0	15.0	15.0	20.0
		回答者数 (人)	入りたい インター ナシヨ ナルス クール がある から	職場が 近い から	治安が 良く、 子ど もにと って 安全な 環境だ から	子育て に協 力して くれる 親族 がいる から	その他	特に理 由は ない	無回答
全体		107	15.9	27.1	33.6	8.4	5.6	2.8	27.1
居住地区	芝地区	10	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	10.0	30.0
	麻布地区	33	30.3	12.1	18.2	6.1	9.1	3.0	33.3
	赤坂地区	9	11.1	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	高輪地区	20	20.0	40.0	55.0	20.0	5.0	0.0	20.0
	芝浦港南地区	34	2.9	35.3	38.2	8.8	5.9	2.9	29.4
年齢	0歳	23	8.7	34.8	43.5	8.7	4.3	4.3	21.7
	1歳	15	6.7	13.3	33.3	6.7	6.7	6.7	26.7
	2歳	14	21.4	28.6	35.7	0.0	0.0	7.1	28.6
	3歳	15	0.0	40.0	40.0	20.0	13.3	0.0	13.3
	4歳	18	27.8	27.8	33.3	5.6	5.6	0.0	33.3
	5歳	20	30.0	15.0	20.0	10.0	0.0	0.0	40.0

(2) 子育て状況

①子育てを主に行っている人（問6）

- ・ 年齢別にみると、いずれも「父母ともに」が5割以上と最も多く、次いで「主に母親」、「主に父親」となっている。
- ・ 前回調査と比べて「父母ともに」（今回 64.1%、前回 55.7%）が多く、「主に母親」（今回 34.2%、前回 43.0%）が少なくなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	父母ともに	主に父親	主に母親	主に祖父 母	その他	無回答
全体		755	64.1	1.2	34.2	0.0	0.3	0.3
年 齢	0歳	183	58.5	1.6	39.9	0.0	0.0	0.0
	1歳	102	61.8	1.0	36.3	0.0	1.0	0.0
	2歳	114	62.3	0.9	36.0	0.0	0.0	0.9
	3歳	100	71.0	1.0	27.0	0.0	0.0	1.0
	4歳	120	68.3	1.7	30.0	0.0	0.0	0.0
	5歳	129	68.2	0.8	30.2	0.0	0.8	0.0
前回 (H30)		2,203	55.7	0.7	43.0	0.3	0.1	0.2

②子どもをみてもらえる親族・知人（問9）

- ・ 年齢別にみると、いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が4割以上と最も多くなっている。次いで「いずれもない」となっており、“0歳”“2歳”“3歳”“5歳”は3割を超えている。
- ・ 前回調査と比べて「いずれもない」（今回 30.1%、前回 24.7%）が多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	日常的に 祖父母等 の親族に みてもら える	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 にみても らえる	日常的に 子どもを みてもら える知 人・友人 がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども をみても らえる知 人・友人 がいる	いずれも いない	無回答
全体		755	10.9	51.9	2.0	10.6	30.1	2.8
年 齢	0歳	183	9.8	52.5	1.1	8.2	35.0	3.3
	1歳	102	13.7	59.8	2.0	10.8	19.6	2.9
	2歳	114	9.6	50.9	1.8	11.4	30.7	1.8
	3歳	100	8.0	50.0	1.0	10.0	33.0	2.0
	4歳	120	9.2	59.2	1.7	8.3	24.2	3.3
	5歳	129	15.5	41.1	4.7	15.5	33.3	3.1
前回 (H30)		2,203	13.7	55.0	2.2	12.3	24.7	4.0

③子育ての悩み（問10）

- ・ 年齢別にみると、いずれも「子どもの教育に関すること」が4割以上と最も多く、次いで“0歳”“3歳”は「食事や栄養に関すること」（それぞれ34.4%、30.0%）、“1歳”“2歳”“4歳”“5歳”は「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」（それぞれ 34.3%、36.8%、39.2%、31.0%）となっている。
- ・ 世帯構造別にみると、“ひとり親”は「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」（41.7%）、“ふたり親”は「子どもの教育に関すること」（45.8%）が最も多くなっている。
- ・ “ひとり親”は「発育・発達、病気、障害に関すること」（29.2%）、「子どもの接し方に自信が持てないこと」（20.8%）、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（33.3%）、「話し相手や相談相手がいなないこと」（25.0%）、「自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になること」（20.8%）、「地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと」（25.0%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	発育・発達、 病気、障害 に関する こと	食事や栄養 に関する こと	子育ての 方法がよ くわから ないこと	子どもと の接し方 に自信が 持てない こと	子どもと の時間を 十分にと れないこ と	話し相手 や相談相 手がいな いこと	仕事や自 分のやり たいこと が十分で きないこ と	子どもの 教育に関 すること	友だちづ きあい (いじめ 等を含 む)に関 すること	登園拒否 などの問 題に関す ること
全体		755	14.6	28.6	7.9	12.1	26.1	7.7	33.6	44.9	9.0	2.4
年齢	0歳	183	15.3	34.4	14.8	14.8	17.5	8.7	31.7	45.4	3.8	1.1
	1歳	102	9.8	30.4	7.8	7.8	28.4	10.8	34.3	42.2	9.8	1.0
	2歳	114	16.7	27.2	4.4	10.5	30.7	6.1	36.8	42.1	5.3	4.4
	3歳	100	17.0	30.0	6.0	16.0	25.0	7.0	28.0	47.0	10.0	2.0
	4歳	120	15.8	21.7	9.2	14.2	35.0	5.8	39.2	49.2	9.2	2.5
	5歳	129	11.6	25.6	2.3	7.8	24.8	7.8	31.0	43.4	17.1	3.9
構世帯	ひとり親	24	29.2	33.3	12.5	20.8	33.3	25.0	41.7	37.5	12.5	0.0
	ふたり親	709	14.5	28.6	7.8	11.7	26.7	7.2	33.6	45.8	9.0	2.3
		回答者数 (人)	子育てに 関して配 偶者 (パート ナー)の 協力が少 ないこと	子育てに 関して配 偶者 (パート ナー)と 意見が合 わないこ と	自分の子 育てにつ いて、親 族・近隣 の人・職 場などま わりの目 が気になる こと	配偶者 (パート ナー)以 外に子育て を手 伝ってく れる人が いないこ と	子どもを 叱りすぎ ているよ うな気が すること	子育ての ストレス がたまって、子 どもに手 をあげた り、世話 をしな かったり してしま うこと	地域の子 育て支援 サービス の内容や 利用・申 込み方法 がよくわ からない こと	その他	特にな い	無回答
全体		755	11.8	7.3	3.4	18.8	20.1	3.6	10.7	4.4	14.0	1.3
年齢	0歳	183	14.8	7.1	2.7	19.1	6.6	3.8	15.3	6.6	15.3	1.1
	1歳	102	10.8	2.9	4.9	18.6	13.7	2.0	10.8	4.9	15.7	0.0
	2歳	114	6.1	7.0	5.3	20.2	21.9	3.5	7.9	3.5	14.9	1.8
	3歳	100	8.0	5.0	3.0	18.0	28.0	5.0	7.0	2.0	11.0	1.0
	4歳	120	20.0	12.5	3.3	20.8	37.5	3.3	9.2	4.2	5.0	0.8
	5歳	129	8.5	7.8	2.3	16.3	19.4	3.1	10.9	3.9	20.9	3.1
構世帯	ひとり親	24	12.5	12.5	20.8	0.0	25.0	4.2	25.0	12.5	8.3	0.0
	ふたり親	709	12.0	7.3	2.8	19.5	20.0	3.7	10.4	4.1	13.8	1.3

④子育ての孤立感（問12）

- ・ 年齢別にみると、いずれも「あまりない」が3割以上と最も多く、次いで“0歳”“4歳”は「ときどきある」（それぞれ 33.9%、35.0%）、“1歳”“2歳”“3歳”“5歳”は「ない」（それぞれ 32.4%、26.3%、27.0%、33.3%）となっている。
- ・ 世帯構造別にみると、“ひとり親”は「ときどきある」（37.5%）、“ふたり親”は「あまりない」（39.5%）が最も多くなっている。
- ・ “ひとり親”は「ある」（25.0%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	ある	ときどき ある	あまり ない	ない	無回答
全体		755	6.8	27.2	39.2	26.2	0.7
年 齢	0歳	183	6.6	33.9	37.2	20.2	2.2
	1歳	102	6.9	26.5	34.3	32.4	0.0
	2歳	114	6.1	25.4	41.2	26.3	0.9
	3歳	100	5.0	20.0	48.0	27.0	0.0
	4歳	120	5.8	35.0	36.7	22.5	0.0
	5歳	129	9.3	17.8	39.5	33.3	0.0
構 世 造 帯	ひとり親	24	25.0	37.5	33.3	4.2	0.0
	ふたり親	709	6.2	26.8	39.5	27.1	0.4
前回(H30)		2,203	7.7	26.0	38.2	26.1	2.0

【関連する自由回答（一部抜粋）】

子育てを主に行っている人	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの家庭もママが仕事家事育児を大きく負担してるケースが多く、それに伴い子供がほったらかしでさみしい思いをしたり、夫婦仲が悪い家庭も多く見えます。パパの育児参加が増えることと、ママの自由が増えることで、子供にとって心豊かな子育て環境になるなど感じます。【5歳・40代母親】
子どもをみてもらえる親族・知人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝ってくれる親族が近くにいるかいないかで、ママの自由度や精神的負担が相当違います。親族が近くに居ない方へ優先的に保育園や預り保育をさせる仕組みがあるとありがたい。【5歳・40代母親】 ・ 地方出身者同士の夫婦でも、気軽に子供を預けたりできる環境、制度を作ってほしい。実際は、頼れる人がいなく、どちらかが仕事を休む、自分のことを我慢するなど負担が大きい。【3歳・30代父親】
子育ての孤立感	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が1歳を越えると周囲のママがほぼみんな職場復帰してしまい、孤独な育児になりがちなので、自宅保育組の集まり場所などがあると嬉しいです。【1歳・40代母親】

(3) 就労・家計状況

①現在の就労状況（問15）

- ・ 母親の就労状況を子の年齢別にみると、「0歳」は「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(45.4%)、「1歳」「2歳」「3歳」「4歳」「5歳」は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(それぞれ 46.1%、47.4%、35.0%、48.3%、44.2%) が最も多くなっている。

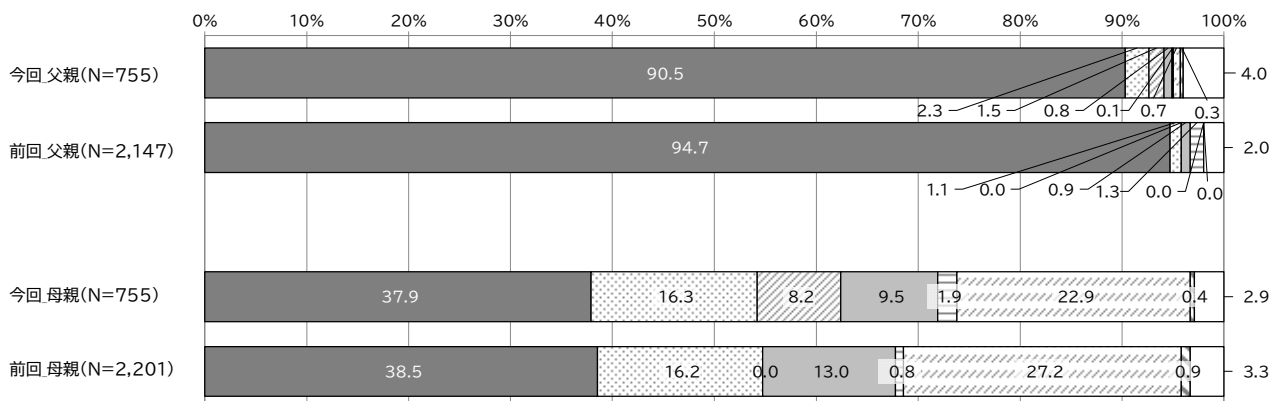
【クロス表（母親の就労状況）】

(単位：%)

		回答者数 (人)	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) の就労しており、 産休・育休・介護休業中 ではない	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) の就労しているが、 産休・育休・介護休業中 である	フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) の就労しているが、 育児短時間勤務中 である	パート・ アルバイト等 (「フル タイム以 外」の就 労)で就 労して おり、 産休・ 育休・ 介護休 業中 ではない	パート・ アルバイト等 (「フル タイム以 外」の就 労)で就 労して いるが、 産休・ 育休・ 介護休 業中 である	以前は就 労してい たが、現 在は就労 してい ない	これまで 就労し たこと がない	無回答
全体		755	37.9	16.3	8.2	9.5	1.9	22.9	0.4	2.9
年 齢	0歳	183	18.0	45.4	3.8	2.7	2.7	24.6	0.5	2.2
	1歳	102	46.1	9.8	12.7	5.9	2.9	18.6	0.0	3.9
	2歳	114	47.4	7.0	10.5	9.6	1.8	20.2	0.0	3.5
	3歳	100	35.0	14.0	7.0	11.0	1.0	27.0	2.0	3.0
	4歳	120	48.3	2.5	7.5	16.7	2.5	20.0	0.0	2.5
	5歳	129	44.2	3.1	10.9	14.0	0.0	25.6	0.0	2.3

【前回比較】

- ・ 父親は「フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない」(90.5%)、「フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である」(2.3%)、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」(1.5%)の合計が94.3%となっており、前回調査の95.8%から大きな変化はみられない。
- ・ 母親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(37.9%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(16.3%)、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」(8.2%)の合計が62.4%となっており、前回調査の54.7%を上回っている。



■ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない
□ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
□ パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である
□ これまで就労したことがない

□ フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、産休・介護休業中である
□ パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、産休・介護休業中ではない
□ 以前は就労していたが、現在は就労していない
□ 無回答

※母親の選択肢は「産休・育休・介護休業中」となっている

※前回調査では「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である」の選択肢なし

※前回調査では、父母について「死亡、離婚、未婚などでいない」と回答した数を集計から除外している

②家計の収支状況（問 19）

- ・ 世帯年収別にみると、“200万円未満”から“500～700万円未満”は「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりある」もしくは「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、「700～1,000万円未満」から“1億円以上”は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も多くなっている。
- ・ 世帯構造別にみると“ひとり親”は「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりある」（37.5%），“ふたり親”は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」（53.9%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	黒字であり、毎月貯蓄をしている	黒字であるが、貯蓄はしていない	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字であり、借金をして生活している	その他	わからない	無回答
全体		755	52.3	10.2	20.7	7.8	2.0	0.4	5.7	0.9
世帯年収	200万円未満	13	0.0	7.7	23.1	53.8	7.7	0.0	7.7	0.0
	200～300万円未満	10	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	300～400万円未満	12	16.7	8.3	58.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
	400～500万円未満	18	16.7	0.0	44.4	22.2	5.6	0.0	11.1	0.0
	500～700万円未満	36	27.8	5.6	33.3	22.2	8.3	0.0	2.8	0.0
	700～1,000万円未満	90	36.7	12.2	34.4	11.1	2.2	0.0	3.3	0.0
	1,000～1,500万円未満	178	51.7	11.2	23.6	6.2	2.8	1.1	3.4	0.0
	1,500～2,000万円未満	144	59.7	12.5	19.4	5.6	0.0	0.0	2.1	0.7
	2,000～3,000万円未満	114	75.4	8.8	9.6	1.8	0.9	0.0	2.6	0.9
	3,000～5,000万円未満	51	80.4	9.8	3.9	0.0	0.0	2.0	3.9	0.0
	5,000～1億円未満	27	81.5	7.4	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	1億円以上	10	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
わからない	46	30.4	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0	43.5	0.0	
世帯構造	ひとり親	24	20.8	0.0	37.5	29.2	4.2	0.0	8.3	0.0
	ふたり親	709	53.9	10.7	20.0	6.9	1.7	0.4	5.6	0.7

③新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き（問 20）

- ・ 世帯年収別にみると、年収が下がるにつれて「今の方がやや苦しい」「今の方が大変苦しい」が多い傾向となっている。
- ・ 世帯構造別にみると、“ひとり親”は「今の方が大変苦しい」（37.5%），“ふたり親”は「変わらない」（47.1%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	今の方が大変ゆとりがある	今の方がややゆとりがある	変わらない	今の方がやや苦しい	今の方が大変苦しい	わからない	無回答
全体		755	3.8	8.1	45.7	25.7	9.8	5.8	1.1
世帯年収	200万円未満	13	0.0	0.0	7.7	53.8	30.8	7.7	0.0
	200～300万円未満	10	0.0	10.0	10.0	50.0	20.0	10.0	0.0
	300～400万円未満	12	0.0	8.3	16.7	58.3	8.3	8.3	0.0
	400～500万円未満	18	0.0	5.6	44.4	33.3	16.7	0.0	0.0
	500～700万円未満	36	5.6	11.1	19.4	33.3	27.8	2.8	0.0
	700～1,000万円未満	90	2.2	6.7	37.8	35.6	14.4	3.3	0.0
	1,000～1,500万円未満	178	2.2	7.3	46.6	27.0	10.1	6.7	0.0
	1,500～2,000万円未満	144	2.1	7.6	54.2	24.3	9.0	2.1	0.7
	2,000～3,000万円未満	114	8.8	14.0	54.4	16.7	4.4	0.9	0.9
	3,000～5,000万円未満	51	3.9	7.8	62.7	15.7	0.0	9.8	0.0
	5,000～1億円未満	27	11.1	7.4	70.4	11.1	0.0	0.0	0.0
	1億円以上	10	20.0	10.0	50.0	0.0	0.0	20.0	0.0
わからない	46	2.2	2.2	28.3	26.1	8.7	30.4	2.2	
世帯構造	ひとり親	24	0.0	4.2	25.0	33.3	37.5	0.0	0.0
	ふたり親	709	3.9	8.2	47.1	25.1	8.9	5.9	0.8

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・年収の関係で手当がとても少ないが、実際最低限の生活にかかる費用は多いため全然足りません。おむつ・ミルクの支給や、未満児の保育料がもっと安くなる・無料等あれば、心のゆとりができたり、自分のペースで働くことができるため、子育てにも余裕が生まれ、子どもをたくさん欲しいと思えます。【0歳・30代母親】
- ・とにかくお金が足りません。毎月10万円程の赤字です。年収に対するその家庭の子の人数は考えられているのでしょうか。3人目からの子どもを持つ家庭で一定の年収以下の場合、もっと優遇してもらいたいです。【4歳・30代母親】
- ・現在、子育ての上で感じていることは、収入差によっての教育水準の違いが顕著に出ることです。裕福なお子さんは習い事やさまざまな教育を受けるのが当たり前、学校なども良いところに入り、ゆったりと子育てをされる。収入が通常よりは多いけれど港区で余裕を持って暮らせない我が家も、同じように習い事などさせますが、かなりゆとりのない生活となります。また教育面だけでなく、住まい、マンション購入に関しても子供3人いて1LDKに住んでおり、狭いですが、新しく広い家の購入が出来ないほどの価格になっています。収入により住む場所、環境を変えなければいけないと感じています。【5歳・30代母親】

(4) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

① 定期的な教育・保育事業の利用状況（問21）

- ・居住地区別にみると、いずれも「利用している」が7割以上と最も多く、「高輪地区」は8割を超えている。
- ・年齢別にみると、“0歳”は「利用していない」（69.9%），“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”“5歳”は「利用している」（それぞれ75.5%、86.8%、99.0%、97.5%、94.6%）が最も多くなっている。
- ・前回調査と比べて「利用している」（今回76.0%、前回73.9%）がやや多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	利用して いる	利用して いない	無回答
全体		755	76.0	23.6	0.4
居住 地区	芝地区	107	74.8	25.2	0.0
	麻布地区	153	73.9	25.5	0.7
	赤坂地区	86	72.1	27.9	0.0
	高輪地区	176	80.7	18.2	1.1
	芝浦港南地区	230	75.7	24.3	0.0
年 齢	0歳	183	29.5	69.9	0.5
	1歳	102	75.5	23.5	1.0
	2歳	114	86.8	13.2	0.0
	3歳	100	99.0	1.0	0.0
	4歳	120	97.5	2.5	0.0
	5歳	129	94.6	4.7	0.8
前回 (H30)		2,203	73.9	24.6	1.5

②定期的に利用している教育・保育事業（問 21-1）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“麻布地区”“芝浦港南地区”は「区立認可保育園」（それぞれ 36.3%、32.7%、25.9%）、“赤坂地区”“高輪地区”は「私立認可保育園」（それぞれ 29.0%、27.5%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”は「区立認可保育園」（それぞれ 31.5%、33.8%、34.3%、27.3%、29.1%）、“5歳”は「私立幼稚園」（23.0%）が最も多くなっている。“3歳”は「私立幼稚園」（27.3%）も多くなっている。

【クロス表】

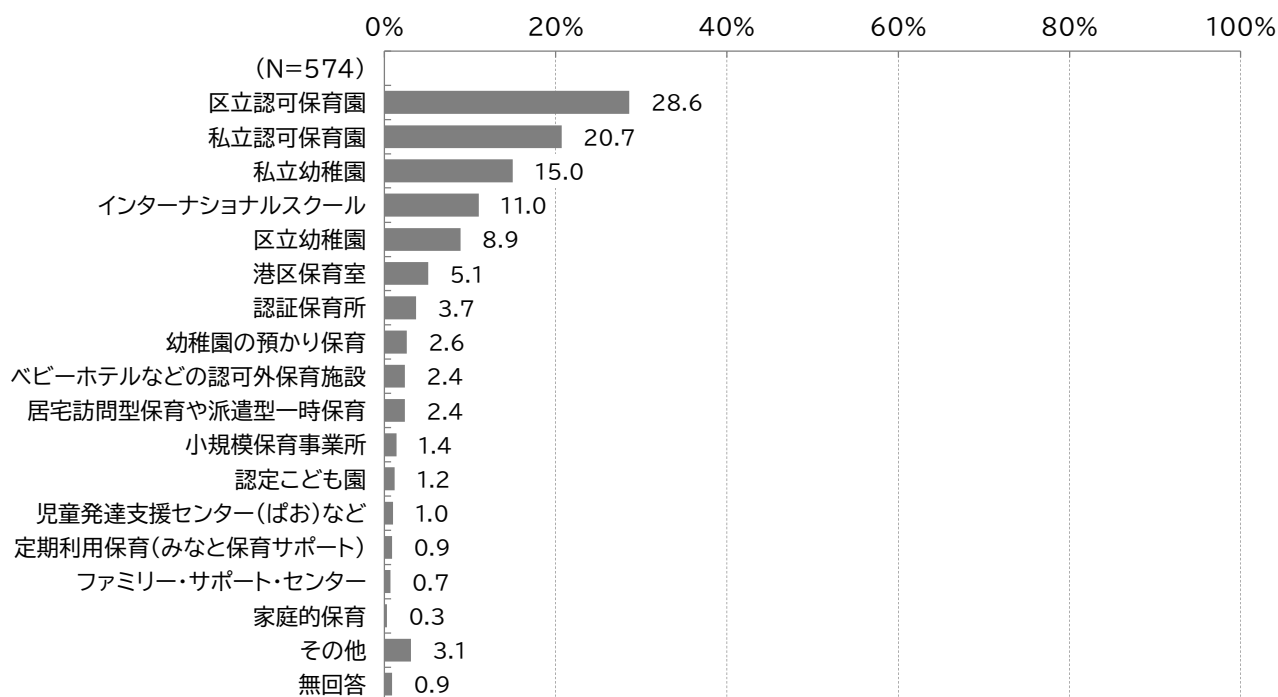
（単位：％）

		回答者数 (人)	区立幼稚 園	私立幼稚 園	幼稚園の 預かり保 育	区立認可 保育園	私立認可 保育園	認定こど も園	小規模保 育事業所	港区保育 室	認証保育 所
全体		574	8.9	15.0	2.6	28.6	20.7	1.2	1.4	5.1	3.7
居住地区	芝地区	80	6.3	17.5	0.0	36.3	11.3	0.0	0.0	2.5	5.0
	麻布地区	113	8.8	14.2	1.8	32.7	13.3	0.9	4.4	0.9	1.8
	赤坂地区	62	8.1	24.2	4.8	24.2	29.0	1.6	0.0	6.5	3.2
	高輪地区	142	12.0	12.0	3.5	26.8	27.5	0.0	0.0	3.5	2.1
	芝浦港南地区	174	7.5	13.2	2.3	25.9	21.8	2.9	1.7	9.8	5.7
年齢	0歳	54	5.6	3.7	0.0	31.5	29.6	0.0	3.7	7.4	9.3
	1歳	77	2.6	5.2	0.0	33.8	31.2	1.3	0.0	5.2	2.6
	2歳	99	2.0	3.0	0.0	34.3	31.3	1.0	4.0	3.0	2.0
	3歳	99	10.1	27.3	2.0	27.3	16.2	2.0	0.0	4.0	4.0
	4歳	117	13.7	17.9	7.7	29.1	12.0	0.9	0.9	5.1	3.4
	5歳	122	14.8	23.0	3.3	21.3	14.8	0.8	0.8	4.9	3.3
		回答者数 (人)	ベビーホ テルなど の認可外 保育施設	インター ナシヨナ ルスクー ル	定期利用 保育（み など保育 サポー ト）	居宅訪問 型保育や 派遣型一 時保育	家庭的保 育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター（ぱ お）など	その他	無回答
全体		574	2.4	11.0	0.9	2.4	0.3	0.7	1.0	3.1	0.9
居住地区	芝地区	80	2.5	17.5	0.0	2.5	0.0	3.8	1.3	1.3	1.3
	麻布地区	113	2.7	15.9	0.9	6.2	1.8	0.9	0.9	3.5	1.8
	赤坂地区	62	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0
	高輪地区	142	0.7	14.1	0.7	1.4	0.0	0.0	0.7	2.8	0.0
	芝浦港南地区	174	4.0	5.7	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	4.6	1.1
年齢	0歳	54	0.0	1.9	1.9	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
	1歳	77	1.3	13.0	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	0.0	2.6
	2歳	99	4.0	10.1	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0	6.1	0.0
	3歳	99	1.0	5.1	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	4.0	1.0
	4歳	117	2.6	15.4	0.9	0.9	0.9	0.0	1.7	2.6	0.9
	5歳	122	4.1	13.9	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6	1.6	0.8

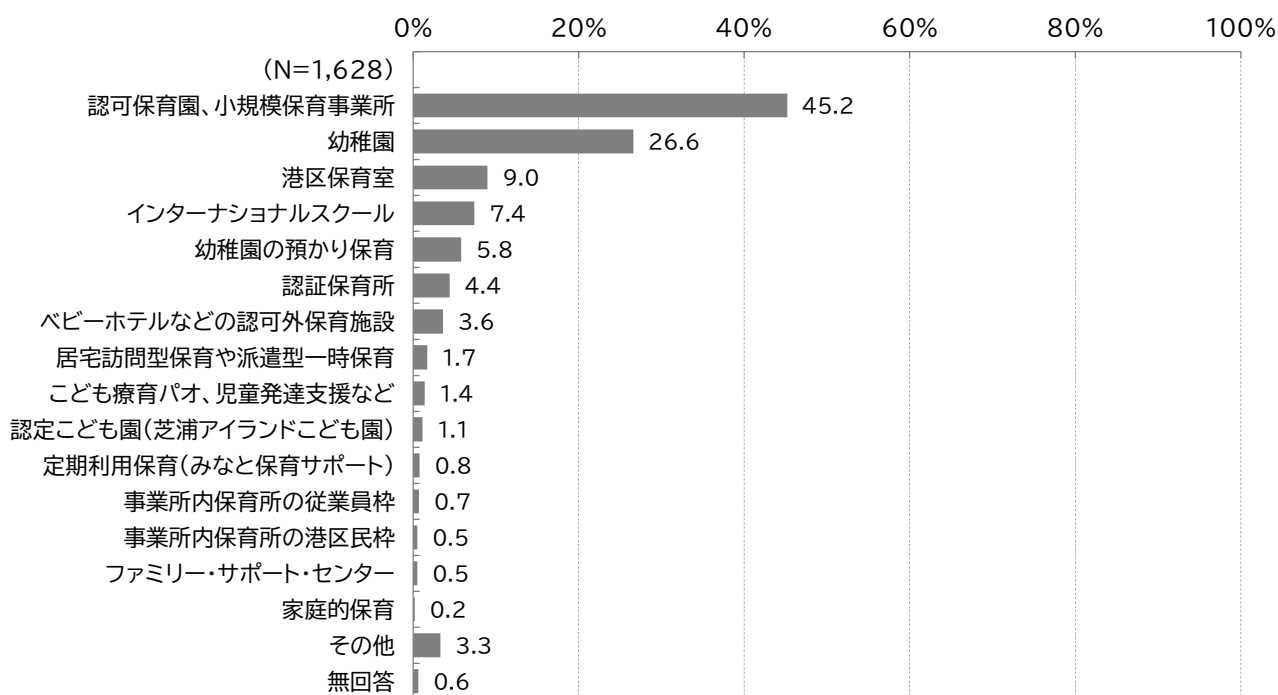
【前回比較】

- ・ 「区立認可保育園」(28.6%)、「私立認可保育園」(20.7%)、「認定こども園」(1.2%)、「小規模保育事業所」(1.4%)、「港区保育室」(5.1%)の合計が57.0%となっており、前回調査の55.3%を上回っている。
- ・ 「私立幼稚園」(15.0%)と「区立幼稚園」(8.9%)の合計が23.9%となっており、前回調査の26.6%を下回っている。
- ・ 「インターナショナルスクール」は11.0%となっており、前回調査の7.4%を上回っている。

【今回】



【前回】



③定期的な教育・保育事業の利用希望（問 22）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「区立認可保育園」（それぞれ 26.2%、23.3%、27.0%），“麻布地区”“赤坂地区”は「私立幼稚園」（それぞれ 23.5%、22.1%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“2歳”“4歳”は「区立認可保育園」（それぞれ 35.0%、24.5%、26.3%、20.0%），“3歳”“5歳”は「私立幼稚園」（それぞれ 20.0%、21.7%）が最も多くなっている。

【クロス表】

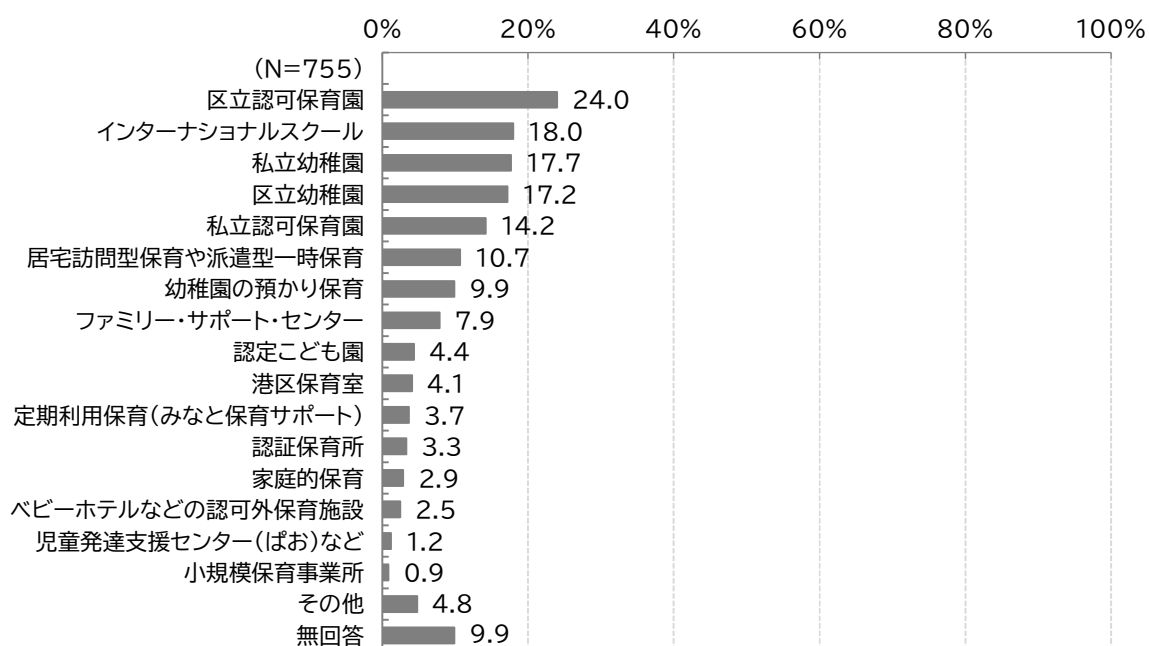
（単位：％）

		回答者数 (人)	区立幼稚園	私立幼稚園	幼稚園の 預かり保 育	区立認可 保育園	私立認可 保育園	認定こど も園	小規模保 育事業所	港区保育 室	認証保育 所
全体		755	17.2	17.7	9.9	24.0	14.2	4.4	0.9	4.1	3.3
居住地区	芝地区	107	11.2	15.9	8.4	26.2	10.3	3.7	1.9	2.8	1.9
	麻布地区	153	19.0	23.5	9.8	22.9	12.4	3.9	0.7	2.0	3.3
	赤坂地区	86	16.3	22.1	15.1	17.4	12.8	2.3	0.0	7.0	3.5
	高輪地区	176	21.0	18.2	11.4	23.3	15.9	2.3	1.1	2.3	2.3
	芝浦港南地区	230	16.5	12.6	7.4	27.0	16.5	7.4	0.9	6.5	4.8
年齢	0歳	183	22.4	15.8	8.7	35.0	20.8	4.9	2.2	7.1	8.7
	1歳	102	20.6	14.7	10.8	24.5	15.7	3.9	1.0	2.9	1.0
	2歳	114	15.8	16.7	10.5	26.3	17.5	4.4	0.0	1.8	0.9
	3歳	100	10.0	20.0	13.0	17.0	12.0	2.0	0.0	3.0	3.0
	4歳	120	11.7	18.3	10.8	20.0	5.8	3.3	0.8	2.5	1.7
	5歳	129	19.4	21.7	7.8	15.5	10.9	7.0	0.8	3.9	1.6
		回答者数 (人)	ベビーホ テルなど の認可外 保育施設	インター ナショナル スクール	定期利用 保育（み なと保育 サポ ート）	居宅訪問 型保育や 派遣型一 時保育	家庭的保 育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター（ぱ お）など	その他	無回答
全体		755	2.5	18.0	3.7	10.7	2.9	7.9	1.2	4.8	9.9
居住地区	芝地区	107	1.9	22.4	4.7	16.8	1.9	14.0	1.9	2.8	11.2
	麻布地区	153	3.3	20.9	3.3	12.4	3.3	5.9	0.7	3.3	9.8
	赤坂地区	86	3.5	17.4	3.5	10.5	2.3	8.1	2.3	7.0	11.6
	高輪地区	176	1.7	15.9	4.5	8.5	3.4	10.2	0.0	5.7	10.2
	芝浦港南地区	230	2.6	15.7	2.6	8.3	3.0	4.8	1.7	5.2	8.3
年齢	0歳	183	2.7	16.4	6.6	14.8	3.3	6.0	1.1	3.3	8.2
	1歳	102	1.0	20.6	2.9	9.8	3.9	8.8	0.0	6.9	12.7
	2歳	114	3.5	17.5	1.8	7.0	2.6	7.0	0.9	1.8	9.6
	3歳	100	1.0	15.0	5.0	16.0	4.0	12.0	1.0	6.0	9.0
	4歳	120	2.5	18.3	1.7	10.8	1.7	10.0	1.7	6.7	9.2
	5歳	129	3.9	20.2	3.1	4.7	1.6	5.4	2.3	5.4	12.4

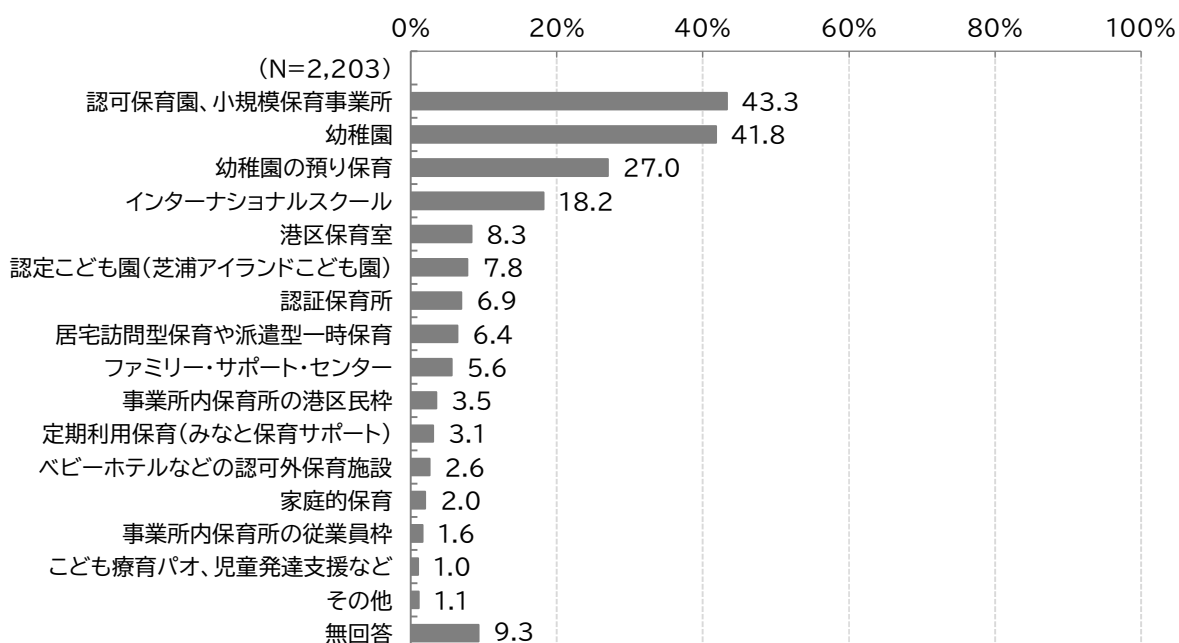
【前回比較】

- ・ 「区立認可保育園」(24.0%)、「私立認可保育園」(14.2%)、「認定こども園」(4.4%)、「小規模保育事業所」(0.9%)、「港区保育室」(4.1%)の合計が47.6%となっており、前回調査の59.4%を下回っている。
- ・ 「私立幼稚園」(17.7%)と「区立幼稚園」(17.2%)の合計が34.9%となっており、前回の41.8%を下回っている。
- ・ 「インターナショナルスクール」は18.0%となっており、前回調査の18.2%から大きな変化はみられない。
- ・ 「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」は10.7%となっており、前回調査の6.4%を上回っている。

[今回]



[前回]



(5) 地域の子育て支援事業の利用状況

①地域子育て支援拠点事業の利用状況（問 23）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「利用していない」が5割以上と最も多く、次いで“芝地区”“麻布地区”“芝浦港南地区”は「子育てひろば あっぴい」（それぞれ 25.2%、29.4%、36.1%）、“赤坂地区”は「子育てひろば『あい・ぽーと』」（20.9%）、“高輪地区”は「子ども中高生プラザ、児童高齢者交流プラザの乳幼児室（子育てひろば）」（24.4%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”は「子育てひろば あっぴい」（42.1%），“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”“5歳”は「利用していない」（それぞれ 48.0%、52.6%、48.0%、66.7%、62.8%）が最も多くなっている。

【クロス表】

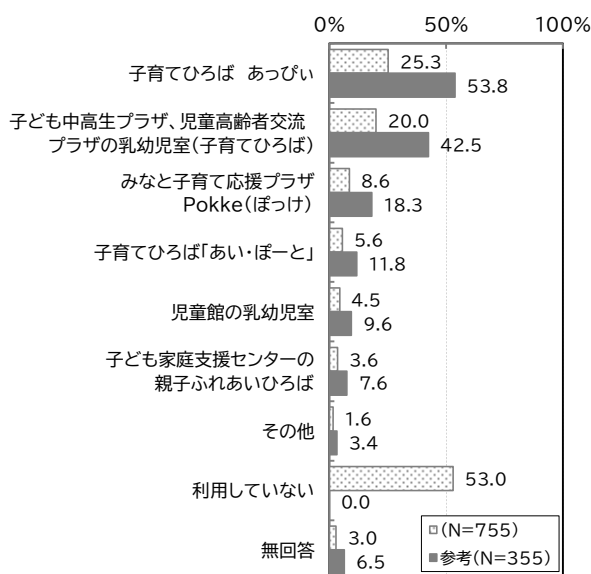
（単位：％）

		回答者数 (人)	子育てひろば あっぴい	みなと子育て 応援プラザ Pokke（ぽっけ）	子育てひろば「あい・ぽーと」	子ども家庭 支援センターの 親子ふれあいひろば	子ども中高生 プラザ、児童 高齢者交流 プラザの乳幼児 室（子育てひろ ば）	児童館の 乳幼児室	その他	利用して いない	無回答
全体		755	25.3	8.6	5.6	3.6	20.0	4.5	1.6	53.0	3.0
居住 地区	芝地区	107	25.2	20.6	4.7	2.8	17.8	4.7	2.8	52.3	0.9
	麻布地区	153	29.4	3.9	7.2	5.2	20.3	4.6	1.3	51.0	5.2
	赤坂地区	86	18.6	2.3	20.9	10.5	18.6	1.2	1.2	53.5	3.5
	高輪地区	176	10.2	8.0	2.3	1.7	24.4	8.0	1.7	59.1	2.3
	芝浦港南地区	230	36.1	8.7	1.7	1.7	17.8	3.0	1.3	50.4	2.6
年 齢	0歳	183	42.1	13.1	7.1	3.3	19.7	8.2	1.6	41.5	2.2
	1歳	102	32.4	12.7	12.7	8.8	22.5	3.9	0.0	48.0	2.0
	2歳	114	22.8	9.6	4.4	6.1	20.2	4.4	0.9	52.6	5.3
	3歳	100	24.0	6.0	5.0	4.0	26.0	2.0	2.0	48.0	5.0
	4歳	120	10.8	5.0	2.5	0.0	14.2	2.5	4.2	66.7	1.7
	5歳	129	13.2	3.9	2.3	0.8	20.2	3.9	0.8	62.8	3.1

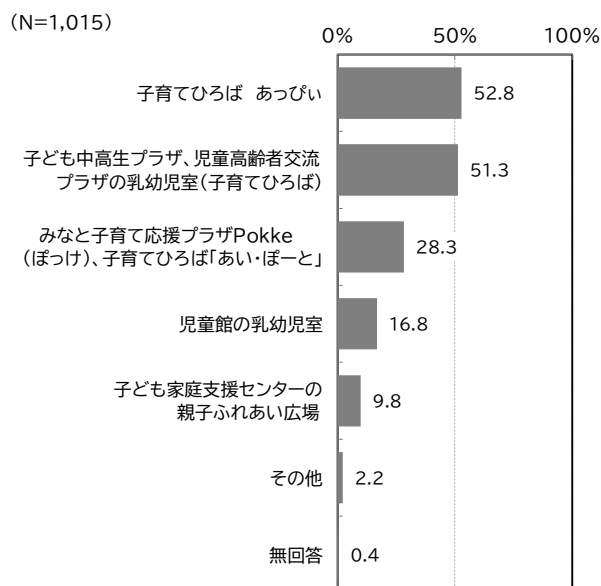
【前回比較】

- ・ 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【今回】



【前回】



※前回調査では、「利用している」と回答した人の中から、利用している事業について尋ねる設問構成となっている。

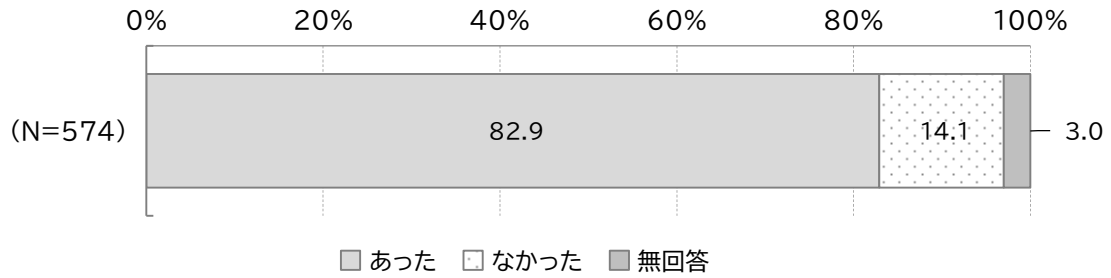
なお、「利用していない」の回答割合は、今回 53.0%、前回 50.0%であり、前回調査と比べてやや多くなっている。

※今回調査の「参考」は、前回調査と比較するための指標として、「利用していない」を除いた回答を母数として算出している。

(6) 病気の際の対応

①この1年間に、子どもが病気等で教育・保育事業を利用できなかったこと (問 28)

- ・ 「あった」が82.9%、「なかった」が14.1%となっている。



②病気等で教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法 (問 28-1)

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が6割以上と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」となっている。“高輪地区”は「病児・病後児保育施設を利用した」(13.3%)がその他の地区と比べて多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が6割以上と最も多くなっている。次いで「父親が仕事を休んだ」となっており、“0歳”(59.5%)は他の年齢と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」(今回 24.2%、前回 33.8%)が少なくなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	病児・病後児保育施設を利用した	居宅訪問型保育や派遣型一時保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		476	39.3	72.1	24.2	20.0	8.2	8.6	0.4	0.2	6.5	0.0
居住地区	芝地区	72	38.9	66.7	19.4	22.2	4.2	15.3	0.0	0.0	6.9	0.0
	麻布地区	86	25.6	67.4	19.8	20.9	7.0	12.8	1.2	0.0	2.3	0.0
	赤坂地区	48	35.4	75.0	25.0	22.9	8.3	8.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	高輪地区	120	43.3	70.0	31.7	21.7	13.3	4.2	0.8	0.8	6.7	0.0
	芝浦港南地区	148	45.3	77.7	23.0	16.2	6.8	6.8	0.0	0.0	8.8	0.0
年齢	0歳	37	59.5	73.0	43.2	21.6	5.4	13.5	0.0	0.0	5.4	0.0
	1歳	63	49.2	76.2	33.3	12.7	23.8	14.3	0.0	0.0	6.3	0.0
	2歳	87	31.0	81.6	17.2	12.6	6.9	6.9	0.0	0.0	8.0	0.0
	3歳	85	32.9	64.7	24.7	29.4	8.2	8.2	0.0	1.2	3.5	0.0
	4歳	99	43.4	66.7	24.2	21.2	5.1	8.1	1.0	0.0	9.1	0.0
	5歳	100	35.0	73.0	17.0	20.0	4.0	4.0	1.0	0.0	6.0	0.0
前回(H30)		1,389	35.1	69.4	33.8	21.8	13.2	6.8	0.3	0.5	2.2	1.3

③病児・病後児のための保育サービスの利用希望（問 28-2）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“麻布地区”“赤坂地区”は「利用したいとは思わない」（それぞれ 54.7%、51.6%、55.3%）、“高輪地区”“芝浦港南地区”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（それぞれ 61.5%、53.7%）が最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、“0歳”“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（それぞれ 75.8%、57.7%、58.9%、52.5%、50.7%）、“5歳”は「利用したいとは思わない」（61.8%）が最も多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	病児・病 後児保育 施設等を利用 したい	利用した いとは思 わない	無回答
全体		367	52.9	46.3	0.8
居住 地区	芝地区	53	45.3	54.7	0.0
	麻布地区	62	48.4	51.6	0.0
	赤坂地区	38	44.7	55.3	0.0
	高輪地区	91	61.5	36.3	2.2
	芝浦港南地区	121	53.7	45.5	0.8
年 齢	0歳	33	75.8	24.2	0.0
	1歳	52	57.7	42.3	0.0
	2歳	73	58.9	39.7	1.4
	3歳	59	52.5	47.5	0.0
	4歳	71	50.7	46.5	2.8
	5歳	76	38.2	61.8	0.0
前回(H30)		1,009	53.9	45.2	0.9

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 両親が仕事と育児をしていく際に病児保育枠の拡充が不可欠だと感じている。【0歳・30代母親】
- ・ 子供が風邪をひいた際に派遣型病児保育が捕まらないことが多く、急遽仕事を休まなくてはいけない事が多々あります。【1歳・30代父親】
- ・ 病児保育の予約がもっととりやすくなると嬉しいです。【0歳・30代母親】
- ・ 幼稚園児でも病児保育に預かれる様になってほしい【4歳・30代父親】

(7) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

①私用等で不定期に利用する事業の利用状況（問29）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「利用していない」が5割以上と最も多く、次いで「一時預かり」、「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」となっている。
- ・ 年齢別にみると、いずれも「利用していない」が約6割と最も多く、次いで“0歳”“1歳”“2歳”“3歳”“4歳”は「一時預かり」（それぞれ26.8%、20.6%、26.3%、27.0%、16.7%）、“5歳”は「幼稚園の預かり保育」（14.0%）が多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「居宅訪問型保育や派遣型一時保育」（今回11.0%、前回5.7%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	一時預かり	幼稚園の 預かり保 育	居宅訪問 型保育や 派遣型一 時保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	トワイ ライトステ イ	短期入所 (障害保 健福祉セ ンター 等)	その他	利用して いない	無回答
全体		755	21.7	6.5	11.0	1.7	0.9	0.0	0.7	64.1	2.5
居住地区	芝地区	107	31.8	6.5	17.8	5.6	2.8	0.0	0.0	53.3	0.9
	麻布地区	153	20.3	7.2	11.8	0.7	0.0	0.0	1.3	64.7	2.0
	赤坂地区	86	20.9	4.7	11.6	2.3	0.0	0.0	0.0	64.0	4.7
	高輪地区	176	11.9	5.7	9.7	1.7	0.6	0.0	0.0	73.9	1.7
	芝浦港南地区	230	25.7	7.0	8.3	0.4	0.9	0.0	1.3	62.2	2.6
年齢	0歳	183	26.8	0.5	15.3	0.5	0.5	0.0	0.0	62.8	1.6
	1歳	102	20.6	0.0	10.8	3.9	2.0	0.0	0.0	65.7	3.9
	2歳	114	26.3	0.9	10.5	0.9	0.0	0.0	2.6	58.8	4.4
	3歳	100	27.0	11.0	7.0	2.0	2.0	0.0	0.0	62.0	4.0
	4歳	120	16.7	14.2	11.7	2.5	0.8	0.0	0.0	67.5	0.0
	5歳	129	13.2	14.0	7.0	0.8	0.8	0.0	1.6	68.2	2.3
前回(H30)		2,203	21.1	6.9	5.7	1.1	1.1	0.1	1.5	64.3	4.4

※今回調査と前回調査における事業の対応は以下のとおり

今回：短期入所（障害保健福祉センター等）

前回：緊急一時保護、レスパイト保護（障害保健福祉センター）

②私用等で不定期に利用する事業の利用希望（問 30）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「利用したい」が6割以上と最も多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、いずれも「利用したい」が最も多く、“0歳”（81.4%）は他の年齢と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「利用したい」（今回 68.2%、前回 65.7%）がやや多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	利用した い	利用した いとは思 わない	無回答
全体		755	68.2	27.3	4.5
居住地区	芝地区	107	68.2	29.0	2.8
	麻布地区	153	64.1	30.1	5.9
	赤坂地区	86	64.0	30.2	5.8
	高輪地区	176	69.3	26.1	4.5
	芝浦港南地区	230	71.7	24.8	3.5
年齢	0歳	183	81.4	13.7	4.9
	1歳	102	58.8	36.3	4.9
	2歳	114	71.1	23.7	5.3
	3歳	100	64.0	33.0	3.0
	4歳	120	68.3	27.5	4.2
	5歳	129	57.4	38.0	4.7
前回(H30)		2,203	65.7	29.0	5.3

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 一時預かり保育(あっぴいなど)はとても良いですが、予約が取れないので困る時があります。【0歳・30代母親】
- ・ 幼稚園の預かり保育の最終時間をもっと遅くしてほしい。(19-20時まで緊急時に預かってもらえれば、共働きでも教育の選択肢が広がります)【0歳・30代母親】
- ・ 現在下の子を居宅保育してもらってます。居宅の終了が18:15のため、これまでより上の子のお迎えに行く時間が非常に早くなり仕事を時短で切り上げています。居宅サービスは感染症の心配がなく送り迎えしなくていいので非常に助かっているのですが、上記の点だけ改善していただくとより満足度の高いサービスになると思います。【2歳・30代母親】
- ・ 土日祝の親のリフレッシュ保育枠が増えるととても助かる。【0歳・30代母親】
- ・ 夜間の一時預かり場所をもっと増やして頂きたいです。【1歳・40代母親】

(8) 小学校入学後の放課後の過ごし方

①放課後に過ごさせたい場所 低学年（1～3年生）（問33）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「習い事」が5割以上と最も多く、次いで“芝地区”“麻布地区”“赤坂地区”は「自宅」（それぞれ38.3%、45.1%、50.0%），“高輪地区”“芝浦港南地区”は「区立の学童クラブ」（それぞれ38.1%、37.8%）となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	自宅	祖父母や 知人・友 人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館・ 子ども中 生プラ ザ(学童 クラブ以 外の一般 利用)	放課GO →放課 GO→ク ラブ(学 童クラブ を除く。 月～金17 時まで)	区立の学 童クラブ (区立小 学校内に 併設のも のを含 む)
全体		755	38.1	9.7	57.7	15.5	21.3	32.8
居住地区	芝地区	107	38.3	7.5	60.7	8.4	21.5	30.8
	麻布地区	153	45.1	11.1	61.4	17.0	16.3	25.5
	赤坂地区	86	50.0	11.6	61.6	15.1	22.1	24.4
	高輪地区	176	33.0	15.3	56.8	17.6	26.1	38.1
	芝浦港南地区	230	33.5	4.8	53.0	16.5	20.9	37.8
前回(H30)	2,203	29.2	8.4	53.5	13.8	21.5	37.8	
		回答者数 (人)	私立(民 設民営) の学童ク ラブ	放課後等 デイス ビス	その他 (公園な ど)	未定	無回答	
全体		755	15.5	3.0	9.5	9.3	2.8	
居住地区	芝地区	107	17.8	3.7	9.3	8.4	4.7	
	麻布地区	153	16.3	2.0	11.8	9.2	4.6	
	赤坂地区	86	12.8	2.3	11.6	9.3	1.2	
	高輪地区	176	13.6	4.0	8.5	8.0	1.7	
	芝浦港南地区	230	16.5	3.0	8.3	10.9	1.7	
前回(H30)	2,203	13.8	1.0	8.0	0.0	12.8		

②放課後に過ごさせたい場所 高学年（4～6年生）（問33）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「習い事」が6割以上と最も多く、次いで「自宅」、「区立の学童クラブ」となっている。

【クロス表】

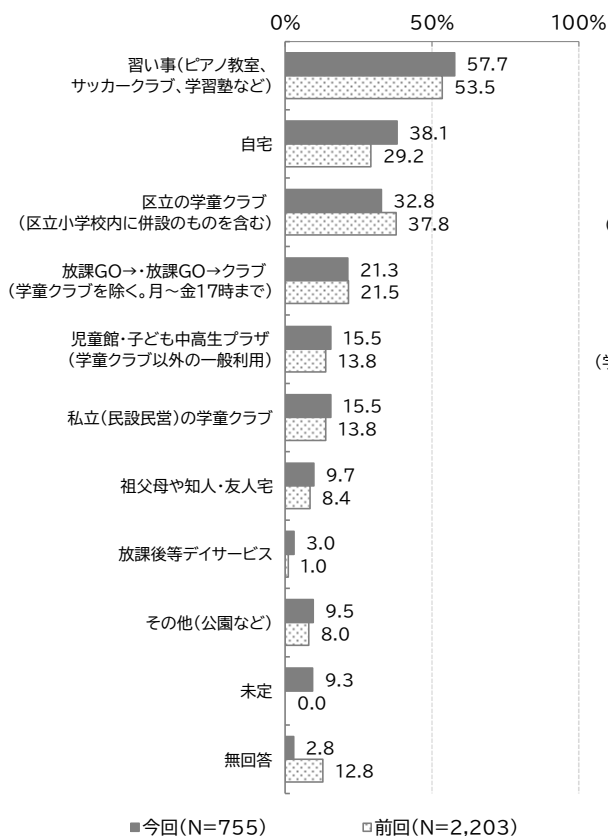
(単位：%)

		回答者数 (人)	自宅	祖父母や 知人・友 人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館・ 子ども中 生プラ ザ(学童 クラブ以 外の一般 利用)	放課GO →放課 GO→ク ラブ(学 童クラブ を除く。 月～金17 時まで)	区立の学 童クラブ (区立小 学校内に 併設のも のを含 む)
全体		755	42.3	9.3	68.5	12.8	12.1	20.9
居住地区	芝地区	107	44.9	10.3	69.2	8.4	14.0	20.6
	麻布地区	153	34.6	7.2	66.0	13.7	11.1	15.0
	赤坂地区	86	45.3	11.6	65.1	12.8	14.0	15.1
	高輪地区	176	40.9	11.9	72.7	15.3	15.3	31.3
	芝浦港南地区	230	46.5	7.4	67.8	12.6	8.7	19.6
前回(H30)	2,203	29.9	7.9	56.9	12.4	16.5	28.3	
		回答者数 (人)	私立(民 設民営) の学童ク ラブ	放課後等 デイス ビス	その他 (公園な ど)	未定	無回答	
全体		755	10.2	2.0	9.8	12.3	5.3	
居住地区	芝地区	107	12.1	1.9	10.3	12.1	7.5	
	麻布地区	153	10.5	2.0	11.1	12.4	9.8	
	赤坂地区	86	9.3	0.0	11.6	15.1	3.5	
	高輪地区	176	11.9	4.0	9.7	10.8	2.8	
	芝浦港南地区	230	8.3	1.3	8.3	12.6	3.5	
前回(H30)	2,203	10.3	0.9	7.4	0.0	21.6		

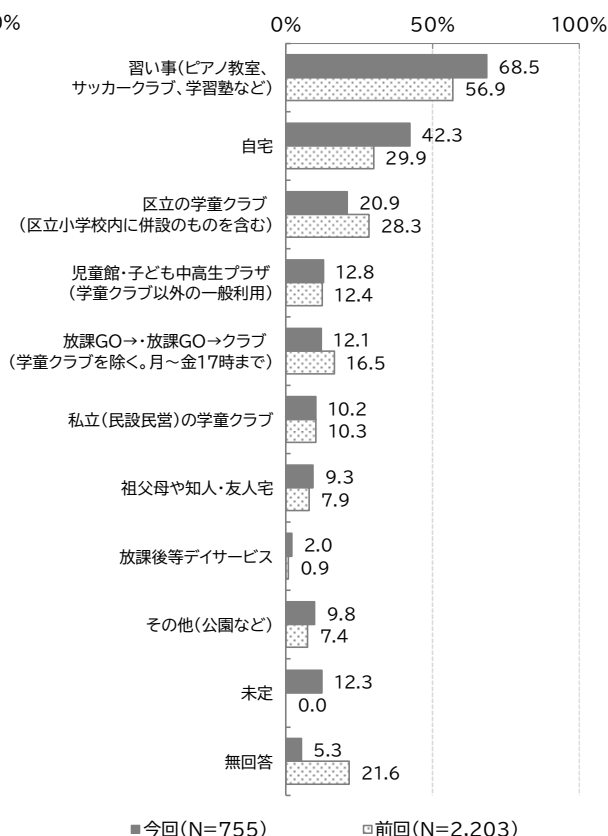
【前回比較】

- ・ 前回調査と比べて、低学年（1～3年生）は「習い事」（今回 57.7%、前回 53.5%）、「自宅」（今回 38.1%、前回 29.2%）が多く、「区立の学童クラブ」（今回 32.8%、前回 37.8%）が少なくなっている。
- ・ 前回調査と比べて、高学年（4～6年生）は「習い事」（今回 68.5%、前回 56.9%）、「自宅」（今回 42.3%、前回 29.9%）、が多く、「区立の学童クラブ」（今回 20.9%、前回 28.3%）が少なくなっている。

【低学年】



【高学年】



※前回調査では「未定」の選択肢なし

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 保育園卒園後の育児に不安を感じている。放課後の学童保育は19時までとなっているが、現状就労で19時半頃に迎えに行くことが多い。そのため、子供の迎えや子供の自宅での一人時間を作らざるを得ない状況が予想できる。学童保育の数も選択肢も、保育園と比べて非常に少ない印象がある。共働き世帯が安心して就労できる環境づくりの支援をお願いしたい。【4歳・30代母親】
- ・ 小学校で放課後に習い事をできるようにしてほしい。(又は学童) 仕事をしていると習い事へ送ることができない。【5歳・30代母親】
- ・ 仕事をしていなくても学童などの利用場所があるといいです。【4歳・40代母親】
- ・ 民間学童の助成制度がほしいです。【0歳・30代母親】

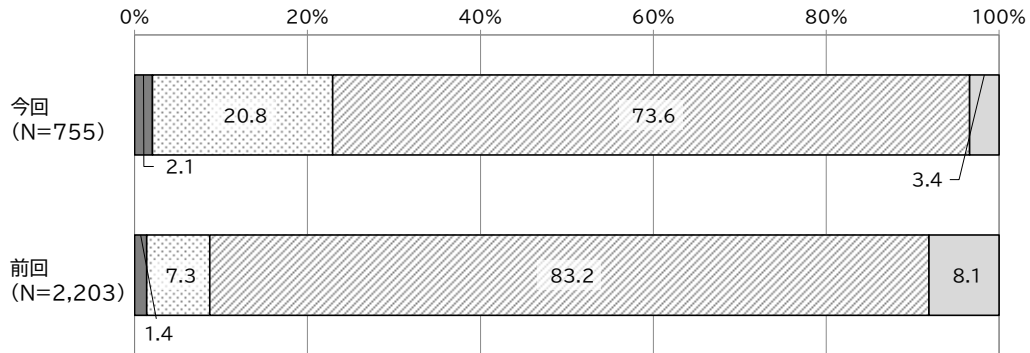
(9) 職場の両立支援制度

① 育児休業の取得状況 (問 36)

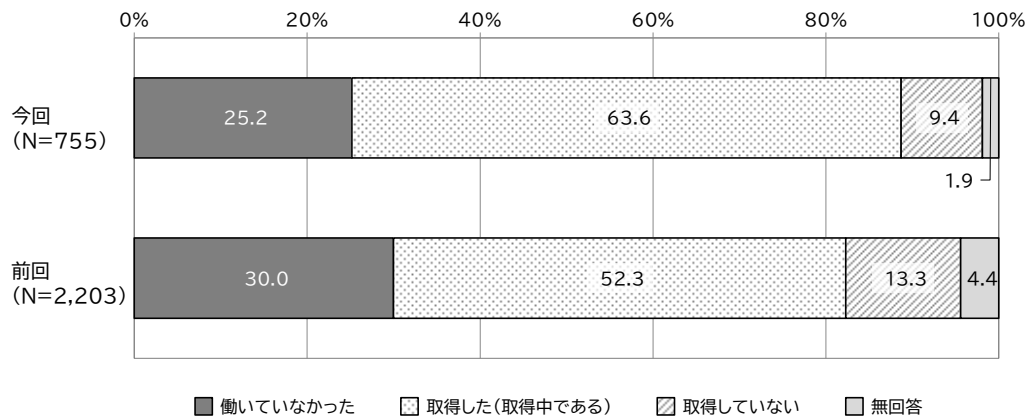
- ・ 父親は「取得した(取得中である)」が 20.8%となっており、前回調査の 7.3%を大きく上回っている。
- ・ 母親は「取得した(取得中である)」が 63.6%となっており、前回調査の 52.3%を上回っている。

【前回比較】

[父親]



[母親]



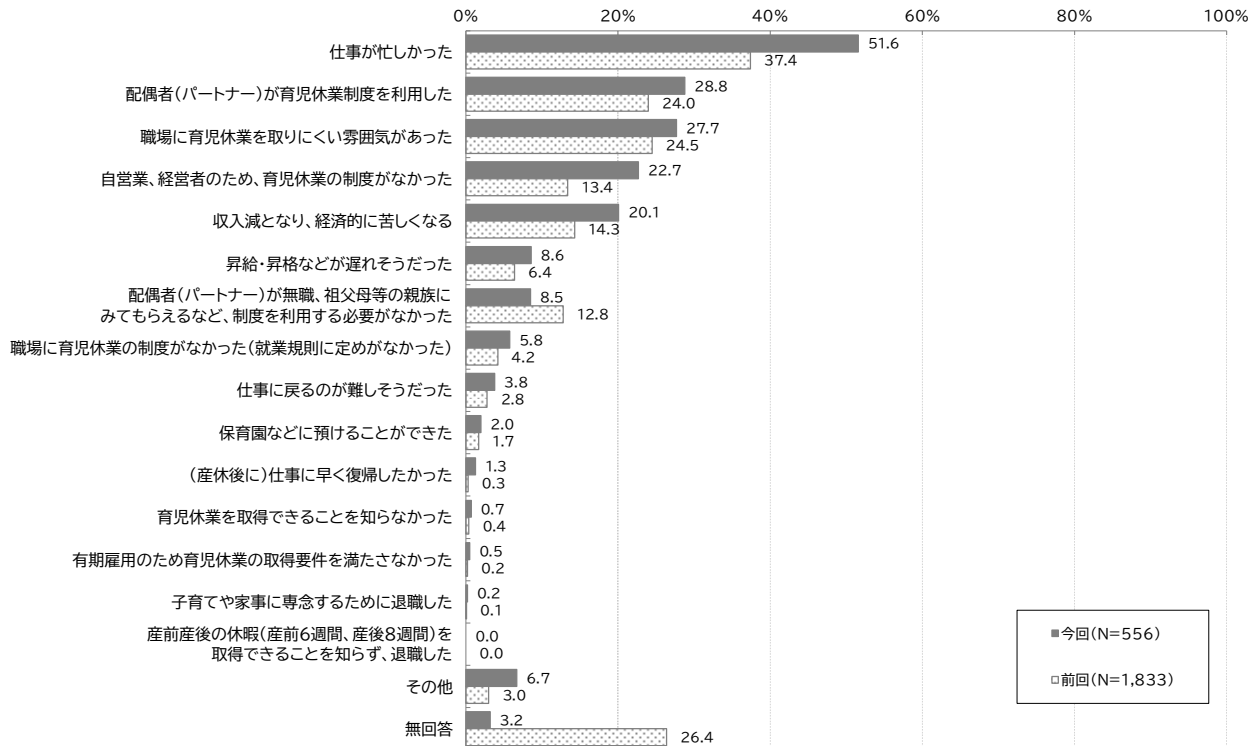
■ 働いていなかった ▨ 取得した(取得中である) ▩ 取得していない □ 無回答

②育児休業を取得していない理由（問 36）

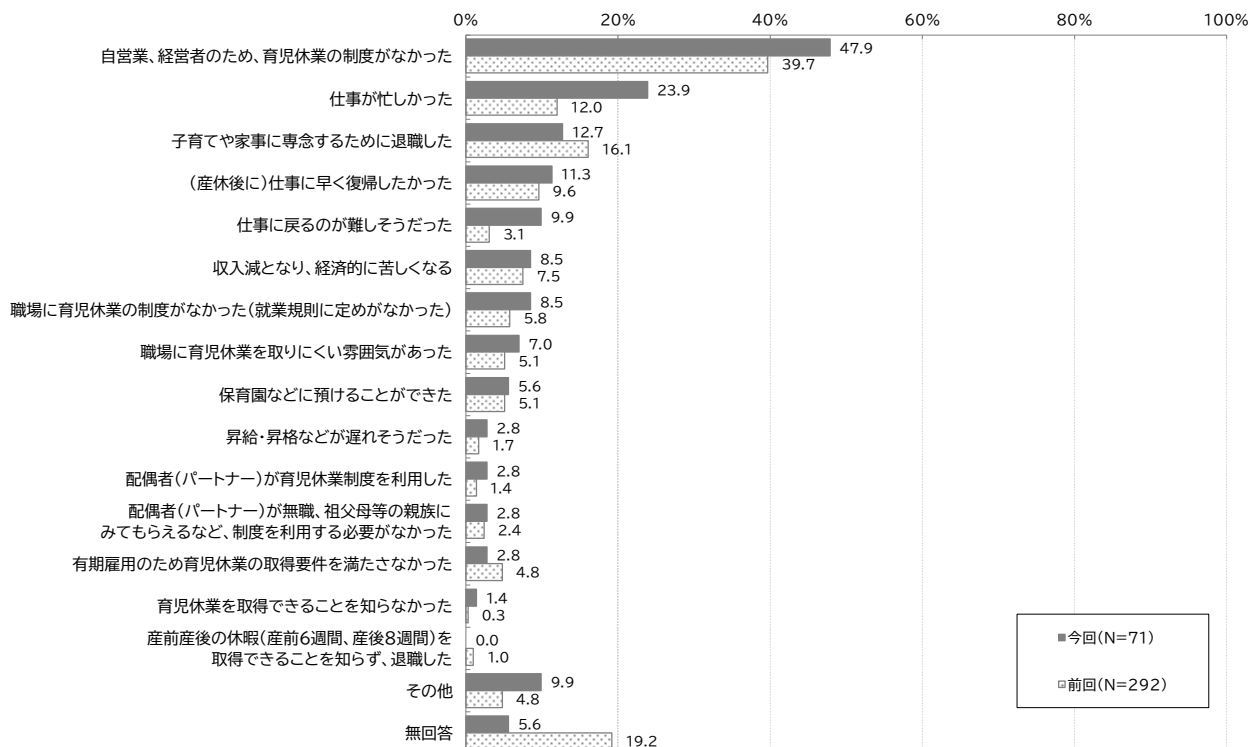
- ・ 前回調査と比べて、父親は「仕事が忙しかった」（今回 51.6%、前回 37.4%）、「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」（今回 22.7%、前回 13.4%）が多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて、母親は「自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった」（今回 47.9%、前回 39.7%）、「仕事が忙しかった」（今回 23.9%、前回 12.0%）が多くなっている。

【前回比較】

【父親】



【母親】



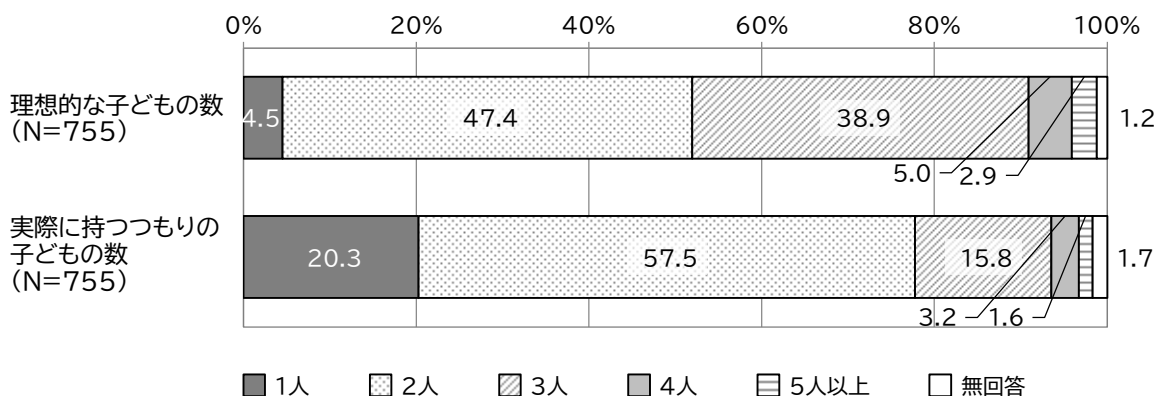
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 両親がともに安心して働きながら子育てできる環境作り（長時間労働の制限や育児時間を取得しやすい制度など）といった、根本的なところにもっと予算を使って頂けたらと思います。【0歳・30代母親】
- ・ フレックスタイム制や在宅勤務を推進している企業に補助やサポートをしてほしい。【0歳・40代母親】
- ・ 産後の0歳児の保護者向けのサロンを利用して、役立つ話を聞けたり、他のママと交流できたり、とても良かった。育休を取得する男性が増えていることに鑑み、パパ向けに限定したサロンのようなものがあると良いのではと思う。【0歳・30代母親】

(10) 理想と持つつもりの子どもの数

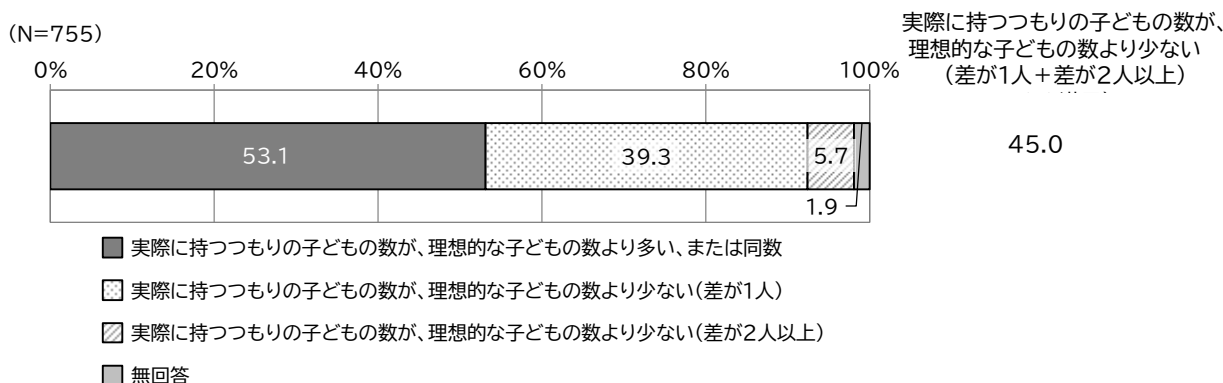
①理想的な子どもの数、実際に持つつもりの子どもの数（問 38、問 38-2）

- ・ 理想的な子どもの数は「2人」が47.4%と最も多く、次いで「3人」が38.9%、「4人」が5.0%となっている。平均の理想的な子どもの数は2.5人となっている。
- ・ 実際に持つつもりの子どもの数は「2人」が57.5%と最も多く、次いで「1人」が20.3%、「3人」が15.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は2.0人となっている。



②理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の差

- ・ 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は45.0%（差が1人：39.3%、差が2人以上：5.7%）となっている。



③実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（問 38-2）

- ・ 世帯年収別にみると、いずれも「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」が5割以上となっている。収入が少なくなるにつれて「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」が多い傾向となっている。
- ・ 子育ての孤立感の有無別にみると、孤立感を感じるほど「配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから」「育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから」が多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家庭内の人間関係が良好ではないから	配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
全体		340	36.8	62.9	52.4	8.2	27.4	10.6	4.7	16.5	29.1
世帯年収	200万円未満	6	66.7	50.0	66.7	33.3	50.0	0.0	33.3	33.3	16.7
	200～300万円未満	4	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	300～400万円未満	4	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	400～500万円未満	10	50.0	70.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	500～700万円未満	14	57.1	71.4	57.1	21.4	35.7	0.0	14.3	7.1	14.3
	700～1,000万円未満	46	39.1	67.4	63.0	0.0	26.1	2.2	10.9	28.3	23.9
	1,000～1,500万円未満	74	36.5	63.5	54.1	6.8	21.6	6.8	4.1	9.5	28.4
	1,500～2,000万円未満	66	39.4	62.1	53.0	6.1	33.3	9.1	3.0	15.2	34.8
	2,000～3,000万円未満	56	25.0	62.5	51.8	12.5	26.8	12.5	1.8	19.6	41.1
	3,000～5,000万円未満	20	30.0	65.0	55.0	10.0	45.0	30.0	0.0	15.0	30.0
	5,000～1億円未満	10	20.0	50.0	30.0	0.0	50.0	30.0	10.0	40.0	30.0
	1億円以上	5	40.0	80.0	60.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	40.0
わからない	22	27.3	50.0	27.3	13.6	18.2	13.6	0.0	13.6	4.5	
子育ての孤立感	ある	26	46.2	65.4	61.5	11.5	42.3	15.4	19.2	42.3	46.2
	ときどきある	105	39.0	67.6	55.2	10.5	32.4	8.6	4.8	23.8	35.2
	あまりない	123	33.3	58.5	52.0	6.5	23.6	13.0	4.1	11.4	27.6
	ない	84	36.9	64.3	46.4	6.0	22.6	8.3	1.2	7.1	19.0
		回答者数 (人)	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	高齢で産むのはいやだから	配偶者（パートナー）が望まないから	その他	無回答	
全体		340	4.7	9.7	7.4	13.2	23.2	7.6	10.3	1.5	
世帯年収	200万円未満	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	
	200～300万円未満	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	300～400万円未満	4	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	400～500万円未満	10	10.0	10.0	0.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	
	500～700万円未満	14	0.0	7.1	7.1	7.1	14.3	21.4	14.3	0.0	
	700～1,000万円未満	46	4.3	19.6	8.7	13.0	30.4	8.7	4.3	0.0	
	1,000～1,500万円未満	74	5.4	5.4	12.2	14.9	25.7	2.7	6.8	2.7	
	1,500～2,000万円未満	66	4.5	7.6	7.6	10.6	19.7	10.6	7.6	1.5	
	2,000～3,000万円未満	56	7.1	14.3	1.8	14.3	23.2	8.9	17.9	0.0	
	3,000～5,000万円未満	20	0.0	5.0	0.0	10.0	15.0	10.0	15.0	5.0	
	5,000～1億円未満	10	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	20.0	0.0	
	1億円以上	5	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	
わからない	22	4.5	4.5	13.6	9.1	27.3	0.0	18.2	4.5		
子育ての孤立感	ある	26	3.8	23.1	7.7	7.7	15.4	15.4	19.2	0.0	
	ときどきある	105	7.6	8.6	5.7	18.1	21.0	5.7	11.4	1.0	
	あまりない	123	2.4	13.0	6.5	13.8	26.0	8.1	8.9	0.8	
	ない	84	4.8	2.4	10.7	8.3	25.0	7.1	7.1	3.6	

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ できれば子供は3人ほしいですが、お金のことで産めません。もっと金銭的に支援があれば（学費など）と思います。【0歳・30代母親】
- ・ 都心に住む家族は、子育てには、住宅環境が一番ネックだと思います。子供 NG のマンションもあるし、上下隣の住人への配慮など、親子共にストレスが溜まります。2人目が欲しいと思いましたが、その為には、郊外や地方に行かねばならず、仕事にも差し支えるし、やはり、子供を諦めることになりました。例えば、都営など、子育て専用マンションがあったり、低価格で、子供が2～3人育てられる住宅支援があるといいと思います。【4歳・40代母親】
- ・ 3人目も欲しいが、平日仕事、土日育児を考えると、体力的精神的余裕がなく、もっと気軽に保育サービスを利用できるような助成、枠の拡充が必要だと感じている。【0歳・30代母親】

(11) 子育て環境

①子育て環境の満足度（問39）

- ・ “港区の子育て環境” “幼稚園” “保育園” “地域子ども・子育て支援事業” において、すべての居住地区、年齢で「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を上回っている。
- ・ 前回調査と比べて“保育園”は『満足』が多く、『不満』が少なくなっている。

【クロス表】

(1) 港区の子育て環境

(単位：%)

		回答者数 (人)	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	『満足』 (満足+ やや満足)	『不満』 (不満+ やや不満)
全体		755	38.5	41.6	10.6	4.0	1.9	3.4	80.1	5.9
居住地区	芝地区	107	40.2	44.9	7.5	3.7	1.9	1.9	85.1	5.6
	麻布地区	153	35.3	40.5	14.4	3.9	0.7	5.2	75.8	4.6
	赤坂地区	86	39.5	33.7	10.5	7.0	2.3	7.0	73.2	9.3
	高輪地区	176	34.7	44.9	10.2	5.1	1.7	3.4	79.6	6.8
	芝浦港南地区	230	42.6	41.3	10.0	2.2	2.2	1.7	83.9	4.4
年齢	0歳	183	35.5	43.2	10.9	3.3	1.1	6.0	78.7	4.4
	1歳	102	43.1	37.3	9.8	6.9	0.0	2.9	80.4	6.9
	2歳	114	42.1	41.2	9.6	1.8	1.8	3.5	83.3	3.6
	3歳	100	40.0	43.0	10.0	1.0	3.0	3.0	83.0	4.0
	4歳	120	40.0	42.5	7.5	7.5	0.8	1.7	82.5	8.3
5歳	129	35.7	39.5	14.7	3.1	4.7	2.3	75.2	7.8	
前回(H30)		2,203	33.8	41.9	11.9	5.1	1.9	5.4	75.7	7.0

(2) 幼稚園

(単位：%)

		回答者数 (人)	満足	やや満足	どちらで もない	やや不満	不満	利用して いない	無回答	『満足』 (満足+ やや満足)	『不満』 (不満+ やや不満)
全体		755	13.6	13.8	10.9	3.6	1.6	45.7	10.9	27.4	5.2
居住地	芝地区	107	9.3	12.1	9.3	4.7	0.9	55.1	8.4	21.4	5.6
	麻布地区	153	19.6	12.4	11.1	2.0	2.0	39.2	13.7	32.0	4.0
	赤坂地区	86	16.3	19.8	14.0	2.3	0.0	34.9	12.8	36.1	2.3
	高輪地区	176	13.1	11.4	11.9	6.3	1.1	46.0	10.2	24.5	7.4
	芝浦港南地区	230	11.3	15.2	9.1	2.6	2.2	49.6	10.0	26.5	4.8
年齢	0歳	183	8.7	12.0	13.1	2.2	1.6	53.0	9.3	20.7	3.8
	1歳	102	9.8	10.8	14.7	2.0	1.0	51.0	10.8	20.6	3.0
	2歳	114	9.6	6.1	8.8	5.3	2.6	50.9	16.7	15.7	7.9
	3歳	100	16.0	20.0	11.0	5.0	1.0	35.0	12.0	36.0	6.0
	4歳	120	17.5	20.0	8.3	3.3	0.0	41.7	9.2	37.5	3.3
	5歳	129	22.5	14.7	8.5	4.7	3.1	38.0	8.5	37.2	7.8
前回(H30)		2,203	10.8	11.3	35.0	7.5	6.0	0.0	29.3	22.1	13.5

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

(3) 保育園

(単位：%)

		回答者数 (人)	満足	やや満足	どちらで もない	やや不満	不満	利用して いない	無回答	『満足』 (満足+ やや満足)	『不満』 (不満+ やや不満)
全体		755	34.4	23.0	9.0	3.7	2.1	23.0	4.6	57.4	5.8
居住地	芝地区	107	36.4	22.4	5.6	2.8	0.0	27.1	5.6	58.8	2.8
	麻布地区	153	32.7	17.0	9.8	3.3	3.3	28.8	5.2	49.7	6.6
	赤坂地区	86	29.1	24.4	5.8	3.5	1.2	26.7	9.3	53.5	4.7
	高輪地区	176	36.4	24.4	10.2	2.8	2.3	19.3	4.5	60.8	5.1
	芝浦港南地区	230	35.2	25.7	10.4	4.8	2.6	19.1	2.2	60.9	7.4
年齢	0歳	183	24.0	18.6	9.3	4.9	3.3	35.5	4.4	42.6	8.2
	1歳	102	37.3	25.5	9.8	5.9	2.9	15.7	2.9	62.8	8.8
	2歳	114	39.5	23.7	10.5	4.4	1.8	15.8	4.4	63.2	6.2
	3歳	100	41.0	28.0	10.0	1.0	0.0	16.0	4.0	69.0	1.0
	4歳	120	33.3	25.0	7.5	1.7	2.5	25.0	5.0	58.3	4.2
	5歳	129	38.0	20.9	7.8	3.9	1.6	20.9	7.0	58.9	5.5
前回(H30)		2,203	22.6	22.0	25.3	8.6	6.7	0.0	14.8	44.6	15.3

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

(4) 地域子ども・子育て支援事業

(単位：%)

		回答者数 (人)	満足	やや満足	どちらで もない	やや不満	不満	利用して いない	無回答	『満足』 (満足+ やや満足)	『不満』 (不満+ やや不満)
全体		755	18.8	27.3	13.8	9.3	4.5	22.4	4.0	46.1	13.8
居住地	芝地区	107	16.8	34.6	13.1	11.2	1.9	19.6	2.8	51.4	13.1
	麻布地区	153	19.6	20.9	13.1	6.5	6.5	29.4	3.9	40.5	13.0
	赤坂地区	86	22.1	17.4	16.3	10.5	3.5	24.4	5.8	39.5	14.0
	高輪地区	176	15.3	29.5	16.5	8.5	6.8	19.3	4.0	44.8	15.3
	芝浦港南地区	230	20.4	30.0	11.3	10.4	3.0	20.9	3.9	50.4	13.4
年齢	0歳	183	18.6	27.9	9.8	10.4	3.3	25.7	4.4	46.5	13.7
	1歳	102	20.6	26.5	17.6	11.8	6.9	12.7	3.9	47.1	18.7
	2歳	114	18.4	32.5	14.0	6.1	4.4	19.3	5.3	50.9	10.5
	3歳	100	22.0	27.0	12.0	11.0	3.0	23.0	2.0	49.0	14.0
	4歳	120	17.5	25.8	14.2	8.3	6.7	25.0	2.5	43.3	15.0
	5歳	129	17.1	24.8	17.8	7.8	3.9	23.3	5.4	41.9	11.7
前回(H30)		2,203	17.1	29.5	25.3	12.0	4.4	0.0	11.6	46.6	16.4

※前回調査は「利用していない」の選択肢なし

2. 小学生の保護者

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点					
		居住地区	子の学年	世帯構造	世帯年収	子育ての孤立感	前回比較※
(1) 基本属性							
問1	居住地区		●				
問7	住まい	●	●				
問8	居住年数	●	●				
問8-1	居住のきっかけ	●	●				
問8-2	転入理由	●	●				
(2) 子育て状況							
問6	子育てを主に行っている人		●				●
問9	子どもをみてもらえる親族・知人		●				●
問10	子育ての悩み		●	●			
問12	子育ての孤立感		●	●			●
(3) 就労・家計状況							
問15	現在の就労状況		●				●
問19	家計の収支状況			●	●		
問20	新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き			●	●		
(4) 病気の際の対応							
問21-1	病気等で学校を休んだ際の対処方法	●	●				●
問21-2	病児・病後児のための保育サービスの利用希望	●	●				●
(5) 不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況							
問22	私用等で不定期に利用する事業の利用状況	●	●				●
問23	私用等で不定期に利用する事業の利用希望	●	●				●
(6) 小学校での放課後の過ごし方							
問26	放課後に過ごしている場所	●	●				
問27	高学年（4～6年生）のときに放課後に過ごさせたい場所	●	●				
(7) 理想と持つつもりの子どもの数							
問31-2	実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由				●	●	
(8) 子育て環境							
問32	子育て環境の満足度	●	●				●

※前回調査結果として掲載しているデータの出典

港区子ども・子育て支援ニーズ調査報告書 平成31年3月

なお、前回調査は小学校1・2年生の保護者が対象のため参考値とする

(1) 基本属性

①居住地区（問1）

- ・ 学年別にみると、“1年生”“2年生”“5年生”は「高輪地区」（それぞれ31.7%、30.1%、32.4%），“3年生”“4年生”“6年生”は「芝浦港南地区」（それぞれ29.5%、34.2%、28.9%）が最も多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南 地区	無回答
全体		840	11.1	19.5	12.5	27.9	28.5	0.6
学 年	1年生	183	15.8	16.4	14.2	31.7	21.3	0.5
	2年生	133	6.8	20.3	13.5	30.1	28.6	0.8
	3年生	129	10.1	20.2	12.4	27.1	29.5	0.8
	4年生	149	8.7	20.8	12.8	22.8	34.2	0.7
	5年生	111	10.8	18.9	7.2	32.4	30.6	0.0
	6年生	121	10.7	23.1	14.0	23.1	28.9	0.0

②住まい（問7）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「持家（マンション）」（それぞれ45.2%、33.3%、44.4%、64.4%），“麻布地区”は「民間の賃貸マンション・アパート」（47.0%）が最も多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「持家（マンション）」が4割以上と最も多く、次いで「民間の賃貸マンション・アパート」となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	持家（一 戸建て）	持家（マ ンシヨ ン）	借家（一 戸建て）	民間の賃 貸マン シヨ ン・ アパ ート	都営・区 営・区立 住宅	UR（旧 公団）・ 公社の賃 貸住宅	社宅・公 務員宿舎	その他	無回答
全体		840	6.9	46.7	1.5	32.1	4.2	1.4	6.2	1.0	0.0
居 住 地 区	芝地区	93	5.4	45.2	1.1	28.0	8.6	1.1	9.7	1.1	0.0
	麻布地区	164	11.0	33.5	1.8	47.0	0.0	0.0	5.5	1.2	0.0
	赤坂地区	105	9.5	33.3	3.8	32.4	3.8	2.9	13.3	1.0	0.0
	高輪地区	234	10.7	44.4	1.3	37.6	3.0	0.4	1.7	0.9	0.0
	芝浦港南地区	239	0.0	64.4	0.4	18.0	6.7	2.9	6.7	0.8	0.0
学 年	1年生	183	6.0	45.9	2.2	35.0	4.4	1.6	4.9	0.0	0.0
	2年生	133	7.5	48.9	0.8	32.3	1.5	1.5	6.8	0.8	0.0
	3年生	129	6.2	45.0	4.7	31.8	4.7	0.8	5.4	1.6	0.0
	4年生	149	6.0	45.0	0.0	32.2	6.7	2.7	6.7	0.7	0.0
	5年生	111	8.1	44.1	0.0	36.9	2.7	0.0	7.2	0.9	0.0
	6年生	121	8.3	50.4	1.7	24.8	5.0	1.7	5.8	2.5	0.0

③居住年数（問8）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「10～20年未満」が3割以上と最も多く、次いで“芝地区”は「20年以上」（16.1%），“麻布地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「5～10年未満」（それぞれ22.0%、29.5%、28.2%、22.2%）となっている。
- ・ 学年別にみると、“1年生”“3年生”“4年生”“5年生”“6年生”は「10～20年未満」（それぞれ32.2%、38.0%、50.3%、53.2%、42.1%），“2年生”は「5～10年未満」（35.3%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～20年 未満	20年以上	生まれて からずっと 港区に 住んでいる	無回答
全体		840	3.0	5.4	5.8	23.7	41.0	11.0	10.2	0.0
居住地区	芝地区	93	3.2	5.4	5.4	14.0	40.9	16.1	15.1	0.0
	麻布地区	164	4.3	6.7	9.1	22.0	36.6	11.0	10.4	0.0
	赤坂地区	105	2.9	9.5	4.8	29.5	32.4	10.5	10.5	0.0
	高輪地区	234	3.8	3.8	3.8	28.2	36.3	12.8	11.1	0.0
	芝浦港南地区	239	1.3	4.2	5.4	22.2	52.7	7.1	7.1	0.0
学年	1年生	183	3.3	8.2	8.2	28.4	32.2	9.8	9.8	0.0
	2年生	133	3.8	6.0	6.8	35.3	33.8	6.8	7.5	0.0
	3年生	129	4.7	7.8	2.3	23.3	38.0	10.9	13.2	0.0
	4年生	149	2.0	2.0	5.4	18.8	50.3	12.8	8.7	0.0
	5年生	111	1.8	5.4	6.3	15.3	53.2	11.7	6.3	0.0
	6年生	121	2.5	1.7	2.5	19.8	42.1	14.9	16.5	0.0

④居住のきっかけ（問8-1）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「子どもの出産前から住んでいる」が4割以上と最も多く、“芝地区”（63.4%）はその他の地区と比べて多くなっている。次いで「その他」となっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「子どもの出生前から住んでいる」が約5割と最も多く、次いで「その他」となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	子どもの 出産を機 に転入し た	保育園・ 幼稚園へ の入園の ために転 入した	小学校へ の入学 のために 転入した	インター ナショナル スクール に入る ために 転入した	子どもの 出産前 から住 んで いる	その他	特に理由 はない	無回答
全体		840	5.8	5.1	5.8	1.5	52.5	21.5	7.0	0.6
居住地区	芝地区	93	6.5	4.3	2.2	0.0	63.4	19.4	4.3	0.0
	麻布地区	164	4.3	4.3	9.1	4.3	51.2	18.3	7.9	0.6
	赤坂地区	105	5.7	4.8	8.6	1.0	41.9	24.8	12.4	1.0
	高輪地区	234	6.4	5.6	6.0	0.9	52.6	23.1	4.7	0.9
	芝浦港南地区	239	5.9	5.9	3.3	0.8	54.0	22.2	7.5	0.4
学年	1年生	183	5.5	4.9	6.6	1.1	55.7	18.6	6.6	1.1
	2年生	133	9.0	4.5	5.3	0.0	50.4	23.3	7.5	0.0
	3年生	129	7.8	4.7	4.7	2.3	50.4	24.0	5.4	0.8
	4年生	149	6.0	6.0	4.7	1.3	55.7	18.8	7.4	0.0
	5年生	111	0.9	8.1	7.2	1.8	49.5	22.5	9.0	0.9
	6年生	121	5.8	3.3	6.6	2.5	51.2	23.1	6.6	0.8

⑤転入理由（問8-2）

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“麻布地区”“赤坂地区”“芝浦港南地区”は「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」（75.0%、47.2%、47.6%、42.1%）、「高輪地区」は「入学したい小学校があるから」（40.9%）が最も多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「治安が良く、子どもにとって安全な環境だから」が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	出産費用 助成がある から	母子保健 事業が充 実してい るから	保育料助 成がある から	第2子以 降の保育 料が無料 だから	教育・保 育施設に 空きがあ り、入園 させやす いから	入園した い保育 園・幼稚 園がある から	入学した い小学校 があるか ら
全体		154	4.5	6.5	8.4	5.2	16.2	9.7	27.9
居住地区	芝地区	12	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	8.3	16.7
	麻布地区	36	5.6	2.8	5.6	2.8	5.6	8.3	36.1
	赤坂地区	21	0.0	4.8	4.8	9.5	23.8	9.5	28.6
	高輪地区	44	2.3	11.4	9.1	6.8	11.4	13.6	40.9
	芝浦港南地区	38	7.9	7.9	10.5	2.6	26.3	7.9	7.9
学年	1年生	33	0.0	6.1	12.1	12.1	12.1	9.1	21.2
	2年生	25	8.0	12.0	4.0	4.0	20.0	12.0	32.0
	3年生	25	12.0	12.0	12.0	8.0	4.0	8.0	32.0
	4年生	27	3.7	0.0	7.4	3.7	25.9	0.0	25.9
	5年生	20	0.0	5.0	10.0	0.0	15.0	20.0	35.0
	6年生	22	4.5	4.5	4.5	0.0	18.2	13.6	27.3
		回答者数 (人)	入りたい インター ナショナル スクール がある から	職場が近 いから	治安が良 く、子ど もにとっ て安全な 環境だか ら	子育てに 協力して くれる親 族がいる から	その他	特に理由 はない	無回答
全体		154	9.1	31.2	45.5	7.1	10.4	3.9	0.6
居住地区	芝地区	12	0.0	50.0	75.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	麻布地区	36	19.4	25.0	47.2	8.3	11.1	5.6	0.0
	赤坂地区	21	9.5	33.3	47.6	0.0	4.8	0.0	0.0
	高輪地区	44	6.8	27.3	38.6	6.8	9.1	0.0	0.0
	芝浦港南地区	38	2.6	34.2	42.1	13.2	13.2	10.5	2.6
学年	1年生	33	6.1	18.2	42.4	12.1	15.2	6.1	3.0
	2年生	25	0.0	40.0	44.0	4.0	0.0	8.0	0.0
	3年生	25	12.0	40.0	48.0	0.0	12.0	0.0	0.0
	4年生	27	7.4	25.9	29.6	7.4	18.5	7.4	0.0
	5年生	20	15.0	35.0	55.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	6年生	22	13.6	31.8	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0

(2) 子育て状況

①子育てを主に行っている人 (問6)

- ・ 学年別にみると、いずれも「父母ともに」が5割以上と最も多く、次いで「主に母親」となっている。
- ・ 前回調査と比べて「父母ともに」(今回62.3%、前回55.7%)が多く、「主に母親」(今回35.6%、前回42.4%)が少なくなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	父母とも に	主に父親	主に母親	主に祖父 母	その他	無回答
全体		840	62.3	1.8	35.6	0.4	0.0	0.0
学 年	1年生	183	69.4	1.6	29.0	0.0	0.0	0.0
	2年生	133	63.9	2.3	33.1	0.8	0.0	0.0
	3年生	129	64.3	0.0	34.9	0.8	0.0	0.0
	4年生	149	60.4	2.0	37.6	0.0	0.0	0.0
	5年生	111	54.1	1.8	43.2	0.9	0.0	0.0
	6年生	121	56.2	2.5	41.3	0.0	0.0	0.0
前回(H30)		879	55.7	1.1	42.4	0.3	0.1	0.2

②子どもをみてもらえる親族・知人 (問9)

- ・ 学年別にみると、いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が4割以上と最も多くなっている。次いで“1年生”“2年生”“3年生”“5年生”“6年生”は「いずれもない」(それぞれ30.1%、24.1%、27.1%、26.1%、32.2%)、“4年生”は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる知人・友人がいる」(31.5%)となっている。
- ・ 前回調査と比べて「いずれもない」(今回26.9%、前回20.7%)が多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	日常的に 祖父母等 の親族に みてもら える	緊急時も しくは用 事の際に は祖父母 等の親族 にみても らえる	日常的に 子どもを みてもら える知 人・友人 がいる	緊急時も しくは用 事の際に は子ども をみても らえる知 人・友人 がいる	いずれも いない	無回答
全体		840	11.5	47.3	3.0	22.7	26.9	2.6
学 年	1年生	183	9.8	49.2	3.3	15.8	30.1	2.7
	2年生	133	13.5	47.4	3.8	20.3	24.1	3.8
	3年生	129	10.9	46.5	2.3	21.7	27.1	1.6
	4年生	149	11.4	53.0	2.7	31.5	19.5	0.7
	5年生	111	9.0	45.9	1.8	25.2	26.1	6.3
	6年生	121	14.9	40.5	3.3	24.8	32.2	1.7
前回 (H30)		879	14.3	54.5	4.1	24.2	20.7	2.8

③子育ての悩み（問10）

- ・ 学年別にみると、いずれも「子どもの教育に関すること」が4割以上と最も多く、次いで“1年生”は「子どもとの時間を十分にとれないこと」「子どもを叱りすぎているような気がすること」（ともに28.4%），“2年生”“3年生”“4年生”は「子どもを叱りすぎているような気がすること」（それぞれ30.8%、25.6%、25.5%），“5年生”は「友だちづきあいに関すること」（19.8%），“6年生”は「特になし」（24.8%）となっている。
- ・ 世帯構造別にみると、いずれも「子どもの教育に関すること」（それぞれ42.6%、52.4%）が最も多くなっている。
- ・ “ひとり親”は「発育・発達、病気、障害に関すること」（27.8%）、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」（22.2%）、「子どもとの時間を十分にとれないこと」（33.3%）、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」（33.3%）、「子どもを叱りすぎているような気がすること」（33.3%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数 (人)	発育・発達、 病気、障害 に関する こと	食事や栄 養に関す ること	子育ての 方法がよ くわから ないこと	子どもと の接し方 に自信が 持てない こと	子どもと の時間を 十分にと れないこ と	話し相手 や相談相 手がいな いこと	仕事や自 分のやり たいこと が十分で きないこ と	子どもの 教育に関 すること	友だちづ きあい (いじめ 等を含 む)に関 すること	登校拒否 などの問 題に関す ること
全体		840	14.5	17.6	4.0	12.4	22.6	3.8	20.5	51.5	19.9	4.4
学 年	1年生	183	13.1	24.0	4.9	14.8	28.4	3.8	27.3	51.4	19.7	2.7
	2年生	133	13.5	18.0	3.0	14.3	27.1	3.0	18.8	51.1	21.1	4.5
	3年生	129	11.6	17.1	3.9	13.2	20.9	3.1	22.5	57.4	23.3	5.4
	4年生	149	18.1	16.8	4.0	15.4	21.5	6.7	20.1	52.3	18.1	4.0
	5年生	111	9.9	14.4	5.4	7.2	18.0	3.6	14.4	47.7	19.8	6.3
	6年生	121	18.2	11.6	3.3	8.3	16.5	2.5	17.4	50.4	19.0	5.0
構 世 造 帯	ひとり親	54	27.8	25.9	7.4	22.2	33.3	7.4	33.3	42.6	22.2	9.3
	ふたり親	760	13.9	17.5	3.8	11.4	21.6	3.4	19.6	52.4	19.9	4.2
		回答者数 (人)	子育てに 関して配 偶者 (パート ナー)の 協力が少 ないこと	子育てに 関して配 偶者 (パート ナー)と 意見が合 わないこ と	自分の子 育てにつ いて、親 族・近隣 の人・職 場などま わりの目 が気になること	配偶者 (パート ナー)以 外に子育 てを手 伝ってく れる人が いないこ と	子どもを 叱りすぎ ているよ うな気が すること	子育ての ストレス がたまっ て、子ど もに手 あげた り、世話 をしな かったり してしま うこと	地域の子 育て支援 サービス の内容や 利用・申 込み方法 がよくわ からない こと	その他	特になし	無回答
全体		840	9.8	9.6	2.1	9.3	24.4	3.5	4.4	3.1	18.2	1.4
学 年	1年生	183	12.6	10.9	3.8	10.9	28.4	5.5	6.0	2.7	14.8	1.1
	2年生	133	9.8	9.8	3.0	13.5	30.8	3.0	3.8	1.5	20.3	2.3
	3年生	129	9.3	5.4	0.8	11.6	25.6	3.9	5.4	2.3	17.8	1.6
	4年生	149	9.4	10.7	2.7	6.0	25.5	1.3	3.4	4.7	15.4	1.3
	5年生	111	7.2	9.9	0.9	9.9	18.0	3.6	1.8	4.5	18.0	1.8
	6年生	121	9.1	10.7	0.8	2.5	15.7	2.5	5.8	3.3	24.8	0.8
構 世 造 帯	ひとり親	54	9.3	5.6	3.7	3.7	33.3	3.7	3.7	11.1	14.8	0.0
	ふたり親	786	9.3	9.5	2.1	10.0	23.8	3.6	4.5	2.6	18.3	1.6

④子育ての孤立感（問12）

- ・ 学年別にみると、いずれも「あまりない」が3割以上と最も多く、次いで“1年生”“2年生”“4年生”“5年生”“6年生”は「ない」（それぞれ 32.2%、30.1%、29.5%、29.7%、32.2%），“3年生”は「ときどきある」（29.5%）となっている。
- ・ 世帯構造別にみると“ひとり親”は「ときどきある」（33.3%），“ふたり親”は「あまりない」（40.8%）が最も多くなっている。
- ・ “ひとり親”は「ある」（22.2%）が“ふたり親”と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	ある	ときどき ある	あまりな い	ない	無回答
全体		840	7.5	21.8	39.9	30.2	0.6
学 年	1年生	183	8.7	19.1	39.3	32.2	0.5
	2年生	133	7.5	21.1	40.6	30.1	0.8
	3年生	129	5.4	29.5	34.9	28.7	1.6
	4年生	149	9.4	18.8	41.6	29.5	0.7
	5年生	111	9.0	22.5	38.7	29.7	0.0
	6年生	121	5.0	21.5	41.3	32.2	0.0
構 世 造 帯	ひとり親	54	22.2	33.3	29.6	14.8	0.0
	ふたり親	760	6.4	20.4	40.8	31.7	0.7
前回(H30)		879	6.4	20.9	42.2	29.4	1.1

【関連する自由回答（一部抜粋）】

子育てを主に行っている人	・ 子供が増えない理由は、子育ては女性ばかりが負担となる現実があるからです。子供を外で遊ばせている子煩悩な父親が増えているように見えますが、結局、母親はその間、自由時間ではなく、自宅で家事をしていることが多いです。【5年生・40代母親】
子どもをみてもらえる親族・知人	・ 地方出身で、近くに親戚はいませんが、0歳で知りあったうさちゃんくらの友人や、保育園で知りあった友人に支えられ、生活しています。【2年生・40代母親】
子育ての孤立感	・ 子育ての支援が充実していたおかげで、ここまで孤独や孤立をあまり感じずに子育てしてこられたと思います。【1年生・30代母親】 ・ 乳幼児のときは本当に孤独を感じるのは真夜中から夜明け。その時間に何かしらの対応をしてくれる窓口や電話相談等を考えて欲しい。【4年生・40代母親】 ・ 今は、子供が大きくなったので大丈夫ですが、乳幼児期は母親向けのイベントも遠かったりで（赤坂とか芝浦とか）参加しづらく孤独でした。台場地区を孤立させないでほしい。【3年生・40代母親】

(3) 就労・家計状況

①現在の就労状況（問15）

- ・ 母親の就労状況を子の学年別にみると、いずれも「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が約4割と最も多い。次いで、“1年生”“2年生”“3年生”“4年生”は「以前は就労していたが、現在は就労していない」（それぞれ23.5%、24.1%、24.0%、22.1%）、“5年生”“6年生”は「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（それぞれ27.0%、28.1%）となっている。

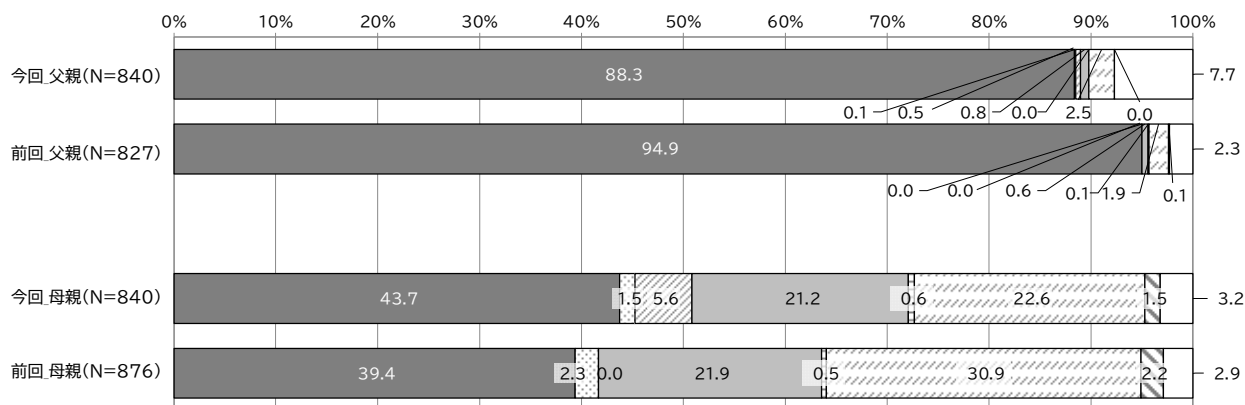
【クロス表（母親の就労状況）】

（単位：％）

	回答者数 (人)	フルタイム (1週5日程 度・1日8時間程 度の就労)で就 労しており、産 休・育休・介護 休業中では ない	フルタイム (1週5日程 度・1日8時間程 度の就労)で就 労しているが、産 休・育休・介護 休業中である	フルタイム (1週5日程 度・1日8時間程 度の就労)で就 労しているが、育 児短時間勤 務中である	パート・ アルバイト等 (「フル タイム以 外」の就 労)で就 労しており、産 休・育休・介護 休業中では ない	パート・ アルバイト等 (「フル タイム以 外」の就 労)で就 労しているが、産 休・育休・介護 休業中である	以前は就 労してい たが、現 在は就労 してい ない	これまで 就労し たこと がない	無回答
全体	840	43.7	1.5	5.6	21.2	0.6	22.6	1.5	3.2
学年	1年生	183	42.6	2.2	8.7	16.9	0.0	23.5	4.4
	2年生	133	38.3	2.3	9.8	21.8	1.5	24.1	1.5
	3年生	129	39.5	2.3	6.2	21.7	0.8	24.0	3.1
	4年生	149	46.3	1.3	5.4	16.8	0.7	22.1	4.7
	5年生	111	47.7	0.0	0.9	27.0	0.0	20.7	2.7
	6年生	121	47.1	0.0	0.8	28.1	0.8	20.7	1.7

【前回比較】

- ・ 父親は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（88.3%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（0.1%）、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」（0.5%）の合計が88.9%となっており、前回調査の94.9%を下回っている。
- ・ 母親は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」（43.7%）、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」（1.5%）、「フルタイムで就労しているが、育児短時間勤務中である」（5.6%）の合計が50.8%となっており、前回調査の41.7%を上回っている。



■フルタイム(1週5日程・1日8時間程度)の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
□フルタイム(1週5日程・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
□パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
□以前は就労していたが、現在は就労していない
□これまで就労したことがない

□フルタイム(1週5日程・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である
□パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない
□以前は就労していたが、現在は就労していない
□無回答

※母親の選択肢は「産休・育休・介護休業中」となっている

※前回調査では「フルタイム(1週5日程・1日8時間程度)の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である」の項目なし

※前回調査では、父母について「死亡、離婚、未婚などでいない」と回答した数を集計から除外している

②家計の収支状況（問 19）

- ・ 世帯年収別にみると、“200 万円未満” から “700～1,000 万円未満” は「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」もしくは「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、「1,000～1,500 万円未満」から “1 億円以上” は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」が最も多くなっている。
- ・ 世帯構造別にみると、“ひとり親” は「赤字であり、貯蓄を取り崩している」（31.5%）、“ふたり親” は「黒字であり、毎月貯蓄をしている」（49.3%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	黒字であり、毎月貯蓄をしている	黒字であるが、貯蓄はしていない	赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである	赤字であり、貯蓄を取り崩している	赤字であり、借金をして生活している	その他	わからない	無回答
全体		840	46.8	9.6	22.3	10.8	2.4	0.5	6.9	0.7
世帯 年 収	200万円未満	20	10.0	0.0	30.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	200～300万円未満	21	0.0	4.8	47.6	38.1	0.0	4.8	4.8	0.0
	300～400万円未満	21	19.0	14.3	23.8	33.3	9.5	0.0	0.0	0.0
	400～500万円未満	18	11.1	11.1	16.7	50.0	5.6	0.0	5.6	0.0
	500～700万円未満	43	9.3	9.3	39.5	25.6	14.0	0.0	2.3	0.0
	700～1,000万円未満	126	31.0	8.7	34.1	13.5	2.4	1.6	8.7	0.0
	1,000～1,500万円未満	163	44.8	12.3	27.6	10.4	1.8	0.0	3.1	0.0
	1,500～2,000万円未満	133	60.9	11.3	18.0	5.3	0.8	0.0	3.8	0.0
	2,000～3,000万円未満	130	67.7	7.7	16.2	3.1	0.8	0.8	3.8	0.0
	3,000～5,000万円未満	77	79.2	11.7	7.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	5,000～1 億円未満	25	76.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	1 億円以上	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	50	32.0	4.0	8.0	8.0	2.0	0.0	46.0	0.0	
構世 造帯	ひとり親	54	18.5	7.4	29.6	31.5	9.3	1.9	1.9	0.0
	ふたり親	760	49.3	9.7	21.4	9.2	1.8	0.4	7.2	0.8

③新型コロナウイルス感染症拡大前と比べた暮らし向き（問 20）

- ・ 世帯年収別にみると、“200 万円未満” “700～1,000 万円未満” から “1 億円以上” は「変わらない」、「200～300 万円未満」から “500～700 万円未満” は「今の方がやや苦しい」もしくは「今の方が大変苦しい」が最も多くなっている。
- ・ 世帯構造別にみると、“ひとり親” は「今の方がやや苦しい」（37.0%），“ふたり親” は「変わらない」（47.6%）が最も多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	今の方が大変ゆとりがある	今の方がややゆとりがある	変わらない	今の方がやや苦しい	今の方が大変苦しい	わからない	無回答
全体		840	2.5	7.6	46.5	24.9	11.8	6.1	0.6
世帯 年 収	200万円未満	20	0.0	0.0	40.0	20.0	35.0	5.0	0.0
	200～300万円未満	21	0.0	0.0	9.5	52.4	28.6	9.5	0.0
	300～400万円未満	21	0.0	4.8	28.6	38.1	14.3	14.3	0.0
	400～500万円未満	18	0.0	11.1	11.1	38.9	38.9	0.0	0.0
	500～700万円未満	43	0.0	4.7	20.9	37.2	37.2	0.0	0.0
	700～1,000万円未満	126	1.6	7.9	38.9	27.8	16.7	7.1	0.0
	1,000～1,500万円未満	163	0.6	7.4	50.9	23.9	12.9	4.3	0.0
	1,500～2,000万円未満	133	1.5	5.3	51.1	30.1	7.5	4.5	0.0
	2,000～3,000万円未満	130	3.1	7.7	63.1	20.8	1.5	3.8	0.0
	3,000～5,000万円未満	77	14.3	16.9	49.4	14.3	1.3	3.9	0.0
	5,000～1 億円未満	25	0.0	24.0	60.0	16.0	0.0	0.0	0.0
	1 億円以上	5	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0
わからない	50	0.0	0.0	52.0	12.0	10.0	26.0	0.0	
構世 造帯	ひとり親	54	3.7	0.0	33.3	37.0	24.1	1.9	0.0
	ふたり親	760	2.5	8.3	47.6	23.7	10.8	6.4	0.7

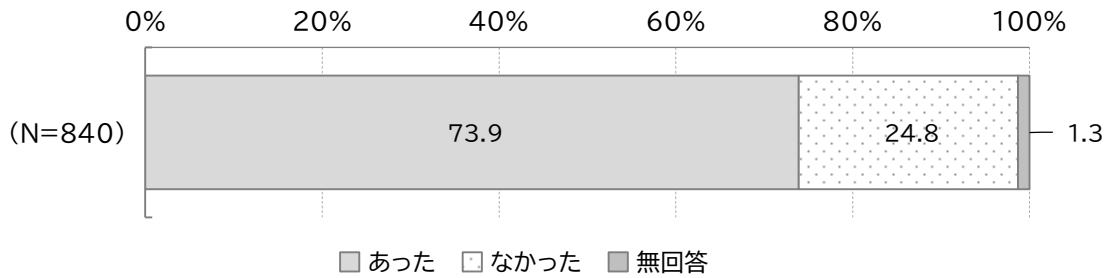
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 各種の所得制限は不公平です。港区独自で所得制限によるこども支援の格差を是正するようなしくみ、補助があると大変助かります。【5年生・40代母親】
- ・ 親の持家に住んでいる場合、一般的な港区イメージからくるほどの年収ではないこともあり、物価の高い港区で住むことは経済的に厳しいです。様々な補助金は1,000万（年収）円を超えると得られないことが多く、港区に住むことはお金がかかるので、地域によってこの値を見直すことは必要だと思います。【6年生・40代母親】
- ・ ひとり親でお金が不安です。ずっと港区に住めるなら住みたいですが、家賃が高すぎて子供が小学校卒業までいてあげれるか不安です。子供の為にも、今の友達から離したくないです。都営住宅や区営住宅がなかなかあたらぬので、ひとり親の枠をもっと増やしてほしいです。【2年生・40代母親】
- ・ ひとり親家庭に、援助金をお願いしたい。コロナ禍以来、援助の数が減って厳しいので。【2年生・50代母親】
- ・ 家計困窮家庭への助成制度、食材、料理配達制度(コロナの緊急パックのようなもの)がほしい【3年生・40代母親】

(4) 病気の際の対応

①この1年に、子どもが病気等で学校を休んだこと (問 21)

- ・ 「あった」が73.9%、「なかった」が24.8%となっている。



②病気等で学校を休んだ際の対処方法 (問 21-1)

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が5割以上と最も多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「母親が仕事を休んだ」が5割以上と最も多くなっている。次いで「1年生」「4年生」「6年生」は「父親が仕事を休んだ」(それぞれ 30.7%、28.0%、25.9%)、「2年生」「3年生」「5年生」は「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」(それぞれ 27.9%、31.6%、26.0%)となっている。
- ・ 前回調査と比べて「父親が仕事を休んだ」(今回 25.8%、前回 19.5%)、「母親が仕事を休んだ」(今回 62.3%、前回 54.8%)が多く、「祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった」(今回 12.6%、前回 23.6%)が少なくなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみた	派遣型一時保育を利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		621	25.8	62.3	12.6	24.8	0.5	0.0	6.9	6.4	2.7
居住地区	芝地区	63	33.3	74.6	15.9	19.0	1.6	0.0	4.8	1.6	4.8
	麻布地区	121	19.8	59.5	10.7	29.8	0.0	0.0	11.6	6.6	0.0
	赤坂地区	79	19.0	54.4	7.6	34.2	1.3	0.0	3.8	6.3	0.0
	高輪地区	176	23.9	58.0	15.3	23.3	0.6	0.0	7.4	7.4	5.1
	芝浦港南地区	178	32.0	67.4	12.4	20.8	0.0	0.0	5.6	7.3	2.8
学年	1年生	140	30.7	62.9	12.1	26.4	0.0	0.0	5.0	5.0	2.1
	2年生	111	21.6	64.0	15.3	27.9	1.8	0.0	1.8	7.2	4.5
	3年生	95	20.0	58.9	17.9	31.6	0.0	0.0	6.3	4.2	2.1
	4年生	107	28.0	71.0	12.1	18.7	0.9	0.0	9.3	5.6	0.0
	5年生	77	23.4	57.1	9.1	26.0	0.0	0.0	10.4	10.4	2.6
	6年生	81	25.9	55.6	7.4	18.5	0.0	0.0	12.3	8.6	6.2
前回(H30)		641	19.5	54.8	23.6	32.6	2.8	0.2	5.9	3.4	2.0

※今回調査と前回調査における事業の対応は以下のとおり

今回：派遣型一時保育（子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した

前回：居宅訪問型保育や派遣型一時保育（ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業）を利用した

③病児・病後児のための保育サービスの利用希望（問 21-2）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が6割以上と最も多くなっている。“高輪地区”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（31.9%）がその他の地区と比べて多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が6割以上と最も多くなっている。“1年生”は「病児・病後児保育施設等を利用したい」（32.3%）がその他の学年と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「利用したいとは思わない」（今回 77.1%、前回 66.3%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	病児・病 後児保育 施設等 を利用し たい	利用した いとは思 わない	無回答
全体		414	22.9	77.1	0.0
居住 地区	芝地区	50	20.0	80.0	0.0
	麻布地区	75	16.0	84.0	0.0
	赤坂地区	46	19.6	80.4	0.0
	高輪地区	113	31.9	68.1	0.0
	芝浦港南地区	127	22.0	78.0	0.0
学 年	1年生	93	32.3	67.7	0.0
	2年生	75	24.0	76.0	0.0
	3年生	58	20.7	79.3	0.0
	4年生	81	22.2	77.8	0.0
	5年生	48	12.5	87.5	0.0
	6年生	50	20.0	80.0	0.0
前回(H30)		371	32.1	66.3	1.6

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 子どもの病気で学校が休みの時や、学級閉鎖の時に、仕事などが休めず、とても困っています。病児の預かり保育があったら、安心して勤務できると思います。【3年生・40代母親】
- ・ 小学生、中学生でも使える病児保育があると便利です。【1年生・30代母親】

(5) 不定期に、または宿泊を伴って利用する事業の利用状況

①私用等で不定期に利用する事業の利用状況 (問 22)

- ・ すべての居住地区、学年で「利用していない」が8割以上と最も多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「利用していない」(今回 92.3%、前回 88.5%)がやや多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	一時預かり (あい・ぽーと)	派遣型一 時保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	トワイラ イトステ イ	短期入所 (障害保 健福祉セ ンター 等)	その他	利用して いない	無回答
全体		840	1.7	0.6	0.5	0.6	0.1	1.9	92.3	2.6
居住地区	芝地区	93	2.2	0.0	1.1	3.2	0.0	0.0	91.4	3.2
	麻布地区	164	0.6	1.2	0.0	0.0	0.6	1.8	93.9	1.8
	赤坂地区	105	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	3.8	90.5	2.9
	高輪地区	234	0.9	0.4	0.4	0.4	0.0	3.0	92.7	2.1
	芝浦港南地区	239	2.9	0.4	0.8	0.4	0.0	0.8	91.6	3.3
学年	1年生	183	3.8	0.5	1.1	1.6	0.0	3.3	85.8	4.9
	2年生	133	1.5	0.8	1.5	0.0	0.0	2.3	91.7	2.3
	3年生	129	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	3.1	92.2	3.1
	4年生	149	1.3	0.7	0.0	1.3	0.0	1.3	94.6	0.7
	5年生	111	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	96.4	0.9
	6年生	121	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	96.7	2.5
前回(H30)		879	2.5	3.0	0.9	0.7	0.1	3.5	88.5	1.8

※ 今回調査と前回調査における事業の対応は以下のとおり

今回：派遣型一時保育

前回：居宅訪問型保育や派遣型一時保育

今回：短期入所（障害保健福祉センター等）

前回：緊急一時保護、レスパイト保護（障害保健副センター）

②私用等で不定期に利用する事業の利用希望（問 23）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が6割以上と最も多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「利用したいとは思わない」が最も多い。“1年生”“2年生”“3年生”は「利用したい」（それぞれ 43.7%、36.1%、32.6%）がその他の学年と比べて多くなっている。
- ・ 前回調査と比べて「利用したいとは思わない」（今回 67.9%、前回 58.1%）が多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	利用した い	利用した いとは思 わない	無回答
全体		840	30.6	67.9	1.5
居住地区	芝地区	93	32.3	66.7	1.1
	麻布地区	164	31.7	67.1	1.2
	赤坂地区	105	33.3	66.7	0.0
	高輪地区	234	35.5	61.5	3.0
	芝浦港南地区	239	23.4	75.3	1.3
学年	1年生	183	43.7	54.1	2.2
	2年生	133	36.1	61.7	2.3
	3年生	129	32.6	65.1	2.3
	4年生	149	26.2	73.2	0.7
	5年生	111	18.9	80.2	0.9
	6年生	121	20.7	78.5	0.8
前回(H30)		879	38.7	58.1	3.2

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 一時預かり施設を増やして頂きたいです。特に小学生が利用出来る施設が非常に少ないと感じています。【5年生・40代母親】
- ・ 土日祝日でも父母それぞれキャリアアップのための勉強の時間が欲しいので、有料でも構わないので無条件で子供を預かってくれる保育・学童施設の充実を望みます。【1年生・30代父親】
- ・ 子どもが小さいうちは、本当に母親1人で子どもと向き合っている人が多いです。無料で数時間子どもを預かってもらい、温かいご飯を食べたり、遮られずに大人と話をしたり、自分のタイミングでトイレに行ったりする。そういう人として当たり前のことができる時間が欲しい。子どもがいない空間で少し過ごすことができれば、また子どもに余裕を持って接することができます。誰でも無料で子どもを気軽に預けられる、そういう制度を望みます。【1年生・40代母親】

(6) 小学校での放課後の過ごし方

①放課後に過ごしている場所 (問 26)

- ・ 居住地区別にみると、“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「自宅」(それぞれ 66.7%、66.7%、64.5%、69.9%)、“麻布地区”は「習い事」(71.3%)が最も多くなっている。次いで“芝地区”“赤坂地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「習い事」(それぞれ 52.7%、62.9%、59.0%、67.8%)、“麻布地区”は「自宅」(70.1%)となっている。
- ・ 学年別にみると、“1年生”“3年生”は「習い事」(それぞれ 51.4%、71.3%)、“2年生”“4年生”“5年生”“6年生”は「自宅」(それぞれ 59.4%、75.2%、82.0%、84.3%)が最も多くなっている。
- ・ “1年生”“2年生”“3年生”は「放課GO→・放課GO→クラブ」(それぞれ 29.5%、23.3%、16.3%)、「区立の学童クラブ」(それぞれ 27.3%、30.1%、23.3%)がその他の学年と比べて多くなっている。

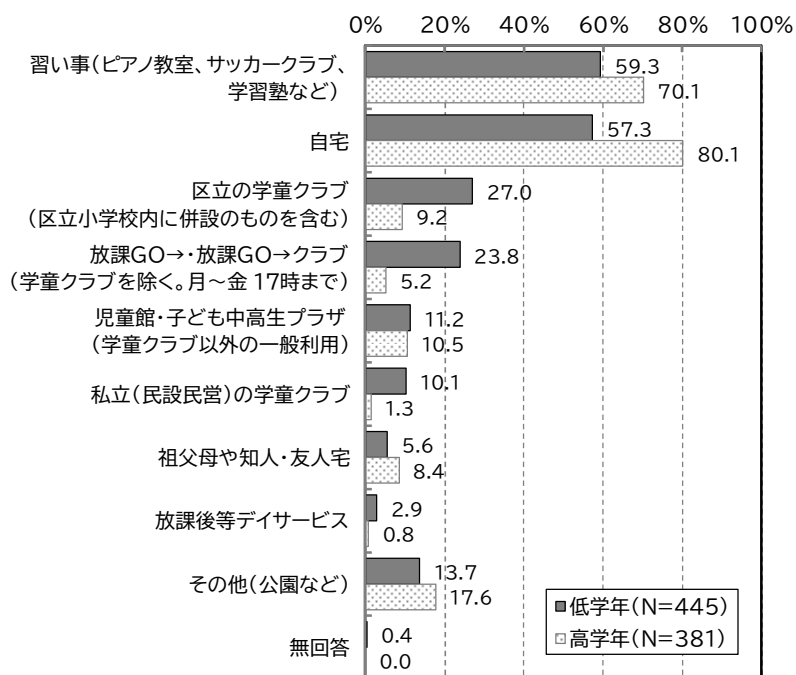
【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	自宅	祖父母や 知人・友 人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館・ 子ども中 高生ブラ ザ(学童 クラブ以 外の一般 利用)	放課GO →・放課 GO→ク ラブ(学 童クラブ を除く。 月～金 17 時まで)
全体		840	67.7	6.9	63.8	10.7	15.1
居住地区	芝地区	93	66.7	8.6	52.7	4.3	18.3
	麻布地区	164	70.1	6.1	71.3	11.0	14.0
	赤坂地区	105	66.7	11.4	62.9	14.3	21.0
	高輪地区	234	64.5	6.4	59.0	10.7	17.5
	芝浦港南地区	239	69.9	5.4	67.8	11.7	9.6
学年	1年生	183	49.2	4.9	51.4	10.4	29.5
	2年生	133	59.4	4.5	58.6	12.8	23.3
	3年生	129	66.7	7.8	71.3	10.9	16.3
	4年生	149	75.2	8.1	71.1	11.4	10.1
	5年生	111	82.0	8.1	72.1	9.9	2.7
	6年生	121	84.3	9.1	66.9	9.9	1.7
		回答者数 (人)	区立の学 童クラブ (区立小 学校内に 併設のも のを含 む)	私立(民 設民営) の学童ク ラブ	放課後等 デイサー ビス	その他 (公園な ど)	無回答
全体		840	19.0	6.0	1.9	15.4	0.2
居住地区	芝地区	93	14.0	5.4	3.2	18.3	0.0
	麻布地区	164	14.0	6.1	1.8	19.5	0.0
	赤坂地区	105	16.2	7.6	1.0	13.3	0.0
	高輪地区	234	21.8	7.3	1.7	13.2	0.4
	芝浦港南地区	239	23.4	4.2	2.1	14.6	0.4
学年	1年生	183	27.3	14.2	2.2	8.7	0.5
	2年生	133	30.1	8.3	3.8	14.3	0.0
	3年生	129	23.3	6.2	3.1	20.2	0.8
	4年生	149	14.8	2.7	0.7	16.8	0.0
	5年生	111	6.3	0.9	0.9	14.4	0.0
	6年生	121	5.0	0.0	0.8	21.5	0.0

【低学年・高学年別比較】

- ・ 低学年は「習い事」が 59.3%と最も多く、次いで「自宅」が 57.3%、「区立の学童クラブ」が 27.0%となっている。
- ・ 高学年は「自宅」が 80.1%と最も多く、次いで「習い事」が 70.1%、「その他（公園など）」が 17.6%となっている。
- ・ 低学年は「区立の学童クラブ」「放課GO→・放課GO→クラブ」が高学年と比べて多くなっている。



②高学年（４～６年生）のときに放課後に過ごさせたい場所（問 27）

※低学年（１～３年生）の保護者のみ回答

- すべての居住地区、学年で「習い事」が６割以上と最も多く、次いで「自宅」となっている。
 “赤坂地区”は「児童館・子ども中高生プラザ」（26.7%）、「放課GO→・放課GO→クラブ」（23.3%）がその他の地区と比べて多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	自宅	祖父母や 知人・友 人宅	習い事 (ピアノ 教室、 サッカー クラブ、 学習塾な ど)	児童館・ 子ども中 高生プラ ザ(学童 クラブ以 外の一般 利用)	放課GO →・放課 GO→ク ラブ(学 童クラブ を除く。 月～金 17 時まで)	区立の学 童クラブ (区立小 学校内に 併設のも のを含 む)
全体		445	53.3	7.2	73.7	16.4	17.3	17.3
居住地区	芝地区	51	51.0	5.9	68.6	7.8	19.6	17.6
	麻布地区	83	54.2	6.0	74.7	16.9	18.1	13.3
	赤坂地区	60	55.0	11.7	86.7	26.7	23.3	16.7
	高輪地区	133	56.4	9.0	70.7	18.0	15.0	16.5
	芝浦港南地区	115	48.7	4.3	72.2	13.0	14.8	21.7
学年	1年生	183	52.5	8.7	67.8	16.4	16.9	15.8
	2年生	133	52.6	3.8	79.7	14.3	18.8	18.0
	3年生	129	55.0	8.5	76.0	18.6	16.3	18.6
		回答者数 (人)	私立(民 設民営) の学童ク ラブ	放課後等 デイサー ビス	その他 (公園な ど)	未定	無回答	
全体		445	5.2	4.0	15.1	4.7	1.3	
居住地区	芝地区	51	5.9	7.8	15.7	7.8	0.0	
	麻布地区	83	6.0	7.2	12.0	7.2	2.4	
	赤坂地区	60	6.7	1.7	11.7	1.7	0.0	
	高輪地区	133	5.3	2.3	14.3	5.3	0.8	
	芝浦港南地区	115	3.5	3.5	20.0	2.6	2.6	
学年	1年生	183	6.6	3.3	10.4	7.7	1.6	
	2年生	133	4.5	3.0	15.8	2.3	0.0	
	3年生	129	3.9	6.2	20.9	3.1	2.3	

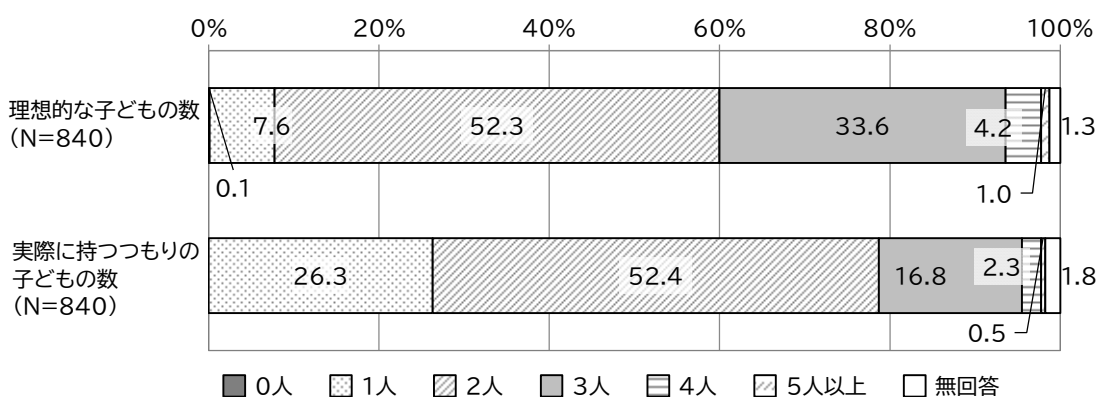
【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 低学年のうちは学童がありますが、学年が上がると下校後の居場所に困ることです。中学受験をする子は塾が居場所になるかもしれませんが、中学受験をしない子はなかなか安全な居場所を見つけるのが難しいと感じています。特に中学年、高学年は子どもにもやりたいことの意味が出て来ますし、教育的な側面が強くなるため、ただ預かっていただくだけでは子どもも物足りないようです。何か策をご検討いただければ幸いです。
【6年生・40代母親】
- ・ 学童クラブ等の大人の目がある場所で過ごしてもらう方が一番安心しますが、現状の学童クラブや放課後クラブは過密状態になっており、尚且つ習い事をさせないと他の友達と教育格差が生まれやすく、1人で通わせるには少々不安はありますが、通わせている状況です。【3年生・40代母親】
- ・ 母親がパートのため、放課GO→クラブは利用できず、ハードルが高いと感じました。【1年生・40代母親】

(7) 理想と持つつもりの子どもの数

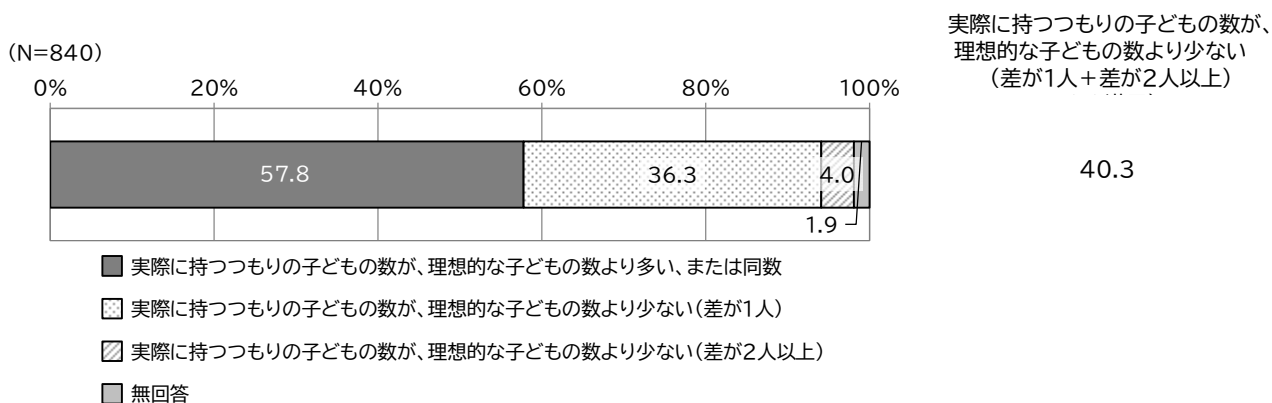
①理想的な子どもの数、実際に持つつもりの子どもの数（問31、問31-2）

- ・ 理想的な子どもの数は「2人」が52.3%と最も多く、次いで「3人」が33.6%、「1人」が7.6%となっている。平均の理想的な子どもの数は2.4人となっている。
- ・ 実際に持つつもりの子どもの数は「2人」が52.4%と最も多く、次いで「1人」が26.3%、「3人」が16.8%となっている。平均の実際に持つつもりの子どもの数は2.0人となっている。



②理想的な子どもの数と実際に持つつもりの子どもの数の差

- ・ 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないと回答した人は40.3%（差が1人：36.3%、差が2人以上：4.0%）となっている。



③実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由（問31-2）

- ・ 世帯年収別にみると、“500～700万円未満”は「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」（75.0%）が最も多くなっている。次いで「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」（60.0%）となっており、その他の年収と比べて多くなっている。
- ・ 子育ての孤立感の有無別にみると、孤立感を感じるほど「出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから」「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」「配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：%）

		回答者数 (人)	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家庭内の人間関係が良好ではないから	配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	育児の心理的、肉体的負担が増加することに耐えられないから
全体		339	24.2	51.3	38.6	4.1	21.5	8.0	3.5	14.7	25.1
世帯年収	200万円未満	5	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	200～300万円未満	8	37.5	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5
	300～400万円未満	7	28.6	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6
	400～500万円未満	9	22.2	77.8	33.3	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	22.2
	500～700万円未満	20	60.0	75.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0	5.0	30.0
	700～1,000万円未満	55	38.2	63.6	43.6	3.6	12.7	5.5	5.5	14.5	18.2
	1,000～1,500万円未満	69	26.1	56.5	58.0	4.3	23.2	11.6	1.4	18.8	27.5
	1,500～2,000万円未満	55	18.2	54.5	40.0	5.5	27.3	12.7	0.0	14.5	27.3
	2,000～3,000万円未満	57	8.8	35.1	28.1	5.3	28.1	10.5	3.5	10.5	31.6
	3,000～5,000万円未満	28	0.0	35.7	28.6	7.1	28.6	7.1	10.7	17.9	21.4
	5,000～1億円未満	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0
	1億円以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない		16	25.0	43.8	25.0	0.0	25.0	0.0	12.5	18.8	12.5
子育ての孤立感	ある	29	41.4	62.1	34.5	10.3	17.2	0.0	6.9	27.6	27.6
	ときどきある	73	32.9	58.9	37.0	4.1	30.1	6.8	4.1	20.5	31.5
	あまりない	138	19.6	47.1	44.9	2.2	22.5	9.4	4.3	10.9	29.7
	ない	97	18.6	48.5	32.0	4.1	14.4	9.3	1.0	12.4	13.4
		回答者数 (人)	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	妊娠することや子育てをす漠然とした不安があるから	健康上の理由から	ほしいけれどもできないから	高齢で産むのはいやだから	配偶者（パートナー）が望まないから	その他	無回答	
全体		339	3.8	6.5	8.3	20.1	30.1	9.7	9.4	0.3	
世帯年収	200万円未満	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
	200～300万円未満	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	
	300～400万円未満	7	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0	
	400～500万円未満	9	0.0	0.0	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	
	500～700万円未満	20	10.0	5.0	0.0	40.0	15.0	0.0	10.0	0.0	
	700～1,000万円未満	55	5.5	9.1	9.1	18.2	25.5	10.9	10.9	0.0	
	1,000～1,500万円未満	69	1.4	2.9	10.1	17.4	30.4	8.7	5.8	0.0	
	1,500～2,000万円未満	55	0.0	7.3	3.6	10.9	45.5	16.4	3.6	0.0	
	2,000～3,000万円未満	57	7.0	7.0	8.8	17.5	28.1	5.3	14.0	1.8	
	3,000～5,000万円未満	28	7.1	14.3	10.7	21.4	42.9	25.0	3.6	0.0	
	5,000～1億円未満	6	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	
	1億円以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
わからない		16	0.0	6.3	12.5	37.5	31.3	6.3	6.3	0.0	
子育ての孤立感	ある	29	10.3	0.0	10.3	20.7	24.1	10.3	20.7	0.0	
	ときどきある	73	8.2	9.6	11.0	21.9	27.4	4.1	5.5	1.4	
	あまりない	138	1.4	6.5	8.0	23.2	26.1	9.4	8.7	0.0	
	ない	97	2.1	6.2	5.2	14.4	40.2	14.4	10.3	0.0	

(8) 子育て環境

①子育て環境の満足度（問 32）

- ・ すべての居住地区、学年で「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を大きく上回っている。
- ・ 前回調査と比べて、大きな変化はみられない。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	満足	やや満足	どちらで もない	やや不満	不満	無回答	『満足』 (満足+ やや満足)	『不満』 (不満+ やや不満)
全体		840	36.0	44.4	15.4	2.1	1.0	1.2	80.4	3.1
居住地区	芝地区	93	36.6	45.2	15.1	1.1	1.1	1.1	81.8	2.2
	麻布地区	164	39.6	41.5	14.6	3.0	0.6	0.6	81.1	3.6
	赤坂地区	105	28.6	43.8	21.0	1.9	2.9	1.9	72.4	4.8
	高輪地区	234	38.5	42.7	15.4	1.7	0.0	1.7	81.2	1.7
	芝浦港南地区	239	33.9	48.5	13.4	2.1	1.3	0.8	82.4	3.4
学年	1年生	183	35.5	49.2	10.9	1.1	1.1	2.2	84.7	2.2
	2年生	133	31.6	48.9	12.8	4.5	0.8	1.5	80.5	5.3
	3年生	129	35.7	45.0	14.7	1.6	1.6	1.6	80.7	3.2
	4年生	149	36.9	42.3	16.8	2.0	1.3	0.7	79.2	3.3
	5年生	111	41.4	35.1	21.6	0.9	0.9	0.0	76.5	1.8
	6年生	121	34.7	43.8	19.0	2.5	0.0	0.0	78.5	2.5
前回(H30)		879	34.4	42.3	14.6	4.7	1.5	2.6	76.7	6.2

3. 中学生

調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点			
		居住地区	学年	性別	自己肯定感 (今の自分が好きだ)
(1) 基本属性					
問1	居住地区		●	●	
問2	学年			●	
問3	通っている学校	●	●	●	
(2) 家族との関わり					
問7	家族との関わり		●	●	●
(3) 学校生活、友達との関わり					
問9	学校は楽しいか		●	●	●
問10	学校に行きたくないと思ったこと		●	●	●
問10-1	学校に行きたくないと思った理由		●	●	●
問11	友達との関わり		●	●	●
(4) 放課後や休日の過ごし方					
問13	居心地がよいと感じる場所		●	●	●
(5) 施設の利用状況					
問16	施設（児童館や子ども中高生プラザ等）の利用状況	●	●	●	
問16-1	児童館や子ども中高生プラザ等に行く目的	●	●	●	
問16-2	児童館や子ども中高生プラザ等を利用しない理由	●	●	●	
問17	行ってみたい場所	●	●	●	
(6) 自分について感じていることや悩みごと					
問18	自分について感じていること		●	●	
問19	現在の不安や悩みごと		●	●	●
(7) 将来のイメージ					
問22	将来の進路		●	●	
問24	進学や就職		●	●	
問25	結婚		●	●	
問26	子どもを持つこと		●	●	

(1) 基本属性

①居住地区（問1）

- ・ 学年別にみると、いずれも「高輪地区」が約3割と最も多く、次いで“1年生”は「麻布地区」（20.7%）、“2年生”“3年生”は「芝浦港南地区」（それぞれ 20.7%、23.6%）となっている。
- ・ 性別別にみると“男”“女”とも「高輪地区」が3割以上と最も多く、次いで“男”は「芝浦港南地区」（24.6%）、“女”は「麻布地区」（19.6%）となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	芝地区	麻布地区	赤坂地区	高輪地区	芝浦港南 地区	無回答
全体		596	13.3	18.8	14.6	31.0	21.3	1.0
学 年	1年生	213	15.0	20.7	12.2	31.5	20.2	0.5
	2年生	203	12.8	16.7	15.3	33.5	20.7	1.0
	3年生	178	11.8	19.1	16.9	28.1	23.6	0.6
性 別	男	293	9.6	17.7	15.7	31.7	24.6	0.7
	女	291	17.2	19.6	13.7	30.9	17.5	1.0
	その他・答えたくない	10	10.0	30.0	10.0	20.0	30.0	0.0

②学年（問2）

- ・ 性別別にみると、いずれも男女の割合は同程度となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	1年生	2年生	3年生	無回答
全体		596	35.7	34.1	29.9	0.3
性 別	男	293	37.9	32.8	29.0	0.3
	女	291	33.7	34.7	31.6	0.0
	その他・答えたくない	10	30.0	60.0	10.0	0.0

③通っている学校（問3）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「私立・国立・都立の中学校」が約5割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。“麻布地区”は「インターナショナルスクール」（12.5%）がその他の地区と比べて多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「私立・国立・都立の中学校」が約5割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「私立・国立・都立の中学校」が約5割と最も多く、次いで「港区内の公立中学校」となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	港区内の 公立中 学校	港区外の 公立中 学校	私立・国 立・都立 の中学校	インター ナシヨナ ルスクー ル	その他	無回答
全体		596	43.1	0.5	50.3	5.2	0.5	0.3
居住 地区	芝地区	79	40.5	1.3	55.7	0.0	2.5	0.0
	麻布地区	112	35.7	0.0	50.9	12.5	0.9	0.0
	赤坂地区	87	44.8	0.0	48.3	6.9	0.0	0.0
	高輪地区	185	45.4	0.5	50.3	3.8	0.0	0.0
	芝浦港南地区	127	47.2	0.8	48.8	3.1	0.0	0.0
学 年	1年生	213	41.3	0.5	53.1	5.2	0.0	0.0
	2年生	203	46.3	0.5	47.8	4.4	1.0	0.0
	3年生	178	42.1	0.6	50.6	6.2	0.6	0.0
性 別	男	293	43.3	0.7	48.8	6.1	0.7	0.3
	女	291	42.6	0.3	52.2	4.5	0.3	0.0
	その他・答えたくない	10	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

【参考：中学校別生徒数（令和5年度学校基本調査）】

（単位：人）

	全体	公立	私立	国立
全国	3,177,508 (100.0%)	2,902,882 (91.4%)	247,622 (7.8%)	27,004 (0.8%)
東京都	314,459 (100.0%)	230,649 (73.3%)	81,257 (25.8%)	2,553 (0.8%)

(2) 家族との関わり

①家族との関わり (問7)

- ・ “家族とよく話をする” “家族に自分の意見を言えている” “家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる” “あなたが困ったとき、家族は助けてくれる” において、学年別にみると、いずれも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』を大きく上回っている。
- ・ 性別別にみると、“男” “女” ともに『そう思う』が『そう思わない』を大きく上回っている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて『そう思う』が多い傾向となっている。

【クロス表】

(1) 家族とよく話をする

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえば そう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえば そう思わない)
全体		596	73.0	19.0	3.0	1.5	3.5	92.0	4.5
学 年	1年生	213	76.5	16.9	1.4	1.9	3.3	93.4	3.3
	2年生	203	69.5	22.7	3.4	1.0	3.4	92.2	4.4
	3年生	178	73.0	16.9	4.5	1.7	3.9	89.9	6.2
性 別	男	293	72.7	19.5	2.7	1.4	3.8	92.2	4.1
	女	291	73.9	17.9	3.4	1.7	3.1	91.8	5.1
	その他・答えたくない	10	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	90.0	0.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感	そう思う	260	85.0	9.6	1.2	1.2	3.1	94.6	2.4
	どちらかといえばそう思う	212	70.8	21.7	2.4	1.4	3.8	92.5	3.8
	どちらかといえばそう思わない	81	58.0	30.9	6.2	1.2	3.7	88.9	7.4
	そう思わない	38	39.5	42.1	13.2	5.3	0.0	81.6	18.5

(2) 家族に自分の意見を言えている

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえば そう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえば そう思わない)
全体		596	69.0	19.5	5.7	1.8	4.0	88.5	7.5
学 年	1年生	213	69.0	20.2	4.7	2.3	3.8	89.2	7.0
	2年生	203	66.0	22.2	6.4	1.0	4.4	88.2	7.4
	3年生	178	72.5	15.7	5.6	2.2	3.9	88.2	7.8
性 別	男	293	67.2	19.8	6.5	1.7	4.8	87.0	8.2
	女	291	71.8	19.6	3.8	1.7	3.1	91.4	5.5
	その他・答えたくない	10	30.0	10.0	40.0	10.0	10.0	40.0	50.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感	そう思う	260	86.2	8.8	1.2	0.4	3.5	95.0	1.6
	どちらかといえばそう思う	212	60.4	26.4	7.1	1.4	4.7	86.8	8.5
	どちらかといえばそう思わない	81	48.1	37.0	9.9	1.2	3.7	85.1	11.1
	そう思わない	38	50.0	13.2	21.1	15.8	0.0	63.2	36.9

(3) 家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	56.5	29.4	7.9	2.3	3.9	85.9	10.2
学 年	1年生	213	58.2	31.0	5.6	1.4	3.8	89.2	7.0
	2年生	203	52.7	31.0	9.9	2.0	4.4	83.7	11.9
	3年生	178	59.0	25.8	8.4	3.4	3.4	84.8	11.8
性 別	男	293	57.7	27.6	7.5	2.4	4.8	85.3	9.9
	女	291	56.4	32.0	6.9	2.1	2.7	88.4	9.0
	その他・答えたくない	10	20.0	10.0	50.0	10.0	10.0	30.0	60.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感が	そう思う	260	74.6	18.5	3.1	0.8	3.1	93.1	3.9
	どちらかといえ ばそう思う	212	49.1	36.8	7.1	2.4	4.7	85.9	9.5
	どちらかといえ ばそう思わ ない	81	40.7	40.7	14.8	0.0	3.7	81.4	14.8
	そう思わ ない	38	15.8	36.8	28.9	18.4	0.0	52.6	47.3

(4) あなたが困ったとき、家族は助けてくれる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	76.0	17.6	1.7	0.8	3.9	93.6	2.5
学 年	1年生	213	80.3	15.0	0.9	0.5	3.3	95.3	1.4
	2年生	203	72.9	20.7	1.5	0.5	4.4	93.6	2.0
	3年生	178	74.7	17.4	2.2	1.7	3.9	92.1	3.9
性 別	男	293	77.5	15.0	1.7	0.7	5.1	92.5	2.4
	女	291	75.6	19.6	1.4	1.0	2.4	95.2	2.4
	その他・答えたくない	10	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0	80.0	10.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感が	そう思う	260	88.8	6.9	0.0	0.8	3.5	95.7	0.8
	どちらかといえ ばそう思う	212	71.2	21.2	2.4	0.5	4.7	92.4	2.9
	どちらかといえ ばそう思わ ない	81	60.5	34.6	1.2	0.0	3.7	95.1	1.2
	そう思わ ない	38	47.4	36.8	10.5	5.3	0.0	84.2	15.8

(3) 学校生活、友達との関わり

①学校は楽しいか (問9)

- ・ 学年別にみると、いずれも「とても楽しい」が約5割と最も多く、次いで「まあまあ楽しい」となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「とても楽しい」が5割以上と最も多く、次いで「まあまあ楽しい」となっている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて「とても楽しい」が多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	とても楽しい	まあまあ楽しい	どちらともいえない	あまり楽しくない	まったく楽しくない	無回答
全体		596	52.5	35.1	5.2	4.9	2.0	0.3
学年	1年生	213	54.5	35.2	4.7	3.8	1.9	0.0
	2年生	203	49.8	36.5	5.4	6.4	2.0	0.0
	3年生	178	52.8	33.7	5.6	4.5	2.2	1.1
性別	男	293	54.3	34.1	4.8	4.4	1.7	0.7
	女	291	51.9	35.7	4.8	5.2	2.4	0.0
	その他・答えたくない	10	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0
（今、好きだ） 自己肯定感	そう思う	260	72.7	21.5	1.9	2.3	1.5	0.0
	どちらかといえばそう思う	212	43.4	43.4	5.7	6.1	0.9	0.5
	どちらかといえばそう思わない	81	28.4	53.1	9.9	3.7	4.9	0.0
	そう思わない	38	21.1	42.1	15.8	15.8	5.3	0.0

②学校に行きたくないと思ったこと (問10)

- ・ 学年別にみると、いずれも「ほとんどない」が4割以上と最も多く、次いで「ときどきあった」となっている。
- ・ 性別別にみると“男”“女”ともに「ほとんどない」が約4割と最も多く、次いで“男”は「一度もない」(22.5%)、“女”は「ときどきあった」(27.5%)となっている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて「よくあった」「ときどきあった」が多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	よくあった	ときどきあった	ほとんどない	一度もない	無回答
全体		596	10.2	24.3	42.3	21.8	1.3
学年	1年生	213	8.9	24.4	40.8	24.4	1.4
	2年生	203	10.8	25.6	42.9	19.7	1.0
	3年生	178	11.2	23.0	43.8	20.2	1.7
性別	男	293	8.5	20.8	46.1	22.5	2.0
	女	291	11.3	27.5	38.8	21.6	0.7
	その他・答えたくない	10	30.0	30.0	40.0	0.0	0.0
（今、好きだ） 自己肯定感	そう思う	260	6.2	11.9	43.8	36.2	1.9
	どちらかといえばそう思う	212	8.0	28.3	48.6	14.6	0.5
	どちらかといえばそう思わない	81	18.5	37.0	39.5	3.7	1.2
	そう思わない	38	31.6	57.9	5.3	5.3	0.0

③学校に行きたくないと思った理由（問10-1）

- ・ 学年別にみると、“1年生”“2年生”は「友達とうまくいかない」（それぞれ 28.2%、29.7%）、“3年生”は「その他」（29.5%）が最も多く、次いで、いずれも「特に理由はない、わからない」となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”は「特に理由はない、わからない」（29.1%）、“女”は「友達とうまくいかない」（31.0%）が最も多くなっている。次いで、“男”は「その他」（26.7%）、“女”は「特に理由はない、わからない」（24.8%）となっている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて「友達とうまくいかない」「クラスになじめない」「自分の外見や性格のため」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	友達とう まくいか ない	先生とう まくいか ない	授業につ いていけ ない	部活動で うまくい かない	クラスに なじめな い	いじめや 嫌がらせ がある
全体		206	28.2	8.3	14.6	13.6	14.6	14.1
学年	1年生	71	28.2	8.5	16.9	7.0	14.1	11.3
	2年生	74	29.7	9.5	12.2	21.6	17.6	14.9
	3年生	61	26.2	6.6	14.8	11.5	11.5	16.4
性別	男	86	23.3	7.0	11.6	11.6	7.0	16.3
	女	113	31.0	8.8	15.9	15.9	19.5	12.4
	その他・答えたくない	6	50.0	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7
（自己肯定感 好きだ）	そう思う	47	21.3	8.5	17.0	12.8	8.5	8.5
	どちらかといえばそう思う	77	23.4	7.8	13.0	7.8	10.4	15.6
	どちらかといえばそう思わない	45	31.1	13.3	11.1	20.0	17.8	8.9
	そう思わない	34	44.1	2.9	20.6	17.6	29.4	23.5
		回答者数 (人)	自分の外 見や性格 のため	家族や家 庭の事情 があるた め	その他	特に理由 はない、 わから ない	無回答	
全体		206	8.7	1.0	24.8	27.2	0.5	
学年	1年生	71	9.9	0.0	23.9	26.8	1.4	
	2年生	74	9.5	1.4	21.6	27.0	0.0	
	3年生	61	6.6	1.6	29.5	27.9	0.0	
性別	男	86	3.5	0.0	26.7	29.1	1.2	
	女	113	12.4	1.8	23.9	24.8	0.0	
	その他・答えたくない	6	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	
（自己肯定感 好きだ）	そう思う	47	6.4	0.0	36.2	27.7	0.0	
	どちらかといえばそう思う	77	2.6	0.0	23.4	31.2	1.3	
	どちらかといえばそう思わない	45	8.9	2.2	15.6	31.1	0.0	
	そう思わない	34	26.5	2.9	20.6	14.7	0.0	

④友達との関わり（問11）

- ・ “親しい友達がいる”において、すべての学年、性別で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が9割を超えている。
- ・ “友達と仲良くなるまで時間がかかる”において、すべての学年、性別で『そう思う』が3割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- ・ “友達とうまく話せないことがある”において、すべての学年、性別で『そう思う』が2割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- ・ “友達から自分がどう見られているのか気になる”において、すべての学年、性別で『そう思う』が4割を超えている。性別別にみると、“女”は『そう思う』が“男”と比べて多くなっている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。
- ・ “友達と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ”において、すべての学年、性別で『そう思う』が2割を超えている。自己肯定感が低くなるにつれて『そう思う』が多くなっている。

【クロス表】

(1) 親しい友達がいる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	82.2	13.3	2.3	1.3	0.8	95.5	3.6
学 年	1年生	213	81.7	14.1	2.3	1.4	0.5	95.8	3.7
	2年生	203	80.3	14.3	3.4	1.5	0.5	94.6	4.9
	3年生	178	84.8	11.2	1.1	1.1	1.7	96.0	2.2
性 別	男	293	81.2	14.0	2.0	1.4	1.4	95.2	3.4
	女	291	83.5	12.4	2.4	1.4	0.3	95.9	3.8
	その他・答えたくない	10	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	90.0	10.0
(自己 肯定感 が 低い)	そう思う	260	89.6	7.7	1.2	0.4	1.2	97.3	1.6
	どちらかといえばそう思う	212	82.1	15.1	0.9	1.4	0.5	97.2	2.3
	どちらかといえばそう思わない	81	72.8	18.5	7.4	1.2	0.0	91.3	8.6
	そう思わない	38	60.5	26.3	5.3	7.9	0.0	86.8	13.2

(2) 友達と仲良くなるまで時間がかかる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	13.1	22.5	33.9	29.0	1.5	35.6	62.9
学 年	1年生	213	13.6	21.1	32.9	31.0	1.4	34.7	63.9
	2年生	203	14.8	25.6	34.5	24.1	1.0	40.4	58.6
	3年生	178	10.7	20.8	34.8	31.5	2.2	31.5	66.3
性 別	男	293	13.0	18.4	36.2	30.4	2.0	31.4	66.6
	女	291	12.7	26.5	32.0	27.8	1.0	39.2	59.8
	その他・答えたくない	10	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	60.0	40.0
(自己 肯定感 が 低い)	そう思う	260	10.8	18.1	30.0	40.0	1.2	28.9	70.0
	どちらかといえばそう思う	212	12.3	26.4	34.9	24.1	2.4	38.7	59.0
	どちらかといえばそう思わない	81	14.8	24.7	49.4	11.1	0.0	39.5	60.5
	そう思わない	38	28.9	26.3	23.7	21.1	0.0	55.2	44.8

(3) 友達とうまく話せないことがある

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	8.2	19.1	29.0	41.9	1.7	27.3	70.9
学 年	1年生	213	7.0	15.0	33.3	42.7	1.9	22.0	76.0
	2年生	203	10.3	25.1	28.1	35.5	1.0	35.4	63.6
	3年生	178	7.3	16.9	25.3	48.3	2.2	24.2	73.6
性 別	男	293	7.2	16.0	29.4	45.4	2.0	23.2	74.8
	女	291	8.6	21.6	28.9	39.5	1.4	30.2	68.4
	その他・答えたくない	10	30.0	40.0	30.0	0.0	0.0	70.0	30.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感 が	そう思う	260	5.0	10.8	25.4	57.7	1.2	15.8	83.1
	どちらかといえ ばそう思う	212	7.1	21.2	33.5	35.4	2.8	28.3	68.9
	どちらかといえ ばそう思わない	81	16.0	30.9	29.6	23.5	0.0	46.9	53.1
	そう思わない	38	21.1	36.8	26.3	15.8	0.0	57.9	42.1

(4) 友達から自分がどう見られているのか気になる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	23.8	27.9	21.1	25.3	1.8	51.7	46.4
学 年	1年生	213	20.7	29.1	21.6	25.8	2.8	49.8	47.4
	2年生	203	29.6	27.1	20.2	22.2	1.0	56.7	42.4
	3年生	178	21.3	27.0	21.9	28.1	1.7	48.3	50.0
性 別	男	293	19.8	23.5	23.2	30.7	2.7	43.3	53.9
	女	291	27.5	32.3	18.9	20.3	1.0	59.8	39.2
	その他・答えたくない	10	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0	70.0	30.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感 が	そう思う	260	16.2	20.8	23.8	37.7	1.5	37.0	61.5
	どちらかといえ ばそう思う	212	17.9	36.3	24.1	18.9	2.8	54.2	43.0
	どちらかといえ ばそう思わない	81	43.2	30.9	11.1	14.8	0.0	74.1	25.9
	そう思わない	38	65.8	23.7	7.9	2.6	0.0	89.5	10.5

(5) 友達と一緒にいるよりも、一人でいる方が気が楽だ

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	10.6	20.3	36.7	30.7	1.7	30.9	67.4
学 年	1年生	213	9.4	17.8	34.3	36.2	2.3	27.2	70.5
	2年生	203	11.8	20.2	40.4	26.6	1.0	32.0	67.0
	3年生	178	10.7	23.6	36.0	28.1	1.7	34.3	64.1
性 別	男	293	8.9	18.1	37.2	33.4	2.4	27.0	70.6
	女	291	12.0	22.3	36.1	28.5	1.0	34.3	64.6
	その他・答えたくない	10	20.0	30.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0
(今 好き だ) 自己 肯定 感 が	そう思う	260	10.8	12.3	33.5	42.3	1.2	23.1	75.8
	どちらかといえ ばそう思う	212	5.7	22.6	40.1	28.8	2.8	28.3	68.9
	どちらかといえ ばそう思わない	81	11.1	34.6	40.7	13.6	0.0	45.7	54.3
	そう思わない	38	34.2	31.6	34.2	0.0	0.0	65.8	34.2

(4) 放課後や休日の過ごし方

①居心地がよいと感じる場所 (問 13)

- ・ 学年別にみると、“1年生”は「家のリビング、居間など」(79.3%)、“2年生”“3年生”は「自分の部屋」(それぞれ 70.4%、75.3%) が最も多くなっている。次いで“1年生”は「自分の部屋」(64.3%)、「部活動」(41.3%)、“2年生”は「家のリビング、居間など」(67.5%)、「部活動」(35.0%)、“3年生”は「家のリビング、居間など」(69.7%)、「学校」(42.1%) となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”とも「家のリビング、居間など」が7割以上と最も多く、次いで「自分の部屋」となっている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が高くなるにつれて「家のリビング、居間など」「学校」「部活動」が多く、自己肯定感が低くなるにつれて「ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶」「インターネット上のオンライン空間」が多い傾向となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	自分の部屋	家のリビング、居間など	友達の家	学校	部活動	塾や習い事の場所	公園	ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ	ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶	本屋、CD・DVDショップ
全体		596	69.5	72.3	9.7	37.9	35.6	13.6	10.1	10.6	8.1	13.8
学年	1年生	213	64.3	79.3	8.5	37.1	41.3	12.2	11.3	10.3	9.9	14.1
	2年生	203	70.4	67.5	8.9	34.5	35.0	11.3	8.9	8.9	5.9	12.3
	3年生	178	75.3	69.7	12.4	42.1	29.2	18.0	10.1	12.4	7.9	15.2
性別	男	293	71.0	72.7	13.0	42.0	39.2	12.3	11.9	12.3	8.9	9.9
	女	291	67.4	73.2	6.9	34.7	32.3	15.5	7.6	8.9	6.5	17.2
	その他・答えたくない	10	90.0	30.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	30.0	30.0
自己肯定感 (好きだ)	そう思う	260	67.7	82.7	10.4	48.5	43.5	15.8	10.4	11.5	5.4	12.3
	どちらかといえばそう思う	212	67.9	77.4	12.7	37.3	36.8	13.2	10.8	10.4	7.5	17.0
	どちらかといえばそう思わない	81	80.2	45.7	4.9	21.0	16.0	9.9	8.6	8.6	12.3	8.6
	そう思わない	38	65.8	34.2	0.0	10.5	21.1	10.5	7.9	7.9	21.1	18.4
		回答者数 (人)	ショッピングモール	地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム	区立図書館	港区スポーツセンター	その他区立の公共施設	インターネット上のオンライン空間(SNSやオンラインゲームなど)	オンラインコミュニティ(オンラインサロンなど)	その他	居心地がよいと感じる場所はない	無回答
全体		596	8.2	2.7	12.4	4.4	2.7	10.4	1.5	4.4	0.3	0.2
学年	1年生	213	9.4	4.2	16.0	5.2	2.8	10.8	2.3	4.7	0.0	0.0
	2年生	203	8.9	2.0	8.9	4.4	3.4	9.4	1.0	2.5	1.0	0.0
	3年生	178	6.2	1.7	12.4	3.4	1.1	11.2	1.1	6.2	0.0	0.6
性別	男	293	5.8	4.1	13.0	5.1	2.7	11.9	1.7	4.8	0.7	0.3
	女	291	10.7	1.4	12.0	3.8	2.4	7.6	1.4	3.8	0.0	0.0
	その他・答えたくない	10	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	50.0	0.0	10.0	0.0	0.0
自己肯定感 (好きだ)	そう思う	260	6.9	3.5	12.7	4.6	3.5	8.5	1.5	3.5	0.4	0.0
	どちらかといえばそう思う	212	9.0	2.8	14.6	4.2	2.8	11.3	1.4	4.7	0.0	0.0
	どちらかといえばそう思わない	81	9.9	1.2	6.2	3.7	1.2	9.9	1.2	6.2	0.0	0.0
	そう思わない	38	10.5	0.0	13.2	2.6	0.0	21.1	2.6	5.3	2.6	0.0

(5) 施設の利用状況

①施設（児童館や子ども中高生プラザ・児童高齢者交流プラザ）の利用状況（問16）

- ・ 居住地区別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が3割以上と最も多く、“麻布地区”（55.4%）、“高輪地区”（60.5%）は他の地区と比べて多くなっている。“芝地区”“赤坂地区”“芝浦港南地区”は「どこにあるか知らない」が2割を超えている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が約5割と最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」となっている。
- ・ 性別別にみると、いずれも「以前利用していたが、今は利用していない」が約5割と最も多く、次いで「知っているが行ったことがない」となっている。“男”は「たまに利用する（週に1回程度）」（12.3%）が“女”と比べて多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	よく利用 する(週 に2回以 上)	たまに利 用する (週に1 回程度)	以前利用 していた が、今は 利用して いない	知っている が行った ことが ない	どこにあ るか知ら ない	無回答
全体		596	2.3	8.6	49.2	20.6	17.4	1.8
居住地区	芝地区	79	1.3	7.6	36.7	26.6	26.6	1.3
	麻布地区	112	1.8	8.9	55.4	16.1	14.3	3.6
	赤坂地区	87	3.4	6.9	33.3	29.9	24.1	2.3
	高輪地区	185	2.7	10.3	60.5	16.8	8.1	1.6
	芝浦港南地区	127	1.6	7.9	45.7	19.7	24.4	0.8
学年	1年生	213	2.3	9.9	52.6	16.4	16.0	2.8
	2年生	203	2.5	9.9	47.3	21.7	18.2	0.5
	3年生	178	1.7	5.6	47.2	24.7	18.5	2.2
性別	男	293	3.1	12.3	47.4	20.5	15.0	1.7
	女	291	1.0	4.8	51.2	21.0	19.9	2.1
	その他・答えたくない	10	0.0	10.0	50.0	20.0	20.0	0.0

②児童館や子ども中高生プラザ等に行く目的（問16-1）

- ・ 居住地区別にみると、“麻布地区”“高輪地区”“芝浦港南地区”は「体育館を利用するため」（それぞれ83.3%、45.8%、50.0%）が最も多く、次いで「友達に会うため」（それぞれ50.0%、33.3%、41.7%）となっている。“高輪地区”は「勉強（自習）のため」「ひまだから、時間つぶし」も多くなっている。
- ・ 学年別にみると、いずれも「体育館を利用するため」が最も多くなっている。“2年生”は「友達に会うため」も多くなっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「体育館を利用するため」が3割以上と最も多く、次いで“男は”「友達に会うため」（42.2%）、“女”は「勉強（自習）のため」（29.4%）となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	ゲームや マンガが あるから	スタジオ (音楽や ダンス) を利用す るため	体育館を 利用す るため	勉強(自 習)のた め	友達に会 うため	施設のイ ベントが 楽しいか ら	ひまだか ら、時間 つぶし	その他	無回答
全体		65	26.2	4.6	52.3	21.5	38.5	16.9	29.2	10.8	1.5
居住地区	芝地区	7	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	28.6	0.0
	麻布地区	12	25.0	0.0	83.3	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	8.3
	赤坂地区	9	33.3	11.1	55.6	11.1	55.6	33.3	44.4	0.0	0.0
	高輪地区	24	25.0	0.0	45.8	33.3	33.3	8.3	33.3	12.5	0.0
	芝浦港南地区	12	33.3	8.3	50.0	0.0	41.7	33.3	33.3	16.7	0.0
学年	1年生	26	38.5	0.0	69.2	23.1	42.3	23.1	30.8	3.8	0.0
	2年生	25	24.0	4.0	36.0	12.0	36.0	12.0	32.0	20.0	4.0
	3年生	13	7.7	15.4	46.2	38.5	30.8	15.4	23.1	7.7	0.0
性別	男	45	33.3	2.2	57.8	20.0	42.2	17.8	35.6	8.9	0.0
	女	17	11.8	5.9	35.3	29.4	23.5	11.8	17.6	17.6	5.9
	その他・答えたくない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

③児童館や子ども中高生プラザ等を利用しない理由（問16-2）

- ・ 居住地区別、学年別にみると、いずれも「塾や習い事、部活動などで行く時間がないから」が3割以上と最も多く、次いで「興味がないから」となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「塾や習い事、部活動などで行く時間がないから」が4割以上と最も多く、次いで「興味がないから」となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	場所が遠 いから	開館日や 開館時間 が合わない から	塾や習い 事、部活 動などで 行く時間 がないか ら	知っている 人がい ないと行 きにくい から	興味がない から	その他	特に理由 はない	無回答
全体		416	12.0	6.5	46.9	21.4	36.1	7.0	14.4	0.7
居住地区	芝地区	50	12.0	8.0	50.0	20.0	40.0	4.0	14.0	0.0
	麻布地区	80	11.3	7.5	42.5	25.0	30.0	10.0	16.3	1.3
	赤坂地区	55	20.0	1.8	52.7	20.0	45.5	1.8	7.3	0.0
	高輪地区	143	12.6	7.0	51.0	21.7	32.9	7.0	15.4	0.0
	芝浦港南地区	83	6.0	7.2	39.8	20.5	37.3	8.4	15.7	2.4
学年	1年生	147	12.2	8.2	49.7	24.5	34.0	6.1	13.6	0.7
	2年生	140	12.1	5.7	46.4	21.4	40.0	7.1	11.4	0.0
	3年生	128	11.7	5.5	44.5	18.0	33.6	7.0	18.8	1.6
性別	男	199	8.0	7.0	46.2	15.6	36.2	5.5	15.6	1.0
	女	210	15.7	6.2	48.1	27.1	36.2	8.1	12.9	0.5
	その他・答えたくない	7	14.3	0.0	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0

④行ってみたい場所（問17）

- ・ 居住地区別、学年別にみると、いずれも「好きなことを自由にして過ごせる」が5割以上と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」、「何もせずのんびりできる」となっている。
- ・ 性別別でみると、“男”“女”ともに「好きなことを自由にして過ごせる」が5割以上と最も多く、次いで「いつでも行きたいときに行ける」、「何もせずのんびりできる」となっている。
- ・ “女”は「1人で過ごせる」（30.2%）、「悩みごとの相談ができる」（12.7%）が“男”と比べて多くなっている。

【クロス表】

（単位：％）

	回答者数 (人)	いつでも 行きたい ときに行 ける	一人で過 ごせる	何もせず のんびり できる	ありのま までいら れる、自 分を否定 されない	好きなこ とを自由 にして過 ごせる	新しいこ とややり たいこと に挑戦で きる	悩みごと の相談が できる	違う世代 の人と出 会える	その他	特にな い	無回答	
全体	596	44.1	23.7	32.7	20.5	54.9	22.8	9.7	6.5	5.0	21.0	6.0	
居住地区	芝地区	79	55.7	34.2	36.7	25.3	58.2	21.5	15.2	5.1	5.1	17.7	6.3
	麻布地区	112	36.6	16.1	24.1	22.3	53.6	24.1	10.7	6.3	4.5	24.1	8.9
	赤坂地区	87	41.4	29.9	36.8	23.0	50.6	21.8	6.9	6.9	2.3	25.3	6.9
	高輪地区	185	51.9	24.3	35.1	23.2	57.8	22.7	10.3	7.6	5.4	16.2	5.4
	芝浦港南地区	127	35.4	18.9	31.5	9.4	52.8	22.8	7.1	6.3	6.3	23.6	3.9
学年	1年生	213	47.9	23.0	36.2	20.2	56.8	22.5	7.5	4.7	5.6	16.9	6.6
	2年生	203	39.4	23.2	30.5	19.2	51.7	22.7	10.3	6.9	5.4	22.7	6.9
	3年生	178	45.5	25.3	31.5	22.5	56.7	23.6	11.8	8.4	3.4	23.6	4.5
性別	男	293	43.0	16.4	29.7	17.7	53.2	21.8	6.1	6.5	3.8	21.2	7.8
	女	291	45.7	30.2	35.7	22.3	56.0	23.7	12.7	6.5	6.5	20.6	4.5
	その他・答えたくない	10	30.0	50.0	40.0	50.0	70.0	20.0	30.0	10.0	0.0	20.0	0.0

【関連する自由回答（一部抜粋）】

- ・ 中高生でも安全に遊べて楽しめるような施設があったら嬉しいです。そこで区内のイベントのお知らせなども知れると行動の幅が広がる気がします。【1年生・女性】
- ・ サッカーやバスケットなど、ボールを使える公園を増やして欲しいです【3年生・男性】
- ・ 室内で遊べるような場所を増やして欲しい。【2年生・男性】
- ・ 区民の人が自由につかえる自習室がほしいです。【1年生・女性】
- ・ 友達と過ごすのにお金のかからない場所がほしい。【2年生・女性】
- ・ 中学生向けの中学生同士で関わり合える施設などがあると嬉しい。【2年生・女性】
- ・ 色々な人と、交流できる場所が欲しい。【1年生・男性】
- ・ 身近に小さなだがしやさんとか数人集まれる程度（いくつかに違う人と会えたりすると人の輪もひろがる）のお店をつくってくれたら、ストレスとかが重いときに逃げられる居場所になると思う。お店の人が悩みをきいてくれるところ、かくれがみたい。【2年生・性別：その他・答えたくない】
- ・ 学校に行けない子どもの居場所がないのが困る。気軽にいつでも受け入れてくれる場所があるといい。【1年生・男性】
- ・ 学生に対してどういう施設などがあるのかを紹介してほしい。【3年生・男性】

(6) 自分について感じていることや悩みごと

①自分について感じていること (問 18)

- ・ “今の自分が好きだ” “今、自分は幸せだ” “今の自分に満足している” において、すべての学年で「『そう思う』と『どちらかといえばそう思う』を合わせた『そう思う』が、「『そう思わない』と『どちらかといえばそう思わない』を合わせた『そう思わない』を上回っている。性別別にみると、“男” “女” とともに『そう思う』が『そう思わない』を上回っている。
- ・ “自分は役に立たないと感じる” “自分は孤立していると感じる” において、すべての学年で『そう思う』が『そう思わない』を下回っている。性別別にみると、“男” “女” とともに『そう思う』が『そう思わない』を下回っている。

【クロス表】

(1) 今の自分が好きだ

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	43.6	35.6	13.6	6.4	0.8	79.2	20.0
学 年	1年生	213	44.6	39.0	10.8	4.7	0.9	83.6	15.5
	2年生	203	40.4	35.0	16.3	8.4	0.0	75.4	24.7
	3年生	178	46.1	32.0	14.0	6.2	1.7	78.1	20.2
性 別	男	293	49.1	34.1	10.6	5.1	1.0	83.2	15.7
	女	291	39.2	37.1	16.2	6.9	0.7	76.3	23.1
	その他・答えたくない	10	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0	40.0	60.0

(2) 今、自分は幸せだ

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	58.6	33.6	4.9	2.2	0.8	92.2	7.1
学 年	1年生	213	61.0	31.5	5.2	0.9	1.4	92.5	6.1
	2年生	203	55.7	37.9	4.4	2.0	0.0	93.6	6.4
	3年生	178	58.4	31.5	5.1	3.9	1.1	89.9	9.0
性 別	男	293	61.1	31.7	4.4	1.7	1.0	92.8	6.1
	女	291	57.4	34.7	4.8	2.4	0.7	92.1	7.2
	その他・答えたくない	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0	70.0	30.0

(3) 今の自分に満足している

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	37.4	30.9	19.8	11.1	0.8	68.3	30.9
学 年	1年生	213	39.4	34.3	13.6	11.3	1.4	73.7	24.9
	2年生	203	34.5	31.0	22.7	11.8	0.0	65.5	34.5
	3年生	178	38.8	26.4	23.6	10.1	1.1	65.2	33.7
性 別	男	293	39.6	32.1	16.7	10.6	1.0	71.7	27.3
	女	291	36.4	29.9	22.0	11.0	0.7	66.3	33.0
	その他・答えたくない	10	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0	30.0	70.0

(4) 自分は役に立たないと感じる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	7.0	15.9	32.2	43.8	1.0	22.9	76.0
学 年	1年生	213	8.9	16.0	31.0	42.7	1.4	24.9	73.7
	2年生	203	4.4	21.2	36.9	36.9	0.5	25.6	73.8
	3年生	178	7.9	10.1	28.1	52.8	1.1	18.0	80.9
性 別	男	293	6.8	15.0	30.4	46.8	1.0	21.8	77.2
	女	291	6.9	16.5	34.0	41.9	0.7	23.4	75.9
	その他・答えたくない	10	20.0	30.0	40.0	0.0	10.0	50.0	40.0

(5) 自分は孤立していると感じる

(単位：%)

		回答者数 (人)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答	『そう思う』 (そう思う+ どちらかといえ ばそう思う)	『そう思わない』 (そう思わない+ どちらかといえ ばそう思わない)
全体		596	3.0	7.7	26.8	61.4	1.0	10.7	88.2
学 年	1年生	213	2.8	6.6	24.4	64.8	1.4	9.4	89.2
	2年生	203	5.4	9.4	32.5	52.2	0.5	14.8	84.7
	3年生	178	0.6	7.3	23.6	67.4	1.1	7.9	91.0
性 別	男	293	4.1	6.8	24.6	63.5	1.0	10.9	88.1
	女	291	1.7	8.6	27.8	61.2	0.7	10.3	89.0
	その他・答えたくない	10	10.0	10.0	70.0	0.0	10.0	20.0	70.0

②現在の不安や悩みごと（問 19）

- ・ 学年別にみると、“1年生”“2年生”は「勉強や成績のこと」（それぞれ 56.8%、63.1%）、“3年生”は「進路や将来のこと」（56.2%）が最も多く、次いで“1年生”“2年生”は「進路や将来のこと」（それぞれ 36.2%、55.2%）、“3年生”は「勉強や成績のこと」（53.9%）となっている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに「勉強や成績のこと」が5割以上と最も多く、次いで「進路や将来のこと」となっている。
- ・ 自己肯定感の有無別にみると、自己肯定感が低くなるにつれて、「勉強や成績のこと」「進路や将来のこと」「友人関係のこと」「家族との関係・家庭環境のこと」「体や性のこと」「性格のこと」「外見のこと」が多い傾向となっている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	勉強や成績のこと	進路や将来のこと	友達関係のこと	いじめのこと	恋愛のこと	学校の先生のこと	家族との関係・家庭環境のこと
全体		596	58.1	48.5	18.6	1.7	7.2	4.2	9.4
学年	1年生	213	56.8	36.2	16.0	1.9	2.8	3.3	7.0
	2年生	203	63.1	55.2	23.2	1.5	10.3	4.4	13.3
	3年生	178	53.9	56.2	16.9	1.7	9.0	5.1	7.9
性別	男	293	54.6	44.7	12.3	2.4	5.8	4.1	9.2
	女	291	61.5	51.9	25.1	1.0	8.2	4.1	9.3
	その他・答えたくない	10	70.0	70.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0
（今、好きだ） 自己肯定感	そう思う	260	45.8	37.3	8.8	0.8	4.6	2.3	4.6
	どちらかといえばそう思う	212	63.7	52.4	19.8	1.4	6.6	4.7	9.0
	どちらかといえばそう思わない	81	75.3	66.7	33.3	2.5	8.6	6.2	12.3
	そう思わない	38	78.9	68.4	50.0	7.9	26.3	10.5	39.5
		回答者数 (人)	病気や健康のこと	体や性のこと	性格のこと	外見のこと	その他	悩んでいることはない	無回答
全体		596	5.5	4.9	13.1	17.4	2.2	25.0	1.2
学年	1年生	213	4.2	2.8	11.7	13.6	0.9	28.6	1.4
	2年生	203	5.9	6.4	16.7	19.2	2.0	22.2	1.0
	3年生	178	6.7	5.6	10.7	19.7	3.4	23.6	1.1
性別	男	293	5.1	3.8	9.2	9.9	2.0	29.0	1.7
	女	291	6.2	5.2	15.5	24.1	2.1	21.3	0.7
	その他・答えたくない	10	0.0	30.0	60.0	50.0	10.0	0.0	0.0
（今、好きだ） 自己肯定感	そう思う	260	3.1	1.9	5.8	8.8	1.9	38.1	0.8
	どちらかといえばそう思う	212	6.6	3.8	9.0	17.5	2.4	19.8	0.9
	どちらかといえばそう思わない	81	7.4	7.4	27.2	33.3	1.2	7.4	0.0
	そう思わない	38	13.2	26.3	57.9	44.7	5.3	2.6	0.0

【関連する自由回答（一部抜粋）】

悩みごとの相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他人に知られたくないような悩みごとを“匿名”で相談できるサービスをつくって、分かりやすいように宣伝して欲しいです。【2年生・女性】 ・ 悩みの相談をもっと簡単にできるようにしてほしい。【2年生・女性】
---------	---

(7) 将来のイメージ

①将来の進路 (問 22)

- ・ 学年別にみると、いずれも「大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」が約8割と最も多く、次いで“1年生”“2年生”は「わからない」(それぞれ 12.2%、11.8%)、“3年生”は「高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい」(7.9%)となっている。
- ・ 性別別にみると、いずれも「大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい」が5割以上と最も多く、次いで「わからない」、「高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい」となっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	大学、短期大学、 またはそれ以上の 学校まで 進学したい	高校、高 等専門学 校、専門 学校まで 進学した い	中学校を 卒業した ら働きた い	その他	わからな い	無回答
全体		596	79.7	6.9	0.0	1.5	10.4	1.5
学 年	1年生	213	77.5	5.2	0.0	2.3	12.2	2.8
	2年生	203	78.8	7.9	0.0	1.0	11.8	0.5
	3年生	178	83.1	7.9	0.0	1.1	6.7	1.1
性 別	男	293	78.5	6.5	0.0	1.7	11.6	1.7
	女	291	81.8	7.2	0.0	1.4	8.2	1.4
	その他・答えたくない	10	50.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0

②進学や就職 (問 24)

- ・ 学年別にみると、“1年生”“3年生”は「なんとなく楽しみだ」(それぞれ 33.3%、34.3%)、“2年生”は「なんとなく不安だ」(35.5%)が最も多くなっている。
- ・ 性別別にみると、“男”は「なんとなく楽しみだ」(34.8%)、“女”は「なんとなく不安だ」(32.3%)が最も多くなっている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	とても楽 しみだ	なんと なく楽 しみ だ	なんと なく 不安 だ	とても不 安だ	その他	無回答
全体		596	23.5	32.2	29.7	9.2	3.4	2.0
学 年	1年生	213	23.5	33.3	28.2	8.9	2.3	3.8
	2年生	203	18.2	29.1	35.5	12.3	3.4	1.5
	3年生	178	29.8	34.3	25.3	6.2	3.9	0.6
性 別	男	293	23.2	34.8	27.6	9.2	3.4	1.7
	女	291	24.7	29.2	32.3	8.9	2.4	2.4
	その他・答えたくない	10	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0

③結婚（問25）

- ・ 学年別、性別別にみると、いずれも「結婚したい」と「どちらかという結婚したい」を合わせた『結婚したい』が、「結婚したくない」と「どちらかという結婚したくない」を合わせた『結婚したくない』を上回っている。

【クロス表】

（単位：％）

		回答者数 (人)	結婚した い	どちらか という結 婚した い	どちらで もいい	どちらか という結 婚した くない	結婚した くない	わからな い	無回答	『結婚したい』 (結婚したい+ どちらかという 結婚したい)	『結婚したくない』 (結婚したくない+ どちらかという 結婚したくない)
全体		596	34.9	22.7	18.3	4.7	5.7	12.4	1.3	57.6	10.4
学 年	1年生	213	33.3	17.8	20.7	5.2	6.1	14.1	2.8	51.1	11.3
	2年生	203	36.9	24.6	16.7	3.0	5.4	12.8	0.5	61.5	8.4
	3年生	178	34.8	26.4	16.9	5.6	5.6	10.1	0.6	61.2	11.2
性 別	男	293	35.8	24.2	17.1	4.1	4.1	13.3	1.4	60.0	8.2
	女	291	35.1	21.3	18.6	5.5	6.9	11.3	1.4	56.4	12.4
	その他・答えたくない	10	10.0	20.0	30.0	0.0	20.0	20.0	0.0	30.0	20.0

【理由（自由回答 一部抜粋）】

『結婚したい』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚した方が幸せそうで楽しそうだから。【2年生・男性】 ・ 安定した暮らしがしたいから。【2年生・女性】 ・ 互いに支えあう環境が必要であると思ったから。【1年生・女性】 ・ 独身は寂しいだろうしやっぱり誰かと生活してるだけで心のあり方とか気持ちのあり方もかわると思うから。【3年生・男性】 ・ 精神的な安定にもなり、経済的にも良くなっていくから。また、子供をつくり自分の子孫をのこしていけるから。【2年生・男性】 ・ 好きな人がいるから。【3年生・女性】 ・ 両親が幸せそうだから。【1年生・男性】 ・ それがふつうだと思う。そうなるのだろうとなんとなく思う。【2年生・男性】
『結婚したくない』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚する必要性を感じないから。【2年生・女性】 ・ 自分の時間がほしいから。【3年生・男性】 ・ 一人にいる方が気楽だから。【3年生・男性】 ・ 家族以外の人と共同生活はできない。メリットをあまり感じない。【2年生・女性】 ・ お金がかかるから。【1年生・男性】 ・ 結婚して前より幸せな人を見たことがない。めんどくさそう。まわりで離婚している人が多い。【1年生・女性】 ・ 子供を産みたくないから。【1年生・女性】 ・ 特に恋愛に今現在興味がないから。【2年生・女性】

④子どもを持つこと（問26）

- ・ 学年別にみると、いずれも「子どもがほしい」と「どちらかという子どもがほしい」を合わせた『子どもがほしい』が、「子どもはほしくない」と「どちらかという子どもはほしくない」を合わせた『子どもはほしくない』を上回っている。
- ・ 性別別にみると、“男”“女”ともに『子どもがほしい』が『子どもはほしくない』を上回っている。

【クロス表】

(単位：%)

		回答者数 (人)	子どもが ほしい	どちらか という 子どもが ほしい	どちらで もいい	どちらか という 子どもは ほしくない	子どもは ほしくない	わからな い	無回答	『子どもがほしい』 (子どもがほしい+ どちらかという 子どもがほしい)	『子どもはほしくない』 (子どもはほしくない+ どちらかという 子どもはほしくない)
全体		596	33.6	21.0	17.6	3.0	9.1	14.3	1.5	54.6	12.1
学 年	1年生	213	33.8	18.3	17.4	3.3	9.4	15.0	2.8	52.1	12.7
	2年生	203	37.9	20.7	15.8	2.0	8.4	14.3	1.0	58.6	10.4
	3年生	178	28.7	24.7	20.2	3.9	9.0	12.9	0.6	53.4	12.9
性 別	男	293	34.8	21.5	18.1	3.1	6.5	14.7	1.4	56.3	9.6
	女	291	33.3	20.6	16.5	2.7	11.3	13.7	1.7	53.9	14.0
	その他・答えたくない	10	10.0	10.0	40.0	10.0	10.0	20.0	0.0	20.0	20.0

【理由（自由回答 一部抜粋）】

『子どもがほしい』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が好きだから。賑やかな家族に憧れがあるから。【1年生・女性】 ・ 私は親に愛されていると思うから、私も子供のことに愛したい。【1年生・女性】 ・ 辛いこともあると思うけど、それ以上に幸せをくれそうだから。【2年生・女性】 ・ 子どもがいると日々の生活が楽しくなるし新たな知識がえられると思うから。【3年生・女性】 ・ 子どもを育てることもかけがえのない経験になると思うから。【3年生・男性】 ・ いろいろ学んだ事を後の世代にも伝えていきたいと思っているから。【1年生・男性】 ・ 今まで育ててきてくれた親達に、一般的にかわいいとされる孫を見せてあげること、感謝の気持ちの一欠片でも伝わればいいと思うから。【2年生・男性】 ・ 少子高齢化を救うため。【3年生・女性】
『子どもはほしくない』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが好きではない。【3年生・女性】 ・ 自分だけの時間がほしいから。【3年生・男性】 ・ 自分で精一杯だから他の人の面倒はみれない。【2年生・女性】 ・ 将来、子どもに色々お金を使ったりしなければならぬし、ストレスが溜まると思うので人生が楽しめないと思うから。【1年生・男性】 ・ うまく子供を育てられる自信がない。仕事に力を入れたい。【3年生・女性】 ・ 子供を責任を持って育てられないと思うから。【2年生・男性】 ・ 産むのは大変そうだから。【1年生・女性】 ・ 今の社会から改善されなければ子育てはとても難しく、子供は自分が生きる上での足手まといにしかならないと思うから。【1年生・女性】

4. 高校生世代から 39 歳まで






調査結果の分析においては、下表に示す観点により記載している。

問番号	項目	主な観点	
		年齢	性別
(1) 基本属性			
問5	住まい	●	
問6	居住年数	●	
問38	婚姻状況	●	
問42	子どもの有無	●	
(2) 就労状況			
問18	現在の職業	●	●
問21	世帯年収	●	
(3) 家族、友人、職場、地域との関わり			
問27	家族・親族との関わり	●	
問28	学校で出会った友人との関わり	●	
問29	職場の人との関わり	●	
問30	地域の人との関わり	●	
(4) 悩みごとや相談先			
問34	現在の不安や悩みごと	●	
問35	悩みごとの相談先	●	
(5) 結婚			
問39	結婚していない理由	●	●
問41	結婚の意向	●	●
(6) 子どもを持つこと			
問43	現在の子どもの数	●	
問45	現在子どもがいない理由	●	●
問47	子どもを持つことの意向	●	●
問48	理想的な子どもの数	●	
問49	実際に持つつもりの子どもの数	●	
(7) 子ども・若者支援施策			
問51	港区に望む子ども・若者施策	●	

(1) 基本属性

- ・ 回答者の年齢割合は、“高校生世代（15-17歳）”が4.6%、“大学生世代（18-21歳）”が7.3%、“青・壮年期（22-29歳）”が26.3%、“青・壮年期（30-39歳）”が61.8%となっている。
- ・ 住まいについては、“高校生世代”“大学生世代”は「自分以外の持家(マンション)」(それぞれ39.1%、33.3%)、“青・壮年期（22-29歳）”“青・壮年期（30-39歳）”は「民間の賃貸マンション・アパート」(それぞれ52.3%、56.5%)が最も多くなっている。
- ・ 居住年数については、“高校生世代”“大学生世代”は「10年以上」(それぞれ82.6%、72.2%)が7割以上なのに対し、“青・壮年期（22-29歳）”“青・壮年期（30-39歳）”は「10年未満」(それぞれ75.4%、76.1%)が7割以上となり、「10年以上」(それぞれ24.6%、23.9%)は約2割にとどまる。
- ・ 結婚している人（結婚したことがある人を含む）の割合は、“大学生世代”が2.8%、“青・壮年期（22-29歳）”が24.6%、“青・壮年期（30-39歳）”が75.2%となっている。
- ・ 子どもがいる人の割合は、“大学生世代”が2.8%、“青・壮年期（22-29歳）”が7.7%、“青・壮年期（30-39歳）”が50.3%となっている。

【世代別の基本属性まとめ】

	 高校生世代 (N=23)【4.6%】	 大学生世代 (N=36)【7.3%】	 青・壮年期	
			22-29歳 (N=130)【26.3%】	30-39歳 (N=306)【61.8%】
ライフステージ 想定	⇒⇒⇒学生で両親と同居⇒⇒⇒		⇒⇒就職⇒⇒結婚⇒⇒子育て⇒⇒	
住まい 【問5】	1 自分以外の持家(マンション) 39.1%	1 自分以外の持家(マンション) 33.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 52.3%	1 民間の賃貸マンション・アパート 56.5%
	2 自分以外の持家(一戸建て) 17.4%	2 民間の賃貸マンション・アパート 22.2%	2 自分以外の持家(マンション) 18.5%	2 持家(マンション) 17.6%
	3 民間の賃貸マンション・アパート 13.0%	3 自分以外の持家(一戸建て)、持家(マンション) いずれも13.9%	3 社宅・公務員宿舎 11.5%	3 自分以外の持家(マンション) 10.1%
居住年数 【問6】	10年未満 17.4% 10年以上 82.6%	10年未満 27.8% 10年以上 72.2%	10年未満 75.4% 10年以上 24.6%	10年未満 76.1% 10年以上 23.9%
結婚している人 (結婚したことがある人を含む)の割合 【問38】	-	2.8%	24.6%	75.2%
子どもがいる人の割合 【問42】	-	2.8%	7.7%	50.3%
 結婚している人(結婚したことがある人を含む)の平均年齢 34.2歳				
 子どもがいる人の平均年齢 35.0歳				

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳
回答者数(人)		495	23	36	130	306
住まい 【問5】	自分の持家(一戸建て)	1.8	8.7	0.0	1.5	1.6
	自分以外(親・その他) の持ち家(一戸建て)	6.1	17.4	13.9	6.9	3.9
	自分の持家(マンション)	13.5	4.3	13.9	5.4	17.6
	自分以外(親・その他) の持ち家(マンション)	15.4	39.1	33.3	18.5	10.1
	借家(一戸建て)	2.2	8.7	0.0	1.5	2.3
	民間の賃貸マンショ ン・アパート	50.9	13.0	22.2	52.3	56.5
	都営・区営・区立住宅	1.8	4.3	2.8	1.5	1.6
	UR(旧公団)・公社 の賃貸住宅	0.6	4.3	2.8	0.0	0.3
	社宅・公務員宿舎	7.1	0.0	8.3	11.5	5.6
	学生寮	0.4	0.0	2.8	0.8	0.0
	その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3
居住 年数 【問6】	1年未満	14.3	8.7	8.3	25.4	10.8
	1～3年未満	22.2	8.7	11.1	33.8	19.6
	3～5年未満	14.9	0.0	0.0	8.5	20.6
	5～10年未満	18.2	0.0	8.3	7.7	25.2
	10～20年未満	17.8	65.2	33.3	10.8	15.4
	20年以上	4.8	0.0	2.8	4.6	5.6
	生まれてからずっと港 区に住んでいる	7.7	17.4	36.1	9.2	2.9
婚姻 状況 【問38】	結婚している(事実婚 を含む)	50.7	0.0	2.8	23.8	71.6
	結婚したことはない	46.9	100.0	97.2	75.4	24.8
	結婚したことはある が、今はしていない	2.4	0.0	0.0	0.8	3.6
子ども の有無 【問42】	いる	33.3	0.0	2.8	7.7	50.3
	いない	66.7	100.0	97.2	92.3	49.7

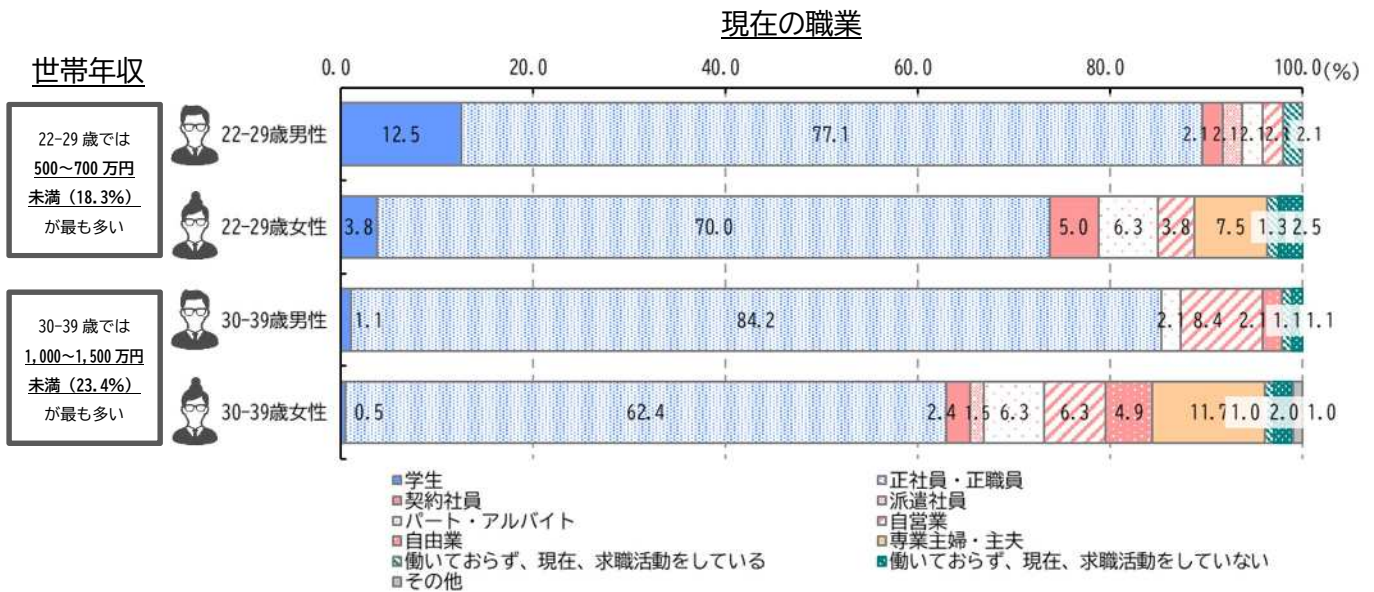
【関連する自由回答(一部抜粋)】

住まいの 悩み	<ul style="list-style-type: none"> 現在の居住地が気に入っているが、物価(家賃含む)が上がっても収入はあまり増えていないため、このまま子供が大きくなるまで住み続けることができるか考えている。【38歳・女性】 子どもの成長に合わせた部屋を探しているが2LDK且つ50平米以上の部屋に住むとなると家賃28万円以上が相場になります。そうなると、教育(英語/リトミック/多様性理解に対応する認証保育所)に掛けられるお金(月16万)が捻出できないので仕方なく1LDKに住んでいます(24万円)。【38歳・女性】
------------	---

(2) 就労状況

- 現在の職業については、“青・壮年期（22-29 歳）”は、男性の 77.1%、女性の 70.0%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。“青・壮年期（30-39 歳）”も同様に、男性の 84.2%、女性の 62.4%が「正社員・正職員」と回答しており、最も多くなっている。
- 世帯年収については、“青・壮年期（22-29 歳）”は「500～700 万円未満（18.3%）」、“青・壮年期（30-39 歳）”は「1,000～1,500 万円未満（23.4%）」が最も多くなっている。

【世代別の就労状況まとめ】



【クロス表】

①現在の職業

(単位：%)

	全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳		30 歳～39 歳		
				男性	女性	男性	女性	
回答者数 (性別無回答を除く) (人)	487	23	36	48	80	95	205	
現在の職業 【問 18】	学生 (予備校生などを含む)	13.8	100.0	91.7	12.5	3.8	1.1	0.5
	正社員・正職員	62.0	0.0	2.8	77.1	70.0	84.2	62.4
	契約社員	2.1	0.0	0.0	2.1	5.0	0.0	2.4
	派遣社員	0.8	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	1.5
	パート・アルバイト (学生のアルバイトは除く)	4.5	0.0	2.8	2.1	6.3	2.1	6.3
	自営業	5.1	0.0	0.0	2.1	3.8	8.4	6.3
	自由業 (個人で専門知識や技術を生かした職業)	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	4.9
	専業主婦・主夫	6.2	0.0	0.0	0.0	7.5	0.0	11.7
	働いておらず、現在、求職活動をしている	1.0	0.0	0.0	2.1	1.3	1.1	1.0
	働いておらず、現在、求職活動をしていない	1.6	0.0	2.8	0.0	2.5	1.1	2.0
	その他	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

②世帯年収（学生以外）

（単位：％）

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳
回答者数（学生以外）（人）		427	0	3	120	304
世帯 年収 【問21】	収入なし	1.6	0.0	0.0	2.5	1.3
	200万円未満	1.9	0.0	33.3	3.3	1.0
	200～300万円未満	3.0	0.0	0.0	7.5	1.3
	300～400万円未満	7.3	0.0	0.0	9.2	6.6
	400～500万円未満	6.8	0.0	0.0	10.0	5.6
	500～700万円未満	12.9	0.0	0.0	18.3	10.9
	700～1,000万円未満	14.3	0.0	0.0	9.2	16.4
	1,000～1,500万円未満	19.7	0.0	33.3	10.0	23.4
	1,500～2,000万円未満	10.3	0.0	0.0	8.3	11.2
	2,000～3,000万円未満	11.5	0.0	0.0	10.0	12.2
	3,000～5,000万円未満	3.3	0.0	0.0	0.8	4.3
	5,000～1億円未満	1.4	0.0	33.3	1.7	1.0
	1億円以上	0.9	0.0	0.0	0.8	1.0
	わからない	5.2	0.0	0.0	8.3	3.9

【関連する自由回答（一部抜粋）】

仕事の悩み	<ul style="list-style-type: none"> 希望している職種に転職できるか。【32歳・女性】 一部賃上げのある業界もあるようだが、現在の職場は世間の景気に影響されないため、転職かダブルワークを検討している。しかし現状転職に有利になるようなスキルもないため不安を感じている。【31歳・性別：その他・答えたくない】
仕事と子育ての両立	<ul style="list-style-type: none"> 子育てと仕事の両立が悩み。仕事に専念したいときもあるが、子どもとの時間もほしい。【34歳・女性】 今後子どもを持った際に、仕事で満足のいく働きを続けることができるかどうか。仕事と子育て、どちらも犠牲にしたいかと思ってしまうが、現実的には仕事へのコミットを減らすことになるのかなと想像すると、今の生活を変えることを躊躇してしまう部分がある。【28歳・女性】 夫婦共働き家庭にて、現在、私が専業主婦として育休中。夫婦ともにフルタイム勤務で、残業が常態化している職場なので、職場復帰後の生活（特に育児）が不安。【35歳・男性】 これから出産を控えているが、再度就職しても保育料が高かったり、仕事と家事育児の両立による身体的な負担や金銭的な負担が増えるのが心配。【30歳・女性】

(3) 家族、友人、職場、地域との関わり

- “会話やメール等をよくしている”において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、年齢が高くなるにつれて「家族・親族」「学校で出会った友人」「地域の人」は少なく、「職場の人」は多くなっている。
- “困ったときは助けてくれる”において、『そう思う』は、年齢が高くなるにつれて「学校で出会った友人」が少なくなっている。
- どの世代においても、「地域の人」は、“会話やメール等をよくしている”“困ったときは助けてくれる”において、「家族・親族」「学校で出会った友人」「職場の人」と比べて『そう思う』が少なくなっている。

【世代別の家族等との関わりまとめ】

		 高校生世代 (N=23)	 大学生世代 (N=36)	 青・壮年期	
				22-29 歳 (N=130)	30-39 歳 (N=306)
ライフステージ 想定		⇒⇒⇒学生で両親と同居⇒⇒⇒		⇒⇒就職⇒⇒結婚⇒⇒子育て⇒⇒	
会話やメール等をよくしている	家族・親族 【問 27(1)】	そう思う <u>95.7%</u> そう思わない <u>4.3%</u>	そう思う <u>97.2%</u> そう思わない <u>2.8%</u>	そう思う <u>88.5%</u> そう思わない <u>11.5%</u>	そう思う <u>89.9%</u> そう思わない <u>0.1%</u>
	学校で出会った友人 【問 28(1)】	そう思う <u>100.0%</u> そう思わない <u>0.0%</u>	そう思う <u>75.0%</u> そう思わない <u>25.0%</u>	そう思う <u>76.2%</u> そう思わない <u>23.8%</u>	そう思う <u>5.9%</u> そう思わない <u>4.1%</u>
	職場の人 【問 29(1)】	そう思う <u>66.7%</u> そう思わない <u>33.3%</u>	そう思う <u>48.1%</u> そう思わない <u>51.9%</u>	そう思う <u>70.9%</u> そう思わない <u>29.1%</u>	そう思う <u>0.1%</u> そう思わない <u>9.9%</u>
	地域の人 【問 30(1)】	そう思う <u>41.2%</u> そう思わない <u>58.8%</u>	そう思う <u>21.2%</u> そう思わない <u>78.8%</u>	そう思う <u>7.3%</u> そう思わない <u>92.7%</u>	そう思う <u>8.9%</u> そう思わない <u>1.1%</u>
困ったときは助けてくれる	家族・親族 【問 27(3)】	そう思う <u>100.0%</u> そう思わない <u>0.0%</u>	そう思う <u>94.4%</u> そう思わない <u>5.6%</u>	そう思う <u>93.8%</u> そう思わない <u>6.2%</u>	そう思う <u>4.4%</u> そう思わない <u>.6%</u>
	学校で出会った友人 【問 28(3)】	そう思う <u>100.0%</u> そう思わない <u>0.0%</u>	そう思う <u>91.7%</u> そう思わない <u>8.3%</u>	そう思う <u>89.2%</u> そう思わない <u>10.8%</u>	そう思う <u>4.8%</u> そう思わない <u>5.2%</u>
	職場の人 【問 29(3)】	そう思う <u>100.0%</u> そう思わない <u>0.0%</u>	そう思う <u>70.4%</u> そう思わない <u>29.6%</u>	そう思う <u>85.6%</u> そう思わない <u>14.4%</u>	そう思う <u>1.3%</u> そう思わない <u>8.7%</u>
	地域の人 【問 30(3)】	そう思う <u>47.1%</u> そう思わない <u>52.9%</u>	そう思う <u>36.4%</u> そう思わない <u>63.6%</u>	そう思う <u>21.1%</u> そう思わない <u>78.9%</u>	そう思う <u>5.8%</u> そう思わない <u>4.2%</u>

※ 表中の「そう思う」の割合は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の回答割合の合計

※ 表中の「そう思わない」の割合は、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の回答割合の合計

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳	
回答者数(無回答を除く)(人)		495	23	36	130	306	
会話やメール等をよくしている	家族・親族 【問 27(1)】	そう思う	65.1	78.3	55.6	60.8	67.0
		どちらかといえばそう思う	25.3	17.4	41.7	27.7	22.9
		どちらかといえばそう思わない	7.3	0.0	2.8	8.5	7.8
		そう思わない	2.4	4.3	0.0	3.1	2.3
	学校で出会った友人 【問 28(1)】	そう思う	34.3	78.3	52.8	41.5	25.8
		どちらかといえばそう思う	30.3	21.7	22.2	34.6	30.1
		どちらかといえばそう思わない	22.6	0.0	19.4	18.5	26.5
		そう思わない	12.7	0.0	5.6	5.4	17.6
	職場の人 【問 29(1)】	そう思う	36.2	0.0	18.5	35.4	38.7
		どちらかといえばそう思う	39.2	66.7	29.6	35.4	41.5
		どちらかといえばそう思わない	12.8	33.3	25.9	13.4	11.0
		そう思わない	11.8	0.0	25.9	15.7	8.9
	地域の人 【問 30(1)】	そう思う	8.4	17.6	3.0	2.4	11.0
		どちらかといえばそう思う	14.7	23.5	18.2	4.8	17.9
		どちらかといえばそう思わない	17.7	29.4	12.1	16.9	17.9
		そう思わない	59.2	29.4	66.7	75.8	53.2
困ったときは助けられる	家族・親族 【問 27(3)】	そう思う	80.0	82.6	80.6	83.1	78.4
		どちらかといえばそう思う	14.5	17.4	13.9	10.8	16.0
		どちらかといえばそう思わない	3.6	0.0	5.6	3.8	3.6
		そう思わない	1.8	0.0	0.0	2.3	2.0
	学校で出会った友人 【問 28(3)】	そう思う	46.5	73.9	61.1	52.3	40.2
		どちらかといえばそう思う	34.5	26.1	30.6	36.9	34.6
		どちらかといえばそう思わない	8.9	0.0	5.6	5.4	11.4
		そう思わない	10.1	0.0	2.8	5.4	13.7
	職場の人 【問 29(3)】	そう思う	38.3	0.0	25.9	45.6	36.6
		どちらかといえばそう思う	43.7	100.0	44.4	40.0	44.7
		どちらかといえばそう思わない	10.9	0.0	14.8	7.2	12.3
		そう思わない	7.1	0.0	14.8	7.2	6.3
	地域の人 【問 30(3)】	そう思う	11.2	23.5	9.1	7.3	12.3
		どちらかといえばそう思う	21.2	23.5	27.3	13.8	23.5
		どちらかといえばそう思わない	19.5	23.5	24.2	14.6	20.8
		そう思わない	48.1	29.4	39.4	64.2	43.3

【関連する自由回答(一部抜粋)】

人間関係の悩み	家族	・ 仕事や家事の負担が集中して常に疲労困憊。パートナーが理解してくれないことが多く会話が精神的に負担。【37歳・女性】
	学校	・ 部活の先輩との接し方、部活友達との関わり方。【15歳・女性】
	職場	・ 以前の職場での人間関係による精神的な不調が続いており、再就職へ動き出すことができずにいるが、貯金を切り崩している為金銭的な期限も迫り、焦りばかりを募らせていることへの不安と自己嫌悪との板挟み状態であること。【28歳・女性】
	地域	・ 引越して友達がいない。【38歳・女性】

(4) 悩みごとや相談先

- 現在の不安や悩みごとについては、“高校生世代”“大学生世代”“青・壮年期（22-29 歳）”は「自分の将来」（それぞれ 56.5%、58.3%、60.8%），“青・壮年期（30-39 歳）”は「お金のこと」（56.9%）が最も多くなっている。
- 悩みごとの相談先については、“高校生世代”は「父母」（65.2%），“大学生世代”“青・壮年期（22-29 歳）”は「友人・知人」（それぞれ 61.1%、67.7%），“青・壮年期（30-39 歳）”は「配偶者（パートナー）」（63.4%）が最も多くなっている。

【世代別の悩みごとや相談先まとめ】

	高校生世代 (N=23)	大学生世代 (N=36)	青・壮年期	
			22-29 歳 (N=130)	30-39 歳 (N=306)
現在の不安や悩みごと 【問 34】	1 自分の将来 56.5%	1 自分の将来 58.3%	1 自分の将来 60.8%	1 お金のこと 56.9%
	1 受験・進路 56.5%	2 仕事・就職 36.1%	2 お金のこと 54.6%	2 自分の将来 50.7%
	3 親、親戚との関係、友人関係 いずれも 17.4%	3 お金のこと 30.6%	3 仕事・就職 27.7%	3 仕事・就職、子育て いずれも 33.7%
悩みごとの相談先 【問 35】	父母 65.2%	知人・友人 61.1%	知人・友人 67.7%	配偶者（パートナー） 63.4%

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15 歳～17 歳	18 歳～21 歳	22 歳～29 歳	30 歳～39 歳
回答者数 (人)		495	23	36	130	306
現在の不安や悩みごと (複数回答) 【問 34】	家事	10.3	0.0	2.8	5.4	14.1
	お金のこと (衣食住を含む)	52.3	13.0	30.6	54.6	56.9
	自分の身体のこと	25.3	8.7	19.4	17.7	30.4
	自分の将来	54.1	56.5	58.3	60.8	50.7
	受験・進路	6.7	56.5	25.0	3.8	2.0
	仕事・就職	31.1	8.7	36.1	27.7	33.7
	地域活動 (町内会・自治会等)	1.0	0.0	2.8	0.0	1.3
	配偶者 (パートナー) との関係	10.3	0.0	2.8	11.5	11.4
	親、親戚との関係	9.5	17.4	2.8	8.5	10.1
	介護	6.9	0.0	0.0	4.6	9.2
	子育て	24.4	0.0	2.8	13.1	33.7
	友人関係	5.7	17.4	13.9	6.9	3.3
	恋愛関係	10.7	13.0	19.4	17.7	6.5
	職場の人間関係	6.3	0.0	5.6	6.9	6.5
	インターネット上の人間関係	0.4	0.0	2.8	0.8	0.0
	悩んでいることはない	11.9	17.4	16.7	13.1	10.5
その他	2.0	4.3	2.8	1.5	2.0	

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳
回答者数(人)		495	23	36	130	306
悩みごとの相談先 (複数回答) 【問35】	配偶者(パートナー)	46.5	0.0	8.3	25.4	63.4
	父母	46.9	65.2	58.3	52.3	41.8
	その他親族	12.7	4.3	11.1	13.1	13.4
	知人・友人	55.8	56.5	61.1	67.7	50.0
	恋人	8.3	0.0	5.6	17.7	5.2
	学校の先生	0.8	8.7	0.0	0.8	0.3
	職場の上司・同僚	13.3	0.0	2.8	16.2	14.4
	カウンセラー・かかりつけの医師	4.0	4.3	2.8	3.1	4.6
	区役所や公共施設の窓口・職員	1.8	4.3	0.0	0.0	2.6
	民間の相談機関	1.0	0.0	0.0	0.8	1.3
	インターネットの掲示板や相談サイト	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0
	インターネット上の知人・友人	2.0	8.7	2.8	1.5	1.6
	相談しない	10.9	17.4	13.9	7.7	11.4
その他	0.8	4.3	0.0	0.8	0.7	




【関連する自由回答(一部抜粋)】

将来の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の自分が全く想像できなくて不安しかない。【15歳・男性】 ・ 自分の世代は年金が満足にももらえないのではないかと不安。【34歳・女性】 ・ 死ぬ時に一人だった場合、誰がその後の段取り(葬式の手配など)をしてくれるだろうか。【37歳・女性】 ・ 両親に生活を依存している中で、自分が真つ当な社会人としてやっていけるのか自信がなく、ぼんやりとした不安を感じている。【22歳・男性】
経済的な不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの成長を優先して妻のキャリアは諦め限られた収入では、妻の勤務時間を減らすと世帯収入も減り将来の教育費や老後資金の貯蓄に届かなくなります。【38歳・女性】 ・ 低収入ではないが、こども2人の育児を考えると金銭面の不安あり。食料品や消耗品など軒並み値上がりしている。今後、低収入でないために、様々な支援で所得制限にひっかかり、むしろ余裕がなくなっていくのではと不安。【38歳・女性】 ・ 将来的に子どもが出来た時に、この地域で仕事をして住む(徒歩圏内で)ためにお金がかかりすぎるだろう。【36歳・男性】 ・ 比較的金銭的余裕のある20代でも、マンション価格をはじめとする物価の高騰により、港区で子育てが出来るとかの不安が少しあります。【28歳・男性】 ・ 出産、育児、配偶者の転勤に帯同する等で現職を離れることになる際、世帯収入および自身が自由に使えるお金が減ることに不安を感じている。【26歳・女性】
子育ての不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心での子育ては感覚が分からず、色々選択肢は多いが何をしてあげるのがいいのか悩ましい。【39歳・男性】 ・ 子どもに心身とも健全にそだてられるか? 共働きで本気で打ち込める習い事などさせてあげられるか? 夫婦間での家事育児負担の不平等はどうすれば解決するのか? などに不安を感じています。【37歳・女性】 ・ 中学受験が過熱しすぎていて、子どもへの影響が心配。公立中学のレベルが低いとよく聞くので心配。【32歳・男性】 ・ 子供に生まれつき障害があるので、進学など将来のことが不安である。【37歳・女性】

(5) 結婚

- ・ 現在結婚していない割合は、“高校生世代”が100.0%、“大学生世代”が97.2%、“青・壮年期(22-29歳)”が76.2%、“青・壮年期(30-39歳)”が28.4%であり、“青・壮年期(30-39歳)”で大きく割合が減少している。結婚している人の平均年齢は34.2歳となっている。
- ・ 結婚していない理由は、“高校生世代”“大学生世代”は「結婚するにはまだ若いから」(それぞれ78.3%、77.1%)、“青・壮年期(22-29歳)”“青・壮年期(30-39歳)”は「適切な相手にめぐりあわないから」が最も多くなっている。
- ・ 今後の結婚意向については、“高校生世代”“大学生世代”では、それぞれ69.6%、74.3%が結婚したいと回答している。“青・壮年期(22-29歳)”では男女ともに7割以上が結婚したいと回答しているが、“青・壮年期(30-39歳)”はその割合がやや少なくなっている。

【世代別の結婚に対する意識まとめ】

	 高校生世代 【未婚率 100.0%】	 大学生世代 【未婚率 97.2%】	 青・壮年期	
			22-29歳 【未婚率 76.2%】	30-39歳 【未婚率 28.4%】
結婚していない理由 【問 39】	1 結婚するにはまだ若いから 78.3%	1 結婚するにはまだ若いから 77.1%	1 適切な相手にめぐりあわないから 56.4% 適切な相手にめぐりあわないから 55.2%	1 適切な相手にめぐりあわないから 57.1% 適切な相手にめぐりあわないから 57.1%
	2 学業や仕事に打ち込みたいから 13.0%	2 学業や仕事に打ち込みたいから 22.9%	2 結婚するにはまだ若い 41.0% 結婚する必要性を感じない 24.1%	2 結婚資金が足りない、収入不安定 31.4% 結婚する必要性を感じない 38.8%
	3 適切な相手にめぐりあわないからほか5件 いずれも 4.3%	2 適切な相手にめぐりあわないから 22.9%	3 結婚資金が足りない、収入不安定 35.9% 家族を持つ責任がなく、気楽 22.4%	3 結婚する必要性を感じない 28.6% 独身で生活できる経済力がある 30.6%
今後の結婚意向 【問 41】	結婚したい 69.6%	結婚したい 74.3%	男 結婚したい 74.4% 女 結婚したい 79.3%	男 結婚したい 51.4% 女 結婚したい 57.1%



結婚している人(結婚したことがある人を含む)の平均年齢 **34.2歳**

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳		30歳～39歳	
					男性	女性	男性	女性
回答者数（現在結婚している人以外・性別無回答を除く） （人）		239	23	35	39	58	35	49
結婚していない理由 (複数回答) 【問39】	結婚するにはまだ若いから	30.1	78.3	77.1	41.0	13.8	5.7	2.0
	適当な相手にめぐりあわないから	46.4	4.3	22.9	56.4	55.2	57.1	57.1
	結婚資金が足りないから、収入が不安定だから	18.8	0.0	8.6	35.9	17.2	31.4	14.3
	学業や仕事に打ち込みたいから	16.7	13.0	22.9	20.5	13.8	22.9	10.2
	趣味や娯楽を楽しみたいから	17.2	0.0	14.3	33.3	13.8	20.0	16.3
	家族を持つ責任がなく、気楽だから	15.1	0.0	8.6	7.7	22.4	22.9	18.4
	結婚する必要性を感じないから	21.8	4.3	14.3	7.7	24.1	28.6	38.8
	独身で生活できるだけの経済力があるから	12.1	0.0	0.0	5.1	13.8	11.4	30.6
	他者とうまく付き合えないから	7.5	0.0	0.0	12.8	3.4	17.1	10.2
	同性のパートナーと結婚する国の制度がないから	2.1	4.3	0.0	2.6	1.7	5.7	0.0
	夫婦別姓に関する国の制度がないから	5.9	4.3	2.9	2.6	5.2	11.4	8.2
	交際相手・パートナーに結婚する気がないから	2.9	4.3	0.0	0.0	3.4	2.9	6.1
	離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
	その他	5.4	4.3	2.9	2.6	10.3	5.7	4.1
今後の結婚意向 【問41】	結婚したい	41.4	52.2	40.0	46.2	41.4	28.6	42.9
	どちらかという結婚したい	26.8	17.4	34.3	28.2	37.9	22.9	14.3
	どちらでもいい	16.7	8.7	14.3	15.4	12.1	22.9	24.5
	どちらかという結婚したくない	5.0	4.3	-	2.6	3.4	8.6	10.2
	結婚したくない	4.2	4.3	5.7	2.6	3.4	8.6	2.0
	わからない	5.9	13.0	5.7	5.1	1.7	8.6	6.1




【関連する自由回答（一部抜粋）】

結婚に対する考え	<ul style="list-style-type: none"> 結婚願望はあるもののそもそも出会いがない。【32歳・女性】 結婚をした方が幸せかこのままでいいか。【37歳・女性】 長年交際している相手がいるが、いまいち結婚に踏み切れずダラダラと付き合っており、お互い婚期を逃して年ばかりとって行くのではと、不安に思う。【32歳・女性】
----------	---

(6) 子どもを持つこと

- ・ 子どもがいる割合は、“大学生世代”が2.8%、“青・壮年期(22-29歳)”が7.7%、“青・壮年期(30-39歳)”が50.3%であり、“青・壮年期(30-39歳)”は大きく割合が増加している。子どもがいる人の平均年齢は35.0歳となっている。
- ・ どの世代においても、6～7割程度が、今後、子どもを持ちたいと考えている。
- ・ 子どもがいない理由は、どの世代においても「結婚していない、交際相手がないから」が最も多くなっている。
- ・ 理想より持つつもりの子どもの数が少ないと回答した割合は、“高校生世代”が21.7%、“大学生世代”が25.0%、“青・壮年期(22-29歳)”が40.8%、“青・壮年期(30-39歳)”が41.5%であり、“青・壮年期(22-29歳)”“青・壮年期(30-39歳)”は大きく割合が増加している。

【世代別の子どもに対する意識まとめ】

		 高校生世代 <small>【子どもがいる割合0.0%】</small>	 大学生世代 <small>【子どもがいる割合2.8%】</small>	 青・壮年期	
				22-29歳 <small>【子どもがいる割合7.7%】</small>	30-39歳 <small>【子どもがいる割合50.3%】</small>
子どもが いる人	現在の子どもの人数 [平均]【問43】	-	<u>1.00人</u>	<u>1.20人</u>	<u>1.55人</u>
	今後の子どもを持つこと の意向【問47】	子どもを持ちたい 60.9%	子どもを持ちたい 68.6%	男子どもを持ちたい 71.1% 女子どもを持ちたい 72.6%	男子どもを持ちたい 64.8% 女子どもを持ちたい 63.2%
子どもが いない人	現在子どもが いない理由 【問45】	1 結婚していない、交際相手 がないから 82.6%	1 結婚していない、交際 相手がないから 94.3%	1 男結婚していない、交際相手 がない 77.8% 女結婚していない、交際相手 がない 67.1%	1 男結婚していない、交際相手 がない 57.4% 女結婚していない、交際相手 がない 38.9%
		2 子どもを持つにはまだ若い から 43.5%	2 子どもを持つにはまだ 若いから 22.9%	2 男子どもを持つにはまだ若い 24.4% 女出産・子育て費用が足りない、将来的に子 育てや教育にお金がかかる い ずれも26.0%	2 男将来的に子育てや教育にお金 がかかる 27.8% 女妊娠や子育てに漠然とした不安がある、ほし いけれどもできない いずれも 18.9%
		3 妊娠や子育てに漠然とした不安がある から ほか3件 いずれも4.3%	3 出産・子育て費用が足り ない、収入が不安定だから ほか2件 いずれも2.9%	3 男出産・子育て費用が足り ない、将来的に子育てや教育にお 金がかかる いずれも11.1% 女妊娠や子育てに漠然とした不安 がある 23.3%	3 男出産・子育て費用が足り ない、家が狭い いずれも22.2% 女将来的に子育てや教育にお金 がかかる 16.8%
理想の子どもの数 [平均]【問48】		<u>2.21人</u>	<u>1.77人</u>	<u>2.06人</u>	<u>1.99人</u>
持つつもり の子どもの数 [平均]【問49】		<u>1.78人</u>	<u>1.47人</u>	<u>1.47人</u>	<u>1.50人</u>
理想より持つ つもりの子 どもの数が 少ない人の 割合		<u>21.7%</u>	<u>25.0%</u>	<u>40.8%</u>	<u>41.5%</u>



子どもがいる人の平均年齢 **35.0歳**

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳		30歳～39歳	
					男性	女性	男性	女性
回答者数（子どもがいる人以外・性別無回答を除く）（人）		325	23	35	45	73	54	95
今後の子どもを持つこと の意向 【問 47】	子どもを持ちたい	45.2	34.8	37.1	55.6	47.9	42.6	45.3
	どちらかという子どもを持ちたい	21.8	26.1	31.4	15.6	24.7	22.2	17.9
	どちらでもいい	14.5	13.0	8.6	24.4	9.6	16.7	14.7
	どちらかという子どもを持ちたくない	4.9	4.3	5.7	2.2	5.5	3.7	6.3
	子どもを持ちたくない	8.9	8.7	11.4	2.2	11.0	9.3	9.5
	わからない	4.6	13.0	5.7	0.0	1.4	5.6	6.3
現在子どもがいない理由 (複数回答) 【問 45】	結婚していないから、交際相手がいらないから	62.8	82.6	94.3	77.8	67.1	57.4	38.9
	子どもを持つにはまだ若いから	12.9	43.5	22.9	24.4	12.3	3.7	2.1
	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから	13.5	0.0	2.9	11.1	26.0	22.2	7.4
	将来的に子育てや教育にお金がかかるから	16.9	0.0	0.0	11.1	26.0	27.8	16.8
	家が狭いから	7.7	4.3	2.9	4.4	5.5	22.2	5.3
	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから	3.7	0.0	2.9	0.0	6.8	5.6	3.2
	家庭内の人間関係が良好ではないから	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0
	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから	6.2	0.0	0.0	0.0	6.8	11.1	9.5
	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	10.5	0.0	0.0	0.0	17.8	16.7	12.6
	配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから	0.9	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0
	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから	8.0	0.0	0.0	0.0	15.1	9.3	10.5
	将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから	2.5	0.0	0.0	0.0	4.1	3.7	3.2
	妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから	12.3	4.3	0.0	2.2	23.3	5.6	18.9
	健康上の理由から	1.8	4.3	0.0	0.0	1.4	1.9	3.2
	ほしいけれどもできないから	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	18.9
	高齢で産むのはいやだから	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.1
	配偶者（パートナー）が望まないから	0.6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.1
その他	8.9	4.3	0.0	4.4	12.3	7.4	13.7	

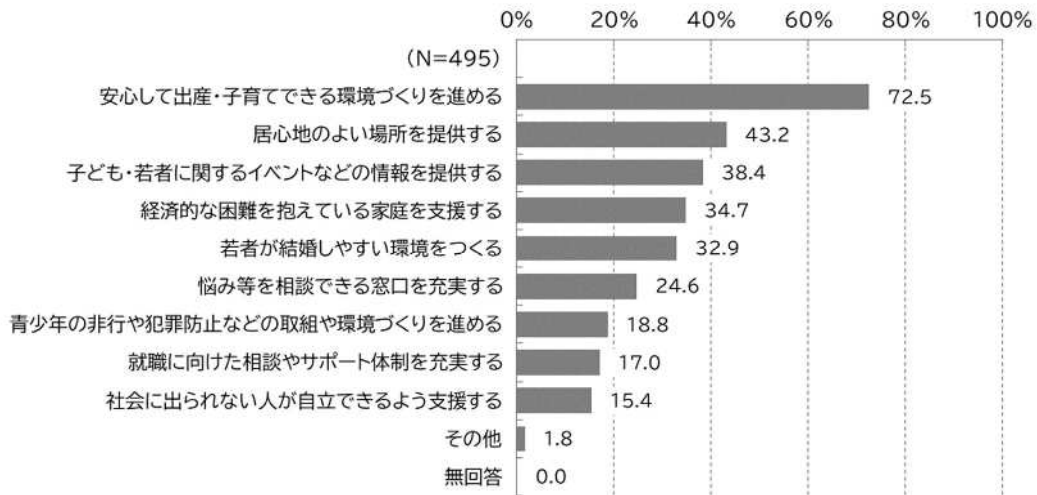
【関連する自由回答（一部抜粋）】

子どもを持つこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供は欲しいが、養育費を捻出できるか不安に感じている。【26歳・女性】 ・ 子どもが欲しいと思うが、金銭面から難しさを感じている。【27歳・男性】 ・ 子育てをしたいと思っているが、圧倒的に母親個人への負担が多すぎて、そのリスクを負ってまでやりたいのか、思いとどまってしまう。親も1人の人間として、時間的にも精神的にも、社会的生活を送れるような仕組みが必要だと思います。【39歳・女性】 ・ 不妊治療中で、なかなか授からず今後の生活に不安があります。【37歳・女性】
----------	--

(7) 子ども・若者支援施策

- 港区に望む子ども・若者施策は、「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」(72.5%)が最も多く、次いで「居心地のよい場所を提供する」(43.2%)、「子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する」(38.4%)となっている。
- 世代別にみると、“高校生世代”“青・壮年期(22-29歳)”“青・壮年期(30-39歳)”は「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」(それぞれ56.5%、68.5%、78.4%)、“大学生世代”は「居心地のよい場所を提供する」(52.8%)が最も多くなっている。

【港区に望む子ども・若者施策】



【世代別の望む子ども・若者施策まとめ】

	高校生世代 (N=23)	大学生世代 (N=36)	青・壮年期	
			22-29歳 (N=130)	30-39歳 (N=306)
港区に望む 子ども・若者 施策 【問 51】	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める 56.5%	1 居心地のよい場所を提供する 52.8%	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める 68.5%	1 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める 78.4%
	2 若者が結婚しやすい環境をつくる 47.8%	2 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める 47.2%	2 若者が結婚しやすい環境をつくる 46.2%	2 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する 44.1%
	3 居心地のよい場所を提供する 43.5%	3 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する、経済的な困難を抱えている家庭を支援する いずれも 41.7%	3 経済的な困難を抱えている家庭を支援する 39.2%	3 居心地のよい場所を提供する 44.1%

【クロス表】

(単位：%)

		全体	15歳～17歳	18歳～21歳	22歳～29歳	30歳～39歳
回答者数(人)		495	23	36	130	306
港区に望む子ども・若者施策 (複数回答) 【問51】	子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する	38.4	17.4	41.7	27.7	44.1
	悩み等を相談できる窓口を充実する	24.6	26.1	19.4	23.8	25.5
	居心地のよい場所を提供する	43.2	43.5	52.8	38.5	44.1
	就職に向けた相談やサポート体制を充実する	17.0	17.4	25.0	16.9	16.0
	若者が結婚しやすい環境をつくる	32.9	47.8	30.6	46.2	26.5
	安心して出産・子育てできる環境づくりを進める	72.5	56.5	47.2	68.5	78.4
	経済的な困難を抱えている家庭を支援する	34.7	30.4	41.7	39.2	32.4
	社会に出られない人が自立できるように支援する	15.4	17.4	11.1	12.3	17.0
	青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める	18.8	26.1	19.4	14.6	19.9
	その他	1.8	4.3	0.0	0.8	2.3

【関連する自由回答（一部抜粋）】

区の施策、支援に関する意見	安心して出産・子育てできる環境	<ul style="list-style-type: none"> 港区の子育て支援は手厚くとても感謝しています。公立中学で海外に行ける機会の提供も嬉しいです。しかしやはり妊娠・出産前後は思うように働けず、また教育費の面での不安はあります。今第二子を妊娠中ですが、3人目は少しためらってしまいます。希望する人数、子どもを安心して産める環境だと嬉しく思います。【34歳・女性】 国が少子化対策をするまで待てられないので、個人でなるべく沢山稼いで貯金や投資をしないと結婚や子育ての選択肢はない。【30歳・女性】
	若者が結婚しやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の子達が、結婚や育児しやすいように助成金があると良いのではないかと思います。【31歳・男性】
	子ども・若者に関するイベントなどの情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 施策も充実しており、年々様々な新しい施策も始まり有難いと感じています。情報発信も分かりやすく助かっています。子育てアプリとLINEはよく使っています。【32歳・女性】 若い方々にも年齢を重ねるごとに妊娠しづらくなることや、不妊治療にかかる費用、子宮頸がんの予防接種、梅毒が増えていることなど啓蒙活動していただけると若い方にも子供を持つことについて興味を持っていただけるのではないかと思います。【37歳・女性】
	経済的な困難を抱えている家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"> 親の収入によって教育格差が生まれないような仕組みづくりを期待します。港区奨学金等あっても良いと思います。【29歳・女性】 大学卒業するまで子供に係る費用すべて無償にしてみてもは。【35歳・男性】 35歳未満の未婚者への経済的支援等をしてほしい。【30歳・女性】

第4章 自由意見

ご記入いただいた自由意見のうち、一部の意見を抜粋して記載する。なお、記載にあたって文言等を修正している場合がある。

1. 小学校入学前の子どもの保護者

①教育・保育事業の施設数や定員について

- ・ 保育園の数がまだ足りないと思う。認可保育園はいくつかあるが、逆に認可外が少ないためもし審査でどこにも入れなかった時の選択肢がなく非常に不安。【0歳・30代母親】
- ・ 認定こども園の施設を増やしてほしいです。就労しながら幼稚園のように行事や情操教育に力を入れたいと思うが、延長保育の利用者数や、長期休みの対策などを考えると共働きフルタイム勤務では現実的に考えるとなかなか保育園以外を選べません。【2歳・30代母親】
- ・ 12月や早生まれの子も家の近くの希望する保育園に0歳児クラスから入れるように、育児休業明け予約制度の人数を増やしてほしい。もしくは、希望する1歳児クラスに4月入園できるように定員枠を増やしてほしい。【0歳・30代母親】
- ・ 未就学児の子供が3人いる共働き世帯で両親の援助は遠方のため見込めません。保育園をせめて3人一緒に入れてもらえるよう、優遇してほしいです。3人一緒にいられないと送迎の負担が増大します。【0歳・30代母親】

②教育・保育事業の環境について

- ・ 幼稚園の預かり保育開始時間を8:00~8:30に早めてほしい。様々な仕事を探しても、始業9:00なので、いくら8:45に幼稚園に預けても間に合わない。【2歳・30代母親】
- ・ 幼稚園の預かり保育の最終時間をもっと遅くしてほしい。(19~20時まで緊急時に預かってもらえれば、共働きでも教育の選択肢が広がります)【0歳・30代母親】
- ・ 区立幼稚園にもスクールバスがあると便利だなと思います。【2歳・30代母親】
- ・ 区立保育園、または私立であっても園庭のある保育園の拡充。【4歳・30代母親】
- ・ 保育園と習い事事業者の連携をして欲しい。保育園内で、部屋を分けて希望者に習い事を実施するとか、子どもを教室に送迎してくれるなど。必要なお金は払うので、もっとフレキシブルな育児ができる環境が欲しいです。【5歳・40代母親】
- ・ 港区だからこそ、日本語ネイティブではないけど日本国籍を有する帰国子女への教育環境も整えて貰えると嬉しいです。親の趣味ではなく、やむをえず仕方なくのインター育ちなのに、義務教育を受けたことにならないのは、将来の選択肢を狭めてしまいます。【0歳・40代母親】

③教育・保育事業の内容や質について

- ・ 港区の施策はかなり充実している部類だと思っています。さらに区営の保育園での英語や運動プログラムなどの教育的な側面のプログラムの充実、私立に負けない公立の小中学校の学習環境や学習レベルの向上をお願いしたいです。【3歳・40代母親】
- ・ 小・中学校のインクルーシブ教育を進め、障害児を地域から切り離さないでほしい。【1歳・30代母親】
- ・ 発達障害や学習障害の受け皿がとても少ないです。小学校・学童になると大人の目が足りないと思います。支援学級や加配の先生、そもそもの配置基準の見直しなど。1人1人への合理的配慮が実行できる体制づくりをお願いします。【4歳・30代母親】

- ・ 保育士の入れ替わりが激しいです。子どもも不安に思います。国の基準だとしても、港区の税金から保育園・保育室に助成金を出し、保育士の確保や配置基準（4・5歳児30：1）にプラスした保育士の配置を希望（要望）します。【4歳・40代母親】
- ・ 保育士の給料を上げる、配置数を増やすなどし、安全第一を確保してほしい。【1歳・40代母親】

④教育・保育事業の費用負担について

- ・ 保育園の給食費無料は大変嬉しく思います。できることならば、0～2歳までの保育料も無料になると最高の子育て支援になると思います。「子供にはお金をかける」が当たり前の港区になってほしいと思います。今は少子化なので特に。【3歳・20代母親】
- ・ 第一子から保育園の無償化、住民税を多く払えば払うほど保育料が高額なため、保育料の見直し。【0歳・30代母親】
- ・ 幼稚園の延長保育を無償化してほしい。【3歳・30代母親】
- ・ インターナショナルスクールや私立幼稚園等、認可の保育園以外の教育機能を活用する際の金銭的支援を充実させてほしい。【4歳・30代父親】
- ・ ベビーシッターをお願いしたいのですが、金額が高く利用できていないところです。東京都のベビーシッター補助のように補助いただけると幸いです。【0歳・30代母親】

⑤地域子育て支援事業について

- ・ コロナ禍での出産で、妊娠中は何かと不安が多かったものの、産後は赤ちゃん訪問から Hello ママサロン、うさちゃんクラブ、保健所での毎月の身体測定等、港区のサポートが手厚く、大変助けられました。特に0歳児の最初に Hello ママサロン等で同月齢の子を持つお母さま方と知り合うことができ、おかげで親子共々良いお友達がたくさんできたことが、楽しく育児を続けられている大きな要因だと思います。【1歳・40代母親】
- ・ 港区は子育てのサービスが厚く大変感謝しています。ただ、力を貸してくれる地域の方が少ないです。子むすび、あい・ぽーとのサービスもいつも使えず、いつも1人でなんとかするしかありません。ベビーシッター、送迎などをお手伝い頂ける方、サービスの拡充を望んでおります。【1歳・30代母親】
- ・ あっぴい、Pokke などの施設は、コロナ前は上の子とよく使っていたが、コロナ以降予約制等になって、面倒になっていなくなりました。面倒な手続きなしに気軽に立ち寄り、気軽に使える施設だとありがたいです。【2歳・30代父親】
- ・ 子育て支援施設の各所ルール（同じあっぴいでも）や対応が異なりすぎるので、戸惑うことが多い。事業者が異なるのは理解するが、もう少し統一感が必要だと思う。また登録が各所バラバラなので、複数の登録や会員証の管理等が不便。【0歳・40代母親】
- ・ 港区産前産後家事・育児支援サービスを3歳まででなく4～5歳くらいまで利用できたり、もう少し1年間に利用できる時間枠を拡充していただけると個人的にはとても嬉しいです。【2歳・40代母親】

⑥土曜・休日や長期休暇中の教育・保育事業について

- ・ 年に数回土曜日に仕事があるが、就労日は平日のみとなっている為保育園を利用出来ません。週末の家事やりフレッシュも、気軽にいつもの保育園に預けられると非常に助かります。【2歳・40代

母親】

- ・ 土日祝の親のリフレッシュ保育枠が増えるととても助かる。3人目も欲しいが、平日仕事、土日育児を考えると、体力的精神的余裕がなく、もっと気軽に保育サービスを利用できるような助成、枠の拡充が必要だと感じている。【0歳・30代母親】
- ・ 現在幼稚園に通っています。夏休みなどの長期休暇がキツイです。その時だけ、民間のサマースクールなどを申し込みますが、1ヶ月で20万円ほどかかります。長期休みも幼稚園が開いていると嬉しいです。【4歳・40代母親】
- ・ 夏休み期間中に1ヶ月ほど田舎（自然がいっぱいある場所）に子どもを預けられるような自治体間の連携があると嬉しい。【4歳・30代母親】

⑦病気の際の対応について

- ・ 子供が病気になった時などに緊急時の預かり先が欲しい。例えばあっぴいに併設でそういったサービスを展開するなど、当日電話をして受け入れてくれるような預かり所の支援をお願いしたい。【4歳・30代母親】
- ・ 病児保育の枠が少なく、かつ正式な病名がないと入れないため子供が病気になった際仕事への影響が辛いです。【2歳・40代母親】
- ・ 病児保育が終わる時間が早い(17時半までなど)ので、お迎えが間に合いません。土曜日は病児保育が無いためとても困っています。他の区では土曜日の病児保育もあるので、ぜひ港区でもお願いします。【3歳・30代父親】
- ・ 預かり事業も大変助かりますが、自分の体調がすぐれないときの家事の支援が欲しいです。【1歳・30代母親】

⑧一時預かり等について

- ・ 一時預りの予約が取れない（特に0歳、1歳）。親が病気になった時など、翌日に預けたい時でも取れたことはない。1か月前から予約しておかないといけないのが使いづらい。【2歳・30代母親】
- ・ ファミリーサポートを1名紹介いただいたが予定が合わないことが多く、複数名紹介していただきたいがない。土曜日に両親ともに仕事をしていなければ預けられないが、預けられるようにしてほしい。または一時預かりやファミリーサポートを充実してほしい。【4歳・30代母親】
- ・ 一時預かりの時間が5時間までが多いですが、8時間くらいまで上限があると助かります。【0歳・40代母親】
- ・ 夜間の一時預かり場所をもっと増やして頂きたいです。【1歳・40代母親】
- ・ 就労していないので仕事以外での保育園の一時利用がもっと手軽にできたら良いです。【4歳・30代母親】

⑨放課後の過ごし方について

- ・ 保育園卒園後の育児に不安を感じている。放課後の学童保育は19時までとなっているが、現状就労で19時半頃に迎えに行くことが多い。そのため、子供の迎えや子供の自宅での1人時間を作らざるを得ない状況が予想できる。学童保育の数も選択肢も、保育園と比べて非常に少ない印象がある。【4歳・30代母親】
- ・ 民間学童の助成制度がほしいです。【0歳・30代母親】

⑩港区の子育て環境について

- ・ 乳児はあっぴいや Pokke などを利用できるが、幼児が安全に体を動かして遊べる場所が少ない。遊具のある公園など。加えて、雨の日でも遊べる施設もあると良い。【3歳・30代父親】
- ・ 夏場に安心して子供が遊べる場所を増やして欲しいです。公園は暑過ぎて遊べません。【2歳・40代母親】
- ・ 同年代（子ども）の集まれるイベントや室内で遊べる所を増やしてほしい。【4歳・30代母親】
- ・ もっと無料で子供が参加できるイベントを増やして欲しいです。【4歳・30代母親】
- ・ 最近始まったおむつを施設で捨てられる仕組みはとても嬉しいです。（下の子がいるので、荷物が減り、助かります）【4歳・30代母親】
- ・ 交通量の多さや、通勤・通学時間帯に逆向きのラッシュに遭うこと。道の整備の不十分さ（木の根による段差、路側帯の草、運河沿い遊歩道の草、ゴミやタバコなど）といったことは、子どもと生活するうえで不安に感じる材料です。自転車レーンの整備、自転車置場の整備など含めて、道をもっと安全にしてください。【4歳・30代母親】
- ・ 子供が安心して歩けるように、またベビーカーが通りやすいように歩道を広く整備してほしい。また、自転車用と歩道をしっかり区別してほしい。【5歳・30代母親】
- ・ 公共の場での喫煙が非常に気になります。公園内に喫煙者がいることもあり、子どもの受動喫煙がとても嫌です。公共の場、禁止区域での喫煙の徹底をどうかお願いしたいです。【0歳・30代母親】

⑪港区の子育て支援について

- ・ 国に先駆けて第2子以降の保育料無償化、出産育児応援商品券プレゼントなど、出産や育児を大いに応援してくれている様子を感じ、安心して生み育てられる。【0歳・40代母親】
- ・ 未就学児2名以上いる家庭に配布いただいたタクシーチケットは本当に助かりました。来年から上の子が小学生になるために対象外となってしまうのですが、ぜひ、支援の拡大をご検討いただけますと幸いです。【0歳・30代母親】
- ・ 出産費用の支援はとてもありがたかったです。出産後も1人目から金銭的な支援がもう少しあると嬉しいです。【0歳・30代母親】
- ・ 現在双子1歳を育てていますが、夜間授乳による寝不足、毎日の入浴、離乳食がとにかく大変です。産後ドゥーラをもっと利用して生活を回したいけど、助成がありません。多胎児育児支援の充実をさせて欲しいです。【0歳・30代母親】
- ・ 共働きに対しての支援ばかりに感じる。子供の教育を優先するために専門を選んでいる家庭も多いと思うのに、そこに対しての政策はない。専門になる分子供との関わりをして当たり前と思われることが重荷になることもある。専門、共働き関わらず楽しく子供を育てていける制度を考えてほしい。【子の年齢無回答・30代母親】
- ・ どれだけ手厚い子育て支援をして下さっていたとしても、住む場所（マンション等）の家賃が高くて、子どもが大きくなるにつれ住みにくくなっていく。住居の支援もして頂きたいです。【4歳・30代母親】

⑫相談・情報提供について

- ・ 区の相談は話を聞くだけでなく、具体的なアドバイスや支援をしてほしい。【1歳・40代父親】
- ・ 漠然とした不安や精神的にいっぱいになった時に、気軽に専門家に相談できる仕組みがある

といい。【1歳・40代父親】

- ・ サービスの情報を知らないことが多い。ネットだと一定の目的がある上で検索しないと情報を知ることができないので、メルマガやDMでサービスの認知を広げてほしい。【5歳・40代父親】
- ・ Please provide more information in English. Please provide more outreach to foreign resident who do not know about services. (より多くの情報を英語で提供してください。サービスを知らない外国人への働きかけをもっと強化してください。)【5歳・40代母親】

2. 小学生の保護者

①教育の内容や質について

- ・ 区立小学校、中学校の体力向上、学力向上が、共に期待できると良いなと思います。質の良い教育環境、指導が行われるように、教員の給料アップや、民間や外部からの人員の増加をしていただき、子ども達が学びを楽しめるような教育環境を作っていただきたいです。【3年生・40代母親】
- ・ 高学年の1クラスの人数が多すぎて、クラスルームにぱんぱんに押し込まれているように感じます。クラスの人数が多いと先生への負担も多く感じますし、適切・適正な授業環境へ整備して頂きたいです。【2年生・40代母親】
- ・ 民間の企業や塾などと連携して、学校の授業以外の学習や学力が低く塾に行けない子供のサポートをしてもらいたい。【4年生・50代母親】
- ・ 公立小中高学校に通わせるメリット（金銭面、設備、教育レベルなど）が上がれば私立教育に偏らない風潮になり、より子供を育て易い環境の区になると思います。【1年生・40代母親】
- ・ 発達障害やギフテッドについて知識理解ある先生も多くないと感じています。大人数の小学校に対し、担任一人では困り事を抱えた児童に向き合うのはとても難しいです。私は少人数学級を進めるべきだし、通常級の支援員を増やすべきだと思います。【5年生・50代母親】
- ・ ASD（アスペルガー）の児童に配慮した環境作り。知的障害がなく見た目や普段の生活では生きづらさがわからない、集団生活が苦しい子供の居場所作りや学べる環境、理解している教育者が少なすぎると思います。他人からは見えない困りごとを抱えている子供は多いです。【3年生・40代母親】
- ・ 不登校児が増えている。不登校児が心穏やかに過ごせるような専門家の手伝いもほしい。【2年生・40代母親】
- ・ DX化が遅れており、紙文化から脱却できていない小学校運営は改革が必要。【1年生・40代母親】
- ・ 小学校のICTについて、コロナ禍ではオンライン配信も利用があったが、最近はまた対面に戻ってきている。共働きの家庭が増えているので、保護者会などは対面とオンライン参加を両方選べるようにするなど、なるべく保護者が会社を休むことが少なくなるように、今後も柔軟な対応をお願いしたいと思う。教員の働き方改革で、残業を少なくしますというお知らせがあったが、共働きの家庭では、16時までの学校の連絡は実際なかなか厳しいと感じている。保育園のように、家庭と学校を結ぶ連絡アプリのような電子システム（電話出来ないときの代替手段）の導入をぜひご検討お願いしたい。【2年生・40代母親】

②教育の費用負担について

- ・ 海外の公立の幼稚園・小学校と比較すると日本の公立の幼稚園・小学校は、保護者が負担する学用品の金額の高さがとても気になります。給食費無償化も助かりましたが、学校経由で購入する学用品の類も無償化していただけますでしょうか。【1年生・30代母親】
- ・ 私立学校へ通っているのでそこへの補助金等がもう少し拡充され、無償化に近い形になるともっと嬉しいです。【1年生・40代父親】

③病気の際の対応について

- ・ 小学生、中学生でも使える病児保育があると便利です。【1年生・30代母親】
- ・ 親への支援（一時預かり等）ではなく、病気時に親がしっかり看病出来る様な支援など、もっと子

供の気持ちに寄り添った支援を期待します。【6年生・40代母親】

- ・ 医療的ケアが必要な子どもに対してこういった事業を区や都が行なっているのか、きょうだい児のケアや送迎等でこういったサービスが利用できるのかなど、保健師の方が窓口となってワンストップで知ることができればより良かったと思います。レスパイト入院先を区内の病院で増やしたり、必要に応じて乳児院(東京都済生会中央病院)の案内をする等があれば、患者家族にとって大きな助けになると感じました。【1年生・40代母親】

④一時預かり等について

- ・ 子どもが保育園から小学校低学年では、あい・ぽーとやトワイライト、ファミリーサポートなど保育事業や預かっていただき、活用しました。遅くまで預けることができ、本当に助かりましたので満足しています。ただ、ファミリーサポートは協会会員が少なく、なかなか協力者が見つからなかったもので、復帰したときは大変苦労したことを覚えています。【6年生・50代父親】
- ・ 専業主婦でも気軽に子供を預けられる体制(近所で)本当に必要なサポートだと思います。預けることへのハードルが高すぎて(立地、理由、手続きの大変さ)本当に助けを必要としている人に届いていないと感じます。【3年生・40代母親】
- ・ 子供が友達と一緒に宿泊などできる施設やイベントなどがあると、一時預かりなどで孤独を感じるわけでもなく時間を作れそうだと思うので、そのような施設やイベントなどがあるといいのと思う。【4年生・40代母親】

⑤放課後の過ごし方について

- ・ 学童クラブはかなり大人数であり、学校も学童クラブも教員不足であるように感じている。特に、学童クラブは部屋のスペースも狭いので、これでは十分に遊べないし、狭くてストレスのため友人間のトラブルにもつながりやすくなっているのではないかと危惧している。地域の児童数増加で小学生が増えているので、何か改善策がないか、今後の港区の施策に期待したい。【2年生・40代母親】
- ・ 小学校高学年の子どもが放課後に過ごせる場所を用意してほしい。学校を利用したスポーツ、学習、何もなくてもよい場所、等で、クラスの友達とは違う人間関係がもてるとよい。他区で行われている補習塾もよいと思う。【6年生・40代母親】
- ・ 学童に保育園と同じように20時まで預けられるようにしてほしい。今は19時までだが、その1時間が大きい。【1年生・30代母親】
- ・ フルタイムの共働きだと習い事をさせるのが大変。(平日送り迎えができないため)その点を小学校又は学童でサポートしてほしい。学童職員の方が子供達をまとめて習い事につれていってくれる又は、講師の方が直接来てくれる等。もちろん利用料が発生することは前提で。まとめてつれていってくれる分、個人で送迎を頼むより安くすみ、保護者は助かる。【2年生・40代母親】
- ・ 学童保育の運営が大変アナログで、出欠、連絡が全て物理的なノートと電話連絡です。勤務時間中の連絡も全て電話で来るため、大変負担が大きく、アプリ、メール、LINEなどを導入していただきたいです。【4年生・40代母親】
- ・ 週何日か放課後等デイサービスを利用していますが、事業所も少なく空きもありません。空きがあればどこでもいいという訳にはいかないのが、特性をもった子の親の悩みです。やっと子供が安心して通えそうなどころが見つかって、送迎をやっていないところが多いです。移動のサポート

(複数個所を周るなどのスクールカーなど) 前向きに検討をお願いします。【2年生・40代母親】

- ・ 夏休みなど長期休暇期間中のみの学童利用制度を希望致します。長期休暇期間は、保護者が共働きで学童に申し込んでいない場合、朝から夜まで1人(昼食も1人でとる)で過ごすことになり、長時間1人にさせておく環境は心配です。【4年生・40代母親】

⑥港区の子育て環境について

- ・ 球技ができる公園が少な過ぎる。放課後に友達と遊べる公園がないため、結果的にゲームをせざるをえない。お金を払い習い事としてやらせないといけない現状です。特に小学生(塾に入る前の低学年)の遊び場(球技可能)な場所の提供、例えば小学校の校庭開放など真剣に考えて頂きたいです。【2年生・40代母親】
- ・ プレーパークの存在に大変助けられています。プレーパークでは大人の都合ではなく子どもの健全な育ちが尊重され、のびのびと子どもがやりたい事に挑戦出来る環境が守られていて、親にとっても肩の力を抜いて暖かい気持ちで子どもと向き合える、最高の場所です。【1年生・30代母親】
- ・ 田舎と違って地域での関わりが少ないなと感じます。地域でのかかわりがもっと濃密になるように、イベントごとを地域ごとに、若者中心に盛り上げて、老若男女問わず楽しめるのをやってほしいと思います!そしたら必然的に、みんな顔見知りになって、安心安全な地域になるのではないかと思います。【3年生・30代母親】
- ・ もっと公園などに防犯カメラを設置してほしいです。人通りのある大きい公園でも子どもに対する盗撮が多発していると聞きました。安心して子どもたちが公園を使えるようお願いしたいと思います。【2年生・30代母親】
- ・ 治安や交通安全が急激に低下しているので見回り、警備、子ども110番の家や店舗をもっと増やして欲しい。特に下校や通塾時間が本当に不安です。交通ルールを無視した人々の電動キックボードやレンタサイクル利用の増加で親子共々何度も怖い思いをしています。【4年生・50代母親】
- ・ こどもが学校へ行くときのちいばすの整備をお願いしたいです。朝は本数を増やすなど。【1年生・40代母親】

⑦港区の子育て支援について

- ・ 幼児期は手厚さを感じたが、高学年、中高生にはあまり支援やいい環境と感ずることがない。【5年生・40代母親】
- ・ 幼保から小学生のギャップをより丁寧に埋める施策を希望します。病児保育の有無や、子どもの預け入れ期間に差がありすぎて、両親フルタイム勤務世帯と施策やシステムが一切マッチしません。本アンケートも施策に反映する際には分かりやすいストーリーに飛びつくのではなく、適切に因果関係を整理し、短絡的な施策にならないように願います。【3年生・40代母親】
- ・ 各種の所得制限は不公平です。港区独自で所得制限によるこども支援の格差を是正するようなしくみ、補助があると大変助かります。【5年生・40代母親】
- ・ 家族を増やしたい願望はあるものの、物価高や景気の上がらない状況を考えると簡単に産む決断が出来ない。出産費用の助成や複数の子供が居る家族への金銭的なサポートがあると、港区が子育てに優しい区となるのではないかと思います。【1年生・30代母親】

⑧相談・情報提供について

- ・ 生まれてから成人するまで継続的に相談、支援が受けられる様にしてほしい。幼稚（保育）園、小学校、中学校…その都度、手続き、相談、支援の申し込みが必要となり、1人の子供について何度も同じ話を、それぞれ担当の方にする事は大変負担です。1人の子供について、各方面に情報を共有してもらえ体制を構築してもらえたら有難いです。【6年生・50代母親】
- ・ 思春期を迎えた若者が気軽に相談できる施設や、どんな子でも受け入れてくれる場所があれば良いと思います。カウンセリングは高いですし、申し込みをするのもなかなか困難なため、このような施設が安価で気軽に利用できれば、親世代も安心して子育てができると思います。【1年生・40代母親】
- ・ 学校以外にも、子供自身が相談できる居場所が複数あれば良いなと思います。【3年生・50代母親】
- ・ 自分で調べないと申請できないのではなく、対象者には全て案内をしてほしい。【1年生・40代母親】
- ・ 私学小学校に通わせていると、子育て支援の情報が入って来ないように思う。公立小学校に通わせてるママ友からの情報がほとんどで、知らないことが多い。【1年生・40代母親】
- ・ I know there is much information at ward office, but I don't have enough time to go there on person. More information online would be appreciated. (区役所にはたくさん情報があることは知っていますが、直接行く時間がありません。オンラインでさらに詳しい情報をいただければ幸いです。)【3年生・40代母親】

⑨アンケートについて

- ・ このようにアンケートなどで、小さな意見やとりとめのない考えを述べる機会があることがありがたい。【5年生・50代母親】

3. 中学生

①学校・教育の環境について

- ・ 勉強をサポートする会みたいなものをもっと増やしてほしいです。【2年生・女性】
- ・ 学校教育で、通信制コースなどを追加してもいいと思う。【2年生・男性】
- ・ グローバル学習を行われる機会を増やしてほしい(小学6年生 中学2年生の オーストラリア 海外短期留学を毎年できるようにしてほしい)。【2年生・男性】
- ・ シンガポールたのしみです！中高生に、将来につながる教育のチャンスをたくさんください！【1年生・女性】
- ・ 公立の学校の先生の質をあげてほしい。【1年生・女性】
- ・ 先生の言葉遣いなどをしっかり見てほしい。その言葉遣いによって傷つく人がいる。【2年生・男性】
- ・ いじめの対策をもっとしっかりしてほしい(例えば、港区内で起きた実際の事例を挙げたりしてもっと身近に感じさせるなどをしてほしい)。【2年生・男性】
- ・ いじめのない学校。校則やテストがなく個性や自由を尊重できる学校。勉強の成績だけではなく、だれもが楽しく認め合える学校。だれもがチャンスのある学校。【2年生・女性】
- ・ 来年から修学旅行をシンガポールにしないで、学校の給食や学校の設備の向上や修理（カラーコピー・紙質を良くする・座りやすいイスにする・ホワイトボードにする・実験道具を薬品も新しくする・インターネットをつなげやすくする、などなど）(黒板は体に悪い)にそのお金を使い、みんなが過ごしやすい学校にして欲しいです。【2年生・女性】
- ・ 部活で使う道具を増してほしい。【1年生・男性】
- ・ 校内にエレベーターのない公立小中学校にエレベーターを設置して、バリアフリー化を進めて下さい。【2年生・男性】
- ・ 学校の制服を自由にする。【2年生・女性】

②交流について

- ・ いろいろな友達や人と会って楽しめる施設、学校でも他の学校の人と集まる機会があって楽しいので良いと思います。【2年生・女性】
- ・ 港区は、子供や年寄りに対するサービスが充実していて、とても過ごしやすいと思う。子供のために区の団体がお祭りを開いてくれたりするのがとてもいい。中学生向けの中学生同士で関わり合える施設などがあると嬉しい。【2年生・女性】
- ・ 私は、小学校から私立に行っているのであまり近所の人々と関わったことがありません。もっと近所の友達や知り合いが増えるようなイベントを行ってほしいです。【1年生・女性】
- ・ 楽しいイベントがもっとあったら良いと思う。ミュージックやおまつりとか。【3年生・男性】
- ・ 将来は英語を生かした仕事をしたいと思っているので、外国人との交流イベントやボランティアを企画して欲しい。【3年生・女性】

③生活の環境について

- ・ もっと遊べる所を増やしてほしい(野球、バレーボールなど球技が出来る所が少ないから)友達と過ごすのにお金のかからない場所。【2年生・女性】
- ・ バスケットのリングを色んな所に設置してほしい。【1年生・女性】

- ・ もっと中高生プラザのようなものを作ってほしい。【1年生・女性】
- ・ 児童館のおかげで元気でいられる。【3年生・男性】
- ・ 図書館を増やしてほしい。【3年生・女性】
- ・ 図書館でもっと自習をしやすくして欲しい。【2年生・女性】
- ・ 安心して勉強できる自習室や勉強を教えてくれるチューター（先生）がいる自習室を増やしたり中高生プラザや児童館につくってほしいです。【1年生・女性】
- ・ 学校に行けない子どもの居場所がないのが困る。気軽にいつでも受け入れてくれる場所があるといい。【1年生・男性】
- ・ 街中に座れるところがたくさんほしい。【1年生・女性】
- ・ 生活に便利な施設を増やしてほしい。今の所家の近くに薬局とスーパーとコンビニばかりある。仕事帰りのサラリーマンのこたしか考えて考えてなさそうな状態。子育て世代が多いのだからもっと家庭に寄り添って街をよくしていくことを検討してみてください。マンションを多く作っているのなら、施設が整っていれば割と人は集まると思います。【1年生・女性】
- ・ 大きいショッピングセンターがお台場にしかなく、家からも少し遠いため不便。【3年生・女性】
- ・ 一軒家が壊されるとたいていビルになる。外苑前の銀杏並木の存続が危ぶまれている。港区がこれ以上住みにくくならないように真剣に考えて下さい。【2年生・男性】
- ・ もっとペットフレンドリーな町にしてほしい。【2年生・男性】
- ・ 港区は、一部だけが海と繋がっていて運河などもあるので、もっと運河や海を綺麗にする活動を計画して、実行して欲しい。【3年生・男性】
- ・ 二酸化炭素排出量が港区は高いので、エコなまちづくりをして欲しい。【1年生・男性】
- ・ ごみが多い。道がせまい所と広い所が急にきたりしてこわい。【2年生・男性】
- ・ 歩きタバコをする人が多いです。身長の子も煙がちょうど顔あたりに来るので気になります。歩きタバコをする人を減らせないでしょうか。【3年生・女性】
- ・ 車のスピードが速く、登下校中、危ないのでガードレールを増やしてほしいです。【1年生・女性】
- ・ 自転車が通れるところを増やして欲しい。自転車置き場ももう少し増やして欲しい。【2年生・男性】
- ・ 部活帰りのときに、学校からの通学路が暗くてこわい。【1年生・女性】
- ・ 今と変わらず、安心して生活できる港区であって欲しい。【2年生・女性】
- ・ 魅力のある住みやすい区にして欲しい。【1年生・男性】

④各種支援について

- ・ 子どもに関する手当は所得制限をなくしてほしい。港区の子どもがもらえるクーポンを、母は喜んでいました。【3年生・男性】
- ・ 私の家族は兄弟が多いので子供に対する補償や支援があると良い。塾で学ぶ為のお金を出してほしい。【3年生・女性】
- ・ お年寄りの方が持っているシルバーパスポートのように、小中学生が使えるバスの利用券があると嬉しいです。（都バスやコミュニティバスをよく使うので…）自転車通学が禁止されている学校や施設も多いので、あると出かけやすくなります。【3年生・女性】
- ・ 私立学校に通う中学生にも、公立中学校の生徒と同様に色々な支援や援助をしてほしいです。【1年生・男性】

⑤相談・情報提供について

- ・ いろいろ困っていることがあるので、ぜひお力かしてください。【2年生・男性】
- ・ 他人に知られたくないような悩みごとを“匿名”で相談できるサービスをつくって、分かりやすいように宣伝して欲しいです。【2年生・女性】
- ・ 悩みの相談をもっと簡単にできるようにしてほしい。【2年生・女性】
- ・ 学生に対してどういう施設などがあるのかを紹介してほしい。【3年生・男性】

⑥アンケート調査について

- ・ もっと沢山このアンケートのようなことをやって欲しい。【1年生・男性】
- ・ 中学生に対するアンケートにしては質問項目が多く煩雑です。また、もう少し区政や様々な支援に関心が持てるよう、この機会に気づきを与えるような工夫もあると良いと思います。【1年生・女性】
- ・ アンケートめんどくさいのでなくしてほしいです。【2年生・男性】

⑦その他

- ・ 港区がきっかけとなり、他の区や他の都道府県の市なども発展して行って欲しいです。【1年生・男性】
- ・ 9月に発表された、港区立中学校の修学旅行が来年からシンガポールになるというように、これからも港区が初めての実践したり、初めて物事を計画することができるまちにしたい。また、最新機械や技術を駆使してさらに進化した多様性あふれるわいわいとしたまちにできたら理想的だと思った。【2年生・女性】
- ・ 区の税金をもっと区民の意見を聞いて大切に使ってほしい。【1年生・男性】
- ・ もっと子供の声を聞く機会を増やして欲しい。【1年生・性別：その他・答えたくない】
- ・ 子供総会のようなものを開き、その結果が全学校に伝えられるようにしてほしい。【2年生・男性】

4. 高校生世代から 39 歳まで

①教育・保育事業の施設数や定員について

- ・ 港区に引っ越してきた 6 年前より、保育園が増え、設備がきれいになり、補助が増えて、ずっと住みやすくなりました。感謝しています。【39 歳・女性】
- ・ 港区全体で見ると保育園の空きが目立っていると思うが、六本木一丁目周辺の 0～1 歳枠は厳しいと感じる。可能な限り入園ニーズが高いエリアや園の 0～1 歳枠を増やす働きかけを望んでいる。【38 歳・男性】
- ・ 夜の時間帯に働く人向けの保育を充実させて欲しい。家庭教師として働きたいが働く時間帯に手軽に利用できる保育が少ないと感じる。【32 歳・女性】

②教育・保育事業の内容や質について

- ・ 幼稚園小学校中学校などの先生や教育環境、子どもたちがいじめや人権問題などなく、安心して学べる環境を整えてほしいです。【35 歳・女性】
- ・ 常に空きが目立つ園は保育士の過労や悪待遇、SNS への園児顔出し写真投稿など良い評判を見聞きしないので、いずれ子を預けることになり不安があり避けると思う。【38 歳・男性】
- ・ 教員による未成年への性犯罪ニュースをいくつか目に見している。港区だけでどうこうできる問題ではないと思うが、日本版 DBS の導入を一刻も早く進めてほしい。公立教員への不信感から、国私立小学校や中学校への受験熱が高まっている面もあると思う。【38 歳・男性】
- ・ 発達障害者の場合、長所が普通の人よりも優れている所があるので、その長所は徹底的に伸ばして欲しい。【35 歳・男性】
- ・ 発達障害や学習障害に対する理解の促進と専門家による学習及び就業支援の拡充。具体的には、次に掲げるようなことを希望します。当事者とその親に対して、専門家による具体的な助言の提供やその機会の創造や窓口の増設。学校現場における専門スタッフの配置。当事者と進学先及び就業先を結ぶ機会の創出。【39 歳・男性】
- ・ 公立中学の魅力をアップして、公立中学に進学する生徒が増えるようにしてほしいです。小学生の大半が中学受験に巻き込まれている現状は異常だと思います。【32 歳・男性】
- ・ 区立幼稚園の教育に魅力を感じていますが、PTA 等親の参加頻度が高いことから共働きでは幼稚園に通わせることは非常に難しいです。一方で年々園児数が減ってきており、施設は立派であるにも関わらず通いたい人が通えない状況はもったいないのではと個人的には考えています。区立幼稚園の親の負担軽減がなされれば、共働きでも幼稚園を選択できる人が増えると思います。【34 歳・女性】
- ・ 姉妹都市への留学。【17 歳・男性】
- ・ 区立中学校のシンガポール修学旅行への支援は大賛成です。来年度以降も是非続けてください。【31 歳・女性】
- ・ 公立中学校の修学旅行先をシンガポールにする予算が可決されておりましたが、極めて不公平であると感じております。その予算があれば、公立中学校に在籍している生徒に限るのではなく、もっと普遍的な子育て支援に使っていただきたいです。【36 歳・女性】

③地域子育て支援事業について

- ・ 1 歳の子どもが家だと飽き飽きしているので、各所に子どもを遊ばせることができる子育てひろば

があり助かっています。ありがとうございます。【35歳・男性】

- ・ 子供を私立幼稚園に入れる共働き夫婦のために、預かり保育サービスを増やしてほしい。【31歳・女性】
- ・ Pokkeの閉館時間が16時30分と早い。18時まで開いていればよい。【34歳・男性】
- ・ 共働きの家事支援を充実させて欲しい。【39歳・女性】
- ・ ベビーシッター制度はとてもありがたいですが、入院中にとっても気になるのが子供の食事です。ベビーシッターでは食事の準備はあまり手厚くないイメージで産後ドゥーラのような料理代行の制度もあればとても助かります。【38歳・女性】
- ・ 産後ドゥーラ利用可能枠をもっと増やしてほしい。理想は渋谷区並み。【38歳・男性】
- ・ 季節に応じたイベントなど子供に四季をかんじさせられるようなイベントが欲しい。【30歳・女性】
- ・ 子供が参加できるイベントがたくさんあってとても嬉しく思っています。ただ、抽選で外れてしまうことも多々あるので、可能な限り定員を多くとり、これからもたくさんのイベントを開催してください。【38歳・男性】

④生活の環境について

- ・ 広い公園や子供を自由に伸び伸びと遊ばせられる環境が少ないと感じます。海岸の方までいけば多少広い公園はありますが、三田周辺などは広い公園はなかなかありません。土地の特性上、どうしようもないことも多くあるとは思いますが、せめて子供がのびのびと遊べるような遊具の充実したスペースやスポーツができる場所を増やして欲しいです。【36歳・女性】
- ・ 高輪4丁目（品川駅付近）には子供の遊び場や（公園や児童館など）認可保育園もなく、小児科・内科もないのが悩みです。【34歳・男性】
- ・ スポーツセンターや、みなとパーク芝浦の居心地が良いので、よく通っていますし、楽しそうな子供たちをよく見かけます。公共施設が充実しているのは港区の強みだと思います。【27歳・女性】
- ・ 共働き家庭の子供達（小学生）が放課後安心して過ごせるような屋内の場所を増やして欲しい。図書館などは中高生で埋まってしまっている。学童だと共働き世代以外の友人と遊ぶことができない。晴れている日は公園でいいのですが。【39歳・女性】
- ・ 地域の同じ年代の人と出合いや交流の場があったら良いと考える。【19歳・男性】
- ・ 立地がとてもいいので、大人だけで暮らしている今のような状態では港区はすごく住みやすい。ただし、生活費はかかるエリア、かつ、土地が少ない(小さい)エリアなので、子供が生まれた後にも暮らしたいかと聞かれると、あまり良い生活が維持できるとは思えず、また子供にとって魅力的なエリアとは思っていない。そのため、子供がある程度の年齢になれば別のところに引っ越すことが現実的と思っている。【31歳・女性】
- ・ 今第2子を妊娠中ですが、3人目は少しためらってしまいます。希望する人数、子どもを安心して産める環境だと嬉しく思います。【34歳・女性】

⑤各種支援について

- ・ 親の収入によって教育格差が生まれえないような仕組みづくりを期待します。港区奨学金等あっても良いと思います。【29歳・女性】
- ・ 私立高校の学費の無償化。【15歳・女性】
- ・ 大学院生を奨学金等の支援の対象に含めてほしい。【21歳・男性】

- ・ インターナショナルな子育て環境にお金が払えなくても手が届くようにしてほしい。【30 歳・女性】
- ・ 35 歳未満の未婚者への経済的支援等をしてほしい。【30 歳・女性】
- ・ 子どもを欲しいと思っている若者が、その思いを安心して実現できる支援をしてほしいです。日本全体がそうじゃないように思うので、港区で事例を作ってほしいです。【30 歳・女性】
- ・ 若い世代の子達が、結婚や育児しやすいように一時的な助成金および継続可能な助成金があると良いのではないかと思います。【31 歳・男性】
- ・ 出産一時金の支給や、育児中の支援サービスなどの施策を実施しており、子どもを産むなら港区に住んでいたいと思っています。そのおかげか、港区は小さい子ども、ファミリーが多く生活していると感じます。ぜひ今後もこうした施策を続けていっていただきたいです。【28 歳・女性】
- ・ 港区で第一子を出産し、他の区よりも子育て支援が手厚いと実感しています。乳幼児だけでなく小学生や中学生と成長するにつれ必要な支援も充実しているといいなと思います。【39 歳・女性】
- ・ 年収で区切るのではなく、全市民に等しく金銭的サポートをお願いしたい。頑張っている家庭を作ろうとしても、高すぎず低すぎずの年収だと、仕事も大変なのに金銭支援が受けられず結果一番苦しいと感じる。【31 歳・女性】
- ・ 日本全体の取り組みや流れと比較すると、港区に住んでいて子育て世代への助成金など支援は豊富であるように思う。ありがたく思う反面、やはり都内に住んで子どもを 1 人以上もつことは厳しい。低所得者への支援ではなく、全体的な底上げをお願いいたします。【30 歳・女性】
- ・ 他行政区と比較しても手厚い支援をいただいていると思いますが、赤ちゃん・子供ファーストの政策を打ち出していただき、より子育て世代と子供達が安心して暮らせる港区を作っていただきたいです。【29 歳・男性】
- ・ 子供は 2 人欲しいですが、現状の不動産価格では 2 人を育てられる広さの住宅購入が難しく、2 人目は断念予定です。ファミリー向け物件の転売防止や、子供がいる家庭への優先販売などを行なってほしいです。【31 歳・男性】
- ・ 子育て世帯に対する家賃補助などの住宅費用の支援を希望します。リモートワークなど両親が子供の世話をしながら家で仕事することが増え、子供の遊ぶスペースと仕事のスペースの確保が都心の住宅だと家賃が高く難しい。【35 歳・女性】
- ・ 家賃が高く、区外に転出する覚悟を決め、現在手続き中です。頑張れば家屋は購入はできましたが、子供の将来の教育費を考えるとリスクは犯せないという判断になりました。ずっと住み続けたかったのにその点は残念に思っています。【37 歳・女性】
- ・ 子育てのしやすい地域は治安のいい場所でもあると思うので、子育て世帯への支援に力を入れて頂けると、結果的に他の世帯にもメリットがあるのかなと思います。【31 歳・性別：その他・答えたくない】
- ・ まだ働きたいため、東京都が行っているような、卵子凍結への助成金などの支援を港区でもしてほしい。【35 歳・女性】

⑥相談・情報提供について

- ・ 以前、港区子ども家庭支援センターに相談に行きましたが、最終的に自分達で何とかしろという回答しかもらえませんでした。せめて無料相談の弁護士など紹介してもらえれば少しは希望が持てるかと思いますが、何一つフォローアップはありませんでした。真摯に改善を求めます。【37 歳・女性】

- ・ 情報発信も分かりやすく助かっています。子育てアプリと LINE はよく使っています。【32 歳・女性】
- ・ 周知がない又は弱いので、どのような制度があるのか分からない。また、実際の施策を調べても、どの施策にどのくらいの予算規模でどのようなビジョンを持って取り組みたいのかもあまり伝わってこない。【26 歳・男性】
- ・ どんな制度があるのか、若い世代の人にも分かりやすいような説明やお知らせがあると良いのではないかと思います。【17 歳・女性】
- ・ 若い方々にも年齢を重ねるごとに妊娠しづらくなることや、不妊治療にかかる費用、子宮頸がんの予防接種・検診、梅毒が増えていること、妊娠についての必要な知識など啓蒙活動していただけると、子供を持つことについて興味を持っていただけるのではないかと思います。【37 歳・女性】

第5章 調査結果から示唆される課題と対応の方向性

1. 調査結果から示唆される課題と対応の方向性

調査結果から示唆される課題と対応の方向性においては、関連する調査対象を下記のとおり記載している。

入学前	・ ・ ・ ・ ・	小学校入学前の子どもの保護者
小	・ ・ ・ ・ ・	小学生の保護者
中	・ ・ ・ ・ ・	中学生
高/若者	・ ・ ・ ・ ・	高校生世代から 39 歳まで

1. 教育・保育事業における適正な量の確保と質の向上

【調査結果】

- ・ 平日の定期的な教育・保育事業の利用は、0歳児が29.5%、1歳児が75.5%、2歳児が86.8%、3歳児が99.0%、4歳児が97.5%、5歳児が94.6%であり、0～5歳児全体で76.0%となっている（**入学前**問 21）。前回調査の0～5歳の利用率は73.9%となっており、教育・保育の利用はこの5年間で2.1ポイント増加している。
- ・ 幼稚園利用者の約6割、保育園利用者の約8割が、そのサービス内容について満足していると回答するなど（**入学前**問 39）、教育・保育事業に対する満足度は高い一方で、自由意見では、教育・保育内容の質の向上や、教育・保育従事職員の確保・定着の支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・ 今後も適正な教育・保育の量を確保し、保育園待機児童ゼロを継続するとともに、質の向上を図ることを通じて、子どもの健やかな成長を支えていく必要がある。

2. 地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実

【調査結果】

- ・ 地域子ども・子育て支援事業のうち、一時預かり事業については、68.2%が不定期の教育・保育事業等を今後利用したいと回答するなど、ニーズの高さがうかがえる（**入学前**問 30）。その一方で、自由意見では、「予約が取れない」など、量的な拡充を求める意見があった。
- ・ 0歳児の保護者のうち約7割が在宅で子育てをしており（**入学前**問 21）、0歳児の保護者は不定期の教育・保育事業等の利用を希望する割合が81.4%と、他の年齢の子どもを持つ保護者と比べて高くなっている（**入学前**問 30）。
- ・ 病気の際の対応については、直近1年の間に子どもの病気等を理由に教育・保育サービスを利用できなかった割合は82.9%となっており（**入学前**問 28）、うち母親が仕事を休むことで対応した割合は72.1%と最も高くなっている（**入学前**問 28-1）。
- ・ 病児・病後児保育施設等の利用希望については、父親または母親が仕事を休むことで対応した人のうち、半数以上の52.9%が「利用したい」と回答しているが（**入学前**問 28-2）、自由意見では「病児保育の予約をもっと取りやすくしてほしい」など、一時預かりと同様に量の

拡大に関する意見が寄せられている。

【課題と対応の方向性】

- ・ 子育て家庭の孤立感や子育ての負担軽減を図るため、ニーズが高い一時預かり事業や、病児・病後児保育事業を中心に、地域子ども・子育て支援事業のさらなる充実に取り組んでいく必要がある。

3. 多様なニーズに応じた子育て支援の推進

【調査結果】

- ・ 0歳児の保護者のうち約7割が在宅で子育てをしており（**入学前**問 21）、他の年齢の保護者と比べて孤立感がやや高くなっている（**入学前**問 12）。
- ・ 子育て家庭の約3割（小学校入学前の子どもの保護者 30.1%、小学生の保護者 26.9%）は、親族や知人・友人からの助けを得にくく（**入学前**問 9、**小**問 9）、子育てにより孤立したり、子育てへの不安や負担を感じやすい状況に置かれたりしている。
- ・ 2人以上のきょうだいがいる世帯は、小学校入学前の子どもの保護者が 55.1%、小学生の保護者が 64.7%と半数を超えており（**入学前**問 3、**小**問 3）、自由意見では、多子世帯に対する助成や、子どもの送り迎え、通院時などの移動に関する支援を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・ 妊産婦や在宅子育て家庭など、孤立した育児に陥りやすい子育て家庭を支援するためには、地域子ども・子育て支援事業の充実のみならず、人とのつながりを含め、地域ぐるみで子どもと子育てを支援する体制を構築する必要がある。
- ・ 多子世帯や多胎児を育てる家庭の経済的負担の軽減や、子どもの数に応じた移動の支援を進めていく必要がある。

4. 支援が必要な家庭や子どもに対する施策の充実

【調査結果】

- ・ 小学校入学前の子どもの保護者、小学生の保護者のいずれも約1割（それぞれ 14.6%、14.5%）が子どもの「発育・発達、病気、障害に関すること」に不安を持っている（**入学前**問 10、**小**問 10）。
- ・ 中学生、高校生世代では、ともに約1割（それぞれ 8.7%、9.7%）が日常的に家族のお世話をしており（**中**問 8、**高/若者**問 9）、相談できる環境や支援を求める声が一定数存在する（**中**問 8-3）。
- ・ ひとり親家庭は暮らし向きが苦しいと感じる割合が6割以上（小学校入学前の子どもの保護者 70.8%、小学生の保護者 61.1%）（**入学前**問 20、**小**問 20）、孤立感を感じる割合が5割以上（小学校入学前の子どもの保護者 62.5%、小学生の保護者 55.5%）（**入学前**問 12、**小**問 12）であり、子育ての悩みとして「子どもとの接し方に自信が持てない」「話し相手や相談相手がない」「子どもとの時間を十分にとれない」などが多くなっている（**入学前**問 10、**小**問 10）。

【課題と対応の方向性】

- ・ 障害のある子どもや医療的ケア児、ヤングケアラーをはじめ、配慮を必要とする家庭や子どもへの支援体制を強化し、一人ひとりの健やかな成長、発達及び自立が保障され、子どもの

最善の利益を第一に考えた環境を構築する必要がある。

- ・ ひとり親家庭を含め、生活が困難な状況にある子育て家庭が抱える様々な課題やニーズに対応し、子育ての不安解消や経済的自立を支援する必要がある。

5. 子育てと仕事の両立支援

【調査結果】

- ・ 小学校入学前の子どもの母親の就労については、フルタイムの割合は 62.4%となっており、前回調査の 54.7%を上回っている（**入学前**問 15）。
- ・ 育児休業の取得については、小学校入学前の子どもの母親の取得率は 63.6%となっており、前回調査の 52.3%と比べて高くなっている。一方で、父親の取得率は 20.8%で、前回調査の 7.3%から大きく増加しているものの、依然として母親の割合より低く、約 2 割にとどまっている（**入学前**問 36）。
- ・ 育児休業取得率は前回調査と比べて多くなっているが、取得していない理由として、父親、母親ともに「仕事が忙しかった」「育児休業の制度がなかった」が多くなっている（**入学前**問 36）。
- ・ 小学生の母親の就労については、フルタイムの割合は 50.8%となっており、前回調査の 41.7%を上回っている（**小**問 15）。

【課題と対応の方向性】

- ・ 共働き世帯が増加している中で、共働き・子育てを実現するために、さらなる男性の家事・子育てへの参画を促進し、男性、女性ともに、希望どおり育児休業制度等を利用できるよう、仕事と子育てを両立できる環境づくりを推進する必要がある。

6. 子どもの権利が守られ、健やかに成長できる環境整備の推進

【調査結果】

- ・ 小学校での放課後の過ごし方について、小学校低学年は「習い事」（59.3%）、「自宅」（57.3%）、「区立の学童クラブ」（27.0%）、小学校高学年は「自宅」（80.1%）、「習い事」（70.1%）、「その他（公園など）」（17.6%）で過ごしている割合が多くなっている（**小**問 26）。自由意見では、学童クラブの定員拡大や放課後児童支援員の確保を求める意見があった。
- ・ 「保育園であそぼう」「保育所や幼稚園の園庭などの開放」をこれまでに利用したことがある人は約 1 割（それぞれ 9.7%、13.8%）なのに対し、今後利用したいと回答した割合はそれぞれ 28.9%、41.3%にのぼっている（**入学前**問 25）。自由意見では、夏場や雨の日でも子どもが体を動かして遊べる場所を求める意見があった。

【課題と対応の方向性】

- ・ 子どもの権利が守られる安全・安心な居場所を確保し、子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、学童クラブの定員拡大や質の向上のほか、様々な手法を活用した遊び場を確保し、環境整備に取り組んでいく必要がある。

7. 結婚・妊娠前から出産後の切れ目ない支援

【調査結果】

- ・ 未婚の高校生世代から 39 歳までの約 7 割がいずれ結婚することを希望しているが（高/若者問 41）、現在結婚していない理由として、「適当な相手にめぐりあわないから」（46.7%）、「結婚資金が足りないから、収入が不安定だから」（18.9%）など、出会いの機会の減少や経済的事実が挙げられている（高/若者問 39）。
- ・ 子育ての将来展望を描けず、理想の子ども数が叶わない状況にある人は、小学校入学前の子どもの保護者、小学生の子どもの保護者、青・壮年期（22-29 歳）、青・壮年期（30-39 歳）のいずれも約 4 割（それぞれ 45.0%、40.3%、40.8%、41.5%）となっている（入学前問 38、問 38-1、小問 31、問 31-1、高/若者問 48、49）。
- ・ 理想の子ども数を持たない理由として、「将来的に子育てや教育にお金がかかるから」などの経済的理由や「育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから」など子育ての負担に関する理由が多くなっている（入学前問 38-2、小問 31-2、高/若者問 50）。

【課題と対応の方向性】

- ・ 結婚の希望の実現を阻む要因の解消に向けて、経済的支援のほか、出会いの機会の創出支援の充実や、結婚に伴う新生活の支援を推進する必要がある。
- ・ 妊娠・出産後の支援に加え、これから妊娠を希望する人への希望に応じた支援をさらに進めていく必要がある。

8. 子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化

【調査結果】

- ・ 中学生では、児童館・子ども中高生プラザ等を「よく利用する（週に 2 回以上）」（2.3%）、「たまに利用する（週に 1 回程度）」（8.6%）と回答した人の合計は 1 割程度であり、「知っているが行ったことがない」（20.6%）、「どこにあるか知らない」（17.4%）と回答した人の合計は約 4 割に上っている（中問 16）。
- ・ 港区に望む子ども・若者施策について、高校生世代から 39 歳まででは「安心して出産・子育てできる環境づくりを進める」に次いで「居心地のよい場所を提供する」（43.2%）が多くなっている（高/若者問 51）。
- ・ 悩みごとを誰にも相談しないと回答した人は、中学生、高校生世代から 39 歳までのいずれも約 1 割（それぞれ 15.3%、10.9%）となっている（中問 20、高/若者問 35）。
- ・ 悩みごとや不安を相談しない理由として、「相談しても解決しないと思う」「相談するのが面倒」「相談する相手がない」などが多くなっている（中問 20-1、高/若者問 36）。

【課題と対応の方向性】

- ・ 子ども・若者が悩みや不安などを相談でき、自己肯定感や自己有用感を高めて自分らしく社会生活を送ることができるよう、子ども・若者の意見を聴取し、子ども中高生プラザの認知度の向上や、子ども・若者の居場所づくりの推進及び相談支援の強化に取り組む必要がある。

使用した調査票

1. 小学校入学前の子どもの保護者

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査

調査票



(小学校入学前の子どもの保護者用)

ID記入欄

※別紙「ID回答方法」に記載されているIDを右の枠内に記入ください。

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|---------|
| 1. 芝 | 7. 浜松町 | 13. 麻布永坂町 | 19. 麻布十番 | 25. 錦輪 |
| 2. 海岸 | 8. 芝大門 | 14. 南麻布 | 20. 東麻布 | 26. 白金 |
| 3. 東新橋 | 9. 芝公園 | 15. 元麻布 | 21. 元赤坂 | 27. 白金台 |
| 4. 新橋 | 10. 虎ノ門 | 16. 西麻布 | 22. 赤坂 | 28. 芝浦 |
| 5. 西新橋 | 11. 愛宕 | 17. 六本木 | 23. 南青山 | 29. 港南 |
| 6. 三田 | 12. 麻布狸穴町 | 18. 麻布台 | 24. 北青山 | 30. 台場 |

問1-1 お住まいの丁目()内に数字でご記入ください。

()丁目

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生まれた年と月を()内に数字でご記入ください。

()年()月生まれ ※西暦でお答えください

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。

宛名のお子さんを数めた人数とそれぞれの生まれた年と月を()内に数字でご記入ください。
記入欄が不足する場合は余白を適宜ご利用ください。

きょうだい数	()人
きょうだいの生年月	1人目 ()年()月生まれ
	2人目 ()年()月生まれ
	3人目 ()年()月生まれ
	※西暦でお答えください

問4 この調査票に回答いただく方はどなたですが、宛名のお子さんからみられた関係でお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 父親 2. 母親 3. その他()

問5 宛名のお子さんご両親の同居状況についてうかがいます。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

(1) 父親	(2) 母親
1. 一緒に住んでいる	1. 一緒に住んでいる
2. 単身赴任や入居などで別に住んでいる	2. 単身赴任や入居などで別に住んでいる
3. 別居している	3. 別居している
4. 死亡、離婚、未婚などではない	4. 死亡、離婚、未婚などではない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。なお、養育はすべてお子さんからみられた関係です。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 父母ともに 3. 主に母親 5. その他()
2. 主に父親 4. 主に祖父

問7 あなた(宛名のお子さんの保護者)のお住まいをお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 持家(一戸建て) 5. 都営・区営・区立住宅
2. 持家(マンション) 6. UR(旧公団)・公社の賃貸住宅
3. 借家(一戸建て) 7. 社宅・公務員宿舍
4. 民間の賃貸マンション・アパート 8. その他()

問8 あなた(宛名のお子さんの保護者)は、港区に住んで何年になりますか。宛名のお子さんの保護者のうち、港区での居住期間が長い方についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 1年未満 4. 5～10年未満 7. 生まれてからずっと港区に住んでいる
2. 1～3年未満 5. 10～20年未満
3. 3～5年未満 6. 20年以上

問8-1 あなた(宛名のお子さんの保護者)が、港区に住むことになったきっかけは何ですか。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 子どもの出生を機に転入した	問8-2へ
2. 保育園・幼稚園への入園のために転入した	
3. インターナショナルスクールに入るために転入した	
4. 子どもの出生前から住んでいる	問9へ
5. その他()	
6. 特になし	

問8-2 問8-1で「1」～「3」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

次のうち、あてはまる理由があればお選びください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 出産費用補助があるから
2. 母子保健事業が発達しているから
3. 保育料助成があるから
4. 第2子以降の保育料が無料だから
5. 教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから
6. 入園したい保育園・幼稚園があるから
7. 入学したい小学校があるから
8. 入りたいインターナショナルスクールがあるから
9. 職場が近いから
10. 治安が良い、子どもにとって安全な環境だから
11. 子育てに協力してくれる親族がいるから
12. その他 ()
13. 特に理由はない

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、保護者以外に宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父祖母の親族にのみもらえる → 問9-1ハ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母の親族にのみもらえる
3. 日常的に子どもを見てもらえる知人・友人がいる → 問9-2ハ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる知人・友人がいる → 問10ハ
5. いずれもない

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父祖母の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父祖母の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる
2. 祖父祖母の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父祖母の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

知人・友人にお子さんを見てもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる
2. 知人・友人の身体的負担が大きく、心配である
3. 知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 発育・発達、病気、障害に関すること → 問10-1ハ
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育ての方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 登園拒否などの問題に関すること
11. 子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと
12. 子育てに関して配偶者(パートナー)と意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になること
14. 配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたままって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18. その他 ()
19. 特にない

問10-1 問10で「1. 発育・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。

あてはまるものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

また、「1」～「3」に○をつけた方は、()内に数字でご記入ください。

1. 身体障害者手帳 () 級
2. 療の手帳 () 度
3. 精神障害者保健福祉手帳 () 級
4. 難病
5. 高次脳機能障害

6. 発達障害
7. 医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
8. 定期的な服薬や自己注射
9. 未熟児、虚弱児
10. 言語発達に関する不安
11. 運動発達に関する不安
12. 多動や衝動性等行動に関する不安
13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安
14. その他（ ）

問11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はありますか（ありますか）。

1. いる/ある → 問11-1ハ 2. いない/ない → 問12ハ

問11-1 問11で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 配偶者（パートナー）
2. 父母（子どもの祖父母）
3. その他の親族
4. 知人・友人
5. 子育て仲間
6. 塾・習い事の先生
7. かかりつけの医師
8. 民生委員・児童委員
9. 保育園・幼稚園等
10. 子ども家庭支援センター
11. 児童発達支援センター（ほお）
12. 児童館・学童クラブ
13. 子育てひろば
14. 保健所
15. 教育センター
16. 民間の相談機関
17. インターネットの子育て関連サイト
18. その他（ ）

問12 日頃、子育てを行うに当たり、孤立感を覚えることはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. ある 3. あまりない
2. ときどきある 4. ない

問13 子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 感じたことがある 2. 感じたことはない 3. わからない



問14 あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子育て中の親子同士が交流できる地域活動
2. 子育ての悩みを気軽に相談できる地域コミュニティ
3. 同年代の子ども同士が交流できる地域活動
4. 異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる地域活動
5. 子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動
6. 買い物や不意の外出の時に子どもを預かってくれる地域活動
7. 交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする地域活動
8. 公園・遊路の清掃等の美化活動
9. その他（ ）
10. 特にない

宛名のお子さんの保護者の就労・家計状況についてうかがいます

問15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

(1)父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
 3. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育児短時間勤務中である
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
 5. パート・アルバイト等（「フルタイム以外」の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
 6. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 7. これまで就労したことがない
- 問(1)-1、(1)-2ハ
- 問(2)ハ

(1)-1 (1)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入前の状況についてお答えください。

- 1週あたりの就労日数（ ）日 うち在宅勤務日数（ ）日
1日あたりの就労時間（ ）時間

(1) -2 (1)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育児・介護休業中の方は、休業に入るときの状況についてお答えください。
 自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間：()時()分
 帰宅時間：()時()分 ※24時間制でお答えください

(2)母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(あてはまる番号ひとつに○)
 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、
 産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、
 産休・育休・介護休業中である
 3. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、
 育児短時間勤務中である
 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労で就労しており、
 産休・育休・介護休業中ではない
 5. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労で就労しているが、
 産休・育休・介護休業中である
 6. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 7. これまで就労したことがない

↑ 問(2)-1、(2)-2A
 ↑ 問16A

(2) -1 (2)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数()日 うち在宅勤務日数()日
 1日あたりの就労時間()時間

(2) -2 (2)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間：()時()分
 帰宅時間：()時()分 ※24時間制でお答えください

問16 問15の(1)または(2)で、「4」または「5」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。
 フルタイムへの転職希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

(1)父親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい
(2)母親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

問17 問15の(1)または(2)で、「6. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。
 就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)
 また、「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたりの日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)父親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったら()週に就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)以外 イ. パート・アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) →1週あたり()日 1日あたり()時間
(2)母親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったら()週に就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)以外 イ. パート・アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) →1週あたり()日 1日あたり()時間

【すべての方にうかがいます】
 問18 宛名のお子さんの世帯全体の年収(税込)は、おおよそどれくらいですか。仕業による収入と仕業外の収入を合わせてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

- 1. 200万円未満
- 2. 200～300万円未満
- 3. 300～400万円未満
- 4. 400～500万円未満
- 5. 500～700万円未満
- 6. 700～1,000万円未満
- 7. 1,000～1,500万円未満
- 8. 1,500～2,000万円未満
- 9. 2,000～3,000万円未満
- 10. 3,000～5,000万円未満
- 11. 5,000～1億円未満
- 12. 1億円以上
- 13. わからない

問21-3 問21で「1. 利用している」に○をつけた方の方が良いです。
定期的な教育・保育事業を利用されている主な理由はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 保護者が、現在就労しているため
3. 保護者が、就労予定がある／求職中であるため
4. 保護者が、家族・親族などを介護しているため
5. 保護者が、病状や障害があるため
6. 保護者が、学生であるため
7. その他 ()

問21-4 問21で「2. 利用していない」に○をつけた方の方が良いです。
利用していない理由は何か。(あてはまる番号すべてに○)

1. (父親が専業主婦していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 祖父母等の親族がみているので、利用する必要がない
3. 知人・友人がみているので、利用する必要がない
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用が難しい
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の風や場所など、納得できる事業がない
8. (子どもがまだ小さいため、利用する必要がない)
9. その他 ()

【すべての方にかがいます】

問22 現在、利用していない、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」～「11」に○をつけた方は、施設名を()内にご記入ください。

また、○をつけた事業について、希望時間等を()内に数字でご記入ください。
(時間は24時間制でお答えください)

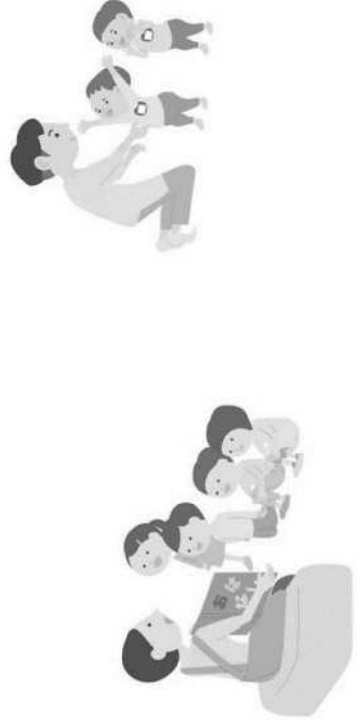
※教育・保育事業の内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

教育・保育事業 (あてはまる番号すべてに○)	項目	利用したい希望時間等
1. 区立幼稚園 (通常の教育時間利用)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
2. 私立幼稚園 (通常の教育時間利用)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
3. 幼稚園の預かり保育 (通常の教育時間を延長して預かる事業のうち定 期的な利用のみ)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
4. 区立認可保育園	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
5. 私立認可保育園	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
6. 認定こども園	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
7. 小規模保育事業所	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時

新着・保育事業 (あてはまる番号すべてに○)	項目	利用したい希望時間等
8. 浦区保育室	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
9. 認証保育所	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
10. ベビーホテルなどの認可外保育施設	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
11. インターナショナルスクール	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
12. 定期利用保育 (みなと保育サポート)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
13. 居宅訪問保育や派遣型一時保育 (ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭 で保育をする事業)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
14. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
15. ファミリー・サポート・センター (母親が一人暮らしや子育ての地域住民に よる子どもの預りサービス)	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
16. 児童発達支援センター (ばお) など	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時
17. その他 ()	1 週あたり () 日	() 時～() 時
➡ 施設名 ()	1 日あたり () 日	() 時～() 時

問22-1 問22で「1」～「3」に○をつけ、かつ「4」～「11」にも○をつけた方の方が良いです。
○をつけた事業のうち、もっとも利用を希望するのは幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて
利用する場合も含む) ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. はい
2. いいえ



宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問23 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)親子が楽まっで過ごしたり、相親をしたり、情報提供を受けたりする以下のような事業)などを利用していますか。

利用している事業について、あてはまる番号すべてに○をつけ、「1」または「5」に○をつけた方は、施設名を()内にご記入ください。

また、○をつけた事業について、おおよその利用回数を()内に数字でご記入ください。

事業内容	現在の利用回数
1. 子育てひろば あっびい	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
→ 施設名()	
2. みなと子育て応援プラザPokie (ぼっけ)	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
3. 子育てひろば「あい・ぼーと」	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
4. 子ども家庭支援センターの親子ふれあいひろば	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
5. 子ども共生プラザ、児童発達支援プラザの乳幼児室(子育てひろば)	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
→ 施設名()	
6. 児童館の乳幼児室	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
7. その他()	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
8. 利用していない	

問24 問23のような地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用希望回数を()内に数字でご記入ください。

利用意向	利用希望回数
1. 利用していないが、今後利用したい	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	1週あたり()回 もしくは 1か月あたり()回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問25 下の事業等を知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

※子育て支援事業は、同封の「回答のための参考資料」の2頁を参考にしてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
(1) 母親学級、両親学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(2) 産前産後家事・育児支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(3) こどもには赤ちゃん訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(4) 1010 ママサロン・のんびりサロン	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(5) うさちゃんクラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(6) たんぽぽクラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(7) みなと子育て応援プラザ「Pokie(ぼっけ)」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(8) 子育てひろば「あっびい」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(9) 子育てひろば「あい・ぼーと」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(10) 保育園であそぼう	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(11) 幼稚園の未満児の会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(12) 保育園や幼稚園の園庭などの開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(13) 子ども家庭支援センターの相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(14) みなと保健所の相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
(15) 教育センターの相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問26 宛名のお子さんについて、土曜・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

希望がある場合は、利用したい時間帯を()内に数字でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

※教育・保育事業とは、幼稚園や保育園などの事業を指します。病棟・知人による預りは含みません。

1. 利用する必要はない

(1) 土曜

↑利用したい時間帯
()時から()時まで
※24時間制でお答えください

(2) 日曜・祝日

↑利用したい時間帯
()時から()時まで
※24時間制でお答えください

問 26-1 問 26 の (1) または (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方がいます。
毎週ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 家族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

問 27 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望はありますか。(あてはまる番号すべてに○)
希望がある場合は、利用したい時間帯を () 内に数字で記入ください。
※利用には、一定の利用者負担がかかる場合があります。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
利用したい時間帯 () 時から () 時まで
3. 休みの期間中、週に数日利用したい
※24時間でお答えください

問 27-1 問 27 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 家族の介護や手伝いが必要なため
4. リフレッシュのため
5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の療育の対応についてうかがいます (平日の教育・保育事業を利用している方のみ)

※お子さんの病気の療育に利用できる事業の内容は、同封の「回答のための参考資料」の3頁を参考にしてください。

問 28 問 21 で、平日の定期的な教育・保育事業について「1. 利用している」に○をつけた方がいます。該当しない方は、問 29 にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがが幼稚園や保育園等を利用できなかったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. あった → 問28-1ハ
2. なかった → 問29ハ

問 28-1 宛名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、「5」に○をつけた方は、施設名を () 内に記入ください。
また、○をつけたものについて、それぞれの日数も () 内に数字で記入ください。
(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

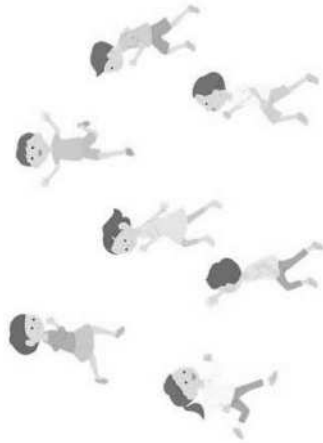
1年間の対処方法	日数
1. 父親が仕事を休んだ	() 日 → 問28-2ハ
2. 母親が仕事を休んだ	() 日
3. 祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	() 日
4. 父親または母親のうち勤務していない方が、子どもをみた	() 日
5. 病児・病後児保育施設を利用した	() 日
6. 居宅訪問型保育や派遣型一時保育(ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業)を利用した	() 日 → 問28-5ハ
7. ファミリー・サポート・センター(育児サポートむすびびなど地域住民による子どもの預かりサービス)を利用した	() 日
8. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	() 日
9. その他 ()	() 日

問 28-2 問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について () 内に数字で記入ください。
※病児・病後児保育施設や居宅訪問型保育などの利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけの医師の受診が必要です。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したい → () 日 → 問28-3ハ
2. 利用したいとは思わない → 問28-4ハ

問 28-3 問 28-2 で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例：幼稚園、保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：派遣型の一時的保育等)
4. その他 ()



問 28-4 問 28-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方はいかがでしょうか。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病后、病後息を他人にみてもらえない 5. 利用料がわからない
2. 事業の質に不安がある 6. 保護者が仕事を休んで対応する
3. 立地や利用可能時間などが利用しにくい 7. その他 ()
4. 利用料が分かる、高い

問 28-5 問 28-1 で「3」～「9」のいずれかに○をつけた方はいかがでしょうか。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。
 あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について ()
 内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい → () 日 → 問29A
 2. 休んで子どもをみることは非常に難しい → 問28-6A

問 28-6 問 28-5 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方はいかがでしょうか。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの病状を理由に休みがとれない 3. 休暇日数が足りないで休めない
2. 自営業なので休めない 4. その他 ()

病名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてはいかがでしょうか

※お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等に関する事業内容は、同前の「回答のための調査票」の3頁を参照してください。

問 29 病名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を ()
 内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数 (年間)
1. 一時預かり (理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の教育時間を延長して朝の準備のうちは定期に利用する場合のみ)	() 日
3. 居宅訪問型保育や派遣型一時保育 (ベビーシッターや子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業)	() 日
4. ファミリー・サポート・センター (専任スタッフが子どもをむすび等の地域住民による子どもの預かりサービス)	() 日
5. トワイライトステイ (PDR) における期間の一時預かり)	() 日
6. 短期入所 (障害保健福祉センター等)	() 日
7. その他 ()	() 日
8. 利用していない	() 日

問 29-1 問 29 で「8. 利用していない」理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)
 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用したい事業が近くにない 7. 自分が事業の担当者になるのかどうか、わからない
2. 事業の質に不安がある 8. 事業の内容を知らなかった
3. 立地や利用可能時間が利用しにくい 9. 日帯接していない人に預けるのが不安
4. 事業の利用方法 (年齢等) がわからない 10. その他 ()
5. 利用料が分かる、高い 11. 利用する必要がない
6. 利用料がわからない

問 30 病名のお子さんに関して、私用 (買物、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用したいですか。(あてはまる番号ひとつに○) また利用したい場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数を () 内に数字でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

利用したい	計 () 日
ア. 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、 リフレッシュ目的	年間 () 日
イ. 短期療養、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の 通院等	年間 () 日 → 問30-1A
ウ. 不定期の就労	年間 () 日
エ. その他 ()	年間 () 日
2. 利用したいとは思わない	年間 () 日 → 問31A

問 30-1 問 30 で「1. 利用したい」に○をつけた方はいかがでしょうか。

問 30 の目的でお子さんへの利用を預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。
 (あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを保育する事業 (例：幼稚園・保育園等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業 (例：地域子育て支援拠点事業等)
3. 地域住民等が子育て支援の近くで保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ()

問 31 この1年間に、保護者の用事 (冠婚葬祭、保護者・家族の病状など) により、病名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったことはありますか。(預け先がみつからなかった場合を含みます。)(あてはまる番号ひとつに○)
 あった場合は、この1年間の対応方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を () 内に数字でご記入ください。

1. あった

1年間の対応方法	日数
ア. 祖父母等の親族・知人にみてもらった	() 泊
イ. ショートステイ (PDR) を利用した	() 泊
ウ. ショートステイ (療育型) を利用した	() 泊
エ. ショートステイ (東京都済生会中央病院附属乳児院) を利用した	() 泊
オ. イ〜エ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	() 泊
カ. 短期入所 (障害保健福祉センター等) を利用した	() 泊
ク. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	() 泊
ケ. その他 ()	() 泊
2. なかった	() 泊

問31-1 問31で「1. あった ア. 祖父母等の親族・知人にひてもらった」に○をつけた方の方がいます。

祖父母等の親族・知人にお預けすることは、どのくらいの困難度でしたか。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 非常に困難 2. どちらかといえば困難 3. 特に困難ではない

宛名のお子さんの小学校入学後の過ごし方についてうかがいます

※放課後の過ごし方を支援する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の4頁を参考にしてください。

問32 宛名のお子さんについて、希望する小学校入学先はどれですか。(あてはまる番号ひとつに○)
また、学校名を()内にご記入ください。

希望する入学先	希望する学校名
1. 港区立小学校(4を除く)	()
2. 国立、私立の小学校	()
3. 特別支援学校	()
4. 港区立小学校の特別支援学級	()
5. その他(港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど)	()

問33 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年(1～3年生)と高学年(4～6年生)において、あてはまる番号すべてに○をつけ、「14」～「17」に○をつけた方は、施設名を()内にご記入ください。
また、○をつけたものについて、希望する週あたりの日数を()内に数字でご記入ください。

(1) 小学校低学年(1～3年生)

場所	週ごさいたい日数
1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母や知人・友人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学童塾など)	週()日くらい
4. 児童館・子ども中高生プラザ(学童クラブ以外の一括利用) →施設名()	週()日くらい
5. 放課GO→放課GO→クラブ(学童クラブを除く。月～金曜日まで) →施設名()	週()日くらい
6. 区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む) →施設名()	週()日くらい →下校から()時まで
7. 私立(民間運営)の学童クラブ →施設名()	週()日くらい →下校から()時まで
8. 放課後等デイサービス	週()日くらい
9. その他(公園など)	週()日くらい
10. 未定	

(2) 小学校高学年(4～6年生)

場所	週ごさいたい日数
1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母や知人・友人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学童塾など)	週()日くらい
4. 児童館・子ども中高生プラザ(学童クラブ以外の一括利用) →施設名()	週()日くらい
5. 放課GO→放課GO→クラブ(学童クラブを除く。月～金曜日まで) →施設名()	週()日くらい
6. 区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む) →施設名()	週()日くらい →下校から()時まで
7. 私立(民間運営)の学童クラブ →施設名()	週()日くらい →下校から()時まで
8. 放課後等デイサービス	週()日くらい
9. その他(公園など)	週()日くらい
10. 未定	

問34 問33で「6. 区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む)」または「7. 私立(民間運営)の学童クラブ」に○をつけた方にかかれます。

宛名のお子さんについて、土曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を()内に数字でご記入ください。
(時間は24時間制でお答えください)

※事業の利用には、一定の利用者負担がかかります。

(1) 土曜	(2) 日曜・祝日
1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない
利用したい日数 月()日 時間帯 利用したい時間帯 ()時から()時まで	利用したい日数 月()日 時間帯 利用したい時間帯 ()時から()時まで

問35 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を()内に数字でご記入ください。(時間は24時間制でお答えください)

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない
利用したい日数 週()日 利用したい時間帯 ()時から()時まで	利用したい日数 週()日 利用したい時間帯 ()時から()時まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の面立支援制度についてうかがいます

問 36 産名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかまたは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。また、取得していない方はその理由を記入してください。

(1) 父親	(2) 母親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
※取得していない理由 （下からあてはまる番号すべてを記入してください） ()	

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が多かった 3. (産後)に仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に返るのが難しそうだった 5. 昇格・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育園などに預けることができた 8. 配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した 9. 配偶者（パートナー）が転職、社交等の職歴にのみとらえらるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するために退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 12. 育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかった 15. 自営業、経営者のため、育児休業の制度がなかった 16. その他 ()
--

問 36-1 「子どもが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み」や「子どもが第3歳になるまでの育児休業等（※2）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」があります。そのことを知っていましたか。（あてはまる番号ひとつに○）

※1…児童所における保育の提供が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳
 ※2…法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問 36-2 問 36 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

(1) 父親	(2) 母親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 問36-3A	1. 育児休業取得後、職場に復帰した → 問36-3A
2. 現在も育児休業中である → 問36-9A	2. 現在も育児休業中である → 問36-9A
3. 育児休業中に転職した → 問37A	3. 育児休業中に転職した → 問37A

問 36-3 問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育料入園に合わせたタイミングでしたか。
 （それぞれあてはまる番号ひとつに○）

※年度初めの認可保育園入園を希望して、年度初めより前に復帰して一時期に認可外保育園に入園した場合は年度初めの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかった場合も「1」を記入してください。

(1) 父親	(2) 母親
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. 年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった	2. 年度初めの入園に合わせたタイミングではなかった

問 36-4 問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 実際に職場復帰したのは、お子さんが何歳何か月のときでしたか。また、希望としては、お子さんが何歳何か月のときまで取り戻すことができましたか。お勤め先の育児休業の制度の期間内で () 内に数字をご記入ください。

実際		希望	
(1) 父親	() 歳 () か月 () 歳 () か月	() 歳 () か月 () 歳 () か月	
(2) 母親	() 歳 () か月 () 歳 () か月	() 歳 () か月 () 歳 () か月	

問 36-5 問 36-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何か月のときまで取り戻すことができましたか。() 内に数字をご記入ください。

(1) 父親	(2) 母親
() 歳 () か月 () 歳 () か月	() 歳 () か月 () 歳 () か月

問 36-6 問 36-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

ア. 「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

(1) 父親	(2) 母親
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため	2. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

イ. 「希望」より遅く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

(1) 父親	(2) 母親
1. 希望する保育園に入れなかったため	1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもの体調が悪くならなかったため	2. 自分や子どもの体調が悪くならなかったため
3. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため	3. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問36-7 問36-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか。
(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	(1) 父親	(2) 母親
1. 利用する必要がなかった	1. 利用する必要がなかった	
2. 利用した	2. 利用した	
3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3. 利用しなかった(利用できなかった) → 問36-8へ	

問36-8 問36-7で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

短時間勤務制度を利用しなかった理由	(1) 父親	(2) 母親
1. 職場に短時間勤務制度が取りにくい(実現できなかった)	1	1
2. 仕事が多かった	2	2
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に難しくなる	3	3
4. 短時間勤務にするため保育所の入園申請の優先順位が下がる	4	4
5. 配偶者(パートナー)が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
6. 配偶者(パートナー)が無職、祖父祖母等の職歴にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった	6	6
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	8
9. 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった	9	9
10. その他 ()	10	10

問36-9 問36-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	(1) 父親	(2) 母親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい	
3. 1歳以降も育児休業を取得したい	3. 1歳以降も育児休業を取得したい	

問37 子育てご仕事の独立のために、職場にどのようなことを望みますか。(あてはまる番号3つまで○)

1. 妊娠中や育児期間中の勤務軽減(フレックスタイム制度や短時間勤務制度など)
2. 産前産後の休業が十分に取れる制度
3. 育児休業期間にある程度の給与保障がされる制度
4. 育児休業期間が1年を超えて取れる制度
5. 子どもが病気やけがの時に安心して看護のための休暇が取れる制度
6. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり
7. 女性の再雇用制度
8. テレワークなどの在宅勤務制度
9. その他 ()

子育ての環境や支援全般についてうかがいます

問38 あなた(宛名のお子さんの保護者)にとって、理想的な子どもの数を()内に数字でご記入ください。

()人

問38-1 現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を()内に数字でご記入ください。

()人

問38-2 問38-1の実績に持つつもりの子どもの数が、問38の理想的な子どもの数より少ない方がうかがいます。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。(あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎)

	少ない理由
1.	出産・子育て費用が足りなから、収入が不安定だから
2.	将来的に子育てや教育にお金がかかるから
3.	妻が欲いから
4.	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
5.	自分や配偶者(パートナー)の仕事に支障が出るから
6.	自分や夫婦の生活が大変にしたいから
7.	家庭内の人間関係が良好ではないから
8.	配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
9.	育児の心理的・肉体的負担が増え、増加することによって耐えられないから
10.	将来的に養育の負担が増える・増加する見込みがあるから
11.	妊娠することや子育てをすることに燃然とした不安があるから
12.	妊娠上の理由から
13.	ほいほい子どもでもできないから
14.	高齢で産むのはいやだから
15.	配偶者(パートナー)が望まないから
16.	その他 ()

問39 港区の子育て環境全般と教育・保育事業(サービス内容について)への満足度について、お答えください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	サービス内容				
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足
(1) 港区の子育て環境	1	2	3	4	5
(2) 幼稚園	1	2	3	4	5
(3) 保育園	1	2	3	4	5
(4) 地域子ども・子育て支援事業 (子育てひろば、一時預かり、 育児相談員派遣等)	1	2	3	4	5

問40 これからも港区に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 子どもの保育園・幼稚園の入園前まで住み続けたい | 5. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい |
| 2. 子どもの保育園・幼稚園の卒業まで住み続けたい | 6. 子どもの大学卒業まで住み続けたい |
| 3. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい | 7. ずっと住み続けたい |
| 4. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい | 8. その他() |

保護者ご自身の状況についてうかがいます

【問41から問47は、あなた(宛名)のお子さんの保護者)自身のことについてお答えください】

問41 あなたの年齢を()内に数字でご記入ください。(令和5年4月1日現在)

()歳

問42 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|--|
| 1. テレビを見る | 8. 家事をする |
| 2. 本・雑誌・マンガを読む | 9. 育児をする |
| 3. 新聞を読む | 10. ウェブサイト(電子掲示板、ブログ含む)を見る、書き込みをする |
| 4. 音楽を聴く | 11. YouTubeなどの動画サイトを見る |
| 5. ゲームをする | 12. LINEやメールをする |
| 6. 勉強をする | 13. X(旧Twitter)やInstagramなどのSNSを見る、書き込みをする |
| 7. 仕事をする | 14. その他() |

問43 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 1. 自分の部屋 | |
| 2. 自宅のリビング、居間など | |
| 3. 友人の家 | |
| 4. 公園 | |
| 5. ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ | |
| 6. ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶 | |
| 7. 本屋、CD・DVDショップ | |
| 8. ショッピングモール | |
| 9. 地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム | |
| 10. 区立図書館 | |
| 11. 港区スポーツセンター | |
| 12. その地区立の公共施設() | |
| 13. インターネット上のオンライン空間(SNSやオンラインゲームなど) | |
| 14. オンラインコミュニティ(オンラインサロンなど) | |
| 15. その他() | |
| 16. 居心地がよいと感じる場所はない | |

問44 次の項目について、あなたはどのように感じますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	そう思わない(番号)	そう思う(番号)	どちらかいない(番号)	その他(番号)
(1)今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2)今、自分は幸せだ	1	2	3	4
(3)今の自分に満足している	1	2	3	4
(4)自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4
(5)自分は孤立していると感じる	1	2	3	4

問45 あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家事 | 8. 親、親戚との関係 |
| 2. お金のこと(飲食を含む) | 9. 介護 |
| 3. 自分の身体のこと | 10. 友人関係 |
| 4. 自分の将来 | 11. 職場の人間関係 |
| 5. 仕事・就職 | 12. インターネット上の人間関係 |
| 6. 地域活動(町内会・自治会等) | 13. その他() |
| 7. 配偶者(パートナー)との関係 | 14. 宿んでいることはない |

問46 あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰(どこ)に相談しますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 配偶者(パートナー) | |
| 2. 父母 | |
| 3. その他の親族 | |
| 4. 知人・友人 | |
| 5. 職場の上司・同僚 | |
| 6. カウンセラー、かかりつけの医師 | |
| 7. 区役所や公共施設の窓口・職員 | |
| 8. 民間の相談機関 | |
| 9. インターネットの掲示板や相談サイト | |
| 10. インターネット上の知人・友人 | |
| 11. その他() | |
| 12. 相談しない | |

問46-1 問46で「12. 相談しない」に○をつけた方にうかがいます。

相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 相談するほどのことではないから | 6. 相談していることを知られたくないから |
| 2. 悩みを知られたくないから | 7. 相談しても解決しないと思うから |
| 3. 相談するのが面倒だから | 8. 相談する相手がいらないから |
| 4. 何を聞かれるか不安だから | 9. その他() |
| 5. うまく伝えられないから | |

問 47 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。

(あてはまる番号すべてに○)

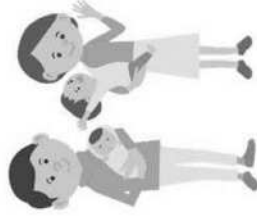
<ol style="list-style-type: none"> 1. 親身に聞いてくれる 2. 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる 3. 医学的な助言をもらえる 4. 精神科医・心理士の専門家がいる 5. 同じ悩みを持つ人と出会える 6. 匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる 7. 無料で相談できる 8. 自宅から近い 9. 夜間も相談できる 10. 電話で相談できる 11. スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる 12. LINE や X (旧 Twitter) などの SNS で相談できる 13. その他 ()

問 48 最後に、港区の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援、子ども・若者の施策に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**11月9日(木)まで**に郵送（投函）してください（切手は不要です）。

また、個人情報保護の観点から、調査票の封筒に、お名前やご住所等をお書きにならないでください。



— 悩みや不安を抱えている方へ —



各種相談窓口については、右の二次元コード（QRコード）からご覧いただけます。
相談機関一覧（港区ホームページ）

問8-2 問8-1で「1」～「4」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

次のうち、あてはまる理由があればお選びください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 出費費用助成があるから
2. 母子健康事業が充実しているから
3. 保育料助成があるから
4. 第2子以降の保育料が無料だから
5. 教育・保育施設に空きがあり、入園させやすいから
6. 入園したい保育園・幼稚園があるから
7. 入学したい小学校があるから
8. 入りたいインターン・ナショナルスクールがあるから
9. 職場が近いから
10. 治療が早く、子どもにとっても安全な環境だから
11. 子育てに協力してくれる親族がいるから
12. その他 ()
13. 特に理由はない

病名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、保護者以外に病名のお子さんをおみてももらえる親族・知人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父祖母等の親族にみてももらえる 問9-1ハ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父祖母等の親族にみてももらえる
3. 日常別に子どもをおみてももらえる知人・友人がいる 問9-2ハ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみてももらえる知人・友人がいる 問10ハ
5. いずれもない

問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父祖母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父祖母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてももらえる
2. 祖父祖母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父祖母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 知人・友人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてももらえる
2. 知人・友人の身体的負担が大きく、心配である
3. 知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 子育てに関して、日頃、悩んでいることや気になることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 発音・発達、病気、障害に関すること 問10-1ハ
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育ての方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの関係を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいらないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 登校拒否などの問題に関すること
11. 子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと
12. 子育てに関して配偶者(パートナー)と意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの目が気になること
14. 配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18. その他 ()
19. 特にない

問10-1 問10で「1. 発音・発達、病気、障害に関すること」に○をつけた方にうかがいます。

あてはまるものをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)
また、「1」～「3」に○をつけた方は、()内に数字で記入ください。

1. 身体障害者手帳 () 級
2. 療の手帳 () 度
3. 精神障害者保健福祉手帳 () 級
4. 難病
5. 高次脳機能障害
6. 発達障害
7. 医療的ケア(たん吸引、経管栄養、酸素吸入等)
8. 定期的な服薬や自己注射
9. 未熟児、産後児
10. 言語発達に関する不安
11. 運動発達に関する不安
12. 多動や衝動性等行動に関する不安
13. 対人関係等コミュニケーションに関する不安
14. その他 ()

問11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）はいますか（ありますか）
（あてはまる番号ひとつに○）

1. いる/ある → 問11-1へ 2. いない/ない → 問12へ

問11-1 問11で「1. いる/ある」に○をつけた方にかがいます。
お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 配偶者（パートナー）
2. 父母（子どもの祖父母）
3. その他の親族
4. 知人・友人
5. 子育て仲間
6. 勤・習い事の先生
7. かかりつけの医師
8. 民生委員・児童委員
9. 小学校の先生・スクールカウンセラー
10. 子ども家庭支援センター
11. 児童発達支援センター（ばお）
12. 児童館・学習クラブ
13. 保健所
14. 教育センター
15. 民間の相談機関
16. インターネットの子育て関連サイト
17. その他（ ）

問12 日頃、子育てを行うに当たり、孤立感を感じることはありませんか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. ある
2. とまどきある
3. あまりない
4. ない
5. 感じることがある
6. 感じることがない
7. わからない

問13 子育てについて、地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）からのサポートがあればよいと感じたことはありませんか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 感じることがある
2. 感じることがない
3. わからない

問14 あなたは、地域の人からのサポートや地域活動について、どのようなものがあればよいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子育て中の親子同士が交流できる地域活動
2. 子育ての悩みを気軽に相談できる地域コミュニティ
3. 同年代の子ども同士が交流できる地域活動
4. 異世代の子どもや高齢者など世代間の交流ができる地域活動
5. 子どもに遊び、勉強、スポーツ等を教えてくれる地域活動
6. 買い物時や不意の外出の時に子どもを預かってくれる地域活動
7. 交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする地域活動
8. 公園・道路の清掃等の美化活動
9. その他（ ）
10. 特になし

宛名のお子さんの保護者の就労・家計状況についてうかがいます

問15 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

(1) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】（あてはまる番号ひとつに○）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育児短時間勤務中である
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
5. パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
6. 以前は就労していたが、現在は就労していない
7. これまで就労したことがない

(1) - 1 (1) で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

1 宛あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週あたりの就労日数（ ）日 うち在宅勤務日数（ ）日
1日あたりの就労時間（ ）時間

(1) - 2 (1) で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

家を出る時間（ ）時（ ）分
帰宅時間（ ）時（ ）分 ※24時間制でお答えください

時間が出ない場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

(2)母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(あてはまる番号ひとつに○)

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育児短時間勤務中である
4. パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
5. パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
6. 以前は就労していたが、現在は就労していない
7. これまで就労したことがない

(2)-1 (2)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
1週あたりの「就労日数」及びそのうちの「在宅勤務日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたりの就労日数 ()日 うち在宅勤務日数 ()日
1日あたりの就労時間 ()時間

(2)-2 (2)で「1」～「5」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時間と帰宅時間をお答えください。

時間がかからない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間 : ()時 ()分 ※24時間でお答えください
帰宅時間 : ()時 ()分

問16 問15の(1)または(2)で、「4」または「5」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|-------|---|
| (1)父親 | <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい |
| (2)母親 | <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい |

問17 問15の(1)または(2)で、「6」以前は就労していたが、現在は就労していない」または「7. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)
また、「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方は、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたりの日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)父親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい <p>→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート・アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) →1週あたり()日 1日あたり()時間</p>
(2)母親	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい <p>→希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート・アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) →1週あたり()日 1日あたり()時間</p>

【すべての方にうかがいます】

問18 宛名のお子さんの世帯全体の年収(税込)は、おおよそどれくらいですか。仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 200万円未満
2. 200～300万円未満
3. 300～400万円未満
4. 400～500万円未満
5. 500～700万円未満
6. 700～1,000万円未満
7. 1,000～1,500万円未満
8. 1,500～2,000万円未満
9. 2,000～3,000万円未満
10. 3,000～5,000万円未満
11. 5,000～1億円未満
12. 1億円以上
13. わからない

問19 現在の家計について、最も近いものをお答えください。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 黒字であり、毎月貯蓄をしている
2. 黒字であるが、貯蓄はしていない
3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
4. 赤字であり、貯蓄を取り崩している
5. 赤字であり、借金をして生活している
6. その他()
7. わからない

問20 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 今の方が大変ゆとりがある
2. 今の方がややゆとりがある
3. 変わらない
4. 今の方がやや苦しい
5. 今の方が大変苦しい
6. わからない

宛名のお子さんの病気の療養の対応についてうかがいます

※お子さんの療養の際に利用できる療養の内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

問21 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. あった → 問21-1A 2. なかった → 問21A

問21-1 この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1年間の対処方法	日数
1. 父親が仕事を休んだ	()日
2. 母親が仕事を休んだ	()日
3. 祖父母等の家族・知人に子どもをみてもらった	()日
4. 父親または母親のうち就労していない方が、子どもをみたく	()日
5. 派遣型一時保育(子育て支援員が子どもの療養で保育をする事業)を利用した	()日
6. ファミリー・サポート・センター(専用サポート子むすびなど地域団員による子どもの預かりサービス)を利用した	()日
7. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	()日
8. その他()	()日

問21-2 問21-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

その際、「病児・病後児のための保育サービスを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は日数について()内に数字でご記入ください。

※病児・病後児保育施設の利用には、一定の利用料がかかります。利用料にかかりつけ医の受診が条件です。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したい → ()日 → 問21-3A
 2. 利用したいとは思わない → 問21-4A

問21-3 問21-2で「1」病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 他の施設(例:幼稚園、保育園等)に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:派遣型の一時的保育等)
 4. その他()

問21-4 問21-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
 2. 事業の質に不安がある
 3. 立地や利用可能時間などが利用しにくい
 4. 利用料がかかる・高い
 5. 利用料がわからない
 6. 保護者が仕事を休んで対応する
 7. その他()

問21-5 問21-1で「3」～「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父親のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思われましたか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、仕事を休んで子どもをみたかった日数について()内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい → ()日 → 問21-5A
 2. 休んで子どもをみることは非常に難しい → 問21-6A

問21-6 問21-5で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
 2. 日給的なので休めない
 3. 休日出数が足りないで休めない
 4. その他()

宛名のお子さんか不定期に、または宿泊を伴って利用する事業についてうかがいます

※お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等に関する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の1頁を参考にしてください。

問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通勤、不定期の就労等の目的で利用している事業はありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり(あい、ほーど) (理由を問わずに一時的に子どもを保育する事業)	()日
2. 派遣型一時保育 (子育て支援員が子どもの家庭で保育をする事業)	()日
3. ファミリー・サポート・センター (宿泊サポート子むすび等の地域団員による子どもの預かりサービス)	()日
4. トワイライトステイ (Policeにおける夜間の一時預かり)	()日
5. 短期入所(保育保護福祉センター等)	()日
6. その他()	()日
7. ...利用していない	問22A

問22-1 問22で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 利用したい事業が近くにない
 2. 事業の質に不安がある
 3. 立地や利用可能時間が利用しにくい
 4. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分が事業の対象者になるかどうか、わからない
 8. 事業の内容を知らなかった
 9. 日常使っていない人に預けるのが不安
 10. その他()
 11. 利用する必要がない

問 23 宛名のお子さんに関して、私用（買物、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で、卒業を利用したいですか。（あてはまる番号ひとつに○）また利用したい場合は、あてはまる記号すべてに○をつけ、必要な日数を（ ）内に数字でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利尻者負担がかかります。

1. 利用しない	計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	年間（ ）日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	年間（ ）日
ウ. 不定期の就労	年間（ ）日
エ. その他（ ）	年間（ ）日

2. 利用したいとは思わない

問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない場合はありますか。（預け先がみつからなかった場合は含みます。）（あてはまる番号ひとつに○）
あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

1. あった	1年間の対処方法	日数
	ア. 祖父母等の親族・知人にみてもらった	（ ）日 → 問24-1へ
	イ. ショートステイ（Poke）を利用した	（ ）泊
	ウ. 短居入所（障害児福祉センター等）を利用した	（ ）泊
	エ. やむを得ず子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
	2. なかった	

問 24-1 問 24 で「1. あった ア. 祖父母等の親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族・知人にお願することは、どのくらいの間隔でしたか。
（あてはまる番号ひとつに○）

1. 非等間隔	2. どちらかといえば困難	3. 特に困難ではない
---------	---------------	-------------

宛名お子さんの小学校での放課後の過ごし方についてうかがいます

※放課後の過ごし方を支援する事業内容は、同封の「回答のための参考資料」の2頁を参考にしてください。

問 25 宛名のお子さんが通学している小学校はどれですか。（あてはまる番号ひとつに○）また、学校名を（ ）内にご記入ください。

通学先	学校名
1. 港区立小学校（4を除く）	（ ）
2. 国立、私立の小学校	（ ）
3. 特別支援学校	（ ）
4. 港区立小学校の特別支援学校	（ ）
5. その他（港区以外の区立小学校等、インターナショナルスクールなど）	（ ）

問 26 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「4」～「7」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。また、○をつけたものについて、通あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

場所	過ごしている日数
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母や知人・友人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館・子ども中心生活プラザ （学習クラブ以外の一級利用） → 施設名（ ）	週（ ）日くらい
5. 放課G.O.・放課G.O.クラブ （学習クラブを除く。月～金 17時まで） → 施設名（ ）	週（ ）日くらい
6. 区立の学習クラブ （区立小学校内に併設のものを含む） → 施設名（ ）	週（ ）日くらい → 下校から（ ）時まで
7. 私立（民間運営）の学習クラブ → 施設名（ ）	週（ ）日くらい → 下校から（ ）時まで
8. 放課後等デイサービス	週（ ）日くらい
9. その他（公園など）	週（ ）日くらい

【病名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にかかっています。】

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のとき、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、「14」～「17」に○をつけた方は、施設名を（ ）内にご記入ください。

場所	過ごさせたい日数
1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母や知人・友人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週（ ）日くらい
4. 児童館・子ども中高生プラザ (学童クラブ以外的一般利用)	週（ ）日くらい
➡ 施設名 ()	
5. 放課GO→・放課GO→クラブ (学童クラブを除く。月～金 17時まで)	週（ ）日くらい
➡ 施設名 ()	
6. 区立の学童クラブ (区立小学校内に併設のものを含む)	週（ ）日くらい
➡ 施設名 ()	
7. 私立(国民民営)の学童クラブ	週（ ）日くらい
➡ 施設名 ()	➡下校から () 時まで
8. 放課後等デイサービス	週（ ）日くらい
9. その他(公園など)	週（ ）日くらい
10. 未定	

問28 問26、問27で、「6. 区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む)」「7. 私立(国民民営)の学童クラブ」に○をつけた方にかかっています。

宛名のお子さんについて、土曜・日曜・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。
(1)(2) それぞれについて、あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を()内に数字でご記入ください。

(時間は24時間でお答えください)
※専業主婦の利用には、一定の利用者負担がかかります。

(1) 土曜	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない 利用したい日数 月()日程度 利用したい時間帯 ()時から()時まで
(2) 日曜・祝日	1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2. 高学年(4～6年生)まで利用したい 3. 利用する必要はない 利用したい日数 月()日程度 利用したい時間帯 ()時から()時まで

13

問29 問26、問27で、「6. 区立の学童クラブ(区立小学校内に併設のものを含む)」「7. 私立(国民民営)の学童クラブ」に○をつけた方にかかっています。

宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の学童クラブの利用希望はありますか。あてはまる番号ひとつに○をつけ、利用したい場合は、利用したい日数と時間帯を()内に数字でご記入ください。

(時間は24時間でお答えください)

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	
2. 高学年(4～6年生)まで利用したい	
3. 利用する必要はない	
利用したい日数 週()日	
利用したい時間帯 ()時から()時まで	

育児休業や短時間勤務制度など職場の面立支援制度についてうかがいます

問30 子育てと仕事の両立のために、職場にどのようなことを望みますか。(あてはまる番号3つまで○)

1. 妊娠中や育児期間中の勤務軽減(フレックスタイム制度や短時間勤務制度など)	
2. 産前産後の休暇が十分に取れる制度	
3. 育児休業期間にある程度の給与保障がされる制度	
4. 育児休業期間が1年を超えて取れる制度	
5. 子どもが病気やけがの時に安心して看護のための休暇が取れる制度	
6. 男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり	
7. 女性の再雇用制度	
8. テレワークなどの在宅勤務制度	
9. その他()	



14

子育ての環境や支援全般についてうかがいます

問 31 あなた（宛名のお子さんの保護者）にとって、理想的な子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

（ ）人

問 31-1 現在いらっしゃるお子さんを含んだ、実際に持つつもりの子どもの数を（ ）内に数字でご記入ください。

（ ）人

問 31-2 問 31-1の実績に持つつもりの子どもの数が、問 31の理想的な子どもの数より少ない方がありますが。

実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由に◎）

	少ない理由
1.	出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
2.	将来的に子育てや教育にお金がかかるから
3.	家が狭いから
4.	幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
5.	自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
6.	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
7.	家内の人間関係が良好ではないから
8.	配偶者（パートナー）の家事・育児への圧力が強られないから
9.	育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
10.	将来的に家業の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから
11.	妊娠することや子育てをすることに強固とした不安があるから
12.	健康上の理由から
13.	ほしいけれどもできないから
14.	高齢で差むのはいやだから
15.	配偶者（パートナー）が望まないから
16.	その他（ ）

あてはまる番号すべてに○をつけ、最も重要な理由には◎をつける

問 32 港区の子育て環境への満足度についてお答えください。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満 5. 不満

問 33 これからも港区に住み続けたいと思いますか。（あてはまる番号ひとつに○）

1. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい
 2. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい
 3. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい
 4. 子どもの大学卒業まで住み続けたい
 5. ずっと住み続けたい
 6. その他（ ）

保護者ご自身の状況についてうかがいます

【問 34 から問 40は、あなた（宛名のお子さんの保護者）自身のことについてお答えください】

問 34 あなたの年齢を（ ）内に数字でご記入ください。（令和5年4月1日現在）

（ ）歳

問 35 あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. テレビを見る 8. 読書をする
 2. 本・雑誌・マンガを読む 9. 音楽をする
 3. 新聞を読む 10. ウェブサイト（電子掲示板、ブログ含む）を見る・書き込みをする
 4. 音楽を聴く 11. YouTubeなどの動画サイトを見る
 5. ゲームをする 12. LINE やメールをする
 6. 勉強をする 13. X (旧 Twitter) や Instagram などの SNS を見る・書き込みをする
 7. 仕事をする 14. その他（ ）

問 36 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 自分の部屋
 2. 自宅のリビング、居間など
 3. 友人の家
 4. 公園
 5. ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
 6. ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
 7. 本屋、CD・DVD ショップ
 8. ショッピングモール
 9. 地域のスポーツクラブや民営のスポーツジム
 10. 区立図書館
 11. 港区スポーツセンター
 12. その地区の公共施設（ ）
 13. インターネット上のオンライン空間（SNS やオンラインゲームなど）
 14. オンラインコミュニティ（オンラインサロンなど）
 15. その他（ ）
 16. 居心地がよいと感じる場所はない

問 37 次の項目について、あなたはどのように感じますか。（それぞれあてはまる番号ひとつに○）

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
(1) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2) 今、自分は幸せだ	1	2	3	4
(3) 今の自分に満足している	1	2	3	4
(4) 自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4
(5) 自分は孤立していると感じる	1	2	3	4

問38 あなたは、現在、子育て以外の悩みはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家事
2. お金のこと(衣食住を含む)
3. 自分の身体のこと
4. 自分の将来
5. 仕事・勉強
6. 地域活動(町内会・自治会等)
7. 配偶者(パートナー)との関係
8. 親、親戚との関係
9. 介護
10. 友人関係
11. 職場の人間関係
12. インターネット上の人間関係
13. その他()
14. 悩んでいることはない

問39 あなたは、普段子育て以外の悩みごとがあるとき、誰(どこ)に相談しますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者(パートナー)
2. 父母
3. その他の親族
4. 知人・友人
5. 職場の上司・同僚
6. カウンセラー、かかりつけの医師
7. 区役所や公共施設の窓口・職員
8. 民間の相談機関
9. インターネットの掲示板や相談サイト
10. インターネット上の知人・友人
11. その他()
12. 相談しない

問39-1 問39で「12. 相談しない」に○をつけた方にうかがいます。
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどのことではないから
2. 悩みを知られたくないから
3. 相談するのが面倒だから
4. 何を聞かれるか不安だから
5. うまく伝えられないから
6. 相談していることを知られたくないから
7. 相談しても解決しないと思うから
8. 相談する相手がいないから
9. その他()



問40 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 親身に聞いてくれる
2. 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる
3. 医学的な助言をもらえる
4. 精神科医・心理学の専門家がいます
5. 同じ悩みを持つ人と出会える
6. 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
7. 無料で相談できる
8. 自宅から近い
9. 夜間も相談できる
10. 電話で相談できる
11. スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる
12. LINE や X (旧 Twitter) などの SNS で相談できる
13. その他()

問41 最後に、港区の教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援、子ども・若者の施策に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
調査票を同封の返信用封筒に入れて、**11月9日(木)まで**に郵送(郵便)してください(切手は不要です)。
また、個人情報保護の観点から、調査票の封筒に、お名前やご住所等をお書きにならないでください。

一極みや不安を抱えている方へ

各種相談窓口については、右の二次元コード(QRコード)からご覧いただけます。
相談機関一覧(港区ホームページ)



みなとくこ 港区子ども・若者・子育て支援のアンケート
 こそだ しえん
 わかもの 港区子ども・若者・子育て支援のアンケート
 ちゅうがくせいよう (中学生用)



ID記入欄

--	--	--	--

※別紙「回答方法」に記載されているIDを右の枠内にご記入ください。

あなたご自身やご家族について質問します

問1 お住まいの地域はどこですか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | | | |
|--------|----------|----------|----------|---------|
| 1. 芝 | 7. 旗本町 | 13. 麻布三軒 | 19. 麻布十番 | 25. 荻窪 |
| 2. 有楽町 | 8. 芝大崎 | 14. 南麻布 | 20. 東麻布 | 26. 白金 |
| 3. 東新橋 | 9. 芝公園 | 15. 元麻布 | 21. 元麻布 | 27. 白金台 |
| 4. 新橋 | 10. 虎ノ門 | 16. 西麻布 | 22. 赤坂 | 28. 芝浦 |
| 5. 西新橋 | 11. 麩町 | 17. 六本木 | 23. 南青山 | 29. 港南 |
| 6. 三軒 | 12. 麻布三軒 | 18. 麻布谷 | 24. 北青山 | 30. 台場 |

問1-1 お住まいの〒目を () の中に数字でご記入ください。

() 丁目

問2 あなたは中学校前年生ですか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 |
|--------|--------|--------|

問3 あなたはどの学校に通っていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

- | |
|------------------|
| 1. 港区内の公立中学校 |
| 2. 港区外の公立中学校 |
| 3. 私立・国立・都立の中学校 |
| 4. インターナショナルスクール |
| 5. その他 () |

問4 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号ひとつに○)

- | | | |
|------|------|---------------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他・答えたくない |
|------|------|---------------|

問5 あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 父親 | 3. 祖父 | 5. きょうだい |
| 2. 母親 | 4. 祖母 | 6. その他 () |

問6 あなたが学校から帰ったとき、家族が家にいますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. ほとんどいない	→ 問6-1ア
2. ときどきいる	→ 問7ア
3. ほとんどいつもいる	

問6-1 問6で「1. ほとんどいない」「2. ときどきいる」に○をつけた次に質問します。
 あなたが学校から帰ったとき、誰が家にいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 父親 | 3. 祖父 | 5. きょうだい |
| 2. 母親 | 4. 祖母 | 6. その他 () |

問7 あなたと家族の関係について教えてください。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	そう難う	どちらか一方	どちらか一方	そう難くない
(1) 家族とよく話をします	1	2	3	4
(2) 家族に自分の意見を言っている	1	2	3	4
(3) 家族はあなたの考えや気持ちを理解してくれる	1	2	3	4
(4) あなたが帰ったときに、家族は迎えてくれる	1	2	3	4

問8 家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか。

(ここで「お世話」とは、夫に代わって家事や家族のお世話をすることです)
 (あてはまる番号ひとつに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. いる → 問8-1ア | 2. いない → 問9ア |
|---------------|--------------|

問8-1 問8で「1. いる」に○をつけた次に質問します。

あなたが世話をしている人は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|------------|
| 1. 父親 | 3. 祖父 | 5. 男・妹 | 7. その他 () |
| 2. 母親 | 4. 祖母 | 6. 兄・姉 | |

問8-2 問8で「1. いる」に○をつけた人に質問します。

あなたは日常前にどのような世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族の世話をやっている
2. きょうだいを保育室などに連れて行っている
3. きょうだいの身のまわりのお世話をしている
4. きょうだいをお風呂に入れてあげる
5. 家の掃除をしている
6. 家族の世話をしている
7. 日本酒が好きな家族のために、醸造、醸物、手練きなどに付き添い、酒席をしている
8. 高齢者や障害者の家族のために、選菜、買物、手練きなどに付き添い、選菜をしている
9. 医師がある家族の通院に付き添っている
10. 医師がある家族の薬の管理をしている
11. 高齢の家族の見守りをしている
12. 医療がある家族の見守りをしている
13. 障害や高齢の家族の排せつや入浴の手伝いをしている
14. 家族の感情量のサポート（愚痴を聞く、話し相手になる）をしている
15. その他（)

問8-3 問8で「1. いる」に○をつけた人に質問します。

あなたが滞泊に前けてほしいことや、希望としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の今の状況について話を聞いてほしい
2. 自分と同じ環境の人と話をしたい
3. 家族のお世話を経験したことがある人に話を聞いてほしい
4. 家族の病状や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
5. 自分が行っている家族のお世話を代わりに行ってくれるサービスがほしい
→具体的にどのようなお世話をですか（)
6. 家族から離れて過ごせる場所がほしい
7. 通院を助けてほしい
8. 通院や将来のことについて相談にのってほしい
9. その他（)
10. 必要としている支援はない

問8-4 問8-3で「1」～「3」に○をつけた人に質問します。

どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 対面での直接
2. 電話
3. メール
4. LINE
5. その他のSNS

問9 学校は楽しいですか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. とても楽しい
2. まあまあ楽しい
3. どちらともいえない
4. あまり楽しくない
5. まったく楽しくない

問10 あなたは、これまで学校に行きたくないと思ったことはありますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. よくあった
2. ときどきあった
3. ほとんどない
4. 一度もない

問10-1 問10で「1. よくあった」または「2. ときどきあった」に○をつけた人に質問します。

学校に行きたくないと思った理由はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友達とうまくいかない
2. 先生とうまくいかない
3. 授業についていけない
4. 部活動でうまくいかない
5. クラスになじめない
6. いじめや嫌がらせがある
7. 自分の外見や性格のため
8. 家族や家庭の事情があるため
9. その他（)
10. 理由はない、わからない

問10-2 問10で「1. よくあった」または「2. ときどきあった」に○をつけた人に質問します。

学校に行きたくないと思ったのは、いつ頃ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 小学1・2年生のころ
2. 小学3・4年生のころ
3. 小学5・6年生のころ
4. 中学1年生のころ
5. 中学2年生のころ
6. 中学3年生のころ
7. わからない

問11 あなたは、友達との関わりの中で、どのように感じていますか。

(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
(1) 新しい友達がいる	1	2	3	4
(2) 友達と仲良くなるまで時間がかかる	1	2	3	4
(3) 友達とうまく話せないことがある	1	2	3	4
(4) 友達から自分はどう見られているのかわからない	1	2	3	4
(5) 友達と仲良くいるよりも、一人でいる方が気が楽だ	1	2	3	4

平日の過ごし方について質問します

前12 あなたが、普段家にいるときによくしていることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビを見る
2. 本、雑誌、マンガを読む
3. 新聞を読む
4. 音楽を聴く
5. ゲームをする
6. 勉強をする
7. 家事(食器の洗濯、掃除、洗濯など)をする
8. ウェブサイトを見る・書き込みをする
9. YouTubeなどの動画サイトを見る
10. LINEやメールをする
11. エックス(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNSを見る・書き込みをする
12. その他()

前13 あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の部屋
2. 家のリビング、玄関など
3. 家族の家
4. 学校
5. 産院
6. 産や習い事、場所
7. 公園
8. ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
9. ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
10. 本屋、CD・DVDショップ
11. ショッピングモール
12. 地域のスポーツクラブや地域のスポーツジム
13. 区立図書館
14. 産院スポーツセンター
15. その他区立の公共施設()
16. インターネット上のオンライン発信(SNSやオンラインゲームなど)
17. オンラインコミュニティ(オンラインサロンなど)
18. その他()
19. 居心地がよいと感じる場所はない

前14 あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビ
2. ラジオ
3. 新聞、雑誌
4. ニュースアプリ
5. ウェブサイトで検索する
6. エックス(旧ツイッター)、インスタグラムなどのSNS
7. YouTubeなどの動画サイト
8. 友達など
9. 区役所などにあるチラシ
10. 電車やバスなどの広告
11. その他()

前15 あなたは産院、派のような地域の活動に参加していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. お祭りやイベントなどの地域活動
2. 地域のサークル活動
3. 地域のスポーツ活動
4. 町会・自治会などの地域活動
5. 地域の子どもの遊び相手をする活動
6. 高齢者や障害者の手助けをする活動
7. 外国人の手助けをする活動
8. 公園やまちの清掃活動
9. 地域の防犯・防災活動
10. 募金活動
11. その他の活動()
12. 参加していない

前15-1 前15で「12. 参加していない」に○をつけた次に質問します。

参加していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 時間がないから
2. 忙しいから
3. 友達が参加しないから
4. どのような地域の活動があるかわからないから
5. 参加する方法がわからないから
6. 地域の活動に興味がないから
7. 地域の活動が盛んではないから
8. その他()

施設の利用状況について質問します

問16 あなたは、児童館や子ども中高生プラザ・児童読書交流プラザによく行きますか。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. よく利用する (週に2回以上)	→ 問16-1ハ
2. たまに利用する (週に1回程度)	
3. 以前利用していたが、今は利用していない	→ 問16-2ハ
4. 知っているが行ったことがない	
5. どこにあるか知らない	→ 問17ハ

問16-1 問16で「1. よく利用する (週に2回以上)」 「2. たまに利用する (週に1回程度)」に○を
つけた人に質問します。

児童館や子ども中高生プラザなどに行く旨の回答ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. ゲームやマンガがあるから	5. 友達に会うため
2. スカウト (音楽やダンス) を利用するため	6. 施設イベントが楽しいから
3. 体育館を利用するため	7. ひまだから、時間つぶし
4. 勉強 (習字) のため	8. その他 ()

問16-2 問16で「3. 以前利用していたが、今は利用していない」 「4. 知っているが行ったことがない」に○をつけた人に質問します。

児童館や子ども中高生プラザなどを利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 場所が悪いから	5. 興味が無いから
2. 開館日や開館時間が合わないから	6. その他 ()
3. 昼や暑い・寒、部活動などで行く時間がないから	7. 他に理由は無い
4. 知っている人がいないと行きにくいから	

問17 あなたは、どのような趣味があれば行ってみたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. いっでも行きたいときに行ける友人と通わせる	6. 新しいことややりたいことに挑戦できる
2. 何もせずのんびりできる	7. 悩みごとの相談ができる
3. ありのままの自分を出せる	8. 違う世代の人と出逢える
4. 好きなことを自由にして通わせる	9. その他 ()
5. 好きなことを自由にして通わせる	10. 特になし

悩みごとや相談先について質問します

問18 次の項目について、あなたはどのよう感じますか。(それぞれあてはまる番号ひとつに○)

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
(1) 今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2) 夢、自分は著せだ	1	2	3	4
(3) 今の自分に満足している	1	2	3	4
(4) 自分は役に立たないと感じる	1	2	3	4
(5) 自分は孤立していると感じる	1	2	3	4

問19 あなたは、夢、不安や悩みごとはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 勉強や成績のこと	8. 将来や進路のこと
2. 進路や将来のこと	9. 体や性のこと
3. 友達関係のこと	10. 住居のこと
4. いじめのこと	11. 外資のこと
5. 恋愛のこと	12. その他 ()
6. 学校の先生のこと	13. 悩んでいることはない
7. 家族との関係・家庭環境のこと	

問20 あなたは、普段悩みごとがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父親	8. スクールカウンセラー
2. 母親	9. 部活動や習い事の仲間
3. 祖父母	10. 塾の先生
4. きょうだい	11. 区役所や公共施設の窓口・職員
5. その他親族	12. 「みなと子ども相談ネット」
6. 友達	13. インターネットの掲示板や相談サイト
7. 恋人	14. インターネット上の友達・知人
8. 学校の先生	15. その他 ()
9. スクールカウンセラー	16. 相談しない
10. 部活動や習い事の仲間	17. 相談しない
11. 塾の先生	
12. 区役所や公共施設の窓口・職員	
13. 「みなと子ども相談ネット」	
14. インターネットの掲示板や相談サイト	
15. インターネット上の友達・知人	
16. その他 ()	
17. 相談しない	

問20-1 問20で「17. 相談しない」に○をつけた人に質問します。
相談しない理由は何か。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどのことではないから
2. 悩みを知られたくないから
3. 相談するのが面倒だから
4. 何を聞かれるか不安だから
5. うまく伝えられないから
6. 相談していることを知られたくないから
7. 相談しても解決しないと思うから
8. 相談する相手がいらないから
9. その他 ()

問21 どのような方法であれば、もっと相談しやすいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 対面で直接
2. 電話
3. スマートフォンやパソコンのメール
4. LINEやエックス(「X」ツイッター)などのSNS
5. インターネットの掲示板やチャット
6. その他 ()



問22 将来のイメージについて質問します

問22 あなたは、将来の進路について、どのように考えていますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 大学、短期大学、またはそれ以上の学校まで進学したい
2. 高校、高等専門学校、専門学校まで進学したい
3. 中学校を卒業したら働きたい
4. その他 ()
5. わからない

問22-1 問22で「1」～「4」に○をつけた人に質問します。
その理由は何か。(あてはまる番号すべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから
2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから
4. 兄、姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達がそうしているから
6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから
8. その他 ()
9. 理由は無い

問23 あなたは、将来の仕事について、どう思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のやりたい仕事をしたい
2. 自分の能力を生かせる仕事をしたい
3. 社会に役立つ仕事をしたい
4. 収入の良い仕事をしたい
5. 安定している会社で働きたい
6. 働ければ、会社や仕事の内容にはこだわらない
7. 自分の能力から考えて働くことは難しいと思う
8. 嫌になじめると思えない
9. 働きたいと思わない
10. わからない
11. その他 ()

問24 あなたは、今後、進学や就職をすることについて、どう思いますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. とても楽しみだ
2. なんとなく楽しみだ
3. なんとなく不安だ
4. とても不安だ
5. その他 ()

問25 あなたは、将来、結婚したいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○)

1. 結婚したい
2. どちらかというところ結婚したい
3. どちらでもいい
4. どちらかというところ結婚したくない
5. 結婚したくない
6. わからない

問25-1 問25の回答について、なぜそう思いますか。その理由をご記入ください。

問26 あなたは、将来、子どもがほしいですか。今の考えに最も近いものをお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○)

「1. 子どもがほしい」に○をつけた人は、子どもの人数を()の半に減らしてご記入ください。

1. 子どもがほしい →子どもの人数()人
2. どちらかというところ子どもがほしい
3. どちらでもいい
4. どちらかというところ子どもはほしくない
5. 子どもはほしくない
6. わからない

問26-1 問26の回答について、なぜそう思いますか。その理由をご記入ください。

問27 これからも福祉に在り続けたいと思えますか。(あてはまる番号ひとつに○)

1. 在り続けたいと思う
2. どちらかというところ在り続けたいと思う
3. どちらかというところ在り続けたいと思わない
4. 在り続けたいと思わない
5. わからない

問28 最後に、福祉に求めることや期待することがありましたら、ご自由に記入ください。

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
アンケートを送信封筒に入れて、のりやテープで封を閉じたら、郵便ポストに、11月9日(木)までに入れてください。



一極みや不安を抱えている方へ



各種相談窓口については、若のマイページ(QRコード)からご覧いただけます。
相談機関一覧(福祉ホームページ)

4. 高校生世代から 39 歳まで

<p>港区子ども、若者、子育て支援に関する実態調査（高校生世代から39歳用）</p>	<p><input type="radio"/> 中学校 <input type="radio"/> 高等学校（全日制） <input type="radio"/> 高等学校（定時制・通信制・サポート校） <input type="radio"/> 専門学校 <input type="radio"/> 4年生大学・大学院 <input type="radio"/> 高等専門学校・短期大学 <input type="radio"/> その他</p> <p>状況 必須</p> <p><input type="radio"/> 在学中 <input type="radio"/> 中途退学 <input type="radio"/> 卒業</p>
<p>下記のフォームにご入力をお願いします。</p> <p>Q1. お住まいの地域はどこですか。 必須</p> <p>地域 必須</p> <p><input type="radio"/> 芝 <input type="radio"/> 海岸 <input type="radio"/> 東新橋 <input type="radio"/> 新橋 <input type="radio"/> 西新橋 <input type="radio"/> 三田 <input type="radio"/> 浜松町 <input type="radio"/> 芝大門 <input type="radio"/> 芝公園 <input type="radio"/> 虎ノ門 <input type="radio"/> 愛宕 <input type="radio"/> 麻布狸穴町 <input type="radio"/> 麻布永坂町 <input type="radio"/> 南麻布 <input type="radio"/> 元麻布 <input type="radio"/> 西麻布 <input type="radio"/> 六本木 <input type="radio"/> 麻布台 <input type="radio"/> 麻布十番 <input type="radio"/> 東麻布 <input type="radio"/> 元赤坂 <input type="radio"/> 赤坂 <input type="radio"/> 南青山 <input type="radio"/> 北青山 <input type="radio"/> 高輪 <input type="radio"/> 白金 <input type="radio"/> 白金台 <input type="radio"/> 芝浦 <input type="radio"/> 港南 <input type="radio"/> 台場</p> <p>丁目 必須</p> <p><input type="radio"/> 1丁目 <input type="radio"/> 2丁目 <input type="radio"/> 3丁目 <input type="radio"/> 4丁目 <input type="radio"/> 5丁目 <input type="radio"/> 6丁目 <input type="radio"/> 7丁目 <input type="radio"/> 8丁目 <input type="radio"/> 9丁目 <input type="radio"/> 丁目なし</p>	<p>Q5. あなたのお住まいをお答えください。 必須</p> <p><input type="radio"/> 自分の持家（一戸建て） <input type="radio"/> 自分以外（親・その他）の持家（一戸建て） <input type="radio"/> 自分の持家（マンション） <input type="radio"/> 自分以外（親・その他）の持家（マンション） <input type="radio"/> 借家（一戸建て） <input type="radio"/> 民間の賃貸マンション・アパート <input type="radio"/> 借家・区営・区立住宅 <input type="radio"/> UR（旧公団）・公社の賃貸住宅 <input type="radio"/> 社宅・公務員宿舎 <input type="radio"/> 学生寮 <input type="radio"/> その他</p>
<p>Q2. あなたは何歳ですか。（令和5年4月1日現在） 必須</p> <p>歳</p>	<p>Q6. あなたは、港区に住んで何年になりますか。 必須</p> <p><input type="radio"/> 1年未満 <input type="radio"/> 1～3年未満</p>
<p>Q3. あなたの性別をお答えください。 必須</p> <p><input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女 <input type="radio"/> その他・答えたくない</p>	
<p>Q4. あなたが最後に卒業（中途退学を含む）した、または現在在学している学校はどれですか。 必須</p> <p>学校 必須</p>	

- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～20年未満
- 20年以上
- 生まれてからずっと港区に住んでいる

Q7. 現在、あなたが一緒に住んでいる人数は、あなたを含めて何人ですか。 必須

_____人

Q8. Q7で「2人」以上と回答した方に伺います。

現在、あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。（複数回答可） 必須

- 父親
- 母親
- 配偶者（パートナー）
- きょうだい
- 祖父母
- その他の親戚
- 恋人
- 自身のお子さん
- その他

**Q9. 18歳以下の方に伺います。
家族の中に、あなたが日常的にお世話をしている人はいますか。**

（ここで「お世話」とは、大人に代わって家事や家族のお世話などをすることです） 必須

- いる
- いない

Q10. Q9で「（お世話をしている人が）いる」と回答した方に伺います。

あなたがお世話をしている人は誰ですか。（複数回答可） 必須

- 父親
- 母親
- 祖父
- 祖母
- 弟・妹
- 兄・姉
- その他

Q11. Q9で「（お世話をしている人が）いる」と回答した方に伺います。

あなたは日常的にどのようなお世話をしていますか。（複数回答可）

必須

- 家族の食事を作っている
- きょうだいを保育園などに迎えに行っている
- きょうだいの身のまわりのお世話をしている
- きょうだいをお風呂に入れて

- 家の掃除をしている
- 家族の洗濯をしている
- 日本語が苦手な家族のために、通院、買物、手続きなどに付き添い、通訳をしている
- 聴覚障害者の家族のために、通院、買物、手続きなどに付き添い、通訳をしている
- 疾病がある家族の通院に付き添っている
- 疾病がある家族の薬の管理をしている
- 高齢の家族の見守りをしている
- 疾病がある家族の見守りをしている
- 障害や高齢の家族の排せつや入浴の手伝いをしている
- 家族の感情面のサポート（励励を聞く、話し相手になる）をしている
- その他

Q12. Q9で「お世話をしている人がいる」と回答した方に伺います。
あなたが港区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。（複数回答可） 必須

- 自分の今の状況について話を聞いてほしい
- 自分と同じ環境の人と話をしたい
- 家族のお世話を経験したことのある人に話を聞いてほしい
- 家族の病状や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい
- 自分が行っている家族のお世話を代わりにやってくれるサービスがほしい
- 家族から離れて過ごせる場所がほしい
- 勉強を教えてほしい
- 進路や将来のことについて相談にのってほしい

- 必要としている支援はない
- その他

Q13. Q12で「話をしたい」「話を聞いてほしい」と回答した方に伺います。
どのような方法で話をしたり、話を聞いたりしてほしいですか。 必須

- 対面で直接
- 電話
- メール
- LINE
- その他のSNS

Q14. Q12で「お世話を代わりにやってくれるサービスがほしい」と回答した方に伺います。
具体的にどのようなサービスがほしいですか。 必須

0 / 100

Q15. あなたの家の生計を立てている方は主にどなたですか。
※主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれてい
る人をお答えください。 必須

- あなた自身
- 父親
- 母親
- 配偶者（パートナー）
- きょうだい

- 自身のお子さん
- その他の親戚
- 生活保護を受けている

Q16. 現在の家計について、最も近いものをお答えください。 必須

- 黒字であり、毎月貯蓄をしている
- 黒字であるが、貯蓄はしていない
- 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである
- 赤字であり、貯蓄を取り崩している
- 赤字であり、借金をして生活している
- わからない

Q17. 現在の家計について、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月頃と比べて、どう感じていますか。 必須

- 今の方が大変ゆとりがある
- 今の方がややゆとりがある
- 変わらない
- 今の方がやや苦しい
- 今の方が大変苦しい
- わからない

Q18. あなたの現在の職業をお答えください。 必須

- 学生（予備校生などを含む）
- 正社員・正職員
- 契約社員
- 派遣社員
- パート・アルバイト（学生のアルバイトは除く）
- 自営業

- 自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）
- 専業主婦・主夫
- 働いておらず、現在、求職活動をしている
- 働いておらず、現在、求職活動をしていない
- その他

Q19. Q18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方に伺います。

現在、働いていない理由は何ですか。（複数回答可） 必須

- 病気・ケガ、障害があるため
- メンタル的な問題や不安があるため
- 人間関係に不安があるため
- 希望する職種に求人がないため
- 労働条件・環境に関する不安があるため
- 就職活動の方法がわからないため
- どんな仕事につけばいいのかわからないため
- 知識・能力に自信がないため
- 資格試験などの準備のため
- やりたいことを目指して勉強中・修行中であるため
- ボランティアや社会貢献活動に従事しているため
- 独立・開業に向けた準備のため
- 家族の育児や介護のため
- 家族からの経済的支援があるため
- 働く意欲がわからないため

- 特に理由はない
- その他

Q20. Q18で「専業主婦・主夫」「働いておらず、現在、求職活動をしている」「働いておらず、現在、求職活動をしていない」と回答した方に伺います。

あなたは、これまで働いたことはありますか。(複数回答可) 必須

- 正社員・正職員として働いていた
- 契約社員として働いていた
- 派遣社員として働いていた
- パート・アルバイトとして働いていた(学生のアルバイトは除く)
- 自営業をしていた
- 自由業をしていた(個人で専門知識や技術を生かした職業)
- 働いたことはない
- その他

Q21. 学生以外の方に伺います。

あなたと生計をともにする世帯全体の年収(税込)は、おおそどれくらいですか。

仕事による収入と仕事外の収入を合わせてお答えください。 必須

- 収入なし
- 200万円未満
- 200~300万円未満
- 300~400万円未満
- 400~500万円未満

- 500~700万円未満
- 700~1,000万円未満
- 1,000~1,500万円未満
- 1,500~2,000万円未満
- 2,000~3,000万円未満
- 3,000~5,000万円未満
- 5,000~1億円未満
- 1億円以上
- わからない

Q22. 学生の方に伺います。

あなたは、将来の就職について、どのようにお考えですか。(複数回答可) 必須

- 自分のやりたい仕事をしたい
- 自分の能力を生かせる仕事をしたい
- 社会に役立つ仕事をしたい
- 収入の良い仕事をしたい
- 安定している企業で仕事をしたい
- 就職できれば、労働条件や企業・職種にはこだわらない
- スキルや知識の面で就職することが難しいと思う
- 職場に適応できると思えない
- 就職したいと思わない
- その他

Q23. あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。(複数回答可) 必須

- 正社員・正規職員で働くこと
- 仕事にやりがいを感じられること
- 専門的な知識や技能が身につく・能力を生かせること
- 給料が高いこと
- 労働時間が短いこと
- 残業や休日出勤が少ないこと
- 実力を適正に評価してくれること
- 職場の雰囲気や人間関係が良いこと
- 長い年数働き続けられること
- 子育てや親の介護などが必要になっても働きやすいこと
- 通勤の便など、地理的条件が良いこと
- その他

Q24. あなたが普段自宅にいるときによくしていることは何ですか。
(複数回答可) 必須

- テレビを見る
- 本・雑誌・マンガを読む
- 新聞を読む
- 音楽を聴く
- ゲームをする
- 勉強をする
- 仕事をする
- 家事をする

- 育児をする
- ウェブサイト（電子掲示板、ブログ含む）を見る・書き込みをする
- YouTube等の動画サイトを見る
- LINEやメールをする
- X (旧Twitter)、Instagram等のSNSを見る・書き込みをする
- その他

Q25. あなたが、普段の生活で居心地がよいと感じる場所はどこですか。 (複数回答可) 必須

- 自分の部屋
- 自宅のリビング、居間など
- 友人の家
- 学校
- 部活動
- 塾や習い事の場所
- 公園
- ファーストフード店、ファミレス、コンビニ、カフェ
- ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェ、マンガ喫茶
- 本屋、CD・DVD ショップ
- ショッピングモール
- 地域のスポーツクラブや民間のスポーツジム
- 区立図書館
- 港区スポーツセンター

その他区立の公共施設

インターネット上のオンライン空間 (SNSやオンラインゲームなど)

オンラインコミュニティ (オンラインサロンなど)

居心地がよいと感じる場所はない

その他

その他区立の公共施設と回答した方は、具体的な施設名をご記入ください。 必須

0 / 500

Q26. あなたは、普段どのようなものから情報を得ていますか。(複数回答可) 必須

テレビ

ラジオ

新聞・雑誌

ニュースアプリ

ウェブサイト

X (旧Twitter)、Instagram等のSNS

YouTube等の動画サイト

広報紙 (広報みなど等)

区役所等にあるチラシ

電車やバス等の広告

その他

Q27. 家族・親族と、あなたの関わりは、どのようなものですか。

必須

そう頻
う

どちらかといえ
ば
そう頻
う

どちらかといえ
ば
う
聞
わ
な
い

そう聞
わ
な
い

会話やメール等をよくして
いる

楽しく話せる時がある

困ったときは助けてくれる

Q28. 学校で出会った友人 (現在通っている学校の友人、かつての同級生など) と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。 必須

そう頻
う

どちらかといえ
ば
そう頻
う

どちらかといえ
ば
う
聞
わ
な
い

そう聞
わ
な
い

会話やメール等をよくして
いる

楽しく話せる時がある

困ったときは助けてくれる

Q29. 該当する方のみお答えください。

職場・アルバイト関係の人 (現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など) と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。

そう頻
う

どちらかといえ
ば
そう頻
う

どちらかといえ
ば
う
聞
わ
な
い

そう聞
わ
な
い

会話やメール等をよくして
いる

楽しく話せる時がある

	そう願 う	どちらかといえ ば そう願 う	どちらかといえ ば う願 わない	そう願 ない
困ったときは助けてくれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q30. 地域の人（近所の人、町内会などの知人、習い事での知人など）と、あなたの現在の関わりは、どのようなものですか。				
会話やメール等をよくしている	そう願 う	どちらかといえ ば そう願 う	どちらかといえ ば う願 わない	そう願 ない
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
楽しく話せる時がある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
困ったときは助けてくれる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q31. あなたは現在、次のような地域活動に参加していますか。（複数回答可） 必須				
<input type="checkbox"/>	お祭りやイベントなどの地域活動			
<input type="checkbox"/>	地域のサークル活動			
<input type="checkbox"/>	地域のスポーツ活動			
<input type="checkbox"/>	町会・自治会等の地域活動			
<input type="checkbox"/>	地域の子どものお世話をする活動			
<input type="checkbox"/>	高齢者や障害者をサポートする活動			
<input type="checkbox"/>	外国人をサポートする活動			
<input type="checkbox"/>	公園やまちの清掃活動			
<input type="checkbox"/>	地域の防犯・防災活動			

<input type="checkbox"/>	募金活動			
<input type="checkbox"/>	参加していない			
<input type="checkbox"/>	その他			
Q32. Q31で「参加していない」と回答した方に伺います。参加していない理由は何ですか。（複数回答可） 必須				
<input type="checkbox"/>	時間や日程が合わないから			
<input type="checkbox"/>	時間的余裕がないから			
<input type="checkbox"/>	一緒に参加する知人・友人がいないから			
<input type="checkbox"/>	地域でどのような活動が行われているか知らないから			
<input type="checkbox"/>	参加方法がわからないから			
<input type="checkbox"/>	地域の活動に興味がないから			
<input type="checkbox"/>	地域の活動が盛んではないから			
<input type="checkbox"/>	その他			
Q33. 次の項目について、あなたはどのように感じますか。 必須				
今の自分が好きだ	そう願 う	どちらかといえ ば そう願 う	どちらかといえ ば 願 わない	そう願 ない
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今、自分は幸せだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今の自分に満足している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分は役に立たない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

そう う	どちらかといえはそ う	どちらかといえはそ う	どちらかといえはそ う	そう い
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分孤立している				

Q34. あなたは現在、不安や悩みはありますか。(複数回答可) 必須

- 家事
- お金のこと (衣食住を含む)
- 自分の身体のこと
- 自分の将来
- 受験・進路
- 仕事・就職
- 地域活動 (町内会・自治会等)
- 配偶者 (パートナー) との関係
- 親、親戚との関係
- 介護
- 子育て
- 友人関係
- 恋愛関係
- 職場の人間関係
- インターネット上の人間関係
- 悩んでいることはない
- その他

不安や悩みの内容を可能な範囲でご記入ください。(任意)

0 / 500

Q35. あなたは普段、悩みごとがあるとき、誰 (どこ) に相談しますか。(複数回答可) 必須

- 配偶者 (パートナー)
- 父母
- その他親族
- 知人・友人
- 恋人
- 学校の先生
- 職場の上司・同僚
- カウンセラー・かかりつけの医師
- 区役所や公共施設の窓口・職員
- 民間の相談機関
- インターネットの掲示板や相談サイト
- インターネット上の知人・友人
- 相談しない
- その他

Q36. Q35で「相談しない」と回答した方に伺います。相談しない理由は何ですか。(複数回答可) 必須

- 相談するほどのことではないから
- 悩みを知られたくないから
- 相談するのが面倒だから
- 何を聞かれるか不安だから
- うまく伝えられないから
- 相談していることを知られたくないから
- 相談しても解決しないと思うから
- 相談する相手がないから
- その他

Q37. 区役所や公共施設に相談するとしたら、どのようなことを望みますか。(複数回答可) 必須

- 親身に聞いてくれる
- 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる
- 医学的な助言をもらえる
- 精神科医・心理学の専門家がいる
- 同じ悩みを持つ人と出会う
- 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる
- 無料で相談できる
- 自宅から近い
- 夜間も相談できる
- 電話で相談できる
- スマートフォンやパソコン等のメールで相談できる

- LINE やX (旧Twitter) 等のSNSで相談できる
- その他

Q38. 現在、あなたは結婚していますか。 必須

- 結婚している(事実婚を含む)
- 結婚したことはない
- 結婚したことはあるが、今はしていない

Q39. Q38で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方に伺います。

現在、結婚していない理由は何ですか。(複数回答可) 必須

- 結婚するにはまだ若いから
- 適当な相手にめぐりあわないから
- 結婚資金が足りないから、収入が不安定だから
- 学業や仕事に打ち込みたいから
- 趣味や娯楽を楽しみたいから
- 家族を持つ責任がなく、気楽だから
- 結婚する必要性を感じないから
- 独身で生活できるだけの経済力があるから
- 他者とうまく付き合えないから
- 同性のパートナーと結婚する国の制度がないから
- 夫婦別姓に関する国の制度がないから
- 交際相手・パートナーに結婚する気がないから

離婚や死別の経験の傷がまだ癒えていないから

その他

Q40. Q39で「結婚するにはまだ若いから」と回答した方に伺います。
何歳頃までに結婚したいですか。 必須

歳頃まで

Q41. Q38で「結婚したことはない」「結婚したことはあるが、今はしていない」と回答した方に伺います。

今後、結婚することに對してどのようなお考えですか。 必須

- 結婚したい
- どちらかというかと結婚したい
- どちらでもいい
- どちらかというかと結婚したくない
- 結婚したくない
- わからない

Q42. 現在、あなたには子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。 必須

- いる
- いない

Q43. Q42で「(子どもが)いる」と回答した方に伺います。
お子さんは何人いますか。 必須

人

Q44. Q42で「(子どもが)いる」と回答した方に伺います。
お子さんの生まれた年と月をお答えください。 必須

年 (西暦) 月 日

+ 行を追加

Q45. Q42で「(子どもは)いない」と回答した方に伺います。
現在、子どもをお持ちでない理由は何ですか。(複数回答可) 必須

- 結婚していないから、交際相手がないから
- 子どもを持つにはまだ若いから
- 出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
- 将来的に子育てや教育にお金がかかるから
- 家が狭いから
- 幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
- 家庭内の人間関係が良好ではないから
- 自分や配偶者(パートナー)の仕事に支障が出るから
- 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
- 育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
- 将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから

- 妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから
- 健康上の理由から
- ほしいけれどもできないから
- 高齢で産むのはいやだから
- 配偶者（パートナー）が望まないから
- その他

Q46. Q45で「子どもを持つにはまだ若いから」と回答した方に伺います。

何歳頃までに子どもを持ちたいですか。 必須

歳頃まで

Q47. Q42で「（子どもは）いない」と回答した方に伺います。今後、子どもを持つことに対してどのようなようにお考えですか。 必須

- 子どもを持ちたい
- どちらかという子どもを持ちたい
- どちらでもいい
- どちらかという子どもを持ちたくない
- 子どもを持ちたくない
- わからない

Q48. あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。 必須

人

Q49. 実際に持つつもりの子どもの数は何人ですか。現在いらっしゃるお子さんを含めてお答えください。 必須

人

Q50. 実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない方に伺います。該当しない方は次の質問へお進みください。実際に持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはなぜですか。（複数回答可）

- 結婚できるかわからないから
- 出産・子育て費用が足りないから、収入が不安定だから
- 将来的に子育てや教育にお金がかかるから
- 家が狭いから
- 幼稚園・保育園などの子どもの預け先がないから
- 家庭内の人間関係が良好ではないから
- 自分や配偶者（パートナー）の仕事に支障が出るから
- 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 配偶者（パートナー）の家事・育児への協力が得られないから
- 育児の心理的、肉体的負担が発生・増加することに耐えられないから
- 将来的に家族の介護の負担が発生・増加する見込みがあるから
- 妊娠することや子育てをすることに漠然とした不安があるから
- 健康上の理由から
- ほしいけれどもできないから
- 高齢で産むのはいやだから

- 配偶者（パートナー）が望まないから
- その他

Q51. あなたは、港区が取り組む子ども・若者の施策に、どのようなことを望みますか。（複数回答可） 必須

- 子ども・若者に関するイベントなどの情報を提供する
- 悩み等を相談できる窓口を充実する
- 居心地のよい場所を提供する
- 就職に向けた相談やサポート体制を充実する
- 若者が結婚しやすい環境をつくる
- 安心して出産・子育てできる環境づくりを進める
- 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
- 社会に出られない人が自立できるよう支援する
- 青少年の非行や犯罪防止などの取組や環境づくりを進める
- その他

Q52. これからも港区に住み続けたいと思えますか。 必須

- 住み続けたい
- どちらかというに住み続けたい
- どちらかというに住み続けたいと思わない
- 住み続けたいと思わない
- わからない

Q53. 最後に、港区の子ども・若者の施策や子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（任意）

0 / 5000

→ 確認画面へ進む  入力内容を一時保存する



Powered by LogGoフォーム © TRUSTBANK, Inc. 利用規約 プライバシーポリシー

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

刊行物発行番号 2023323-4814

港区子ども・若者・子育て支援に関する実態調査報告書

令和6(2024)年3月発行

発行・編集 港区子ども家庭支援部子ども政策課
港区芝公園一丁目5番25号
03-3578-2111 (代表)